熊本県文化財調査報告第297集

頭地下手遺跡

川辺川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

March.2014

熊本県教育委員会

▲遺跡遠景１　S → N

▲遺跡遠景２　W → E

▲航空写真１　S → N

▲航空写真２　E → W

▲調査区全景

▲調査区Ⅰ区

▲調査区Ⅰ、Ⅳ、Ⅴ区

▲調査区Ⅲ、Ⅴ区

▲ SD1　検出状況

▲ SD1　土層断面

▲土器　検出状況１

▲土器　検出状況２

▲土器　集合１

▲土器　集合２

▲石皿　集合

▲石斧　擦切石斧　◀ ▶　擦切石斧（推定）

熊本県文化財調査報告第297集

頭地下手遺跡

川辺川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

March.2014

熊本県教育委員会

序　文

日本三大急流の一つとして球磨川の名は全国に名を轟かせています。球磨川は熊本県南部の人吉球磨地方から八代平野に流れ込んでいますが、その最大支流の川辺川は人吉盆地から国見岳の源流まで九州山地を北方に遡ります。

川辺川は平家落人伝説が残る五家荘、五木の子守唄で知られる五木村などの急峻な地形を縫うようにして流れています。地理的にも他の地域と隔絶された感があり、川の流れとは異なり、緩やかな時間が流れている佇まいを残している地域であります。

五木村は昭和38年から３年連続の集中豪雨により、尊い人命と多くの民家が流されました。その結果、人々が安全に暮らせる村づくりをめざして、昭和４１年７月、川辺川ダム建設計画が発表されました。このダム建設に関連して、昭和53年12月には「五木村総合学術調査団」による総合調査が実施され、熊本県教育委員会も水没地区及び住宅建設予定地における埋蔵文化財発掘調査を平成４年度から五木村教育員会と手を携えて実施してきました。

ここに報告する頭地下手遺跡は、川辺川と五木川の合流点に存在する遺跡で、昭和15年には肥後考古学会会長小林久雄氏と人吉球磨地方の郷土史家高田素次氏の手によって発掘調査が実施された遺跡であります。そして、五木の地にありながら鹿児島地方や福岡地方に見られる縄紋土器が多く出土していたことで知られ、今回の調査でも同じ傾向を示しております。加えて、石器製作の工程を示す工具や剥片などが確認され、川の漁撈に使った網の石錘も大量に発見されているところからも、縄紋時代における、人々の暮らしぶりを理解することができる貴重な遺跡であることが判明しました。

特筆すべき事項は、頭地下手遺跡が九州山地の谷あい深くにありつつも、遠古のときから南九州や北九州の各地域と密接な関係にあったことです。

頭地下手遺跡は幸いにも、遺跡も遺物も保存されております。これらを活用した五木村の地域おこしの核となることを切望するものであり、本書が五木地方の歴史文化研究の一助となれば幸いです。

平成26年3月31日

熊本県教育長　田崎　龍一

例言

1　本書は、国土交通省の川辺川ダム建設事業に伴い記録保存を目的として実施した熊本県球磨郡五木村甲字下手所在の頭地下手遺跡（調査範囲は調査後に滅失）の発掘調査報告書である。

2　頭地下手遺跡の発掘調査は、熊本県教育委員会が調査主体となり、教育総務局文化課文化財調査第一係が担当した。

3　発掘調査に係る整理は、熊本県文化財資料室（熊本市南区城南町沈目 1667）で実施した。なお、調査記録及び出土遺物は、熊本県文化財資料室が保管している。

4　本書は三分冊の構成をとり、その編集は文化財調査第一係宮崎敬士が担当した。

目次　Table of Contents

第一分冊　VOLUME 1

口絵・序文・例言・目次

1　調査の目的と方法

1-1　発掘調査の概要……3

1-1-1　調査の目的

1-1-2　調査の経緯

1-1-3　調査体制

1-1-4　調査経過

1-1-5　整理体制

1-1-6　整理経過

1-1-7　保存及び活用

1-1-8　調査協力者

1-2　頭地下手遺跡の立地と構造……11

1-2-1　地質と地形

1-2-2　地理と生態

1-2-3　人文

1-3　調査の方法と成果……16

1-3-1　発掘の方法

1-3-2　整理の方法

1-3-3　調査の成果

2　土器（RP）

2-1　研究史……41

2-1-1　小林久雄による分類

2-1-2　熊本大学考古学研究室による分類

2-2　分類の方法……41

2-2-1　資料の特徴

2-2-2　残存度による分類

2-2-3　形態による分類

2-2-4　施文による分類

2-3　縄紋土器の分類……42

2-3-1　残存度による分類

2-3-2　形態による分類

2-3-3　施文による分類

2-4　円盤形土製品……44

2-4-1　分類の方法

2-4-2　円盤形土製品の分類

2-5　赤色顔料を塗布した土器……46

付表　土器（RP）観察表……47

3　石器（RQ）

3-1　研究史……189

3-1-1　小林久雄の研究

3-1-2　島津義昭の研究

3-1-3　熊本大学考古学研究室の研究

3-2　縄紋時代の石器……190

3-2-1　石鏃

3-2-2　尖頭器

3-2-3　石錐

3-2-4　石匙

3-2-5　不定形石器

3-2-6　剥片

3-2-7　石核

3-2-8　母岩別資料

3-2-9　石斧

3-2-10　石皿

3-2-11　磨石

3-2-12　敲石

3-2-13　石錘

3-2-14　垂飾品 他

3-3　弥生時代の石器……203

3-3-1　石鏃

3-3-2　砥石

3-4　石器（RQ）実測図……205

附表　石製品（RQ）観察表……336

4　分析

4-1　放射性炭素年代測定……369

パレオ・ラボ　AMS 年代測定グループ

4-2　花粉分析（花粉化石）……375

パレオ・ラボ　鈴木　茂

4-3　珪藻分析（珪藻化石群集）……377

パレオ・ラボ　黒澤一男

4-4　植物珪酸体分析……379

パレオ・ラボ　鈴木　茂

4-5　熊本県頭地下手遺跡出土の石器石材について…381

越知睦和

4-6　熊本県頭地下手遺跡出土の擦切石斧について…387

山崎純男

4-7　熊本県頭地下手遺跡出土の石錘について…399

附　熊本県五木村頭地の石錘と石皿

島津義昭

4-8　熊本県頭地下手遺跡の調査成果……407

抄録・奥付

第二分冊　VOLUME 2

5　土器（RP）実測図
5-1　土器（RP）実測図…… 1
（1）　調査区Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ区
（2）　調査区Ⅳ区
5-2　円盤形土製品（RP）実測図…… 359

第三分冊　VOLUME 3

6　写真図版
6-1　土器（RP）写真図版…… 1
6-2　石器（RQ）写真図版…… 352

本書は三分冊の構成をとる。

目次　TABLE OF CONTENTS

1　調査の目的と方法

頭地下手遺跡は、熊本県球磨郡五木村甲字下手に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地であり、五木川と五木小川とが合流して球磨川水系川辺川となる地点の左岸に形成された低位段丘上に位置する。

頭地下手遺跡を発掘調査した初例は、昭和 15 年 9 月 22 日から 23 日まで小林久雄、高田素次及び当時の頭地小学校職員生徒数名が東西 6m 幅 1m のトレンチ 2 本を設けた発掘調査である（小林 1967）。

次いで、昭和 52 年に白木原和美（熊本大学）、高野啓一（熊本県立第二高校）、柴尾俊介、林清次及び西住欣一郎（熊本大学法文学部考古学研究室）が五木村教育委員会の依頼を受けて立会調査を実施している（白木原他 1978）。

今次調査は、これら 2 例の既往調査と概ね同じ地点を発掘調査し、既往調査と同様、縄紋時代後期の土器、石器を主体とした調査成果を得た。

〔参考文献〕

1967 小林久雄「肥後国球磨郡五木村頭地下手遺跡」
『九州縄文土器の研究』小林久雄先生遺稿刊行会
1978 白木原和美、高野啓一、柴尾俊介『頭地下手遺跡』
五木村文化財調査報告、五木村教育委員会

1-1　発掘調査の概要

頭地下手遺跡の埋蔵文化財発掘調査は、国土交通省の川辺川ダム建設事業に伴い、熊本県教育委員会（以下、「熊本県教育庁」と記す。）が調査主体となり実施された。現地における発掘調査は平成 16 年 7 月 1 日から平成 19 年 3 月 30 日まで実施され、発掘調査面積はⅠ区 1,714㎡、Ⅱ区 363㎡、Ⅲ区 1,576㎡、Ⅳ区 1,013㎡、Ⅴ区 1,446㎡、合計 6,112㎡である。

1-1-1　調査の目的

川辺川ダム建設事業に伴い事業地内の頭地下手遺跡が滅失するため、当該遺跡の発掘調査を実施し、記録保存を行うことを目的とした。

1-1-2　調査の経緯

川辺川ダム建設事業の経緯

熊本県南部の川辺川、球磨川で、昭和 38 年、39 年、40 年と 3 年連続で大規模な水害が発生した。川辺川が流れる球磨郡泉村（現八代市）、五木村、相良村では、昭和 38 年 8 月の梅雨前線の豪雨により死者・行方不明者 12 名、全半壊流失家屋 212 戸、浸水家屋 296 戸、昭和 39 年 8 月の台風 14 号により死者・行方不明者 4 名、全半壊流失家屋 23 戸、浸水家屋 152 戸、昭和 40 年 6 ～ 7 月の梅雨前線の豪雨により全半壊流失家屋 41 戸、浸水家屋 308 戸の被害が発生している。このため、昭和 40 年 7 月に熊本県知事、熊本県議会は建設大臣、建設省に球磨川の抜本的治水対策を要望し、昭和 41 年 4 月、建設省は球磨川水系工事実施基本計画を策定し、7 月に洪水対策のためのダムを建設する「川辺川ダム建設計画」を発表した。なお、このことに対し、五木村議会は「川辺川ダム建設反対」を決議している。

建設省は、昭和 42 年 6 月に実施計画調査に着手し、昭和 44 年 4 月には建設事業に着手する。続く昭和 51 年 3 月に特定多目的ダム法に基づき川辺川ダムの建設に関する基本計画を策定し、4 月には昭和 42 年度から 56 年度までを工期とした「川辺川ダム基本計画」を告示した。以後、川辺川ダム事業は、洪水調節、流水の正常な機能の維持、農業用水の供給、発電の 4 つの目的を持つ多目的ダムを建設する事業として進められる。なお、このことに対し、五木村水没者地権者協議会（以下、「地権協」と記す。）は「河川予定地指定処分無効確認等請求訴訟」（4 月）、「川辺川ダム建設基本計画取消請求訴訟」（6 月）を提訴している。

昭和 53 年 12 月、熊本地裁は「川辺川ダム建設基本計画取消請求訴訟」に和解を勧告し、3 月に地権協は和解交渉を受け入れた。昭和 54 年 3 月、「河川予定地指定処分無効確認等請求訴訟」に熊本地裁の判決があり、これを不服とする地権協は 4 月に福岡高裁に控訴した。昭和 56 年 4 月、地権協以外の地権者団体と建設省とが一般補償基準を妥結した。昭和 57 年 3 月、五木村議会は「川辺川ダム建設反対」決議を解除し、4 月に五木村長は本体工事を除くダム建設に同意している。昭和 59 年 4 月、建設省と地権協は川辺川ダム建設に合意、調印し、地権協は控訴を取り下げている。また、建設省、熊本県、五木村は川辺川ダム建設協定を締結した。昭和 61 年 12 月には水源地域整備計画が公示され、平成 2 年 12 月、地権協と建設省とが一般補償基準を妥結した。平成 8 年 10 月、五木村議会はダム本体工事着手同意を決議し、五木村、建設省、熊本県は川辺川ダム本体工事着手に伴う協定を締結している。

事業予定地における学術調査

川辺川ダム建設事業が推移するなか、五木村では埋蔵文化財調査を含む総合的な学術調査が計画され、実施されている。

昭和 44 年のダム建設事業着手を見据えた昭和 42 年、五木の子守唄等に特徴づけられた民俗伝承、平家落人伝説、焼畑農業等、日本の農耕と系譜を考えるうえで五木村は重要な位置を占めているとの認識の下、ダム着工前に専門家による総合調査の計画と実施を求めて「五木の文化を守る会」が結成された。昭和 47 年、新設された熊本県教育庁文化課に五木の文化を守る会から協力要請があった。田辺哲夫文化課長は、古文書や記録類の少ない五木村は民俗・社会人類を中心とした調査団を熊本大学を中心に編成すべきであろう、と同意し、熊本大学法文学部国分直一教授を紹介している。このことにより熊本大学を中心とした「川辺川流域総合学術調査」研究会が発足し、昭和 49 年 2 月には「川辺川流域総合学術調査（原案）」を作成し、国分教授を団長とした調査団の編成に入っている。昭和 49 年 4 月、国分教授退官により、研究会は松本雅明教授に引き継がれ、事務局は白木原和美教授に託された。

昭和 52 年 8 月 22 日から 27 日まで、五木村教育委員会の要請により熊本大学法文学部考古学研究室（代表白木原教授）が、五木村立五木東小学校給食室

の改築工事に伴い、頭地下手遺跡の工事立会を実施している。この調査は、基礎工事用ピット 22 箇所の掘削に立会い、うち問題があると懸念された 13 箇所を手掘りしたもので、調査期間終了後も五木村教育委員会が立会を継続し、出土遺物を採集している。遺構は確認されず、多数の土器、石器、石片が出土している。この調査の結果、頭地下手遺跡は縄紋時代後期初頭より後期前半の時期に位置づけられた。（1978 白木原他）

続く昭和 53 年 8 月 18 日から 21 日まで、五木村の委嘱により熊本大学法文学部考古学研究室（代表白木原教授）が五木村内先史遺跡の分布と現状の確認を実施した。その結果、遺物の出土状況と立地条件等から遺跡ないし遺跡の存在が予想される地点として、小浜、頭地下手遺跡、久領部落付近、宮園ブタノ、西谷の 5 地点をあげている。また、遺跡の存在が懸念される地点としては、金川部落付近、野々脇部落付近、下谷部落付近、頭地後背の高台、高野部落付近、竹の川部落付近、宮園コヤシ付近、辰迫部落付近、大藪部落付近の 9 地点をあげている。（1979 白木原他）

五木村で考古学調査が実施されたこの時期、ダム建設に先立つ学術的総合調査が必要とした五木村文化財保護審議委員会の意見を受け、五木村と建設省が協議して昭和 53 年 12 月に総合調査計画書が策定され、松本教授を団長とする五木村総合学術調査団が再編成された。建設省の委託により五木村総合学術調査団は昭和 53 年度に予備調査、昭和 54 ～ 59 年度に本調査を実施し、昭和 61 年度には報告書（1987 五木村総合学術調査団、2 編）が刊行されている。この調査は、気象、地質、植物、動物、洞窟から成る自然項目と、民俗、民具、言語、歌謡と芸能、建築、地理、林政、歴史から成る人文項目について熊本大学、筑波大学等の専門家が詳細な調査を行い、その記録をまとめたものであり、総合的な学術調査であった。

なお、当該報告書には「埋蔵文化財の発掘調査は、今後ダム建設の進展にともなって実施する予定」（五木村長の序文）、「考古学分野については、後日別冊として公刊したい」（五木村総合学術調査団長のはしがき）と、埋蔵文化財の保護について記されている。

〔参考文献〕

1978 白木原和美、高野啓一、柴尾俊介『頭地下手遺跡』五木村文化財調査報告、五木村教育委員会

1979 白木原和美、嶋田光一、村田多津江「球磨郡五木村先史遺跡分布調査報告」『川辺川流域総合予備調査報告』川辺川流域総合予備調査団

1987 五木村総合学術調査団『五木村学術調査 自然編』五木村役場

1987 五木村総合学術調査団『五木村学術調査 人文編』五木村役場

事業予定地における埋蔵文化財調査

川辺川ダム建設事業予定地は広大であり、ダム建設に係る事業の具体化に伴い、事業者国土交通省から提示された付替え道路予定地、住宅田畑等の代替地予定地、水没予定地等において、埋蔵文化財の保護を目的とした予備調査、本調査が実施されている。この埋蔵文化財調査は、踏査、試掘調査、確認調査等、予備調査を五木村教育委員会が担当し、本調査のうち大規模な調査は熊本県教育庁、小規模な調査は五木村教育委員会が担当することを基本として、国、村、県の三者協議により分担し、実施している。

熊本県教育庁は、平成 2 年度から五木村教育委員会の依頼により予備調査の実施に協力し、平成 5 年度から国土交通省（建設省）の依頼により埋蔵文化財発掘調査（本調査）を実施した。

頭地下手遺跡の埋蔵文化財発掘調査

頭地下手遺跡は、昭和 15 年の小林久雄、高田素次の調査（1967 小林）、昭和 52 年の熊本大学法文学部考古学研究室の調査（1978 熊本大学法文学部考古学研究室）という、既往調査 2 例の調査履歴を有している。

このため、頭地下手遺跡は、『全国遺跡地図（熊本県）』では番号：2092、種別：散布地、名称：頭地遺跡、所在地：球磨郡五木村頭地字下手として記載され（1966 文化財保護委員会）、『全国遺跡地図熊本県』では番号：22 － 13、名称：頭地（下手）遺跡、種別：散布地、所在地：球磨郡五木村下手として記載され（1971 文化庁文化財保護部）、『熊本県遺跡地図』

では遺跡番号:43‐511‐013、名称:頭地下手(頭地)、所在地:球磨郡五木村下手、時代:縄文、種別:包蔵地、備考:縄文土器・石器多数出土と記載され(1998熊本県教育委員会)、埋蔵文化財包蔵地として周知されていた。

周知の埋蔵文化財包蔵地である頭地下手遺跡は、川辺川ダム建設による水没地及び造成地の範囲に含まれていた。国土交通省九州地方整備局川辺川ダム砂防事務所(以下、「川辺川ダム砂防事務所」と記す。)、五木村教育委員会、熊本県教育庁の協議の結果、現地保存等が困難なため、頭地下手遺跡地内に所在する五木村立五木東小学校、阿蘇神社等、既存施設の代替地移転が完了した後に、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。以後、平成12年度から五木村教育委員会による確認調査が実施され、平成16年度から平成20年度まで、並びに平成23年度から平成24年度まで熊本県教育庁による発掘調査が実施された。

なお、熊本県教育庁による発掘調査は、現地での発掘調査を平成16年度から平成18年度までの期間に、報告書作成のための整理作業を平成19年度から平成20年度並びに平成23年度から平成24年度に実施し、この報告書を平成25年度に刊行することで完了する。

以下、発掘調査の実施に係る諸手続を記す。

〔参考文献〕

1966 文化財保護委員会「熊本20」『全国遺跡地図(熊本県)』
1971 文化庁文化財保護部「熊本22」『全国遺跡地図 熊本県』
1998 熊本県教育委員会「頭地79」『熊本県遺跡地図』

土木工事等による発掘

文化財保護法(昭和25年法律第214号)第57条の3第1項の規定により平成15年11月28日付け国九整辺調設第77号で川辺川ダム砂防事務所長から文化庁長官あて、並びに文化財保護法第94条第1項の規定により平成18年4月24日付け国九整辺調設第1号で川辺川ダム砂防事務所長から熊本県教育長あて、土木工事等のための発掘について通知があり、平成18年4月27日付け教文第297号で熊本県教育長から川辺川ダム砂防事務所長あて工事着手前に発掘調査が必要な旨が通知された。

埋蔵文化財の発掘調査

平成16年度の五木村埋蔵文化財の発掘調査について平成16年4月12日付け国九整辺調設第3号で川辺川ダム砂防事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第58条第2項の規定により、埋蔵文化財発掘調査について平成16年4月19日付け教文第175号で熊本県教育庁文化課長から熊本県教育長あて通知するとともに、その内容を熊本県教育長(職務代行者教育次長)から川辺川ダム砂防事務所長及び五木村教育長あて通知した。

平成17年度の五木村埋蔵文化財の発掘調査について、平成17年4月8日付け国九整辺調設第2号で川辺川ダム砂防事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第58条第2項の規定により、埋蔵文化財発掘調査について平成17年4月13日付け教文第106号で熊本県教育庁文化課長から熊本県教育長あて通知するとともに、その内容を熊本県教育長から川辺川ダム砂防事務所長及び五木村教育長あて通知した。

平成18年度の五木村埋蔵文化財の発掘調査について、平成18年3月22日付け国九整辺調設第67号で川辺川ダム砂防事務所長から熊本県教育長あて依頼があり、文化財保護法第58条第2項の規定により、埋蔵文化財発掘調査について平成18年5月11日付け教文第356号で熊本県教育庁文化課長から熊本県教育長あて通知するとともに、その内容を熊本県教育長から川辺川ダム砂防事務所長及び五木村教育長あて通知した。

文化財の発見

平成16年度の発掘調査に係る文化財の発見については、文化財保護法第59条第2項で準用する第59条第1項の規定により、平成17年3月24日付け教文第3466号で熊本県教育長から人吉警察署長あて通知するとともに、その内容を五木村教育長あて通知した。

平成17年度の発掘調査に係る文化財の発見につ

いては、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により、平成 18 年 3 月 31 日付け教文第 3243 号で熊本県教育長から人吉警察署長あて通知するとともに、その内容を五木村教育長あて通知した。

平成 18 年度の発掘調査に係る文化財の発見については、文化財保護法第 100 条第 2 項で準用する第 100 条第 1 項の規定により、平成 19 年 4 月 3 日付け教文第 9 号で熊本県教育長から人吉警察署長あて通知するとともに、その内容を五木村教育長あて通知した。

1-1-3　調査体制

現地における発掘調査は、平成 16 年度から平成 18 年度まで熊本県教育庁が調査主体、熊本県教育庁教育総務局文化課が調査担当となって実施した。

なお、調査担当者等は以下のとおりである。着任年度、氏名（離任時職名）を記し、適時、在任期間を付した。

調査責任者

文化課長が担当した。

H16　島津義昭（文化課長）
H17　梶野英二（文化課長）

調査統括

課長補佐が担当した。

H16　倉岡博（課長補佐）
H18　江本直（課長補佐）

調査指導

文化財調査第一係長が担当した。

H16　高木正文（課長補佐、文化財調査第一係担当）

調査担当

文化財調査第一係職員が担当した。

H16　帆足俊文（主任学芸員）
H16　松尾茂（非常勤嘱託）
H17　木村龍生（学芸員）～ H18
H17　沖謙介（非常勤嘱託）～ H18

調査作業員

西啓子、椎葉文子、西村サダエ、加藤チヨ子、犬童幾代、田山スミエ、山口アヤ子、木下加江子、川邉トミ子、豊原淳子、平野フジエ、川上則男、土肥里美、土肥ケイ子、池田ミエ子、丸山悦子、白石フジ子、中野千代香、続山昭子、山口弘代、滝本保直、土屋多恵子、尾方チユキ、松本安正、川原勝喜、福原勝子、黒木久美、亀永エミ子、岩崎久江、川田八州幸、河原真喜、宮广守人、倉岡セツ子、森下福嘉、竹下妙子、植田傳吾、中村圭子、吉松ハル子、関美恵子、尾方アサ子、柳川親利、木村政義、川辺みゆき、桑田夏男、河原真喜、黒木春男、松村サチ子、田原勝江、村口由美子、田山敏子、黒木由美、下村勝江、甲斐鳴美、犬童清二、西島剛広（以上 55 名、順不同）

1-1-4　調査経過

現地における発掘調査は、平成 16 年 7 月 1 日から平成 19 年 3 月 30 日まで実施した。発掘対象地を、Ⅰ区からⅤ区までの調査区に分ち、平成 16 年度はⅠ区、平成 17 年度はⅡ区、Ⅲ区、Ⅳ区、平成 18 年度はⅤ区を発掘調査している。

なお、以下の記述は、平成 20 年度まで整理を担当した木村龍生の稿を、一部整え、掲載する。

【平成 16 年 7 月】

1 日、調査開始。午前中、機材などの搬入。午後からトレンチ設定、土層の確認。5 日、表土剥ぎ開始。12 日、作業員による清掃作業開始。メッシュ杭設置。14 日からトレンチ及び、撹乱掘削。20 日、1 層の掘削開始。26 日から追加プレハブなどの設置。

【平成 16 年 8 月】

除草作業。久領西俣阿蘇神社の移転前状況の撮影実施。12 日～ 17 日お盆休み。撹乱の中で最も大きいものは第 2 次大戦中の防空壕であることが判明。聞き取り調査でも裏付けられた。台風 16 号上陸。国道 445 号一部崩落、通行止め。

【平成 16 年 9 月】

土層の確認。台風 18 号上陸、台風後清掃。2 層掘削開始。3 a 層上面遺構検出作業開始。一部 3 層の掘削も開始。台風 21 号上陸。掘立柱建物検出。

【平成 16 年 10 月】
ピット多数検出。掘立柱建物の可能性も考慮して検出する。Ⅰ区残りの部分の表土剥ぎが終了、鋤簾による清掃開始。
【平成 16 年 11 月】
ピットや土坑が多く検出され始める。柱痕を確認したピットについて、掘立柱建物の検討を開始。
【平成 16 年 12 月】
引き続き、2 層、3 層掘削、遺構検出、掘立柱建物の検討。現在の調査面から次の調査面までの間にある間層の重機による除去開始。
【平成 17 年 1 月】
7 日､作業再開。3 c 層上面清掃開始。3 c 層掘削開始。土坑確認。3 d 層（ＳＤ 01）掘削開始。
【平成 17 年 2 月】
3 d 層（ＳＤ 01）上面を空中写真撮影。3 d 層上面焼土集中箇所掘削開始。焼土集中箇所より炭素 14 年代測定用炭化物サンプリング。
【平成 17 年 3 月】
焼土集中箇所及び土坑など、遺構の掘削、図化開始。遺物取り上げ業務履行。24 日、平成 16 年度の現場作業員による掘削作業終了。28 日、平成 16 年度発掘調査に伴う費用精算検査。31 日、現場事務所閉鎖。
【平成 17 年 4 月】
各種契約、起案など。
【平成 17 年 5 月】
16 日､調査開始。作業員によるⅠ区ＳＤ 01 掘削再開。Ⅱ区表土剥ぎ開始。Ⅱ区清掃開始。Ⅱ区撹乱除去開始。Ⅱ区 2 層掘り下げ開始。
【平成 17 年 6 月】
柱穴、ピットなど確認。Ⅰ区ＳＤ 01 完掘。ピットなど半裁開始。Ⅰ区 4 a 層、Ⅱ区 3 a 層掘削開始。Ⅲ区表土剥ぎ開始。Ⅰ区完掘。
【平成 17 年 7 月】
Ⅲ区清掃開始。五木中学校の生徒 2 人が体験学習に来る。Ⅲ区残りの部分の表土剥ぎ後、Ⅱ区の間層を重機によって除去。Ⅱ区の清掃・掘削開始。
【平成 17 年 8 月】
Ⅱ区精査・遺構検出。Ⅱ区で溝（ＳＤ 01）確認。ＳＤ 01 掘り下げ開始。遺物取り上げ。
【平成 17 年 9 月】
Ⅲ区掘り下げ、撹乱掘削のみ。
【平成 17 年 10 月】
Ⅱ区の完掘写真撮影。土層の堆積状況から、Ⅲ区の北側は小学校建設時あるいはそれ以前に造成され、Ⅳ層より上の層が残存していないことが判明。作業員雇用 5 ヶ月経過したので、一旦現場は終了。
【平成 17 年 11 月】
14 日、現場再開。Ⅲ区掘り下げ。3 d 層と思われる黒色土はⅠ区、Ⅱ区で検出されたＳＤ 01 の続きではないかと判断するが、来年度調査区部分をあけてみないとわからない状態である。Ⅳ区の表土剥ぎを開始。
【平成 17 年 12 月】
Ⅳ区表土剥ぎが終了。Ⅳ区掘り下げ開始。Ⅲ区の 3 d 層の範囲は、来年度調査区にまたがるので、来年度調査区とともに調査することとする。これにより、Ⅲ区の掘り下げは一旦終了。土坑確認。集石確認。
【平成 18 年 1 月】
10 日、作業再開。集石の精査。新たに土坑確認。埋蔵文化財サポートシステムによる集石実測・トレース業務の履行開始。
【平成 18 年 2 月】
Ⅳ区の掘り下げ。
【平成 18 年 3 月】
Ⅲ区掘り下げ。平成 17 年度発掘調査に伴う費用精算検査。30 日、平成 17 年度の作業終了。
【平成 18 年 4 月】
各種契約、起案など。
【平成 18 年 5 月】
15 日、作業再開。Ⅳ区掘り下げ。土坑掘り下げ。
【平成 18 年 6 月】
土坑など完掘､写真撮影。図面作成。集石実測。21 日、Ⅴ区表土剥ぎ開始。
【平成 18 年 7 月】
Ⅴ区表土剥ぎ、終了。Ⅴ区メッシュ杭設置業務。Ⅴ区清掃後、撹乱部分掘削。雨の日が多く作業進まない。
【平成 18 年 8 月】
Ⅴ区掘り下げ 14 ～ 18 日､盆休み。雨の日が多かった。土坑検出。

【平成 18 年 9 月】
Ⅴ区掘り下げ。土坑掘削。図面、写真撮影。
【平成 18 年 10 月】
Ⅴ区ＳＤ 01 掘削。
【平成 18 年 11 月】
Ⅴ区を南側に拡張。Ⅴ区掘削。ＳＤ 01 掘削継続。
【平成 18 年 12 月】
Ⅴ区掘削。ＳＤ 01 掘削。空中写真撮影。27 日、現場一旦中断。
【平成 19 年 1 月】
9 日、現場再開。Ⅴ区掘削。ＳＤ 01 掘削。ピットなど検出。
【平成 19 年 2 月】
Ⅴ区掘削。ＳＤ 01 掘削。ピット・土坑掘削。ピットなど図面作成、写真撮影。
【平成 19 年 3 月】
Ⅴ区掘削。ＳＤ 01 掘削。ピットなど掘削。ＳＤ 01 完掘。図面作成、写真撮影。ピットなど図面作成、写真撮影。20 日、平成 18 年度発掘調査に伴う費用精算検査。遺物運搬、器材撤収。プレハブ解体・撤収。
（ここまで木村稿）

1-1-5　整理体制

整理作業は、平成 19 年度は熊本県文化財資料室（熊本市中央区渡鹿）、平成 20 年度並びに平成 23 年度から平成 24 年度までは熊本県文化財資料室（熊本市南区城南町沈目）にて実施した。

なお、整理担当者は以下のとおりである。

整理責任者

文化課長が担当した。
H19　梶野英二（文化課長）
H20　米岡正治（文化課長）
H22　小田信也（文化課長）

整理統括

課長補佐が担当した。
H19　江本直（課長補佐）
H21　木崎康弘（課長補佐）
H24　西住欣一郎（課長補佐）

整理指導

文化財調査第一係長が担当した。
H19　高木正文（課長補佐、文化財調査第一係担当）
H21　村崎孝宏（主幹兼文化財調査第一係長）

整理担当

文化財調査第一係職員が担当した。
H19　木村龍生（学芸員）～ H20
H19　坂本千恵（非常勤嘱託）
H19　角田沙織（非常勤嘱託）～ H20
H20　仙波靖子（非常勤嘱託）～ 5 月
H20　宮本千恵子（非常勤嘱託）10 月～
H23　宮崎敬士（参事）7 月～

整理作業員

上田律子、境美恵子、青山玲子、井上裕美、尾方マサミ、興梠富貴子、浪床せい子、濱崎清子、前田佳代子、吉岡直子。
山内洋子、岩瀬朱実、菅紀美代、徳永文香、中島美絵、二田美記子、橋本恭代、原田春子、福野久男、古森信哉、松本利惠子、丸山勉、溝口健造、村上千恵子、村中律子、山下千栄子、山元友子。
（順不同）

なお、図版作成に際しては山口節子、末武希代子、野中愛、遺物写真の撮影に際しては村田百合子、蓮池千恵、松本智子の協力を得た。ここに記して、衷心より感謝申し上げる。

また、編集に際しては山口節子、吉岡直子、園田尚子、田中知恵美、浪床せい子、平岡春代、廣瀬恵子、山本邦子、渡邊いわ子の多大な協力を得た。特に記して、感謝の誠をささげたい。

1-1-6　整理経過

整理作業は、発掘調査期間中は発掘調査事務所で一部を実施し、平成 19 年度から平成 20 年度まで、並びに平成 23 年度から平成 24 年度までの期間に熊本県文化財資料室で実施した。

整理作業は、水洗、註記、接合、復元、実測、製図の各作業を経て、その成果が報告書に編集される。熊本県文化財資料室では、これらの作業を、水洗から復

元までの作業を主に担当する一次整理と、実測、製図を主に担当する二次整理とに分かち、職員等、各担当者の整理計画にもとづき実施している。

平成 19 年度から平成 20 年度までの整理作業は、木村龍生（学芸員）、坂本千恵、角田沙織、仙波靖子、宮本千恵子（非常勤嘱託）を担当者として、一次整理、石器実測図のレイアウト（一部）、調査区Ⅳ区出土土器実測図のレイアウト、遺構実測図のトレースまでの整理作業を実施した。

一次整理は、現場事務所での洗浄、註記が未了であった遺物を対象として実施し、洗浄は平成 20 年 6 月、註記は平成 20 年 11 月に完了した。その後、接合、復元に移行した。土器の二次整理は、調査区Ⅳ区を対象として担当者が実測、トレースを手書きで行い、割付台紙にレイアウトを行った後、画像取り込み作業を外部委託してデジタルデータ化し、担当者が「Adobe Illustrator」（アドビシステムズ株式会社）で写植作業を行い、版下データを作成した。石器の二次整理は、石錘は担当者が行い、他の石器はすべて外部委託した。実測作業はともに方眼紙に手書きし、担当者は「トレースくん Cubic」（株式会社 CUBIC）、外部委託は「Adobe Illustrator」を使用してデジタルトレースしている。その後、担当者がレイアウト、写植作業を「Adobe Illustrator」にて行い、版下データを作成した。遺構実測図の二次整理は、トレース作業の一部を外部委託した。遺構実測図は「トレースくん Cubic」を用いたデジタルトレースとし、担当者が「Adobe Illustrator」を使用してレイアウト、写植作業を行った。

この段階まで進行した整理作業は、熊本県知事が球磨川河川整備基本方針への不同意の方針を表明し、財務省が川辺川ダム本体工事に係る費用を認めなかったことにより、平成 21 年度から平成 22 年度まで中断する。

整理作業は平成 23 年度から再開された。6 月県議会での承認を経て、7 月から準備作業に入り、8 月には人員、設備等を整え、コンテナ 930 箱にのぼる整理未完の遺物を主対象とした作業に着手した。整理作業の迅速化を図るため、文化財資料室分室（熊本市南区城南町宮地）を設け、進行管理、一次整理、二次整理等、諸業務を外部委託する等、種々の方途、方策を講じた。

文化財資料室分室における整理作業は、調査区Ⅰ区、Ⅱ区、Ⅲ区、Ⅴ区出土土器の接合作業から再開されている。石器は、実測未了の石鏃、石錐、石匙、不定形石器、石斧、石皿等を実測し、併せて、チャートを素材とする石器群を計測、分類、接合した。

1-1-7　保存及び活用

頭地下手遺跡調査では、平成 17 年 7 月に五木中学校生徒 2 名の体験学習の場となる等、現地における発掘調査の段階から埋蔵文化財の活用に努めている。

1-1-8 調査協力者

現地調査、整理の過程において、多くの方々から暖かな援助と指導をいただいた。御芳名を記し、衷心より感謝申し上げる。

松本寿三郎、佐藤伸二、富田紘一、木村幾多郎、島津義昭、山崎純男、中村幸史郎、越知睦和、清田純一、福原博信、出合宏光、五木村のみなさん。肥後考古学会、五木村及び五木村教育委員会。

（順不同、敬称略）

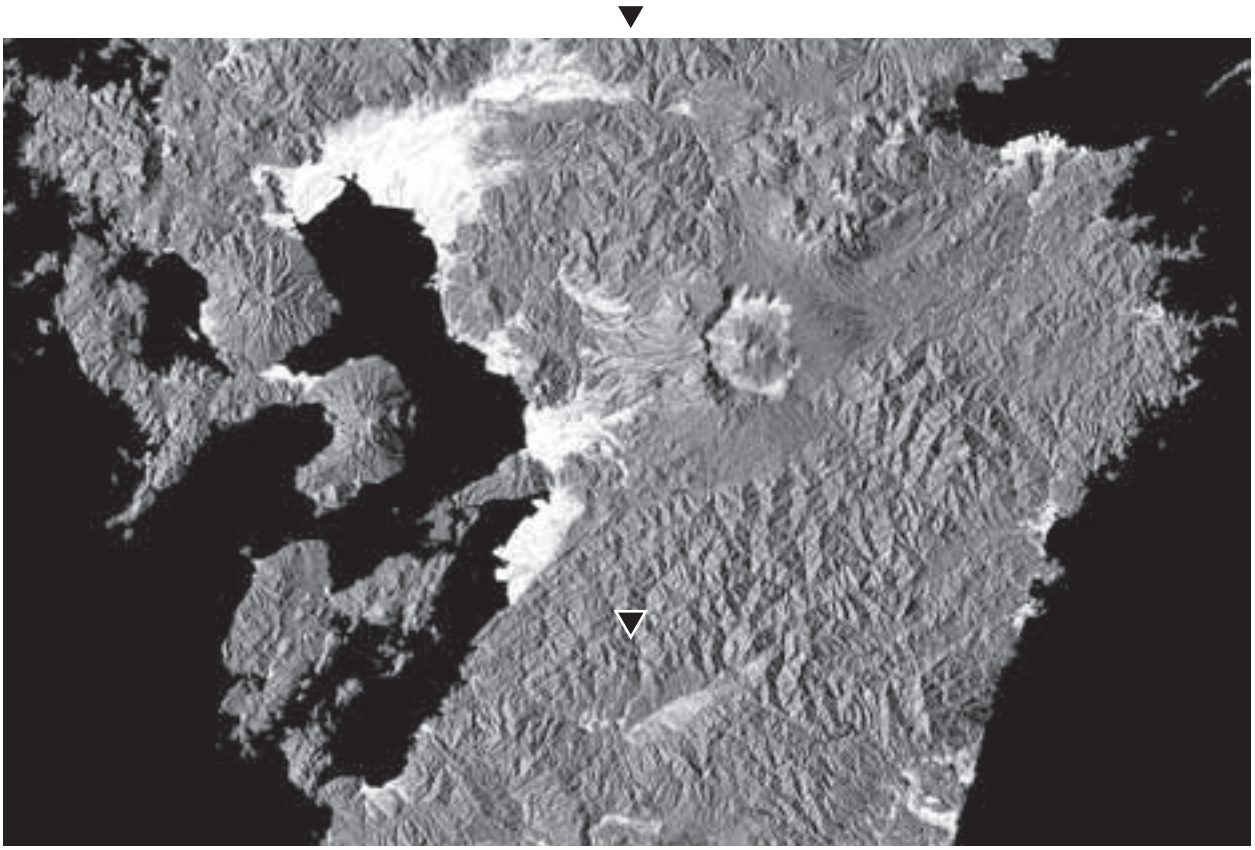


図 1　　頭地下手遺跡の位置（中九州）

図 2　　頭地下手遺跡の位置（五木村）

1-2　頭地下手遺跡の立地と構造

頭地下手遺跡は、熊本県球磨郡五木村に所在する。この五木村の先史遺跡の立地と構造について、熊本大学考古学研究室はその分布調査報告にあたり次のとおり報告した。

熊本県の中央部には臼杵―八代構造線が東西に走っている。その北側はいわゆる城北穀倉地帯を含む農耕地帯であり、南側は京丈山（1412 m）、国見岳（1739 m）、市房山（1722 m）などの山々を持つ急峻な山岳地帯である。

この山岳地帯には日本三大急流のひとつである球磨川が市房山から西に発して人吉盆地によどみ、北に方向を転じて八代から不知火海に流出している。一方、この調査の直接の対象地を流れる川辺川は京丈山・国見岳にはじまり、五家荘・五木の山々を南に貫流し、人吉盆地で球磨川に合している。

水系を逆にたどると、球磨川については市房山の南斜面米良荘から一ノ瀬川を下って古墳群の西都原に 1 日の行程であり、川辺川を遡行すればその水源近くから直ちに熊本方面の平野を俯瞰することができる。また両河の合流点をそのまま南下して川内川・新川・大淀川の各水系に入るのは更に容易である。

その地勢から自明なことであるが、この地域の気候は山地型のそれで、年平均気温 15℃以下、1 月の平均気温 5℃以下、1000 m以上の所では夏でも 30℃を超えることは稀である。しかし、比較的湿潤であって、年間降水量は 2000㎜を超える。

標高 1700 m級の山岳の頂部には北方系の植物が分布するが、吉良氏の気候区分図によると河谷は頭地付近まで暖帯に属して照葉樹林帯がひろがり、周辺の高地や更に上流の地方には温帯の落葉広葉樹林帯が続いている。

以上に略記した諸条件は、このあたりが先史文化の展開に必ずしも不適当な地域ではなく、かえって九州先史文化の究明に措くことのできない問題を内包していることを示している。

その植生はそこに棲息する獣類と相俟って狩猟採集経済の前提となり得るものであり、その河川は先史時代の人々の手に負える大きさで、魚類と河岸に続くクズ・カラスウリなどの大群落は他の地域に比して有利な条件であったとすら思われる。

しかし、地勢の急峻と、九州の他地域に比較した場合の気候の冷涼は覆い難い。文明が都市に偏在する現代ほどの僻地性はなかったにしても、従来の考古学的な調査で判明している平野部の先史文化の様相とは異なる生活の展開があったのではないか。後進地における多くの民族学的な調査が金属器以前における地域的分業の意義を指摘しているが、その前提となる地域的な生活の相違がここでも指摘できるのではないか―。

それに加えて、この方面の地勢の巨視的な様相は、先史の時代から人吉方面が南九州の東部・西部・南部を繋ぐ人文の交流点に当たり、それらをまとめて川辺川が中九州との連絡の役割を負っていたことを予察させる。時期によっては日本全域にわたって文化の連続がみとめられ、九州の内部でも各地域がそれぞれの特性を持ちながら相互に深い繋りを持ちあっているのだから、その繋りのできあがる具体相の一端が川辺の河谷で押えられるのではないか―。

こうした一般的な問題に加えて、ダムによる水没と云う焦眉の問題がある。この地域においては頭地下手遺跡ただひとつが小規模の学術調査を受けているにすぎない。いわば調査の処女地に近い。放置すれば一切が水底に沈み、研究の対象が遠くへ去ってしまう。そればかりか住民たちはその出自に関する誇りを失って彷徨することを余儀なくされる。それで、今回の調査は、これに対応するための本格的な調査の基礎づくり―遺跡乃至遺物散布地の現状確認と新遺跡の発見―に終始した。

〔1979 白木原和美、嶋田光一、村田多津江「球磨郡五木村先史遺跡分布調査報告」『川辺川流域総合予備調査報告』川辺川流域総合予備調査団、pp137-138〕

a：沖積層　A4：阿蘇 -4 火砕流堆積物　aj：砂泥岩泥岩互層、砂岩を主とする層（箙瀬層、宮園層）　aKT：砂岩泥岩互層、砂岩を主とする層
AT：姶良火砕流堆積物　c：チャートあるはチャートを主とする層　cg：礫岩（宮園層）　cm：苦鉄質火山岩類を含む複合岩類（流峰山変成岩類）
dM：中から珪長質貫入岩類　gP：花崗岩類（古生代）（黒瀬川古期岩類）　Ha：八竜山層　Ksa：袈裟堂層　Kwg：川口層　ls：石灰岩あるいは石灰岩を主とする層　mJ:整然層的泥質（宮園層）　mKT:泥岩および砂岩泥岩互層　mTr:整然層泥岩、砂岩泥岩互層を主とする層（スランプ層を含む）（河内ケ谷層位相層）　mv：苦鉄質火山岩類 oh：小原層　oJ：泥質岩を主とする層（オリストストローム相）　oKT：泥質岩を主とする層（オリストストローム相）　rKT：整然層的泥質ガンを主とする層（しばしば凝灰岩を挟む）　sJ：砂岩を主とする層（チャート砕層岩シークエンス）　sKT：砂岩を主とする層　t1：低位段丘堆積物　t2：中位段丘堆積物　tKT：泥岩優勢砂岩泥岩細互層　um：超苦鉄質岩類　vJk：苦鉄質火山岩類、石灰岩、チャート、泥質岩（オリストストローム相）（神瀬帯）　熊本県地質図編纂委員会（2008年）に基づく

図 3　　頭地下手遺跡　地質図（1/100,000）

1-2-1　地質と地形

日本列島は、ユーラシア大陸の東縁に位置する5つの島弧の集合である。西から琉球弧、西南日本弧、東北日本弧、千島弧が連続し、伊豆ー小笠原弧は南伸してマリアナ、グァム、パラオへと続く。各島弧は海溝に面し、島弧が縁海を囲繞する環海構造を形成する。西から述べれば、琉球弧は環東シナ海、西南日本弧、東北日本弧は環日本海、千島弧は環オホーツク海といった環海構造をユーラシア大陸との間に形成している。そして、これらの環海構造は島弧部分において重なり、南から北へ連なっている。

九州は、列島の最も西側に位置する琉球弧の中では最大の島であり、かつ、琉球弧の北端に位置する。その北は対馬海峡を経て韓半島からユーラシア大陸に連なり、南は台湾、台湾海峡を経てユーラシア大陸に臨み、環東シナ海構造を形成している。また、九州の北半部は関門海峡、豊後水道を挟んで西南日本弧に連なり、環日本海構造の南端を担う。

九州、四国では中央構造線が東西に走向し、その南には山地が連続して形成されている。

熊本地域では、三郡帯、領家帯、黒瀬川帯、秩父帯南帯、四万十帯が主要構造体となり、北から南に帯状配列している。領家帯と黒瀬川帯の境界は臼杵 - 八代構造線（中央構造線）と呼ばれ、その南には急峻な九州山地が形成されている。海溝に沿って形成されるチャートや石灰岩が島弧側に押し上げられて付加された地質体（付加体コンプレックス）が帯状に分布し、基盤層を形成している。さらに南側、秩父帯南帯と四万十帯を区分する断層は仏像構造線(大坂間構造線)と呼ばれ、その南は砂岩や泥質岩が基盤層となり、人吉盆地へと続いている。

人吉盆地以南では入戸火砕流等、第四紀以後の火山噴出物が厚く堆積する。対して、九州山地の北側には臼杵 - 八代構造線を挿み、別府 - 島原地溝が並走している。この地溝内には島原、阿蘇、九重、由布 - 鶴見の各火山が分布し、火砕流をはじめとする第四紀以後の火山噴出物が厚く堆積している。

臼杵 - 八代構造線より南側の九州山地は、その南北に位置する火山噴出物が堆積した平坦な地域とは異なり、堆積岩を基盤層とした急峻な山地帯を形成している。この地帯は環日本海構造の西端を占め、環東シナ海構造との結節点となり、西南日本の外帯に属する九州南半部の北端を担っている。

1-2-2　地理と生態

九州を南北に縦走する九州脊梁山地を境として、九州は東西にも区分することができる。その九州西半部のほぼ中央に熊本地域が位置する。熊本地域は、有明海と東シナ海とを画す島嶼部（天草地域）、九州脊梁山地に連なる山岳部（阿蘇地域及び球磨地域）、そして平野部（肥後地域）とに大別することができる。

この九州を東西に画する区分は平野部を中心とした区分ともいえる。九州西半部には日本海及び有明海に面して平野部が連続、または山塊、丘陵等により断続して広がる。この連続または断続する平野部の南限は先の臼杵 - 八代構造線であり、球磨川が沖積した八代平野がその最南端の平野部となる。

球磨川は、球磨郡水上村の石楠越（標高 1,391m）、水上越（標高 1,458m）に発し、人吉盆地を西流し、九州山地を北流して八代海にそそぐ、延長 115km、流域面積 1,880㎢の熊本県内最大河川である。この球磨川水系最大の支流が川辺川である。川辺川は、熊本県最高峰の国見岳（標高 1,739m）に源を発し、九州脊梁山地の五木、相良を南流し、人吉盆地で球磨川に合流する延長 62km、流域面積 533㎢の河川である。川辺川の流れは万丈の山を発し､千仞の谷をつらぬき、平坦地をつくる寸暇をも惜しんで疾疾と南下する。

川辺川を人吉盆地から遡上したとき、最初に出会う沖積地が頭地地区である。この頭地で五木小川と五木川が合流し、川辺川本流となっている。五木小川と五木川の合流点北側と川辺川左岸には堆積段丘が形成され、その上位には河岸段丘も存在している。これらの各段丘には縄紋時代以降の集落が営まれ、合流点北側は久領上園遺跡、川辺川左岸は河岸段丘には頭地田口遺跡、頭地松本遺跡、下位の堆積段丘には頭地下手遺跡が展開している。なお、川辺川流域には阿蘇 4 火砕流堆積物（阿蘇凝灰岩）が点在するが、その最大分布地は頭地である。川辺川左岸の山裾に沖積地を上回る広さで分布し、その下限は沖積地に接している。ま

図 4　　頭地下手遺跡　位置図（1/100,000）

た、河岸段丘の段丘崖には湧水が分布している。頭地下手遺跡の南北両端に位置した湧水群は、現代も簡易水道として利用されていた。

川辺川の沖積地は、頭地から五木川を 5km 遡上した宮園地区にもあり、この 2 箇所のみの分布となる。宮園地区の沖積地は五木川両岸に堆積段丘として展開し、上位には河川段丘が伴う。宮園地区においても、縄紋時代、弥生時代を中心とした複数の小規模遺跡が分布している。なお、宮園地区にも阿蘇凝灰岩が分布するが、湧水は分布していない。

川辺川流域の資源には、魚類が含まれる。魚種は、宮園地区までの上流側はタカハヤ、下流側はウグイが優占種となる。この他、ヤマメ、アユ、カマツカ、カワムツ、オイカワ、ウナギ、ドンコ、ヤツメウナギが生息していた。ウナギ、ウグイ、ドンコには「一週間漬け」と呼ばれるワナ漁、アユにはヤナ漁、友釣り、投網漁、刺し網漁を用いた漁撈がおこなわれていた。この他、ウナギにはウケ漁、釣りも併用され、ヤマメはヤスを用いた突き漁がなされている。魚種が限定されている中で、ワナ、アミ、ハリ、ヤスと多様な漁撈具を使用するといった特徴を備えている。なお、優占種は、宮園地区はタカハヤ、頭地地区はウグイ、と両地区で差異が生じている。

1-2-3 人文

五木谷は、五木川の流域を東俣、五木小川の流域を西俣と呼称され区別される。

五木谷に関する史料の初出は 12 世紀末で、当該地域は永吉庄に属し、建久 2 年（1191）5 月 3 日の「良峯師高所領譲状案」（平河文書）の「平川三郎師高重代所領田数　注文」に「一所　同郡同庄之内五木之村さつし三百束、いた千五百、うるし三百」と記される。他地域の情報が田地について記載されるのに対し、五木谷においては「さつし」、「いた」、「うるし」など雑物の負担であった。

また、『肥後国絵図』には、「五木村田なし」と記され、石高は 161 石 2 斗五升とされる。その外、「五木内」については、「平野やしき田なし」「白岩戸やしき　田なし」「内谷やしき田なし」との記載がみられる。「肥後国絵図」における「やしき」とは、村々の中で規模が小さく、単独で村落として把握され難い零細な村落であるとされ、本村に包含される存在である。

また、寛永 11 年（1634）の『郷村高辻帳』には、「田無山畑役無五木谷」と記される。同 18 年（1641）の検地帳によれば分米 540 石 6 斗余とされ、田畑の内訳をみると下田 5 反 9 畝余、下畑 18 町 7 反 3 畝余、野畑 3 町 3 反 7 畝余、山畑 104 町 3 反 5 畝余、屋敷 9 町 6 反 9 畝余で山畑が最も多く、合計 136 町 7 反 4 畝余である。これらの耕地からの納米高は、同 21 年（1644）の御蔵納 2 石 4 斗 9 升 5 合、新田 5 斗 7 合、屋敷水田 2 斗 1 升、計 3 石 2 斗 1 升 2 合である。この記録から、下畑、野畑、山畑は免税であったものと考えられる。

享保 6 年（1721）には、水田は僅か 1 町 5 反 7 畝余で、その分米 2 石 8 斗余、そのほか上羽錦 884 匁余、冥加銀 825 匁、茶 6,893 斤余、漆 16 貫 922 匁余、万銀 325 匁余のほかに、雑紙 50 束、猪鹿肉 40 斤を負担していた。特に五木茶は有名で、換金作物として重要であり、八代の商人を通じて流通した。

「諸郷地竈万納物寄」によれば、安永 3 年（1774）の軒数 391、うち郷士 52、寺社 5、百姓 317、又百姓 17、人口 2,429 人である。

文化 12 年（1815）の『五木谷村絵図』によれば、頭地の田口に庄屋元が置かれている。各小村には、他村で郷侍・郷士と呼ばれるところ、地頭（旦那）が置かれ、村人は地頭の土地を貸借して焼畑を行い、「トウド」と呼ばれる賦役的労働が伝統的な慣行として行われていた。地頭所在の小村は平沢津、宮園、穂揚枝、平野、栗木鶴、八重、岳、入鴨、梶原、九折瀬、八ッ原、掛橋、溝の口、松本、二瀬、栗瀬、舟戸、板木、下谷、逆瀬川、大久保、野々脇、清楽、相瀬、久領、今村、高野、土会平、平瀬、折立、白岩戸、中村、出ル羽の 33 村である。　　（この「人文」のみ木村龍生稿）

以上のような環境のもと、縄紋時代から現在まで、頭地下手遺跡と久領上園遺跡を擁する頭地地区が川辺川流域の最大拠点であり、頭地下手遺跡が最大規模の縄紋遺跡である。

1-3 調査の方法と成果

表土は重機を用いて除去し、包含層及び遺構は人力により精査し、掘削した。

現地における記録は、以下の方法に拠り作成した。遺構実測図は、グリッドから実測用メッシュを張り、縮尺 1/20 を基本として 1mm 方眼紙に作図した。なお、必要に応じて、光波測距議を用いた点取り等を行った。写真は、遺跡環境を対象とする航空写真は外部委託し、遺構、遺物を対象とした写真には中判カメラ、35mm カメラ並びに白黒ネガ、カラーリバーサルの 2 種類のフィルムを用いて撮影している。この他、調査日誌を作成し、調査の過程、調査の見解等、必要事項を記録している。

現地調査終了後は、熊本県文化財資料室で資料整理、記録作成を進め、一次整理は人力の集中、二次整理は作業のデジタル化、そして外部委託の導入等、種々の方途、方策により迅速化を図っている。

1-3-1　発掘の方法

発掘調査に際しては、グリッド法及び分層発掘法を採用した。

グリッド法

グリッドは、世界測地系に則り、平面直角座標第Ⅱ系に準拠して 10m グリッドを設定している。しかし、グリッドの名称は、各調査区独自の論理に拠り、4 種の異なる名称設定とその表記がなされている。

Ⅰ区は、グリッド北東隅の座標杭を基準杭とし、その座標値 (X= － 100a － 10b、Y= － 100c － 10d) を「acbd」と表記し、グリッド名としている。

Ⅱ区は、調査区Ⅱ区のみを対象として平面直角座標第Ⅱ系に準拠した 10m グリッドを設け、その東西軸には西端を起点として「A、B、C…」のアルファベット（大文字）を、南北軸には北端を起点として「1、2、3…」の算用数字を与え、両者を「A-1」、「A-2」、「A-3」と「-」で連結し、グリッド名としている。

Ⅲ区は、調査区Ⅲ区を対象として平面直角座標第Ⅱ系に準拠した 10m グリッドを設け、その東西軸には西端を起点として「A、B、C…」のアルファベット（大文字）を、南北軸には北端を起点として「1、2、3…」の算用数字を与え、両者を「A1」、「A2」、「A3」と表記し、グリッド名としている。

Ⅳ区は、調査区Ⅳ区を対象として平面直角座標第Ⅱ系に準拠した 10m グリッドを設け、その東西軸には西端を起点として「1、2、3…」の算用数字を、南北軸には北端を起点として「A、B、C…」のアルファベット（大文字）を与え、両者を「A1」、「A2」、「A3」と表記し、グリッド名としている。

Ⅴ区は、Ⅲ区に北接する調査区であり、Ⅲ区のグリッド設定方法のもと、Ⅲ区グリッド名に連続したグリッド名となっている。

Ⅰ区のグリッド設定手法は、頭地下手遺跡全体を包括する合理的なグリッド設定手法である。対して、Ⅱ区からⅤ区までのグリッド設定手法は、遺跡全体を対象とせず、先行調査との継続性を否定し、その設定手法すら一貫しない方法である。事実、Ⅱ区からⅤ区までのグリッド設定により、同一グリッドが異なる名称で表記された状況が生じている。

分層法

各層は、土壌色、粒状構造等、により区分されている。層名は、上層からローマ数字を用いて「Ⅰ層」、「Ⅱ層」、「Ⅲ層」と表記し、細分した層位は、上層からアルファベット小文字を付加して「Ⅲａ層」、「Ⅲｂ層」、「Ⅲｃ層」と表記している。各層の土壌色、粒状構造等は、「新版標準土色帖」（農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修）に準拠して記録されている。

頭地下手遺跡の基本層序は、次のとおりである。

Ⅰ　層：表土。五木東小学校建設の造成土を含む。
Ⅱ　層：黒褐色土。陶磁器を包含する。
Ⅲａ層：Ⅱ層とⅢｂ層の漸移層。両層が混じり、淡褐色をおびる。縄紋土器、古墳時代須恵器を少量包含する。
Ⅲｂ層：黄褐色土。明瞭な土色と硬い土質をそなえる。
Ⅲｃ層：黄褐色土。土壌がシルト化する。縄紋土器を少量包含する。
Ⅳａ層：暗褐色砂。縄紋土器を少量包含する。
Ⅳｂ層：オリーブ褐色砂。

なお、遺構埋土ではあるが包含層と同様の表記をしている層として「Ⅲｄ層」がある。Ⅲｄ層は、遺構

SD1 の埋土であり、縄紋土器を包含し、Ⅲ c 層の直下、Ⅳ a 層の直上に序される黒色シルト層である。この表記「Ⅲ d 層」は、Ⅰ区調査時に当該黒色シルト層（Ⅲ d 層）は遺物包含層と認識されていたことにより生じたものである。そして、当該黒色シルト層（Ⅲ d 層）が遺構 SD1 の埋土と認識された後も当該表記は承継され、現在に至っている。

この他、ローマ数字を算用数字に変換した表記、Ⅲ b 層を上層、Ⅲ c 層を下層と別名を用いた表記が存在し、実測図、遺物カード、出土遺物等に用いられている。

報告書への記載法

上記のとおり、発掘調査において用いられたグリッド法、分層法のいずれにも、調査中に表記に混乱が生じ、整理されることなく現在に至っている。

本書では、グリッド名、層名の調整は一切実施せずに記載し、報告する。

これは、出土遺物への註記が既に完了していること、現地調査と報告書の担当者が異なること等、新たな調整が新たな錯誤を生む可能性が高く、これを回避するための措置である。

1-3-2　整理の方法

現地調査事務所では、現地調査と併行して出土品を水洗し、註記した。現地調査終了後、文化財資料室で実施した一次整理は、土器等の接合作業から開始されている。接合作業は、調査区を作業単位として展開し、まず、遺構又はグリッドを単位として接合を実施し、後、遺構とグリッド、さらに隣接グリッド接合を実施した。なお、土器の接合には接着剤「セメダイン C」(セメダイン会社製) を用いた。

復元作業は、調査区を作業単位とし、調査区Ⅳ区単独、並びに調査区Ⅰ区、Ⅱ区、Ⅲ区、Ⅴ区の 4 調査区を単位として実施した。なお、土器の復元には修復材「デンカ・キューテックス」(東郷化成株式会社製) を用いた。

文化財資料室における二次整理は、実測及び製図作業であり、その一部は外部に委託している。実測作業は、石器類等、すぐに実測に着手可能な遺物から開始し、順次、復元作業が終了した土器に移っている。なお、遺物の種類を問わず、実測はすべて縮尺 1/1 で実施し、実測用紙には 1mm 方眼紙を用いた。

製図作業は、作業年度により方式が異なるが、電子トレース方式で実施した。

なお、整理作業に際しては、各遺物に実測番号を付して、復元、実測、製図作業を実施している。ただし、遺構等の出土単位、あるいは遺物等の種別単位で実測番号が付されておらず、実測番号に一意性があるとは限らない状況が生じていた。

本書では遺物を土製品 (RP)、石製品 (RQ) に区分し、その掲載順に図版番号を付し、図版番号を用いて本文を記述している。

1-3-3　調査の成果

頭地下手遺跡から出土した主要な遺構は、溝 1 条 (SD1)、集石（集石 1、2)、土壙（SK1 ～ 10)、掘立柱建物（SB1 ～ 7）であり、この他、小ピット等が多数検出されている。

この他、縄紋時代後期の遺物を多数発掘した。これらについては、「2　土器（RP)」、「3　石器（RQ)」で詳細に報告する。

溝（SD)

溝は、1 条（SD1）を調査した。

SD1 は、調査区Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ区にわたり検出された溝である。最大幅 10m 程度、最小幅 4m 程度、底幅 2m 以上で延長 90m 程度の溝である。溝の長軸は中央で屈折し、西半部は概ね東西、東半部は東北東に走向する。屈折部分では南側に突出部が加わり、溝端は直線的に切られた壁が側壁よりも鉛直に立ち上がっている。

この SD1 には多量の縄紋時代遺物が包含されており、9520 グリッドでは溝上層に焼土塊を含むブロックが凝集していた。この多量の遺物を含む埋土は、「Ⅲ d 層」として一括して区分して、調査されている。

なお、溝の成因と溝堆積について、人為または自然の別を調査者は判断していない。この報告書作成に際して引継ぎ等をお願いした際にも伺ったが、同様であった。

また、SD1 は、「Ⅱ区の溝を SX03 とする」、「Ⅰ区

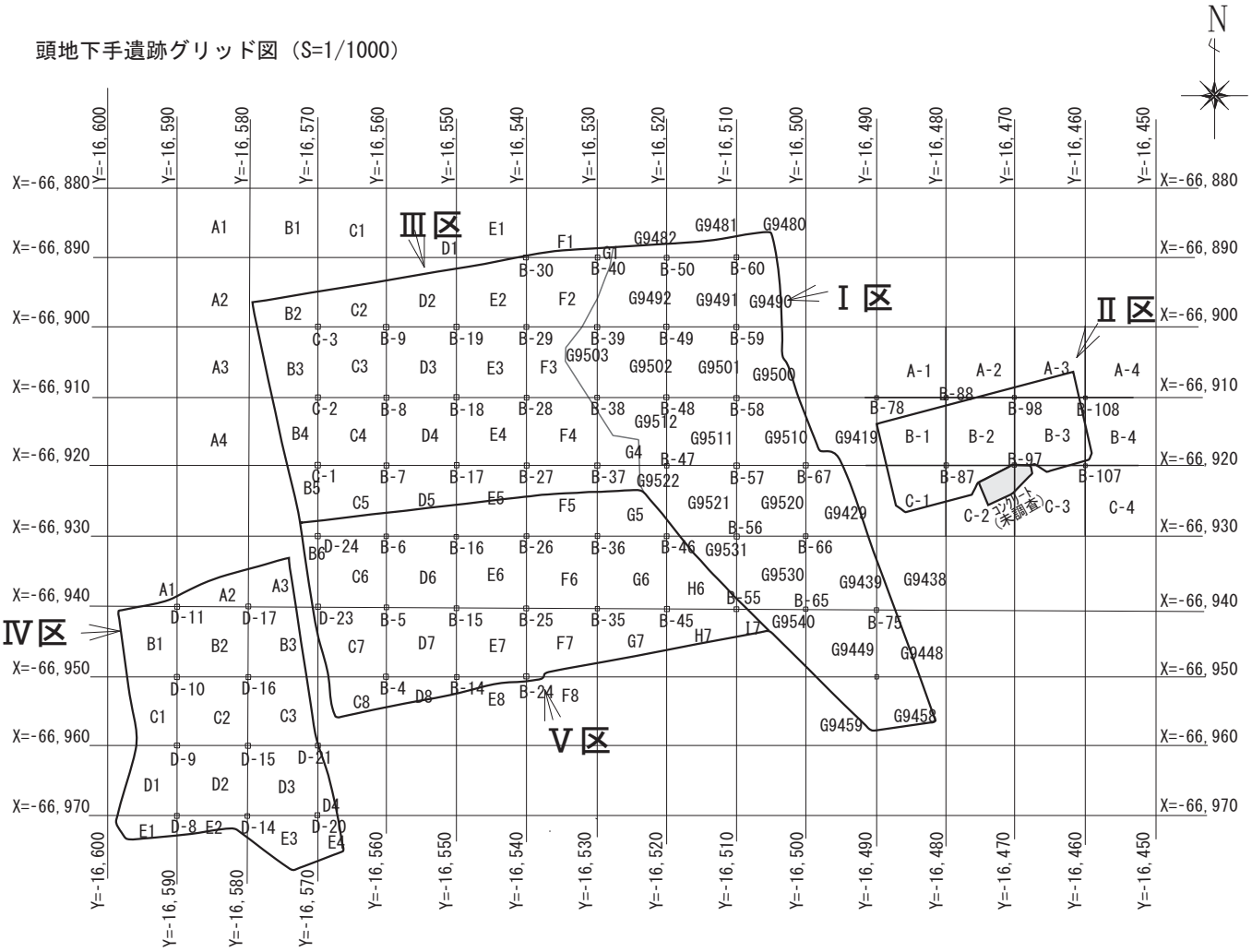


図５　頭地下手遺跡　グリッド図

の続きの溝（Ⅴ区）をSD2とよぶこととする」と調査日誌に記載があり、その一部を「SX03」「SD2」として調査された履歴をもつ。

集石

集石は、２基（集石１、２）を調査した。

集石１、２は、調査区Ⅳ区のⅢｂ層で検出された礫群である。集石１は長方形、集石２は方形の平面プランを呈して礫群が分布している。集石１は、一部、深部に礫が分布するが、集石２は平坦な分布をみせる。

同様の集石は、川辺川対岸に位置する久領上園遺跡では礫集石遺構１基、集石遺構12基を調査しているが、年代測定の結果も併せて、近世墓の可能性が高い、と結論している。

土壙（SK）

土壙は、10基（SK1 ～ 10）を調査した。

SK1 ～ 10は、調査区Ⅳ区で調査された土壙である。その規模と構造から大小２類に分かつことができる。

掘立柱建物（SB）

掘立柱建物は、７棟（SB1 ～ 7）を調査した。

SB1 ～７は、調査区Ⅰ区のⅢａ層で検出された掘立柱建物である。中世から近世までの遺構である。

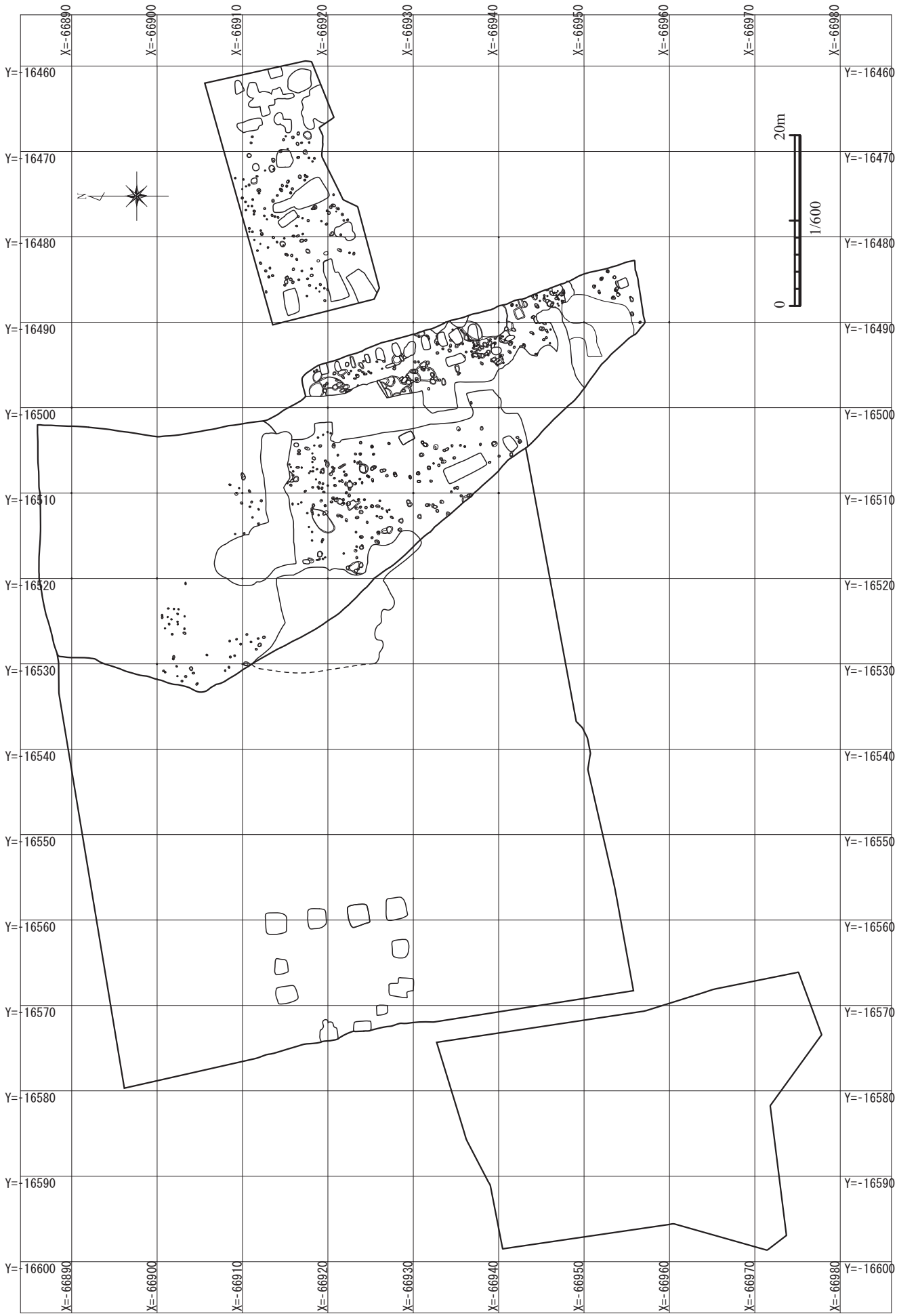


図6　頭地下手遺跡　遺構配置図（上面）

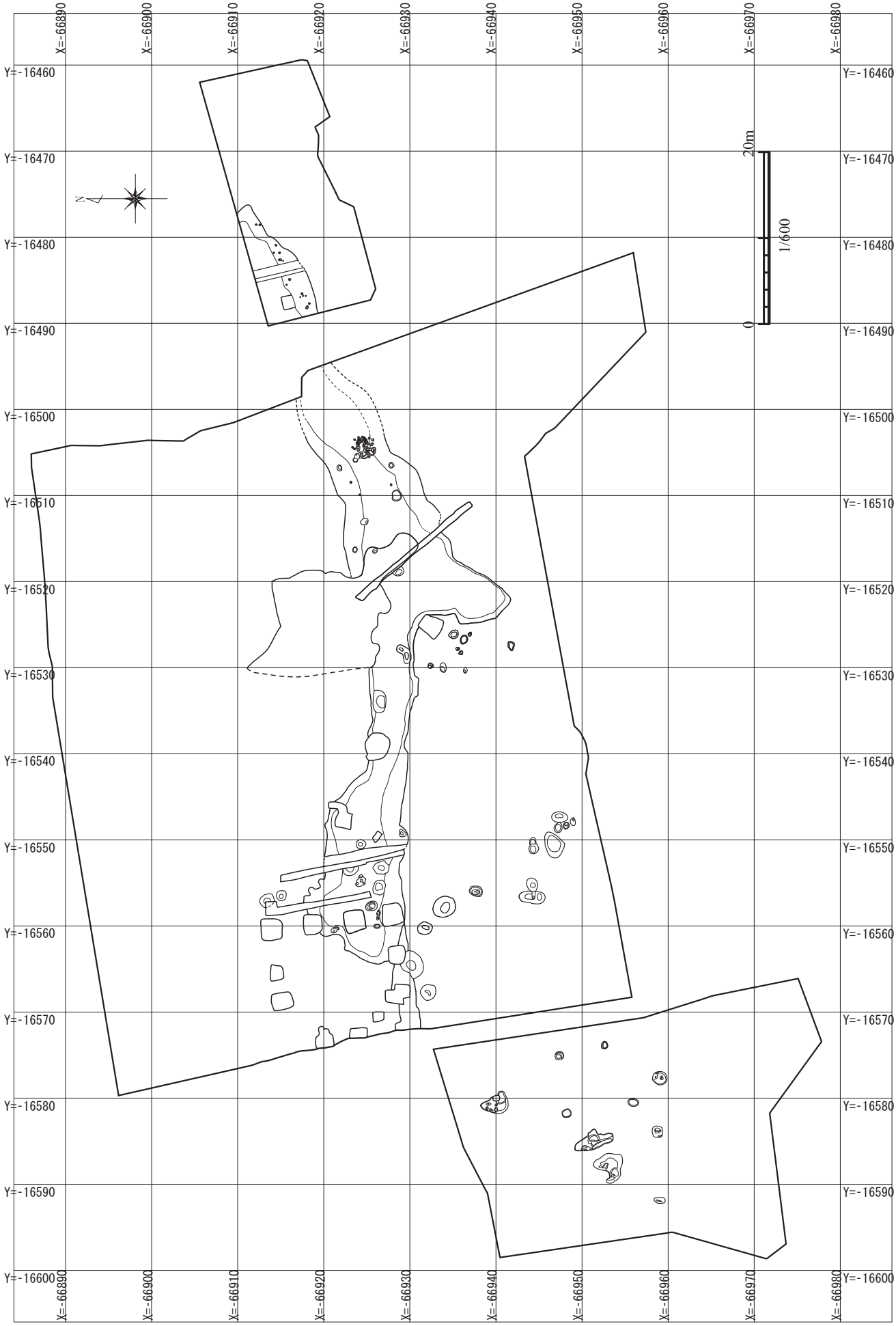


図 7　頭地下手遺跡　遺構配置図（下面）

Y=-16540
Y=-16530
Y=-16520
Y=-16510
Y=-16500
Y=-16490
Y=-16480
X=-66880
X=-66890
X=-66900
X=-66910
X=-66920
X=-66930
X=-66940
X=-66950
X=-66960
N
SB006
SB005
SB007
SB004
SK002
SK003
SB003
SB002
SB001
0
10m
1/400

図８　Ⅰ区遺構配置図

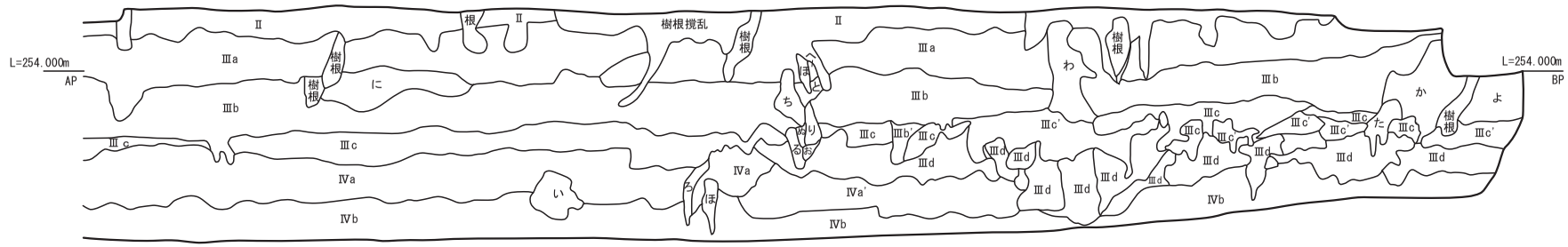


図９　Ⅰ区　土層断面図

Ⅰ層　表土（本図にはなし）

Ⅱ層　暗褐色（10YR 3/4）　礫質泥層　　中～近世の遺物包含層。二次堆積層であり、場所によって含まれる遺物は異なる。遺物の量は少ない。

Ⅲa層　褐色（10YR 4/6）　砂質泥層　　上面が中世の遺構面であると判断している。但し、上部は削平されており、純粋な生活面ではない。褐色の二次堆積層である。ごくわずかに縄文土器片が含まれる。土層が2～3cm下のブロック状に固まる状態である。Ⅲb層よりやや白っぽい。

に層　褐色（10YR 4/4）　砂質泥層　　Ⅲa層とⅢb層の間に生成された層。Ⅲa層堆積時に生成されたもので、人為的なものではない。

Ⅲb層　褐色（7.5YR 4/6）　砂質泥岩　　Ⅲａ層よりやや軟質になった褐色の二次堆積層。下部には2～4cm大の縄文後期土器片を含む。Ⅲa層、Ⅲb層ともにしまりが良く、一見しては遺物が含まれる様には見えないが、下部には全域にまんべんなく遺物が含まれる。
河川により周辺の火山灰層が運ばれ堆積した層。

Ⅲc層　にぶい黄褐色（10YR 5/3）　砂質泥層　　Ⅲｂ層とⅣａ層の漸移層的な性格の層。Ⅲa層、Ⅲb層と比べてシルト質になり、Ⅳ層の砂質により近い土質である。縄文後期土器片を少量含む。Ⅲb層の粘質土ブロックとⅣa層の砂層が混じり合った層である。
河川により周辺の火山灰層が運ばれ堆積した層。

Ⅲc'層　褐色（10YR 4/6）　礫混じり祖砂層　　1～2cm大の炭化物粒子を多量に含む。Ⅲb層の粘土ブロックも多量に含み、静かな営力で堆積したものではない。人為的な遺構が激しい河川の営力により撹拌されている。

Ⅲc''層　にぶい黄褐色（10YR 4/3）　礫混じり祖砂層　　Ⅲc層とⅢc'層の混ざりあった層。1cm大のカーボン粒子を少量含む。

Ⅳa層　暗褐色（10YR 4/3）　礫混じり細砂　　Ⅳ層はいわゆる砂層である。川辺川の流れにより堆積した層であり、わずかに縄文後期土器片を含む。但し、プライマリーな状態での包含層ではない。

Ⅳa'層　褐色（10YR 4/6）　細砂　　Ⅳa層とほぼ同じ内容の層。a～c層が存在する北側付近に近い場所で、ややしまりが粗くなっている。色調はⅣa層よりやや暗い。5mm前後の小礫を少量含む。

Ⅳb層　オリーブ褐色（2.5YR 4/4）　シルト　　砂層であり、Ⅳa層より粒子が更に細かくなる。ほぼ純粋に河川の流れにより堆積したもので、遺物はほとんど含まない。（仮に含まれていた場合は、Ⅳa層やⅢc層からの混入である）Ⅳa層より色調が暗い。
尚、この層の下は30cm大の礫が多くなる礫層に、Ⅳb層の砂が混ざる層となる。

【その他部分的に存在する層についての土層説明】

い層　褐色（10YR 4/6）　粗砂に粘質土が若干含まれる層　　Ⅳa層が河川の営力により堆積する際に生成されたブロック状の塊。人為的なものではない。

ろ層　褐色（10YR 4/4）　粗砂　　樹根または堆積時の自然営力によるもの。

は層　褐色（10YR 4/4）　粗砂　　樹根または堆積時の自然営力によるもの。

ほ～お層　樹根か、または何らかの自然作用により堆積が撹乱された層。人為的な作用は働いてない。土色は次のとおり。ほ：褐色（10YR 4/6）、へ：褐色（10YR 4/4）、と：褐色（10YR 4/4）、ち：にぶい黄褐色（10YR4/3）、り：褐色（10YR 4/4）、ぬ：暗褐色（10YR 3/4）、る：褐色（10YR 4/4）、お：-

わ層　褐色（10YR 4/6）　砂質泥層　　Ⅲa層とⅢb層の堆積中に何らかの自然営力で部分的に作られた層。土質はⅢa層に類似するが、ややしまりが無い。無遺物層。

か～た層　10Trの北側付近にのみ部分的に存在する層。Ⅲb層やⅢc層にシルトやカーボンが混ざっている状態の土質である。成因は不明。人為的な生成ではないと考えている。土色、質は次のとおり。
か：褐色（10YR 4/6）　砂質泥層　　ややしまりなし。Ⅲb層が撹拌されたもの。
よ：褐色（10YR 4/6）　砂質泥層　　ややしまりなし。か層と類似。Ⅲb層が撹拌されたもの。
た：にぶい黄褐色（10YR4/3）　砂質泥層　　か層よ層よりやや暗い。Ⅲb層とⅢc層が混ざったもの。自然による撹乱の可能性もあり。

【Ⅰ区の中で部分的に残存する遺物包含層（a～c層）に関する土層説明】

a～c層は、Ⅲc層とⅣc層の間にはさまれる位置に存在する黒色に近い砂層である。各層には、大小の差はあるが炭化物粒子が含まれる。縄文後期土器も含まれる為、遺物包含層ではあるが遺物埋土であるか否かについては、12月23日時点では不明。
Ⅰ区内ではこの付近に集中して分布し、南側や北側への拡がりは分からない。東西方向には若干拡がる模様である。

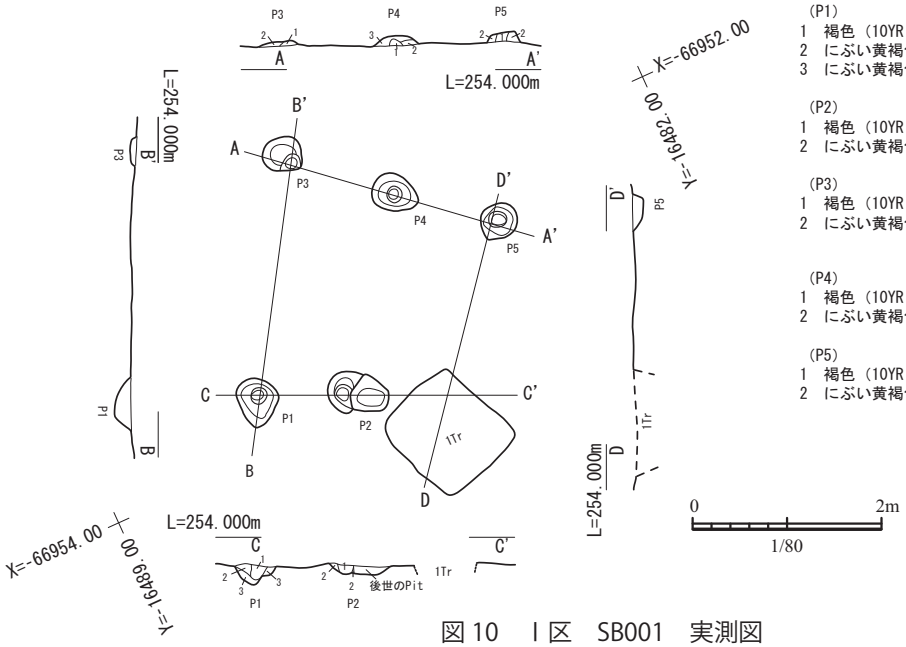
a層 暗褐色（10YR 3/4）　細砂　　暗い砂質層。ややしまりが粗い。1cm大のカーボン粒子を含む。縄文後期土器を含む。

a'層 暗褐色（10YR 3/3）　細砂　　ａ層とⅢc層が混じり合った層。しまりがなくa層より明るめ。部分的にしか存在しない。1cm大のカーボン粒子を少量含む。

ｂ層　にぶい黄褐色（10YR 5/3）　細砂　　Ⅲc層より下方にのびた形状の層。人為的な掘り込みではなさそうであるが、詳細は不明。a層よりかなり明るく、カーボン粒子は少なめ。1cm弱の小礫を少量含む。

b'層褐色（10YR 4/4）　細砂　　Ⅲc層とa層が混ざり合った様な性質の層。しまりはあまりなく、5mm大のカーボン粒子を少量含む。

c層 黒褐色（7.5YR 3/2）　細砂　　a層とc層の間にあるやや明るめの層。しまりはあまりなし。a層よりやや明るめの色調。



(P1)
1 褐色 (10YR 4/4) 中砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 中砂 柱穴埋土
3 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 細砂 柱穴埋土

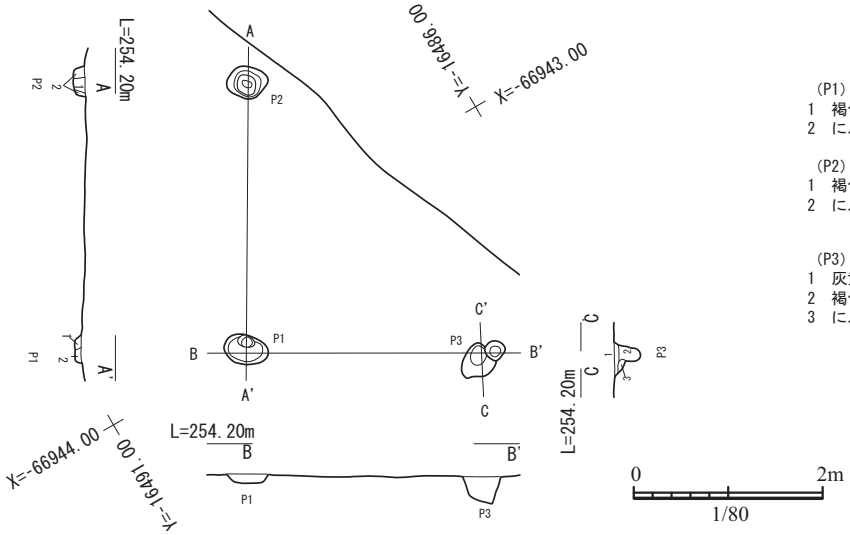
(P2)
1 褐色 (10YR 4/4) 中砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 細砂 柱穴埋土

(P3)
1 褐色 (10YR 4/4) 中砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 細砂 柱穴埋土

(P4)
1 褐色 (10YR 4/4) 細砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR 4/2) 細砂 柱穴埋土

(P5)
1 褐色 (10YR 4/4) 中砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 細砂 柱穴埋土

図 10 Ⅰ区 SB001 実測図

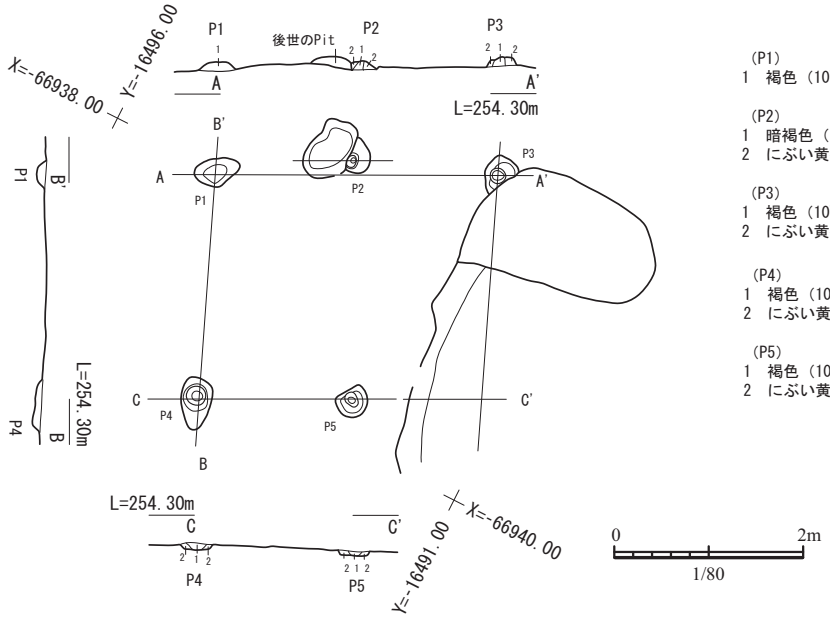


(P1)
1 褐色 (10YR4/4) 細砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 中砂 柱穴埋土

(P2)
1 褐色 (10YR4/4) 細砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粗砂 柱穴埋土

(P3)
1 灰黄褐色 (10YR4/2) 細砂 柱穴埋土
2 褐色 (10YR4/4) 粗砂 柱痕
3 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 中砂 柱穴埋土

図 11 Ⅰ区 SB002 実測図



(P1)
1 褐色 (10YR4/4) 粗砂 柱穴埋土

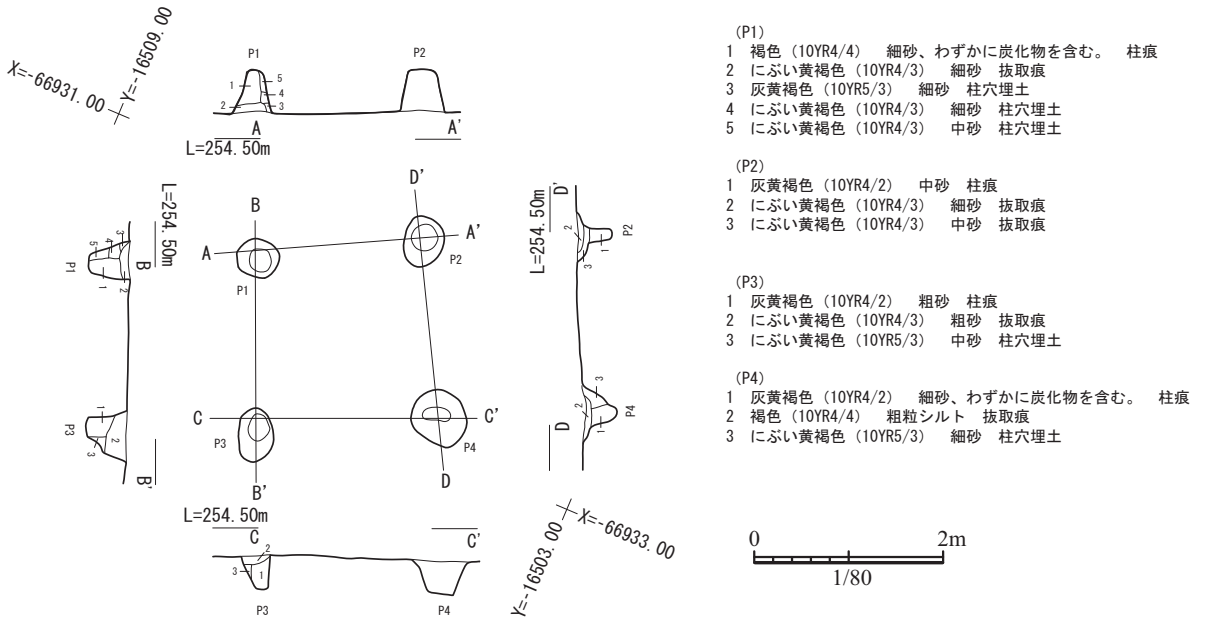
(P2)
1 暗褐色 (10YR3/4) 粗砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 細砂 柱穴埋土

(P3)
1 褐色 (10YR4/4) 細砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR4/2) 粗砂 柱穴埋土

(P4)
1 褐色 (10YR4/4) 細砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粗砂 柱穴埋土

(P5)
1 褐色 (10YR4/4) 細砂 柱痕
2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) 粗砂 柱穴埋土

図 12 Ⅰ区 SB003 実測図



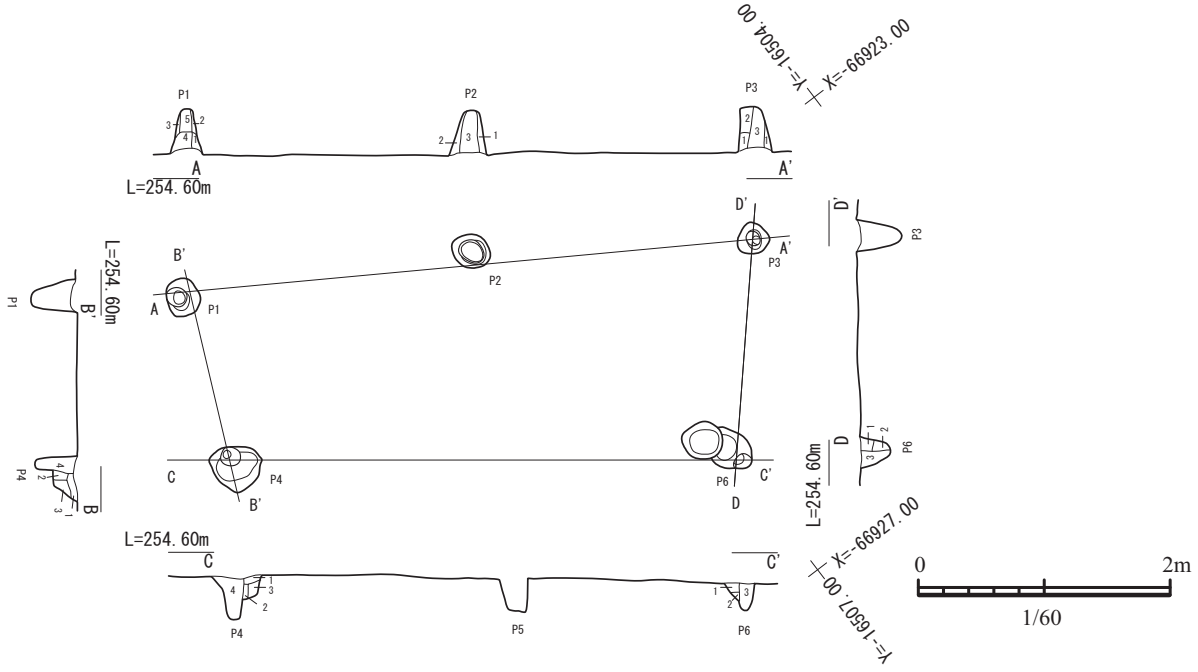
(P1)
1 褐色（10YR4/4） 細砂、わずかに炭化物を含む。 柱痕
2 にぶい黄褐色（10YR4/3） 細砂 抜取痕
3 灰黄褐色（10YR5/3） 細砂 柱穴埋土
4 にぶい黄褐色（10YR4/3） 細砂 柱穴埋土
5 にぶい黄褐色（10YR4/3） 中砂 柱穴埋土

(P2)
1 灰黄褐色（10YR4/2） 中砂 柱痕
2 にぶい黄褐色（10YR4/3） 細砂 抜取痕
3 にぶい黄褐色（10YR4/3） 中砂 抜取痕

(P3)
1 灰黄褐色（10YR4/2） 粗砂 柱痕
2 にぶい黄褐色（10YR4/3） 粗砂 抜取痕
3 にぶい黄褐色（10YR5/3） 中砂 柱穴埋土

(P4)
1 灰黄褐色（10YR4/2） 細砂、わずかに炭化物を含む。 柱痕
2 褐色（10YR4/4） 粗粒シルト 抜取痕
3 にぶい黄褐色（10YR5/3） 細砂 柱穴埋土

図 13 Ⅰ区 SB004 実測図



(P1)
1 にぶい黄褐色（10YR4/3）粗砂 柱穴埋土
2 褐色（10YR4/4）粗砂 柱穴埋土
3 にぶい黄褐色(10YR5/4）細砂 柱穴埋土
4 灰黄褐色（10YR4/2）粗砂 わずかに炭化物を含む。柱痕
5 にぶい黄褐色（10YR4/3）粗砂 柱痕

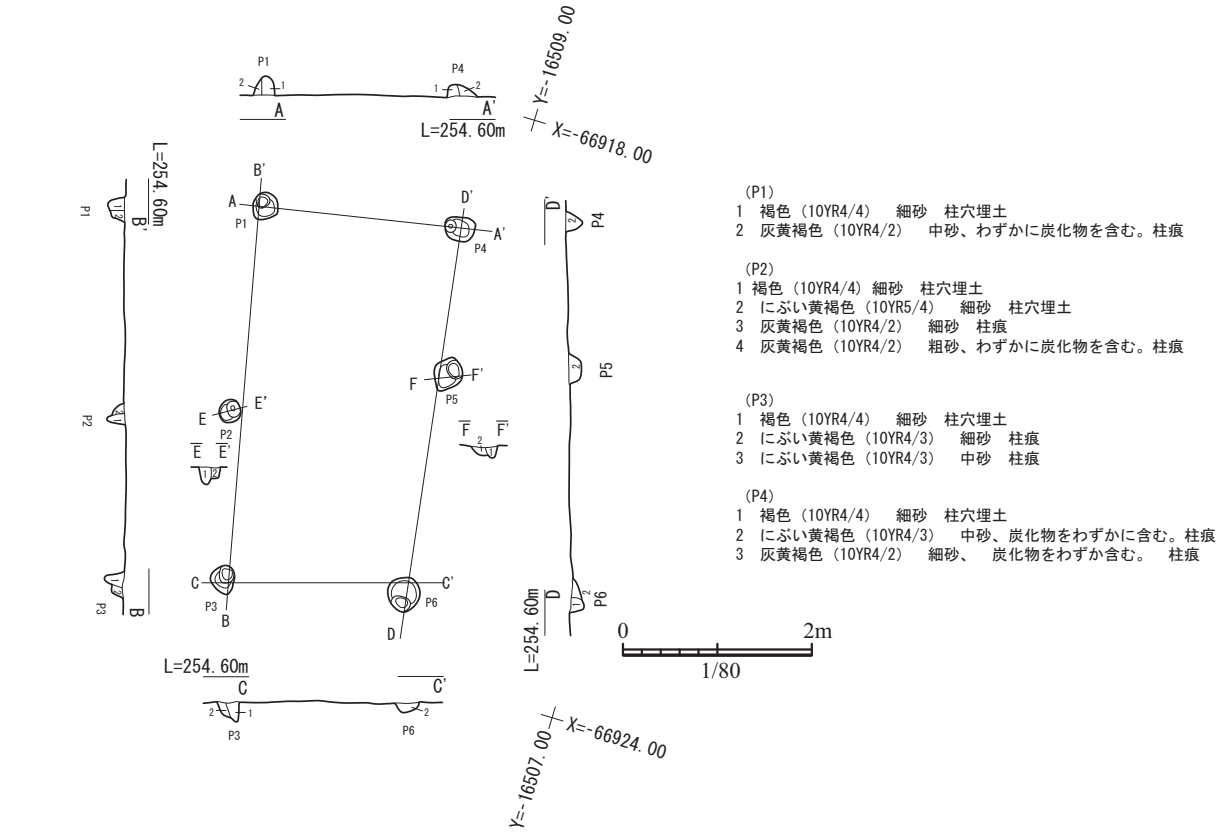
(P2)
1 褐色（10YR4/4） 細砂 柱穴埋土
2 褐色（10YR4/4） 粗砂 柱穴埋土
3 灰黄褐色（10YR4/2） 粗砂 柱痕

(P3)
1 にぶい黄褐色（10YR4/3） 中砂 柱穴埋土
2 にぶい黄褐色（10YR4/3） 粗砂 柱穴埋土
3 灰黄褐色（10YR4/2）粗砂 柱痕

(P4)
1 にぶい黄褐色（10YR4/3） 細砂 柱穴埋土
2 褐色（10YR4/4） 粗砂 柱穴埋土 柱穴埋土
3 にぶい黄褐色（10YR5/4）粘質土 柱穴埋土
4 灰黄褐色（10YR4/2）粗砂 柱痕

(P5)
1 褐色（10YR4/4） 細砂 柱穴埋土
2 にぶい黄褐色（10YR4/3） 粗砂 柱穴埋土
3 灰黄褐色（10YR4/2） 粗砂 柱痕

図 14 Ⅰ区 SB005 実測図



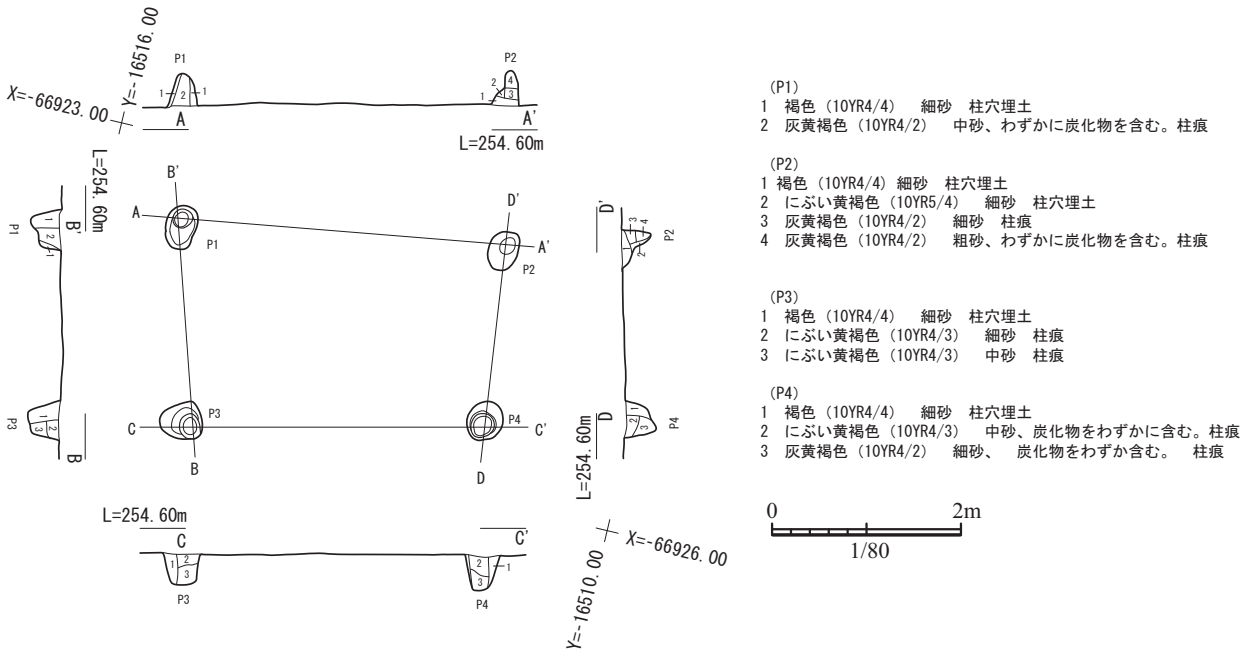
（P1）
1　褐色（10YR4/4）　細砂　柱穴埋土
2　灰黄褐色（10YR4/2）　中砂、わずかに炭化物を含む。柱痕

（P2）
1 褐色（10YR4/4）細砂　柱穴埋土
2　にぶい黄褐色（10YR5/4）　細砂　柱穴埋土
3　灰黄褐色（10YR4/2）　細砂　柱痕
4　灰黄褐色（10YR4/2）　粗砂、わずかに炭化物を含む。柱痕

（P3）
1　褐色（10YR4/4）　細砂　柱穴埋土
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）　細砂　柱痕
3　にぶい黄褐色（10YR4/3）　中砂　柱痕

（P4）
1　褐色（10YR4/4）　細砂　柱穴埋土
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）　中砂、炭化物をわずかに含む。柱痕
3　灰黄褐色（10YR4/2）　細砂、　炭化物をわずか含む。　柱痕

図 15　Ⅰ区　SB006　実測図



（P1）
1　褐色（10YR4/4）　細砂　柱穴埋土
2　灰黄褐色（10YR4/2）　中砂、わずかに炭化物を含む。柱痕

（P2）
1 褐色（10YR4/4）細砂　柱穴埋土
2　にぶい黄褐色（10YR5/4）　細砂　柱穴埋土
3　灰黄褐色（10YR4/2）　細砂　柱痕
4　灰黄褐色（10YR4/2）　粗砂、わずかに炭化物を含む。柱痕

（P3）
1　褐色（10YR4/4）　細砂　柱穴埋土
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）　細砂　柱痕
3　にぶい黄褐色（10YR4/3）　中砂　柱痕

（P4）
1　褐色（10YR4/4）　細砂　柱穴埋土
2　にぶい黄褐色（10YR4/3）　中砂、炭化物をわずかに含む。柱痕
3　灰黄褐色（10YR4/2）　細砂、　炭化物をわずか含む。　柱痕

図 16　Ⅰ区　SB007　実測図

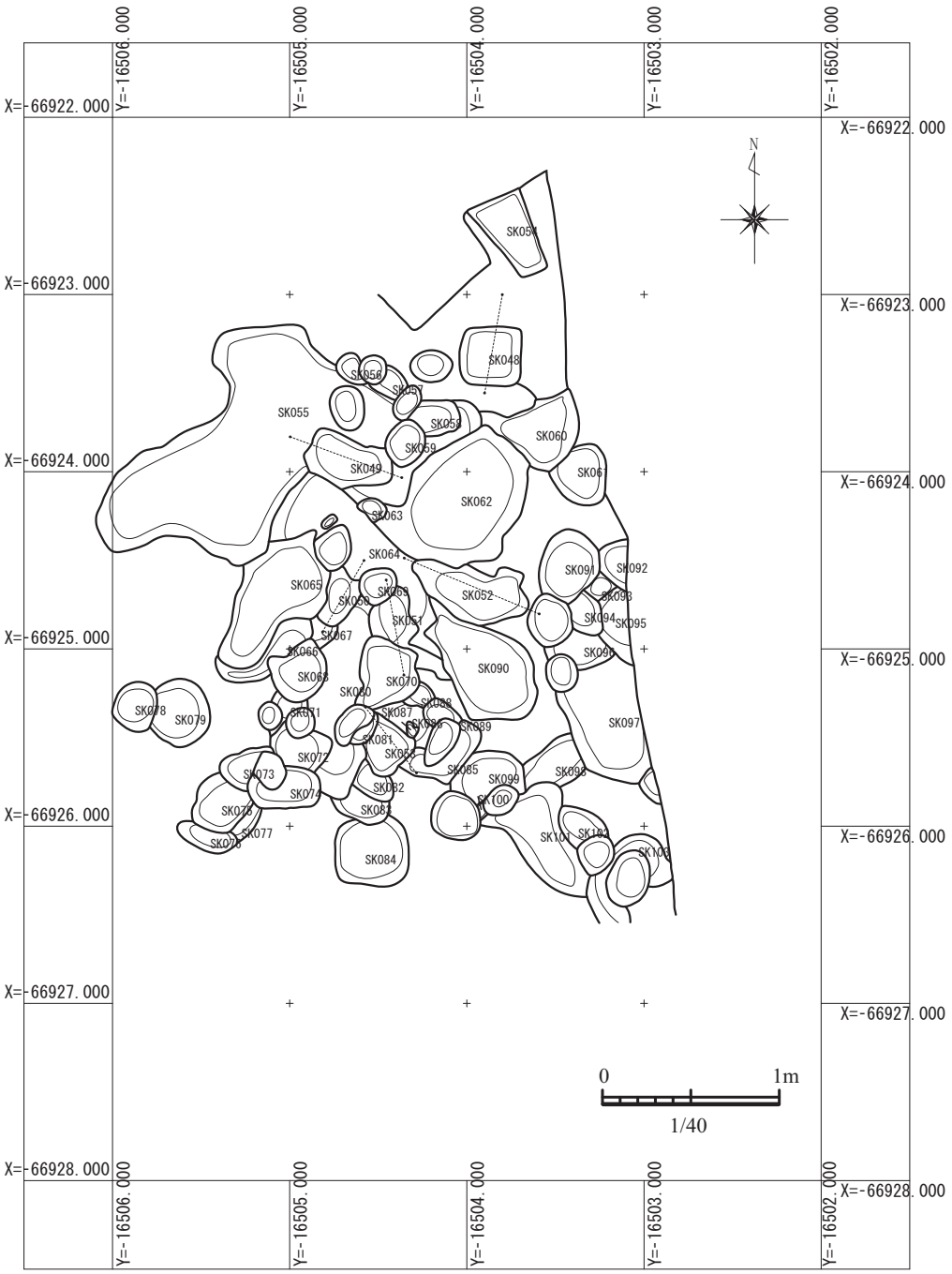


図 17　Ⅰ区　焼土集中区 1

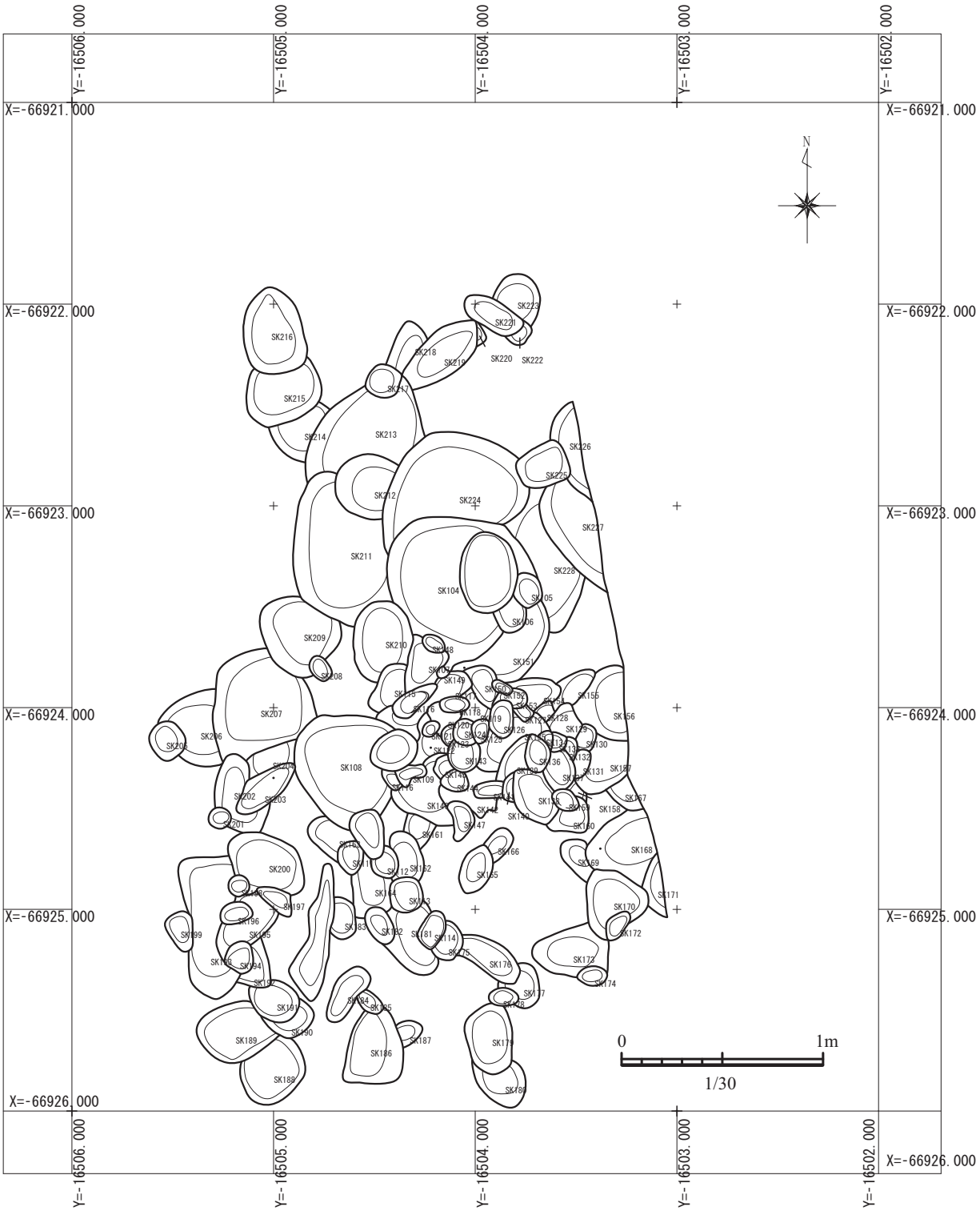


図 18　Ⅰ区　焼土集中区 2

図 19　II 区　遺構配置図

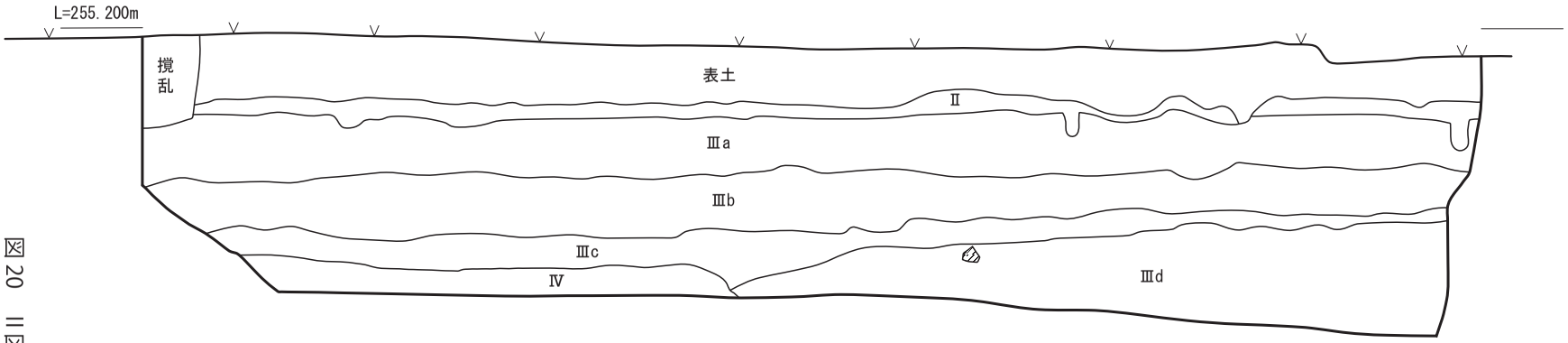


図 20　II区　土層断面図

Ⅲａ層　上面が中世の遺構面。但し、上部は削平されており、純粋な生活面ではない。褐色の二次堆積層である。ごくわずかに縄文土器片が含まれる。Ⅲｂ層よりやや白っぽい。

Ⅲｂ層　Ⅲa層よりやや軟質になった褐色の二次堆積層。下部には縄文後期土器片を含む。しまりは良い。

Ⅲｃ層　Ⅲｂ層とⅣ層の漸移層的な性格の層。Ⅲa、Ⅲｂ層と比べてシルト質になりⅣ層の砂質により近い。縄文後期土器片を含む。Ⅲｂ層の粘質土ブロックとⅣ層の砂質が混じり合った層である。河川により周辺の火山灰層が堆積した層。

Ⅲｄ層　調査区の東西方向に流れる溝の埋土。黒色に近い砂質の層。場所により色が若干異なっており、まだらである。炭化物粒子が含まれる。縄文後期土器、石器が多く含まれる。

Ⅳ層　いわゆる砂質の層である。川辺川の流れにより堆積した層である。縄文後期土器片を含む。但し、プライマリーな状態の包含層ではない。

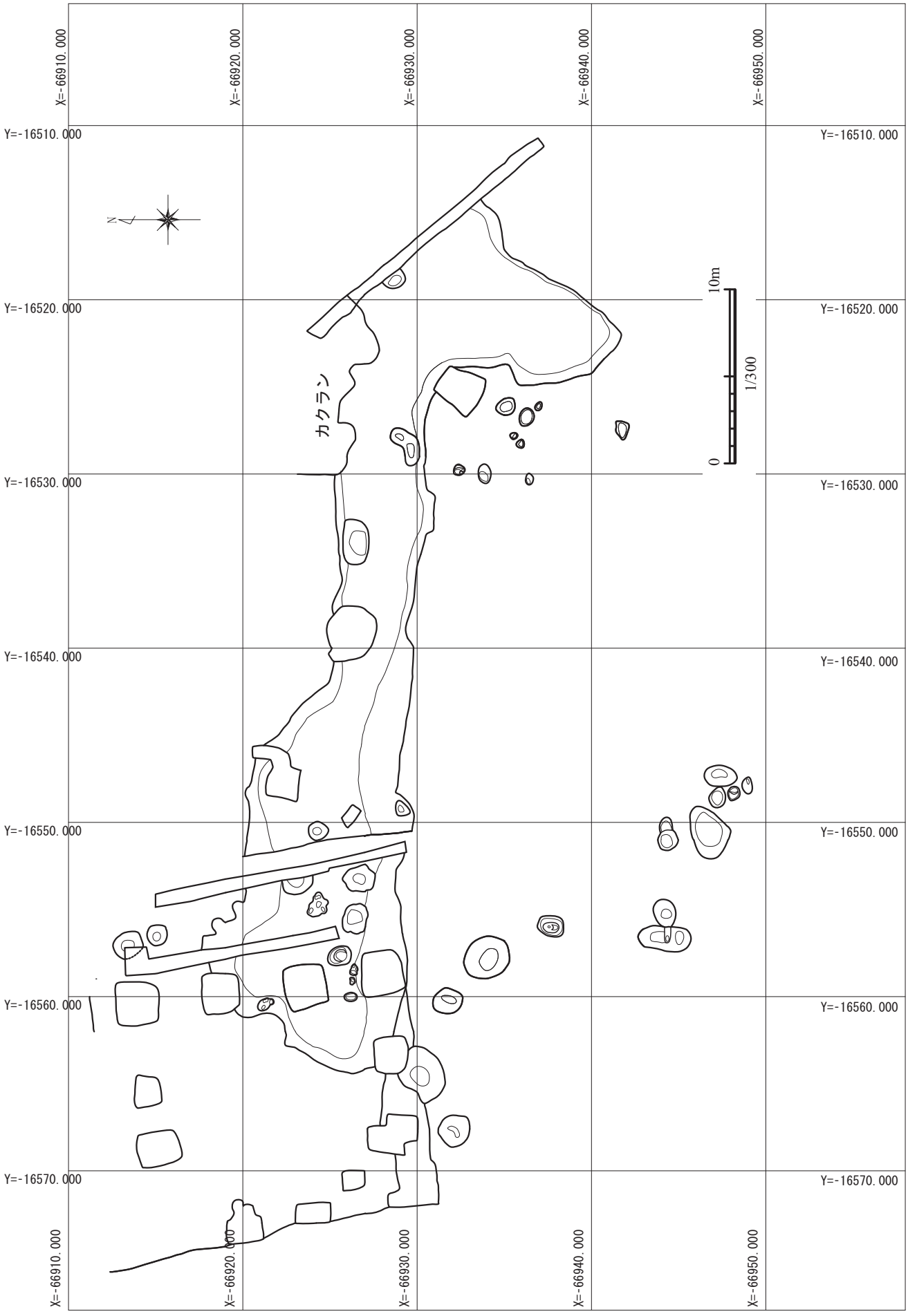
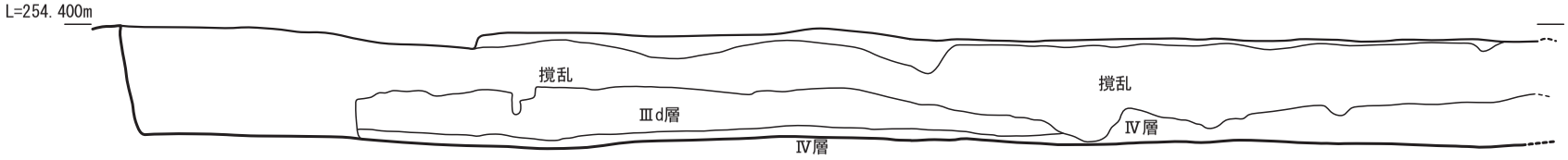
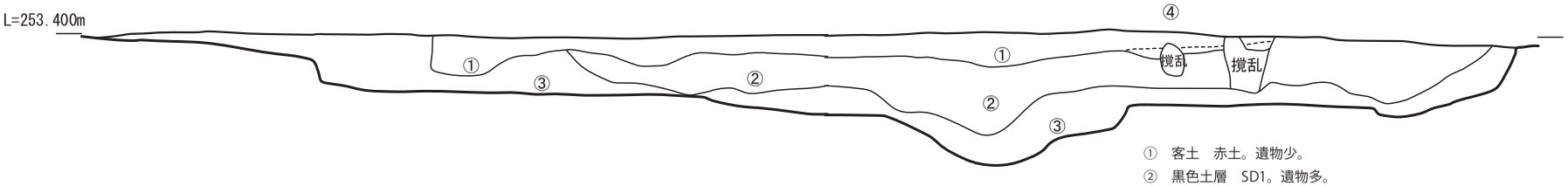


図 21　Ⅲ・Ⅴ区　遺構配置図



Ⅲｄ層　調査区の東西方向に流れる溝の埋土。黒色に近い砂質の層。場所により色が若干異なっており、まだらである。炭化物粒子が含まれる。縄文後期土器、石器が多く含まれる。

Ⅳ層　いわゆる砂質の層である。川辺川の流れにより堆積した層である。縄文後期土器片を含む。但し、プライマリーな状態の包含層ではない。



①　客土　赤土。遺物少。

②　黒色土層　SD1。遺物多。

③　砂層　遺物少。

④　黒色土層だが、①、②の混ざった感じ。

図 22　V区　土層断面図

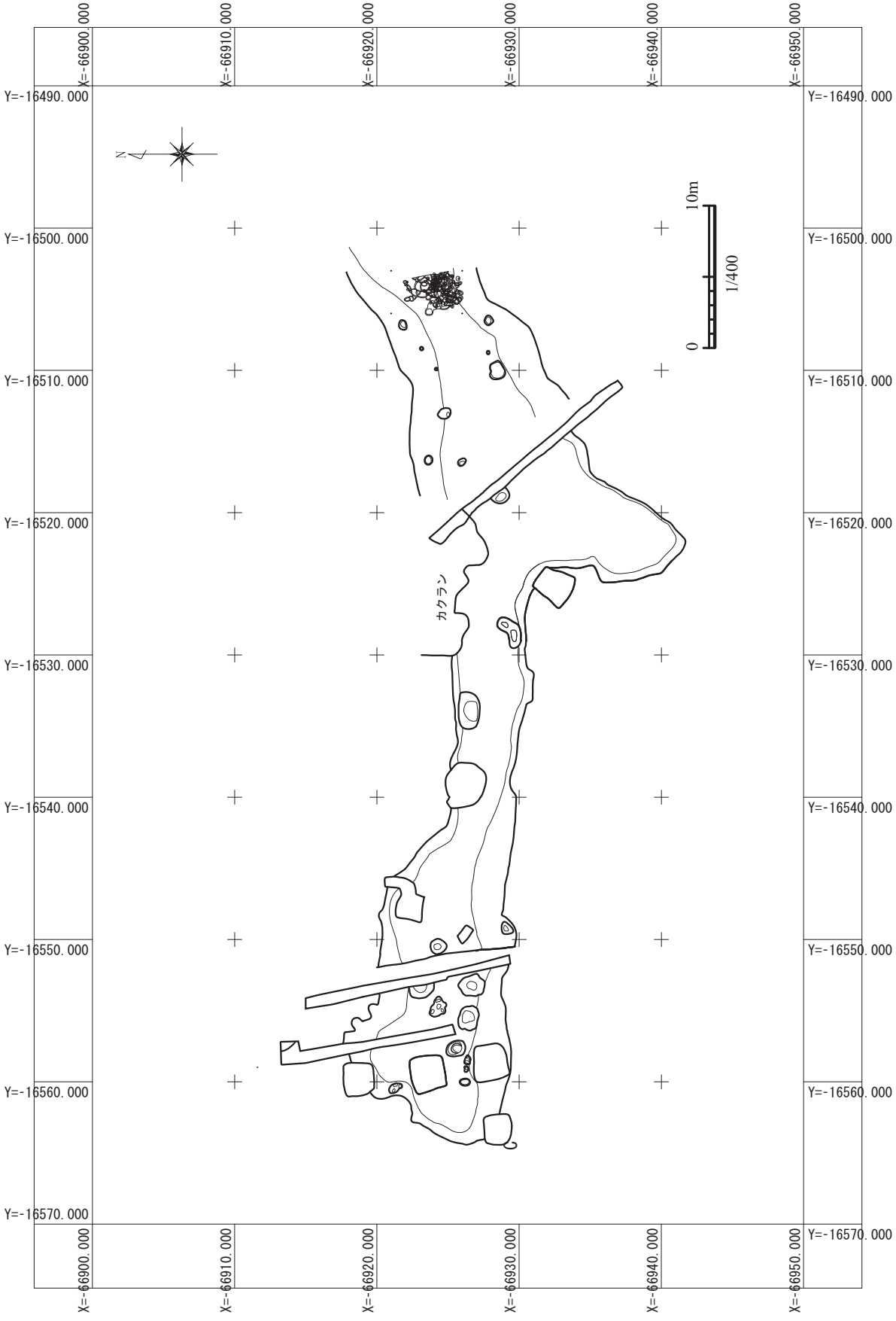

X=-66900.000
X=-66910.000
X=-66920.000
X=-66930.000
X=-66940.000
X=-66950.000
Y=-16490.000
Y=-16500.000
Y=-16510.000
Y=-16520.000
Y=-16530.000
Y=-16540.000
Y=-16550.000
Y=-16560.000
Y=-16570.000
N
10m
0
1/400
カクラン

図 23　SD1　実測図

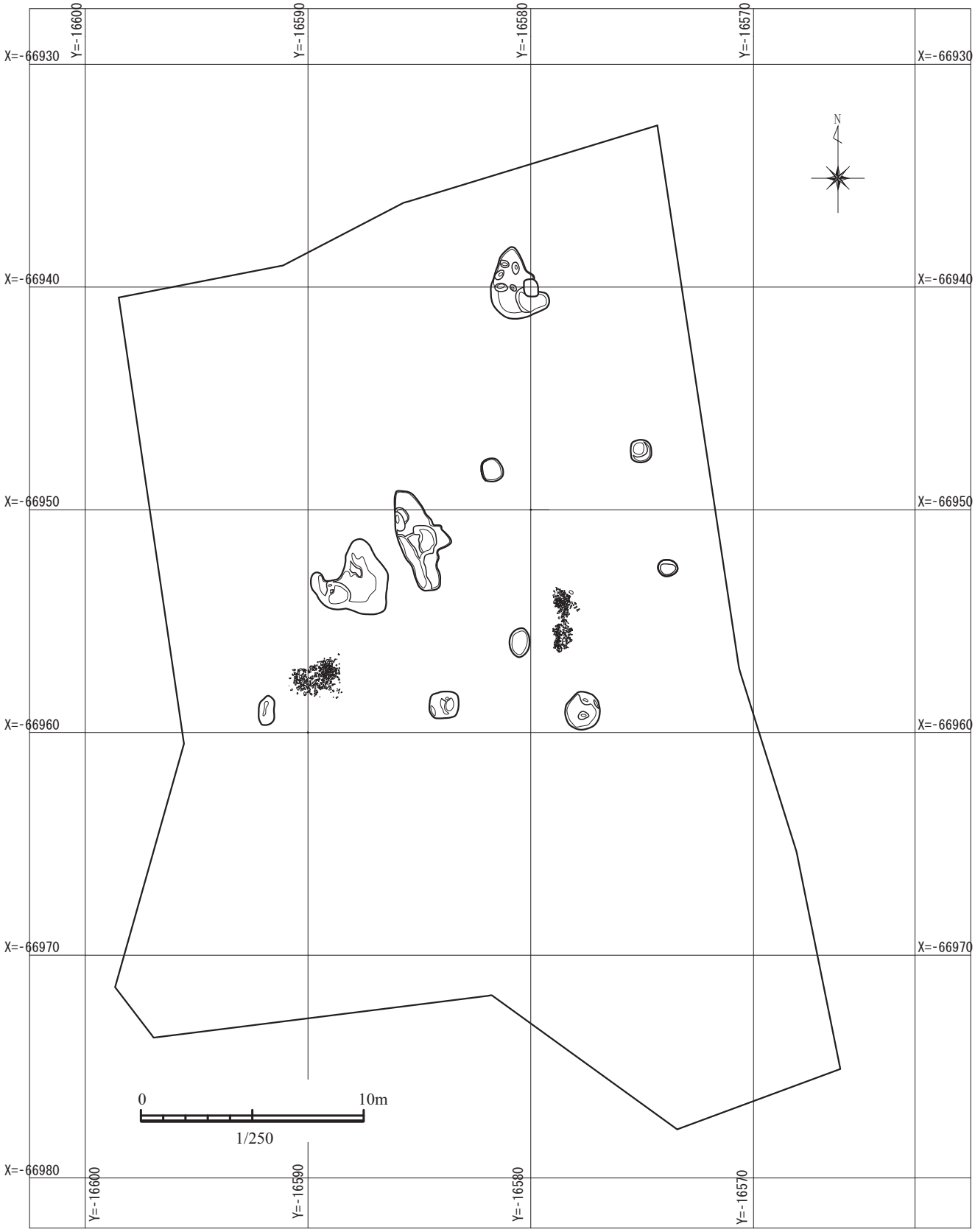


図 24　IV区　遺構配置図

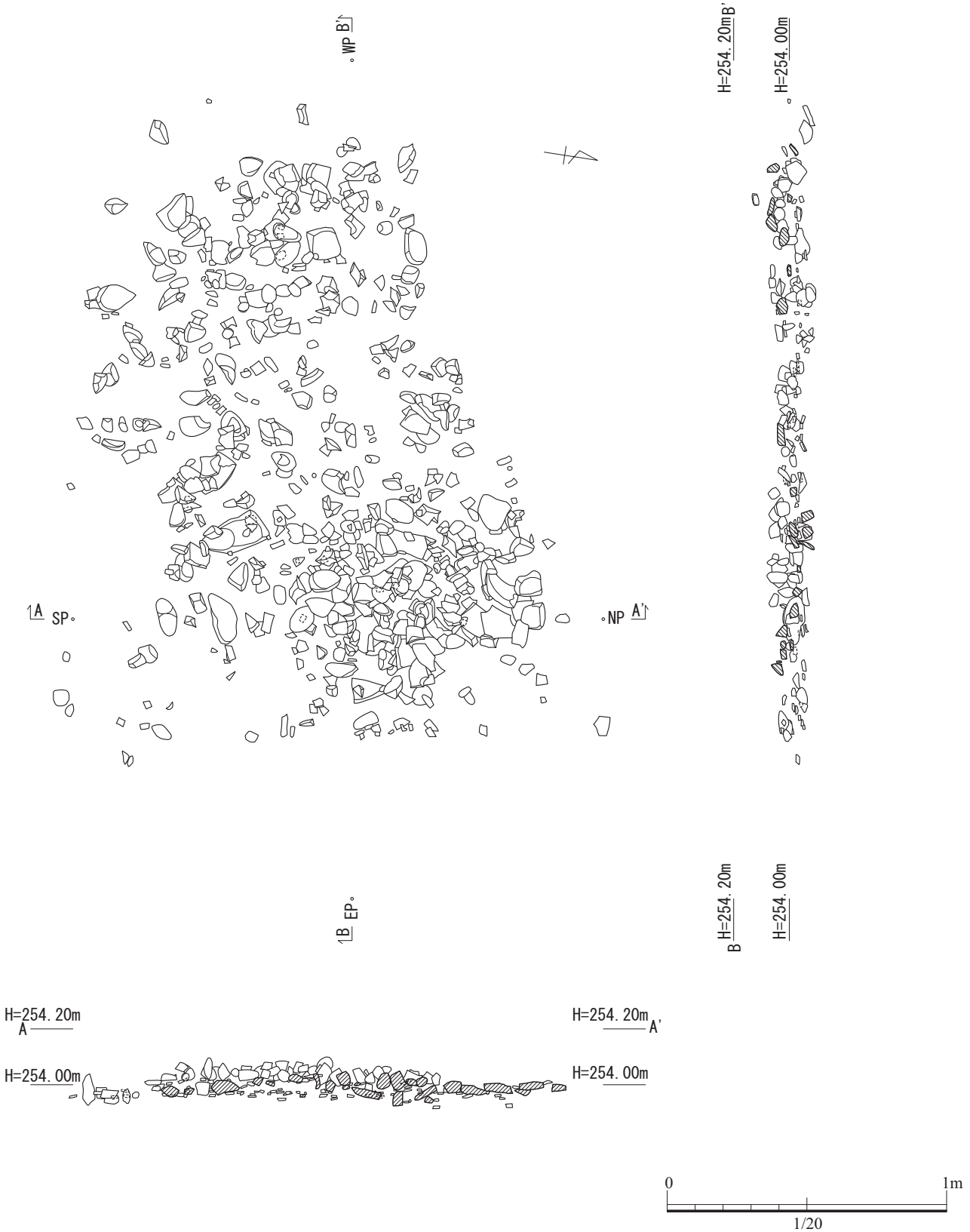


図 25　IV区　集石 1 実測図

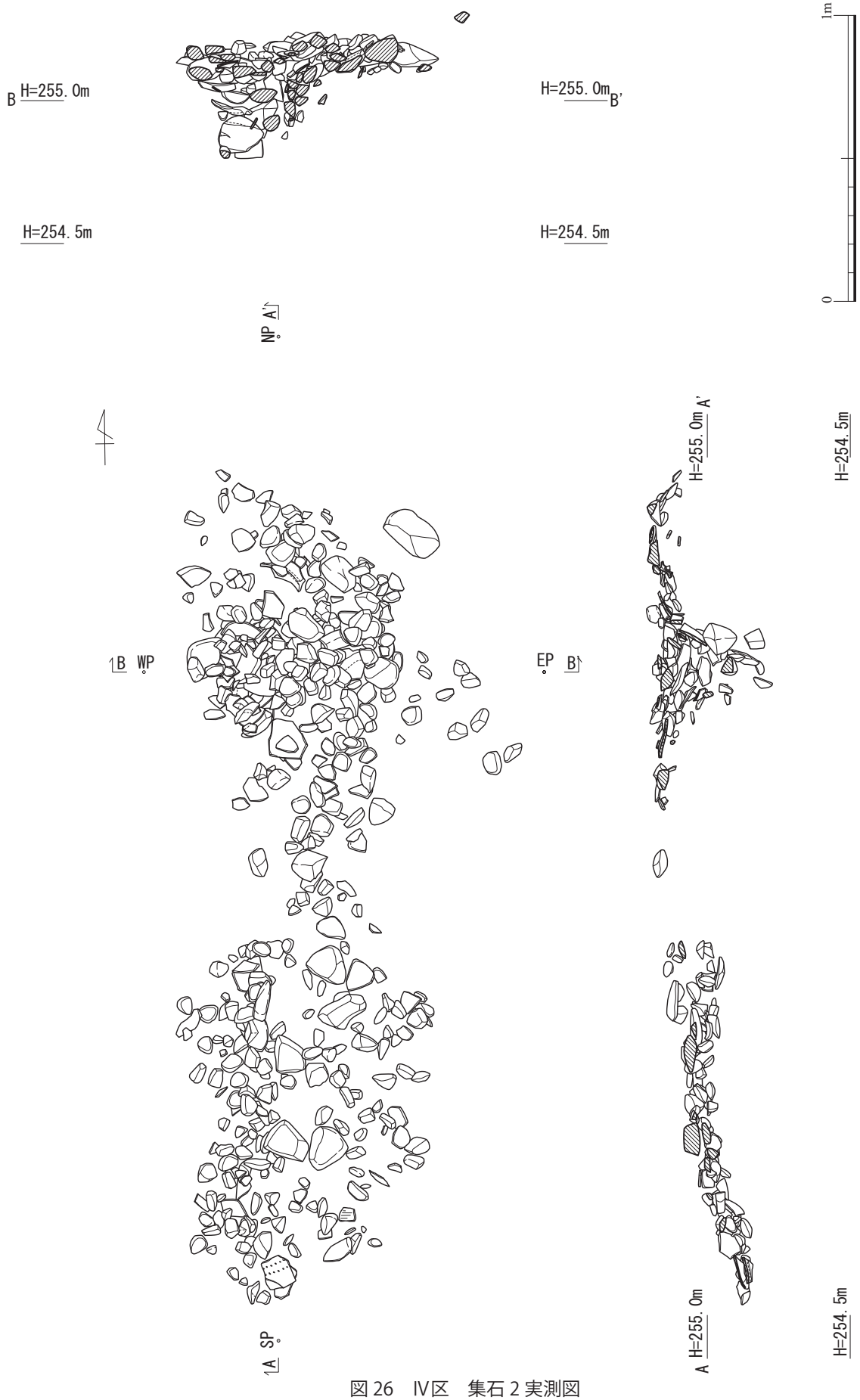


図 26　Ⅳ区　集石 2 実測図

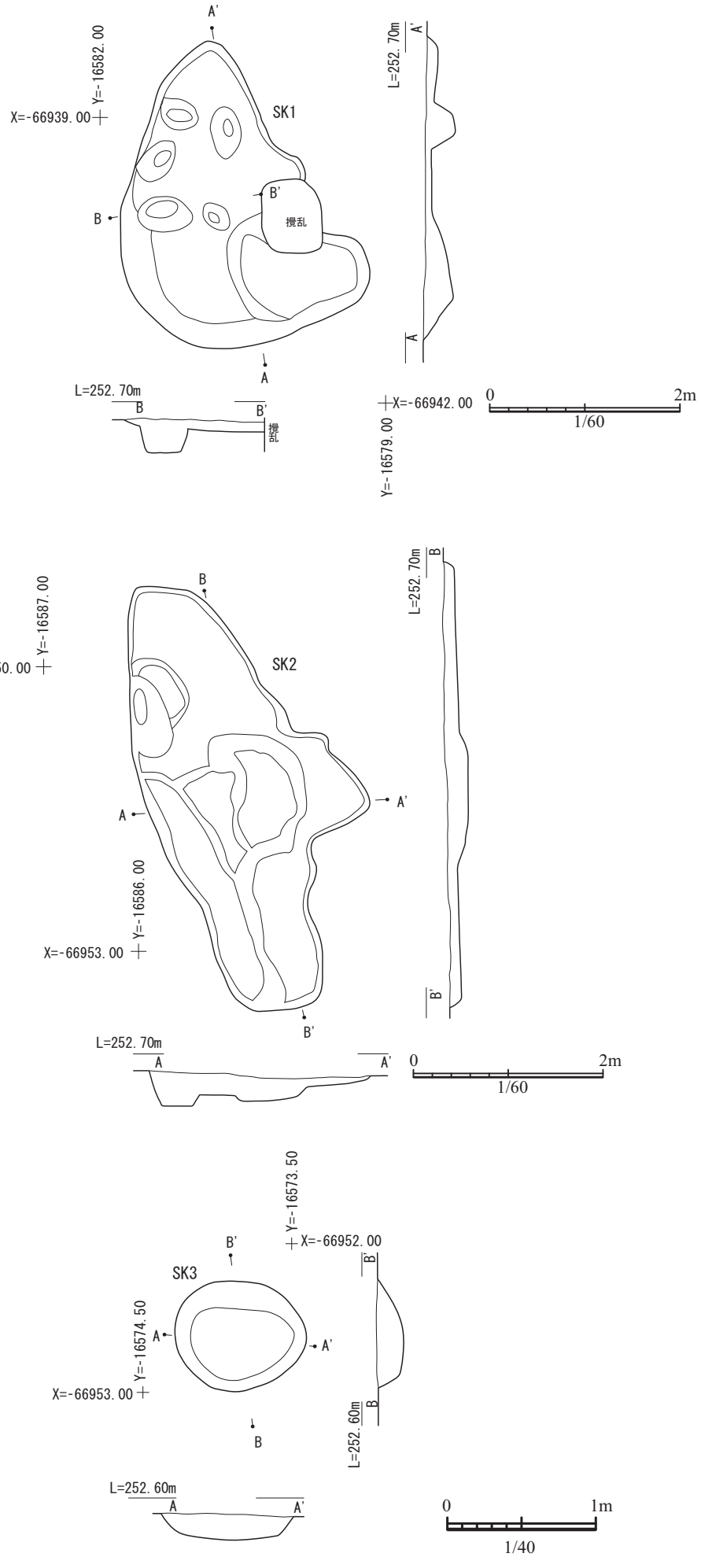


図 27　IV区　SK1・2・3　実測図

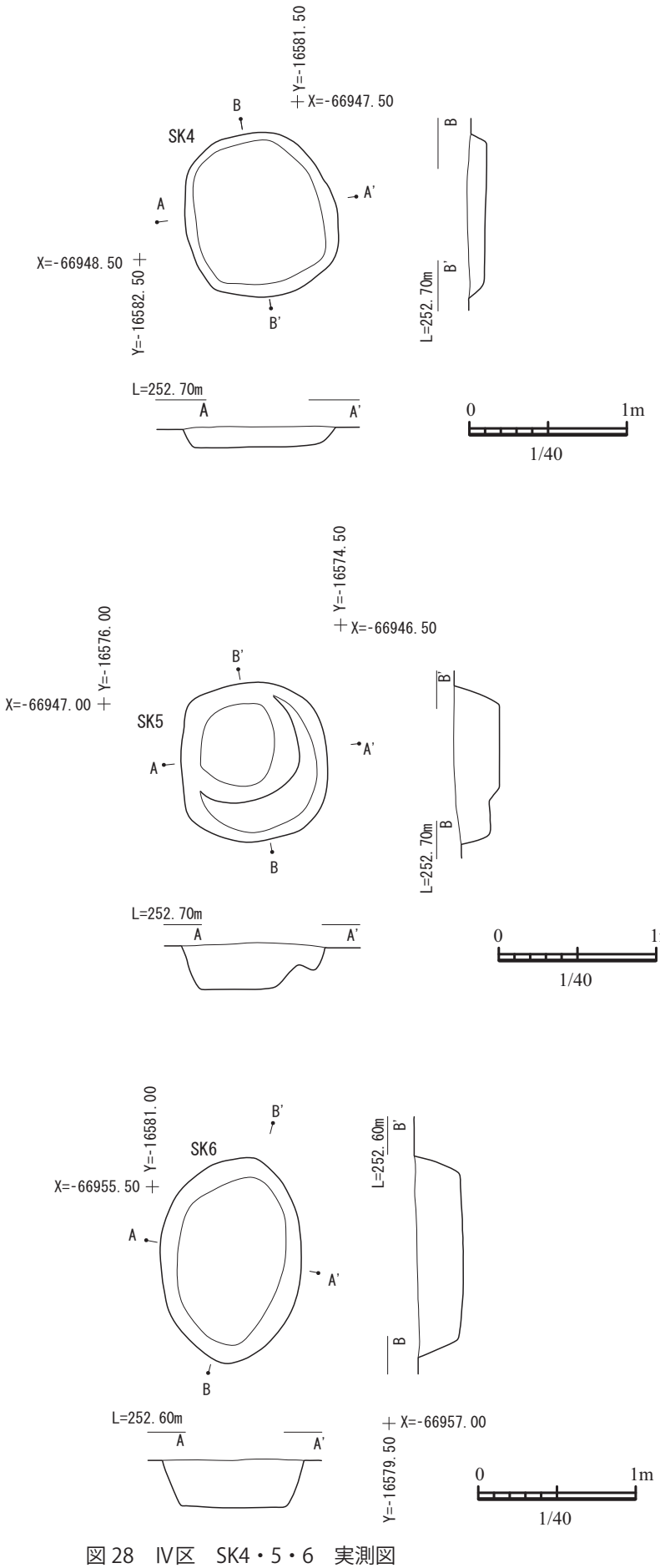


図 28　IV区　SK4・5・6　実測図

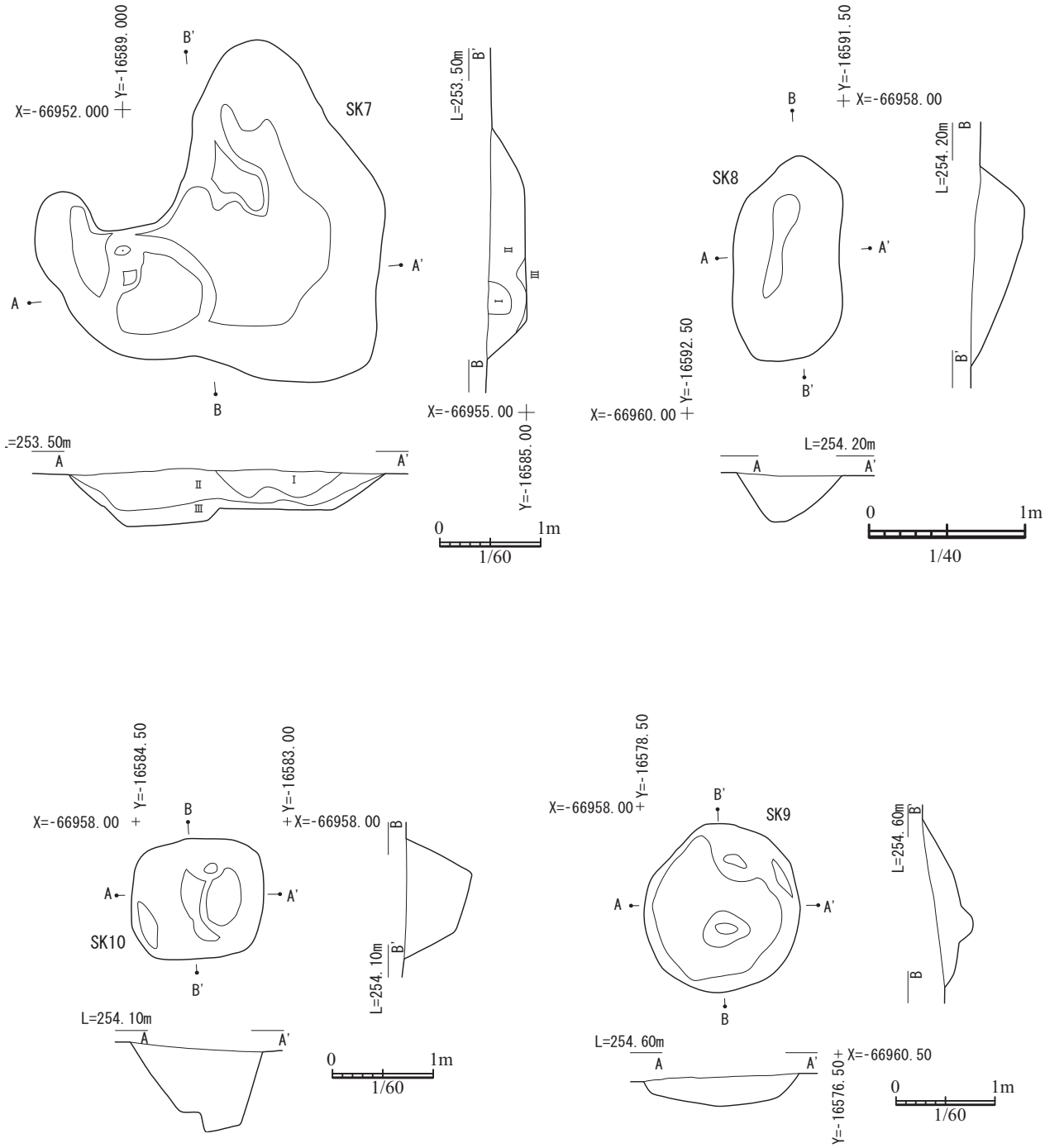


図 29　IV区　SK7 ～ 10　実測図

2　土器（RP）

頭地下手遺跡から出土した土器のうち、ここでは縄紋時代の土器 4,537 点、中世の土器 1 点、合計 4,538 点の土器について報告し、縄紋土器の分類等について記述する。縄紋時代の土器は後期に属する複数の土器群であり円盤形土製品 257 点を含んでいる。中世の土器は時期未詳である。

なお、章末に土器（RP）観察表を付し、出土地点、層位といった層位学的属性、形態、紋様等、型式学的属性を記述した。

また、「5 土器（RP）実測図」（第 2 分冊）に実測図、「6 写真図版」（第 3 分冊）に写真を掲載している。併せて参照されたい。

2-1　研究史

頭地下手遺跡から出土した土器は、過去、小林久雄による分類（小林 1967）、熊本大学考古学研究室による分類（白木原他 1978）、合計 2 回の分類が試みられている。なお、いずれの分類もそれぞれが実施した発掘調査の出土品についておこなったものである。

2-1-1　小林久雄による分類

小林久雄による分類（小林 1967）は 、「土器は、すべて縄文土器でありその量も甚だ多い。ただ小破片のみで完形を知り得るものはない」資料について、口縁部破片を「略十一類に分けることができる。」として「斜線文､貝殻唇縁による斜線文､細直線文､爪形文･列点文、類重弧文、絡縄席曲線文、縁帯文、類縁帯文、横直線文、類横直線文、紐状隆起文」を挙げている。この 11 類分類は有文の口縁部を対象とした分類であるが、小林分類はこの項に続いて「無文土器」の項を設け「直線又は軽度の外曲縁で、口縁は厚く円味を帯び、焼成その他出水式土器に類するものが多い。」と記述している。つまり、有文 11 類に無文 1 類を加えた都合 12 類への分類が、口縁部を対象とした小林分類である。

なお、小林分類には底部分類も含まれる。小林分類は底部を、まず、「底部には平底と上げ底がある」と二大別した。ここで言う「上げ底」は､現在の「脚台」部分に相当する。そして､平底はその形態によって「裾括り形、直立形、広角形」の三つに分け、「上げ底は有文と無文とに分け」ている。「有文底部は更に文様によって区分した。」と述べているが、

「斜線文、羽状文、列点文、爪形文、横直線文等」の紋様を紹介するにとどまり、類として取り纏めてはいない。

小林分類は、紋様帯論を用いて口縁部を 12 類に分類し、底部の多様性を認めた。なお、分類の結果、出水式、御手洗 B 式、市来式・御手洗 C 式、御領式・その先行型式に比定し、縄紋時代「後期特に純御領式以前の時期」に位置づけた。そして、八代平野と球磨盆地といった海浜と山間の平地、並びにそれらの低地と五家荘、下鶴等、渓谷伝いの高地、相互の結節点にあたる占地により「多種多彩な文化層を示すに至った」と、頭地下手遺跡を特徴づけた。

2-1-2　熊本大学考古学研究室による分類

熊本大学法文学部考古学研究室による分類（白木原他 1978）は、「出土の土器はその施文により、次の 9 類に分けられる。」として磨消縄紋、貝殻文、綾杉状沈線文、斜線文、突帯平行沈線文、平行沈線文、類重弧文、縦走蛇行沈線文、無文土器及びその他を挙げ、それぞれを小林分類と対照している。

なお、「底部には平底と脚台をもつものの二種類がある。」として、「平底の多くは段をもたずに胴部へと移行するが、1 例だけ段をもつものがある。底部の最下部に刺突文を連ねるものが 1 例あるが、他はすべて無文である。」及び「脚台をもつものには、直立ぎみの脚台と内傾する脚台とがある。どちらも脚台の下位に施文する。文様には、刺突文・沈線文および二枚貝の肋を強く押圧したもの、殻の口唇で刺突したものなどがある。また、脚台の下位に粘土帯を貼付するものと、しないものがある。」と、その内容を記述している。

熊大分類は、紋様帯論を用いて口縁部を 9 類に分類し、底部の多様性を認めた。なお、分類の結果、出水式、市来式に比定し、縄紋時代後期初頭から後期前半までの時期に位置づけた。そして、東・北九州方面に分布の濃い磨消縄紋を施文した土器と、南九州に盛行した貝殻で施文した土器の両方が出土する点を、頭地下手遺跡の特徴として抽出した。

2-2　分類の方法

土器の分類は、平成 19 ～ 20 年度までは調査区Ⅳ区、平成 23 ～ 24 年度までは調査区Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ区を対象として 2 時期に分けて実施した。この整理中断を主原因として、統一的な分類は実施されていない。前半の時期に実施された分類結果は、実測図は図版、所見は観察表に遺漏なく記載されているので、そのまま掲載した。したがって、後半の時期に実施した分類を以下に示すこととする。

分類に際しては、分類マニュアルを作成し、整理作業員が作業にあたった。後､実測対象を選定する段階、

実測図を点検する段階、版組する段階に分類基準と分類結果を検討した。

なお、調査区Ⅳ区は 225 点、調査区Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ区は 4,314 点の土器について分類結果を付して図示した。

2-2-1　資料の特徴

今次調査の最大の特徴は、その調査面積である。既往調査のいずれもがトレンチ法による調査であったことに対し、調査区Ⅰ区 1,714㎡、Ⅱ区 363㎡、Ⅲ区 1,576㎡、Ⅴ区 1,446㎡、合計 5,099㎡を発掘調査している。（調査区Ⅳ区は 1,013㎡である。）

その結果、資料数が増加し、併せて、接合品、完形品、稀観品の出現と増加が認められた。このことにより、出土土器は特徴的な部位の形態と施紋による分類を基調としつつも、いくつかの土器については土器全体の形態及び法量を示すことが可能となった。

このような特徴をふまえ、出土土器の特徴を的確に把握し簡明に記述するため、形態による分類、施文による分類を以下のとおり実施した。

なお、出土土器の様相を提示するため最低限必要な資料を選定し、その実測図（第 2 分冊）、写真（第 3 分冊）を掲載している。

2-2-2　残存度による分類

土器の口縁部、底部の形態によりそれぞれ 2 類、5 類に分かち、これら 7 類に土器（片）を再加工した円盤形土製品、その他（胴部破片）の 2 類を加え、都合 9 類に分類した。

2-2-3　形態による分類

口縁部の傾きにより 3 類、底部の構造により 2 類に分かち、これら 5 類に把手、不明の 2 類を加え、都合 7 類に分類した。

なお、口縁部の断面形態により 4 類に分かち、これに凸帯、装飾、その他、不明の 4 類を加え、都合 8 類に分類した。

2-2-4　施文による分類

土器の施紋を主、従の 2 者に分かち、それぞれについて施紋具により 19 類、紋様の形態と構成により 17 類に分類した。

なお、土器の残存部位により 6 類に分かった要素を付加し、土器の形態と法量を示している。

2-3　縄紋土器の分類

頭地下手遺跡の調査区Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ区から出土した土器は、以下のとおり分類し、分類結果は土器（RP）観察表に記述した。

2-3-1　残存度による分類

土器の残存部位により 01 ～ 06 に分類した。

01　口縁部から底部までを含むもの。完形品、一部欠損資料、半欠資料等である。

02　口縁部から胴部までを含むもの。底部のみを欠く資料で、胴部の大半を欠く資料も含む。

03　口縁部のみ残すもの。口縁部のみの資料で、その多くは破片である。

04　胴部から底部までを残すもの。口縁部のみを欠く資料で、胴部を半分以上欠く資料も含む。

05　胴部のみ残すもの。口縁部と底部を欠く胴部のみの資料で、破片も含む。

06　底部のみ残すもの。胴部から上部を欠く資料で、半欠資料、破片も含む。

2-3-2　形態による分類

形態による分類 1

残存部位の形態により 01 ～ 09 に分類した。なお、01 ～ 02 は口縁部、03 ～ 06 は底部、07 は胴部、08 は土製品を対象とした分類である。

01　水平口縁部　口縁部が水平にめぐるもの。

02　山形・波状口縁部　口縁部が山形、波状に展開するもの。

03　平底底部　底面が平らかなもの。

04　脚台を有する底部　底面に脚台が付され、上げ底となったもの。

05　脚台に透かしを有する底部　脚台部分に透かし孔があるもの。

06　上げ底底部　底部底面が凹レンズ状に窪んでいるもの。

07　その他　胴部に施紋したもの。
08　土製品　土器片を円形に打ち欠いた円盤形土製品。

形態による分類２

残存した部位の傾き、構造から01～07に分類した。なお、01～03は口縁部の傾き、04～05は底部の構造を対象とした分類であり、06は把手、07はその他として区分している。

01　外反　胴部から口縁部に向って外側に反るように伸びるもの。
02　直口　胴部から口縁部に向ってまっすぐ上に伸びるもの。
03　内傾　胴部から口縁部に向って、内側に傾きながら伸びるもの。
04　なし　支脚を付さない底部、胴部で土器の傾きが判別できないもの。
05　支脚　底部に支脚が付されたもの。
06　把手　口頸部に付された把手。
07　不明　紋様は顕著であるが、部位の特定ができないもの。

形態による分類３

断面の形態、土器に付加された構造により01～08まで分類した。01～04は口縁部、底部の断面形態による分類であり、05は凸帯、06は装飾の貼付け、07はその他、08は不明として区分した。

01　肉厚なし　胴部から同じ厚みで口縁部になるものと、底部の脚裾部になるもの。
02　肉厚あり平縁　口縁部もしくは脚裾部が一段厚くなるよう粘土を盛り上げているもの。
03　肉厚あり三角　胴部に比べ一段厚く断面が三角形に近く粘土を盛り上げているもの。
04　肉厚あり磨消　鐘崎系土器の口縁部である。
05　凸帯　口縁部もしくは底部に凸帯をめぐらしているもの。
06　装飾　口唇部に突起状貼り付け文を施しているものや、土製品で特殊な紋様。
07　その他　胴部及び底部の破片で、紋様など確認できるもの。
08　不明　欠損しているため確認できないもの。

2-3-3　施紋による分類

土器の器面に施された紋様のうち、施紋範囲が広い紋様を主紋様とし、他の紋様を従紋様として区分した。

主紋様は、紋様帯に配された単位紋様であり、波状口縁の凸部等、形態的に割り付けられた特徴的部位に配されている場合が多い。

従紋様は、器面を分割して当該紋様帯の位置を決めるはたらきを担っているもの、主紋様間を充填しているもの等、いくとおりかの在り様を示している。

これらの紋様は、施紋具が土器の器面に接触し、一定方向の運動が一定距離行われた結果、器面上に形成された痕跡である。したがって、施紋具の種類による分類と、運動の方向及び軌跡による分類を行う必要がある。ここでは、主紋様、従紋様の２区分それぞれについて、施紋具による分類19類と、施紋の方向と形成された形よる分類17類に分類した。

施紋具

01　無　紋　紋様が確認できないもの。
02　磨消紋　鐘崎系土器に施された紋様。
03　貝殻紋　巻貝、二枚貝を含む貝殻を使用したもの。
04　沈線紋　先の細い棒状工具を押し当てながら引いたもの。
05　凹線紋　幅が広く浅い線で、指先で施したと推定できるもの。
06　刺突紋　工具の先端で突き刺したもの。
07　押引紋　工具の先端で突き刺し、その後、手前に引いた痕跡を残すもの。
08　刻目紋　工具の先端を押しつけ、又は切りつけた短い切口が連続するもの。
09　貼付紋　粘土を紐状にして貼り付けたもの。
10　列点紋　指の先端を押しつけ、爪跡又は指先跡が残存したもの。
11　爪形紋　指先の爪で器面を突いたもの。
12　網代紋　網代編みの痕跡。平底の底部に残る。
13　木葉紋　木の葉の痕跡。平底の底部に残る。
14　鯨骨痕　鯨の脊椎の痕跡。平底の底部に残る。

15　編布痕　編布の痕跡。平底の底部に残る。
16　条痕紋　工具等を押し当てたまま引きずって施文したもの。
17　不　明　紋様は確認できるが、工具そのものの確認ができないもの。
18　擬似縄紋　貝殻を使ったかのように、他の工具などを使って施されたもの。
19　縄目紋　縄目模様を残しているもの。

方向と形

01　なし　方向性がないもの。
02　水平　横方向のもの。
03　右上がり　右側に向って先端が上がるもの。
04　左上がり　左側に向って先端が上がるもの。
05　左右併用　左右それぞれの方向に先端が上がるもの。
06　縦　縦方向のもの。
07　羽状文　右　羽状紋様先端が右側に向くもの。
08　羽状文　左　羽状紋様先端が左側に向くもの。
09　円弧状　半円の弧線。
10　波状　波状のもの。
11　扇状　扇を広げたようになっているもの。
12　渦巻　渦巻き状のもの。
13　曲線　不整形な曲線。
14　穿孔　孔。土器焼成前、焼成後、土器片への穿孔に分かれる。
15　格子　格子状のもの。
16　円形　円形のもの。
17　不明　形等を特定できないもの。

2-4　円盤形土製品

土器（片）を打ちかいたり、粘土を成形して製作された円形の土製品である。頭地下手遺跡では、今次調査により初めてその存在が確認された。

なお、頭地下手遺跡から出土した円盤形土製品は、すべて土器（片）を素材として加工したものである。

2-4-1　分類の方法

頭地下手遺跡から出土した円盤形土製品は、穿孔の状態と素材となった土器片の部位から次のとおり 5 類に分かつことができる。

第一は、土器片を円形に打ちかき、その中央部に穿孔を施した円盤形土製品である。さらに、穿孔の状態により、片側穿孔により孔が貫通するもの、両側穿孔により孔が貫通するもの、片側穿孔をうけるが孔が未貫通のもの、両側穿孔をうけるが孔が未貫通のもの、以上 4 類に小分類することができる。

第二は、施紋土器片を円形に打ちかき、円、渦形の単位紋様を中央に配置した円盤形土製品である。

第三は、底部片を円形に打ちかいた円盤形土製品である。

第四は、胴部片を円形に打ちかいた円盤形土製品である。

第五は、口縁部片を円形に打ちかいた円盤形土製品である。

2-4-2　円盤形土製品の分類

頭地下手遺跡から出土した円盤形土製品は、その分類ごとに以下の特徴をそなえている。

穿孔を施す円盤形土製品

第一の、穿孔を施す円盤形土製品は 30 点（RP4282 ～ 4311）あり、片側穿孔をうけ孔が貫通している例は RP4292 の 1 点のみ、両側穿孔により孔が貫通するもの 15 点（RP4282 ～ 4291、4293 ～ 4297）、片側穿孔をうけるが孔が未貫通のもの 9 点（RP4298 ～ 4306）、両側穿孔をうけるが孔が未貫通のもの 5 点（RP4307 ～ 4311）である。

孔の大きさは、直径 15mm から直径 7mm までをとり、一定しない。両側穿孔をうけるが孔が未貫通の例を観察すると、孔が穿たれる位置は、両側で一致するわけではなく、RP4309 では双孔の中心が 5mm 錯誤している。これは、双孔が貫通した後その交会部分を中心として孔を拡大し、単孔の体裁を整えようとした結果生じた現象である、と考える。孔壁の角度は垂直に近い角度から 60°まで一定ではなく、両側穿孔の 2 孔の孔壁が異なる例もある。未貫通の孔底は、概ね円錐形に抉れているものの、その先端角は一定ではなく、孔の縦断面形も各々異なる。

これら穿孔を施す円盤形土製品は、口縁部を素材と

する 2 点（RP4294、4296）、底部を素材とする 4 点（RP4282 ～ 4306）をのぞき、大多数が胴部片を素材として製作されている。

土器口縁部を素材として穿孔をもつ円盤形土製品は、RP4294、4296 の 2 点である。

RP4294 は、浅鉢の口縁部を素材とした方形の破片を用い、口唇部をその一辺に充てている。他の 3 辺にはツブシが加えられ割れ口全体が磨滅した状態となっているため、すべての辺が滑らかな造りに整えられていることとなる。

RP4296 は、円盤形土製品の半欠であり、円形に打ちかかれた周縁部に口唇部がわずかに残存している。打ちかかれた周縁部にはツブシが加えられ、残存した口唇部も含め、滑らかな造りとなっている。

土器底部を素材として穿孔をもつ円盤形土製品は、RP4282、4283、4305、4306 の 4 点で、直径 6 ～ 9cm と相対的に大型品である。打ちかいた縁辺部には、さらにツブシが加えられ、割れ口全体が磨滅した状態となっている。

RP4282 は胴部への立ち上がり部分が含まれているため平板な造りではないが、胴部との接辺は高さを揃えて、底部外周の稜も角をおとすように、共に打ちかき、ツブシを加えて、平滑な磨滅状態に整えている。土器底から見ると、厚みがあることをのぞけば、他の円盤形土製品と同様の形となる。

RP4283 は典型的な円盤形土製品で、平底土器の底部を円形に打ちかき、ツブシを加えて、周縁全体が滑らかに磨滅した状態に整えられている。その縁辺部には土器内底端部を巡る凹部がわずかに残存しており、ここを境として胴部器壁を打ちはずし平板な造りとしたことが理解できる。

土器胴部を素材とし穿孔をもつ、24 点の円盤形土製品も同様の加工が加えられているが、直径 3 ～ 7cm と相対的に小型品となっている。

以上から、穿孔を施す円盤形土製品は、その素材、穿孔箇所、使用する道具、穿孔の仕上りの諸点において規格性は一切存在せず、ただ土器片の中央部に孔を配することだけが共通している、と結論する。

紋様を中央に配置した円盤形土製品

第二の、施紋土器（片）を円形に打ちかき、円、渦形の単位紋様を中央に配置した円盤形土製品は 9 点（RP4312 ～ 4320）ある。

このうち、貼付円帯紋の周囲を打ちかいて成形したものは、その中央部が未通の穿孔に近似した形状となっている。なお、貼付渦紋、線刻渦紋の多数には紋様中央に凹部があるため、貼付円帯紋例と同様の容姿となる。また、各紋様は単独で円盤形土製品の中央に配され、先述の凹部が中央を占めている。このことから、円紋、渦紋に集約される単位紋様が選択され、その単独抽出を目的として円盤形土製品が製作されている、と考えることができる。おって、この単位紋様の大きさに規制され､円盤形土製品の大きさも変移する。

RP4312 は、円板を貼り付け、その中央部に円形刺突を加え円帯とし、円帯幅を 1：2 に画する刻線を巡らせ、外帯には二枚貝側端部押圧による擬似縄文を付した貼付円紋をもつ円盤形土製品である。上端部には土器製作時に口唇部直下に穿たれる孔がわすかに残存しているが、ツブシが加えられ、山形口縁部の形態とともに擦り潰されている。このことから、貼付円紋が主体となっていることが理解できる。

RP4313 は、円帯を貼り付け、その上端を平坦に整え、丸棒で 9 単位の刺突を付した貼付円帯紋をもつ円盤形土製品である。上端部には山形の口縁部が位置するが、他の縁辺部より念入りにツブシが加えられ、形態が滅するよう擦り潰されている。

RP4314 は、隆帯を渦形に貼り付け、中心側に一条の凹線を引き、外側に同一工具で刺突列点紋を付した貼付渦紋をもつ円盤形土製品である。およそ五角形を呈する土器片であるが、貼付渦紋からはみ出した部分にツブシが加えられている。

RP4315 は隆帯鉤手紋の端部を、RP4316 は凹線による渦紋部を、それぞれ素材とした円盤形土製品である。隆帯又は凹線による渦紋が破片に残存するように土器表面から打撃を加えて打ちかいている。RP4315 は渦紋となる最低限の範囲を残し、RP4316 は凹線による渦紋が認識できるよう非施紋部分を残し、他の紋様部分を排する必要がある部分には繰り返し打ちかきを加えている。

RP4317、4318、4319、4320は、沈線による渦紋部を素材とした円盤形土製品である。RP4317は2条、RP4318、4319、4320は1条を単位とした沈線で構成され、RP4319には表裏各1単位合計2単位の渦紋、RP4320には多重の渦紋が配されている。なお、RP4319には口縁端部内外面に走る沈線、RP4320には多重弧線が単位紋様である渦紋に連続して配されているが､いずれもツブシ作業により滅され、単位紋様のみを配した様相となるように加工されている。

底部片を円形に打ちかいた円盤形土製品

頭地下手遺跡の縄紋土器は、平底に造られ、その外面は段等の造作をもつことなく胴部へと連続し、その内面は胴部との接合部に強いナデで円周を描くように凹部を巡らせ、かつ底部中央に緩やかな半球形の凸部が形成された例が多い。この底部内面を円周形に巡る凹部までを胴部とともに打ちかき、半球形の凸部のみを形採ることにより、底部片を素材とする円盤形土製品（RP4390～4538）は製作されている。

なお、半球形の凸部は、丸底の場合は最基部を形採ると底外面の曲線が相似形を示し、脚台をもつ土器ではその脚部を打ちかくと底部と脚台部の接合面に相似形が現れる。

胴部片を円形に打ちかいた円盤形土製品

胴部片を素材とする円盤形土製品（RP4340～4389）の多くは無紋の部位を素材とし、施紋破片は寡少である。これは、口頸部等、外反する部位に文様帯が配置された土器が多いため、当該部位では緩やかな半球形の凸部が形成された土器片を採ることが困難なことに因る現象である。

このことから、凹面に施紋面（表面）をもつ土器片は円盤形土製品の素材には適わない、と考えてよい。

そして、胴部最大径の部位を用いたと考えられる円盤形土製品が多いことは、緩やかな半球形の凸部を容易に得ることができるため、と考えることができる。

口縁部片を円形に打ちかいた円盤形土製品

口縁部片を素材とする円盤形土製品（RP4321～4339）は極少量の出土であった。

土器の口縁部は加飾され、あるいはその断面が三角形等を呈するために板状ではなく、かつ土器のなかでは最も堅緻な造りの部位であることからツブシを加えることが困難なため、円盤形土製品の素材として用いられることが極めて少ない、と考えることができる。

2-5　赤色顔料を塗布した土器

土器には、赤色顔料が塗布された部分をもつものがある。

頭地下手遺跡では赤色顔料が塗布された部分をもつ土器45個体を以下のとおり確認している。

RP32、358、385、443、535、946、1033、1177、1823、1914、2116、2240、2396、2573、2577、2583、2627、2644、2649、2730、2757、2808、2839、2847、2893、2937、2955、2957、2974、2999、3021、3024、3057、3145、3182、3186、3255、3817、3964、3970、3972、3981、4003、4045、4058。

土器（RP）観察表

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1	31	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刺突文	水平
2	31	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	刺突文	縦
3	207	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
4	102	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	縦	沈線文	左右併用
5	102	Ⅰ		Ｐ 5372	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	水平	貼り付け文	曲線
6	102	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	縦	無文	なし
7	31	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	刺突文	水平
8	102	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	縦	沈線文	水平
9	31	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	刺突文	縦
10	101	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刻目文	水平	無文	なし
11	102	Ⅰ	9512	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	縦	列点文	水平
12	101	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	列点文	水平	沈線文	羽状文　左
13	102	Ⅰ		Ｐ 5682	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	縦	沈線文	水平
14	134	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	刻目文	水平
15	161	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	刻目文	水平	無文	なし
16	134	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	刺突文	水平
17	132	Ⅴ	ＳＫ６		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	刻目文	縦
18	101	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	水平	沈線文	左上がり
19	103	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	刻目文	水平	沈線文	水平
20	116	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刻目文	水平	刻目文	左右併用
21	31	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	右上がり	無文	なし
22	207	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
23	207	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
24	186	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
25	206	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
26	32	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
27	161	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	貝殻文	縦
28	202	Ⅴ	ＳＫ５		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
29	189	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
30	187	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
31	207	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
32	193	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
33	131	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
34	193	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
35	193	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
36	115	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	凹線文	水平	無文	なし
37	11	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	刻目文	水平	沈線文	水平
38	184	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	刻目文	水平	無文	なし
39	103	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	凹線文	水平	無文	なし
40	205	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
41	206	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	無文	なし
42	194	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
43	206	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	無文	なし	無文	なし
44	206	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	無文	なし	無文	なし
45	31	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	押引文	水平	刻目文	水平
46	134	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	刻目文	水平
47	134	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	刻目文	なし
48	153	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	沈線文	右上がり
49	124	Ⅰ		Ｐ 5249	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	装飾	沈線文	水平	貼り付け文	縦
50	99	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	無文	なし
51	143	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	水平	沈線文	曲線
52	31	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刺突文	水平
53	137	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	沈線文	水平
54	20	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	右上がり	沈線文	水平
55	100	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	右上がり	無文	なし
56	100	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	無文	なし
57	102	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	列点文	穿孔
58	115	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刻目文	縦
59	102	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左右併用	無文	なし
60	100	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	左右併用	沈線文	曲線
61	111	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	羽状文　右	無文	なし
62	100	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左右併用	無文	なし
63	110	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	羽状文　右	無文	なし
64	102	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左右併用	刺突文	縦
65	102	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	右上がり	刺突文	縦
66	207	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	爪形文	縦

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
67	133	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左右併用	沈線文	水平
68	100	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	刺突文	左右併用	無文	なし
69	226	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	磨り消し文	なし	沈線文	縦
70	31	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刻目文	水平
71	101	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	無文	なし
72	93	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	無文	なし
73	93	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刻目文	水平
74	99	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	装飾	沈線文	縦	無文	なし
75	154	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	貼り付け文	曲線
76	154	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	無文	なし
77	31	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刻目文	水平
78	99	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	無文	なし
79	153	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	無文	なし
80	102	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	沈線文	水平
81	207	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	沈線文	縦
82	102	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	沈線文	水平
83	101	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	沈線文	水平
84	101	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	沈線文	曲線
85	153	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	沈線文	水平
86	154	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	貼り付け文	曲線
87	103	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	縦	沈線文	円弧状
88	119	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	沈線文	縦
89	119	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	沈線文	縦
90	103	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	装飾	刺突文	左右併用	沈線文	左上がり
91	118	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	沈線文	水平
92	103	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	装飾	沈線文	左上がり	刺突文	縦
93	117	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	刺突文	縦
94	118	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	左右併用	沈線文	縦
95	115	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	渦巻	刺突文	縦
96	167	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	沈線文	曲線
97	99	Ⅲ	Ｄ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
98	115	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	刻目文	縦
99	31	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	格子	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
100	31	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	右上がり	沈線文	縦
101	167	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	刻目文	右上がり
102	100	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
103	99	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	格子	無文	なし
104	99	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	格子	刺突文	水平
105	100	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	格子	無文	なし
106	100	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	格子	沈線文	左右併用
107	101	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	格子	刺突文	水平
108	209	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	渦巻	刺突文	水平
109	209	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	円形	刺突文	円形
110	334	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	沈線文	右上がり
111	334	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	刺突文	水平
112	221	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
113	221	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	沈線文	曲線	刻目文	水平
114	221	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	沈線文	曲線	沈線文	縦
115	163	Ⅱ	Ｂ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	装飾	貼り付け文	水平	刻目文	右上がり
116	163	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	爪形文	縦
117	236	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
118	216	Ⅲ	Ｅ４	上層	浅鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刻目文	水平
119	222	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	沈線文	水平
120	221	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
121	221	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
122	163	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	爪形文	水平
123	215	Ⅲ	Ｅ４	一括	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	刻目文	右上がり
124	153	Ⅴ	１トレ		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
125	220	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
126	216	Ⅲ		清掃一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刻目文	水平
127	209	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	水平
128	210	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	水平
129	209	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	水平
130	180	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	刻目文	水平
131	163	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	爪形文	水平	沈線文	曲線
132	86	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	貝殻文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
133	221	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	把手	装飾	貼り付け文	縦	沈線文	縦
134	11	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	装飾	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
135	220	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	把手	肉厚なし	刻目文	縦	沈線文	曲線
136	209	Ⅴ	SD２		深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	貼り付け文	円形	無文	なし
137	336	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	沈線文	縦	磨り消し文	なし
138	336	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	無文	なし	無文	なし
139	209	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	貼り付け文	渦巻	沈線文	縦
140	336	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
141	336	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	刺突文	縦	沈線文	縦
142	337	Ⅴ	Ｅ５		深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	沈線文	円形	無文	なし
143	337	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	刺突文	縦	無文	なし
144	337	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
145	337	Ⅲ	Ｃ３	４層	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	沈線文	水平	無文	なし
146	337	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	無文	なし	無文	なし
147	337	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
148	337	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	無文	なし	無文	なし
149	337	区不明		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
150	337	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	貼り付け文	水平	無文	なし
151	336	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	貼り付け文	円形	無文	なし
152	336	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	無文	なし	無文	なし
153	208	Ⅴ	SK１		深鉢	胴部	その他	なし	その他	刺突文	水平	沈線文	左上がり
154	208	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	曲線	無文	なし
155	208	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	その他	把手	装飾	刺突文	縦	沈線文	縦
156	338	Ⅲ			深鉢	口縁部	その他	把手	装飾	沈線文	渦巻	沈線文	水平
157	338	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	不明	無文	なし	無文	なし
158	338	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	不明	無文	なし	無文	なし
159	338	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	不明	沈線文	水平	刺突文	水平
160	338	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	不明	無文	なし	無文	なし
161	338	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	不明	無文	なし	無文	なし
162	337	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	無文	なし	無文	なし
163	337	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	刺突文	縦	沈線文	縦
164	337	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	貼り付け文	水平	無文	なし
165	337	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台透かしあり	支脚	装飾	沈線文	縦	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
166	337	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	刺突文	水平	無文	なし
167	337	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	無文	なし	無文	なし
168	337	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	貼り付け文	水平	刻目文	水平
169	337	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
170	337	Ⅴ		一括	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
171	214	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	その他	把手	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
172	210	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	水平
173	336	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	沈線文	水平	無文	なし
174	336	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	沈線文	水平	無文	なし
175	336	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	無文	なし	無文	なし
176	336	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	刺突文	縦	沈線文	縦
177	338	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	沈線文	曲線	刺突文	水平
178	338	Ⅴ	Ｆ５		深鉢	口縁部	その他	不明	装飾	貼り付け文	水平	沈線文	水平
179	336	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	刺突文	縦	沈線文	縦
180	336	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	刺突文	縦	沈線文	縦
181	338	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	貼り付け文	曲線	磨り消し文	なし
182	336	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	磨り消し文	なし	刺突文	水平
183	338	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	その他	把手	装飾	刺突文	円形	沈線文	円形
184	267	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	その他	把手	装飾	貼り付け文	曲線	刺突文	穿孔
185	211	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
186	211	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明
187	211	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
188	211	Ⅲ	Ｅ３	風倒木	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
189	211	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
190	211	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
191	211	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
192	211	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
193	211	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
194	211	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明
195	212	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
196	212	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
197	212	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
198	212	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
199	212	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明
200	212	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
201	212	Ⅲ	清掃	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	貼り付け文	水平
202	212	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
203	212	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	水平	無文	なし
204	212	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
205	212	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	不明	不明
206	210	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
207	210	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明
208	210	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
209	210	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
210	210	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
211	210	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
212	210	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
213	210	Ⅲ	Ｂ５	Ⅳ層	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
214	210	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	水平	刺突文	水平
215	210	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
216	210	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	列点文	水平
217	210	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
218	210	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	沈線文	左右併用
219	211	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
220	211	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
221	211	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
222	211	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
223	211	Ⅴ	Ｄ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	水平	刺突文	水平
224	211	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
225	211	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
226	211	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	水平	刺突文	水平
227	211	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	貼り付け文	水平
228	211	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
229	211	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
230	211	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
231	211	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	列点文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
232	211	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
233	212	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	貼り付け文	水平
234	212	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明
235	212	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	不明	不明
236	212	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	装飾	貼り付け文	曲線	貼り付け文	水平
237	212	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	水平	不明	不明
238	212	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
239	208	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	円形	刻目文	水平
240	208	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	円形	無文	なし
241	208	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	曲線	無文	なし
242	208	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	水平
243	208	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	穿孔
244	208	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	沈線文	曲線
245	208	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	渦巻	沈線文	曲線
246	208	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	貼り付け文	縦	刺突文	曲線
247	208	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
248	208	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	水平	刺突文	水平
249	208	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	円形	刺突文	曲線
250	208	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	口縁部	水平	不明	装飾	沈線文	曲線	沈線文	渦巻
251	208	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	渦巻	無文	なし
252	208	Ⅴ	Ｆ５		深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	円形	無文	なし
253	208	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	円形	刺突文	水平
254	208	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
255	208	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	不明	装飾	貼り付け文	円形	沈線文	円形
256	208	区不明	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	曲線	無文	なし
257	220	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
258	220	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
259	220	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	縦
260	220	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
261	220	Ⅴ	SD１	Ｐ７５５	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
262	220	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
263	213	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
264	212	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
265	213	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	無文	なし
266	213	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
267	213	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
268	213	Ⅲ	Ｅ７	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
269	213	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	右上がり	無文	なし
270	213	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
271	214	Ⅴ		撹乱	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	列点文	水平
272	214	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
273	213	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
274	214	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
275	214	Ⅲ	Ｄ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
276	213	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
277	220	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
278	220	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
279	220	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
280	220	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刻目文	水平
281	213	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	凹線文	水平
282	213	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
283	213	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
284	213	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	列点文	水平
285	219	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
286	219	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
287	219	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	縦
288	219	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
289	219	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
290	219	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	口縁部	水平	把手	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	縦
291	219	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
292	219	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
293	219	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
294	219	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	列点文	水平
295	219	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
296	219	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	縦
297	219	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
298	219	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
299	219	Ⅴ	Ｅ５		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
300	219	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
301	220	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	縦
302	161	Ⅰ		Ｐ2823	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	貝殻文	右上がり
303	32	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	渦巻	沈線文	曲線
304	161	Ⅰ		Ｐ1401	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	貝殻文	右上がり
305	32	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	凹線文	水平
306	162	Ⅰ		Ｐ4338	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
307	162	Ⅰ		Ｐ2307	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	凹線文	曲線
308	162	Ⅰ		Ｐ4575	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	凹線文	曲線
309	162	Ⅰ		Ｐ2306	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	凹線文	曲線
310	162	Ⅰ		Ｐ1558	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
311	162	Ⅰ		Ｐ4548	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	縦	無文	なし
312	161	Ⅰ		Ｐ1130	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刺突文	水平
313	32	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	曲線
314	216		P755		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	無文	なし
315	209	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	把手	装飾	刺突文	水平	無文	なし
316	209	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	渦巻	無文	なし
317	235	Ⅴ	Ｉ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	貼り付け文	曲線	沈線文	曲線
318	32	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	無文	なし
319	38	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	刺突文	水平
320	214	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	縦	刺突文	水平
321	168	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	左上がり	沈線文	右上がり
322	134	Ⅴ	SK１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	縦	刻目文	縦
323	162	Ⅰ		Ｐ2209	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貼り付け文	水平	凹線文	水平
324	134	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
325	162	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	沈線文	縦	沈線文	渦巻
326	206	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	水平	刺突文	水平
327	207	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	曲線	無文	なし
328	208	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	曲線	無文	なし
329	206	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
330	134	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	曲線	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
331	162	Ⅰ		Ｐ 3722	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
332	167	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
333	167	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	渦巻	沈線文	左上がり
334	168	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
335	134	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
336	207	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
337	32	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	渦巻	刺突文	水平
338	32	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	縦	沈線文	水平
339	168	Ⅴ	SK６		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	左右併用
340	167	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	水平	刺突文	水平
341	214	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	その他	外反	不明	貼り付け文	曲線	無文	なし
342	209	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	曲線	無文	なし
343	134	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	刻目文	水平
344	209	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	貼り付け文	曲線	爪形文	水平
345	209	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	縦	沈線文	縦
346	263	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
347	131	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	水平	無文	なし
348	162	Ⅰ		Ｐ 5437	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	無文	なし
349	31	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	左上がり	貼り付け文	水平
350	209	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	不明	装飾	貼り付け文	円形	無文	なし
351	31	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	渦巻	沈線文	渦巻
352	193	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	縦	無文	なし
353	209	Ⅲ	Ｆ３		浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	渦巻	刺突文	水平
354	134	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貼り付け文	縦	刻目文	右上がり
355	206	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
356	209	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貼り付け文	円形	無文	なし
357	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
358	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
359	30	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	刻目文	水平	沈線文	水平
360	30	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	内傾	肉厚なし	刻目文	水平	沈線文	水平
361	30	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	内傾	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
362	30	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	内傾	肉厚なし	沈線文	水平	刻目文	水平
363	4	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	内傾	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
364	16	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	内傾	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
365	30	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	刻目文	左上がり	沈線文	水平
366	30	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	押引文	水平	無文	なし
367	154	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
368	114	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
369	134	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
370	263	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
371	223	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	沈線文	左上がり
372	31	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	水平	無文	なし
373	16	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
374	6	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
375	189	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
376	223	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
377	162	Ⅲ	Ｃ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	爪形文	水平	刺突文	水平
378	191	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
379	191	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
380	187	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
381	105	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	円弧状	無文	なし
382	223	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
383	105	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	円弧状	無文	なし
384	223	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
385	208	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
386	263	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	磨り消し文	なし	刺突文	穿孔
387	263	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
388	61	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
389	222	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	穿孔	沈線文	曲線
390	222	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	穿孔	無文	なし
391	222	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	穿孔
392	222	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	穿孔	無文	なし
393	222	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	刺突文	なし
394	222	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	穿孔
395	222	Ⅲ			深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	穿孔
396	222	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	穿孔	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
397	222	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	無文	穿孔	無文	なし
398	161	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	凸帯	刻目文	左上がり	無文	なし
399	32	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	装飾	貼り付け文	渦巻	無文	穿孔
400	189	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
401	204	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	穿孔
402	222	Ⅲ	Ｅ４	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	穿孔
403	75	Ⅰ		Ｐ5744	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
404		Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	再利用品	直口	装飾	刻目文	水平	無文	穿孔
405	217	Ⅴ	SD２		浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	穿孔
406	217	Ⅴ		カクラン	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	穿孔	無文	なし
407	217	区不明	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	穿孔	無文	なし
408	217	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	穿孔	刺突文	水平
409	217	Ⅲ	Tr２	黒色土	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	穿孔	沈線文	水平
410	217	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	穿孔
411	217	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貝殻文	水平
412	217	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	円弧状	無文	穿孔
413	217	Ⅴ	Ｄ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	穿孔	沈線文	水平
414	217	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	貝殻文	水平
415	217	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
416	215	Ⅴ		カクラン	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刺突文	水平
417	218	Ⅴ	Ｆ５	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
418	218	Ⅰ		Ｐ5700	浅鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	左右併用	貼り付け文	縦
419	218	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	無文	なし
420	216	Ⅴ	Ｆ５	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	穿孔
421	216	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	沈線文	左右併用
422	216	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貝殻文	水平
423	216	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
424	217	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
425	217	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
426	217	Ⅴ	Ｆ７	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
427	218	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	装飾	貼り付け文	穿孔	沈線文	曲線
428	218	Ⅴ		一括	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貼り付け文	円形	貼り付け文	穿孔
429	218	Ⅴ	Ｅ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	円形	貼り付け文	穿孔

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
430	218	Ⅴ	Ｆ７	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	貼り付け文	円形	貼り付け文	穿孔
431	147	Ⅰ		Ｐ 3919	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
432	156	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左右併用
433	152	Ⅰ		Ｐ 4149	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	列点文	縦
434	157	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	刺突文	水平
435	207	Ⅲ	SD １	ベルト	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	縦	沈線文	渦巻
436	135	Ⅰ		Ｐ 6395	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	沈線文	水平
437	206	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	縦	沈線文	水平
438	206	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
439		Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
440	131	Ⅰ	３トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
441	162	Ⅴ	１トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貼り付け文	曲線	刻目文	水平
442	33	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
443	207	Ⅴ		カクラン	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	水平	刻目文	水平
444	263	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
445	263	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
446	263	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
447	263	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
448	263	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
449	263	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
450	263	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
451	263	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
452	263	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
453	264	Ⅲ	Ｄ２	カクラン一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
454	264	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
455	264	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
456	264	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
457	264	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
458	264	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
459	264	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
460	264	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
461	264	Ⅲ	Ｆ３		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
462	264	Ⅴ	SD １		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
463	264	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
464	264	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
465	275	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
466	275	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
467	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
468	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
469	275	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
470	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
471	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
472	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
473	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
474	275	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
475	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
476	275	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	刺突文	曲線
477	275	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
478	275	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	無文	なし
479	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
480	275	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
481	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
482	275	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
483	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	無文	なし
484	275	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
485	275	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
486	275	Ⅴ		一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
487	156	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	左右併用	沈線文	渦巻
488	266	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
489	266	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
490	266	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
491	266	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
492	266	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
493	266	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	沈線文	曲線
494	266	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
495	266	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
496	266	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
497	266	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
498	266	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
499	266	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
500	266	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
501	266	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
502	266	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
503	266	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
504	266	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
505	225	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
506	224	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	刺突文	水平	沈線文	水平
507	225	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
508	226	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	左右併用	無文	なし
509	226	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	無文	なし
510	226	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
511	226	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	無文	なし
512	226	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	刺突文	水平	沈線文	曲線
513	226	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
514	226	Ⅴ	SK２		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
515	226	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	刺突文	水平
516	226	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
517	226	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
518	226	Ⅲ		一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	無文	なし
519	226	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	無文	なし
520	226	Ⅴ		カクラン	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
521	226	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
522	232	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
523	232	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
524	232	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
525	235	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
526	235	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
527	235	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
528	239	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
529	235	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
530	235	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
531	235	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
532	235	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
533	236	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
534	232	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
535	236	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
536	232	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
537	236	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
538	226	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
539	265	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
540	265	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
541	264	Ⅴ	SD２		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
542	264	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
543	264	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
544	264	Ⅲ		清掃一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
545	264	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
546	264	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
547	274	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
548	274	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
549	274	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
550	274	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	曲線	沈線文	曲線
551	274	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	曲線	沈線文	曲線
552	274	区不明	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
553	276	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
554	276	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
555	276	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
556	256	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
557	256	Ⅴ		カクラン	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
558	256	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
559	257	Ⅲ	Ｅ２	カクラン一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
560	257	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
561	257	Ⅴ		カクラン	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
562	257	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
563	257	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
564	257	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
565	273	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
566	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
567	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
568	273	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	無文	なし
569	273	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
570	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
571	265	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
572	215	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	曲線	無文	なし
573	273	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	貼り付け文	なし	無文	なし
574	265	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
575	265	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
576	265	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
577	265	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
578	265	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
579	265	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
580	265	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
581	265	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	無文	なし
582	265	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
583	265	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	無文	なし
584	128	Ⅰ		Ｐ 6159	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	水平	沈線文	曲線
585	265	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
586	224	Ⅴ		一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
587	224	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
588	225	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
589	225	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
590	225	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
591	225	Ⅴ		カクラン	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	左上がり	無文	なし
592	225	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	左右併用	無文	なし
593	225	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	刺突文	水平	沈線文	左上がり
594	225	Ⅲ	Ｅ３	カクラン一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
595	225	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
596	225	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
597	225	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	刺突文	水平
598	225	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	刺突文	水平
599	225	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
600	237	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
601	260	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
602	265	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	曲線	沈線文	水平
603	276	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
604	276	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
605	214	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
606	215	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刺突文	縦
607	121	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	貼り付け文	縦	刺突文	水平
608	305	Ⅲ	Ａ２	3層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
609	305	Ⅴ	SK２		深鉢	胴部	その他	なし	その他	縄目文	なし	無文	なし
610	207	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	その他	把手	装飾	沈線文	曲線	刻目文	水平
611		Ⅲ	Ｅ３	１トレ	深鉢	底部	平底	なし	肉厚なし	網代文	なし	無文	なし
612	305	Ⅲ		一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
613	207	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	渦巻	無文	なし
614	207	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
615	305	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	縄目文	なし	無文	なし
616	22	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
617	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
618	23	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
619	23	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
620	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	波状
621	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
622	58	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	右上がり
623	63	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	水平
624	12	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
625	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
626	24	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
627	29	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	刻目文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
628	30	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	刻目文	左上がり
629	18	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	水平
630	30	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	曲線
631	29	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	右上がり
632	23	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
633	21	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
634	30	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
635	23	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
636	22	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
637	28	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
638	29	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
639	135	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
640	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	列点文	水平
641	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	列点文	水平
642	135	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
643	116	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
644	128	Ⅰ		Ｐ 4888	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
645	116	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
646	21	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
647	24	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
648	22	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
649	21	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
650	21	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
651	21	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
652	23	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
653	24	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
654	18	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	押引文	右上がり
655	18	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
656	24	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
657	21	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
658	24	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
659	24	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
660	23	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
661	12	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
662	24	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
663	24	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
664	12	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
665	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
666	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
667	12	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
668	128	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
669	128	Ⅰ		Ｐ 2223	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
670	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
671	128	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
672	128	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
673	126	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
674	22	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	曲線
675	128	Ⅰ		Ｐ 2135	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
676	29	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刻目文	水平
677	28	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	水平
678	29	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
679	117	Ⅴ	Ｉ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	左上がり
680	126	Ⅰ		Ｐ 2339	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
681	117	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	左右併用
682	114	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
683	116	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
684	117	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
685	117	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
686	127	Ⅰ		Ｐ 4976	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
687	127	Ⅰ		Ｐ 746	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
688	127	Ⅰ		Ｐ 3799	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
689	127	Ⅰ		Ｐ 4323	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
690	127	Ⅰ		Ｐ 3809	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
691	127	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
692	127	Ⅰ		Ｐ 4942	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	左上がり
693	127	Ⅰ	9521	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
694	126	Ⅰ		Ｐ 193	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
695	126	Ⅰ		Ｐ 648	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
696	126	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
697	126	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
698	126	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
699	126	Ⅴ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
700	158	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
701	159	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
702	155	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	左右併用
703	123	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
704	129	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
705	166	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
706	166	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
707	129	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
708	226	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
709	128	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
710	128	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
711	128	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
712	128	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	右上がり
713	130	Ⅰ		Ｐ 2316	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
714	130	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
715	24	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
716	28	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	左上がり
717	128	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
718	128	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
719	130	Ⅰ		Ｐ 5312	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
720	129	Ⅰ		Ｐ 6160	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
721	130	Ⅰ		Ｐ 2808	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
722	130	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
723	130	Ⅰ	9531	Ⅲｄ層一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
724	130	Ⅰ		Ｐ 3070	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
725	129	Ⅰ		Ｐ 2288	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
726	120	Ⅰ		Ｐ 4526	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
727	130	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
728	130	Ⅰ		Ｐ 5850	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
729	130	Ⅰ		Ｐ 4561	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
730	97	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	縦
731	130	Ⅰ		Ｐ 4280	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
732	130	Ⅰ		Ｐ 2940	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
733	123	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
734	22	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
735	22	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
736	24	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
737	135	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
738	130	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
739	135	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
740	135	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
741	135	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
742	135	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
743	124	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
744	147	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
745	155	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	左上がり
746	157	Ⅲ	Ｄ３	4層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
747	141	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
748	141	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
749	123	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
750	121	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
751	145	Ⅰ		Ｐ 5141	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
752	154	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
753	154	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
754	141	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
755	145	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
756	154	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
757	168	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
758	21	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刻目文	縦
759	21	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
760	128	Ⅰ		Ｐ 5102	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
761	154	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	列点文	縦
762	154	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
763	120	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	左上がり
764	157	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	押引文	水平	刺突文	水平
765	123	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
766	128	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
767	116	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	沈線文	曲線
768	123	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
769	22	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	沈線文	左右併用
770	124	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
771	124	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
772	125	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
773	154	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
774	130	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
775	160	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
776	157	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	刺突文	水平
777	72	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	貝殻文	右上がり
778	122	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	左上がり
779	146	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	水平
780	180	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～底部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
781	157	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
782	58	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	縦
783	142	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	列点文	縦
784	126	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
785	151	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	列点文	縦
786	76	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
787	18	Ⅲ	Ｅ２	撹乱	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
788	16	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
789	16	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
790	16	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
791	16	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
792	17	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
793	29	Ⅲ	Ｅ２	カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	刺突文	水平
794	28	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
795	28	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
796	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
797	28	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
798	17	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
799	19	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	貝殻文	水平
800	18	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
801	16	Ⅲ	Ｅ３	１トレ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
802	16	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
803	16	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
804	16	Ⅲ	Ｅ２	撹乱	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
805	90	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
806	89	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
807	89	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
808	90	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
809	89	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
810	89	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
811	89	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
812	89	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
813	89	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
814	31	Ⅲ	Ｅ３	風倒木１	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	押引文	水平
815	91	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
816	90	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
817	90	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
818	90	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
819	90	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
820	90	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
821	91	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
822	90	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
823	89	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
824	19	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
825	91	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
826	89	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
827	92	Ⅰ		Ｐ 5868	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
828	28	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
829	28	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	水平
830	16	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
831	92	Ⅰ		Ｐ 3895	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
832	92	Ⅰ		Ｐ 6100	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
833	92	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
834	92	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
835	92	Ⅰ		Ｐ 3001	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
836	116	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	沈線文	水平
837	92	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
838	92	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
839	92	Ⅰ	9502	Ⅲｂ層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
840	92	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
841	92	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
842	108	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	沈線文	右上がり
843	158	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
844	159	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
845	158	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
846	107	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	沈線文	羽状文　右
847	114	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	刺突文	水平
848	122	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
849	116	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	沈線文	水平
850	31	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
851	133	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	刺突文	水平
852	116	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	沈線文	水平
853	166	Ⅴ	Ｆ５		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	水平
854	166	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	刺突文	水平
855	96	Ⅲ	Ｅ４	清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
856	166	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	刺突文	水平
857	166	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	押引文	水平
858	148	Ⅴ		撹乱	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
859	159	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	刺突文	水平
860	159	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
861	173	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
862	172	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
863	172	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	沈線文	水平
864	173	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
865	172	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
866	172	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
867	30	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	水平
868	172	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
869	115	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
870	174	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
871	174	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
872	90	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
873	91	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
874	174	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
875	17	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
876	91	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
877	176	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
878	91	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
879	175	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
880	176	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
881	175	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
882	174	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
883	176	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
884	176	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
885	93	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
886	174	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
887	179	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
888	175	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
889	175	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
890	19	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
891	14	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
892	14	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
893	14	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
894	14	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
895	89	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
896	14	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
897	173	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
898	14	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
899	16	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
900	14	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
901	94	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
902	94	Ⅰ		Ｐ 2280	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
903	95	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
904	28	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	右上がり
905	16	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
906	94	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
907	94	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
908	17	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
909	20	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
910	28	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	右上がり
911	92	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
912	92	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	刺突文	水平
913	95	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
914	95	Ⅰ		Ｐ 3856	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
915	94	Ⅰ		Ｐ 2445	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
916	94	Ⅴ		撹乱	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	刺突文	水平
917	94	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
918	94	Ⅰ		Ｐ 2455	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
919	94	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
920	94	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
921	94	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
922	94	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
923	94	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
924	28	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	左上がり

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
925	95	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
926	95	Ⅰ		Ｐ 2464	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
927	95	Ⅰ		Ｐ 2487	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
928	95	Ⅰ		Ｐ 2126	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
929	96	Ⅰ		Ｐ 2812	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
930	96	Ⅰ		Ｐ 6610	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
931	96	Ⅰ		Ｐ 2265	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
932	96	Ⅰ		Ｐ 2222	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
933	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	刺突文	左上がり
934	97	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
935	97	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
936	96	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
937	97	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
938	98	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
939	116	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	沈線文	水平
940	97	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	沈線文	水平
941	157	Ⅰ	9520	Ⅳａ層一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	列点文	水平
942	96	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
943	160	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	刺突文	左上がり
944	98	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
945	177	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
946	177	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
947	178	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
948	14	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
949	14	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
950	37	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
951	14	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
952	16	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
953	177	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
954	94	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
955	98	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
956	15	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
957	15	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
958	15	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
959	177	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
960	178	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
961	159	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	刺突文	左上がり
962	15	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
963	93	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
964	173	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
965	14	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
966	177	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
967	88	Ⅰ		Ｐ 5825	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
968	87	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	水平
969	88	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	水平
970	88	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
971	88	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
972	88	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	貼り付け文	曲線
973	88	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
974	87	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
975	131	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
976	88	Ⅰ	9531	Ⅲｄ層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
977	87	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
978	115	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	押引文	縦	無文	なし
979	97	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
980	114	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	水平
981	114	Ⅴ	Ｆ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
982	87	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	水平
983	92	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
984	88	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
985	87	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
986	88	Ⅲ	SK２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
987	87	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	水平
988	88	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
989	5	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	沈線文	左右併用
990	29	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	刺突文	左上がり

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
991	30	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	曲線
992	155	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
993	155	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	刺突文	左上がり
994	155	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
995	155	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	水平
996	155	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
997	155	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
998	155	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
999	206	Ⅴ	Ｄ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	刺突文	水平
1000	28	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
1001	133	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	刺突文	水平
1002	20	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	水平
1003	30	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	水平
1004	4	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
1005	90	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
1006	38	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
1007	135	Ⅰ		Ｐ 2973	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	水平
1008	23	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1009	138	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1010	24	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1011	138	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1012	12	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1013	138	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1014	23	Ⅲ	Ｅ３	１トレ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1015	138	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1016	135	Ⅰ		Ｐ 5036	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1017	138	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
1018	135	Ⅰ		Ｐ 4136	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	水平
1019	24	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1020	149	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1021	139	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1022	123	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
1023	13	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1024	12	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1025	124	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1026	149	Ⅱ	Ⅲａ層	Ｐ 31	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1027	123	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	列点文	水平
1028	23	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	列点文	水平
1029	130	Ⅰ		Ｐ 532	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
1030	140	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	列点文	水平
1031	151	Ⅰ		Ｐ 5576	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	縦
1032	168	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
1033	144	Ⅲ	トレンチ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1034	24	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	縦
1035	149	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1036	131	Ⅴ	SD １	一括	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
1037	150	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
1038	106	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1039	106	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1040	129	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1041	148	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1042	151	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1043	129	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1044	59	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	左右併用
1045	150	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1046	152	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	右上がり
1047	59	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	右上がり
1048	152	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	縦
1049	137	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	刺突文	水平
1050	139	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1051	150	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1052	158	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	凹線文	曲線	刺突文	水平
1053	100	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
1054	99	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
1055	99	Ⅴ	Ｆ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	格子	沈線文	水平
1056	99	Ⅰ		Ｐ 6663	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1057	100	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	格子	無文	なし
1058	99	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	格子	刺突文	水平
1059	99	Ⅰ		Ｐ4505	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	格子	無文	なし
1060	99	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
1061	99	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
1062	99	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	格子	沈線文	水平
1063	101	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
1064	100	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
1065	107	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1066	107	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1067	107	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	刺突文	水平
1068	107	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1069	107	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1070	107	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1071	108	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1072	107	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1073	107	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1074	107	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1075	107	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	水平
1076	108	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	刺突文	左上がり
1077	107	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1078	108	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1079	108	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1080	108	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	刺突文	水平
1081	108	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1082	108	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1083	108	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1084	108	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	水平
1085	108	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1086	108	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1087	110	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1088	110	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1089	110	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	刺突文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1090	110	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1091	107	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1092	108	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1093	109	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1094	108	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1095	155	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1096	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1097	110	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1098	110	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1099	112	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1100	111	Ⅰ		Ｐ 3358	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1101	110	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1102	113	Ⅰ		Ｐ 5910	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1103	112	Ⅰ		Ｐ 2216	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	刺突文	左上がり
1104	112	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1105	112	Ⅰ		Ｐ 3649	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1106	113	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	刺突文	左上がり
1107	110	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1108	113	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1109	112	Ⅰ		Ｐ 6570	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	水平
1110	112	Ⅰ		Ｐ 6026	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1111	112	Ⅰ		Ｐ 4928	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1112	111	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1113	109	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1114	116	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	刺突文	水平
1115	117	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1116	28	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	刺突文	水平
1117	113	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1118	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1119	28	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
1120	119	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1121	108	Ⅰ		Ｐ 6734	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	沈線文	縦
1122	108	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1123	112	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	羽状文　左	無文	なし
1124	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1125	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1126	107	Ⅰ		Ｐ 1668	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1127	111	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	刺突文	縦
1128	111	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
1129	110	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	刺突文	左右併用
1130	110	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	水平
1131	113	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1132	111	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1133	116	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	沈線文	左上がり
1134	113	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1135	112	Ⅴ	ＳＫ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1136	113	Ⅲ	Ｃ４	Ⅳ層一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左右併用	刺突文	水平
1137	112	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	沈線文	左上がり
1138	109	Ⅰ		Ｐ 5856	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	刺突文	水平
1139	148	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1140	111	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	沈線文	右上がり
1141	113	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1142	111	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1143	111	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1144	112	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	羽状文　左	沈線文	縦
1145	109	Ⅰ		Ｐ 5853	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1146	112	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	無文	なし
1147	189	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
1148	114	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	縦	無文	なし
1149	189	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
1150	114	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	渦巻	刺突文	縦
1151	334	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左上がり
1152	159	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
1153	155	Ⅴ	Ｄ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1154	154	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	沈線文	水平
1155	104	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1156	147	Ⅰ		Ｐ 3940	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
1157	104	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1158	104	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1159	147	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1160	156	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
1161	155	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	水平
1162	155	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	羽状文　左	沈線文	水平
1163	29	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	沈線文	羽状文右
1164	104	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
1165	147	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1166	147	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1167	147	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1168	105	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1169	147	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1170	105	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1171	147	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1172	147	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1173	106	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	水平
1174	106	Ⅰ		Ｐ 3695	深鉢	口縁部	水平	直口	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
1175	153	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	縦
1176	121	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	水平
1177	120	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	渦巻	貝殻文	右上がり
1178	105	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	渦巻	無文	なし
1179	105	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	円弧状	無文	なし
1180	104	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	曲線
1181	104	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1182	105	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	左上がり
1183	105	Ⅰ	9502	Ⅲ上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1184	20	Ⅲ	Ｅ２	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	押引文	水平
1185	38	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
1186	115	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	その他	なし	その他	沈線文	縦	沈線文	水平
1187	115	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1188	155	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左上がり

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1189	148	Ⅲ		清掃一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	円弧状
1190	114	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	左右併用
1191	114	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
1192	161	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	渦巻	刺突文	水平
1193	104	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1194	114	Ⅰ		Ｐ 4231	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
1195	155	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
1196	104	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	列点文	縦
1197	104	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	刺突文	縦
1198	104	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1199	104	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1200	104	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1201	104	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
1202	104	Ⅰ		Ｐ 3226	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	貝殻文	左右併用
1203	114	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	刻目文	左上がり
1204	147	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	曲線
1205	156	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左上がり
1206	105	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1207	159	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	縦
1208	155	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左上がり
1209	105	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1210	149	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	磨り消し文	なし
1211	105	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1212	148	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1213	148	Ⅲ	Ｅ３	風倒木	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
1214	148	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1215	117	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	刺突文	水平
1216	141	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
1217	134	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
1218	140	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1219	57	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1220	57	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1221	57	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1222	55	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1223	56	Ⅰ		Ｐ 2326	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1224	54	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1225	69	Ⅰ		Ｐ 2843	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1226	55	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1227	8	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	沈線文	円弧状
1228	69	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1229	57	Ⅰ		Ｐ 1223	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1230	50	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1231	57	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1232	50	Ⅲ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1233	53	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1234	53	Ⅲ	SD １	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1235	42	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1236	50	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1237	42	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1238	27	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1239	54	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1240	54	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1241	7	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1242	55	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1243	7	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1244	38	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1245	8	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1246	42	Ⅴ	Ｉ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1247	55	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1248	39	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1249	45	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1250	25	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1251	25	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1252	25	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1253	25	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1254	25	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1255	25	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1256	25	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1257	26	Ⅲ	Ｅ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1258	27	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1259	38	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1260	52	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1261	56	Ⅰ		Ｐ 2313	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1262	47	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1263	47	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1264	44	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1265	44	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1266	40	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1267	38	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1268	40	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1269	40	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1270	40	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1271	40	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1272	25	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1273	25	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1274	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1275	26	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1276	38	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1277	39	Ⅲ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1278	44	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1279	44	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1280	44	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1281	44	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1282	44	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1283	44	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1284	44	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1285	44	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1286	46	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1287	46	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1288	41	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1289	40	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1290	41	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1291	56	Ⅰ		Ｐ2286	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1292	46	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1293	47	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1294	47	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	貝殻文	水平
1295	56	Ⅰ		Ｐ5728	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1296	46	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1297	46	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1298	46	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1299	44	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1300	46	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1301	46	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1302	46	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1303	56	Ⅰ		Ｐ5789	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1304	46	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1305	56	Ⅰ	9520	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1306	46	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1307	42	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1308	42	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1309	42	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1310	42	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1311	56	Ⅰ		Ｐ5009	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1312	45	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1313	45	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1314	45	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1315	56	Ⅰ		Ｐ4852	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1316	46	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1317	56	Ⅰ		Ｐ3803	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1318	42	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1319	56	Ⅰ		Ｐ1821	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1320	42	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1321	92	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1322	55	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1323	57	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1324	57	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1325	57	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1326	50	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1327	57	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1328	45	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1329	50	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1330	56	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1331	85	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1332	55	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1333	47	区不明	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1334	47	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1335	48	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1336	48	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1337	48	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1338	44	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1339	44	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1340	44	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1341	49	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1342	49	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1343	50	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1344	50	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1345	50	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1346	50	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1347	50	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1348	50	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1349	50	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1350	50	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1351	50	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1352	50	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1353	50	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1354	49	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1355	49	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1356	49	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1357	49	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1358	49	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1359	49	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1360	49	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1361	49	Ⅴ	SK１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1362	49	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1363	49	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1364	55	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1365	54	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1366	25	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1367	25	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1368	51	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1369	51	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1370	51	区不明	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1371	51	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1372	51	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1373	51	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1374	51	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1375	51	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1376	51	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1377	51	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1378	51	Ⅴ	１トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1379	51	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1380	51	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1381	51	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1382	51	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1383	51	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1384	51	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1385	51	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1386	51	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1387	51	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1388	51	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1389	53	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1390	56	Ⅰ		Ｐ 4950	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1391	54	Ⅲ	２トレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1392	53	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1393	54	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1394	54	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1395	52	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1396	52	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1397	52	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1398	52	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1399	52	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1400	52	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1401	54	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1402	52	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1403	56	Ⅰ		Ｐ 2385	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1404	56	Ⅰ		Ｐ 3096	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1405	56	Ⅰ		Ｐ 4116	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1406	56	Ⅰ		Ｐ 3539	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1407	56	Ⅰ		Ｐ 1751	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1408	56	Ⅰ		Ｐ 3544	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1409	56	Ⅰ		Ｐ 5271	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1410	56	Ⅰ		Ｐ 731	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1411	56	Ⅰ		Ｐ 2450	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1412	56	Ⅰ		Ｐ 2768	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1413	53	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1414	53	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1415	54	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1416	54	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1417	57	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1418	46	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1419	57	Ⅰ		Ｐ 2756	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1420	43	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1421	45	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1422	55	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1423	43	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1424	43	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1425	43	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1426	48	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1427	52	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1428	53	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1429	39	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1430	48	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1431	6	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1432	25	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1433	54	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1434	46	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1435	54	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1436	6	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1437	56	Ⅰ		Ｐ 6033	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1438	56	Ⅰ		Ｐ 3981	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1439	47	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1440	46	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1441	45	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1442	41	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1443	56	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1444	45	Ⅴ	Ｅ６	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1445	44	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1446	45	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1447	52	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1448	54	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1449	6	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1450	55	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1451	55	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1452	57	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1453	55	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1454	39	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1455	53	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1456	40	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1457	43	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1458	40	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1459	56	Ⅰ		Ｐ4539	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1460	68	Ⅰ	9429	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1461	53	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1462	38	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1463	52	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1464	72	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1465	120	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1466	48	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1467	57	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1468	41	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1469	53	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1470	70	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1471	6	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1472	69	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1473	41	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1474	42	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1475	73	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
1476	41	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1477	41	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
1478	27	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1479	49	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1480	68	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1481	58	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1482	60	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1483	60	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1484	54	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1485	57	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1486	57	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1487	61	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1488	61	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1489	61	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1490	6	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1491	60	Ⅰ		Ｐ4547	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1492	60	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1493	60	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1494	60	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1495	60	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1496	41	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1497	53	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	縦	無文	なし
1498	60	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1499	60	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1500	60	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1501	61	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1502	61	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
1503	61	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1504	7	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	無文	なし
1505	72	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
1506	25	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
1507	8	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
1508	6	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	沈線文	左右併用
1509	6	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1510	58	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1511	58	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1512	58	Ⅰ	9520	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1513	58	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1514	58	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	沈線文	水平
1515	58	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1516	7	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
1517	59	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1518	85	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1519	59	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
1520	25	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1521	62	Ⅰ		Ｐ4251	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1522	62	Ⅰ		Ｐ4701	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1523	62	Ⅰ		Ｐ3350	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1524	63	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1525	64	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1526	65	Ⅴ	Ｅ６	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	水平	無文	なし
1527	64	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1528	63	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1529	37	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1530	62	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1531	64	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1532	72	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貝殻文	水平	沈線文	水平
1533	63	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1534	62	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1535	62	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1536	63	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1537	64	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1538	6	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1539	6	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1540	64	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
1541	64	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1542	63	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1543	62	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1544	65	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1545	65	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1546	64	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1547	62	Ⅲ	Ｆ３		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
1548	6	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1549	5	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	沈線文	水平
1550	63	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1551	63	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1552	39	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1553	65	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1554	67	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1555	118	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	沈線文	水平
1556	142	Ⅰ		Ｐ 5616	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1557	72	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	貝殻文	水平	沈線文	水平
1558	18	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	磨り消し文	水平	沈線文	水平
1559	62	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1560	6	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1561	146	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貝殻文	水平
1562	63	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
1563	38	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
1564	135	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
1565	159	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	左上がり	無文	なし
1566	30	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	左上がり	無文	なし
1567	159	Ⅴ	ＳＫ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	曲線
1568	157	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
1569	21	Ⅲ	Ｅ２	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	水平
1570	166	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（平）	刺突文	水平	押引文	水平
1571	160	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	左上がり	無文	なし
1572	164	Ⅰ		Ｐ 596	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
1573	5	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	水平
1574	164	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
1575	159	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	水平
1576	4	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	曲線
1577	4	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1578	4	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1579	116	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	左右併用	沈線文	水平
1580	158	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	左上がり	無文	なし
1581	158	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1582	158	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1583	164	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1584	38	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	縦	沈線文	羽状文　右

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1585	18	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	刺突文	左上がり	凹線文	円弧状
1586	5	Ⅲ	Ｅ２	カクラン一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1587	5	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1588	166	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	水平
1589	164	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	沈線文	水平
1590	207	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	曲線
1591	164	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1592	164	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1593	164	Ⅰ	9520	10 トレ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1594	164	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	右上がり	無文	なし
1595	164	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1596	121	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	無文	なし
1597	164	Ⅰ		Ｐ 5555	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
1598	113	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	羽状文　右	無文	なし
1599	109	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刺突文	羽状文　右	無文	なし
1600	118	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	装飾	刺突文	縦	沈線文	左右併用
1601	19	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	扇状	沈線文	水平
1602	166	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	無文	なし
1603	159	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1604	120	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	左上がり	無文	なし
1605	120	Ⅰ		Ｐ 5229	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1606	164	Ⅰ		Ｐ 6077	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	左上がり	無文	なし
1607	4	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1608	120	Ⅰ		Ｐ 6127	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1609	164	Ⅰ		Ｐ 5316	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	羽状文　左	沈線文	左上がり
1610	164	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1611	5	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1612	154	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	縦	無文	なし
1613	5	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	縦	沈線文	水平
1614	133	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	左右併用
1615	131	Ⅰ		Ｐ 2956	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1616	120	区不明	廃土	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
1617	164	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1618	164	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刺突文	右上がり	無文	なし
1619	164	Ⅴ	SK６		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1620	164	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1621	164	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	無文	なし
1622	165	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	右上がり	無文	なし
1623	167	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
1624	121	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
1625	158	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
1626	130	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
1627	133	Ⅴ	Ｈ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	縦	条痕文	水平
1628	122	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	沈線文	水平
1629	123	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
1630	120	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	沈線文	曲線
1631	121	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	左上がり	無文	なし
1632	122	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
1633	131	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	沈線文	水平
1634	120	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	左上がり	無文	なし
1635	121	Ⅴ	SK６		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	縦	無文	なし
1636	28	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	水平	無文	なし
1637	161	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	凸帯	刻目文	水平	無文	なし
1638	160	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
1639	17	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	縦	無文	なし
1640	120	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	右上がり	無文	なし
1641	120	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	右上がり	無文	なし
1642	120	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	右上がり	無文	なし
1643	120	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	右上がり	無文	なし
1644	120	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし
1645	120	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし
1646	120	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし
1647	121	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし
1648	121	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし
1649	121	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし
1650	121	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	左上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1651	121	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	縦	無文	なし
1652	122	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	水平	沈線文	水平
1653	120	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	左上がり	無文	なし
1654	121	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	右上がり	無文	なし
1655	133	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	水平	刻目文	水平
1656	122	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	刻目文	右上がり	無文	なし
1657	121	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	刻目文	左上がり	無文	なし
1658	164	Ⅰ		Ｐ 6288	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	押引文	水平	無文	なし
1659	158	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	押引文	右上がり	無文	なし
1660	28	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	押引文	水平	無文	なし
1661	157	Ⅰ		Ｐ 4480	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	押引文	水平	刺突文	縦
1662	157	Ⅰ		Ｐ 677	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	押引文	水平	刺突文	水平
1663	32	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	押引文	水平	沈線文	水平
1664	4	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	押引文	水平	無文	水平
1665	20	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	押引文	水平	無文	なし
1666	21	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	押引文	縦	刻目文	水平
1667	120	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	押引文	水平	無文	なし
1668	143	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	押引文	水平	無文	なし
1669	95	Ⅰ		Ｐ 6055	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	右上がり	無文	なし
1670	148	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	凹線文	水平	凹線文	曲線
1671	145	Ⅰ		Ｐ 2310	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1672	148	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1673	148	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	左上がり	無文	なし
1674	152	Ⅰ		Ｐ 4924	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	列点文	水平
1675	45	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	右上がり	無文	なし
1676	20	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	凹線文	水平	無文	なし
1677	175	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	左上がり	無文	なし
1678	148	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	左上がり	無文	なし
1679	152	Ⅰ	10トレ	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	凹線文	右上がり
1680	37	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刻目文	水平
1681	165	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	凹線文	水平	刺突文	縦
1682	4	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	列点文	水平	無文	なし
1683	58	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	列点文	左上がり	貝殻文	左上がり

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1684	122	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	列点文	水平	沈線文	水平
1685	4	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	列点文	水平	無文	水平
1686	123	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	凸帯	列点文	水平	刻目文	水平
1687	122	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	爪形文	水平	無文	なし
1688	122	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	爪形文	水平	無文	なし
1689	179	Ⅴ	ＳＫ３	№.１	深鉢	口縁部～底部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	爪形文	水平
1690	31	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	無文	なし	無文	なし
1691	31	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	刻目文	水平	沈線文	水平
1692	206	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
1693	31	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	凸帯	刻目文	水平	沈線文	格子
1694	31	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	刻目文	水平	沈線文	水平
1695	121	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	刻目文	水平	無文	なし
1696	161	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	凸帯	押引文	水平	刺突文	水平
1697	171	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	沈線文	水平	無文	なし
1698	67	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	凸帯	貝殻文	右上がり	無文	なし
1699	121	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	凸帯	沈線文	水平	刺突文	水平
1700	205	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	胴部	その他	外反	凸帯	刻目文	水平	無文	なし
1701	205	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1702	188	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1703	205	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1704	203	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貝殻文	左上がり
1705	246	Ⅰ	P1213		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	無文	なし
1706	191	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1707	204	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1708	200	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1709	5	Ⅲ	Ｅ３	清掃	深鉢	口縁部～底部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1710	183	Ⅰ		Ｐ 6097	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1711	183	Ⅰ		Ｐ 6348	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1712	186	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1713	184	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1714	184	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1715	188	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1716	189	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1717	4	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1718	203	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1719	203	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1720	204	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1721	191	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1722	191	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1723	187	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1724	183	Ⅰ		Ｐ 2970	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1725	188	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1726	187	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1727	188	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1728	188	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1729	188	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1730	184	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1731	184	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1732	185	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1733	186	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1734	184	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1735	185	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1736	185	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1737	184	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1738	185	Ⅲ	Ｅ２	カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1739	185	Ⅲ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1740	185	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1741	185	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1742	186	Ⅴ	ＳＫ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1743	186	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1744	186	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1745	185	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1746	186	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1747	186	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1748	185	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1749	185	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1750	189	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1751	188	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1752	120	Ⅰ		P 6089	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1753	185	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1754	190	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
1755	190	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1756	192	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1757	188	Ⅰ		P 2306	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1758	188	Ⅰ		P 2998	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1759	189	Ⅴ	SDI		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1760	188	Ⅰ		P 213	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1761	190	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左上がり	沈線文	水平
1762	121	Ⅰ		P 2785	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1763	4	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	水平
1764	191	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1765	191	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1766	191	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	凸帯	無文	なし	無文	なし
1767	189	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1768	189	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1769	189	Ⅴ	Ｇ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1770	189	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1771	189	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1772	189	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1773	189	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1774	189	Ⅲ	Ｄ４	４層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1775	189	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1776	189	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1777	189	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1778	189	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1779	190	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1780	190	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1781	190	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1782	190	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1783	190	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1784	190	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1785	191	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1786	191	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1787	191	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	外反	凸帯	無文	なし	無文	なし
1788	191	Ⅲ	Ｃ３	下層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1789	191	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1790	191	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1791	191	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1792	191	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1793	191	Ⅲ	Ｃ４	Ⅳ層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1794	191	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1795	191	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1796	191	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1797	187	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1798	187	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1799	184	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1800	188	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1801	188	Ⅴ	SK１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1802	189	Ⅲ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1803	192	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1804	189	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1805	185	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1806	185	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1807	184	Ⅰ		Ｐ 5454	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1808	184	Ⅰ		Ｐ 1708	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1809	29	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	水平
1810	22	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1811	181	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	水平	無文	なし
1812	184	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1813	192	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1814	192	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
1815	192	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1816	192	Ⅲ	Ｃ３	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	列点文	なし
1817	204	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1818	203	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（三）	無文	なし	無文	なし
1819	205	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1820	185	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1821		Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1822	163	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
1823	273	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1824	198	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	貼り付け文	曲線
1825	198	Ⅰ		Ｐ 3006	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	渦巻
1826	222	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	刻目文	水平	無文	なし
1827	196	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	貝殻文	左上がり
1828	186	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1829	186	Ⅰ		Ｐ 5491	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1830	130	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	無文	水平	無文	なし
1831	131	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1832	181	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1833	181	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1834	181	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1835	181	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1836	181	Ⅴ	SD２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1837	181	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1838	187	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1839	181	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1840	181	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1841	181	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1842	182	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1843	182	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1844	182	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1845	182	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1846	189	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1847	188	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1848	161	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	無文	なし	刻目文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1849	189	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1850	187	Ⅲ	Ｄ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1851	200	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1852	187	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1853	187	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1854	187	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1855	182	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1856	196	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1857	187	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1858	200	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1859	204	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1860	200	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1861	204	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1862	196	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1863	186	Ⅰ		Ｐ 2305	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1864	186	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1865	186	Ⅰ		Ｐ 5651	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1866	186	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1867	186	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1868	182	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1869	187	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1870	186	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1871	182	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1872	182	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1873	183	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1874	199	Ⅲ	Ｇ４		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1875	197	Ⅰ	9429	Ⅲｄ層一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1876	200	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1877	200	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1878	196	Ⅰ		Ｐ 2878	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1879	203	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
1880	281	Ⅰ	9439	Ⅲｃ層	深鉢	口縁部～底部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1881	222	Ⅴ		カクラン	深鉢	胴部～底部	その他	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1882	329	Ⅲ	Ｅ４	上層	浅鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1883	200	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1884	181	Ⅴ	SD１		浅鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	条痕文	水平	無文	なし
1885	195	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1886	194	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	刻目文	水平	無文	なし
1887	197	Ⅰ			深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1888	202	Ⅰ	ＳＫ062	埋土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1889	201	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1890	199	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1891	196	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1892	201	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
1893	201	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1894	195	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部～底部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1895	182	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	無文	なし	無文	なし
1896	202	Ⅰ		Ｐ5059	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1897	200	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
1898	202	Ⅰ	9439	Ⅱ層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	凸帯	刻目文	右上がり	無文	なし
1899	173	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1900	280	Ⅰ	9530	Ⅲｃ層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1901	280	Ⅰ	9530	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
1902	281	Ⅱ	Ｂ３	Ⅲａ層一括	深鉢	口縁部～底部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1903	206	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	渦巻	沈線文	水平
1904	206	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	渦巻	沈線文	水平
1905	20	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	渦巻	沈線文	水平
1906	156	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
1907	156	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	左上がり
1908	156	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左上がり
1909	156	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	曲線
1910	156	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
1911	156	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
1912	105	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1913	105	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
1914	106	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	沈線文	曲線	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1915	206	Ⅲ	SX001	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	曲線
1916	206	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
1917	157	Ⅰ	9520	Ⅳａ層一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
1918	171	Ⅰ	9521	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（三）	沈線文	曲線	無文	なし
1919	105	Ⅰ		Ｐ 3875	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
1920	153	Ⅱ	Ａ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左上がり
1921	148	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1922	147	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	水平
1923	148	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	左右併用
1924	111	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	曲線	刺突文	左上がり
1925	147	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
1926	106	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	刻目文	水平
1927	172	Ⅴ	SD ２		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	なし
1928	149	Ⅰ		Ｐ 2628	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1929	149	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1930	149	Ⅰ		Ｐ 2315	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
1931	149	Ⅰ		Ｐ 511	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
1932	149	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
1933	149	Ⅰ		Ｐ 3895	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1934	2	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
1935	136	Ⅰ		Ｐ 4137	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1936	149	Ⅰ		Ｐ 2854	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1937	2	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	曲線
1938	149	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	円弧状	無文	なし
1939	138	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	水平
1940	149	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	円弧状	無文	なし
1941	138	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1942	2	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	左上がり
1943	136	Ⅰ		Ｐ 2338	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1944	2	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	左右併用
1945	137	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1946	151	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1947	139	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1948	150	Ⅴ	１トレ		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	凹線文	水平
1949	136	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1950	151	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1951	149	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1952	3	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	右上がり
1953	2	Ⅲ	Ｅ２	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刻目文	波状
1954	138	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1955	2	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
1956	136	Ⅰ		Ｐ 4166	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1957	3	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	円弧状	爪形文	左右併用
1958	12	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	凹線文	水平	凹線文	なし
1959	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	凹線文	曲線	無文	なし
1960	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	列点文	縦
1961	24	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1962	13	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	凹線文	曲線	凹線文	曲線
1963	151	Ⅰ		Ｐ 2817	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	列点文	縦
1964	20	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1965	18	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刻目文	縦
1966	20	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1967	114	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
1968	138	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1969	22	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1970	137	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1971	150	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1972	127	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1973	127	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1974	136	Ⅲ	ベルト	砂層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
1975	150	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	列点文	縦
1976	137	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1977	114	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	沈線文	左上がり
1978	37	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1979	114	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1980	136	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
1981	3	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	凹線文	水平
1982	126	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
1983	137	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
1984	140	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
1985	151	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	曲線	無文	なし
1986	151	Ⅰ		Ｐ 6666	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1987	152	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	縦
1988	168	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	沈線文	水平
1989	142	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
1990	185	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
1991	151	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1992	12	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	凹線文	円弧状	無文	なし
1993	13	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
1994	141	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
1995	141	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1996	141	Ⅰ		Ｐ 2760	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
1997	168	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1998	150	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
1999	114	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刻目文	縦
2000	141	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2001	141	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
2002	142	Ⅰ		Ｐ 2276	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2003	127	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2004	124	Ⅰ		Ｐ 4122	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2005	127	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
2006	124	Ⅰ		Ｐ 5172	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2007	124	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2008	142	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
2009	142	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2010	171	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2011	145	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2012	145	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
2013	145	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2014	145	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2015	145	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2016	146	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2017	124	Ⅰ		Ｐ 4527	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2018	142	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2019	145	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刺突文	水平
2020	145	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2021	127	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2022	129	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2023	168	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2024	145	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2025	145	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2026	168	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2027	169	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2028	150	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	無文	なし
2029	169	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	縦
2030	168	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2031	171	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2032	145	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2033	171	Ⅰ		Ｐ 6151	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2034	206	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	刺突文	水平
2035	206	Ⅲ	Ｅ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2036	151	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	列点文	縦
2037	172	Ⅴ	１トレ		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2038	133	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刻目文	水平
2039	125	Ⅰ		Ｐ 4997	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2040	146	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2041	158	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	押引文	水平	刺突文	水平
2042	75	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	右上がり
2043	160	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
2044	117	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	水平	刻目文	水平
2045	169	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	縦
2046	171	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2047	153	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	刺突文	縦
2048	153	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
2049	129	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
2050	153	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	縦
2051	153	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
2052	137	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	水平
2053	157	Ⅰ		Ｐ 4711	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
2054	2	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2055	153	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	列点文	縦
2056	18	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	刻目文	右上がり
2057	136	Ⅴ		撹乱	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2058	12	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
2059	124	Ⅰ		Ｐ 890	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2060	13	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	なし	無文	なし
2061	20	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2062	13	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	なし	無文	なし
2063	129	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
2064	13	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	円弧状	無文	なし
2065	20	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2066	20	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2067	2	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	列点文	縦
2068	2	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2069	142	Ⅰ		Ｐ 656	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2070	142	Ⅰ		Ｐ 2164	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2071	129	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2072	129	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2073	129	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2074	161	Ⅰ	9510	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2075	168	Ⅲ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2076	161	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	曲線
2077	161	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2078	169	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貝殻文	水平
2079	169	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貼り付け文	縦

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2080	169	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2081	168	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	左上がり
2082	169	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2083	169	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2084	169	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2085	171	Ⅰ		Ｐ 3067	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	縦
2086	171	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2087	146	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2088	170	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2089	170	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2090	143	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2091	146	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2092	170	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2093	170	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2094	171	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2095	142	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2096	2	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2097	2	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2098	20	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2099	72	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	水平
2100	2	Ⅲ	Ｅ２	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2101	137	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2102	144	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2103	125	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2104	136	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
2105	3	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2106	144	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
2107	125	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2108	170	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2109	98	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～底部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
2110	21	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刺突文	水平
2111	136	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2112	169	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	曲線	刺突文	縦

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2113	172	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2114	172	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2115	5	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2116	20	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2117	167	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2118	124	Ⅰ		Ｐ 5451	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刺突文	水平
2119	24	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
2120	160	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
2121	145	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2122	180	Ⅴ	Ｆ５		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	肉厚（三）	凹線文	水平	刻目文	水平
2123	18	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
2124	18	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
2125	18	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2126	18	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	列点文	水平
2127	19	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
2128	18	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	縦	無文	なし
2129	19	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
2130	93	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2131	123	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2132	37	Ⅴ	Ｅ６	下層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2133	97	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2134	143	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2135	97	Ⅰ		Ｐ 1674	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2136	166	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	水平
2137	4	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
2138	142	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2139	97	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	刻目文	縦
2140	97	Ⅰ		Ｐ 5840	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2141	95	Ⅰ		Ｐ 4523	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2142	95	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2143	95	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2144	159	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	右上がり	刺突文	水平
2145	16	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2146	19	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2147	16	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2148	95	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2149	143	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2150	143	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刻目文	右上がり	無文	なし
2151	91	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	左右併用	無文	なし
2152	98	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2153	93	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2154	142	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2155	97	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2156	142	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2157	95	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2158	150	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2159	95	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2160	18	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	右上がり	無文	なし
2161	98	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2162	96	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2163	93	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	沈線文	水平
2164	98	Ⅰ		Ｐ 655	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2165	97	Ⅰ		Ｐ 4137	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2166	144	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2167	144	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
2168	167	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
2169	167	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刻目文	左上がり	沈線文	水平
2170	206	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
2171	167	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
2172	122	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
2173	113	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	左上がり	沈線文	水平
2174	167	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	沈線文	水平
2175	113	Ⅰ		Ｐ 2238	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
2176	30	Ⅲ	Ｅ２	撹乱	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刻目文	羽状文右	沈線文	水平
2177	114	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	左右併用	刺突文	縦
2178	113	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2179	113	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
2180	113	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	水平
2181	113	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	沈線文	右上がり
2182	110	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
2183	111	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
2184	113	Ⅰ		Ｐ 5855	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
2185	110	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	沈線文	羽状文　右	無文	なし
2186	109	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
2187	110	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	装飾	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
2188	109	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	沈線文	左右併用
2189	148	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	左上がり	凹線文	縦
2190	114	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	刺突文	水平
2191	100	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	格子	無文	なし
2192	4	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
2193	111	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	沈線文	左上がり
2194	89	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	左右併用	無文	なし
2195	132	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
2196	169	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
2197	215	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
2198	215	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	水平
2199	215	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	曲線	貼り付け文	渦巻
2200	215	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貝殻文	水平
2201	215	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2202	215	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2203	215	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	貼り付け文	曲線
2204	214	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	貼り付け文	曲線
2205	214	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
2206	215	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	沈線文	水平
2207	214	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	水平
2208	214	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
2209	215	Ⅲ	Ｄ３	一括	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2210	214	Ⅲ	Ｅ１	一括	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刻目文	左上がり	沈線文	水平
2211	215	Ⅲ		清掃一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	渦巻	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2212	214	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	刺突文	曲線
2213	215	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	曲線
2214	214	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	貝殻文	曲線
2215	214	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刻目文	水平
2216	214	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	刻目文	水平
2217	215	Ⅴ	Ｆ５	上層	浅鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	沈線文	水平
2218	164	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2219	164	Ⅰ		Ｐ5947	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	左上がり	無文	なし
2220	161	Ⅰ		Ｐ5422	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	曲線
2221	159	Ⅴ	Ｅ５		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	右上がり	無文	なし
2222	161	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	左右併用
2223	159	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	貼り付け文	水平
2224	159	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
2225	132	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2226	165	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2227	159	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	左上がり	刺突文	曲線
2228	165	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2229	160	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
2230	161	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	左右併用
2231	165	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2232	160	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2233	18	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刻目文	右上がり	凹線文	水平
2234	4	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
2235	165	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	列点文	水平	凹線文	曲線
2236	132	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	沈線文	水平
2237	132	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刻目文	縦	沈線文	水平
2238	123	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	沈線文	水平
2239	132	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	沈線文	水平
2240	132	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	沈線文	水平
2241	132	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刻目文	左上がり	無文	なし
2242	165	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	貼り付け文	縦
2243	165	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	無文	なし
2244	132	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2245	136	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2246	133	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	貼り付け文	縦	刺突文	水平
2247	122	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	爪形文	水平	無文	なし
2248	166	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	左上がり	沈線文	左右併用
2249	5	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	凸帯	刻目文	縦	沈線文	格子
2250	153	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	水平
2251	166	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刻目文	右上がり	無文	なし
2252	134	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	押引文	水平	刺突文	水平
2253	203	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	肉厚（三）	沈線文	水平	列点文	水平
2254	123	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	爪形文	水平	沈線文	水平
2255	210	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	爪形文	水平	凹線文	水平
2256	192	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
2257	150	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2258	192	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2259	192	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
2260	185	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
2261	206	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
2262	184	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
2263	185	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2264	205	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2265	18	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	凹線文	曲線	無文	なし
2266	185	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
2267	185	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	沈線文	円弧状	無文	なし
2268	172	Ⅴ	SK６		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2269	206	Ⅲ	Ｄ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	不明
2270	186	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	口縁部	山形･波状	内傾	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2271	184	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
2272	205	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2273	205	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2274	205	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2275	19	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2276	191	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2277	203	Ⅲ	Ｃ３	４層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2278	183	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2279	186	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2280	185	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2281	183	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2282	184	Ⅴ	ＳＫ10		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2283	184	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
2284	205	Ⅲ	Ｄ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2285	196	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2286	186	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2287	186	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2288	186	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2289	186	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	無文	なし	無文	なし
2290	184	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	水平	無文	なし
2291	192	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	縦	沈線文	水平
2292	192	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	沈線文	水平	無文	なし
2293	186	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2294	192	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	凹線文	右上がり	無文	なし
2295	183	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	無文	なし	無文	なし
2296	183	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	無文	なし	無文	なし
2297	184	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
2298	134	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
2299	204	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	直口	肉厚（平）	凹線文	水平	無文	なし
2300	26	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2301	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2302	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2303	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2304	26	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2305	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2306	26	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2307	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2308	27	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2309	27	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2310	27	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～底部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2311	72	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2312	27	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2313	46	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2314	47	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
2315	47	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2316	49	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2317	68	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2318	68	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2319	68	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2320	68	Ⅰ		Ｐ 2525	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	刺突文	水平
2321	68	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2322	68	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2323	68	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2324	44	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2325	68	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2326	69	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚なし	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2327	68	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2328	70	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2329	70	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2330	72	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2331	41	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2332	66	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2333	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2334	51	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2335	133	Ⅴ	SK１		深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	貼り付け文	左右併用
2336	73	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2337	68	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2338	75	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2339	70	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2340	67	Ⅲ	カベ	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2341	66	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2342	69	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2343	66	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2344	80	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2345	65	Ⅰ		Ｐ 3803	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2346	65	Ⅰ		Ｐ 4570	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2347	64	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2348	62	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2349	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2350	62	Ⅰ		Ｐ 4983	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2351	62	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2352	72	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	凹線文	水平
2353	62	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2354	82	Ⅲ	SX001	一括	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2355	78	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2356	58	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2357	6	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2358	58	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2359	60	Ⅰ		Ｐ 2981	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
2360	85	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2361	85	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2362	85	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2363	86	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2364	80	Ⅲ	SD １	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2365	80	Ⅴ	SD １		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2366	80	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2367	82	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2368	82	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	貝殻文	扇状
2369	80	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2370	80	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2371	80	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2372	81	Ⅲ	SD １	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	直口	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2373	72	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2374	80	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2375	115	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2376	80	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2377	37	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2378	77	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2379	65	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2380	80	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2381	78	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2382	77	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2383	77	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2384	7	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	貝殻文	水平	無文	なし
2385	26	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2386	47	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2387	82	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	扇状	無文	なし
2388	51	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2389	51	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2390	73	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2391	73	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2392	73	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2393	80	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2394	79	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2395	75	Ⅰ		Ｐ2319	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2396	79	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2397	70	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2398	79	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2399	66	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2400	55	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2401	7	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2402	82	Ⅰ		Ｐ1856	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2403	82	Ⅰ	9439	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2404	60	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
2405	6	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2406	85	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2407	85	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2408	85	Ⅴ	１トレ		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2409	85	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2410	7	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2411	7	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2412	7	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2413	60	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
2414	79	Ⅰ		Ｐ 4107	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2415	44	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2416	44	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2417	49	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2418	64	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2419	78	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2420	70	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2421	49	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2422	70	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2423	66	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2424	70	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2425	64	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2426	69	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2427	82	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2428	60	Ⅲ	Ｆ４	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	扇状	無文	なし
2429	85	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2430	7	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2431	62	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2432	7	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2433	82	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	貝殻文	縦
2434	69	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2435	82	Ⅲ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	無文	なし
2436	83	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2437	74	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	沈線文	水平
2438	76	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2439	66	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2440	70	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2441	85	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2442	9	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	押引文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2443	9	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2444	9	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2445	9	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2446	9	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2447	9	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2448	9	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2449	9	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2450	9	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	無文	なし
2451	9	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2452	9	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2453	9	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2454	9	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2455	9	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2456	9	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2457	10	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2458	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	沈線文	水平
2459	10	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2460	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2461	10	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2462	10	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚なし	貝殻文	左右併用	無文	なし
2463	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2464	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2465	10	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2466	10	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2467	10	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2468	10	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2469	10	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2470	10	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2471	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2472	10	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2473	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2474	10	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2475	71	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2476	71	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	沈線文	水平
2477	71	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2478	71	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2479	71	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2480	71	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2481	71	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	沈線文	曲線
2482	71	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2483	71	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2484	71	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2485	71	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2486	71	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	沈線文	水平
2487	71	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2488	71	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	凹線文	水平
2489	71	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2490	71	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2491	71	Ⅲ	Ａ２	３層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	刺突文	水平	凹線文	曲線
2492	71	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2493	72	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	沈線文	水平
2494	72	Ⅲ	Ｄ２	撹乱	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2495	72	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2496	72	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2497	73	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左上がり	沈線文	水平
2498	73	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	曲線
2499	73	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2500	73	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2501	78	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2502	71	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2503	71	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	沈線文	水平
2504	75	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	曲線	沈線文	水平
2505	75	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2506	75	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	凹線文	水平
2507	78	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2508	83	Ⅰ		Ｐ 4477	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2509	83	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2510	83	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2511	83	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2512	83	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2513	83	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2514	81	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2515	81	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2516	81	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2517	81	Ⅲ		上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2518	81	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2519	81	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2520	84	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2521	84	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2522	84	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2523	84	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2524	84	Ⅰ		Ｐ 22	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2525	84	Ⅰ		Ｐ 4241	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2526	78	Ⅰ		Ｐ 5425	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2527	78	Ⅰ		Ｐ 4361	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2528	78	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2529	81	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2530	81	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2531	81	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2532	83	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2533	83	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2534	84	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2535	84	Ⅴ		撹乱	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2536	81	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2537	81	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2538	84	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2539	84	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2540	73	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2541	83	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2542	76	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	凹線文	水平
2543	66	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2544	74	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2545	11	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	水平
2546	87	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2547	82	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	無文	なし
2548	70	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2549	68	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2550	69	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2551	74	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2552	74	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2553	69	Ⅰ		Ｐ1494	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	無文	なし
2554	74	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	曲線
2555	77	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2556	84	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	沈線文	曲線
2557	84	Ⅴ	表土	一括	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	縦	無文	なし
2558	75	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	曲線
2559	75	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	曲線
2560	8	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	貝殻文	水平
2561	77	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2562	79	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2563	86	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
2564	79	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2565	79	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	山形･波状	外反	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
2566	86	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	左右併用	無文	なし
2567	77	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2568	74	Ⅲ	Ｃ３	一括	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2569	83	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	無文	なし
2570	76	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（三）	貝殻文	水平	沈線文	水平
2571	223	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
2572	223	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2573	223	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2574	223	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2575	223	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
2576	223	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2577	223	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2578	223	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2579	223	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
2580	223	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2581	223	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	無文	なし
2582	223	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2583	224	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2584	224	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2585	224	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2586	226	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2587	224	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2588	224	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2589	224	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2590	224	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2591	224	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2592	224	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2593	224	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2594	224	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2595	224	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2596	224	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2597	224	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2598	224	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2599	224	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2600	224	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	左右併用	無文	なし
2601	224	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
2602	232	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
2603	235	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	無文	なし
2604	266	Ⅲ	Ｄ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2605	255	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2606	263	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2607	263	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2608	255	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2609	255	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2610	255	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2611	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	左上がり
2612	226	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2613	266	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2614	33	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2615	33	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2616	33	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	凹線文	水平
2617	255	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	縦
2618	255	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（平）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2619	255	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2620	255	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2621	255	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2622	255	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
2623	256	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2624	256	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2625	256	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2626	256	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2627	256	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2628	33	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	浅鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2629	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2630	255	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2631	263	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2632	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	無文	なし
2633	263	Ⅲ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
2634	226	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2635	273	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2636	226	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2637	226	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2638	274	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2639	274	Ⅰ		Ｐ 2519	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	凹線文	水平
2640	273	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2641	256	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2642	256	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2643	256	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2644	180	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	貼り付け文	水平	刺突文	水平
2645	256	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2646	256	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2647	256	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2648	274	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2649	256	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2650	235	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2651	227	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2652	227	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	押引文	水平	刺突文	水平
2653	227	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	押引文	水平
2654	227	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2655	227	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	曲線	押引文	水平
2656	227	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	無文	なし
2657	227	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2658	227	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2659	227	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	水平
2660	227	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	凹線文	水平	沈線文	水平
2661	227	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	押引文	水平
2662	227	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2663	227	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2664	227	Ⅴ	Ｆ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2665	227	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	左右併用	沈線文	水平
2666	227	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	左右併用	押引文	水平
2667	227	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	刺突文	水平
2668	227	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	押引文	水平
2669	227	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
2670	227	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2671	227	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	凹線文	水平	押引文	水平
2672	227	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	凹線文	水平
2673	227	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2674	227	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	無文	なし
2675	238	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	押引文	水平
2676	238	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	押引文	水平
2677	238	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2678	238	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	押引文	水平
2679	238	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2680	238	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	押引文	水平
2681	238	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
2682	238	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2683	238	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2684	238	Ⅲ	トレンチ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2685	238	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2686	238	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2687	238	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2688	238	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2689	238	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2690	238	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2691	238	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2692	238	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2693	238	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2694	238	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2695	238	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2696	239	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2697	239	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	水平
2698	239	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2699	239	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2700	239	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2701	239	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2702	239	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	凹線文	水平
2703	239	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2704	239	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2705	239	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	縦	刺突文	水平
2706	239	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2707	239	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2708	239	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2709	239	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2710	239	Ⅲ	Ｄ３	カクラン一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	水平
2711	239	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2712	239	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2713	239	Ⅴ	Ｆ６	Ｐｉｔ１	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2714	239	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2715	239	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2716	239	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2717	239	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2718	239	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2719	239	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	押引文	水平	無文	なし
2720	239	区不明	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2721	239	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	左上がり
2722	241	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2723	241	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2724	241	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2725	241	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2726	241	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2727	241	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2728	241	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2729	241	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2730	241	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2731	241	Ⅲ	Ｃ３	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
2732	241	Ⅴ	ＳＫ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
2733	241	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2734	241	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2735	241	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2736	241	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2737	241	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2738	241	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2739	241	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2740	241	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2741	241	Ⅲ	SX001	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2742	241	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
2743	242	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
2744	242	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2745	242	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2746	242	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2747	242	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2748	242	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2749	242	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	刺突文	水平
2750	242	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
2751	242	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2752	242	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2753	242	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2754	242	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2755	242	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2756	242	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2757	242	Ⅲ	Ｅ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2758	242	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2759	242	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2760	242	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2761	238	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	水平
2762	238	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2763	238	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2764	242	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2765	242	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2766	242	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2767	242	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2768	242	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2769	242	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2770	242	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2771	243	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2772	243	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2773	243	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2774	243	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2775	243	Ⅲ	Ｅ２	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
2776	243	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2777	243	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2778	243	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2779	243	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2780	243	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2781	243	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2782	243	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2783	243	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2784	243	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2785	243	Ⅴ	SK２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2786	243	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2787	243	Ⅰ	P4287		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2788	243	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	左上がり
2789	243	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2790	244	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2791	244	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2792	244	Ⅰ	P5735		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2793	244	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2794	244	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2795	244	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2796	244	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2797	244	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2798	244	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2799	244	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2800	244	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2801	244	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2802	244	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2803	244	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2804	244	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2805	244	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2806	245	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2807	245	Ⅲ		一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2808	245	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2809	245	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2810	245	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2811	245	Ⅰ	P3324		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2812	252	Ⅲ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	右上がり	無文	なし
2813	252	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2814	252	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2815	252	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2816	252	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	凹線文	水平	無文	なし
2817	252	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2818	252	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2819	252	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2820	252	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2821	252	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2822	252	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2823	253	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	凹線文	水平
2824	253	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2825	253	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2826	253	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	凹線文	水平
2827	253	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2828	253	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2829	253	Ⅴ	Ｅ５		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	無文	なし
2830	253	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2831	253	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2832	253	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	凹線文	水平
2833	253	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2834	257	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2835	257	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2836	257	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2837	257	Ⅲ	Ｆ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2838	257	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2839	257	Ⅴ	一括		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2840	257	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2841	257	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2842	257	Ⅲ	Ｅ２	カクラン一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2843	257	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2844	257	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2845	255	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	凹線文	水平
2846	257	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2847	207	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	擬似縄文	水平	刺突文	水平
2848	253	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	右上がり	沈線文	水平
2849	253	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2850	253	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2851	253	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2852	253	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2853	253	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2854	253	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2855	253	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2856	253	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2857	253	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2858	254	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2859	254	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2860	254	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2861	254	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2862	254	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2863	254	Ⅲ	トレンチ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2864	254	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2865	254	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2866	254	Ⅴ	SD２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
2867	254	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2868	254	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2869	240	Ⅴ	SD２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2870	240	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2871	240	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2872	240	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2873	240	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
2874	240	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2875	240	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2876	240	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2877	240	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2878	240	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2879	240	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2880	240	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2881	240	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2882	240	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2883	240	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2884	240	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2885	240	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2886	240	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2887	228	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2888	228	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2889	228	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	左右併用
2890	228	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	左右併用
2891	228	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2892	228	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	右上がり
2893	228	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2894	228	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2895	228	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2896	229	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2897	229	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2898	229	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2899	229	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2900	229	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2901	229	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2902	229	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2903	229	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2904	229	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2905	229	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2906	229	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2907	229	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2908	229	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2909	229	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	左上がり
2910	229	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2911	229	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2912	229	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2913	229	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
2914	230	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2915	230	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2916	230	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2917	230	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2918	230	Ⅲ	Ｃ４	Ⅳ層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2919	230	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2920	230	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2921	230	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2922	230	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2923	237	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2924	237	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2925	237	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2926	237	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2927	237	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刻目文	縦
2928	237	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2929	237	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	縦
2930	237	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	縦	沈線文	水平
2931	237	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2932	237	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	刻目文	水平	沈線文	水平
2933	237	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2934	237	Ⅲ	トレンチ2	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2935	237	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	右上がり
2936	237	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刻目文	水平
2937	237	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2938	237	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刻目文	縦
2939	237	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2940	237	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2941	233	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
2942	234	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2943	258	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2944	258	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2945	258	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2946	258	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2947	258	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2948	258	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2949	258	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2950	258	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	沈線文	水平
2951	258	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2952	258	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2953	259	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2954	259	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2955	259	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2956	259	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2957	259	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2958	259	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2959	259	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2960	259	Ⅲ	Ｆ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2961	259	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	右上がり
2962	259	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2963	35	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2964	35	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2965	34	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2966	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2967	34	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2968	34	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2969	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2970	34	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
2971	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2972	34	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2973	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2974	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2975	34	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2976	35	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2977	228	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2978	228	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刻目文	水平	沈線文	右上がり
2979	35	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2980	33	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	押引文	水平
2981	33	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2982	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2983	35	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2984	35	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2985	33	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2986	33	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2987	33	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
2988	33	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
2989	35	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2990	35	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	押引文	水平
2991	228	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	水平
2992	228	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
2993	129	Ⅰ	9530	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2994	34	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	左上がり
2995	127	Ⅰ		Ｐ 5035	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2996	127	Ⅰ		Ｐ 1837	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
2997	127	Ⅰ		Ｐ 2285	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
2998	35	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
2999	35	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3000	35	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3001	228	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3002	228	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3003	230	Ⅲ	Ｅ２	カクラン一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3004	230	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	右上がり
3005	230	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	波状
3006	232	Ⅲ	ベルト	砂層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3007	232	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3008	232	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3009	232	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
3010	232	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3011	232	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3012	230	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3013	230	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3014	230	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	水平
3015	230	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	右上がり
3016	230	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3017	232	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3018	232	Ⅲ	Ｄ２	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3019	232	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3020	232	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3021	230	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3022	231	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3023	231	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3024	231	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3025	231	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3026	231	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	刺突文	左右併用
3027	231	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3028	231	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3029	231	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3030	231	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	左右併用
3031	231	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	左上がり
3032	231	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3033	230	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3034	233	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3035	233	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3036	233	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3037	233	区不明	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3038	233	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3039	234	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3040	233	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3041	235	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3042	235	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3043	234	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3044	234	Ⅲ	Ｄ４	清掃一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3045	234	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
3046	237	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	縦
3047	259	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3048	259	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3049	260	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3050	259	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3051	259	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3052	259	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3053	259	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3054	259	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3055	259	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3056	260	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3057	260	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3058	260	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3059	260	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3060	260	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3061	260	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3062	245	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3063	245	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3064	245	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3065	245	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3066	245	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3067	245	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3068	245	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	左右併用
3069	246	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3070	246	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3071	246	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3072	246	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
3073	254	Ⅲ	トレンチ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3074	246	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3075	258	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3076	258	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3077	257	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3078	258	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3079	258	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3080	258	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3081	258	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3082	258	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3083	258	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3084	258	区不明	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3085	258	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3086	258	Ⅲ	SX00１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3087	274	Ⅰ		Ｐ3951	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3088	274	Ⅰ	9510	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3089	266	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3090	246	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3091	246	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3092	274	Ⅰ		Ｐ1846	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3093	274	Ⅰ		Ｐ1407	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3094	274	Ⅰ	9502	Ⅲｂ層一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3095	255	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3096	254	Ⅲ	Ｄ３	４層一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3097	274	Ⅰ		Ｐ5208	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3098	274	Ⅰ		Ｐ2476	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3099	274	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3100	274	Ⅰ		Ｐ5529	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3101	246	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3102	267	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3103	267	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
3104	256	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3105	278	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3106	276	Ⅰ		Ｐ2524	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3107	235	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	水平
3108	279	Ⅴ	SD１		浅鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	水平
3109	260	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3110	277	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3111	234	Ⅴ		カクラン	浅鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3112	277	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	曲線
3113	262	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3114	262	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3115	277	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3116	254	Ⅲ	トレンチ2	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3117	36	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	刺突文	水平
3118	262	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3119	255	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3120	37	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3121	257	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（平）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3122	279	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	装飾	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3123	233	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚なし	磨り消し文	なし	刺突文	穿孔
3124	234	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3125	140	Ⅴ	Ｇ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3126	180	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	擬似縄文	水平	沈線文	曲線
3127	279	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3128	194	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3129	33	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	左右併用
3130	233	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	胴部	その他	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3131	36	Ⅲ	Ｅ３	１トレ	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3132	36	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3133	246	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3134	36	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3135	33	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3136	33	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	水平
3137	247	Ⅴ	Ｆ５	上層	浅鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3138	33	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3139	33	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
3140	247	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3141	36	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3142	247	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3143	247	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3144	247	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3145	247	Ⅴ		清掃	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3146	248	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3147	248	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
3148	248	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
3149	248	Ⅴ	□６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3150	248	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3151	248	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	水平
3152	248	Ⅰ		Ｐ 6463	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3153	248	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3154	249	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	無文	なし
3155	249	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3156	249	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3157	249	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	曲線
3158	249	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	刺突文	水平
3159	249	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3160	249	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3161	249	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3162	249	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	刺突文	水平
3163	249	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
3164	250	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	無文	なし
3165	250	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3166	250	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	無文	なし	無文	なし
3167	250	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3168	250	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3169	251	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3170	251	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3171	251	Ⅲ	ベルト	砂層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3172	251	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3173	251	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3174	251	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3175	251	Ⅲ	Ｆ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	水平
3176	251	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3177	251	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3178	252	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3179	276	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3180	250	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3181	233	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	無文	なし
3182	250	Ⅲ	Ｅ５	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3183	250	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3184	250	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3185	250	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3186	36	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3187	247	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
3188	248	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3189	248	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3190	252	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3191	252	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3192	32	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	把手	装飾	刻目文	水平	無文	なし
3193	36	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3194	261	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3195	261	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3196	247	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3197	262	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3198	36	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	内傾	肉厚あり	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3199	248	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3200	278	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
3201	277	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3202	269	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3203	269	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3204	269	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3205	269	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3206	269	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3207	269	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3208	269	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3209	269	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3210	269	Ⅰ		Ｐ1025	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3211	269	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3212	269	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3213	269	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3214	269	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3215	269	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3216	269	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刻目文	水平
3217	269	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3218	269	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3219	269	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3220	269	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3221	269	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3222	269	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	無文	なし
3223	270	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3224	270	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	無文	なし
3225	270	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3226	270	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3227	270	Ⅲ		清掃	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3228	270	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3229	270	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3230	270	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3231	270	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	無文	なし
3232	270	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3233	270	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3234	270	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3235	270	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3236	270	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	無文	なし
3237	270	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	無文	なし
3238	270	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	水平
3239	270	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3240	270	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	曲線
3241	271	Ⅲ		清掃一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3242	271	Ⅰ		Ｐ 5173	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3243	271	Ⅰ		Ｐ 5889	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3244	271	Ⅰ		Ｐ 6039	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3245	271	Ⅰ		Ｐ 3673	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3246	271	Ⅰ	9520	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3247	271	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3248	271	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3249	271	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3250	271	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3251	271	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3252	271	Ⅲ	Ｄ５	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3253	271	Ⅴ		一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3254	271	Ⅲ	トレンチ２	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3255	271	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	無文	なし
3256	271	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3257	271	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3258	271	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3259	33	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3260	33	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	刺突文	水平
3261	34	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3262	34	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	渦巻
3263	272	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	渦巻
3264	272	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3265	272	Ⅰ		Ｐ 2015	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3266	272	Ⅰ		Ｐ 4400	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3267	272	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3268	272	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3269	272	区不明	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	沈線文	渦巻
3270	272	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3271	272	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3272	272	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3273	272	Ⅰ		Ｐ 3907	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	無文	なし	無文	なし
3274	272	Ⅴ	２トレ		深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3275	246	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	刺突文	水平	無文	なし
3276	247	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3277	247	Ⅴ	Ｈ７	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	渦巻	沈線文	曲線
3278	267	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	沈線文	水平
3279	267	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3280	267	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	外反	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	無文	なし
3281	37	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3282	37	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	刺突文	水平
3283	272	Ⅰ	9521	Ⅲｃ層一括	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3284	256	Ⅴ		カクラン	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3285	267	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	渦巻
3286	250	Ⅰ		Ｐ 2837	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3287	267	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	水平
3288	267	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3289	37	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	渦巻
3290	268	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3291	278	Ⅴ	Ｆ７	上層	浅鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3292	268	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3293	262	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3294	268	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3295	278	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3296	262	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	沈線文	曲線	刺突文	水平
3297	277	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	口縁部～胴部	水平	内傾	肉厚（磨）	沈線文	水平	沈線文	曲線
3298	279	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	口縁部～胴部	水平	直口	肉厚（磨）	磨り消し文	なし	沈線文	曲線
3299	340	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3300	318	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	上げ底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3301	306	Ⅲ	Ｅ２	一括	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3302	310	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3303	306	Ⅲ	Ｅ３	１トレ	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3304	310	Ⅲ	Ｅ１	下層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3305	306	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3306	317	Ⅴ	SD１		浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3307	317	Ⅰ	9502	Ⅲｂ層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3308	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3309	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	貼り付け文	不明
3310	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3311	310	Ⅲ	Ｆ３	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3312	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3313	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	上げ底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3314	306	Ⅴ	Ｅ６	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3315	306	Ⅲ	Ｅ４	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3316	306	Ⅲ	Ｅ４	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3317	306	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3318	306	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3319	306	Ⅲ	Ｄ５	一括	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3320	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3321	306	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3322	306	Ⅴ	SD１		浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3323	306	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3324	306	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3325	306	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3326	306	Ⅲ	SD１	ベルト	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3327	306	Ⅲ	サブトレ	黒色土	浅鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3328	307	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3329	307	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3330	307	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3331	308	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3332	308	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3333	307	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3334	307	Ⅲ	E２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3335	307	Ⅲ	E２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3336	307	Ⅲ	E２		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3337	307	Ⅲ	E２	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3338	307	Ⅲ	E２	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3339	307	Ⅲ	E２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3340	307	Ⅲ	E２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3341	307	Ⅲ	E２		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3342	307	Ⅲ	E２	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3343	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3344	307	Ⅲ	E２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3345	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3346	310	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3347	307	Ⅲ	E２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3348	307	Ⅲ	E２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3349	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3350	307	Ⅲ	E２	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3351	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3352	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3353	308	Ⅲ	E３	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3354	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3355	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3356	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3357	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3358	308	Ⅲ	E２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3359	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3360	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3361	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3362	307	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3363	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3364	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3365	308	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3366	308	Ⅲ	E２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3367	308	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3368	308	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3369	308	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3370	308	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3371	308	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3372	308	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3373	309	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3374	308	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3375	308	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3376	309	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3377	308	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3378	309	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3379	309	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3380	308	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3381	308	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3382	309	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3383	309	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3384	315	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3385	315	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3386	315	Ⅲ	Ｅ３・Ｆ４	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3387	309	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3388	309	Ⅲ	ベルト	３層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3389	309	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3390	309	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3391	309	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3392	309	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3393	309	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3394	309	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3395	309	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3396	309	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3397	309	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3398	309	Ⅲ	Ｄ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3399	310	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3400	309	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3401	309	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3402	339	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	底部	平底	なし	その他	条痕文	なし	無文	なし
3403	309	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3404	309	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3405	310	Ⅱ		Ⅲａ層 P32	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3406	309	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3407	309	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3408	310	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3409	310	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3410	310	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3411	310	Ⅰ		Ｐ 5665	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3412	310	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3413	310	Ⅱ	Ｂ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3414	310	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3415	310	Ⅰ	9520	Ⅲ C 層一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3416	311	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3417	311	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3418	311	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3419	310	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3420	311	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3421	339	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3422	339	Ⅲ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3423	311	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3424	311	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3425	311	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3426	311	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3427	311	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3428	311	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3429	311	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3430	311	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3431	311	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3432	311	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3433	311	Ⅲ		一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3434	311	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3435	309	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3436	309	Ⅲ	D－３		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3437	311	Ⅲ	Ｂ３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3438	311	Ⅲ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3439	311	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3440	311	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3441	311	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3442	318	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3443	312	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3444	312	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3445	312	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3446	312	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3447	312	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3448	312	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3449	312	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3450	312	Ⅴ	Ｅ６	下層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3451	312	Ⅴ	Ｅ６	下層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3452	312	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3453	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3454	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3455	318	Ⅴ	１トレ		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3456	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3457	318	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3458	313	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3459	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3460	340	Ⅴ	Ｅ５		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3461	317	Ⅴ		一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3462	313	Ⅴ	SD２		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3463	311	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3464	310	Ⅲ	トレンチ	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3465	314	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3466	313	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3467	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3468	313	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3469	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3470	318	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3471	312	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3472	313	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3473	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3474	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3475	313	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3476	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3477	313	Ⅴ	SD２		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3478	313	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3479	313	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3480	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3481	312	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3482	314	Ⅴ	１トレ		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3483	313	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3484	313	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3485	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3486	312	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3487	317	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3488	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3489	314	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3490	314	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3491	314	Ⅰ		Ｐ35	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3492	317	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3493	317	Ⅰ		Ｐ2429	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3494	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3495	314	Ⅰ	9510	Ⅲ層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3496	317	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3497	314	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3498	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3499	317	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3500	314	Ⅰ		Ｐ 2890	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3501	318	Ⅰ		Ｐ 5456	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3502	340	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3503	317	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3504	313	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3505	318	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3506	319	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3507	318	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3508	318	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3509	318	Ⅰ		Ｐ 3935	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3510	318	Ⅰ		Ｐ 3736	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3511	319	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3512	319	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3513	319	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3514	317	Ⅴ		一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3515	319	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3516	319	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3517	314	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3518	318	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3519	314	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3520	339	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3521	314	Ⅴ	２トレ		深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3522	319	Ⅰ		Ｐ 3839	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3523	319	Ⅰ		Ｐ 2644	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3524	319	Ⅰ		Ｐ 1427	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3525	315	Ⅰ		Ｐ 6366	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3526	315	Ⅰ		Ｐ 1500	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3527	315	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3528	315	Ⅰ	9429	Ⅲｃ層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3529	315	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3530	315	Ⅰ		Ｐ 1594	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3531	319	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3532	319	Ⅰ		Ｐ 6589	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3533	319	Ⅰ		Ｐ 2425	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3534	314	Ⅰ		Ｐ 664	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3535	319	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3536	319	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3537	316	Ⅰ		Ｐ 4554	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3538	313	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3539	314	Ⅰ		Ｐ 1392	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3540	319	Ⅴ	Ｉ７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3541	319	Ⅰ		P1410	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3542	314	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3543	319	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3544	319	Ⅰ		Ｐ 381	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3545	315	Ⅰ		Ｐ 3984	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3546	319	Ⅰ		Ｐ 6073	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3547	319	Ⅰ		Ｐ 1446	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3548	315	Ⅰ		Ｐ 5369	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3549	315	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3550	319	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3551	315	Ⅰ		Ｐ 6709	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3552	316	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3553	316	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3554	316	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3555	315	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3556	316	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3557	316	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3558	316	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3559	316	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3560	315	Ⅰ	9531	Ⅲａ層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3561	315	Ⅰ		Ｐ 5508	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3562	315	Ⅰ	9511	Ⅲｃ層一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3563	316	Ⅰ		Ｐ 4230	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3564	315	Ⅰ		Ｐ 5127	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3565	315	Ⅰ		Ｐ 2980	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3566	315	Ⅰ		Ｐ 4161	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3567	315	Ⅰ		Ｐ 6108	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3568	315	Ⅰ		Ｐ 5332	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3569	315	Ⅰ		Ｐ 6112	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3570	319	Ⅰ		Ｐ 663	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3571	315	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3572	316	Ⅰ		Ｐ 4424	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3573	319	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3574	316	Ⅴ	SK１	№1	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3575	315	Ⅰ		Ｐ 5415	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3576	316	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3577	316	Ⅰ		Ｐ 2876	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3578	316	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3579	316	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3580	316	Ⅰ		Ｐ 5946	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3581	316	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3582	316	Ⅰ		Ｐ 3761	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3583	316	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3584	316	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3585	318	Ⅴ	Ｈ６	下層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3586	318	Ⅴ	SK２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3587	319	Ⅴ	SD２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3588	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3589	312	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3590	312	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3591	313	Ⅴ		一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3592	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3593	326	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	鯨骨	水平	無文	なし
3594	313	Ⅴ		一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3595	317	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3596	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3597	317	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3598	317	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3599	318	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3600	317	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3601	316	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3602	307	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3603	340	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3604	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3605	316	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3606	318	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3607	326	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3608	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3609	319	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3610	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3611	315	Ⅰ		Ｐ 5214	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3612	312	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3613	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3614	317	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3615	310	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3616	308	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3617	308	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3618	316	Ⅰ		Ｐ 4311	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3619	315	Ⅰ		Ｐ 5329	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3620	312	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3621	318	Ⅰ		Ｐ 4425	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3622	316	Ⅰ		Ｐ 4130	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3623	313	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3624	317	Ⅰ		Ｐ 2459	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3625	317	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3626	314	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3627	309	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3628	339	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3629	310	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3630	310	Ⅲ	トレンチ	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3631	310	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3632	310	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3633	311	Ⅲ		清掃	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3634	309	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3635	311	Ⅲ	トレンチ２	黒色土	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3636	310	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3637	310	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3638	310	Ⅰ		Ｐ 5663	深鉢	胴部～底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3639	320	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3640	320	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3641	320	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3642	320	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3643	320	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3644	320	Ⅴ	Ｆ５		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3645	320	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3646	320	Ⅴ	ＳＫ１		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3647	320	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3648	320	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3649	320	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3650	305	Ⅴ	ＳＫ１		深鉢	底部	平底	なし	その他	編布	なし	無文	なし
3651	320	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3652	320	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3653	320	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3654	320	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3655	320	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3656	340	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3657		Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3658	340	Ⅴ	Ｆ５		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3659	320	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3660		Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3661	320	Ⅲ	Ｃ４	Ⅳ層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3662	320	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3663	319	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3664	320	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3665	320	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3666	339	Ⅴ	１トレ		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3667	339	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3668	339	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3669	320	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3670	340	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3671	305	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3672	320	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3673	319	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3674	319	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3675	320	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3676	320	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3677	319	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3678	305	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3679	305	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3680	320	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3681	340	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3682	340	Ⅴ	１トレ		深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3683	340	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3684	339	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3685	339	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	鯨骨	水平	無文	なし
3686	339	Ⅴ	SD １		深鉢	底部	平底	なし	その他	鯨骨	水平	無文	なし
3687	320	Ⅲ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3688	320	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3689	320	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3690	320	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3691	319	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3692	340	Ⅴ	SD	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3693	320	Ⅲ			深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3694	320	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3695	320	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3696	340	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3697	340	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3698	340	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3699	340	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	平底	なし	その他	条痕文	左右併用	無文	なし
3700	340	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
3701	327	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3702	327	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3703	326	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3704	327	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3705	328	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3706	327	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3707	328	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3708	328	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3709	328	Ⅴ	SK２		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3710	328	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3711	328	Ⅴ	SK２		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3712	327	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3713	326	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	無文	なし	無文	なし
3714	326	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3715	326	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3716	326	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3717	326	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3718	321	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3719	327	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3720	308	Ⅲ	Ｅ３	風倒木１	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3721	326	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3722	318	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3723	327	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3724	326	Ⅰ		Ｐ4926	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3725	327	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3726	326	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3727	326	Ⅴ	SK２		深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3728	326	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3729	327	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3730	327	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3731	328	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3732	326	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3733	321	Ⅲ	Ａ２	３層	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3734	326	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3735	326	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3736	326	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	沈線文	水平
3737	328	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3738	328	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3739	328	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3740	327	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3741	326	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	刺突文	水平	無文	なし
3742	326	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3743	328	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3744	326	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3745	327	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3746	327	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3747	326	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3748	326	Ⅲ	Ａ２	３層	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3749	326	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3750	327	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3751	321	Ⅲ	Ａ２	３層	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3752	328	Ⅲ	Ｄ３		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3753	328	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3754	328	Ⅲ		清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3755	328	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3756	328	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3757	328	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3758	328	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3759	328	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3760	328	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3761	328	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3762	327	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3763	327	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3764	327	Ⅲ	D２		深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3765	327	Ⅲ	E３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3766	327	Ⅲ	F２	清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3767	327	Ⅲ	D１	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3768	321	Ⅲ	D３	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3769	327	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	列点文	水平	無文	なし
3770	326	Ⅴ	F５	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	押引文	水平	無文	なし
3771	326	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	平底	なし	その他	押引文	水平	無文	なし
3772	327	Ⅴ	E６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	押引文	水平	無文	なし
3773	326	Ⅴ	F７	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	押引文	水平	無文	なし
3774	326	Ⅲ	F２	清掃	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	羽状文　右	無文	なし
3775	326	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3776	326	Ⅲ	D４	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3777	328	Ⅲ	C３	下層	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3778	327	Ⅲ	E３	黒色土	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3779	321	Ⅲ	F３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3780	321	Ⅲ	E２	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3781	328	Ⅲ	E２	一括	深鉢	底部	平底	なし	その他	刻目文	水平	無文	なし
3782	326	Ⅴ	G６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	貝殻文	水平	無文	なし
3783	326	Ⅴ	SK２		深鉢	底部	平底	なし	その他	押引文	水平	無文	なし
3784	326	Ⅴ	E６	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	押引文	水平	無文	なし
3785	328	Ⅲ	G３	上層	深鉢	底部	平底	なし	その他	爪形文	水平	無文	なし
3786	338	Ⅲ	F２	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
3787	321	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3788	324	Ⅰ		P 5471	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
3789	321	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3790	321	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3791	321	Ⅴ	F７	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3792	321	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3793	322	Ⅲ	E４	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3794	321	Ⅲ	E２	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3795	322	Ⅲ	E５	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3796	321	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3797	321	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3798	335	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3799	307	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	不明	不明	不明	不明
3800	322	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
3801	321	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3802	322	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
3803	321	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3804	321	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部～底部	脚台	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3805	317	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部～底部	脚台	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3806	317	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部～底部	脚台	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3807	338	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部～底部	脚台 透かしあり	なし	不明	沈線文	水平	不明	不明
3808	338	Ⅴ		一括	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3809	317	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3810	338	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3811	338	Ⅴ		撹乱	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3812	338	Ⅴ		一括	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3813	338	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	不明	不明	不明	不明
3814	338	Ⅴ		撹乱	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	貼り付け文	水平	不明	不明
3815	338	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	貼り付け文	水平	不明	不明
3816	222	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	不明	貼り付け文	水平	不明	不明
3817	334	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	不明	貼り付け文	水平	不明	不明
3818	334	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	脚台	なし	不明	貼り付け文	水平	貼り付け文	円弧状
3819	329	Ⅴ		撹乱	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	貼り付け文	水平	不明	不明
3820	329	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
3821	334	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貼り付け文	水平	刺突文	水平
3822	334	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	貼り付け文	水平	貼り付け文	縦
3823	334	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貼り付け文	水平	刻目文	水平
3824	185	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貼り付け文	曲線	無文	なし
3825	334	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	円弧状
3826	329	Ⅴ		一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
3827	222	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
3828	329	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	貼り付け文	円弧状	貼り付け文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3829	324	Ⅲ	サブトレ2	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3830	322	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	水平	無文	なし
3831	324	Ⅰ		Ｐ 3851	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3832	321	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3833	322	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	水平	無文	なし
3834	325	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3835	321	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3836	321	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3837	321	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3838	324	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3839	322	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3840	322	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3841	324	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3842	321	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3843	325	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3844	325	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3845	325	Ⅴ	ＳＤ２		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3846	325	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3847	327	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3848	327	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	条痕文	水平	無文	なし
3849	324	Ⅲ	Ｆ２	清掃	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3850	324	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	縦	無文	なし
3851	324	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3852	322	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	左上がり	無文	なし
3853	325	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3854	324	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3855	325	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3856	324	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3857	324	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3858	325	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3859	324	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3860	325	Ⅴ	Ｅ５	下層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	左上がり	無文	なし
3861	323	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3862	325	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3863	325	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3864	325	Ⅴ	２トレ		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3865	323	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3866	322	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3867	322	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3868	325	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3869	323	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3870	323	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3871	323	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	扇状	無文	なし
3872	323	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3873	322	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3874	323	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3875	321	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3876	322	Ⅲ	Ｄ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3877	324	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3878	324	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	水平	無文	なし
3879	323	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3880	324	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3881	327	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3882	323	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3883	321	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3884	325	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3885	323	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3886	325	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3887	324	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	縦	無文	なし
3888	323	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	縦	無文	なし
3889	324	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3890	325	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
3891	323	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3892	322	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3893	322	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
3894	322	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	扇状	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3895	323	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
3896	322	Ⅲ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貝殻文	右上がり	無文	なし
3897	338	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3898	324	Ⅲ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
3899	324	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
3900	321	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	縦	無文	なし
3901	324	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3902	321	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
3903	323	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
3904	325	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3905	323	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	水平
3906	327	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3907	325	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
3908	325	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3909	323	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3910	322	Ⅴ	Ｄ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	水平
3911	321	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
3912	322	Ⅴ	SD２		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	左上がり	無文	なし
3913	322	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
3914	324	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3915	324	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	左上がり	刺突文	水平
3916	325	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	無文	なし
3917	323	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	左上がり	無文	なし
3918	324	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3919	324	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	無文	なし
3920	324	Ⅲ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	列点文	水平
3921	322	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
3922	322	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
3923	322	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
3924	322	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
3925	323	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
3926	29	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
3927	120	Ⅴ	Ｅ６	下層	深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	曲線	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3928	163	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
3929	322	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	縦
3930	164	Ⅰ		Ｐ 3881	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
3931	323	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
3932	323	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
3933	323	Ⅴ	SD ２	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
3934	321	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	左右併用	沈線文	水平
3935	323	Ⅴ	SK １		深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	刺突文	左右併用
3936	323	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	刻目文	左上がり
3937	323	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
3938	323	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
3939	323	Ⅴ	SD １		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	無文	なし
3940	325	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	無文	なし
3941	162	Ⅰ		Ｐ 2953	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	貼り付け文	曲線	刺突文	水平
3942	323	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	左右併用	無文	なし
3943	328	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	貼り付け文	縦	刺突文	水平
3944	329	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	凸帯	刺突文	水平	無文	なし
3945	324	Ⅲ	SD １	ベルト	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	右上がり	刺突文	水平
3946	338	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	爪形文	縦	無文	なし
3947	324	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	刻目文	羽状文　左	無文	なし
3948	324	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	刻目文	羽状文　右	無文	なし
3949	325	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
3950	323	Ⅲ	Ｅ２	下層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	列点文	水平	無文	なし
3951	338	Ⅰ		Ｐ 3857	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	刺突文	右上がり	無文	なし
3952	321	Ⅲ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	列点文	水平	無文	なし
3953	327	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
3954	324	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
3955	322	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
3956	322	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	水平	無文	なし
3957	338	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
3958	323	Ⅴ	SK ２		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	縦	無文	なし
3959	327	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	水平	沈線文	水平
3960	323	Ⅴ	SD １	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3961	325	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
3962	325	Ⅴ	Ｅ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	凹線文	円弧状	無文	なし
3963	133	Ⅲ	Ｆ２	上層	浅鉢	口縁部～底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	縦	刻目文	羽状文　右
3964	329	Ⅲ	Ｄ５	Ⅳ層	浅鉢	口縁部～底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	円弧状	沈線文	水平
3965	329	Ⅲ	Ｅ５	一括	浅鉢	口縁部～胴部	山形･波状	外反	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
3966	329	Ⅴ	ＳＫ２		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	貼り付け文	縦	沈線文	羽状文　右
3967	329	Ⅲ	Ｄ２	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	曲線	沈線文	水平
3968	329	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	貼り付け文	円弧状	貝殻文	水平
3969	329	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
3970	332	Ⅴ		表土ハギ	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	貼り付け文	縦	沈線文	水平
3971	329	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	貼り付け文	穿孔	刺突文	水平
3972	332	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	沈線文	水平	無文	なし
3973	329	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	凸帯	貼り付け文	円弧状	貼り付け文	縦
3974	329	Ⅲ	Ｄ５	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	刺突文	水平	貼り付け文	不明
3975	328	Ⅲ	ＳＤ１	3層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	円弧状	沈線文	水平
3976	338	Ⅲ	Ｄ５	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	沈線文	曲線	不明	不明
3977	338	Ⅴ	Ｆ５	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	沈線文	水平	沈線文	左右併用
3978	328	Ⅴ	ＳＤ１		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	刻目文	水平	不明	不明
3979	328	Ⅲ	Ｅ１		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	刺突文	水平
3980	332	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
3981	328	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
3982	332	Ⅴ	ＳＤ１		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	刻目文	水平	無文	なし
3983	328	Ⅴ		清掃	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平
3984	332	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	羽状文　右	無文	なし
3985	328	Ⅴ	１トレ		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	波状	沈線文	水平
3986	332	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
3987	328	Ⅴ		撹乱	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	左右併用
3988	332	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	刺突文	水平	無文	なし
3989	329	Ⅴ	ＳＫ２		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
3990	332	Ⅲ	Ｅ３	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
3991	332	Ⅴ	ＳＤ１		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	不明	不明
3992	329	Ⅴ	ＳＫ４		浅鉢	口縁部～底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	渦巻	刺突文	水平
3993	332	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	底部	脚台	なし	凸帯	貼り付け文	縦	沈線文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
3994	329	Ⅲ	Ｅ５	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	曲線	不明	不明
3995	335	Ⅲ	SD１	ベルト	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
3996	329	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	左右併用
3997	332	Ⅴ		表土ハギ	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	なし
3998	329	Ⅴ		一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	曲線	沈線文	水平
3999	332	Ⅴ	SK３		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	刺突文	水平	不明	不明
4000	329	Ⅲ	Ｄ１	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	刺突文	水平	沈線文	左上がり
4001	332	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	沈線文	なし
4002	332	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
4003	332	Ⅲ	Ｆ２	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	水平	不明	不明
4004	332	Ⅲ	Ｆ２	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	右上がり	沈線文	水平
4005	335	Ⅴ	Ｅ５	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚なし	貼り付け文	曲線	無文	なし
4006	333	Ⅲ	Ｄ２	撹乱	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	羽状文　左	刺突文	水平
4007	333	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	渦巻	不明	不明
4008	333	Ⅲ	Ｆ２	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	渦巻	沈線文	水平
4009	334	Ⅴ	Ｅ５	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	凹線文	曲線	貝殻文	水平
4010	333	Ⅲ	Ｅ２	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	渦巻	沈線文	水平
4011	333	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	縦	沈線文	水平
4012	333	Ⅴ		清掃	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	左右併用	沈線文	縦
4013	328	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	沈線文	曲線
4014	333	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	水平
4015	329	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	貼り付け文	縦	貝殻文	水平
4016	333	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	貝殻文	水平
4017	333	Ⅲ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	左右併用	刺突文	水平
4018	333	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	渦巻	不明	不明
4019	333	Ⅲ	Ｅ４	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	水平
4020	333	Ⅲ	Ｆ３	清掃	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	水平
4021	333	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
4022	333	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	沈線文	左右併用
4023	333	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	無文	なし
4024	334	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	水平
4025	334	Ⅲ	Ｄ４		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	沈線文	水平	無文	なし
4026	334	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	刺突文	水平

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4027	334	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	羽状文　右	刺突文	水平
4028	334	Ⅲ	Ｅ２	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	沈線文	曲線	無文	なし
4029	334	Ⅴ		一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	沈線文	曲線	刺突文	水平
4030	334	Ⅴ	Ｇ７	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	羽状文　左	沈線文	左右併用
4031	334	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	底部	脚台	なし	肉厚なし	沈線文	水平	刺突文	縦
4032	335	Ⅲ	Ｅ４	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
4033	335	Ⅲ	Ｅ１	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
4034	335	Ⅲ	Ｅ２	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚（平）	沈線文	水平	貼り付け文	曲線
4035	335	Ⅴ	ＳＤ１		深鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
4036	334	Ⅲ	ＳＤ１	ベルト	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	沈線文	水平
4037	334	Ⅲ	Ｅ３	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	貼り付け文	水平	無文	なし
4038	335	Ⅲ	Ｆ２	清掃	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚（平）	刺突文	縦	沈線文	水平
4039	335	Ⅴ	Ｅ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	無文	なし	無文	なし
4040	333	Ⅴ	ＳＫ２		浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
4041	333	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	刻目文	水平	無文	なし
4042	333	Ⅴ	Ｇ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	無文	なし	無文	なし
4043	335	Ⅴ		表土剥ぎ	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	不明	無文	なし	無文	なし
4044		Ⅲ	Ｅ４	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	無文	なし	無文	なし
4045	329	Ⅴ		撹乱	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	貼り付け文	円弧状	貼り付け文	水平
4046	334	Ⅴ		表土ハギ	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	刺突文	曲線	不明	不明
4047	328	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	貼り付け文	水平	無文	穿孔
4048	338	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	沈線文	曲線	不明	不明
4049		Ⅲ	Ｆ２	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	不明	不明	不明	不明
4050	338	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	刺突文	縦	不明	不明
4051	335	Ⅲ	Ｅ２	一括	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	刺突文	縦	無文	なし
4052	334	Ⅲ		清掃	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	凸帯	貼り付け文	水平	沈線文	水平
4053	222	Ⅴ	Ｆ７	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	右上がり	無文	なし
4054	334	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	縦	刺突文	水平
4055	335	Ⅴ	Ｆ６	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	曲線	無文	なし
4056	335	Ⅴ		カクラン	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	装飾	沈線文	水平	無文	なし
4057	335	Ⅴ	ＳＤ１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	支脚	肉厚（平）	貝殻文	右上がり	無文	なし
4058	335	Ⅴ	Ｆ６		深鉢	底部	脚台	なし	肉厚（平）	沈線文	水平	無文	なし
4059	335	Ⅲ	Ｆ２	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	装飾	沈線文	水平	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4060	335	Ⅴ	SD１	黒色土	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚なし	沈線文	曲線	無文	なし
4061	335	Ⅴ	E７	上層	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	沈線文	水平	無文	なし
4062	335	Ⅴ		清掃	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	不明	無文	なし	無文	なし
4063	335	Ⅴ		カクラン	浅鉢	底部	脚台 透かしあり	なし	肉厚（平）	貝殻文	左上がり	無文	なし
4282	341	Ⅴ	F６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4285	341	Ⅲ	D２	下層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4288	341	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4289	341	Ⅲ	E３	下層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4290	341	Ⅲ	E５	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4291	341	Ⅲ	E１	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4292	341	Ⅲ	F２		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4293	341	Ⅴ	H６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4294	341	Ⅴ	F６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4295	341	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4296	341	Ⅲ	E２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	沈線文	曲線
4297	341	Ⅲ	E５	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4298	341	Ⅲ		清掃	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4299	341	Ⅲ	２トレ	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4300	341	Ⅴ	E５	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4301	341	Ⅲ	E４	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4302	341	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4303	341	Ⅴ	F５		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4304	341	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4305	341	Ⅴ	F６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4308	342	Ⅴ	H６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4309	342	Ⅲ	D２	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4310	342	Ⅴ	E５	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4311	342	Ⅴ		一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4312	342	Ⅲ	D１	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	磨り消し文	なし	貼り付け文	円形
4313	342	Ⅴ	E５	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	貼り付け文	円形	刺突文	円形
4314	207	Ⅲ	E２		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	貼り付け文	渦巻	刺突文	渦巻
4315	342	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	貼り付け文	渦巻	無文	なし
4316	207	Ⅲ	E４	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4317	207	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	貼り付け文	渦巻	沈線文	渦巻
4318	207	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	渦巻	沈線文	水平
4319	208	Ⅴ	SK10		深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
4320	207	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	渦巻	無文	なし
4321	342	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	縦	無文	なし
4322	342	Ⅲ	Ｅ２		深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	貝殻文	水平	無文	なし
4323	342	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4324	342	Ⅴ	SD１		深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	左上がり	無文	なし
4325	342	Ⅲ	Ｇ２	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	曲線	無文	なし
4326	342	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4327	342	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4328	342	Ⅴ	Ｉ７	上層	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	羽状文　右	刺突文	水平
4329	342	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4330	342	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4331	342	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	磨り消し文	なし	沈線文	水平
4332	342	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4333	207	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	左上がり	無文	なし
4334	343	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4335	343	Ⅴ	Ｆ７	上層	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	羽状文　右	無文	なし
4336	343	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	羽状文　右	無文	なし
4337	343	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	左上がり	無文	なし
4338	343	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4339	343	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	口縁部	再利用品	なし	その他	沈線文	左上がり	無文	なし
4340	343	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	左右併用	沈線文	水平
4341	343	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	左上がり	無文	なし
4342	343	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4343	343	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4344	343	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4345	343	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4346	343	Ⅲ		清掃	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4347	343	Ⅲ	Ｅ２	撹乱	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4348	343	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4349	343	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4350	343	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4351	343	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4352	343	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4353	343	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4354	343	Ⅲ	Ｃ４	Ⅳ層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4355	343	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4356	343	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4357	343	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4358	343	Ⅴ	E75	下層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4359	343	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4360	343	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4361	344	Ⅴ	２トレ		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4362	344	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4363	344	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4364	344	Ⅴ	SD１		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4365	344	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4366	344	Ⅴ	Ｅ５	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4367	344	Ⅴ	１トレ		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4368	344	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4369	344	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4370	344	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4371	344	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4372	344	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4373	344	Ⅲ	Ｅ２	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4374	344	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4375	344	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4376	344	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4377	344	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4378	344	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4379	344	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4380	344	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4381	344	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4382	344	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4383	344	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4384	344	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	沈線文	水平	無文	なし
4385	344	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4386	344	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4387	344	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4388	344	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4389	344	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4390	345	Ⅲ	Ｅ２	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4391	345	Ⅲ	Ｅ３	清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4392	345	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4393	345	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4394	345	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4395	345	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4396	345	Ⅲ	Ｅ３	撹乱	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4397	345	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4398	345	Ⅲ	Ｆ３		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4399	345	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4400	345	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4401	345	Ⅲ	Ｄ２	下層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4402	345	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4403	345	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4404	345	Ⅲ	Ｅ４	清掃	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4405	345	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4406	345	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4407	345	Ⅲ	Ｆ３		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4408	345	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4409	345	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4410	345	Ⅲ	Ａ２	Ⅲ層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4411	345	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4412	345	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4413	345	Ⅲ	Ｅ１	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4414	345	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4415	345	Ⅲ	Ｄ２		深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4416	345	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4417	345	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4418	346	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4419	346	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4420	346	Ⅲ	Ｅ３	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4421	346	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4422	346	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4423	346	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4424	346	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4425	346	Ⅲ	Ｅ４		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4426	346	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4427	346	Ⅲ	Ｄ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4428	346	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4429	346	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4430	346	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4431	346	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4432	346	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4433	346	Ⅲ	Ｆ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4434	346	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4435	346	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4436	346	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4437	346	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4438	346	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4439	346	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4440	346	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4441	346	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4442	346	Ⅴ	Ｆ５	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4443	346	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4444	346	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4445	346	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4446	347	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4447	347	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4448	347	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4449	347	Ⅴ		一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4450	347	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4451	347	Ⅴ	２トレ		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4452	347	Ⅴ	SD２		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4453	347	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4454	347	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4455	347	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4456	347	Ⅴ	１トレ		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4457	347	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4458	347	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4459	347	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4460	347	Ⅲ	Ｅ３	清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4461	347	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4462	347	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4463	347	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4464	347	Ⅲ	トレンチ２	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4465	347	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4466	347	Ⅲ		清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4467	347	Ⅴ		清掃	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4468	347	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4469	347	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4470	347	Ⅴ		表土剥ぎ	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4471	347	Ⅴ	SD１	ベルト	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4472	347	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4473	348	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4474	348	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4475	348	Ⅲ	Ｄ１	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4476	348	Ⅲ	Ｅ４	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4477	348	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4478	348	Ⅲ	Ｅ３	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4479	348	Ⅲ	Ｅ３		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4480	348	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4481	348	Ⅲ	Ｆ３	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4482	348	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4483	348	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4484	348	Ⅲ	Ｄ４		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4485	348	Ⅲ	Ｅ４	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4486	348	Ⅲ	Ｄ４	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4487	348	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4488	348	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	条痕文	なし	無文	なし
4489	348	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4490	348	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	無文	穿孔	無文	なし
4491	349	Ⅲ	Ｄ３	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4492	349	区不明	SD１	ベルト	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4493	349	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	胴部	再利用品	なし	その他	網代文	なし	無文	なし
4494	349	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4495	349	Ⅲ	SD１	ベルト	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4496	349	Ⅲ	Ｅ３	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4497	349	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4498	349	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4499	349	Ⅴ	Ｇ５	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4500	349	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4501	349	Ⅲ	Ｅ４	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4502	349	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4503	349	Ⅲ	Ｅ５	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4504	349	Ⅲ	Ｅ１	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4505	349	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4506	349	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4507	350	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4508	350	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4509	350	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4510	350	Ⅴ	Ｇ７	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4511	350	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4512	350	Ⅴ	Ｅ７	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4513	350	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

RP	写真頁	地区	グリッド	層位	種類	名称	形状別１	形状別２	形状別３	主たる文様	施文方向別	従たる文様	施文方向別
4514	350	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4515	350	Ⅴ	Ｇ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4516	350	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4517	350	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4518	350	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4519	350	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4520	350	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4521	350	Ⅴ		カクラン黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4522	350	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4523	350	Ⅴ	１トレ		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4524	350	Ⅴ	Ｆ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4525	351	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4526	351	Ⅴ	Ｇ５	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4527	351	Ⅴ	Ｈ６	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4528	351	Ⅰ		Ｐ 3635	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4529	351	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4530	351	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4531	351	Ⅲ		一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4532	351	Ⅲ	Ｆ２	上層	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4533	351	Ⅴ	SD１		深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4534	351	Ⅴ		清掃	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4535	351	Ⅴ	SD１	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4536	351	Ⅴ		カクラン	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4537	351	Ⅲ	サブトレ	黒色土	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし
4538	351	Ⅲ	Ｅ２	一括	深鉢	底部	再利用品	なし	その他	無文	なし	無文	なし

Ⅳ区　土器（RP）観察表

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4064	290	Ⅳ区 C-2 下層		口縁部				(6.8)	ナデ後・爪先かヘラ状工具による刺突文（三本）	ナデ・口唇部近くに工具痕のような痕跡	口唇部に粘土紐を三つ編みにした装飾・輪積み接面より割れ
4065	290	Ⅳ区一括	深鉢	口縁部				(5.6)	ナデ・凹線文・沈線文	指頭圧痕・ナデ	
4066	297	Ⅳ区 C-1 下層	深鉢	口縁部				(5.6)	ナデ・刺突文・沈線文・貼付突帯	ナデ	
4067	297	Ⅳ区 C-2 上層		口縁部				(8.4)	ナデ・沈線・刺突文	ナデ	口唇部に粘土紐を三つ編みにした装飾
4068	292	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				(6.5)	ナデ・沈線文	ナデ	波状口縁
4069	291	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				(6.1)	ナデ・沈線文	ナデ	波状口縁
4070	290	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				(9.5)	工具によるナデ･沈線文	工具によるナデ	波状口縁・内部にスス付着
4071	290	Ⅳ区 A-3 上層	浅鉢	口縁部				(9.4)	工具によるナデ･沈線文	工具によるナデ	
4072	297	Ⅳ区 E-2 下層	深鉢	口縁部				(5.0)	ナデ･貼付突帯･沈線文	ナデ	
4073	292	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				(12.6)	沈線文・ミガキ	ミガキ	
4074	290	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				(9.6)	凹圧点文・斜直線文・工具によるナデ	工具によるナデ	山形口縁
4075	292	Ⅳ区 A-3 上層	深鉢	口縁部～胴部				(14.2)	ナデ･斜直線文･ミガキ	ナデ・工具によるナデ・ミガキ	
4076	292	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				(10.1)	斜直線文・粘土貼付・工具による調整	指頭圧痕・工具による調整	
4077	292	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				(12.1)	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	口唇部の一部に粘土貼り付け
4078	292	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				(13.2)	凹線文・工具によるナデ・ミガキ	工具によるナデ・ミガキ	
4079	292	Ⅳ区 C-3 集石一括	深鉢	口縁部				(8.6)	対線文・刺突文・ナデ	ナデ	
4080	291	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部（山形口縁）				(12.2)	工具によるナデ	工具によるナデ	山形口縁
4081	291	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				(6.3)	工具によるナデ・逆Ｓ字状文（口縁部）	工具によるナデ	
4082	291	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				(10.9)	ナデ･斜直線文･凹線文	ナデ・指頭圧痕	波状口縁
4083	287	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				(8.2)	工具によるナデ･凹線文	工具によるナデ	
4084	287	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				(8.1)	沈線文・ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	
4085	297	Ⅳ区 C-3 上層	高坏	坏部				(2.1)	削り・ナデ・ミガキ	ナデ･貝殻擬縄文･沈線	赤色顔料付着
4086	297	Ⅳ区 C-1 下層	深鉢	口縁部				(4.1)	刺突文（口唇部）・沈線文	ナデ・ミガキ	内面に一部黒斑あり
4087	289	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部				(3.2)	ナデ・沈線文	ナデ	
4088	282	Ⅳ区 A-2 上層	浅鉢	口縁部				(5.0)	ナデ	ナデ	内外面にスス付着
4089	297	Ⅳ区 D-2 下層	浅鉢	口縁部				(3.9)	工具によるナデ・ミガキ・横凹線文	工具によるナデ･ミガキ	穿孔あり（内側から）
4090	331	Ⅳ区 C-2 上層	浅鉢	底部				(3.2)	工具によるナデ･ミガキ	工具によるナデ･ミガキ	

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4091	282	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部				(5.3)	ナデ	ナデ	
4092	289	Ⅳ区 D-2 下層 /D-2 一括	浅鉢	口縁部				(5.1)	沈線文・ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	
4093	282	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部				(5.4)	工具によるナデ･指ナデ	工具によるナデ･指ナデ	輪積み部分からの割れ
4094	289	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				(7.0)	凹圧点文・凹線文・ミガキ	ミガキ	
4095	282	Ⅳ区 SK08 一括	浅鉢	口縁部				(8.6)	工具による調整後にナデ	工具による調整後にナデ	
4096	282	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				(9.2)	ナデ	ナデ	
4097	289	Ⅳ区 D-3 下層	浅鉢	口縁部～胴部				(6.3)	刺突文・凹線文・ナデ	ナデ	
4098	294	Ⅳ区 E-2 下層	浅鉢	胴部				(8.0)	沈線文（磨消縄文）・ナデ	工具によるナデ	
4099	287	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				(5.7)	ナデ･刺突文･貼付突帯	ナデ・指頭圧痕	
4100	297	Ⅳ区 B-3 上層		口縁部	(20.6)			(6.5)	ナデ・横方向のナデ・縁帯直線文	指頭圧痕・反転復元	
4101	287	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				(5.1)	刺突文・ナデ	ナデ	外面に黒斑あり
4102	301	Ⅳ区 C-2 上層	甕	口縁部	(11.0)			(7.8)	指頭圧痕・横ナデ・ミガキ	指頭圧痕・ミガキ	反転復元
4103	297	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				(8.6)	ナデ・橋状把手付き・指頭圧痕	ナデ	
4104	287	Ⅳ区集石 1	深鉢	口縁部	(17.6)			(6.4)	凹圧点文・斜線文・磨消貝殻文	ナデ・指頭圧痕	反転復元
4105	300	Ⅳ区集石 1	深鉢	口縁部～胴部	(18.1)	(23.1)		(10.3)	橋状把手・刺突文・沈線文	工具によるナデ	反転復元
4106	303	Ⅳ区 C-2 上層	壺	口縁部～底部	(12.3)	(18.7)	(8.5)	15.9	磨消縄文・ナデ	ナデ	反転復元
4107	297	Ⅳ区 B-3 上層	鉢	口縁部・把手				(5.7)	ナデ・羽状文	ナデ	
4108	297	Ⅳ区 C-2 下層		口縁部				(3.8)	ナデ・流線文・穿孔	ナデ	
4109	297	Ⅳ区 E-1 下層		口縁部				(6.8)	ナデ後、凹圧点文と凸帯文	ナデ	
4110	297	Ⅳ区 B-3 上層		波状口縁部				(8.7)	ナデ・指頭圧痕・貼付文・刺突文	ナデ	
4111	289	Ⅳ区 A-2 上層	深鉢	口縁部				(7.7)	刺突文･沈線文･ミガキ	ミガキ	粘土貼付
4112	282	Ⅳ区 C-3 上層	深鉢	口縁部				(8.5)	工具によるナデ	工具によるナデ	
4113	285	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部				(11.4)	斜直線文・刺突文・工具によるナデ	ナデ	内外面に部分的に黒斑あり
4114	305	Ⅳ区 C-3 上層	脚台付深鉢	口縁部～底部	15.4			14.8	工具によるナデ・指頭圧痕	ナデ・指頭圧痕	内面にスス付着
4115	282	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				9.3	ナデ･ミガキ･指頭圧痕	ナデ・ミガキ	
4116	282	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				5.1	ナデ	ナデ	波状口縁
4117	289	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	30.8			13.3	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	内外面の磨滅著しい・細砂粒を多く含む

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4118	282	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部～胴部	16.9			8.0	ナデ	ナデ	
4119	289	Ⅳ区 D-3 下層	深鉢	口縁部～胴部	14.5			11.8	横凹線文・凹圧点文・指ナデ	指ナデ・指頭圧痕	口縁部に粘土貼り付け・指頭圧痕
4120	282	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部～胴部	(15.3)	(15.6)	－	(7.4)	工具によるナデ・指頭圧痕	工具によるナデ・指頭圧痕	口唇部に粘土帯貼り付け・外面一部スス付着・反転復元
4121	290	Ⅳ区 C-3 上層 /C-3 集石	深鉢	口縁部	27.2			9.8	ナデ・斜直線文・貝殻直線文（口唇部）	ナデ・指頭圧痕	
4122	282	Ⅳ区 SK07 一括	深鉢	口縁部	15.2			5.7	ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	
4123	285	Ⅳ区 E-2 下層	深鉢	口縁部				12.1	ナデ･貼付突帯･斜線文	粗いナデ	
4124	284	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部	27.0		25.3	11.0	工具によるナデ・斜直線文	工具によるナデ	
4125	285	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部～頸部				9.2	ナデ・斜直線文	ナデ	口縁から頸部にかけてスス付着
4126	287	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	19.7			9.0	沈線文・ナデ	ナデ	スス一部付着・黒斑あり
4127	304	Ⅳ区 D-2 一括	深鉢	口縁部	19.6			10.8	工具によるナデ・斜直線文（口縁部）	工具によるナデ	粘土積み上げ痕あり
4128	286	Ⅳ区 E-3 下層 /E-3 一括	深鉢	口縁部	17.9			10.8	斜直線文・ミガキ	工具による調整後、指頭圧痕・ミガキ	黒斑あり
4129	285	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部～胴部				13.6	工具によるナデ・斜直線文	工具によるナデ	
4130	284	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部～胴部	15.6	13.0		14.5	斜直線文･ナデ･ミガキ・指頭圧痕	ナデ・ミガキ	粘土痕あり・内面にスス付着
4131	284	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	7.3			5.7	ナデ後斜直線文	ナデ	
4132	285	Ⅳ区 C-3 上層	深鉢	口縁部	(20.2)			(10.1)	工具によるナデ・斜直線文	工具によるナデ	反転復元
4133	288	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部				11.3	凹圧点文・ナデ	ナデ	
4134	288	Ⅳ区 C-2 上層 /D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部	17.0	14.7		12.0	凹圧文・指頭圧痕・貝殻条痕文後ナデ	工具による調整・指頭圧痕	
4135	288	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				6.8	羽状沈線文・工具によるナデ	工具によるナデ・ミガキ	
4136	288	Ⅳ区一括	深鉢	口縁部				10.4	ナデ後、羽状沈線文	ナデ	
4137	288	Ⅳ区 SK08 一括	深鉢	口縁部	21.2			8.3	工具によるナデ・逆Ｓ字状文・ミガキ	指頭圧痕・ミガキ・工具によるナデ	
4138	288	Ⅳ区 C-3 上層	深鉢	口縁部	18.4			9.3	羽状沈線文・ナデ	ナデ・ミガキ	径２ミリ程度の砂粒
4139	290	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				8.7	工具によるナデ・斜直線文・ミガキ	工具によるナデ･ミガキ	
4140	288	Ⅳ区 SK08 一括	深鉢	口縁部	24.2			8.5	指頭圧痕･ナデ･烈点文・斜直線文	指頭圧痕・ナデ	貼付口縁
4141	289	Ⅳ区 E-3 下層		口縁部				3.7	ナデ・条痕文・貝殻腹縁文	ナデ・ミガキ	
4142	289	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				5.1	ナデ･口縁部文様肥厚し、条痕文、貝殻服線文を施文	工具によるナデ	
4143	289	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				9.9	凹線文・刺突文・ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	一部黒斑有り
4144	289	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				9.6	ナデ･押引文･横凹線文・ミガキ	ナデ・ミガキ	

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4145	289	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				9.8	凹点文・凹線文・刺突文・工具による調整・指頭圧痕	工具による調整	
4146	283	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部	31.0			6.1	貝殻斜線文（貝殻腹縁文）	工具調整後ミガキ	反転復元・内部に一部黒斑あり
4147	284	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部	26.0			11.3	ナデ・貝殻腹縁文・横凹線文	ナデ	
4148	284	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				7.5	ナデ・貝圧斜線文	ナデ	
4149	284	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				8.0	工具によるナデ・ミガキ・貝殻腹線文（口縁部）	工具によるナデ･ミガキ	
4150	283	Ⅳ区 SK08 一括	深鉢	口縁部				11.5	指頭圧痕・ナデ・ミガキ・貝圧斜線文	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	
4151	283	Ⅳ区 SK08 一括	深鉢	口縁部				10.2	ナデ後、貝圧斜線文	ナデ	
4152	284	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	19.4			9.1	貼付突帯・ナデ・貝殻斜線文・ミガキ	ナデ･指頭圧痕･ミガキ	
4153	283	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	22.4			8.6	貝圧斜線文・工具によるナデ	工具によるナデ	貼付口縁
4154	286	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部～胴部	20.6			20.7	指頭圧痕・工具によるナデ・貝殻斜線文・ハの字文・ミガキ	指頭圧痕・工具によるナデ・ミガキ	
4155	285	Ⅳ区 D-3 下層	深鉢	口縁部～胴部	24.3	21.1		19.4	貝殻押捺文・工具による調整・ミガキ	工具によるナデ調整・ミガキ	口縁部に粘土貼り付け
4156	284	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部～胴部				12.4	貝圧斜線文・ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	
4157	283	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				5.2	ナデ・貝殻沈線文	工具によるナデ・一部ミガキ	
4158	285	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部	23.1			10.1	貝殻腹縁文（口縁部）・ナデ	ナデ	
4159	283	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	22.6			12.5	貝圧斜線文・ナデ	工具によるナデ	貼付口縁・黒斑あり
4160	291	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				8.1	隆起線紋・疑似縄文・ナデ	ナデ	口唇部の内側に粘土貼付あり
4161	291	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				9.2	ナデ・刺突文・沈線文	ミガキ	外面全体的にスス付着
4162	293	Ⅳ区 B-2 上層 / C-2 上層	深鉢	口縁部～胴部	30.6	25.4		20.3	工具によるナデ･沈線文・隆起線文・ミガキ	工具によるナデ・口縁部に押捺縄文・ミガキ	波状口縁
4163	290	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部				13.0	逆Ｓ字文・刻み目文（口唇部）・工具によるナデ・ミガキ	工具によるナデ･ミガキ	
4164	290	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部				11.9	刺突文（口唇部）・凹圧点文・横沈線文・ミガキ	工具による調整･ミガキ	
4165	299	Ⅳ区 E-3 上層	深鉢	口縁部				11.9	ナデ･刺突文･横凹線文	ナデ	波状口縁・黒斑あり
4166	299	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部～胴部				(11.0)	工具によるナデ･刺突文・沈線文	工具によるナデ	山形口縁
4167	299	Ⅳ区 A-2 上層	深鉢	口縁部～胴部				17.4	指おさえ・工具による粗いナデ・縦線文	ナデ・工具による粗い調整	山形口縁
4168	299	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				14.9	工具によるナデ・口縁部に貝殻押圧文･円弧状文･横凹線文	工具によるナデ	山形口縁
4169	299	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	口縁部				7.1	ナデ後ミガキ･磨消縄文・沈線	ナデ	
4170	299	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	22.0			9.7	斜直線文・ナデ・タテ方向のミガキ	ヨコ方向のミガキ	山形口縁

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4171	299	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				8.3	斜直線文・ミガキ	工具による調整後ミガキ	山形口縁
4172	299	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部	21.0			15.7	斜直線文・斜め方向のミガキ・指頭圧痕・タテ方向のミガキ	斜め方向のミガキ・指頭圧痕	
4173	299	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				12.6	ナデ・貼付突帯・斜線文	ナデ	波状口縁・焼きむらがはっきりしている
4174	301	Ⅳ区集石１	深鉢	頚部～胴部		24.0		17.1	ナデ･斜直線文（口縁部）	ナデ・指頭圧痕	
4175	301	Ⅳ区 D-3 下層	深鉢	口縁部～胴部				29.3	斜直線文・条痕のあとナデ	工具によるナデ	波状口縁
4176	298	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				9.4	ナデ・貝圧斜線文	ナデ	波状口縁
4177	298	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部				(7.1)	ナデ・縁帯に横凹線文を施す	ナデ	口唇部に貼り付けの痕跡
4178	298	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部	24.9	17.7		14.2	ナデ･指ナデ･指頭圧痕･口縁部に貝圧斜線文・凹圧文		波状口縁
4179	298	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				8.1	工具によるナデ･ミガキ･指頭圧痕	工具によるナデ・指ナデ・ミガキ	口縁部に二条沈線
4180	293	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	口縁部				7.7	貝殻刺突文・ミガキ	ナデ	山形口縁
4181	300	Ⅳ区 E-3 下層／E-3 一括	深鉢	口縁部	22.8			9.6	貝圧斜線文・ナデ	ミガキ（横または斜め方向）	山形口縁
4182	298	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部	21.6			8.3	ナデ･口縁部に凹圧点文	ナデ・ミガキ	波状口縁
4183	298	Ⅳ区 D-3 下層		口縁部～胴部	(19.0)	(20.0)		(18.5)	貝殻腹縁文・凹線文・貝殻条痕文・ミガキ	工具によるナデ･ミガキ	波状口縁・反転復元
4184	298	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				8.5	沈線文･指頭圧痕･ナデ	ナデ・指頭圧痕	山形口縁
4185	298	Ⅳ区 E-4 下層一括	深鉢	口縁部				10.5	ナデ・貝圧斜線文	ナデ	山形口縁
4186	298	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部～胴部				16.4	腹帯文・列点文・工具による調整	工具による調整	
4187	331	Ⅳ区 E-2 下層	浅鉢	底部	11.6		8.4	5.4	ナデ・指頭圧痕	ナデ・指頭圧痕	
4188	331	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	底部	7.3		4.5	6.7	ナデ	ナデ	底部は貼り付け接面より割れ
4189	331	Ⅳ区 D-2 下層	浅鉢	底部			8.8	6.0	ナデ・口縁部に貝殻斜線文・横凹線文	ナデ	波状口縁
4190	302	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	胴部～底部			8.2	6.0	ナデ・指頭圧痕	ナデ	胎土粗い
4191	302	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部～底部	15.0		8.0	6.5	対線文・三角文・ナデ	ナデ	胎土粗い（１，２ミリの砂粒含む）
4192	331	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	底部			10.4	6.3	ナデ	ナデ	粘土紐貼付面から割れ
4193	293	Ⅳ区 D-2 下層	鉢	口縁部～胴部				12.1	磨消縄文	工具による調整	
4194	293	Ⅳ区 C-2 上層	浅鉢	口縁部				3.8	ナデ・凹線文	ナデ	
4195	297	Ⅳ区 D-3 下層	浅鉢	口縁部	9.5	14.2		4.5	ミガキ・擬似縄文	工具によるナデ・ミガキ	
4196	295	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	口縁部				10.1	ナデ･磨消縄文･沈線文	ナデ・指頭圧痕	
4197	294	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	口縁部				(5.8)	ミガキ・磨消縄文	ナデ・ミガキ	

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4198	294	Ⅳ区 C-1 下層	鉢	口縁部				5.5	ミガキ・磨消縄文・横凹線文・凹圧点文（口縁部）	ミガキ	波状口縁
4199	295	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部				5.3	ナデ・磨消縄文・沈線文（口唇部）	ミガキ	頸部の外面は大部分が剥離している
4200	294	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	口縁部				8.7	凹線文・磨消縄文	ミガキ	山形口縁
4201	294	Ⅳ区 C-3 上層	浅鉢	口縁部				(7.9)	磨消縄文	工具によるナデ・指頭圧痕	
4202	294	Ⅳ区 C-3 上層／B-2 上層	浅鉢	口縁部				8.9	磨消縄文	ミガキ	
4203	303	Ⅳ区 C-3 下層	深鉢	口縁部	36.0	33.7		13.1	縄文・横方向のミガキ・横または斜め方向のミガキ・磨消縄文	磨消縄文・横方向のミガキ	
4204	295	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	口縁部				7.6	ナデ・磨消縄文	ナデ	口唇部に穿孔・刺突文
4205	295	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	口縁部	27.7			7.5	ナデ後、磨消縄文	ナデ	漆を内外面に塗る・磨滅が著しい
4206	293	Ⅳ区 E-3 下層／E-3 一括	浅鉢	口縁部				12.5	ナデ後、磨消縄文・ミガキ	ナデ後ミガキ	内面は著しい磨滅
4207	296	Ⅳ区 E-2 下層／E-3 下層	浅鉢	口縁部				12.1	磨消縄文・ミガキ	工具によるミガキ	口唇部に凹線・穿孔あり
4208	295	Ⅳ区 C-2 下層	浅鉢	口縁部	11.9			6.5	ナデ･磨消縄文･沈線文・渦文	ナデ	内面磨り減り
4209	295	Ⅳ区 D-2 下層	浅鉢	口縁部				5.0	橋状把手・凹圧点文・沈線文	ナデ	
4210	297	Ⅳ区 E-3 下層	脚台付浅鉢	口縁部				7.3	貼付突帯･ナデ･刺突文・凹線文	ナデ	赤色顔料
4211	295	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	口縁部	17.5			9.9	ナデ・磨消縄文	ナデ	把手付き
4212	297	Ⅳ区 C-1 下層	浅鉢	口縁部				5.4	刺突文・凹線文	ナデ･指頭圧痕･ミガキ	把手付き・貼付突帯・二種類の刺突文・黒斑
4213	296	Ⅳ区 B-2 上層／B-3 上層	浅鉢	口縁～胴部				17.2	橋状把手･入組鉤手文（磨消縄文）・斜め方向のミガキ	横方向のミガキ・横または斜め方向の磨き	
4214	295	Ⅳ区 A-3 下層／C-2 下層	浅鉢	口縁部				4.2	ナデ･横凹線文･凹圧文・磨消縄文	ナデ	把手付き
4215	297	Ⅳ区 C-2 上層	浅鉢	口縁部				(6.6)	ナデ後ミガキ・沈線文・渦巻文・磨消縄文	ナデ後ミガキ	把手貼付・赤色顔料
4216	295	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	口縁部				7.2	磨消縄文	工具によるナデ･ミガキ	把手付き
4217	295	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	口縁部				6.6	磨消縄文・刺突文・貼付把手	横方向のミガキ	
4218	331	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	底部			8.2	5.7	ナデ・条痕・ミガキ	ナデ･指頭圧痕･ミガキ	
4219	331	Ⅳ区一括	深鉢	底部			5.5	7.7	ナデ	ナデ	
4220	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			8.2	7.6	工具によるナデ・底部に指頭圧痕	工具によるナデ	
4221	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			8.0	9.6	指頭圧痕・ナデ	指頭圧痕・ナデ	
4222	331	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	底部			12.1	7.6	工具によるナデ・指頭圧痕	工具によるナデ・指頭圧痕	
4223	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			10.8	7.4	指ナデ後、ミガキ・指おさえ・工具痕あり	工具による？ナデ	内面に植物繊維付着

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4224	331	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	底部			11.0	5.4	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	
4225	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			11.0	6.3	指ナデ	指ナデ後、工具によるナデ	外面に一部ミガキのようなもの・内面に植物繊維を含む
4226	331	Ⅳ区 E-3 下層	浅鉢	底部			14.4	6.1	ナデ・指頭圧痕	ナデ・指頭圧痕	
4227	331	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	底部			17.5	8.3	工具による調整･ミガキ	工具による調整･ミガキ	
4228	331	Ⅳ区 D-1 下層／D-2 下層	深鉢	底部			12.1	9.5	工具によるケズリ後、ナデ	ナデ・指頭圧痕	
4229	304	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			10.8	12.3	指頭圧痕・ナデ・一部ミガキ	指頭圧痕・ナデ	
4230	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			12.3	4.0	工具によるナデ・指頭圧痕・ミガキ	工具によるナデ・指頭圧痕	
4231	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			10.0	4.8	ナデ・指頭圧痕	ナデ・指頭圧痕	内面に植物繊維付着
4232	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			11.4	4.5	指ナデ	工具によるナデ	接面に植物繊維を含むか？
4233	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			11.1	6.3	ナデ・指頭圧痕	ナデ・接面には指ナデの痕跡	
4234	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			11.3	5.7	工具によるナデ・指頭圧痕	工具によるナデ	
4235	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			12.5	6.5	工具によるナデ後、指ナデ	ナデ・指頭圧痕	形がいびつ
4236	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			10.4	7.1	ナデ･ミガキ･指おさえ	ナデ	
4237	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部				5.2	ナデ	ナデ（磨滅が著しい）	
4238	331	Ⅳ区 C-2 下層	深鉢	底部			12.7	6.5	工具によるナデ	工具によるナデ・指頭圧痕	
4239	331	Ⅳ区 E-4 下層	深鉢	底部			13.6	6.0	工具によるナデ・ミガキ（底）・指頭圧痕	工具によるナデ･ミガキ	
4240	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			6.1	5.9	ナデ	ナデ・胴部と底部の接面に指ナデ痕	
4241	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			13.1	5.9	ナデ	ナデ	底面に工具によるひっかき痕あり
4242	331	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	底部			11.9	6.3	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	
4243	331	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			6.5	8.0	ナデ・指頭圧痕	ナデ・底部から胴部の接面に指ナデの痕跡	
4244	331	Ⅳ区 D-1 下層	深鉢	底部			8.5	3.9	ナデ	ナデ・指頭圧痕	
4245	331	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	底部			9.9	2.4	ナデ･指頭圧痕･ミガキ	ナデ・指頭圧痕	
4246	331	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	底部・脚部			7.9	2.8	ナデ	ナデ・指頭圧痕	一部黒斑有り
4247	340	Ⅳ区 A-3 上層	深鉢	底部			4.8	3.3	ナデ・網代圧痕	ナデ	
4248	340	Ⅳ区 A-3 上層	深鉢	底部				2.1	ナデ・網代圧痕	ナデ	
4249	340	Ⅳ区 E-1 下層		底部			(6.0)	(2.5)	ナデ・粘土貼り付け痕・底部に網代圧痕	ナデ・指頭圧痕	輪積み部分からの割れ・反転復元
4250	339	Ⅳ区 SK03-9	深鉢	底部			9.1	3.5	ナデ・網代圧痕（底部）	指頭圧痕・ナデ	

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4251	331	Ⅳ区 B-2 上層		底部			10.0	2.1	ナデ・網代圧痕	指頭圧痕	
4252	339	Ⅳ区 A-3 上層	深鉢	底部			10.1	4.0	工具による調整・網代圧痕	ナデ	
4253	339	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	底部			13.0	1.6	ナデ・鯨骨圧痕	工具によるナデ	
4254	340	Ⅳ区 E-3 下層	深鉢	底部			13.0	5.2	ナデ・指頭圧痕	指ナデ・指頭圧痕	
4255	331	Ⅳ区 C-1 下層	浅鉢	脚部			(8.9)	(4.9)	横方向のナデ後、刺突文	ナデ	脚部に粘土帯貼り付け･反転復元
4256	330	Ⅳ区 C-2 上層	深鉢	底部・脚部				4.6	工具によるナデ･穿孔（３つ）	ナデ・指頭圧痕	黒斑あり
4257	331	Ⅳ区 C-2 上層		底部・脚部			8.0	3.4	ナデ	ナデ・指頭圧痕・貝圧斜線文	
4258	331	Ⅳ区 C-2 下層		脚部			5.2	4.3	ナデ・下端に凹圧文	ナデ・指頭圧痕	
4259	330	Ⅳ区 SK08 一括	深鉢	底部・脚部			10.0	5.1	指頭圧痕･ナデ･ミガキ・斜直線文	ナデ・ミガキ	脚付
4260	330	Ⅳ区 D-2 下層		脚部			12.7	4.6	工具によるナデ・雷文・沈線文	ナデ	
4261	330	Ⅳ区 B-3 上層		底部・脚部			11.6	4.1	ナデ・凹圧文	ナデ	
4262	331	Ⅳ区 C-2 上層	脚台付鉢	底部・脚部			11.0	3.9	ナデ	ナデ	
4263	330	Ⅳ区 A-2 上層／下層	深鉢	底部・脚部			11.0	5.5	ナデ・凹点文	ナデ・指頭圧痕	脚付
4264	330	Ⅳ区 E-3 下層	脚台付鉢	底部・脚台			12.2	5.0	ナデ・貝圧斜線文	ナデ	ゆがみがある
4265	330	Ⅳ区 C-2 下層	脚台付鉢	底部・脚部			10.9	5.4	工具によるナデ･刺突文	工具によるナデ	
4266	330	Ⅳ区 C-2 下層	脚台付鉢	底部			10.7	4.7	ナデ・指頭圧痕・貝圧斜線文	ナデ	
4267	330	Ⅳ区 D-3 下層	脚部	脚部			12.0	5.8	ナデ・指頭圧痕・貝殻押捺文	ナデ・指頭圧痕	
4268	330	Ⅳ区 C-2 下層		脚部・底部			10.9	4.1	ナデ・貝殻押捺文	ナデ・指頭圧痕	
4269	331	Ⅳ区 C-1 下層	深鉢	底部			10.3	4.1	工具による調整・指頭圧痕・ミガキ	凹圧文	
4270	330	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	底部・脚部			10.2	7.5	ミガキ・横ナデ・貝圧斜線文	工具による調整・指頭圧痕	
4271	330	Ⅳ区 C-3 上層	脚台付鉢	脚部			(10.4)	(6.2)	ナデ	ナデ	粘土貼付・反転復元
4272	330	Ⅳ区 C-2 下層	脚台付鉢	底部・脚部				6.4	沈線文・凹圧点文	ナデ・工具によるナデ	
4273	330	Ⅳ区 D-2 下層	脚台付深鉢	底部・脚部			7.5	7.8	ナデ･ミガキ･指頭圧痕･刻目文	工具による調整・指頭圧痕	
4274	330	Ⅳ区 C-2 上層	高坏	底部				7.8	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	指頭圧痕･ナデ･ミガキ	
4275	331	Ⅳ区 E-3 黒色土		底部・脚部				4.2	ナデ	ナデ	凹圧点文・沈線文
4276	330	Ⅳ区 A-2 上層	深鉢	底部・脚部			9.0	6.6	貼付突帯（４本）	不定方向のミガキ・工具によるナデ	貼付突帯・剥がれ痕有り
4277	330	Ⅳ区 C-2 上層		底部・脚部			9.8	(6.4)	ナデ後、脚部に凹圧点文	ナデ・指頭圧痕	脚部内面に貼り付けの痕跡

RP	写真頁	出土地点	形式	部位	口径	胴径	底径	器高	調整・施文（外）	調整・施文（内）	備考
4278	330	Ⅳ区 D-2 下層		器台			7.8	4.8	刺突文・沈線文・斜直線文	指ナデ･工具によるナデ	穿孔あり
4279	297	Ⅳ区 D-2 下層	底部・脚部	底部	重要		9.6	2.7	凹線・沈線	ナデ・縄文・ミガキ	
4280	330	Ⅳ区 D-2 下層	深鉢	底部			11.2	6.4	工具によるナデ・刺突文	工具によるナデ	
4283	341	Ⅳ区 A-3 上層	紡錘車					6.7	ナデ・指頭圧痕	ナデ	内面からの穿孔
4284	341	Ⅳ区 C-2 下層	紡錘車					6.4	ナデ・穿孔	ナデ・穿孔	両面から穿孔
4286	341	Ⅳ区 D-2 下層	紡錘車					4.8	ミガキ・穿孔	ナデ・穿孔	両面から穿孔
4287	341	Ⅳ区 D-2 下層	紡錘車					4.9	ミガキ・穿孔	ナデ・穿孔	両面から穿孔
4306	341	Ⅳ区 C-1 下層	紡錘車未成品						ナデ	ナデ･指頭圧痕･ミガキ？	土器底部を再利用。穿孔（未貫通）
4307	342	Ⅳ区 B-1 下層	紡錘車					5.2	ナデ・未穿孔品	ナデ・未穿孔	両側から穿孔するものの未貫通
4281		Ⅳ区 D-1 下層	黒色土器･椀	胴部～底部			7.1	5.8	工具によるナデ	回転・ナデ	中世

3　石器（RQ）

頭地下手遺跡から出土した石器のうち、ここでは縄紋時代の石器 1,138 点、弥生時代の石器 3 点、合計 1,141 点の石器を図示し、記述する。

なお、縄紋時代の石器は石鏃、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器、剥片、石核、石斧、石皿、磨石、敲石、石錘、垂飾品他、弥生時代の石器は石鏃、砥石が含まれている。

また、章末に石器（RQ）観察表を付し、出土地点、層位といった層位学的属性、法量、石材、器種等、型式学的属性を記述した。縄紋時代の石器は、その出土状況をグリッド単位で図示した。

3-1　研究史

頭地下手遺跡から出土した石器については、小林久雄による発掘調査報告（小林 1967）、島津義昭による資料研究報告（島津 1971）、熊本大学考古学研究室による立会調査報告（白木原他 1978）および資料調査報告（白木原他 1979）、合計 4 編の既往報告がある。

3-1-1　小林久雄の研究

小林久雄は、発掘調査で出土した磨製石斧 8 点、「打製石斧」2 点、石錘 12 点、石鏃 1 点、「小石器」1 点について報告している。さらに、その他の石器として、「石灰岩の粗大な石片の両側に深い打欠きを加えて分銅形のもの」1 点、「一面は自然面、他面は打剥面」をもつ「多数の打剥石片」、そして、「礫塊に剥取面が有るものは少なくない」ことを報告し、「おそらく打製石斧或は土掻様石器の製作過程のうちの余剰石片と見るべきであろう」と評価した。（小林 1967）

石鏃 1 点は、黒曜石を素材とした打製石鏃で、長三角形を呈した凹基無茎鏃である。「打製石斧」2 点は、ともに礫面をそなえた二次加工剥片である。磨製石斧 8 点は、敲打、琢磨、研磨の各技法が用いられた大型の縦斧で占められ、刃部には平刃、丸刃、斧身には方形、楕円、基部は尖基、平基の各型式が存在している。うち 3 点は欠損品であり、刃部欠損 2 点、刃部および基部の欠損 1 点を報告している。石錘 12 点は、扁平な方形、円形の礫を素材とした大小さまざまな打欠石錘 11 点、擦切技法を用いた有溝石錘 1 点である。「小石器」1 点は、円盤形石器である。その他の石器の「分銅形のもの」1 点は、剥片の両側辺に抉り部を入れた大型の石錘である。そして、「礫塊に剥取面が有るもの」は石核、「一面は自然面、他面は打剥面」は礫面が認められる剥片であり、多数出土した剥片とともに頭地下手遺跡で石器製作が営まれたことを示している。

3-1-2　島津義昭の研究

島津義昭は、頭地下手遺跡から採集、保管されていた石錘 37 点、磨石 16 点、石皿 1 点について調査し、報告している。島津は、小林久雄が示した石器組成に石皿、磨石を加えるとともに、大型で重い石錘があるため網漁以外にも多様な石錘の用途が存在する、と指摘した。（島津 1971）

石皿 1 点は、扁平礫を素材とし、片面に磨面をそなえている。磨石 16 点は、石皿と対に使用された道具である。石錘 37 点は、いずれも扁平な自然礫の両端を打ちかいた打欠石錘である。重量は、最大 218g、最小 36g、平均 133.7g である。

3-1-3　熊本大学考古学研究室の研究

熊本大学考古学研究室による発掘調査では、石錘 8 点、石鏃 1 点、磨製石斧 2 点、石皿 4 点が報告されている。そして、「石鏃の出土量が少ないこと、石皿がやや多いことが対照的である」と分析するとともに、「多量に出土した石片は、石器の態はなさぬが、遺跡と無関係なものではない」と評価した。（白木原他 1978）

石鏃 1 点は、黒曜石を素材とした打製石鏃で、凹基無茎鏃である。磨製石斧 2 点は、両刃の縦斧 1 点、両刃の横斧 1 点の内訳となる。縦斧は刃部近くで折損し、横斧は基部が欠損している。石皿 4 点は、河川礫を素材とし、凹部に磨面をそなえ、いずれも欠損している。石錘は、扁平な円形の礫を素材とした打欠石錘 8 点である。また、「打ち欠きの不明瞭なもの」数点は、一端のみを打ち欠いた例、抉り部が浅い例等、特異な打欠石錘が出土していることを示している。

熊本大学考古学研究室による資料調査報告では、頭地下手遺跡周辺で採集された資料を追加し、石錘 5 点、磨製石斧 7 点、「打製石斧」、石皿 1 点、十字形石器 1 点が報告されている。（白木原他 1979）

ここでは、十字形石器が組成し、遺跡範囲も広がることが報告された。なお、「打製石斧」は図示されていない。

以上の既往報告 4 編は、頭地下手遺跡の縄紋時代石器は、石鏃、不定形石器、石核、石斧、石皿、磨石、石錘、十字形石器、円盤形石器で構成され、石鏃が少なく、石皿、石錘が多い傾向を示し、欠損した磨製石斧、大型で重い石錘等、特徴的な様相をそなえていることを明らかにした。

〔文献〕
1967 小林久雄「肥後国球磨郡五木村頭地下手遺跡」『九州縄文土器の研究』小林久雄先生遺稿刊行会
1971 島津義昭「熊本県五木村頭地の石錘と石皿」九州始原文化研究会会報 1、九州始原文化研究会
1978 白木原和美、高野啓一、柴尾俊介『頭地下手遺跡』五木村文化財調査報告、五木村教育委員会
1979 白木原和美、嶋田光一、村田多津江「球磨郡五木村先史遺跡分布調査報告」『川辺川流域総合予備調査報告』川辺川流域総合予備調査団

3-2　縄紋時代の石器

頭地下手遺跡から出土した縄紋時代の石器は、その形態と法量から石鏃、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器、剥片、石核、石斧、石皿、磨石、敲石、石錘、垂飾品他に分類した。

なお、不定形石器は、両面加工石器、二次加工剥片、使用痕剥片に区分した。また、垂飾品他では、石製垂飾再加工品、十字形石器、円盤形石器、環状石斧について記述した。おって、剥片、石斧（片）の母岩別資料を、それぞれ石核、石斧の末尾に掲載している。

3-2-1　石鏃

石鏃は、偏平で鋭利な尖端部がつくりだされた小型の石器で、矢柄の先端につけて用いる利器である。

頭地下手遺跡から出土した石鏃は 392 点、うち 103 点は黒曜石を素材としている。すべて打製品であり、矢柄に挟みこんで着装する無茎鏃である。

なお、その形態と法量は多種多様であるが、第一に素材となる岩石の種類によって黒曜石、チャートその他に大別し、第二に重さによって大型、小型を抽出し、第三に平面、基部、尖頭部の形態によって区分した。

また、はじめにチャートその他を素材とした石鏃について、次に黒曜石を素材とした石鏃について記述する。

大型の石鏃

厚みをそなえた大型石鏃は、正三角形は単一、細長い二等辺三角形は多様なあり方を示す。

平面形が正三角形に近似する大型石鏃は、すべて平基式無茎鏃である。RQ 11、12、13、14、15、16、17、18、3、19、20 は、尖頭部側辺が外湾し厚みをそなえた平基式の石鏃である。小型化するにつれ外湾の度合いが低下し、RQ 6、4、5、1、391、57 のように尖頭部側辺が漸移的に直線化する傾向をみせる。RQ 46、50、47、55、52、56、43、54 は、尖頭部側辺が直線で厚みをそなえた平基式の石鏃である。RQ 53、77、178 は、尖頭部側辺が内湾し厚みをそなえた平基式の石鏃である。

平面形が細長い二等辺三角形に近似する大型石鏃は、尖頭部、基部ともに多様な形態をとる無茎鏃である。RQ 10、38、24、25、60、22、21、29、27、26、63、48、213、44、98、96、188、182、187、70、42、176、175、69、41 は、尖頭部側辺が直線で厚みをそなえた凹基式の石鏃である。RQ 62、193、194、195、196、45、51、40、173、171、7 は、尖頭部側辺が外湾し厚みをそなえた凹基式の石鏃である。小型化するにつれ、RQ 199、172 のように尖頭部側辺が直線化したり、RQ 177、174 のように基部端が脚化したりする。RQ 37、71、32、33、72、180、157、136、58、209、210、211、212、201 は、尖頭部側辺が直線の凹基式石鏃である。RQ 8、39、208、59、64、191、190、185、181、61 は、尖頭部側辺が直線で側辺端部が脚化した深い凹基式石鏃である。RQ 179、34、36、23、186、159、168、275、274 は、尖頭部側辺が内湾した凹基式石鏃である。平面形は、尖頭部と基部との境がくびれ、基部端は三角形にひらき、いわゆる「ヒコーキ形」を呈している。小型化すると、RQ 169 のように相対的に凹基が深くなり基部端が脚化したり、RQ 93 のように尖頭部と基部との境のくびれが不明瞭化したりする。RQ 192、76、75、73、28、197、198 は、尖頭部側辺が直線の平基式石鏃である。

中型の石鏃

大型、小型のいずれにも属さない石鏃を、中型とした。この範疇は、その区分方法からも明らかなように厳密、截断の類いではなく、大型と小型を横断するものである。なお、中型石鏃の平面形は、正三角形はなく、細長い二等辺三角形に集約される。これは区分方

法に起因する現象であり、将来この範疇が不用となることを示す、と考える。

細長い二等辺三角形で凹基式の中型石鏃は、尖頭部側辺が外湾する RQ 68、2、49 の 3 点である。

細長い二等辺三角形で深い凹基式の中型石鏃は、多様なあり方を示す。RQ 9、8、206、207、65、66、67 は尖頭部側辺が外湾し、うち RQ 8 の側辺端部は脚化している。RQ 183、200、205、202、123、163、271 は尖頭部側辺が直線で、側辺端部は脚化している。RQ 183、184、80、270、69、273、272 は尖頭部側辺が直線で、側辺端部は脚化する。小型化するほど、平面形は正三角形に近似し、調整がこまやかになる。RQ 189、269、264、78、263、266、261、262、265、267、268 は、尖頭部側辺が直線で、側辺端部は脚化する。全面に調整がこまやかに施されるため、尖頭部、脚部とも曲面構成となり、刃部には鋸歯状の凹凸がそなわる。

この他、「人形」、「砲弾形」を呈する石鏃がある。RQ 204、276、277 は、尖頭部側辺が直線で基部に鍵穴状の抉りが付され、平面形が所謂「人形」を呈する石鏃である。平面形は細長い二等辺三角形をとり、RQ 204 は脚化した基部、RQ 276 は平基部、RQ 277 は凹基部に正円形に近似した抉りが施されている。側辺は、RQ 204、277 は鋸歯状、RQ 276 は直線となるよう調整がこまやかに施されている。RQ 31、170 は、尖頭部側辺が外湾し、鏃身部側辺は直線で、厚みをそなえた凹基式の石鏃である。平面形は、所謂「砲弾形」を呈する。

小型の石鏃

小型の石鏃の形態は漸移的に変化し、小型化するにつれその較差は不明瞭化する。これは、石器の小型化にともない石器の加工単位が相対的に大型化し、結果として、各加工単位が形態変化に及ぼす影響が増すことにより惹きおこされた現象である。

なお、小型の石鏃には、素材剥片を縁辺整形するだけの石鏃が加わる。

平面形が正三角形に近似した小型石鏃は、平基式は単一、凹基式は多様な形態をとる。

RQ 229、84、132、304、230、305、135、350、134、138 は、尖頭部側辺が直線で平基式の小型石鏃である。

凹基式の小型石鏃は、尖頭部側辺が外湾するものから直線となるものまで漸移的な形態変化をしめす。RQ 222、232、151、92、233、147、154、82、153、280、390 は尖頭部側辺が外湾し、RQ 149、231、220、95、137、150、90、91、145、146、342、344 は直線となる傾向にあるが、RQ 81、160、79、94、235、294、284、283、281、285 が中間的形態をとり、明瞭に区分することが困難である。

平面形が細長い二等辺三角形に近似した小型石鏃は、尖頭部、基部ともに多様な形態をとる。なお、押圧剥離による調整を施すことなく、素材剥片の縁辺を折りとり、打ちかく整形にとどめた小型石鏃が加わる。

平基式の小型石鏃は、尖頭部側辺が外湾するものから直線となるもの、内湾するものまで漸移的な形態変化をしめす。RQ 30、74、214 は尖頭部側辺が外湾し、RQ 167、162、85、130 は直線、RQ 291、309、310、236 は内湾する傾向にあるが、漸移的な変化である。

凹基式の小型石鏃は、尖頭部側辺が外湾するものから直線となるものまで漸移的な形態変化をしめす。RQ 155、139、126、221、141、125、131、89、355、215、218、226、225、302、286、217、152、216、143、293、144、357 は尖頭部側辺が外湾し、RQ 148、348、133、86、83、158、161、228、306、165、227、308、224、354、341 は直線となる傾向にあるが、漸移的な変化である。

深い凹基式の小型石鏃は、尖頭部側辺が外湾するものから直線となるもの、内湾するものまで漸移的な形態変化をしめす。RQ 166 は尖頭部側辺が内湾し、RQ 290、289、124、288、287 は直線、RQ 234、292、345、356、278 は外湾する傾向にあるが、漸移的な変化である。

素材剥片の縁辺を、折りとり、打ちかいて整形した小型石鏃は、尖頭部側辺が外湾し、基部は凹基または深い凹基となる。RQ 303、352、347、339、346、340、343、351、307、349 は凹基、RQ 219、156、87、129、88、295、223、127、128、296、301、142、279、282、298、140、300、97、99

は深い凹基である。

この他、RQ 297、353、111、360、361、359、299 は、区分できない小破片である。

黒曜石の石鏃

黒曜石を素材とする石鏃は、103 点が出土している。

大型の範疇に属する黒曜石製石鏃はなく、小型の石鏃が多い。なお、素材剥片を縁辺整形するだけの石鏃が含まれている。

平面形が正三角形に近似した石鏃は、平基式が多く、凹基式は小型の数例にとどまる。RQ 116、312、316、364、365、367、245、369、370、363、259、368、332、366 は尖頭部が直線で、RQ 105、246、314、372、371 は外湾し、うち RQ 372、371 は凹基式となる小型石鏃である。

平面形が細長い二等辺三角形に近似した石鏃は、平基式が少なく、凹基式が多い。RQ 115、338、122、337、334、330、362、373、317、381 は平基式、RQ 102、103、106、109、110、311、112、243、244、333、113、100、101、108、111、114、238、240、242、247、254、237、329、322、324、249、118、252、325、326 は凹基式である。うち RQ 110、311、112 は中間的な形態をとっており、平基式と凹基式との差異は漸移的様相を示している。RQ 250、260、376、379、378、377、380 は尖頭部側辺が外湾し、うち RQ 376、379、377 は基部端が脚化する様相を呈している。RQ 107、239、253、256、120、375、328、331、327、169 は尖頭部側辺が直線で凹基が深化する様相を示している。RQ 241、313、315 は尖頭部側辺が外湾し、RQ 321、320、319、318 は直線の深い凹基式の石鏃であり、ともに基部端が脚化している。

素材剥片の縁辺を、折りとり、打ちかいて整形した石鏃は、尖頭部側辺が直線または外湾し、基部は凹基または深い凹基となる。RQ 104、117、382、385、386、383、384、387、388、389、374、251、255、248、121、335、336、119 は凹基、RQ 258、257 は深い凹基である。うち RQ 386、384 は尖頭部縁辺の直線化、RQ 388、389 は外湾化を志向した打ちかきをおこなっているが、その他は尖端部と基部の形成を志向するのみで尖頭部側辺の整形は埒外と考えてよい。

3-2-2　尖頭器

尖頭器は、対象物をつきさす目的でつくりだされた尖端部をそなえ、概ね木葉形に薄く仕上げられた利器（ポイント）である。

頭地下手遺跡から出土した尖頭器は 14 点である。いずれも打製品であり、その多くが両面加工により、扁平で整った形態の尖端部がつくりだされている。

RQ 392 は、槍先につける法量をそなえ、基部側辺に抉りをもつ尖頭器である。

RQ 393 ～ 405 は、小型であり、槍先につけて用いることには疑問がある。さらに、これら小型の尖頭器は石鏃に近似した形態であるが、基部が舌状を呈し、厚さをそなえ、重いことから、石鏃とは区分することができる。

RQ 400、402、403 は、厚さをそなえ、基部が舌状に近似した形態となっている。

RQ 396、405 は、片面のみの加工であり、厚さも少ないため、石鏃に区分される可能性がある。

3-2-3　石錐

石錐は、剥片の一端に先鋭な尖端部をつくりだした利器である。ここでは、尖端部をそなえた石器のなかで、石鏃、尖頭器とその未成品以外の総称として用いる。

頭地下手遺跡から出土した石錐は 25 点である。剥片を素材とした打製品であり、その一端を断面多角形の棒状に整え、尖端部として先鋭に尖らせている。なお、他方の端部が扁平に広がり、つまみ状の基部をなす例が多い。

RQ 406 ～ 416 は、長い錐部をそなえた石錐である。錐部と基部の形態、その組みあわせにより、多様な形態をしめす。錐部は、先端部が尖形、丸形に、軸部が棒状、板状に分化し、尖端と軸とは錐体、柱体にその構造を分かっている。つまみ部は扁平なつくりをとるが、その形態は基部の折りとり整形、調整の有無により三角形、四角形、扇形に分化している。

RQ 417 は、石鏃に近似した形態であるが、基部が

丸く収まるよう整形、調整されている。

RQ 418 は、反った軸をそなえている。

RQ 420､421 は､不定形の剥片の一端に調整を施し、短い錐部を作り出している。

なお、RQ 411、419 が黒曜石、その他はチャートを素材としている。

3-2-4　石匙

石匙は、両側辺から抉りを入れてつくりだされた撮み状の突起部をそなえ、縁辺部に刃部をもつ利器である。

頭地下手遺跡から出土した石匙は 10 点、うち未成品 2 点を含む。すべて打製品であり、刃部が突起部の中心軸に直行して形成され、大型、小型に区分できる。なお、すべて横型の石匙である。

RQ 431、432 は、石匙の製作工程が未了のまま出土した未成品である。突起部をつくりだすノッチを一側辺に入れた段階で加工が中止され、以後の加工がなされていない。RQ 431 は大型、石匙、RQ 432 は小型石匙の未成品である。

RQ 433 ～ 438 は小型石匙で、丁寧な二次加工が重ねられている。突起部、刃部とも入念に二次加工をおこない、平滑な器面を得ている。なかでも、突起部にはバルブの膨らみを除去する剥離が重ねられ､形態、触感ともに滑らかなつくりに仕上っている。この突起部が石匙の中軸上に配されるとともに、縁辺部両端が相似形に整えられるため、小型石匙は左右均整な形態をとる。

RQ 439、440 は大型石匙で、その二次加工は簡略で粗雑である。突起部をつくりだすノッチは入念に入れるものの、石器表面には二次加工を加えず、刃部は素材剥片の端部（RQ 439）､刃部整形の折りとり（RQ 439）にとどまっている。しかし、その刃部には微小剥離痕が形成されているため、使用された成品であることがわかる。

3-2-5　不定形石器

不定形石器は、前述の石鏃、尖頭器、石錐、石匙および石核以外の打製石器である。その加工をうけた程度により両面加工剥片、二次加工剥片、使用痕剥片に区分した。

頭地下手遺跡から出土した不定形石器のうち、ここでは調査区Ⅳ区から出土した不定形石器 101 点、うち両面加工剥片 7 点、二次加工剥片 31 点、使用痕剥片 48 点、剥片 12 点について報告する。

両面加工剥片

両面加工剥片は、剥片の背面と腹面に二次加工が施された石器である。形態と法量はそれぞれ異なるが、二次加工が両面に施されている点で二次加工剥片とは区分される｡すべてチャートを素材とする石器である。

RQ 441、442 は、ノッチである。RQ 441 は、左側縁上部に表裏両方向から調整し、抉り部を作っている。RQ 442 は、左右両側縁に抉り部が形成されているが、左側縁は正面側から裏面へ向けての調整のみでやや浅い。

二次加工剥片

二次加工剥片は、剥片に二次加工が施された石器である。二次加工剥片には、各形式の未成品も含まれるが、特定の一面にのみ二次加工が施された剥片として一括した。RQ 448 ～ 478 の 31 点を図示した。

RQ 443 ～ 478 は二次加工剥片とした。大別すると、縦長剥片を素材とし縁辺に細かな剥離を行なうもの（RQ 443、444、455、456）、横長剥片を素材とし縁辺に細かな剥離を行なうもの（RQ 448 ～ 452）、不定形若しくは幅広剥片を素材とし縁辺に細かな剥離を行なうもの（RQ 457 ～ 466）に分けることができる。また、RQ 446、447、473、474、478 は石鏃の未成品若しくは石鏃を作成中に失敗したものの可能性がある。

使用痕剥片

使用痕剥片は、剥片の側縁部に微小剥離痕がみとめられる石器である。使用痕剥片の形態と法量、微小剥離の位置と様相は、多様な在り方を示している。ここでは RQ 479 ～ 526 の 48 点を図示し、母岩別資料において RQ 613、614 の 2 点を図示している。

RQ 478 ～ 511 は使用痕剥片である。実測図の矢印の範囲に使用痕と思われる微細剥離痕が観察され、

図では表現できない微細な剥離痕（RQ 479、480、484、485、490、506 等）から、1 ～ 2㎜の剥離痕が連続するもの（RQ 491、493、497、505 等）や、3㎜程度のやや大きめの剥離痕が複合するもの（RQ 481、483、492、502、503、510 等）など、使用痕のタイプはさまざまである。使用されている素材は、不定形な剥片でまとまった形のものはほとんどなく、石核の調整剥片を利用していることが多い

3-2-6　剥片

剥片は、石核から剥ぎとられた石片である。ここでは RQ 527 ～ 538 の 12 点を図示し、母岩別資料において RQ 589、590、592、595、601、608、616、617、619、620、622、623、625、626 の 14 点を図示している。石核、剥片等と接合した剥片は、母岩別資料として後述する。

RQ 527 ～ 538 は剥片である。その大半は石核の作業面再生剥片であるが、それらのうち、石鏃等の石器の素材と成りうるもの（RQ 512、531、533、534）がある。また、打面調整の剥片（RQ 530）や二次加工時の調整剥片（RQ 513、514）も散見される。

3-2-7　石核

石核は、剥片をはぎとった際に残された核である。頭地下手遺跡では、チャート、黒曜石を素材とした石核が多い。その大多数はチャート河川礫であるが、少数ながら露頭礫も確認されている。

頭地下手遺跡から出土した石核のうち、本書では調査区Ⅳ区から出土した石核 58 点について報告する。ここでは RQ 539 ～ 585 の 47 点を図示し、母岩別資料において RQ 587、588、593、596、598、599、602、604、605、607、610、611 の 12 点を図示している。剥片等と接合した石核は、母岩別資料として後述する。

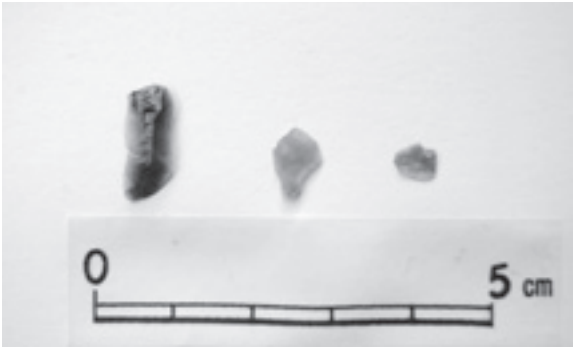


図 30　黒曜石のチャートとチップ

RQ 539 ～ 556、557 ～ 576 の 38 点は、チャートを素材とした石核である。遺跡のすぐ目の前がチャートの原産地であることから、チャート製の石核は拳二つ分くらいの大きな石核（RQ 539）から、拳大の石核（RQ 540、541、547、549）、5㎝前後の石核（RQ 551、554、557 ～ 560）まで、大小さまざまである。また、鈴桶技法の様なシステマティックな剥片剥離技術は見られないものの、節理面を打面とする板状若しくは立方体の石核（RQ 552、571、572、576）は、チャートという石材の性質を最大限に利用していると言えよう。しかし、チャートはその性質ゆえに定型的な剥片を量産することが難しく、ほとんどの石核が頻繁に打面転移している。RQ 546 のような、縦長剥片を３、４枚連続して剥離できた石核は稀な例である。

RQ 578 ～ 582 の５点は、黒曜石を素材とした石核である。搬入された時の大きさも小形と思われ、ほとんどが残核である。チャート原産地において、遠隔地の石材である黒曜石の石核があるということは、石材の流通若しくは人の交流関係を解明する上で、非常に重要なことである。

RQ 583、584、585 の３点は、その他の岩石を素材とした石核である。RQ 583 は砂岩製の石核で、原礫面を打面として幅広剥片を何枚も剥離している。RQ 584、585 は流紋岩製の石核で、RQ 584 は小形で短剥離打面から２枚の剥片を剥離していることが伺える。RQ 585 は、打面調整が顕著で剥片剥離の途中で 180 度打面転移している。

3-2-8　母岩別資料

母岩別資料は、原石から剥離された剥片とその石核、剥片を素材として二次加工を加えた石器、そして剥離、二次加工の際に副次的に生じる砕片、チップ等の微細石片の集合体である。この母岩別資料は、各種石器、石核、剥片、砕片、チップ等、出土した石製品の総体である石器群を、接合により相互に関連付けることにより個体として区分し、その石核、剥片、石器を生産

する技法を分析することを可能とする資料である。

頭地下手遺跡では、調査区が独立したⅣ区を対象として接合を試み、石器群から母岩別資料 15 点を抽出した。この中には、偶発的に折れたものや節理で分離していて意図的に剥離したものか判断に難しい資料もあるため、剥片剥離作業が明確に分かる資料を中心に述べることとする。

なお、以下に示す接合資料にはチップ等、微小遺物が含まれていない。これは現地調査において微小遺物の採集手段を講じなかったこと、水洗等、一次整理に際しても微小遺物の存在を想定した措置が執られなかったことに起因する。しかし、偶さか点取り資料に付着したチップを複数確認することができた。頭地下手遺跡は、本来は、微小遺物も包含されているフィールドである。

RQ 586 は RQ 587 ～ 590 の接合資料である。石核の打面調整で失敗し大きく剥離してしまったのが RQ 590 である。RQ 587 も石核の調整中に大きく剥離してしまったものである。90 度打面を転移して、RQ 589 の剥片が剥離されている。

RQ 591 は RQ 592 と RQ 593 の接合資料である。剥片と剥片の接合である。RQ 592 は剥離された後、打面を除去している。

RQ 594 は RQ 595 と RQ 596 の接合資料である。RQ 596 が石核、RQ 595 が剥片である。RQ 595 の剥片が剥離されたのち、3、4 枚の小さな剥片を剥離している。打面は単剥離打面で打面調整は見られない。RQ 595 の正面の剥離方向から、RQ 595 が剥離される前に 180 度打面を転移していることが分かる。

RQ 597 は RQ 598 と RQ 599 の接合資料である。石核の作業面を調整しようとしたのか、節理の影響で石核がほぼ半分に分割されてしまった例である。

RQ 606 は RQ 607 と RQ 608 の接合資料である。RQ 607 の石核は表裏で打面が 180 度転移している。RQ 608 の剥片は剥離時に節理面の影響を受けて不定形な形になっている。

RQ 609 は RQ 610 と RQ 611 の接合資料である。節理面での接合である。打面・正面・右側面と節理面が多く、何回か剥片剥離を試みたが、打面調整時に半分に分割されてしまったため廃棄されたものと考えられる。

RQ 615 は RQ 616 と RQ 617 の接合資料である。剥片同士の接合資料であるが、正面のリングの方向からかなり打面転移を頻繁に行なっていたことが伺える。

RQ 618 は RQ 619 と RQ 620 の接合資料である。本資料も剥片同士の接合資料であるが、打面が上面に固定されている。但し、RQ 620 の打面が原礫面であるのに対し、RQ 619 は複剥離打面となっているので、RQ 620 が剥離された後に打面調整を行ってから、RQ 619 が剥離されている。また、RQ 618 正面中央には両資料に跨って一枚の剥片が剥離されていることが観察されることから、同一方向から 3 枚の剥片がほぼ連続的に剥がされていることが伺える。

RQ 621 は RQ 622 と RQ 623 の接合資料である。剥片同士の接合であるが、両資料とも打点付近がなくなってしまっている。これは剥片剥離の際に付随的に割れたり、打撃時に打点付近が砕けたりすることがある。特にチャートという石材によく起こる現象で、剥片剥離技術の復元が困難な資料の一例である。

RQ 627 は RQ 628 ～ 636 の接合資料である。本資料はほぼ原石の状態であり、節理面を打面にして 1 枚の剥片を剥離しているが、その後の調整剥離の際に節理の影響で大きく 3 つに分割されてしまっている。節理が RQ 627 の打面に見られるような表面だけでなく、石材の中央にも存在していたことが原因となっている。RQ 630 ～ 636 はその際に付随して砕けた資料である。

原石

原石は、加工が施されていない岩石である。

RQ 637 は 3 点の礫の接合資料であるが、節理にそって破砕している。

砕片

石核から分離した石片のうち、特に微細な石片を砕片とした。原石の接合資料中に 6 点を確認したが、すべて礫に付随した砕片であるため、後代の衝撃により生成された砕片である可能性が高い。

チップ

石器加工に際して、チッピング等、細部加工で剥ぎとられた剥片の屑をチップ（ス）とした。頭地下手遺跡ではチップ 3 点を確認している。いずれも黒曜石のチップであるが、長方形の 1 点は押圧剥離により、他の 2 点はネガティブバルブが目立たない平坦な刃部形成の際に生成されたチップである。そして、これら石材の種類とその生成原因から、いずれも石鏃の製作に伴うチップ、としてよい。

3-2-9　石斧

石斧は、刃部を対象物に打ちこみ、切りわる利器である。磨製石斧は、礫または剥片を素材とし、敲打、琢磨加工された斧身が、木製の斧柄と組みあわされた道具である。

頭地下手遺跡の石斧は 193 点が出土したが、すべて磨製石斧であり打製石斧は確認していない。石斧は斧身の法量により大型、小型に大別し、形態により縦斧、横斧に区分することができる。

なお、区分の結果、大型の縦斧、大型の横斧、小型の横斧を抽出し、さらに大型の斧は側面、側縁の別により小区分している。小型の縦斧は存在しない。

また、小型横斧には擦切技法を用いた石斧、その可能性がある石斧、擦切溝をめぐらせる石斧、各 1 点が含まれている。この他、未成品 3 点、再加工品 3 点、転用品 1 点を確認している。

大型の縦斧

大型の縦斧は 144 点が出土し、うち側面縦斧 58 点、側縁縦斧 86 点である。なお、母岩別資料が側面縦斧 2 点 2 例、側縁縦斧 2 点 1 例の接合により確認できている。このため、最大個体数は側面縦斧 56 点、側縁縦斧 84 点となる。最大重量は、RQ 669、649 が接合する側面縦斧（母岩別資料）の重さ 695g である。また、転用品 1 点が含まれていた他、未成品 3 点、再加工した小破片 3 点が別途出土している。

RQ 695 は、側縁縦斧の基部破片を転用し、敲石として使用した転用品である。刃部が欠損し、その欠損面を敲打により平面化し、敲石の敲打面として使用している。

RQ 819、820、821 は、重さと形態から、大型縦斧の未成品であると判断した。RQ 819、821 は荒割整形段階、RQ 820 は荒割整形後の基部整形段階で、製作が中止されている。これら製作中止の原因は、RQ 819 は刃部の破断、RQ 820 は斧身の破断、RQ 821 は斧身の欠損であると考えている。

RQ 822、823、824 は、重さと形態から、いずれも大型の縦斧の小破片と判断している。RQ 822、824 は斧身剥片の周縁を打ちかいた剥片石器として、RQ 823 は斧身残塊を打ちかいた石核石器として再加工している。しかし、いずれにも使用痕は認められないため、また他の石斧破片と弁別するため、再加工した小破片として区分した。

大型の横斧

大型の横斧は 32 点が出土し、うち側面横斧 9 点、側縁横斧 11 点、乳棒形横斧 12 点である。最大重量は、乳棒形横斧（RQ 679）の重さ 352g（復元重量約 400g）、側縁横斧（RQ 795）の重さ 110g（復元重量約 300g）である。この他、未成品 2 点が出土している。RQ 817、818 は重さと形態から、いずれも大型横斧の未成品と判断した。RQ 817、818 は、荒割整形段階の中途で製作が中止されている。これら製作中止の原因は、RQ 818 は斧身の破断、RQ 821 は刃部の欠損であると考えている。

小型の横斧

RQ 825 は、方柱状の斧身の両端に刃部をそなえた石斧の破片である。両端部は、研磨痕と形態から刃部の存在が確実であるが、欠損している。右側面が膨らみをもつことに対し、右側面には幅 1mm 程の段が裏主面との接辺に走っている。これは擦りきり痕に近似しており、RQ 825 は擦切技法による石斧となる可能性がある。

RQ 826 は、斧身の両端に刃部をそなえた石斧である。両刃部とも片刃であり、各片刃面は主面を異にしている。下端の片刃面には鏑が、続く主面には上端より 2cm ～ 5.5cm の範囲に平坦面が認められる。対して、上端の片刃面には鏑はなく、平坦面も明瞭ではない。このことから、下端刃部を用いる石斧が、表裏主

面を入れかえ斧柄を付けなおし、上端刃部を用いる石斧と変遷した片刃横石斧とかんがえる。

RQ 827 は、斧身の両端に刃部をそなえた石斧である。両刃部とも丸刃であり、主面により研磨の粗密が異なっている。下端刃部は、両刃である。上端刃部は、密な研磨面が広い刃面を形成し片刃の様相を呈するが、あまりに平坦すぎるため、これは使用破損面を研磨した結果であり、本来は両刃である、と考えている。刃部研磨が粗い主面の中央には、幅 3.5cm 程の平滑な摩面が認められる。これを斧柄着装面とした場合、使用の過程で後主面に研磨作用が反復した結果、研磨の粗密が惹起された、と説明されよう。

RQ 828 は、石斧の破片である。刃部は両刃であり、その右半部は基部方向に退き、表裏とも破損痕が認められる。斧身は厚く、表主面の上端から 2.5cm までの斧身中央部には、平坦面が認められる。基部は、欠損している。この破断面は、他の磨製石斧の破断面と同じ様相を呈している。

RQ 829 は、方柱状の斧身の中央に擦切溝をめぐらせた片刃石斧である。刃部は下端にのみ形成され、その片刃面には緻密な研磨が施されている。片刃面と表主面の境は、鏑と同一の様相を呈しているが、刃部と表主面との間に存在する研磨の差異が現れているにすぎない。斧身の研磨には部位によりその粗密が認められ、刃部には緻密な研磨、側面には密な研磨、主面には粗い琢磨が、明瞭な差異をもって施されている。後主面側の刃部は、刃縁にむかい湾曲した形態はとるものの緻密な研磨は認められず、後主面と同様の粗い琢磨にとどまっている。上端部には、破損面に粗い琢磨を施した平面が広がり、一見、片刃面に近似した様相を呈しているが、刃はそなわっていない。平面の右縁辺には角落しの研磨が鉛直方向に入り、破損平面が右側に開くことと併せて、この部分が欠損部であることを示している。擦切溝は、現存長の中点に位置し、側面の擦切溝は石斧長軸に直行して、主面の擦切溝は両側面の擦切溝端部をつなげて、斧身を一周している。擦切溝は幅 1mm、深さ 1mm で、その断面は三角形を呈している。

RQ 830 は、前主面には平坦面、後主面には膨らみをつけた片刃石斧である。前主面と刃部との境には鏑が形成され、この鏑と刃部の右半部は基部方向に退いている。後主面の側縁は丸く琢磨されているが、前主面の左側縁は基部 5mm 手前まで右側縁は鏑から 1cm の範囲にまで稜がはしる。前主面の平坦面は斧柄着装面であり、右利き用の前主面片刃横石斧である。

RQ 831 は、刃部から 3.5cm までの側面に稜がつくりだされた片刃石斧である。刃部は右から左に傾き、基部から 4.5cm までの範囲には右側面に傾斜した平坦面をそなえる。この平坦面は斧柄着装面であり、右利き用の前主面片刃横石斧である。

RQ 832 は、扁平な磨製石斧から擦切技法により切りとられた石斧片に、再研磨が加えられた片刃石斧である。その左側面には幅 0.5mm 程の段が刃部から基部まで一直線に形成され、その上部には刃部に対し約 80 度の傾きをもった擦切面、下部には厚さ 2mm 程の折面が連接している。これは、前主面から切りこむ擦切溝の擦切痕であり、段から上位 4mm までの範囲には段に並行した擦痕が認められる。下部の折取痕には、折面を摩りけすための研磨が加わり、刃部、基部ほど段が除去され滑らかなつくりとなっている。後主面、右側面には、素材石斧の使用破損痕が残るが、再研磨により滑らかに整えられている。基端にも破損痕が認められるが、再研磨は加えられていない。

RQ 833 は、前主面は平坦に、後主面は丸くつくられた片刃石斧である。刃部右半部は基部方向に退き、右端には破損痕が認められる。前主面の平坦面は斧柄着装面であり、右利き用の前主面片刃横石斧である。

3-2-10　石皿

石皿は、磨り面をそなえた大型石器で、作業場の床に据え置き、磨石と組みあわせて対象物の粉砕に用いる。

頭地下手遺跡から出土した石皿は 23 点である。安山岩、花崗岩、礫岩、凝灰岩の転礫が素材とされ、主要な作業部位である凹部または平坦部に、対象物と磨石の運動により滑らかな磨り面が形成されている。石皿の平面形態は多角形または楕円形を呈し、大きさ、厚さ、重さ等、その法量も不定である。石皿への加工も、転礫に磨り面を付したものから、全面を整形して表面調整の敲打を施すものまで存在し、同一のつくり

がなされた例に欠く。このように多種多様なあり方を示す石皿であるが、その磨り面を基準にすれば次のとおり 2 類に区分することができる。

第一は、平坦な磨り面をそなえた石皿で、硬質な安山岩を素材としている。

第二は、凹部をそなえた石皿で、礫岩、凝灰岩等、軟質な石材を素材としている。

これに、付設部（縁辺部、掃出し口）の有無を加えて記述することができる。

平坦な石皿

平坦な磨り面をそなえた石皿は、RQ 834 ～ 838 の 5 点が出土している。

RQ 834 は、平坦な磨り面をそなえた石皿である。長径 29cm、短径 22cm の磨り面が中央に形成され、左手前に掃出し口をそなえる。磨り面には、中央から右上半部にかけて最も緻密な面、掃出し口端部に緻密な面が、それぞれ形成されている。自立状態では右上端が最も高く、磨り面全体は手前に傾斜し、掃出し口端部が最も低い位置をとる。側面と裏面には転礫表面が残る。

RQ 835 は、平坦な磨り面をそなえた石皿である。直径 22cm、深さ 1.5cm 程度の皿状を呈した凹部が中央に配されている。縁辺部は、幅 5cm 程度の平坦に整えられた傾斜面が凹部の三方をかこみ、手前には掃出し口がそなわる。凹部内には緻密な磨り面が形成されるが、掃出し口の近辺では左端部をのぞき粗いものとなる。裏面は平坦に整えられ、側面には整形痕が残存するが、ともに使用摩耗が加わり滑らかになっている。

RQ 836 は、平坦な磨り面をそなえた石皿の破片である。22 × 17cm 程度の磨り面が中央に形成され、手前に掃出し口をそなえる。磨り面は、上半部の端部に緻密な面がめぐり、中央部、下半部、掃出し口部分は一段おちる粗さである。掃出し口端部中央には打ち欠きが加えられ、口部構造を呈している。縁辺部は幅 7cm 程度の傾斜面が凹部の三方をかこみ、上辺に向いその高さを漸増させている。裏面には平面が形成され、各辺が敲打により整えられた後、使用による摩耗が加わっている。左辺に剥離痕､右上隅には破砕痕が、裏面から加えられている。

RQ 837 は、平坦な磨り面をそなえた石皿の破片である。長径 35cm 程度、短径 23cm の磨り面が中央に形成され、左手前に掃出し口をそなえる。磨り面は、厳密には 1cm 未満の凹面であるが、使用により形成された曲面である。緻密な磨り面は、中央部から手前方向と右方向に伸びている。掃出し口端部中央には打ち欠きが 2 回加えられているが、いずれの剥離面も滑らかに摩耗し、口部構造を呈している。縁辺部は幅 5cm 程度の傾斜面が上辺に、幅 10cm 程度の傾斜面が下辺に連接し、左辺には垂直に整形された側面となっている。裏面には転礫表面が残存し、使用による摩耗が加わっている。右辺には複数の剥離痕が表面から加えられている。

RQ 838 は、平坦な磨り面をそなえた石皿の破片である。25 × 26cm 以上の範囲に磨り面が形成されている。磨り面は、厳密には 1cm 未満の凹面であるが、使用により形成された曲面である。磨り面端部は転礫表面と連接している。表面には垂直方向の破断面が 4 単位、裏面に水平方向の破断面が 1 単位確認できる。

凹部付石皿

凹部をそなえた石皿は、RQ 839 ～ 856 の 18 点が出土している。

RQ 839 は、凹部をそなえた石皿である。直径 19cm、深さ 4.5cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に掃出し口をそなえる。凹部には磨り面が形成されているが、素材礫の岩質により粗い状態である｡この磨り面は掃出し口にむかい舌状に伸び、端部では 1cm 下位の側面にまで連続している。なお、この石皿の最も滑らかな磨り面は、この舌状部に形成されている。岩質の粗さとともに、磨石の運動方向が惹起した現象であろう。縁辺部は、凹部斜面端部から側斜面に山折りとなり、高さを揃えて凹部の三方をかこんでいる。裏面には狭い平面が形成され、側面に続く曲面が形成されている。両面とも敲打により整えられた後、使用による摩耗が加わっている。

RQ 840 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 16cm 程度、深さ 3cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、底面が手前に伸びている。凹部に

は、全体に磨り面が形成されているが、素材礫の岩質により粗い状態である。縁辺部は、幅 8cm 程度で外側に傾斜する曲面からなり、その表面を敲打により整えている。裏面は剥離圧痕が全面に展開し、側面には整形のための敲打痕が残っている。

RQ 841 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 24cm 程度、深さ 4cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配されている。凹部には磨り面が形成されているが、素材礫の岩質により緻密なものとはなっていない。縁辺部には、剥離痕が残存した側面が連接しており、底面は転礫表面と同様の曲面が形成されている。

RQ 842 は、浅い凹部をそなえた石皿である。直径 17cm 程度、深さ 1.5cm 程度の皿状を呈した凹部が中央に配されている。凹部には磨り面が形成されているが、素材礫の岩質により緻密なものとはなっていない。凹部の底は平坦面となり、手前の掃出し口にむけて展開している。磨り面と以外には加工されていないため、磨り面端部は転礫表面と連接し、底面全体が転礫表面のため不安定なつくりとなっている。

RQ 843 は、磨り面を表裏各 1 面、合計 2 面そなえた石皿の破片である。表の磨り面は凹部をそなえており、直径 24cm 程度、深さ 6.5cm のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に掃出し口を付設する。凹部には磨り面が形成され、これが掃出し口にむかい舌状に伸びているが、素材礫の岩質により緻密なものとはなっていない。縁辺部では幅 5cm 程度の平坦面が凹部の掃出し口以外の三方を水平にかこむ、と復元できる。裏の磨り面は浅い凹部をそなえており、直径 32cm 程度、深さ 2.5cm 程度の皿状を呈した凹部が中央に配されている。この凹部にも磨り面が形成されているが、素材礫の岩質により緻密なものとはなっていない。側面は垂直となるよう整形され、その剥離痕が残存している。

RQ 844 は、凹部をそなえた石皿である。直径 18cm、深さ 2.5cm 程度の皿状を呈した凹部が配されている。縁辺部は幅 3cm 程度で上端を丸く整えた堤体が左辺から上辺に続くが、右辺では幅が 1.5cm に縮小し上端の調整も粗雑になる。凹部内には磨り面が形成されているが、滑らかなものではない。裏面と側面には、敲打による器面調整が全体に施されている。

RQ 845 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 20cm、深さ 5cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、掃出し口をそなえる。縁辺部には、幅 7cm 程度で上端を丸く整えた堤体が、概ね水平に連なり凹部の下辺以外の三方をかこむ。縁辺部にはざらつき感が高い石目があたり、凹部底から奥壁にかけて緻密な磨り面が形成されている。裏面は、敲打による器面調整が全体に施され、底面と左側面には使用による摩耗が及んでいる。

RQ 846 は、凹部をそなえた石皿である。直径 22cm、深さ 5cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に幅 10cm 程度の掃出し口をそなえる。縁辺部には、幅 6cm 程度で上端を丸く整えた堤体が、凹部の下辺以外の三方をかこむ。縁辺部にはざらつき感が高い石目が、磨り部には滑らかな石目があたり、直径 15cm の部位以下の凹部には緻密な磨り面が形成されている。裏面は、縁辺部に角落としの敲打が加えられ、さらに使用摩耗が及んでいる。

RQ 847 は、凹部をそなえた石皿である。直径 17cm、深さ 2cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に掃出し口をそなえる。凹部には磨り面が形成されているが、素材礫の岩質により緻密なものとはなっていない。この磨り面は掃出し口にむかい舌状に伸び、端部では側面に 2cm 程侵蝕している。縁辺部では、幅 6cm 程度の平坦に整えられた傾斜面が凹部の掃出し口以外の三方をかこみ、上辺にむかいその高さを漸増させている。裏面には平面が形成され、敲打により整えられた後、使用による摩耗が加わっている。

RQ 848 は、凹部をそなえた石皿の破片である。幅 3cm 程度の堤体が凹部の三方を風字形にかこみ、手前端には掃出し口がそなわる、と復元できる。裏面から右側面は、直線をなすよう整形され、角がおとされた後、敲打により全面が整えられている。掃出し口の側面は平坦に整形され使用摩耗が加わっている。

RQ 849 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 19cm 程度、深さ 5cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、掃出し口をそなえる。磨り面は掃出し口から奥にむかって舌状に形成され、掃出し口端

部を除く凹部全体がほぼ同様の滑らかさとなっている。縁辺部は、幅 7cm 程度で転礫表面が残り、掃出し口では途切れるため、風字形に三方をかこむ形態に復元できる。残存する縁辺部と凹部との端接部は丸く整えられている。裏面には転礫表面が残り、側面には整形のための敲打痕がめぐっている。

RQ 850 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 20cm 程度、深さ 3.5cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に向かい底面が伸びている。凹部には、全体に磨り面が形成され、奥壁に近い部分ほど緻密な磨り面となる。縁辺部は、幅 6cm 程度で外側に傾斜する曲面からなり、その表面は滑らかに整えられている。この縁辺部は掃出し口端部には存在せず、凹部の三方を水平にかこむもの、と復元できる。なお、掃出し口端部の側壁は垂直に整形され、他の周縁部とは異なる構造である。裏面には平坦面がつくられ、使用による摩耗が加わっている。長軸線に沿い、直線状に破断している。

RQ 851 は、凹部をそなえた石皿の破片である。幅 3cm 程度の堤体が凹部をかこみ、手前の堤体は 1cm 程低くなる、と復元できる。凹部は手前側に寄って配され、堤体から 1cm 程下位から緻密な磨り面がはじまる。この磨り面は、平坦な斜面を形成しながら奥にむかい展開している。裏面と側面は平坦に整形され、角がおとされた後、敲打により全面が整えられている。右下隅には角をおとす整形があらたに加わるが、さらに使用摩耗が加わり滑らかになっている。

RQ 852 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 22cm 程度、深さ 5cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、掃出し口をそなえる。凹部には、底から 3cm までの高さに緻密な磨り面が形成されている。掃出し口付近にも磨り面が形成されているが、凹部にくらべ粗い 。縁辺部には、幅 5cm 程度で上端を丸く整えた堤体があり、堤体外縁から側面上半部には著しく滑らかな部分が認められる。この堤体は、掃出し口では途切れ、石皿の三方を風字形にかこむ、と復元できる。裏面には転礫表面が残り、側面には整形のための敲打痕がめぐっている。

RQ 853 は、凹部をそなえた石皿の破片である。縁辺部には、幅 5cm 程度で上端を丸く整えた堤体が形成されている。凹部には、底から 2.5cm までの高さに緻密な磨り面が形成されている。裏面には転礫表面が残り、側面には整形と器面調整のための敲打が幅 6cm 程の帯状にめぐり施され、縁辺部には使用摩耗が及んでいる。

RQ 854 は、凹部をそなえた石皿の破片である。直径 19cm、深さ 3cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に幅 10cm 程度に復元できる掃出し口が幅 6cm にわたり残存している。縁辺部は幅 6cm 程度で上端を平滑に整えた堤体が三方をかこむ。凹部は、底にざらつき感が高い石目があたるが、他の磨り面は滑らかで、中央から掃出し口までの前半部には緻密な磨り面が形成されている。裏面には転礫表面が残り、側面には整形のための敲打痕がめぐり、さらに全体に使用摩耗が及んでいる。

RQ 855 は、凹部をそなえた石皿である。直径 23cm、深さ 3cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に掃出し口をそなえる。凹部全体に緻密な磨り面が形成されているが、底に石目欠損部があり、ここから奥壁にかけて特に緻密な磨り面が存在する。掃出し口付近にも磨り面が形成されているが、中軸部では凹部から連続する緻密さであるものの、側端部にむかい粗い磨り面へと漸移的に変化する 。縁辺部には、幅 5cm 程度で上端を丸く整えた堤体があり、これが掃出し口以外の三方を風字形にかこむ、と復元できる。裏面と側面の一部には転礫表面が残り、側面には整形のための敲打痕が存在する。

RQ 856 は、凹部をそなえた石皿である。直径 22cm、深さ 4cm 程度のボウル状を呈した凹部が中央に配され、手前に掃出し口をそなえる。縁辺部は幅 4cm 程度で、上端の角を落とした堤体が凹部上半をかこむが、凹部下半では堤体はなく磨り面端部となっている。緻密な磨り面は、手前の掃出し口部から奥壁にかけ舌状に形成され、掃出し口部から凹部中央までは平面をなし、奥壁部分では凹部底から約 5cm の高さにまでおよぶ曲面となり、凹部の壁高は中央から奥壁にむかい漸増している。この構造は、磨石は手前から奥壁を突くように動き、対象物は奥壁近くで粉砕され、掃出し口から移しだされた、ことを示している。裏面は、左半分には打ち欠き整形を施し、後、全体の

角をおとしている。右側面には使用による摩耗が及んでいる。

3-2-11　磨石

磨石は、円礫を素材とした掌大の大きさで滑らかな磨り面をもつ礫器で、作業場の床に据え置いた石皿と組みあわせて対象物の粉砕に用いる道具である。

頭地下手遺跡から出土した磨石は 15 点である。磨り面中央部に 1cm 未満の敲打による凹部を有するもの、側面を敲石として使用したものは一切確認されていない。すべて、表裏面を非常に滑らかな磨り面として、側面も滑らかに整えた、長径 10cm 以上の大型の磨石である。

概ね同じ大きさの平面形態をとる磨石は、軽い磨石（RQ 857 ～ 862）は厚さ 4cm 程度、重い磨石（RQ 867 ～ 871）は厚さ 6cm 程度を示し、その厚さに比例して重量も変化する。中間重量の磨石（RQ 863 ～ 866）も存在し、厚さと重さは漸移的に増減するが、すべて一般的には重量級に相当する磨石である。このことから、磨石は、堅果類の脱殻等の敲打には用いられることなく、一様に磨りつぶすことのみに用いられ、そして、その使用者は幼齢、老齢ではなく、幾ばくかの幅をもつものの青年層に限られていた、と想定してよい。なお、図示した磨石 15 点のうち 8 点が損壊している。損壊品は、いずれも磨面の鉛直方向に平坦な割れ面が形成され、剥離石片は一切生じていない。このことから、損壊した磨石は、すべて同様に、圧壊したものと考えられる。この磨石の圧壊は、その高い発生率と併せて、軽い磨石は圧壊せず（0/6）、中間重量以上の磨石は 1 例以外すべてが圧壊する（8/9）という、その重量、厚さの点で著しい偏りを示している。さらに、磨石を使用する際の運動は水平方向であり、垂直方向に力が加わる圧壊とは力の方向が異なるため、磨石の使用行為のなかに圧壊の原因を求めることはできない。圧壊は使用行為とは異なる作用の結果であり、圧壊面が同一様相を示すこと、その発生が重い磨石へ偏ることは、圧壊の偶発性を否定する。さらに、これらは磨製石斧の圧壊と共通しているため、定格をみたす対象の選定、同様の圧壊を惹起する加圧等、複数の点で共通する作用が磨石と磨製石斧に加えられている、と推定することができるのである。以上から、頭地下手遺跡の磨石と磨製石斧には、その使用の停止にあたり、同一手法による石器破壊行為が存在した、と結論する。

3-2-12　敲石

敲石は、端部または縁辺部に打痕をもつ礫器である。

頭地下手遺跡から出土した敲石は 17 点である。その素材、形態、法量、なかでも重量により、河川礫を加工した軽い敲石、露頭付近の礫を加工した重い敲石、以上 2 類に区分することができる。

河川礫を加工した軽い敲石は、RQ 872 ～ 877、883 の 7 点が出土している。河床転礫を素材とするため、その表面は滑らかで、基本形は回転体をとる。この素材礫は、棒状（RQ 875）、球状（RQ 873、874、876、877）、円盤状（RQ 872、883）と多様な在り方を示している。なお、素材礫の端部、縁辺部には多数の打痕が凝集し打面を形成している。この打面は、素材礫の原形に近似した凸曲面を呈し、平面化することはない。また、打面が形成される部位は、回転体の両端部に形成されたもの（RQ 875）、端部と縁辺部に形成されたもの（RQ 874、877）、縁辺部に形成されたもの（RQ 876）、縁辺部 2 箇所に形成されたもの（RQ 872、873、883）に細分できるが、いずれも打面数は 2 面を上限としている。以上から、河川礫を加工した軽い敲石は、狭小な打撃部を担保するため凸面を維持し、その敲打方向を限定し、軽い加撃を焦点に数多く反復して与える敲打に用いられた、としてよい。

露頭付近の礫を加工した重い敲石は、RQ 878 ～ 882、884 ～ 888 の 10 点が出土している。転礫であるが然ほど摩耗していない礫を素材とするため、基本形は立方体をとり、稜線が残存し、角張っている。この素材礫は、方柱状（RQ 880、881、882）、円柱状（RQ 878、879、884、886、888）、半球状（RQ 885、887）と多様な在り方を示している。なお、素材礫の稜線、縁辺部には複数の剥離面が凝集し、打面を形成している。この打面は、方柱状、円柱状の素材礫ではその両端部 2 箇所に限定的に形成され、半球状の素材礫ではその縁辺部の複数箇所に帯状に連なって形成

されている。重い敲石を用いた敲打は、敲石にも剥離面が生成されるほど強力である。このように強い衝撃を継続して効果的に対象物にあたえるためには、断面積が小さな作用点が継続的に確保されることが必要である。方柱、円柱の場合は柱先端部に作用点を求めることがその断面積を最小化するとともに、剥離面が先端部を再生し、断面積が小さな作用点を反復生成することとなる。球面の場合は、打面を固定すると当該部位が平面化し、作用点の断面積の増加そして衝撃力の分散をまねくこととなり、強い衝撃を継続して効果的に対象物にあたえることができなくなる。この打面劣化を回避するため打面は半球の縁辺部を移動し続け、平坦面の生成を抑止するとともに、半球面を維持することで効果的な作用点を継続的に確保した、と考えられる。以上から､露頭付近の礫を加工した重い敲石は、作用点となる凸部をつねに確保できるように打面を配し、強い衝撃力を対象にあたえる敲打に用いられた、としてよい。

敲石の重さの区分は、重い敲石は荒割、軽い敲石は成形等の二次加工に用いられた、と用途の区分に解釈できる。なお、押圧剥離、間接打撃等、体系を異にする技術、そして棒材、鹿角等、硬軟を異にする敲具、皮革、布等、石器製作に伴う用具が別途存在することは言うまでもないが、今次調査では未検出である。

3-2-13　石錘

石錘は、縄紐をしばりつけて錘とした礫器である。扁平な転礫の上下両端に縄紐をかけるための抉り部としている。

頭地下手遺跡から出土した石錘 1351 点のうち、ここでは実測図を掲載した 242 点について報告する。これら 242 点の石錘は、打欠石錘 234 点、切目石錘 6 点、有溝石錘 2 点に区分される。法量では、長さ約 17cm、重さ約 1.4kg の大型石錘が 1 点（RQ 889）ある他は、すべて長さ 3 ～ 10cm、重さ 20 ～ 300g の石錘である。

大半の石錘は、長方形、円形の礫を素材とし、長方形の礫は長軸の両端、円形の礫は長軸、短軸、いずれかの両端を打ち欠き、抉り部が形成された打欠石錘である。その加工は簡明であり、片面または両面から各 1 回または数回程度の打ち欠きを加えるだけであるが、つくられる抉り部には深浅広狭の差異がある。なお、周縁に剥離痕がめぐる礫を素材とした例（RQ 1104、1069）においても、周縁部の剥離痕は一定摩耗しており、打ち欠き部のみが加工痕である。また、長方形礫の短軸両端に抉り部をもつ石錘（RQ 1030）、ブーメラン形の不定形礫を素材とした石錘（RQ 1060）、剝片の周縁を打ち欠き素材とした石錘（RQ 1124）も存在するが、これらは数例にとどまる形態的な特異である。

なお、擦りきりによる切目をそなえた切目石錘 6 点（RQ 1125 ～ 1130）、連続する敲打痕が抉り部をつくる石錘（RQ 984、997 等）も少数ながら存在する。このような少数例は、長方形の礫を素材としている。また、円礫に溝状の痕跡がめぐる有溝石錘（RQ 939、940）もある。RQ 939 は最大径部位に軟質の石目がめぐる礫を素材としているが、この石目を溝として利用し、石目が途切れた部分には敲打溝を加えた石錘である。同様の石目の利用は、最大の石錘（RQ 889）裏面上端の抉り部にも認められる。RQ 940 は、短軸端部に打ち欠き部を形成し、敲打溝で連接させた石錘である。

頭地下手遺跡の石錘は、少数の特異例が認められるものの大多数は扁平な礫を打ち欠いた礫器であり、その形態と法量､なかでも重さは一定範囲に収まるため、規格化された石器である、と結論する。

3-2-14　垂飾品 他

ここでは、石製垂飾再加工品、十字形石器、円盤形石器、環状石斧について記述する。

石製垂飾再加工品

頭地下手遺跡から石製垂飾の再加工品 1 点が出土した。

RQ 1131 は、長さ 2.2cm、幅 1.6cm の直角三角形の斜辺が弧線となった形態をとる最大厚 0.3cm の石片である。この石片は、鮫歯形の垂飾が欠損し、半裁状態の末端部を含む部分が、欠損後に再加工をうけたもの、と考えている。石片は、わずかに膨らみをもつ表面と平坦な裏面をもち、垂飾の縁辺部であった弧線

部には連続刻目が入れられ、他の直行する 2 辺は表面から力が加わり欠損している。欠損後の表面中央には未貫通の穿孔が施され、破片の短軸方向に 2 条の溝が走り、これに長軸方向の溝 1 条が直交している。溝は幅 0.1cm 程で、短軸方向上辺溝、長軸方向溝、短軸方向下辺溝の順に擦りきられている。さらに、短軸方向上辺溝と長軸方向溝の外側 0.2cm には各 1 条の溝が並行配置されていた痕跡があり、これらが直角をはさむ 2 辺の折りとり溝として用いられて石片がつくられた可能性がある。

十字形石器

十字形石器は、剥片を十字形に打ち欠いた石製品である。十字の結節部には抉り部が形成され、各端部は丸く収まるように打ち欠かれている。結節部ほど厚みがあり、末端部に向かい漸移的に薄くなる。

頭地下手遺跡から出土した十字形石器は 5 点である。これらの十字形石器は、十字形の大型（RQ 1132、1133、1134）、末端部が縮退した小型（RQ 1135、1136）に大別される。その各末端部は、いずれも、刃部は形成されておらず、打ち欠きによる製作時の剥離痕以外の剥離は認められない。大型、小型とも、片面は平坦であり、他の片面は膨らみをもつ。この現象は厚みをます結節部のみならず、端部にも認められるため、膨らみをもつ面を表面と定義することが可能である。大型になるほど厚みも増すが、小型でも厚さ 1cm 以下になることはない。これは、素材となる石材の特性と剥離技術に起因する現象である。

円盤形石器

円盤形石器は、剥片を円盤形に打ち欠いた石製品である。頭地下手遺跡から出土した円盤形石器は 1 点である。

RQ 1137 は、縁辺部を連続して打ち欠いた直径約 8cm の円形を呈し、最大厚約 2cm で中心部から縁辺部に向かい漸移的に薄くなる。片面は平坦であり、他の片面は膨らみをもつため、膨らみをもつ面を表面と定義することが可能である。縁辺部には、刃部は形成されておらず、表裏から打ち欠かれた製作時の剥離痕以外の剥離は認められない。

なお、頭地下手遺跡の円盤形石器は、十字形石器の大型と小型の中間の法量を示している。

このことは、十字形石器の端部縮退した形態を円盤形石器とすることを否定し、方形と円形を基調とした石製品が各々独立して存在することをあらわしている。十字形石器と円盤形石器は、ともに刃部をもたない石製品であり、同種の石材を用い、同様の剥離方法で加工される等、複数の共通項が認められる。今後、その共伴関係を整理し、方円を統一したセットである可能性を検証することが必要である。

環状石斧

RQ 1138 は、直径 6.1cm、幅 2.3cm、厚さ 0.7cm の環状石斧が半裁状態で欠損した石器片である可能性をもつ出土品である。外周と内周の弧線が概ね平行し、内周壁面に孔壁擦痕に近似した加工痕が認められる。なお、外周の縁端部は丸く収まり、折れ面である弧端部は摩耗し滑らかな曲面が形成されている。重さは約 40g であり、復元重量も 100g に満たない。したがって、利器としての用途は疑わざるを得ない。

3-3　弥生時代の石器

頭地下手遺跡では、弥生時代の石器を 3 点（RQ 1139、1140、1141）確認した。

3-3-1　石鏃

RQ 1139 は、磨製石鏃である。乳白色泥岩の剥片を用い、平面形が五角形を呈する凹基無茎鏃である。基部最下端に最大幅があり、緩やかな弧線により凹部は形成されている。鏃身は、縦方向 3 面に研ぎわけられ、両側辺から幅 4mm までの範囲は刃部、を形成する斜面となっている。

3-3-2　砥石

RQ 1140 は、石灰岩を素材とした方柱状の砥石である。幅 1cm の研ぎ面が四方柱の 3 面を占めている。両端部は折れ面であるが､磨耗により丸くなっている。手持ち仕上砥石である。

RQ 1141 は、砥石である。砂岩を素材とした厚さ 1.5cm の板砥石で、折損部以外のすべての面が砥ぎ面

として用いられている。主面が凹部を形成している他はすべて平坦で、側面に最も緻密な研ぎ面がそなわることから、鉄器用の中砥石である、と考えている。

3-4　石器（RQ）実測図

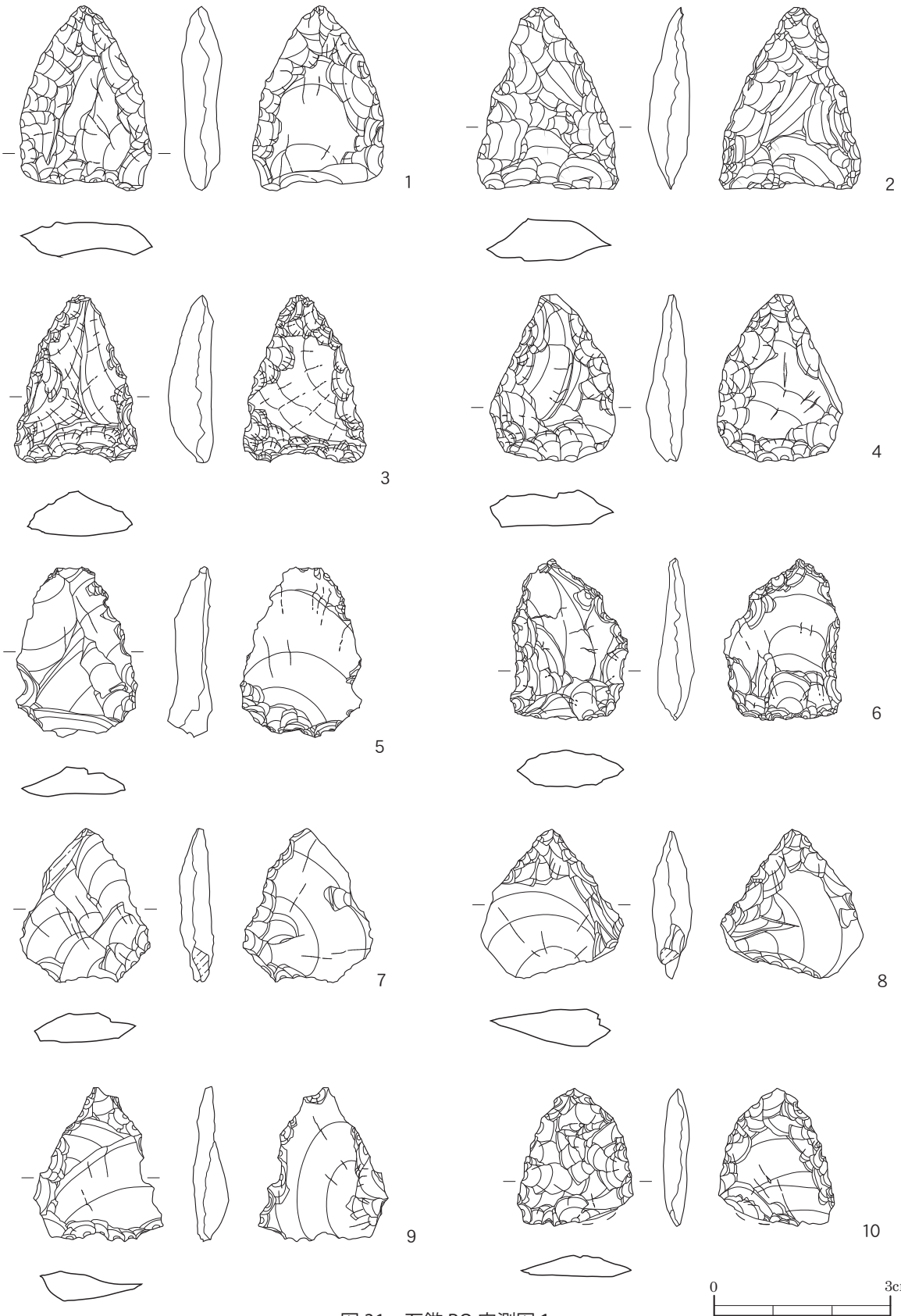


図 31　石鏃 RQ 実測図 1

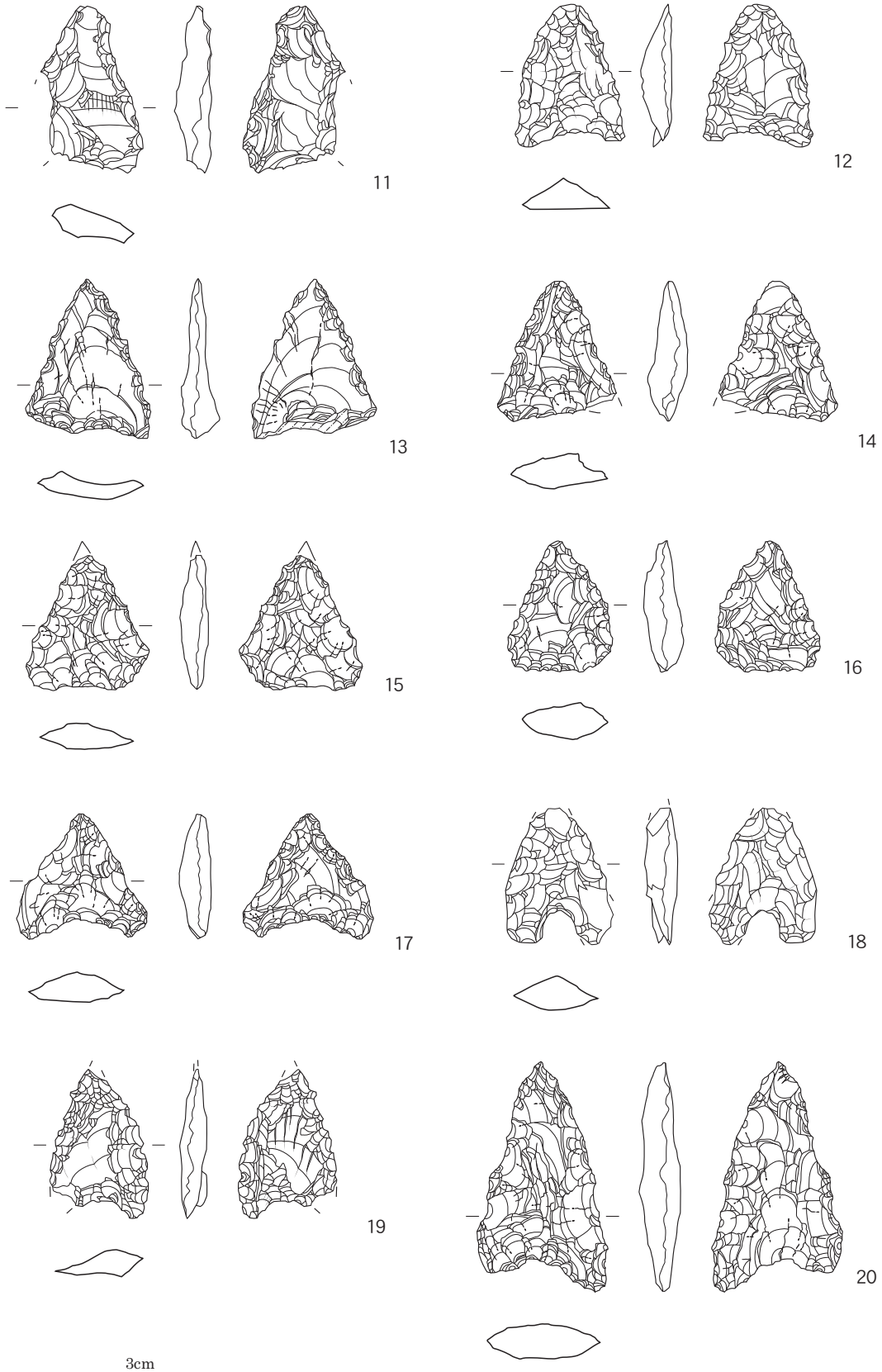


図 32　石鏃 RQ 実測図 2

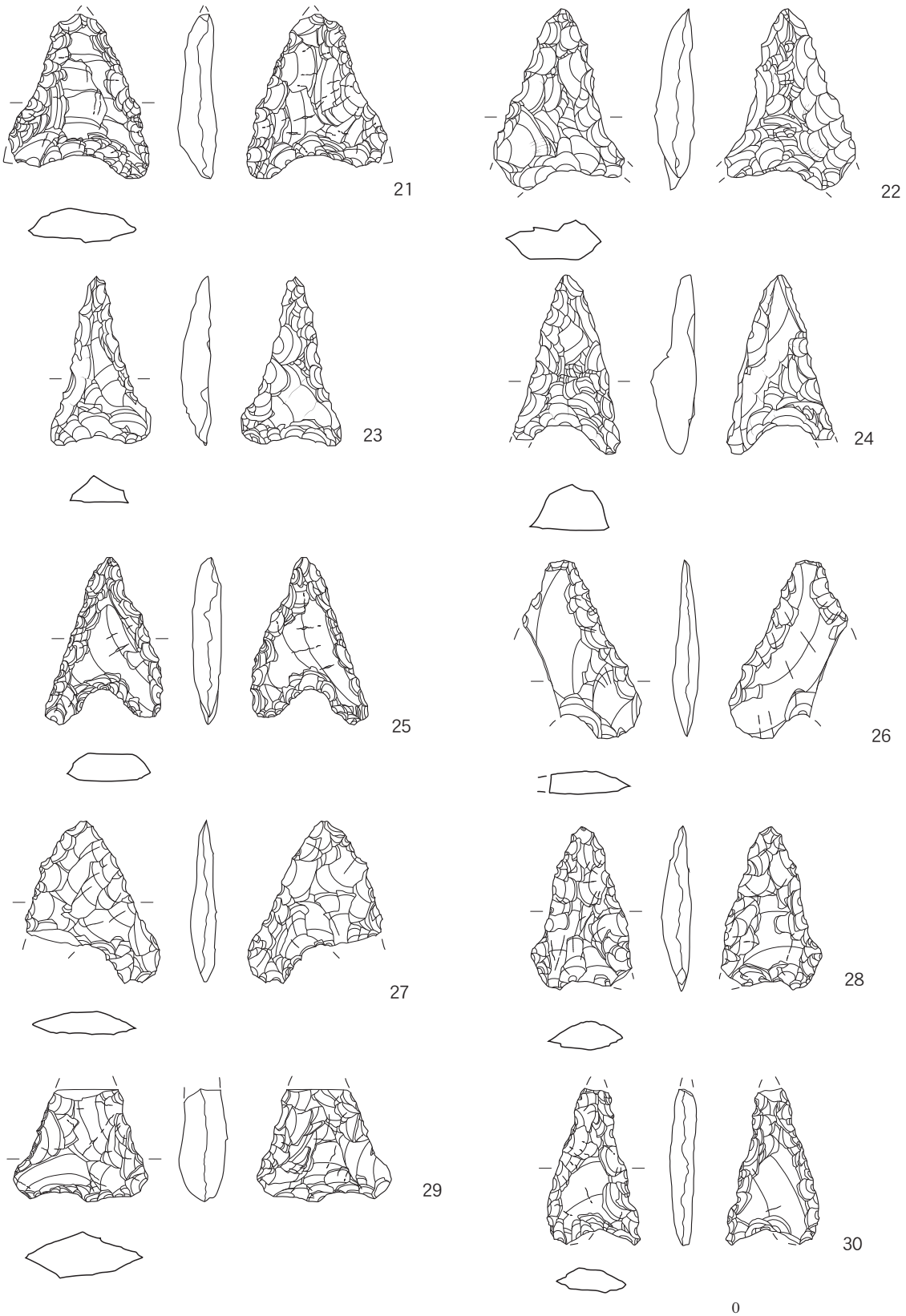


図 33　石鏃 RQ 実測図 3

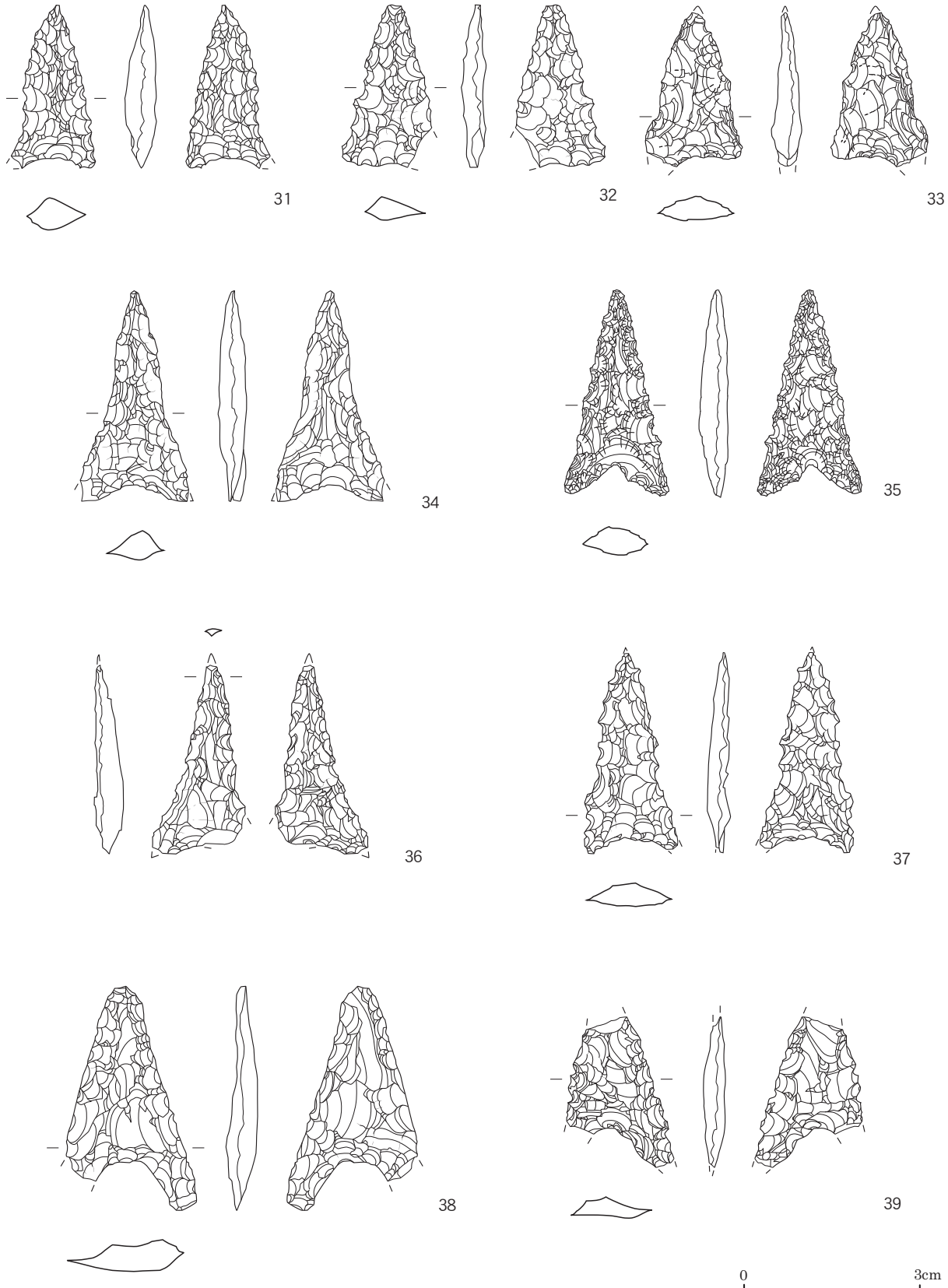


図 34　石鏃 RQ 実測図 4

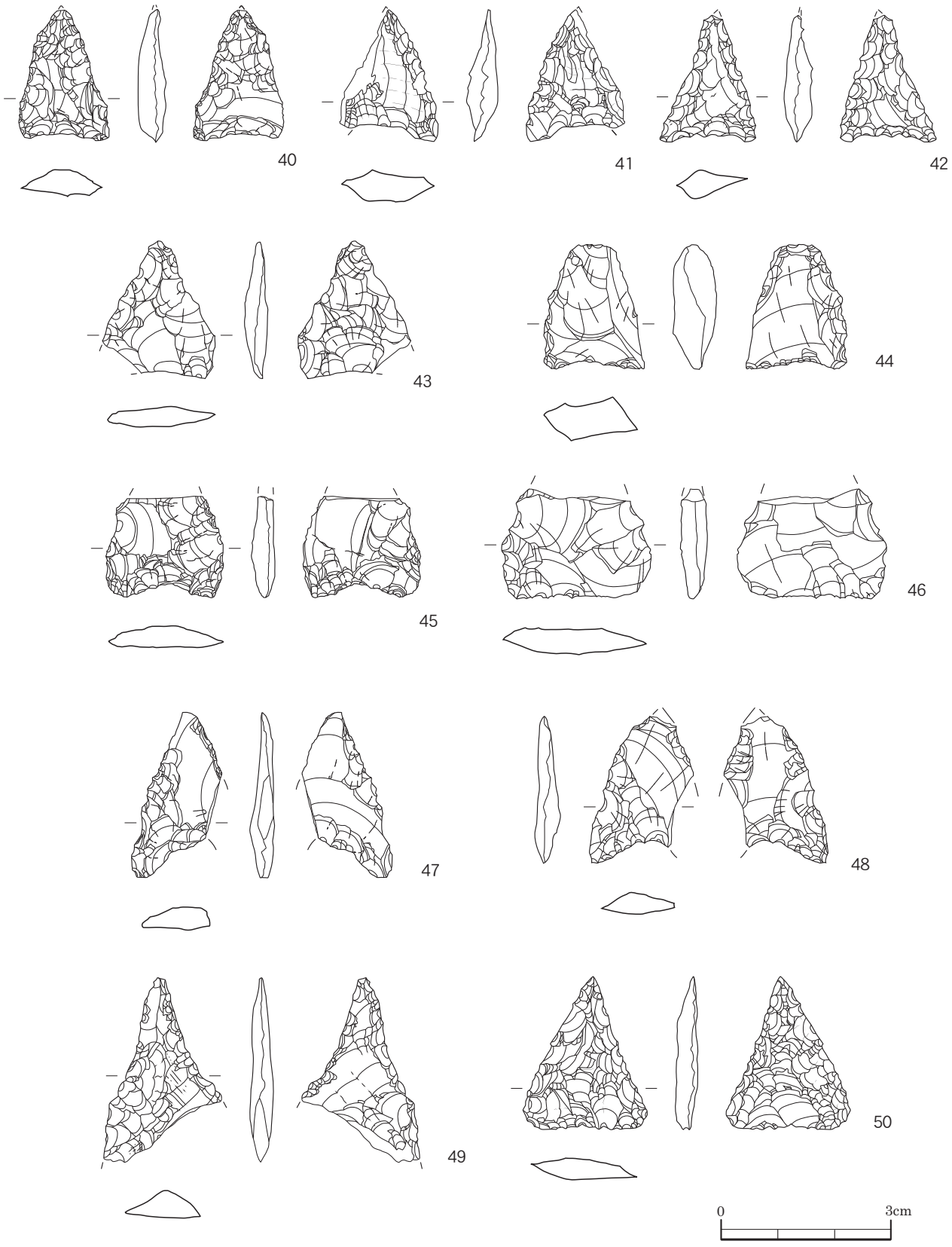


図 35　石鏃 RQ 実測図 5

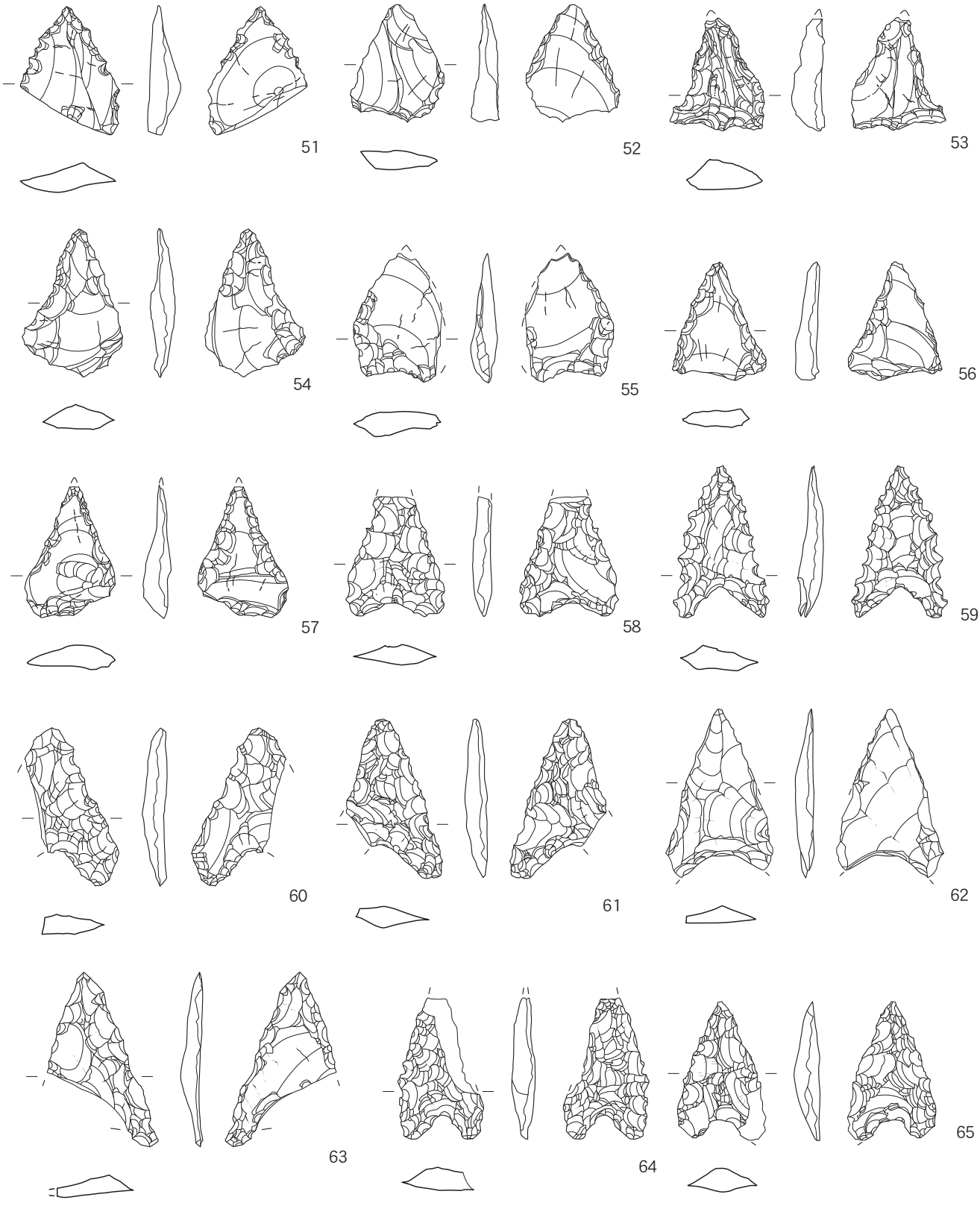


図 36　石鏃 RQ 実測図 6

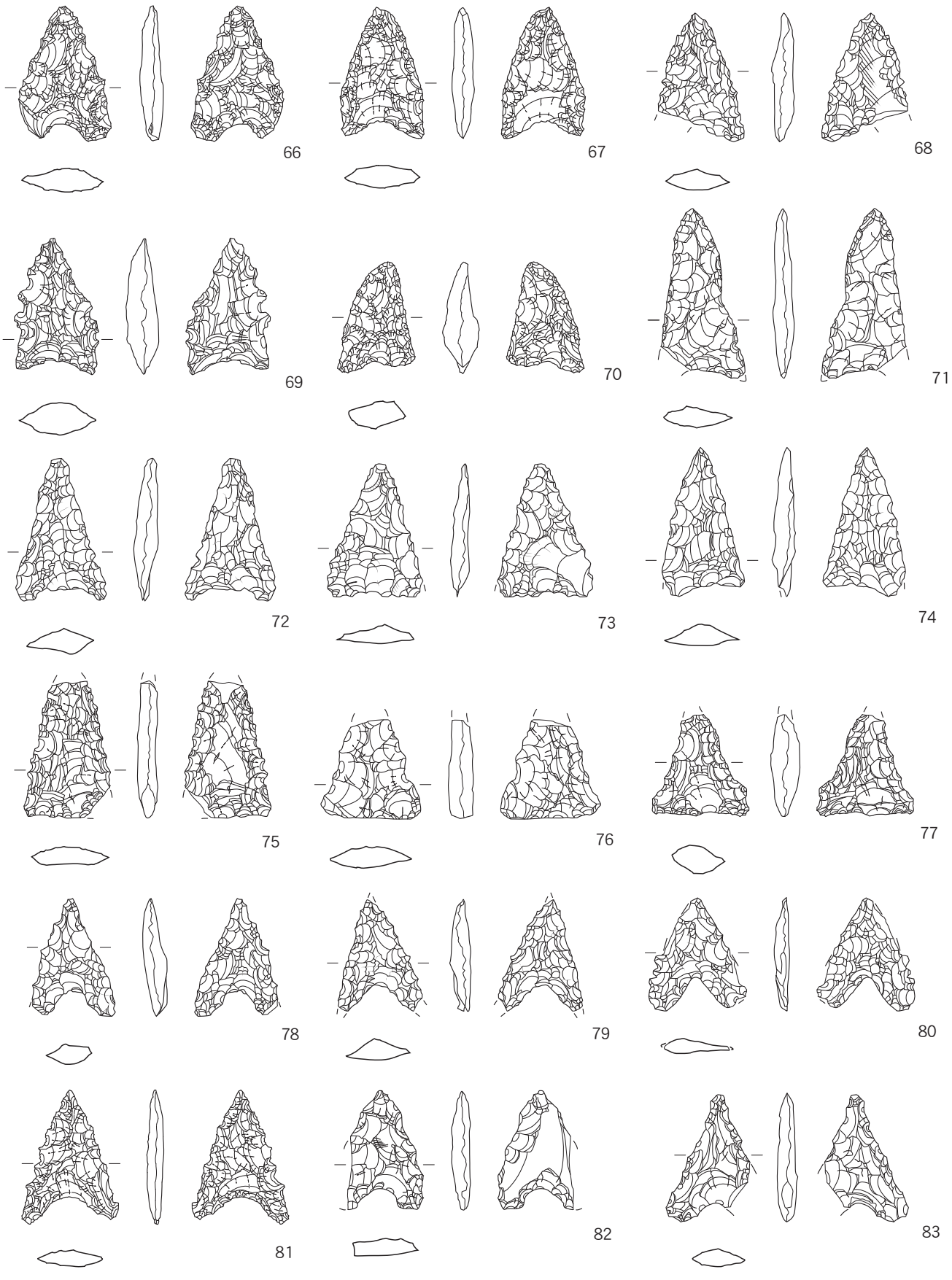


図 37　石鏃 RQ 実測図 7

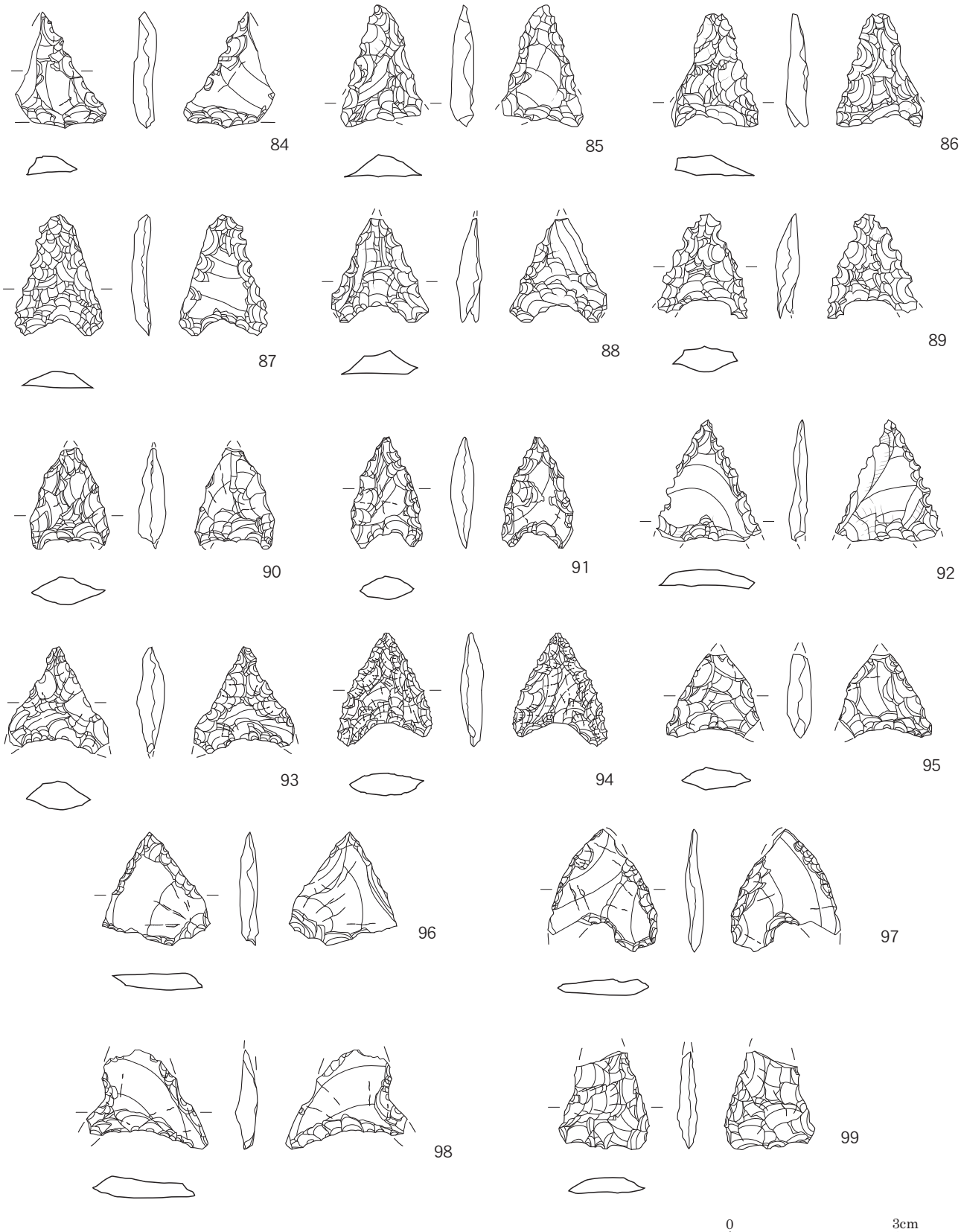


図 38　石鏃 RQ 実測図 8

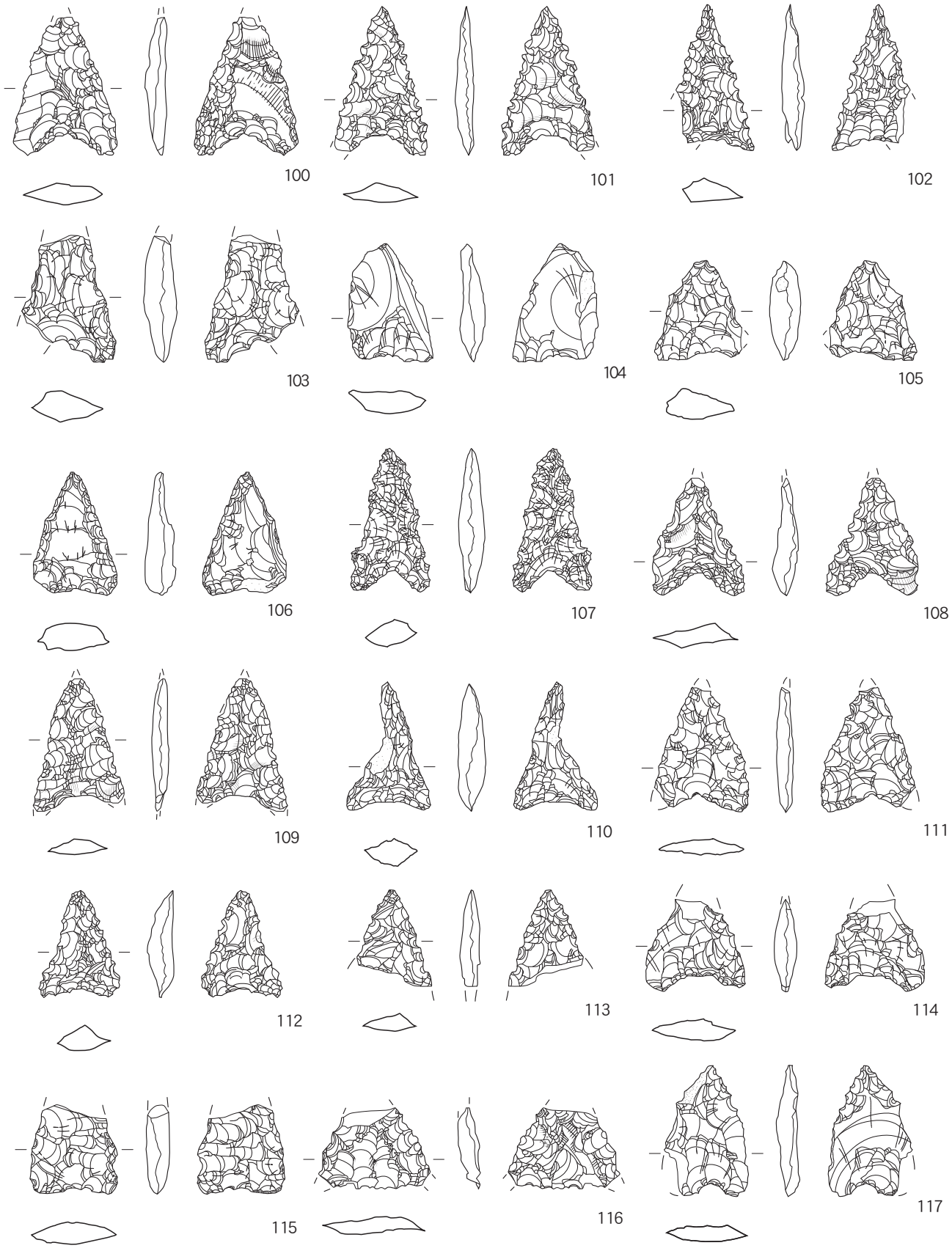


図 39　石鏃 RQ 実測図 9

0　3cm

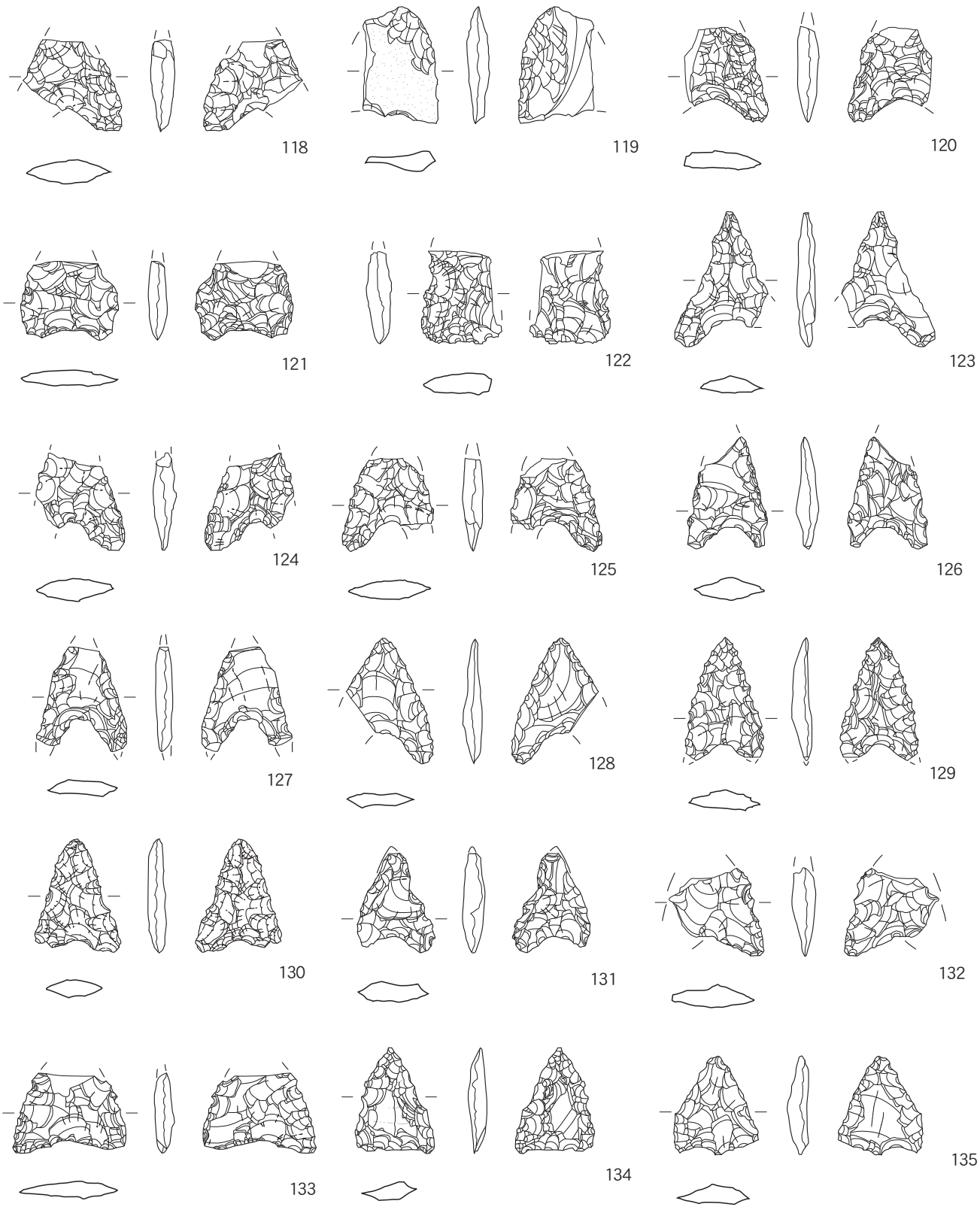


図 40　石鏃 RQ 実測図 10

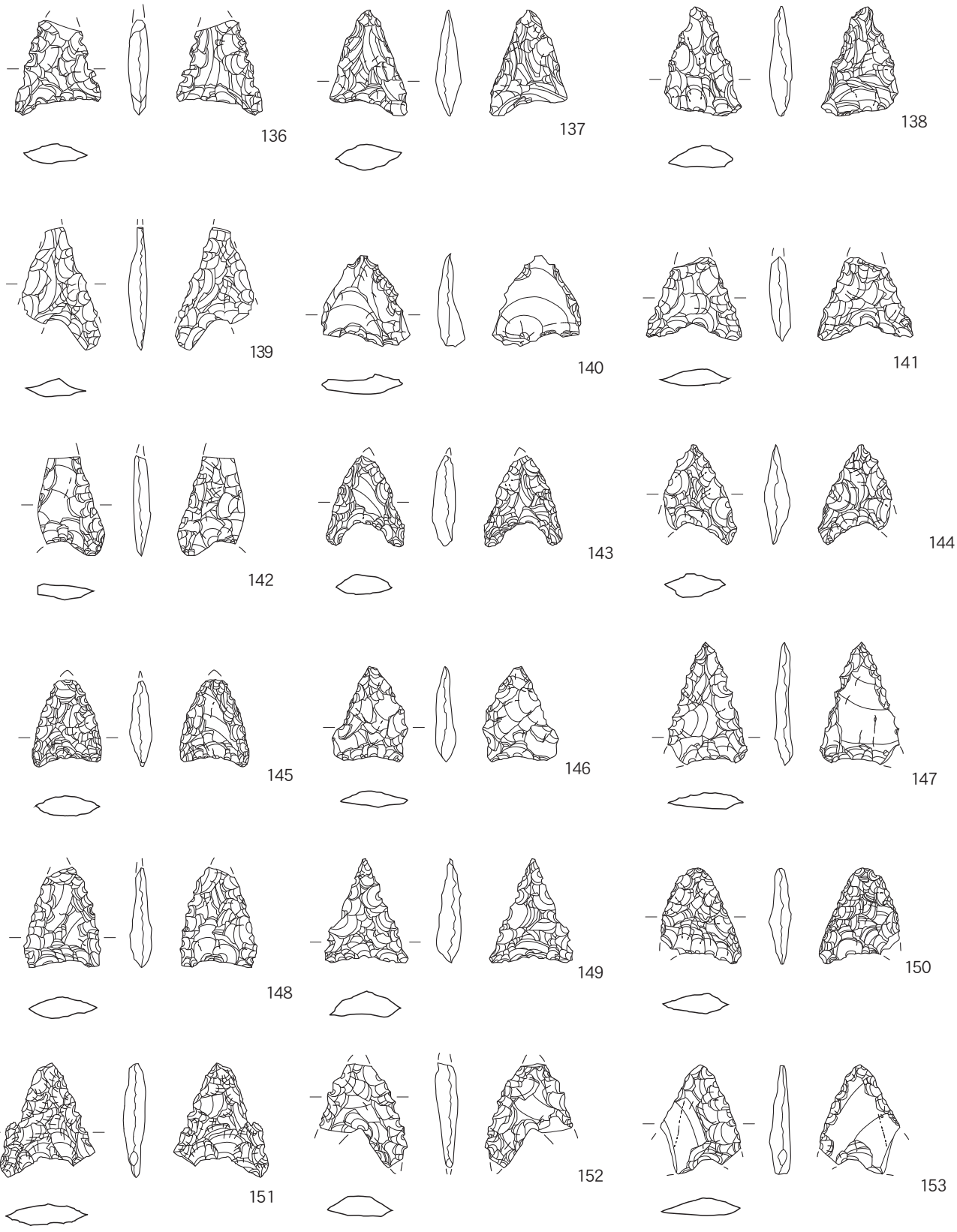


図 41　石鏃 RQ 実測図 11

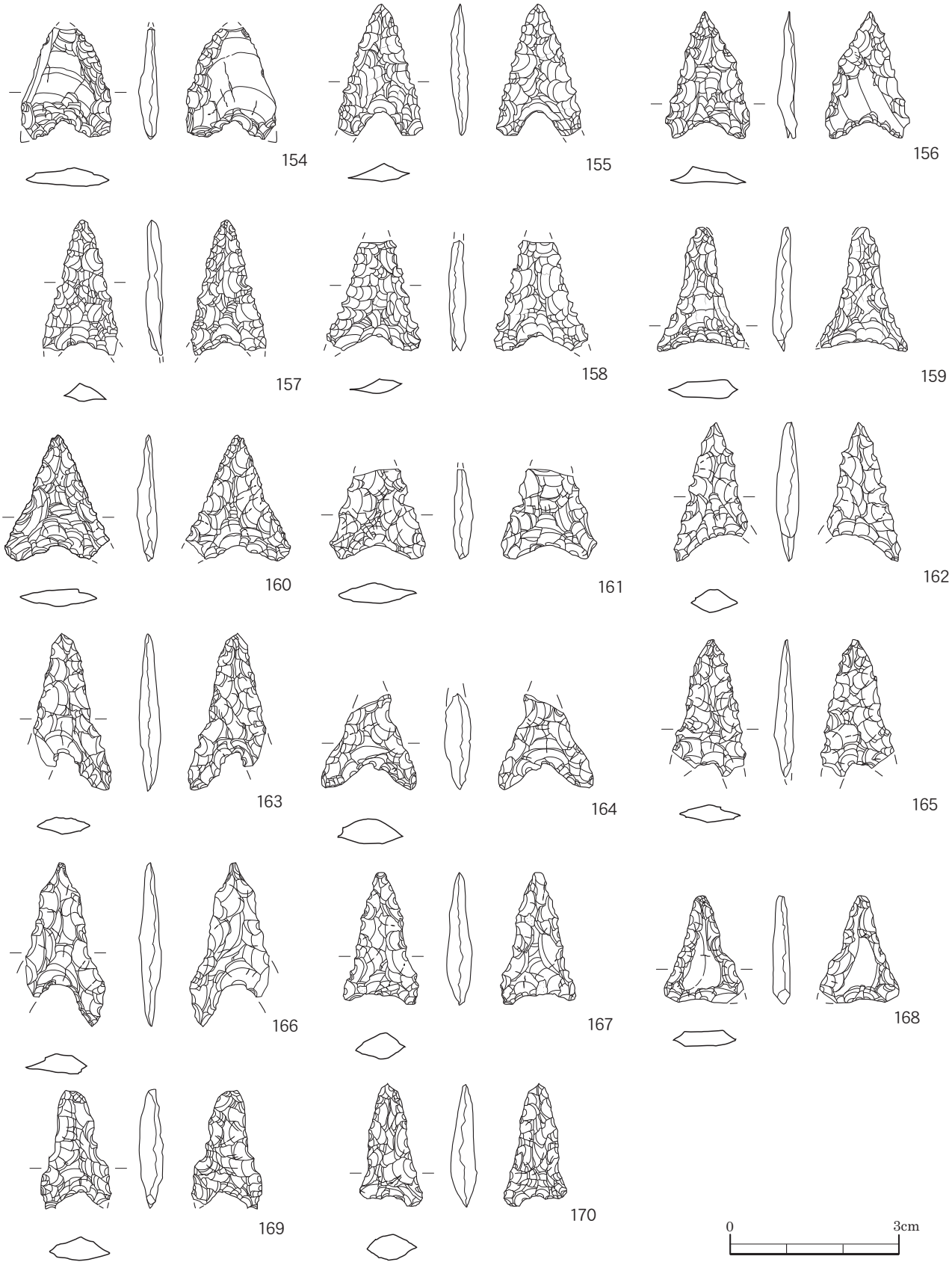


図 42　石鏃 RQ 実測図 12

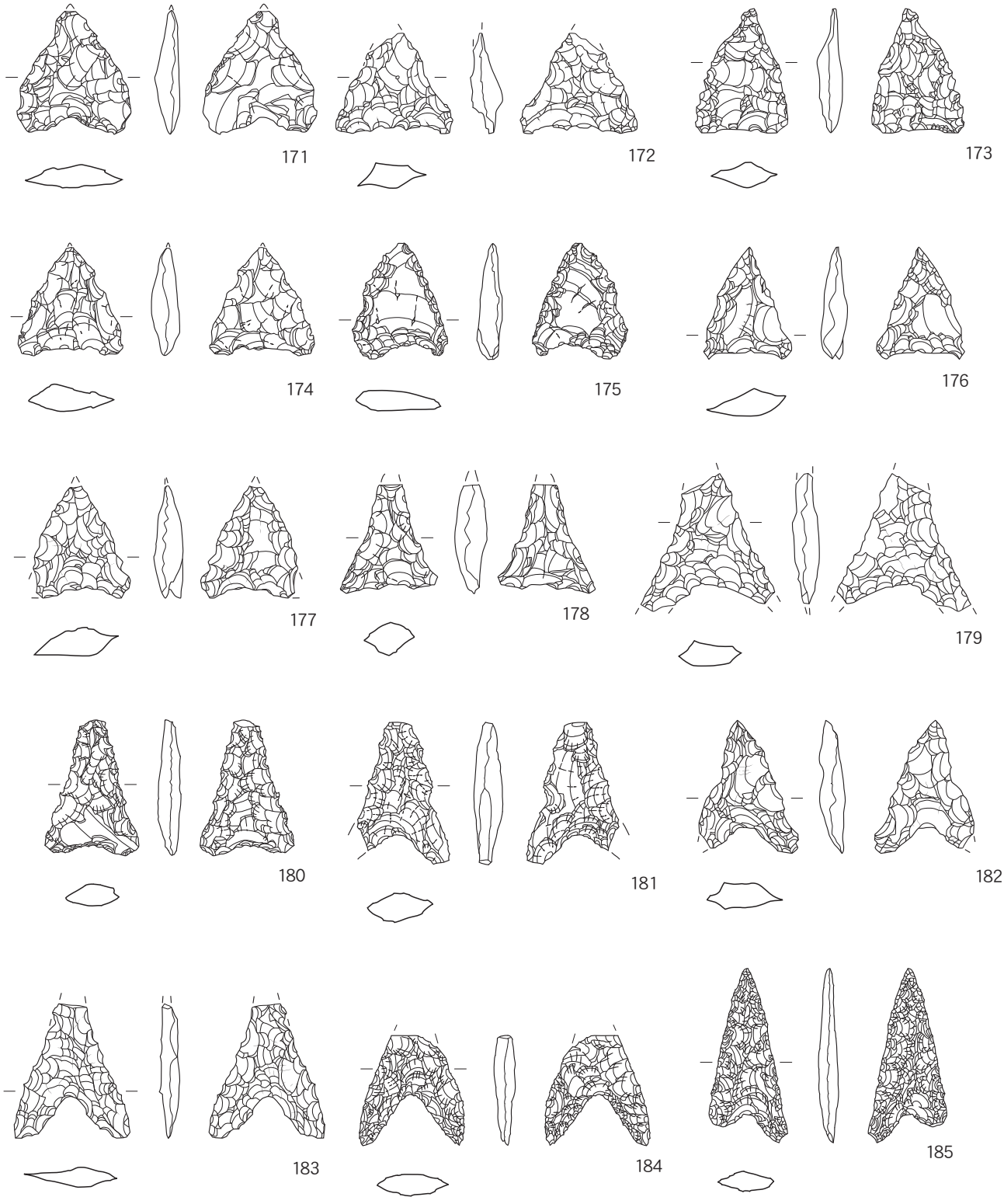


図 43　石鏃 RQ 実測図 13

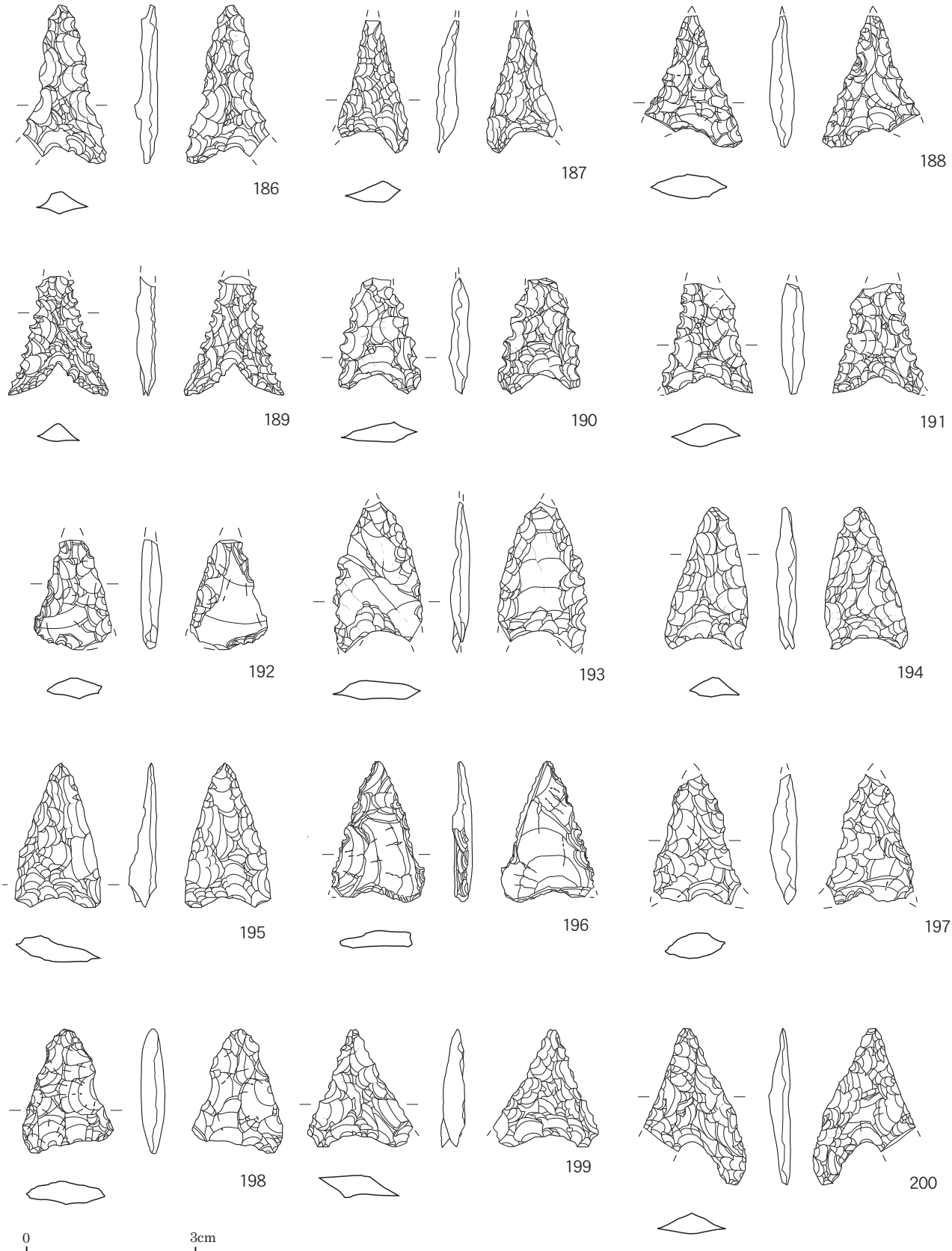


図 44　石鏃 RQ 実測図 14

図 45　石鏃 RQ 実測図 15

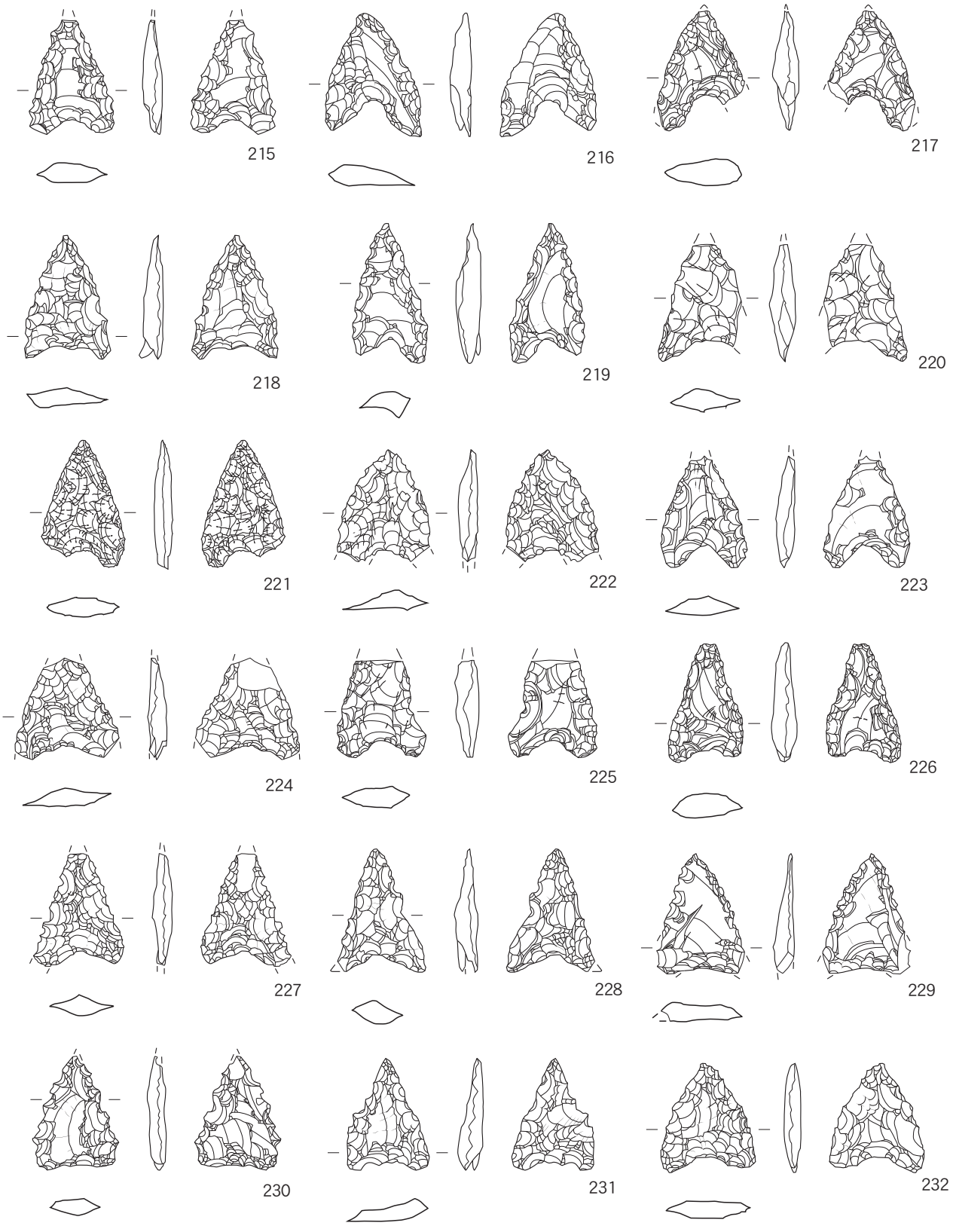


図 46　石鏃 RQ 実測図 16

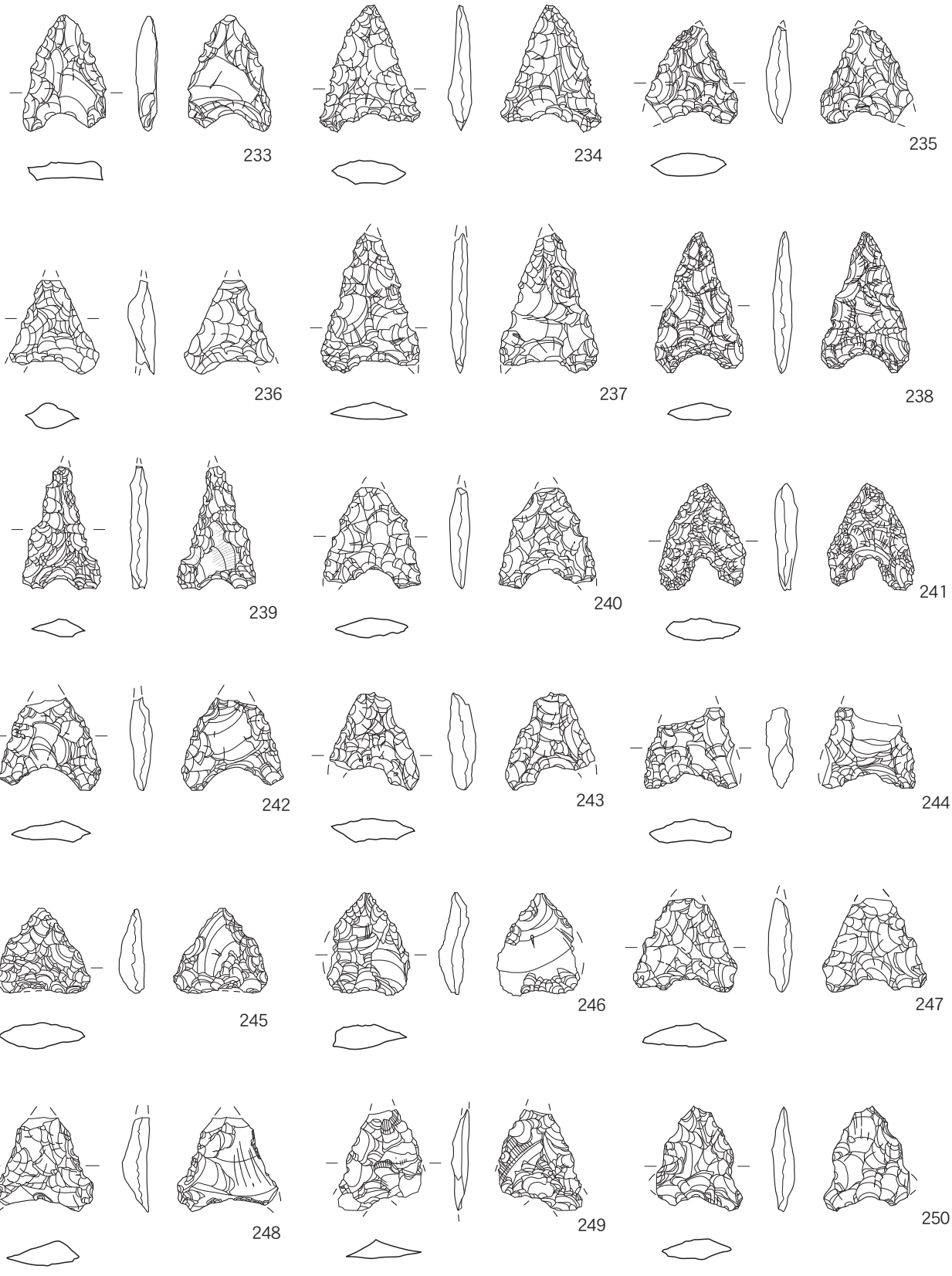


図 47　石鏃 RQ 実測図 17

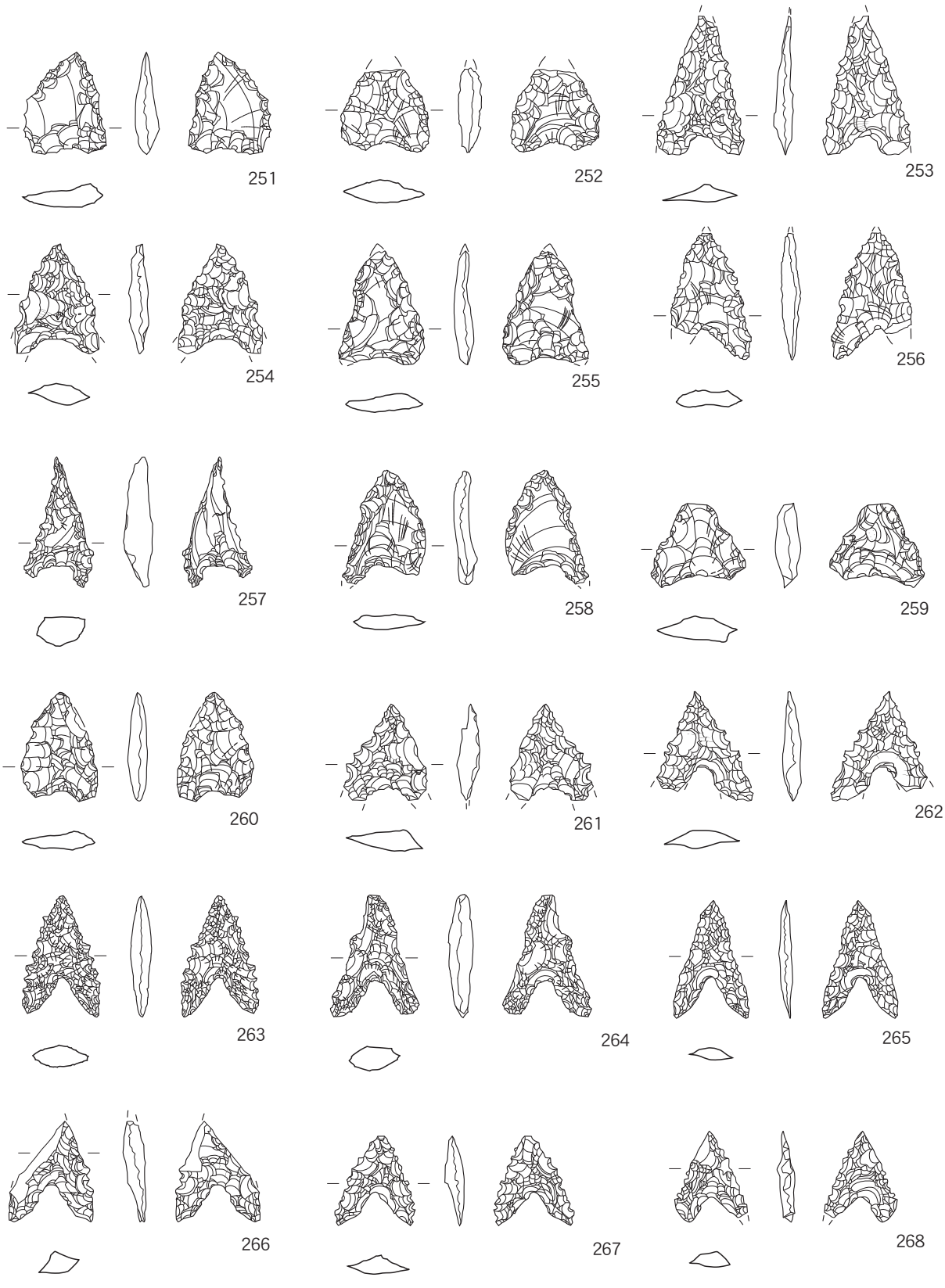


図 48　石鏃 RQ 実測図 18

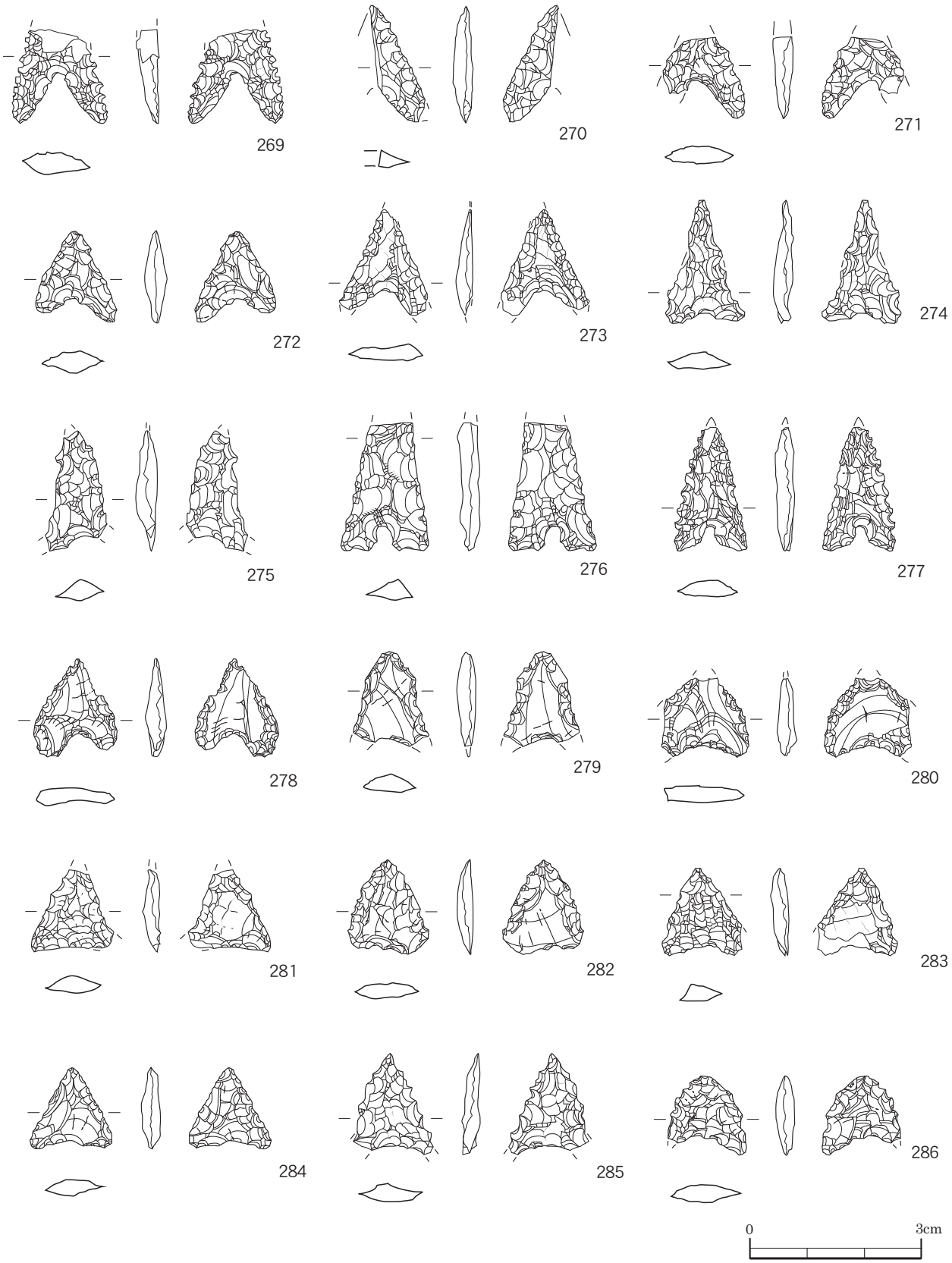


図 49　石鏃 RQ 実測図 19

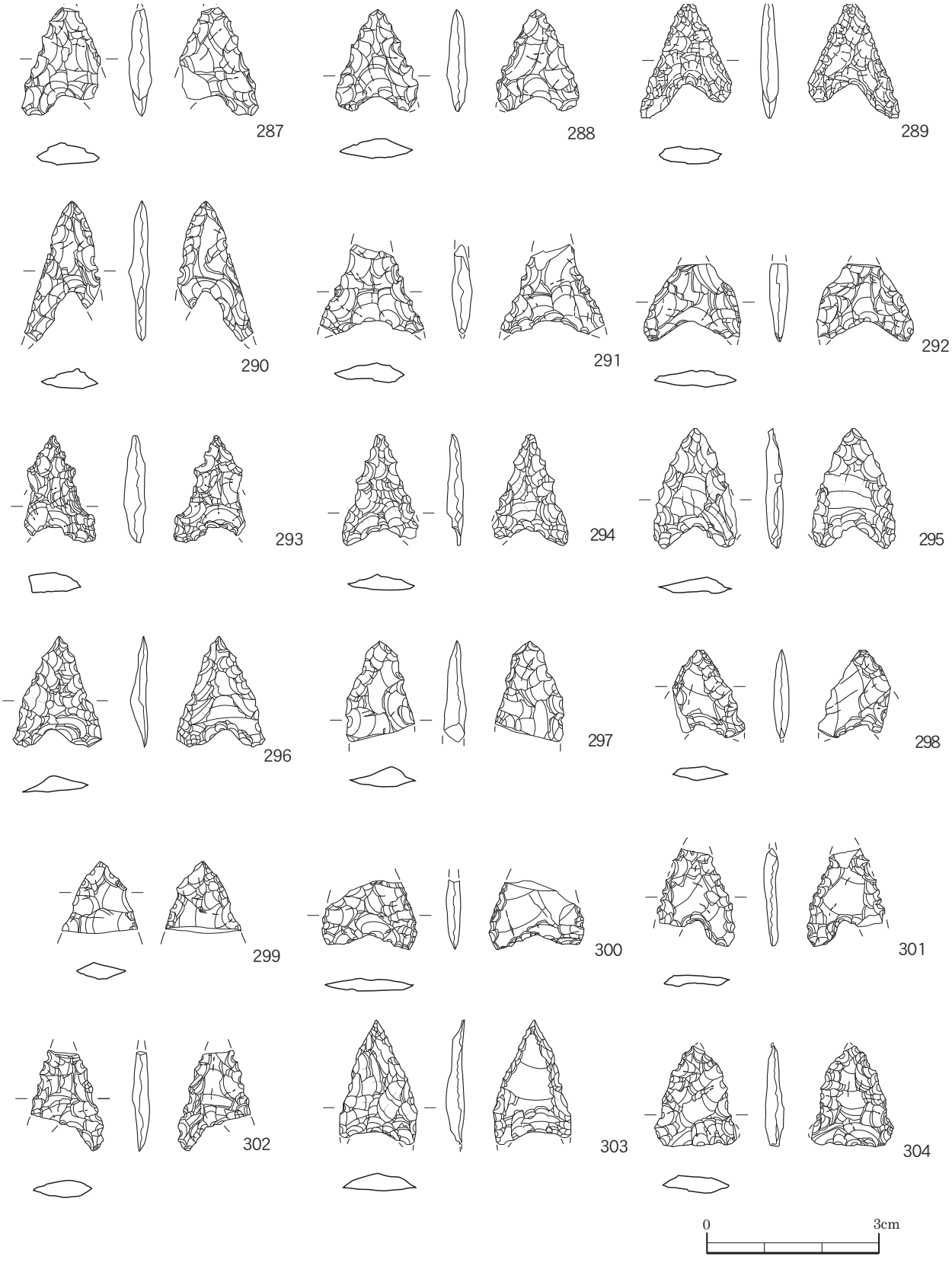


図 50　石鏃 RQ 実測図 20

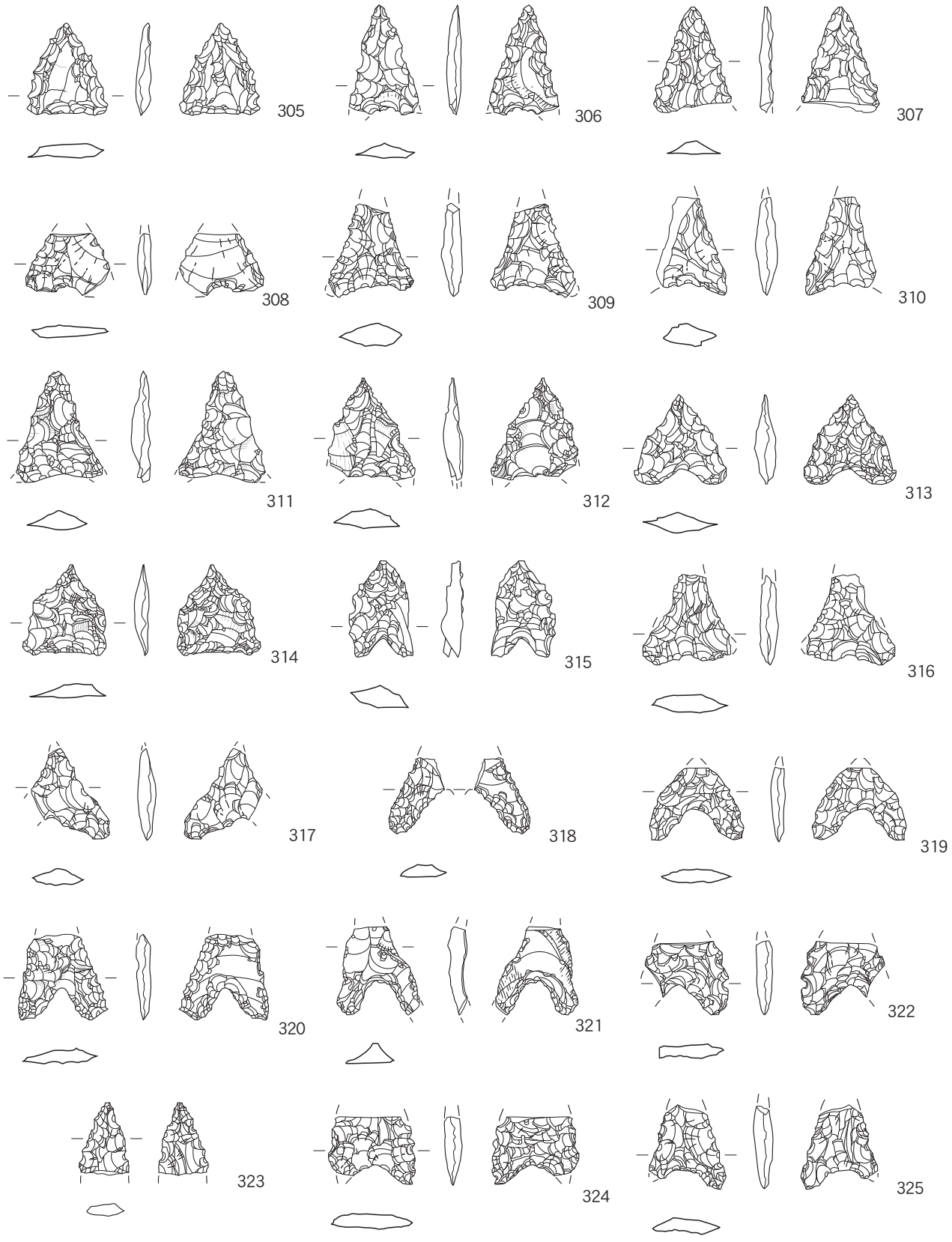


図 51　石鏃 RQ 実測図 21

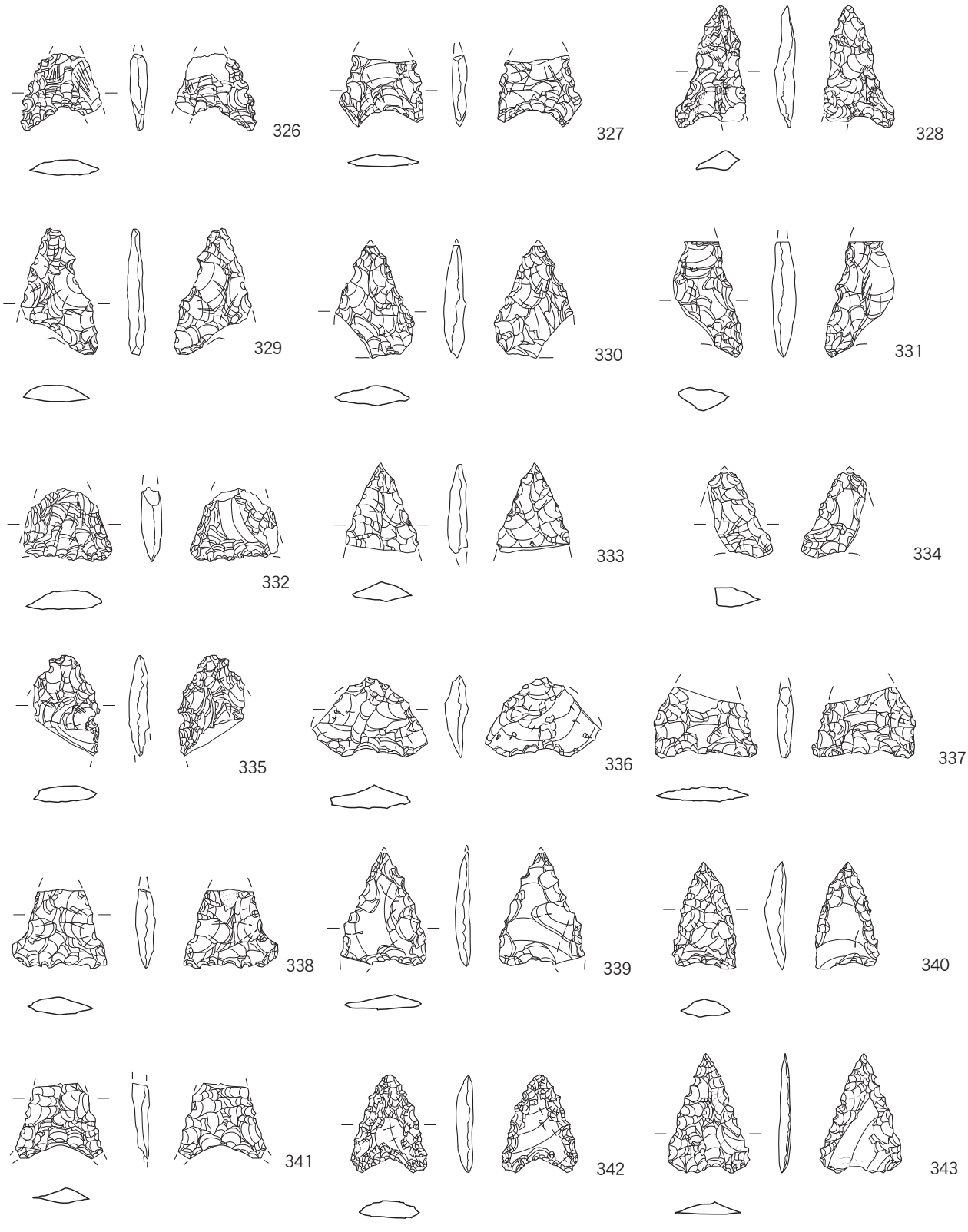


図 52　石鏃 RQ 実測図 22

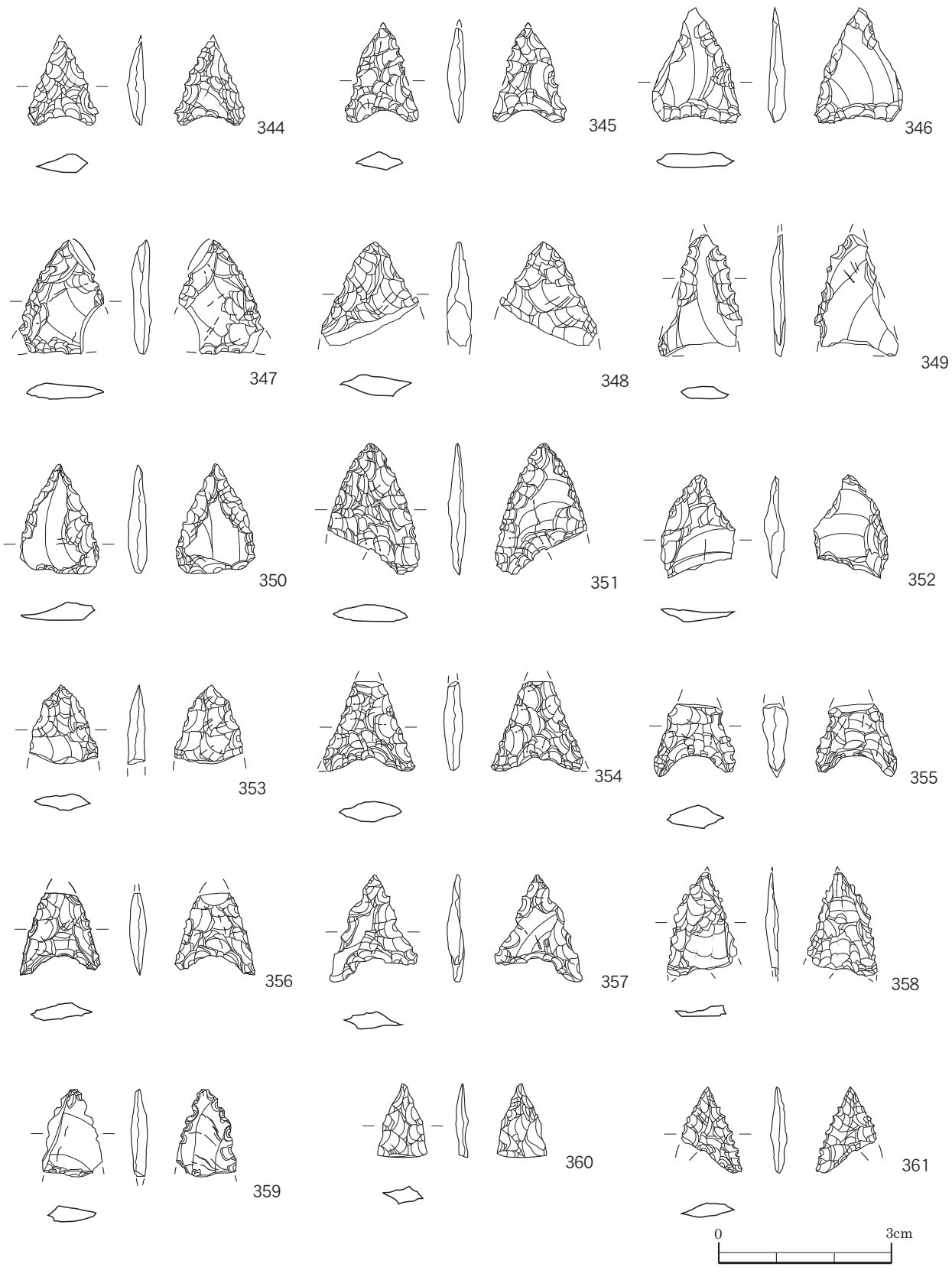


図 53　石鏃 RQ 実測図 23

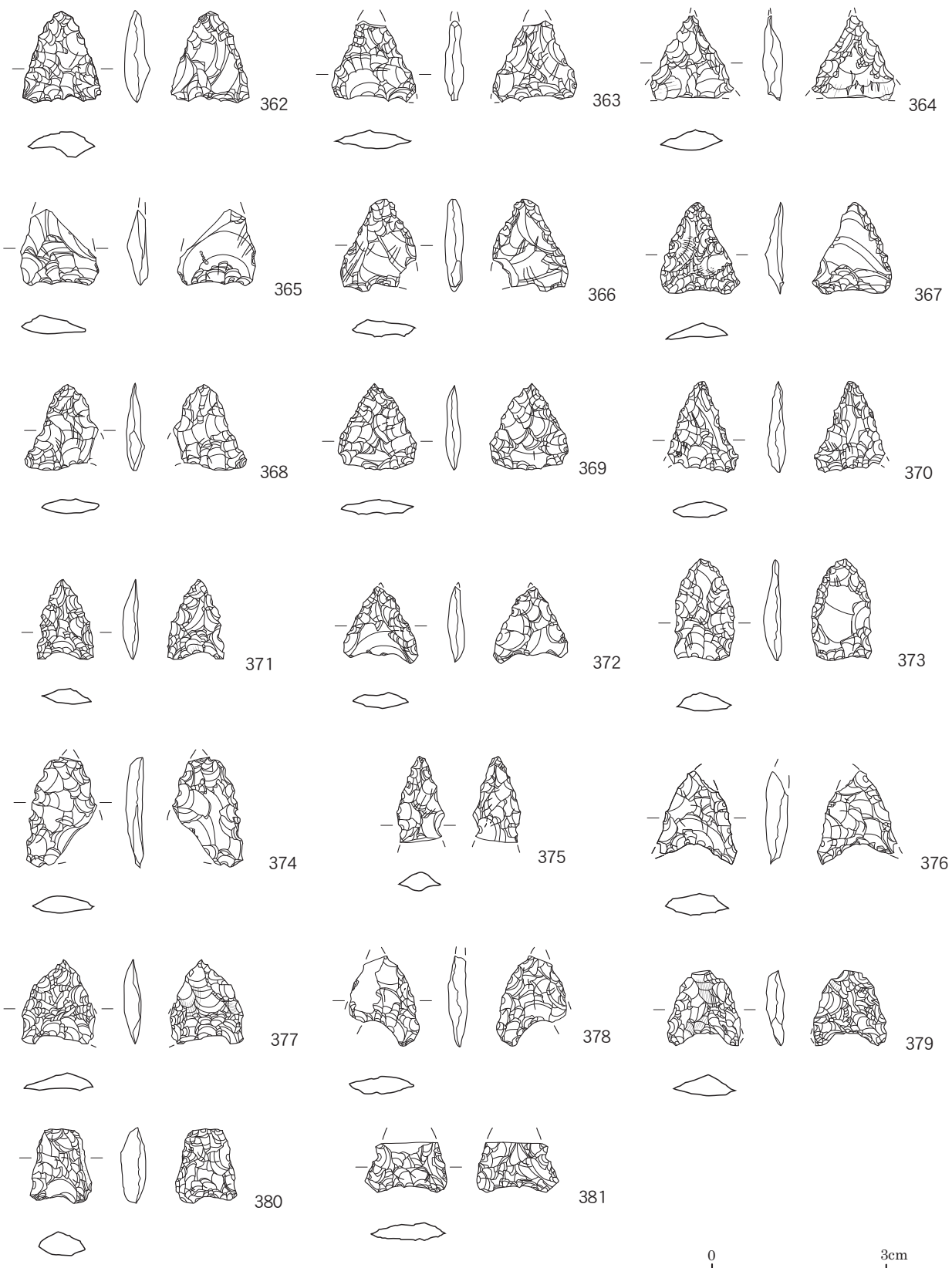


図 54　石鏃 RQ 実測図 24

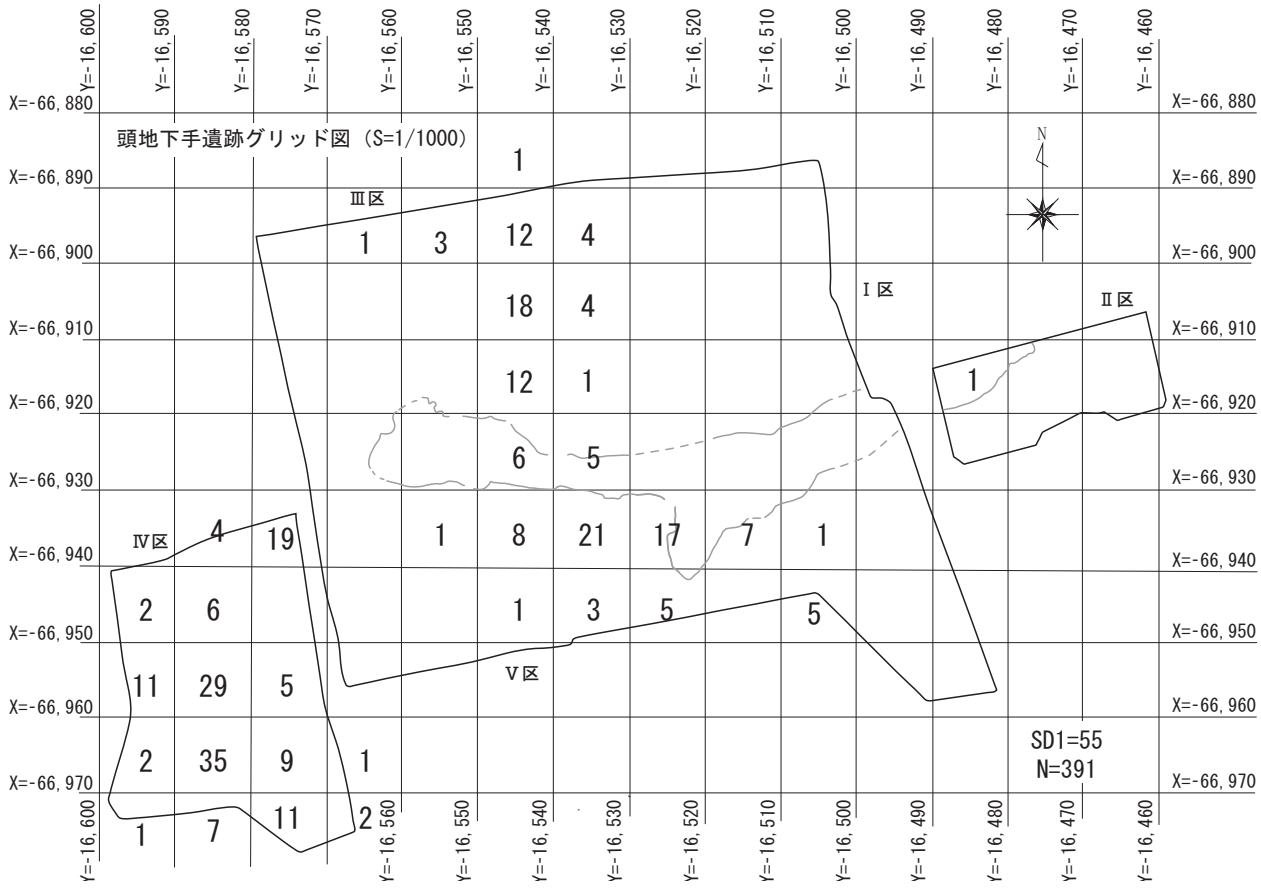


図 55　石鏃分布図

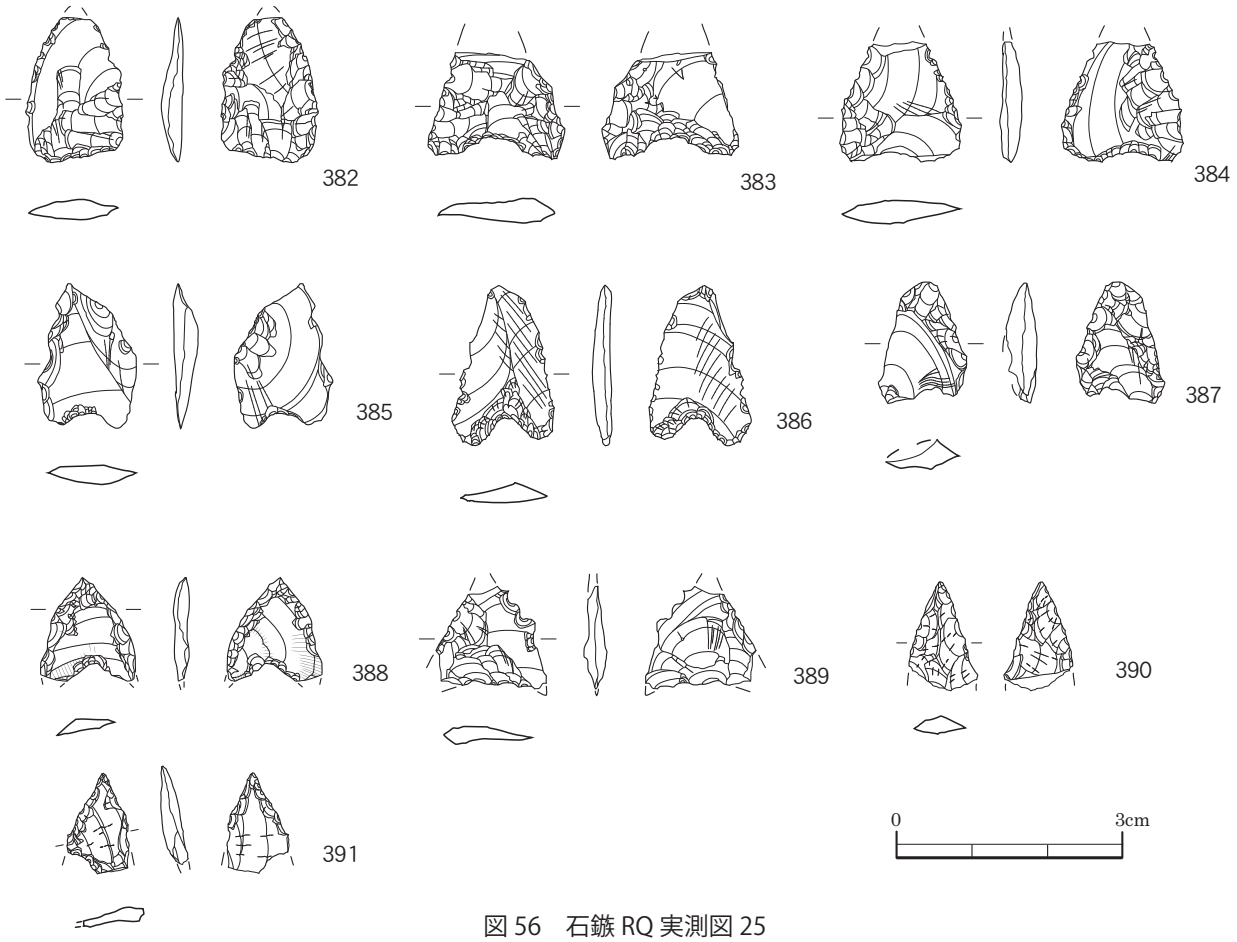


図 56　石鏃 RQ 実測図 25

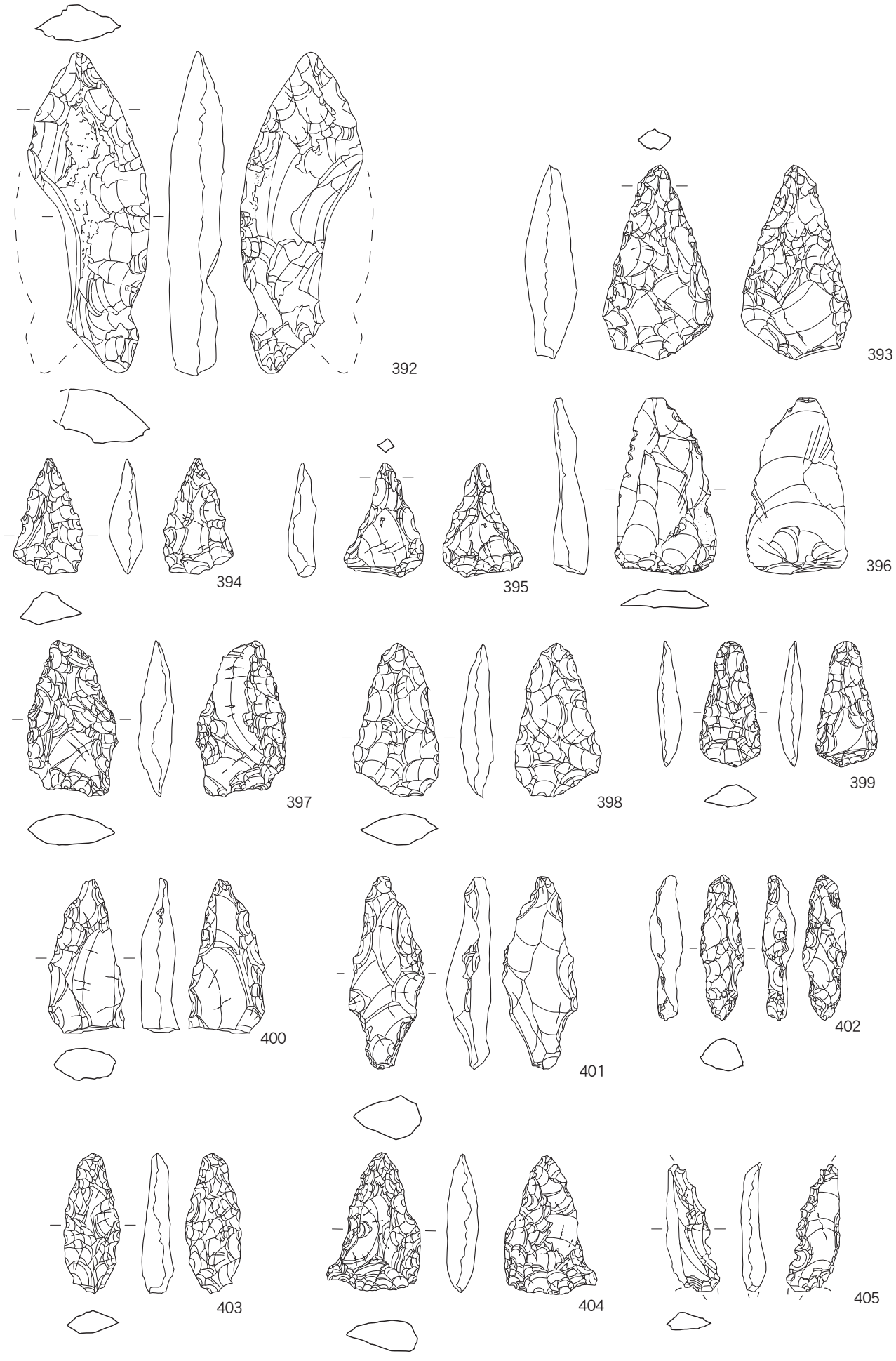


図 57　尖頭器 RQ 実測図

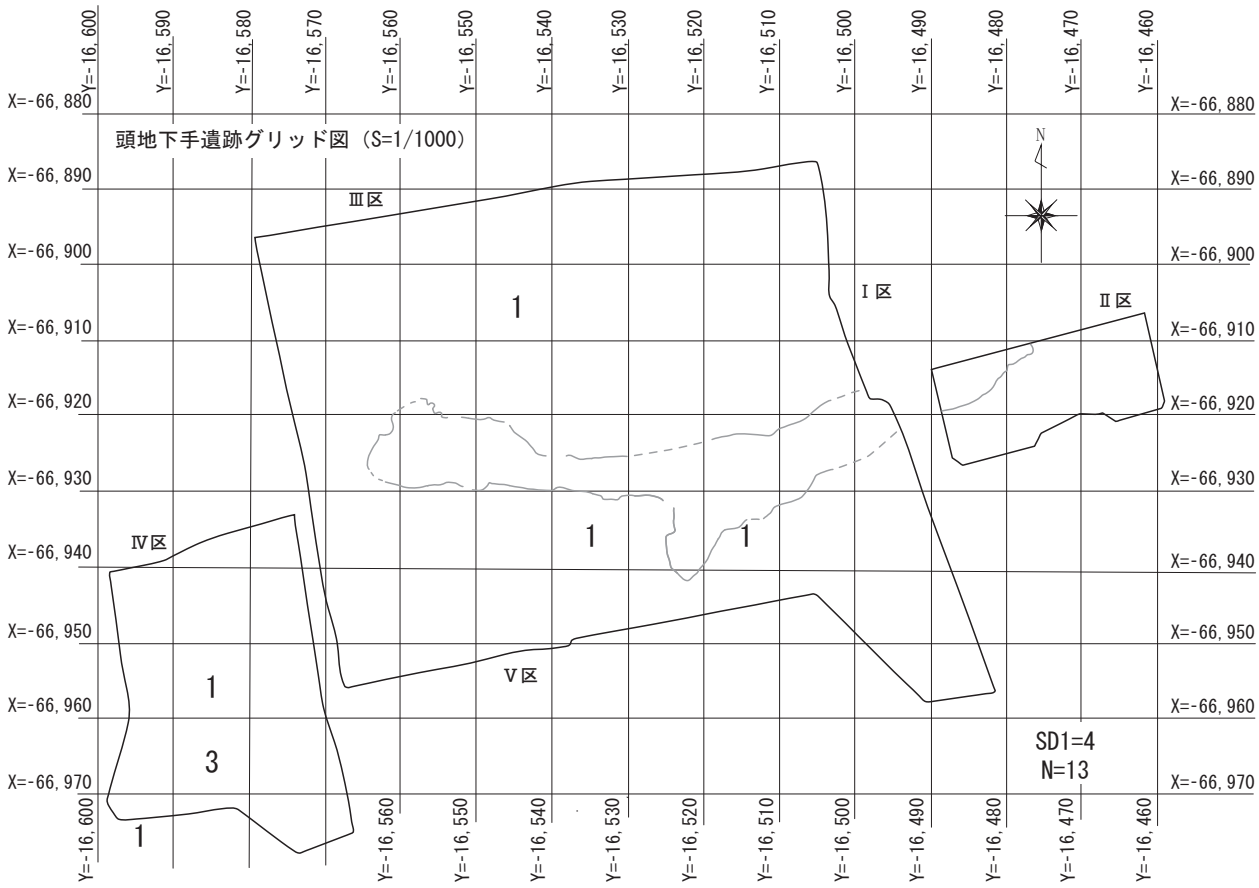


図 58　尖頭器分布図

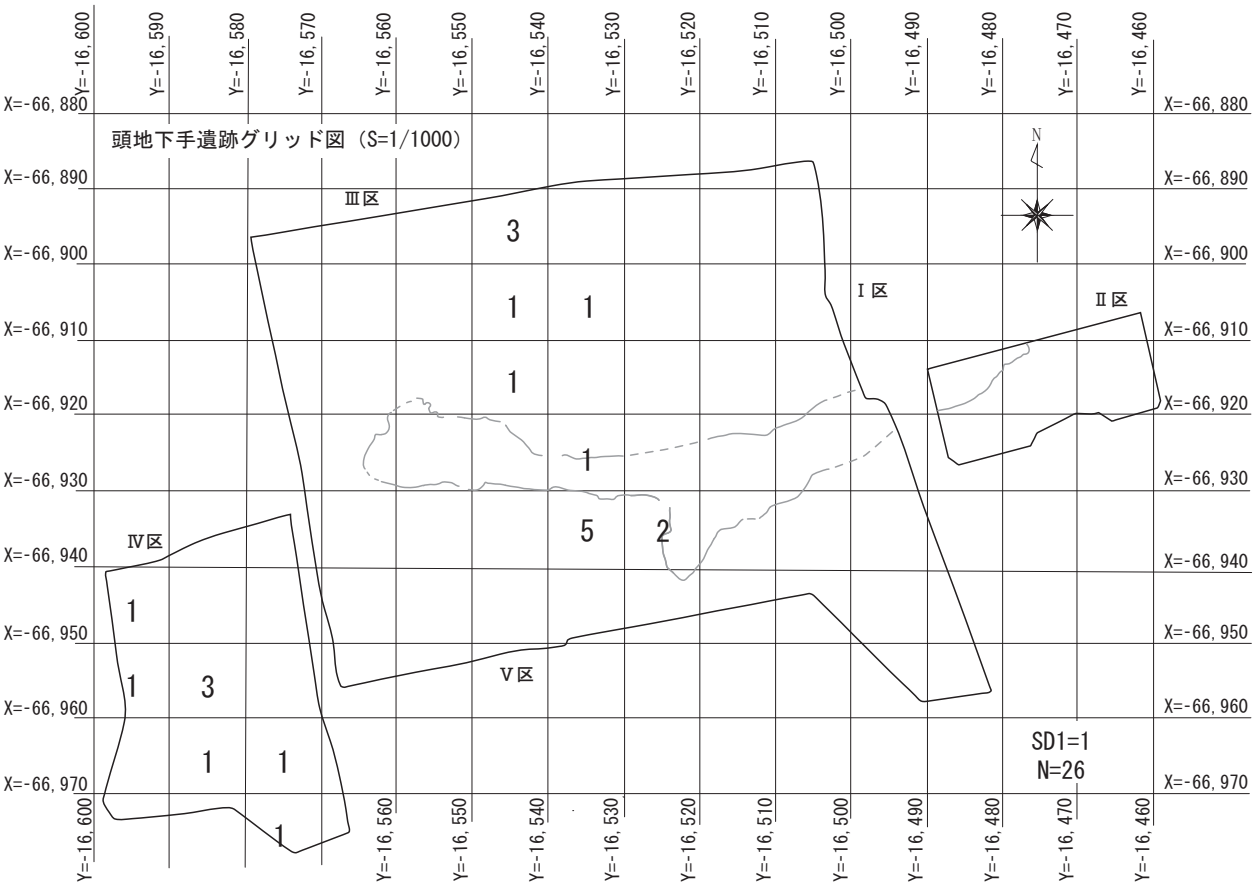


図 59　石錐分布図

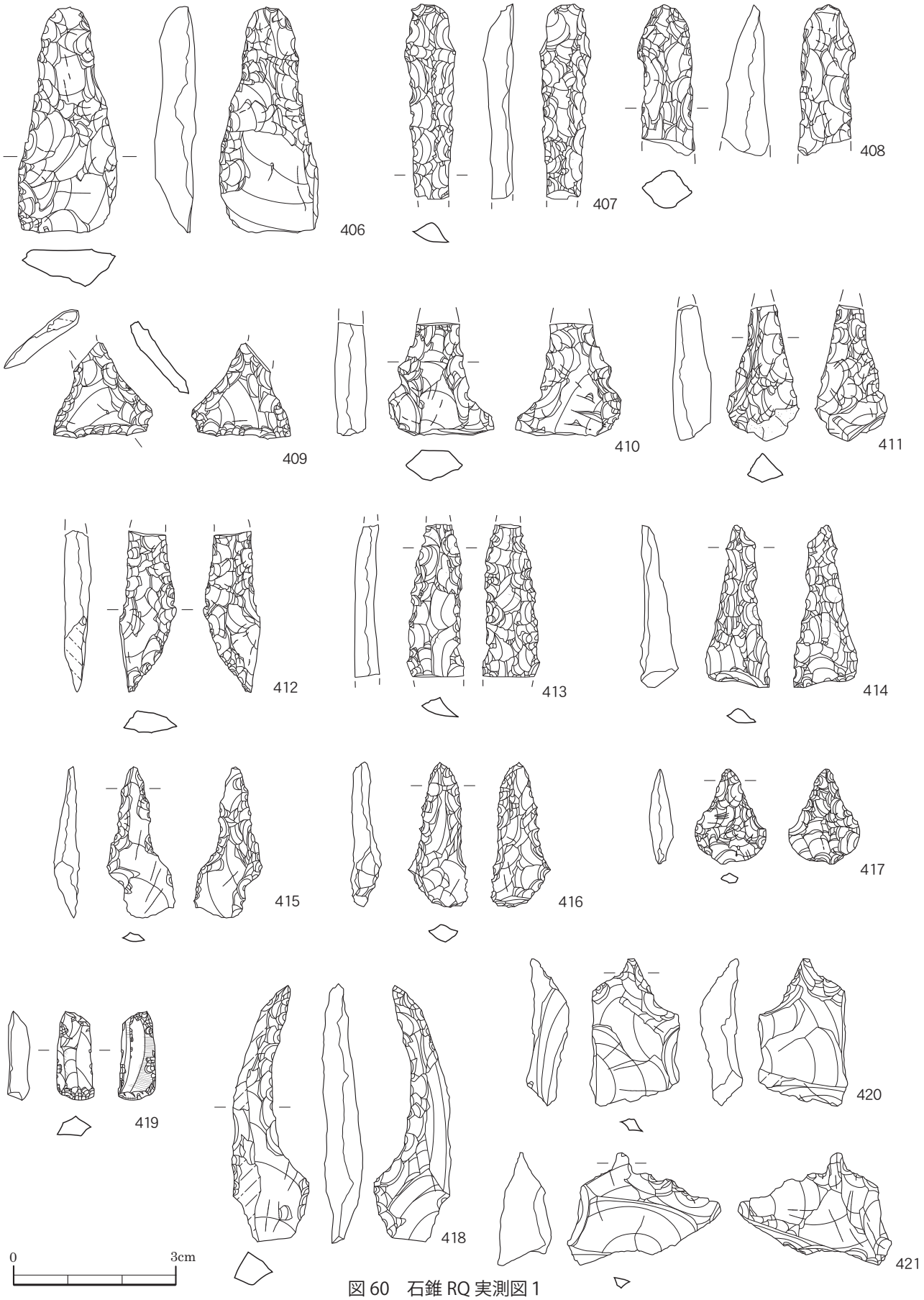


図 60　石錐 RQ 実測図 1

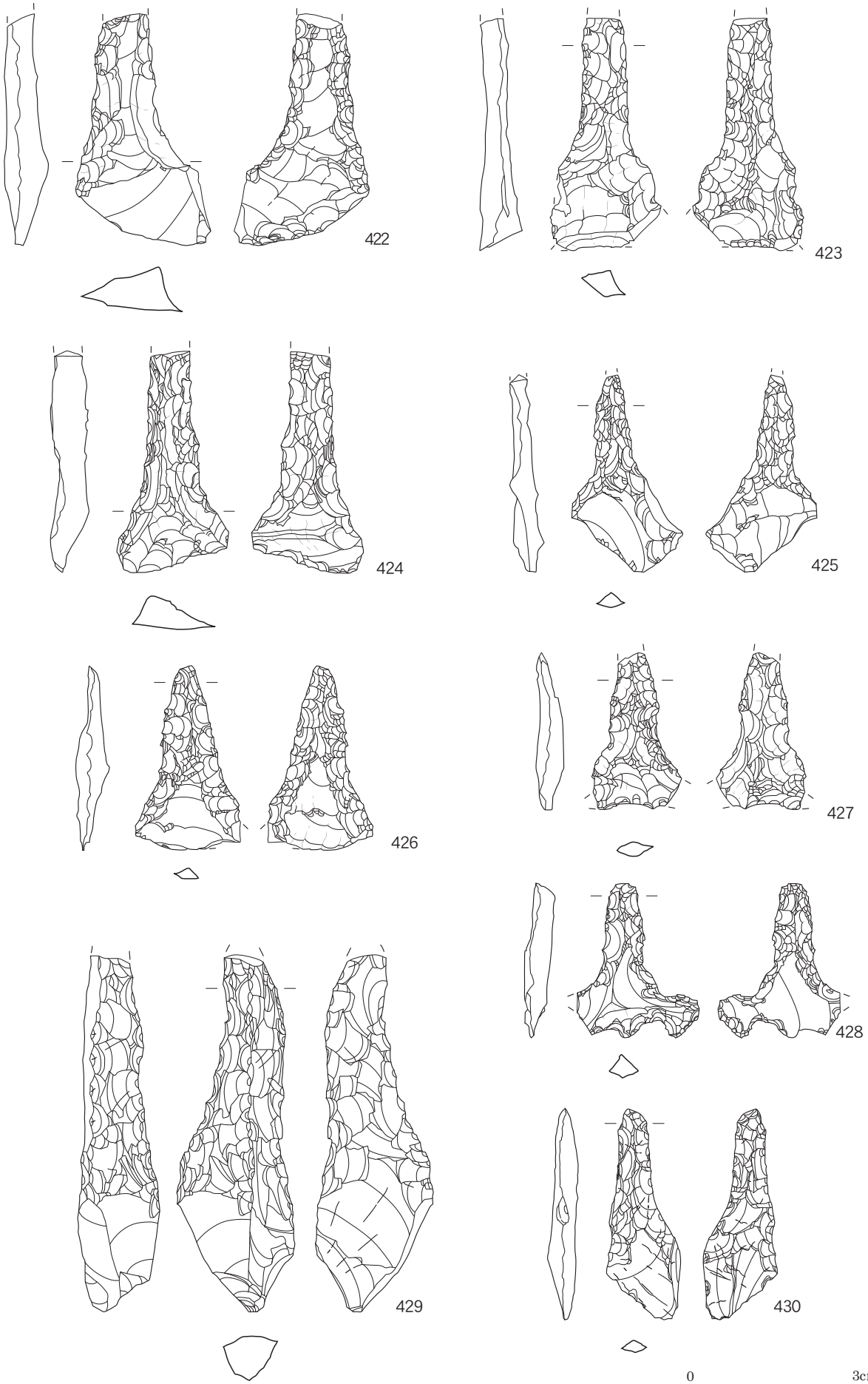


図 61　石錐 RQ 実測図 2

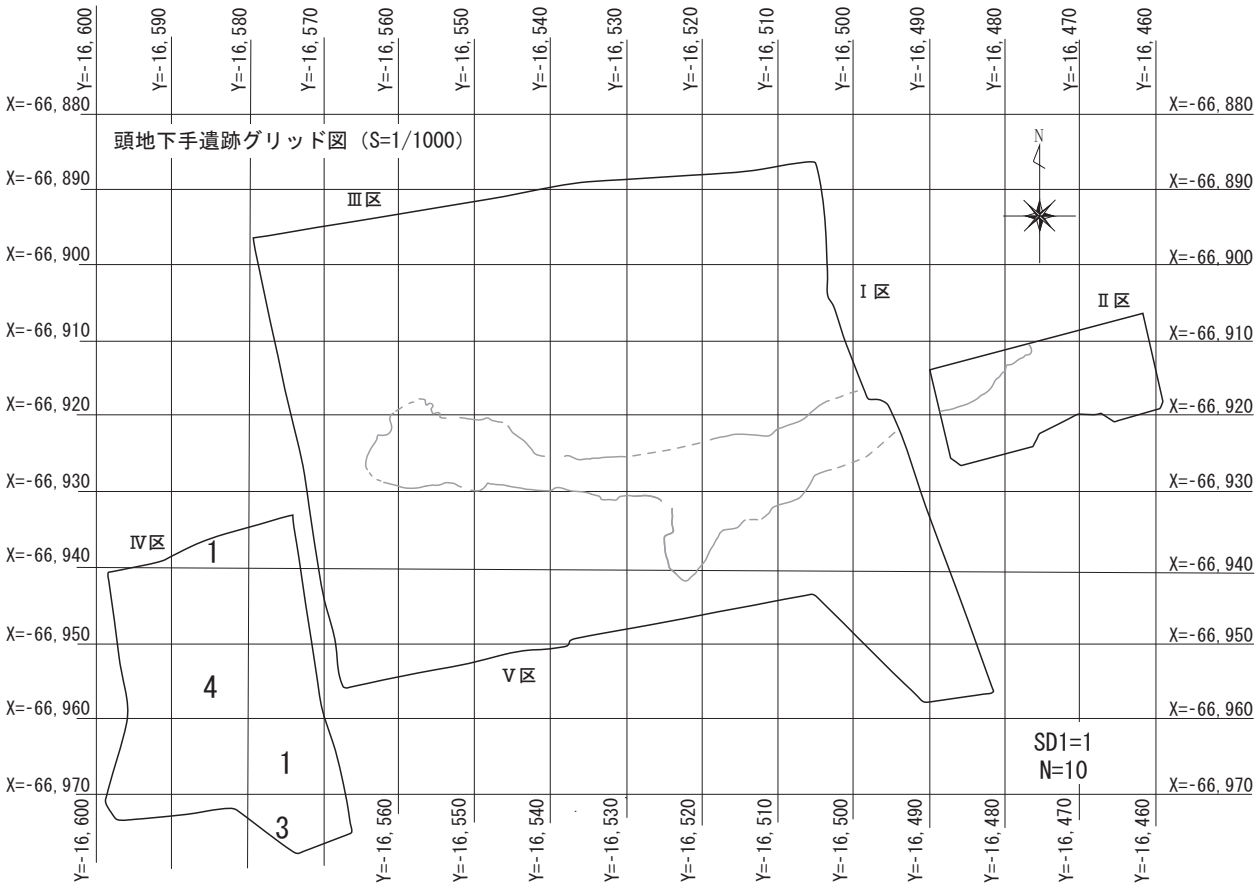


図 62　石匙分布図

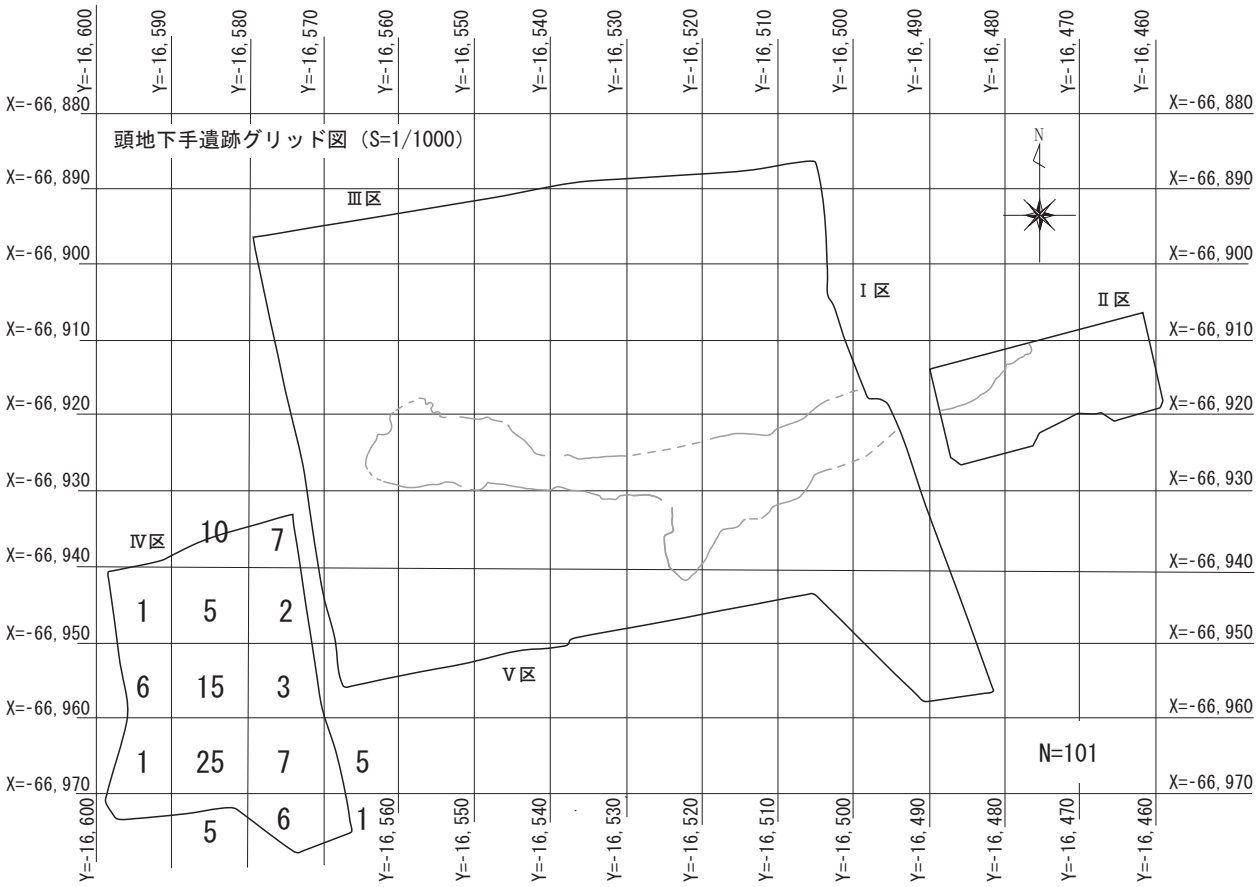


図 63　不定形石器分布図

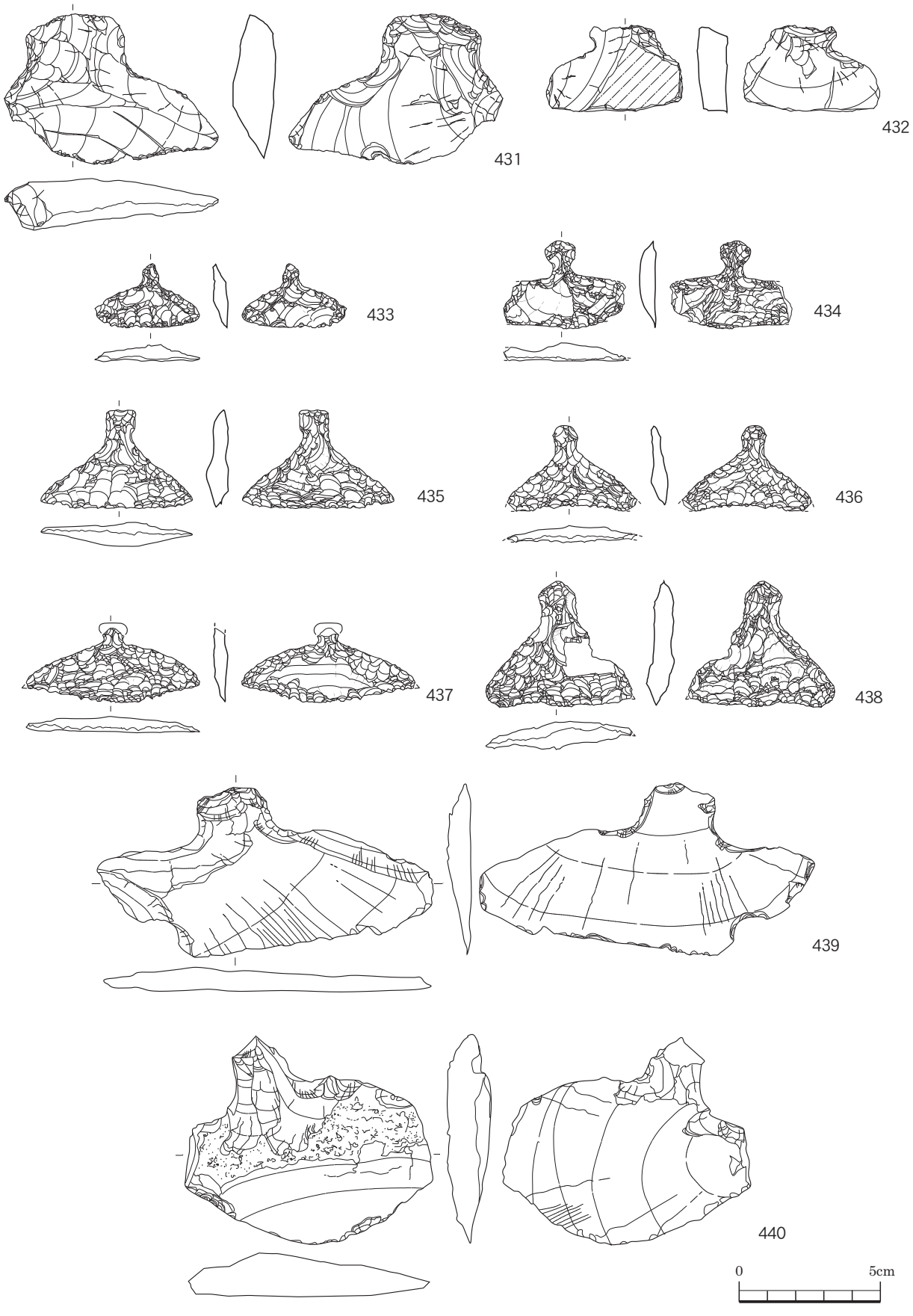


図 64　石匙 RQ 実測図

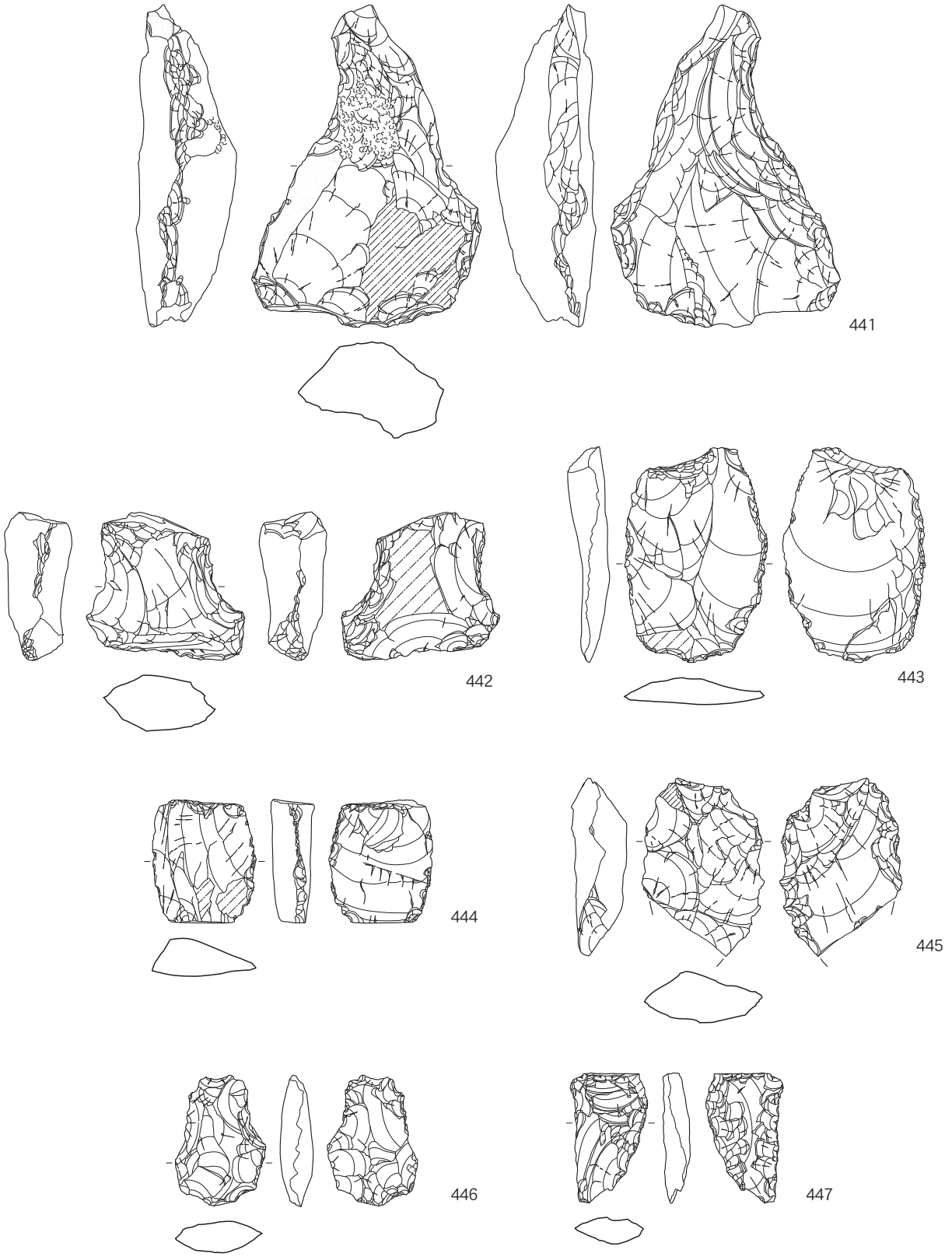


図 65　両面加工石器 RQ 実測図

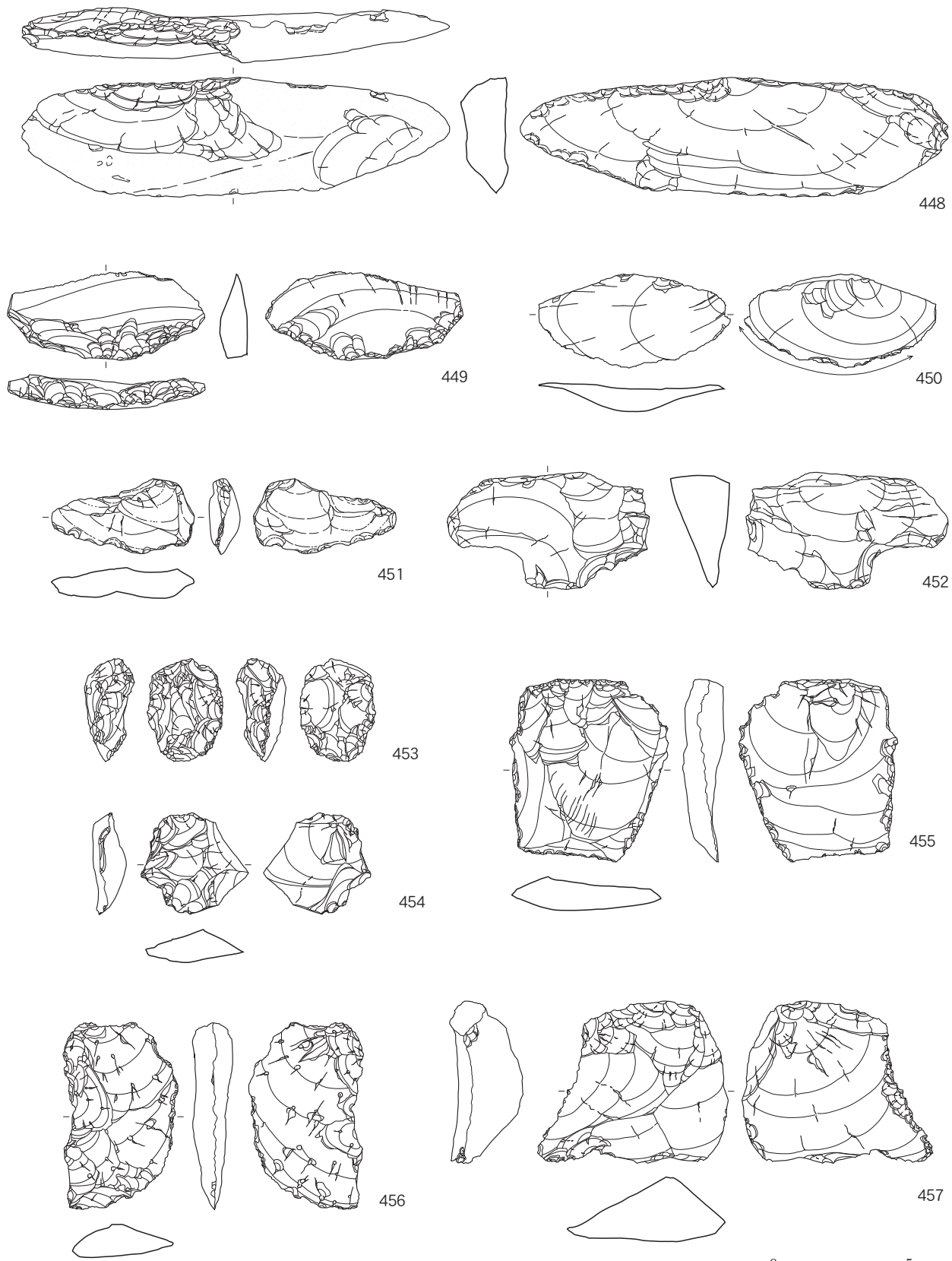


図 66　二次加工剥片 RQ 実測図 1

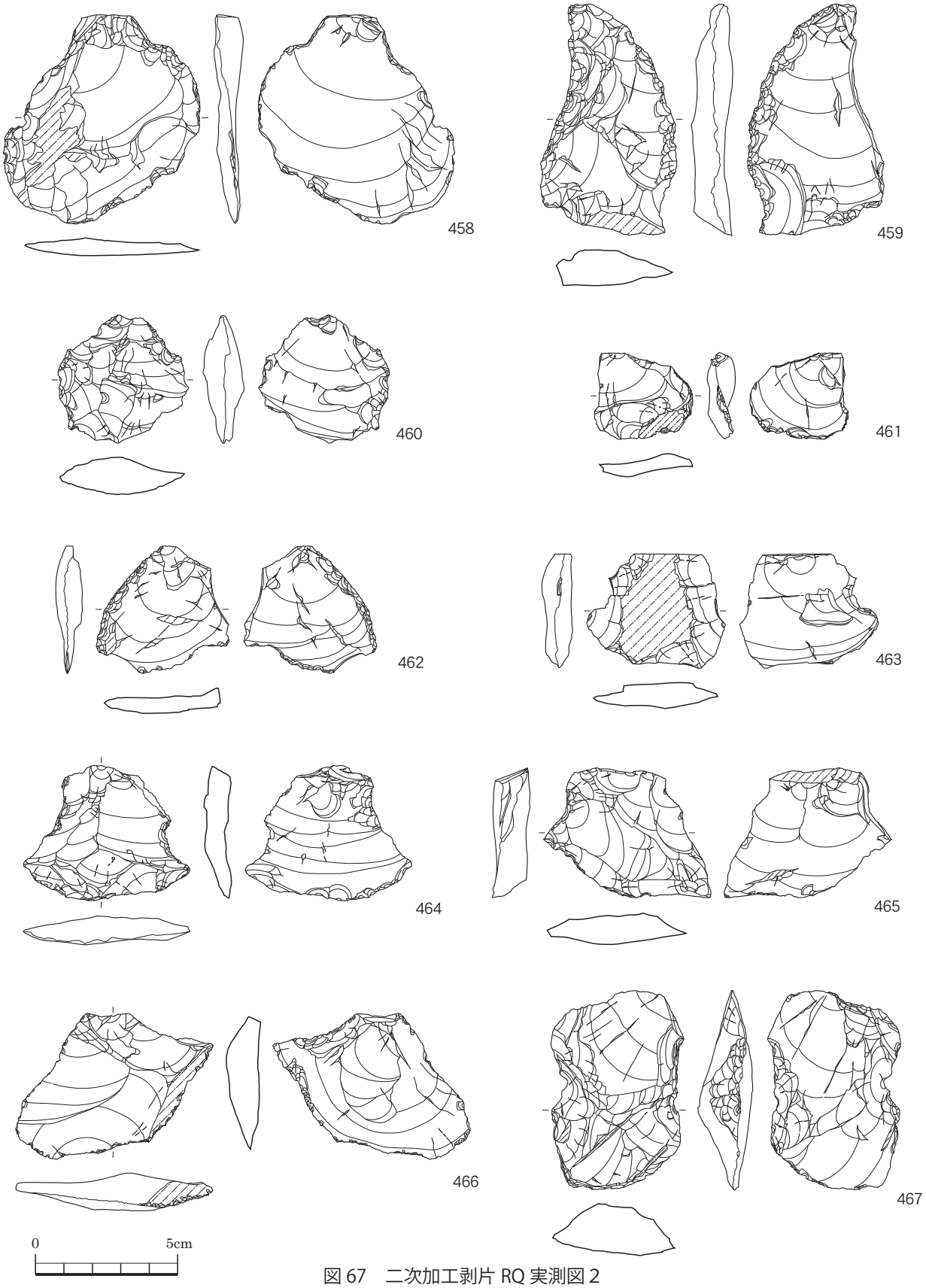


図 67　二次加工剥片 RQ 実測図 2

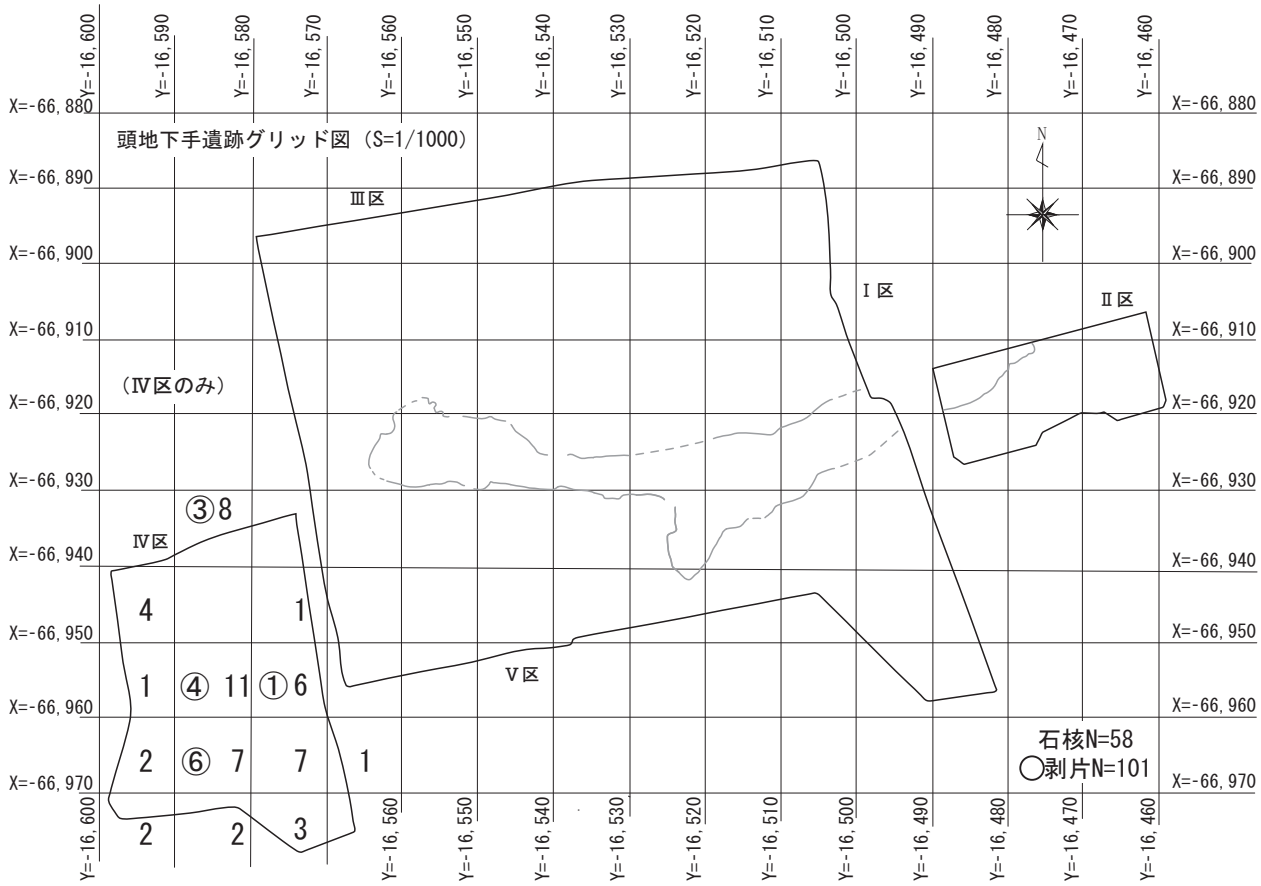


図 68　石核・剥片分布図

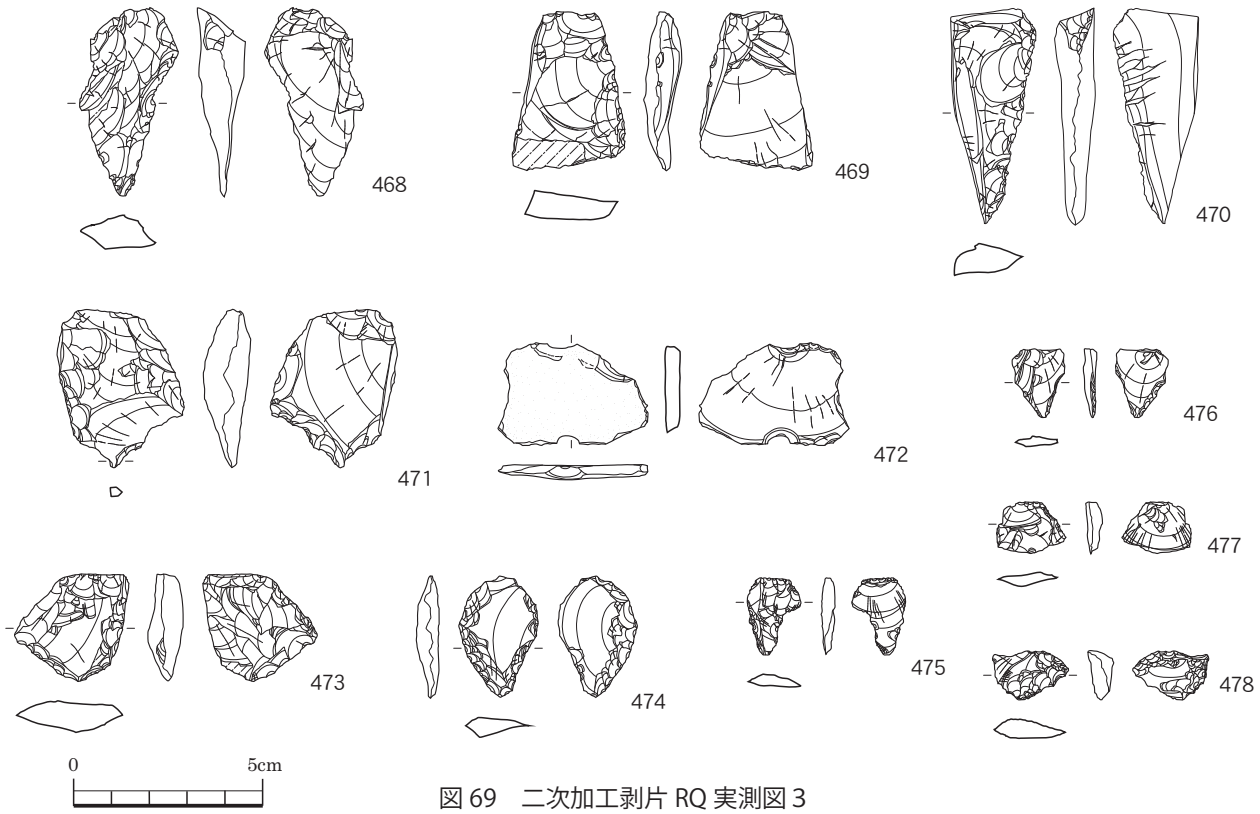


図 69　二次加工剥片 RQ 実測図 3

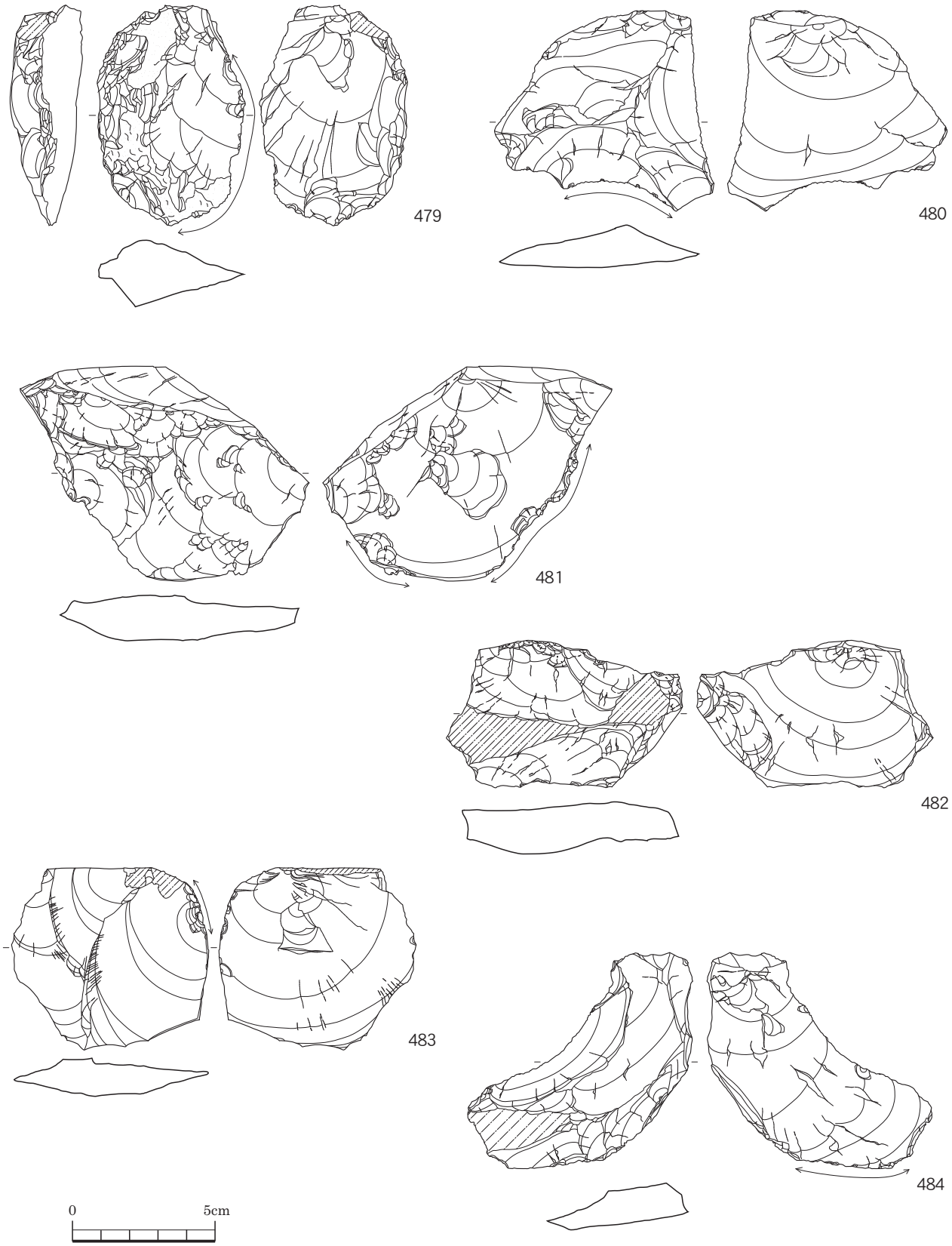


図 70　使用痕剥片 RQ 実測図 1

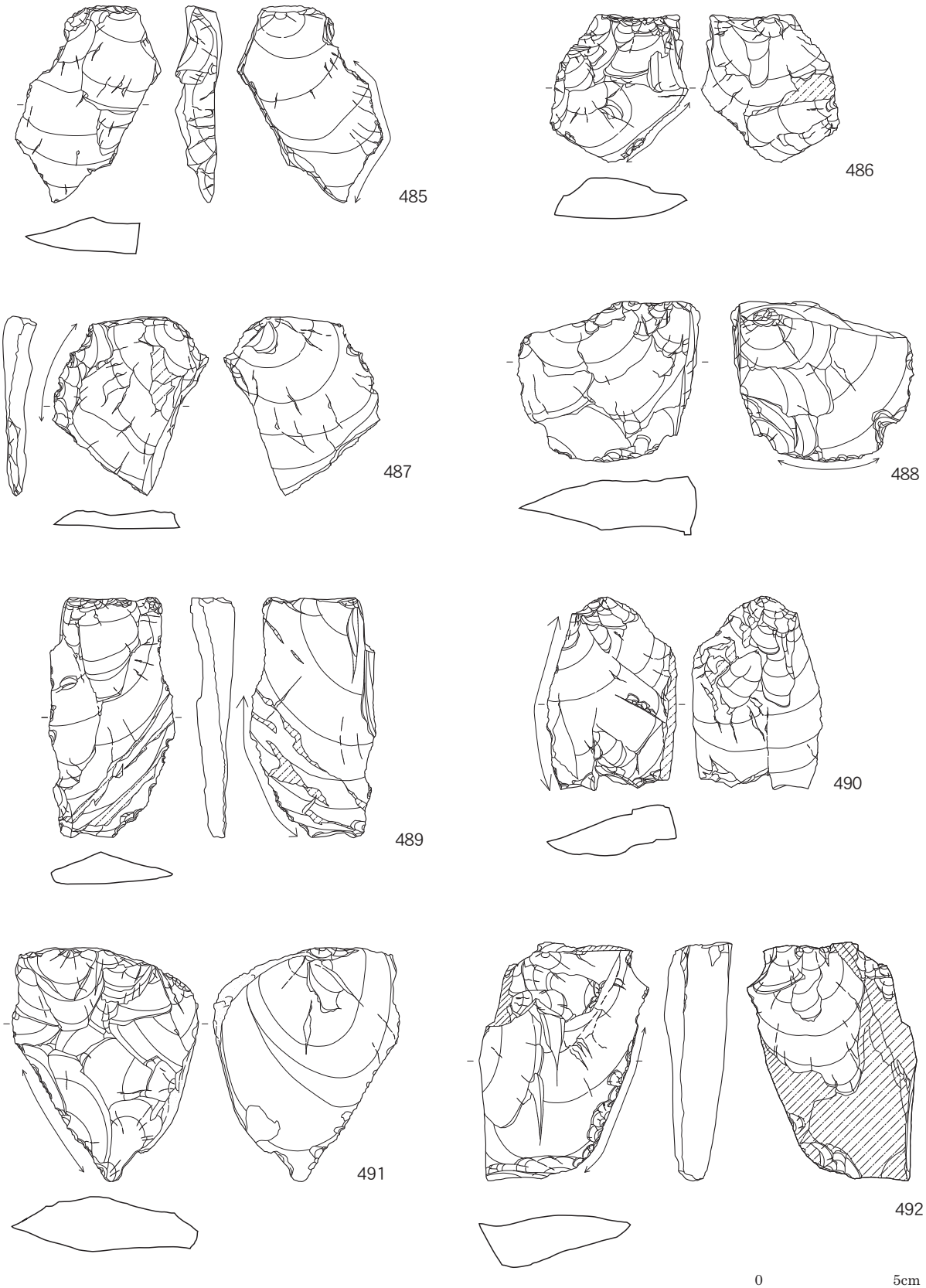


図 71　使用痕剥片 RQ 実測図 2

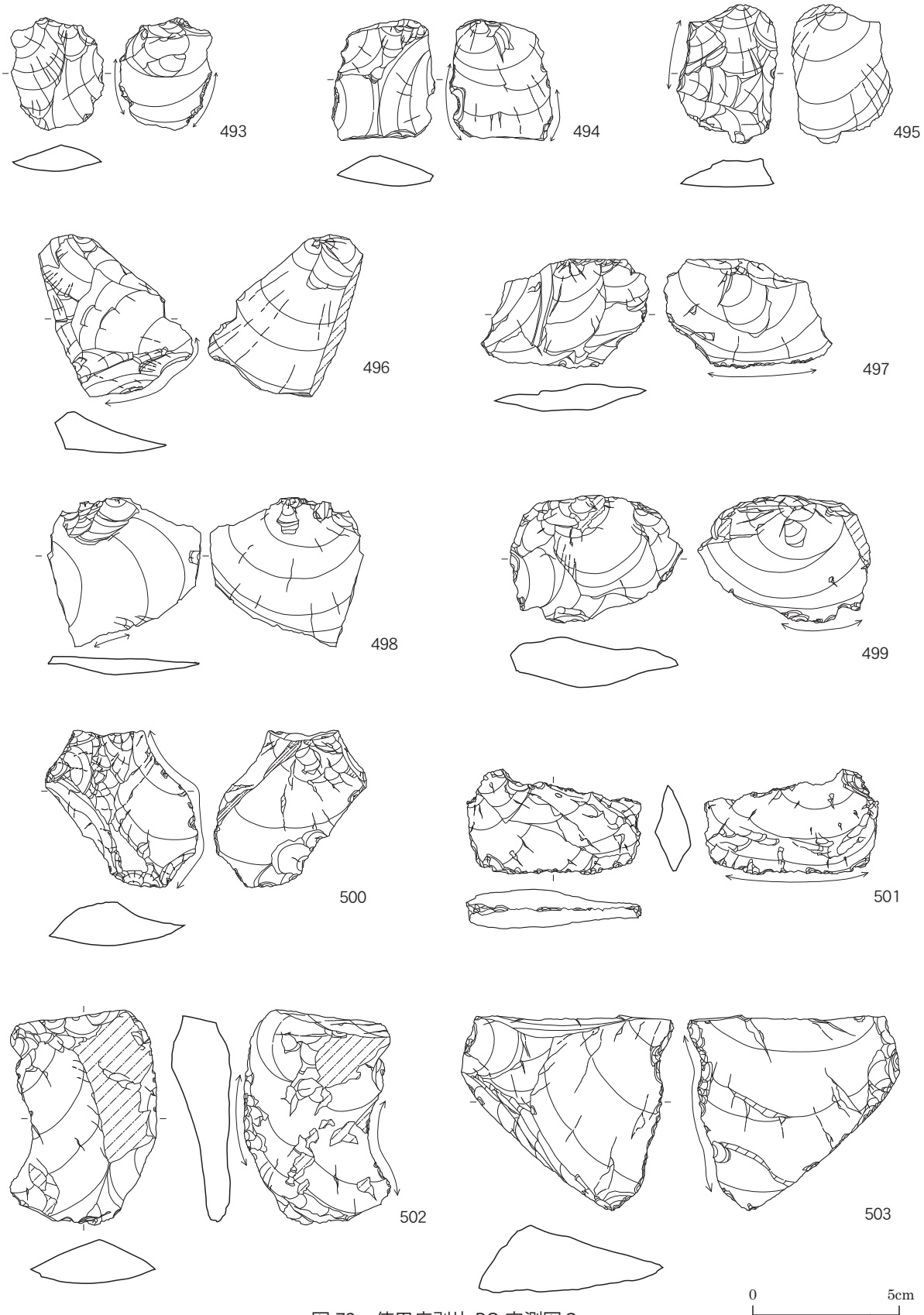


図 72　使用痕剥片 RQ 実測図 3

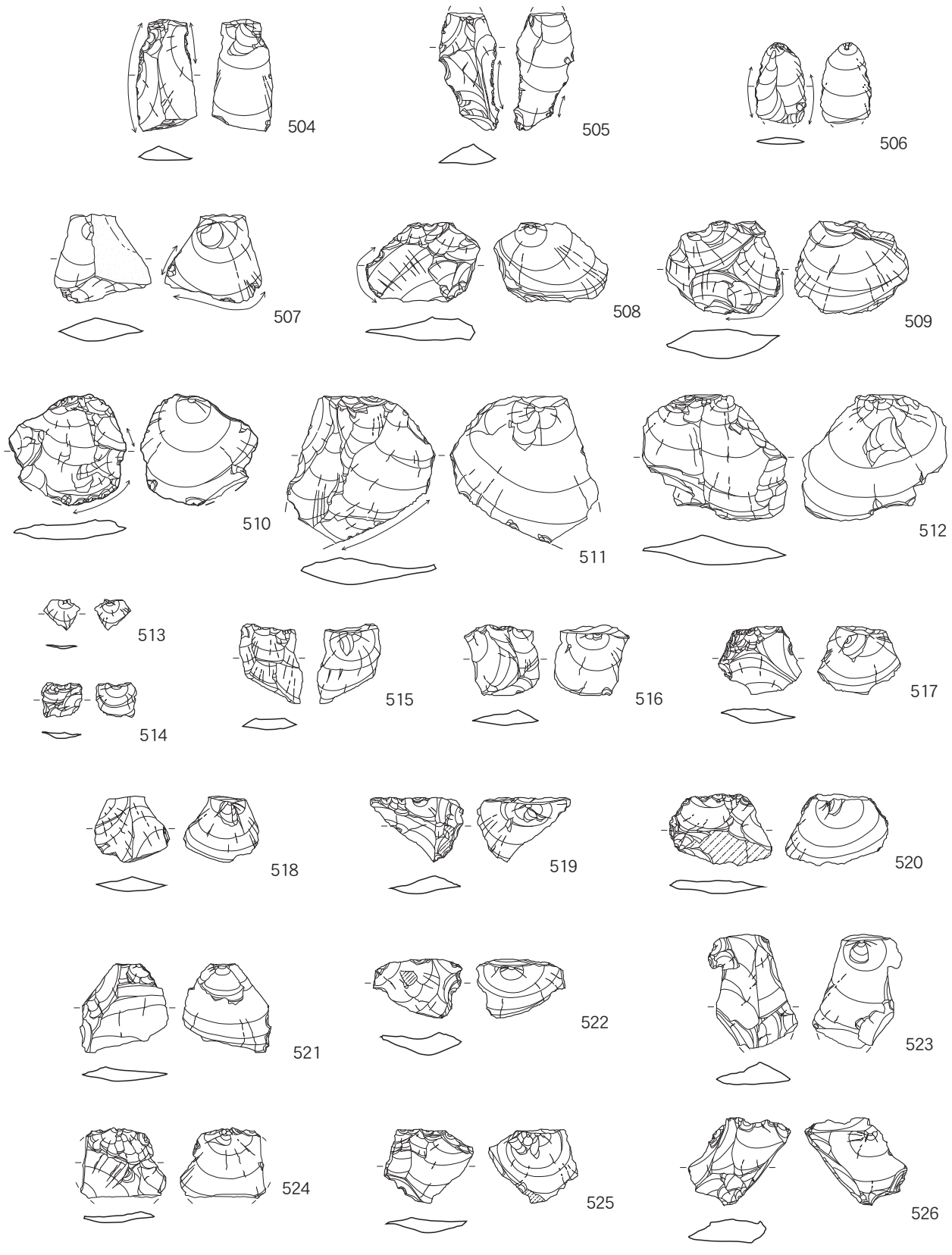


図 73　使用痕剥片 RQ 実測図 4

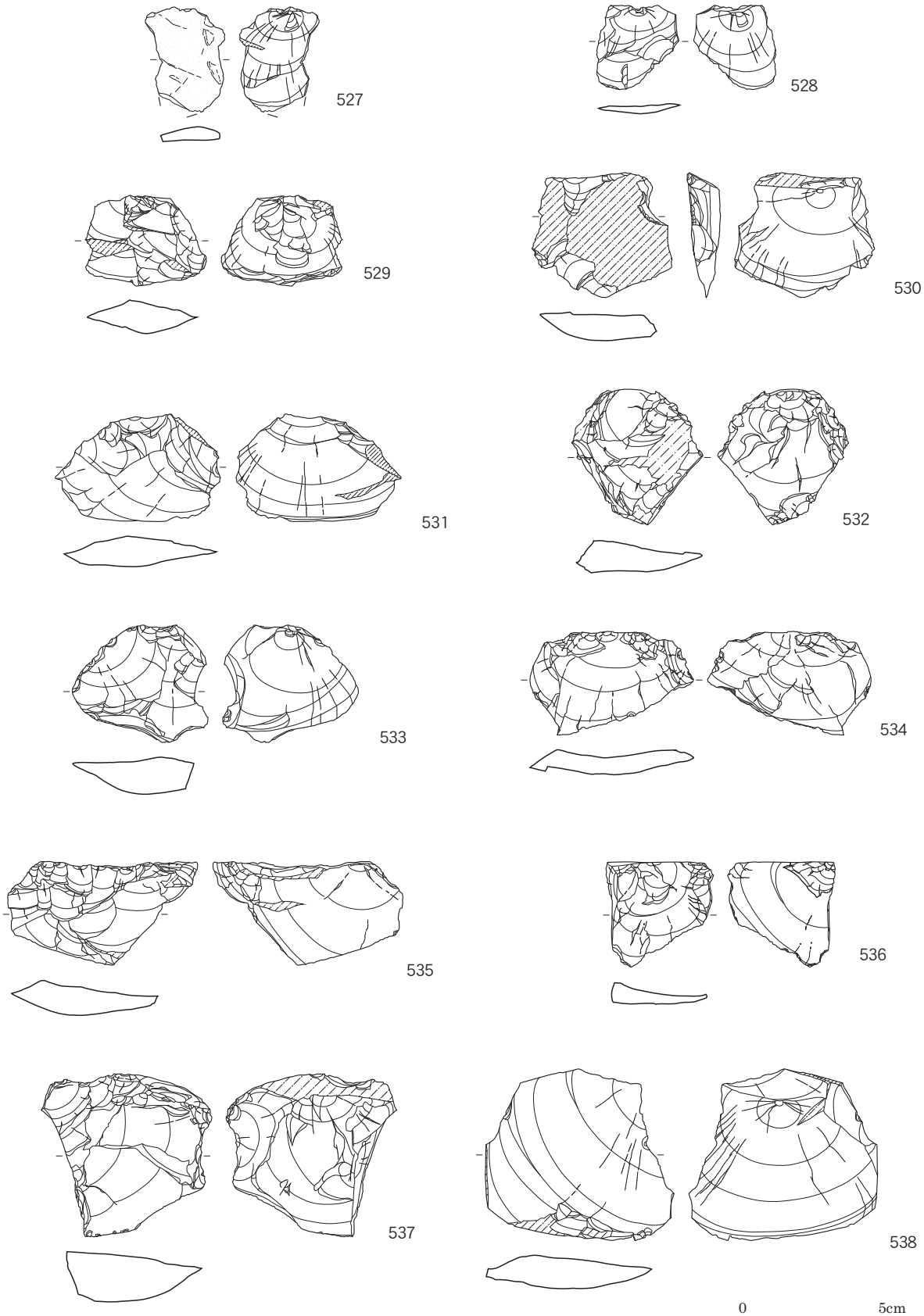


図 74　剥片 RQ 実測図

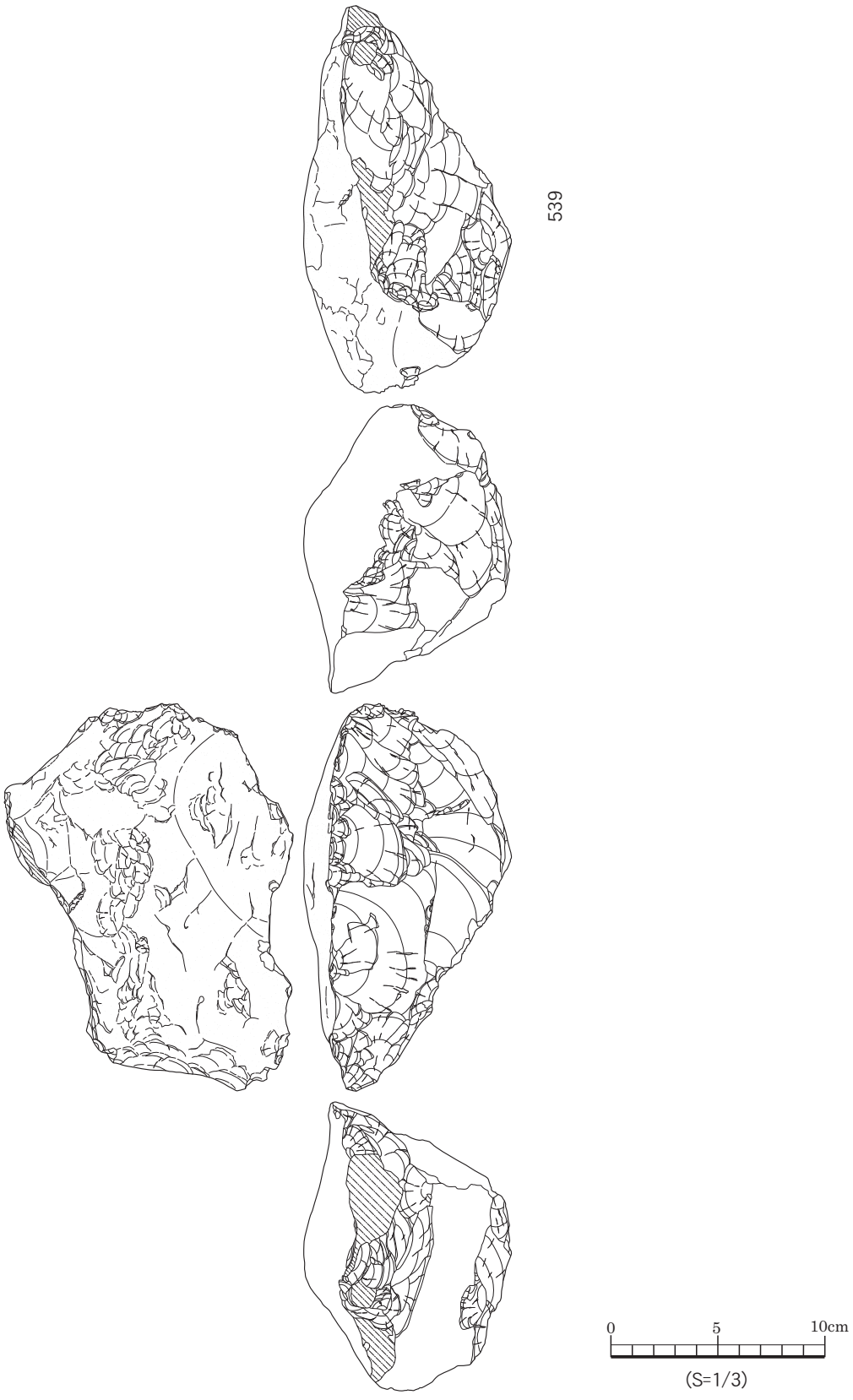


図 75　石核 RQ 実測図 1

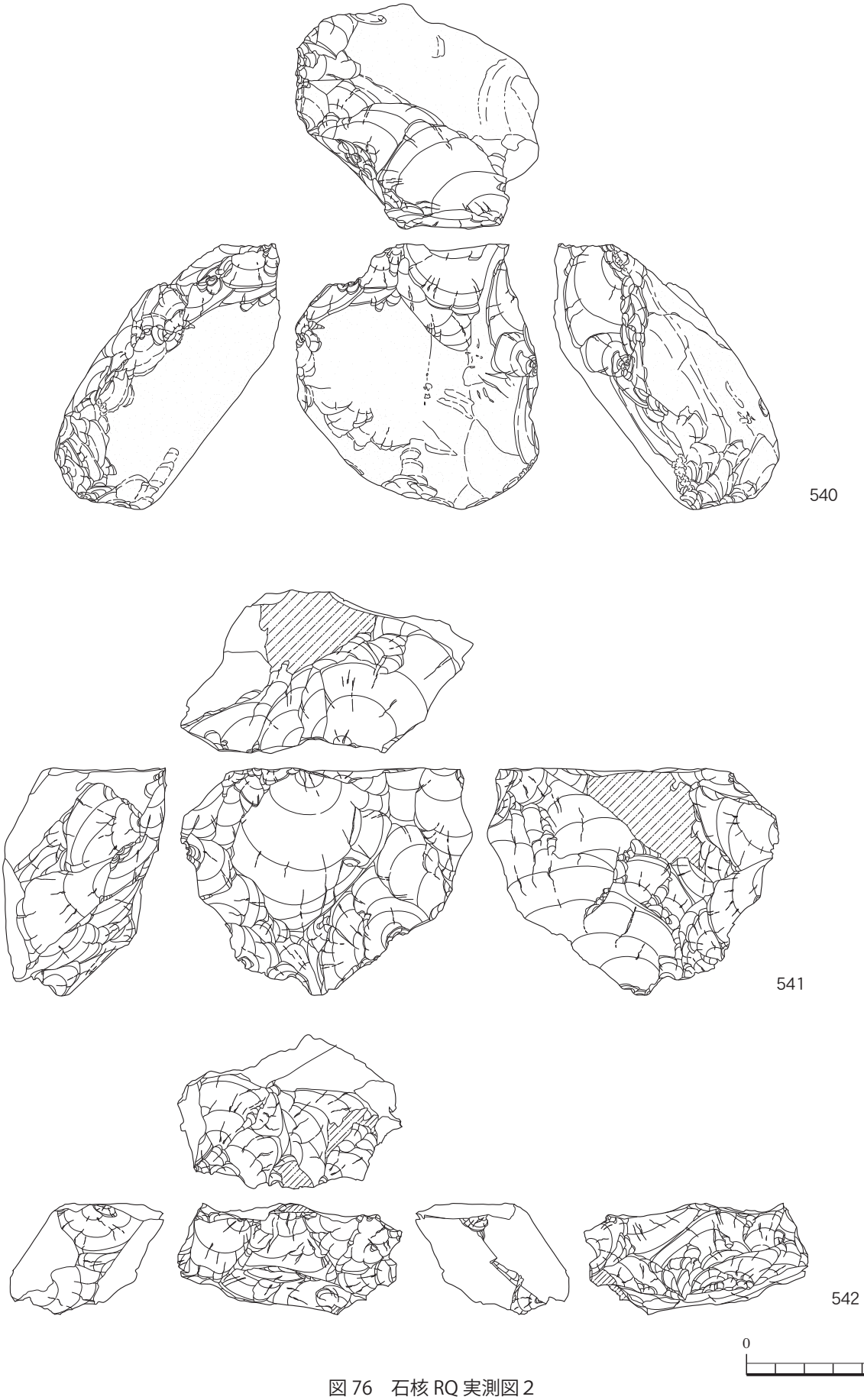


図 76　石核 RQ 実測図 2

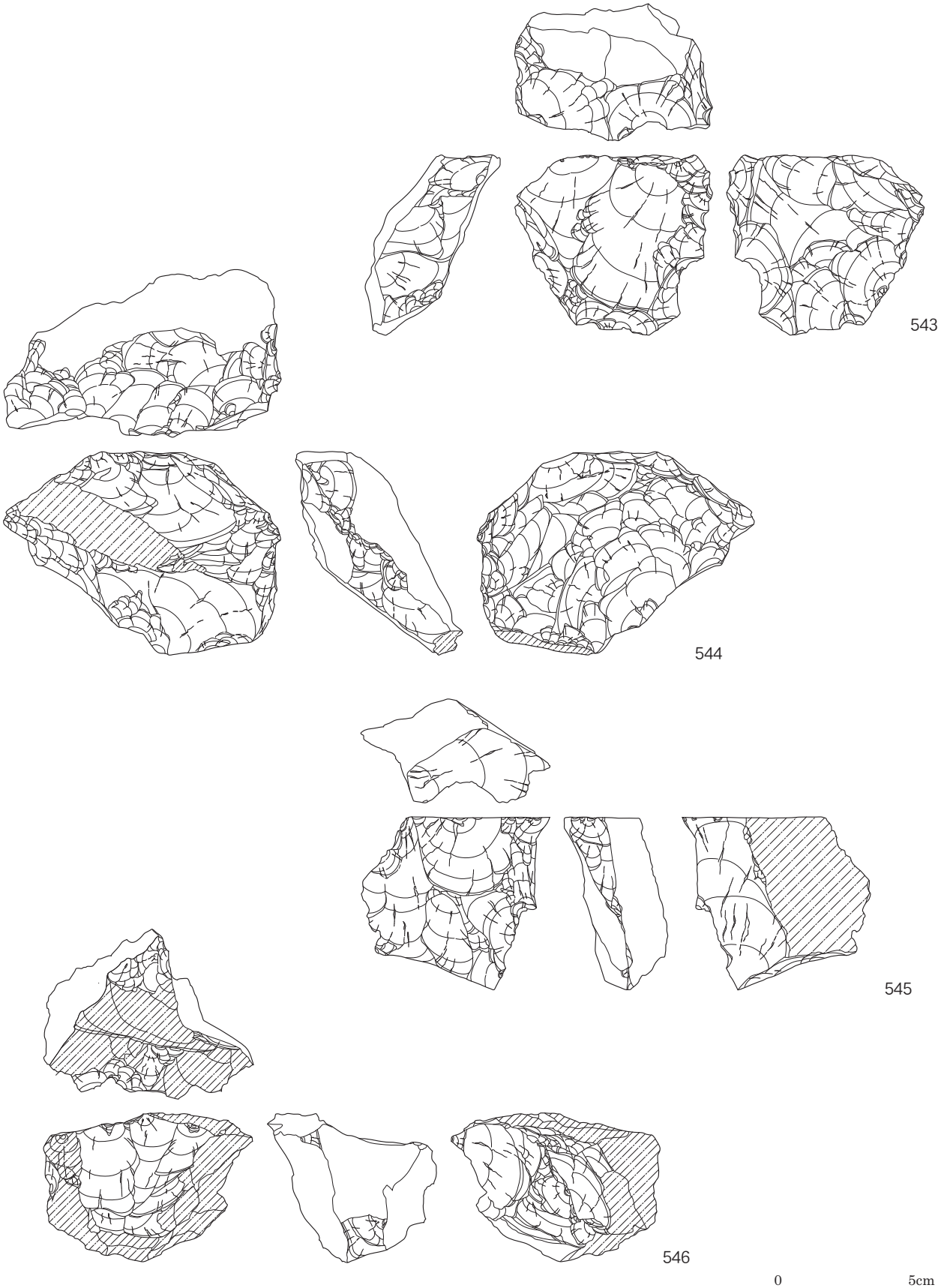


図 77　石核 RQ 実測図 3

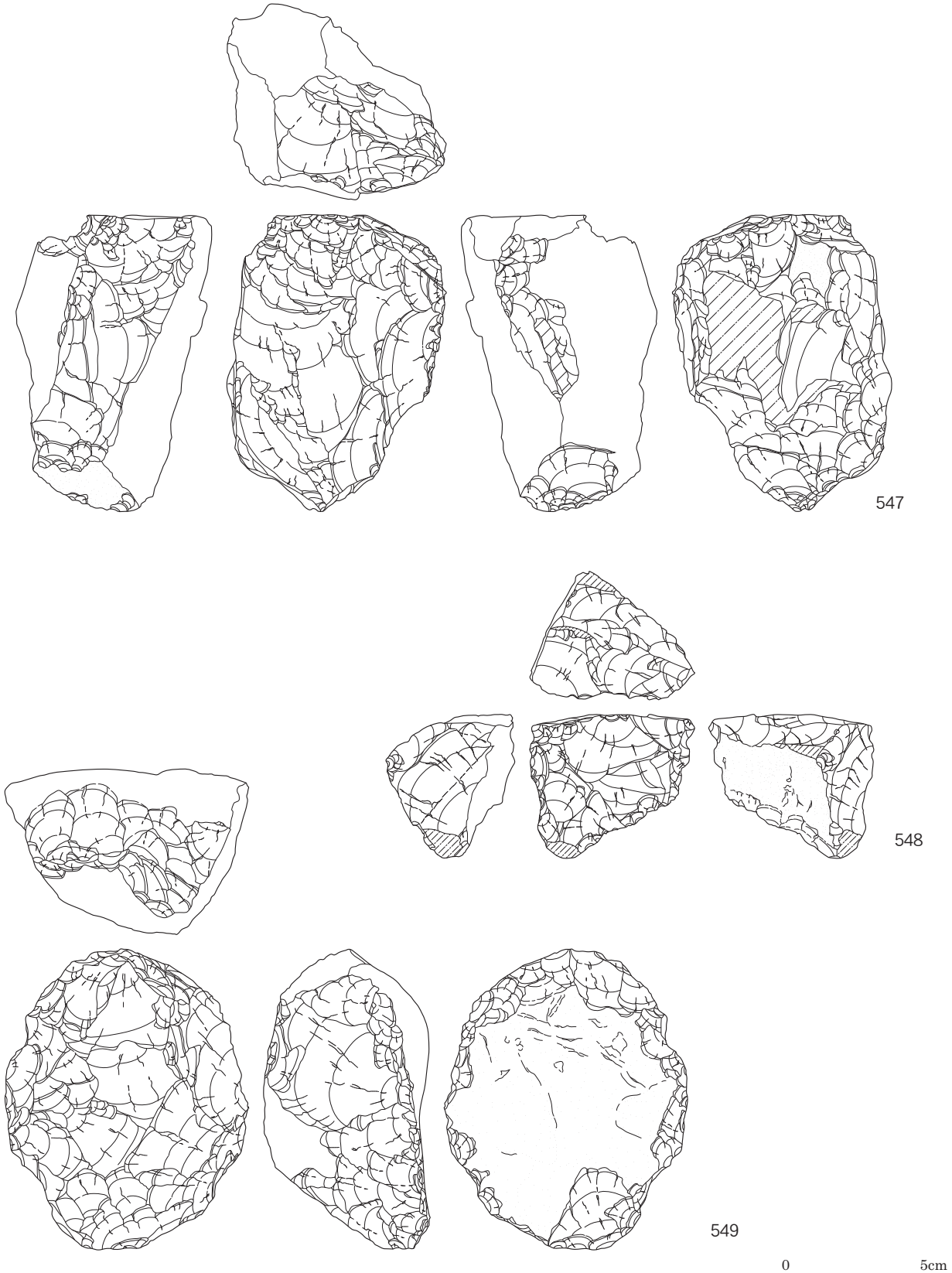


図 78　石核 RQ 実測図 4

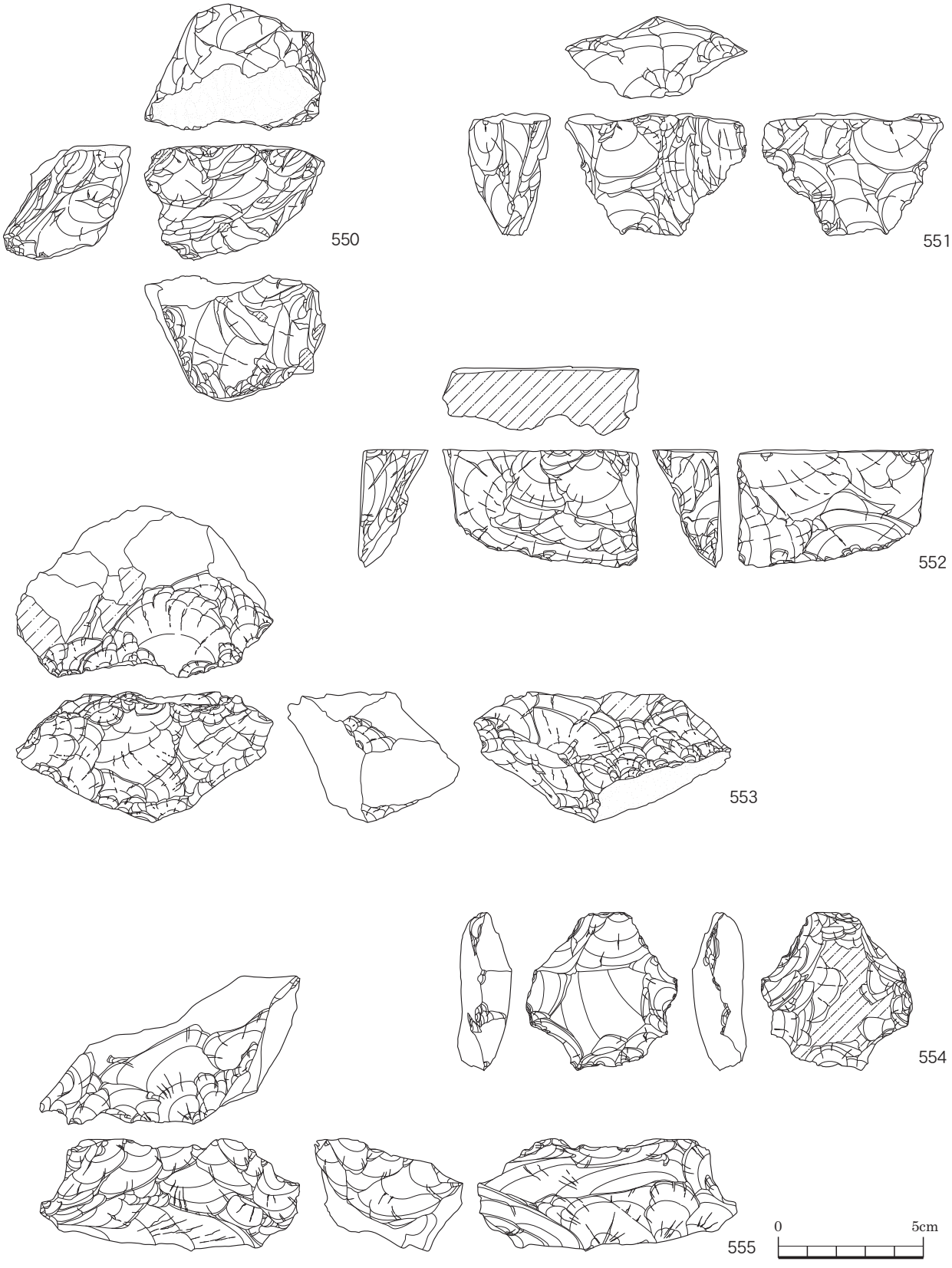


図 79　石核 RQ 実測図 5

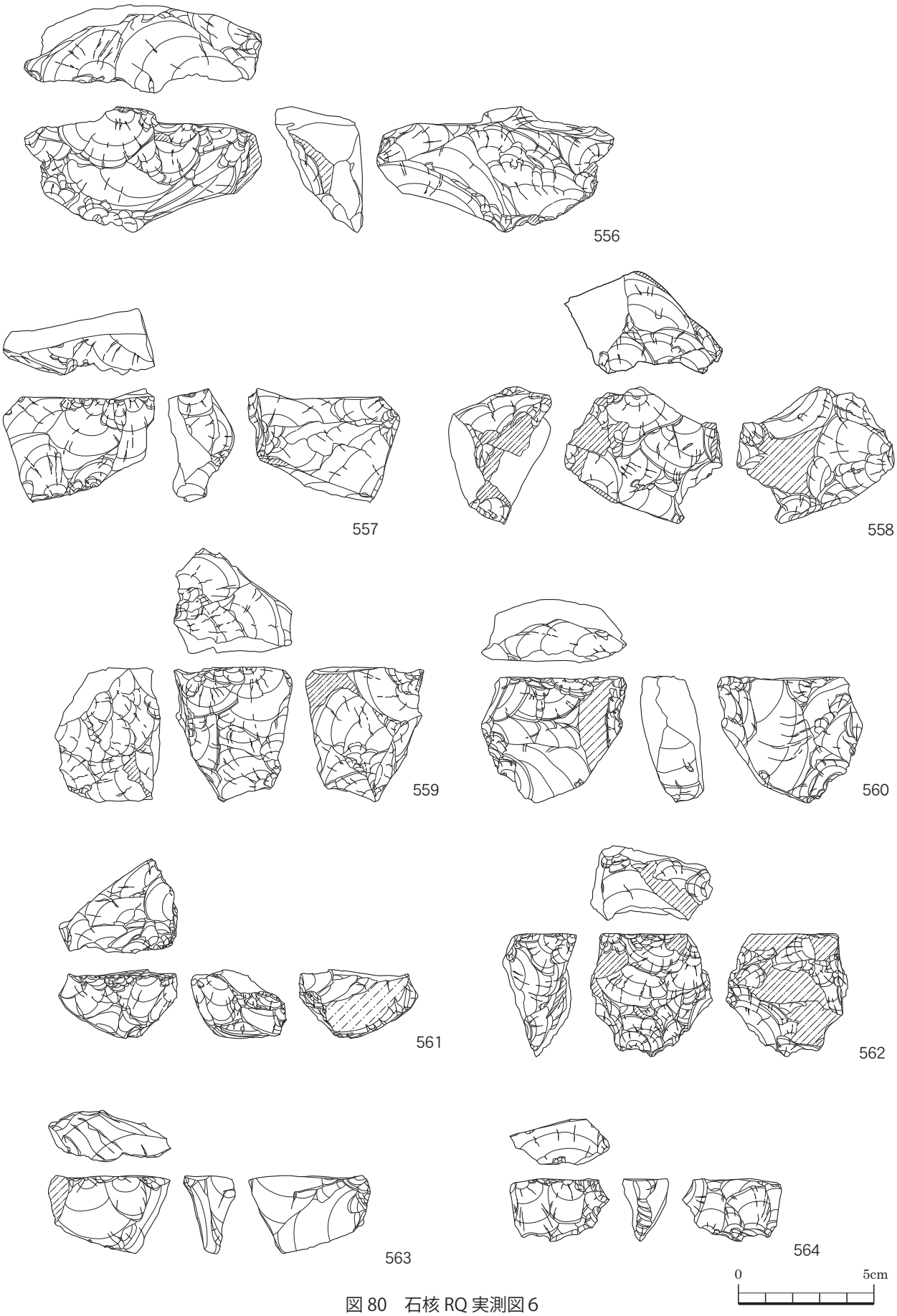


図 80　石核 RQ 実測図 6

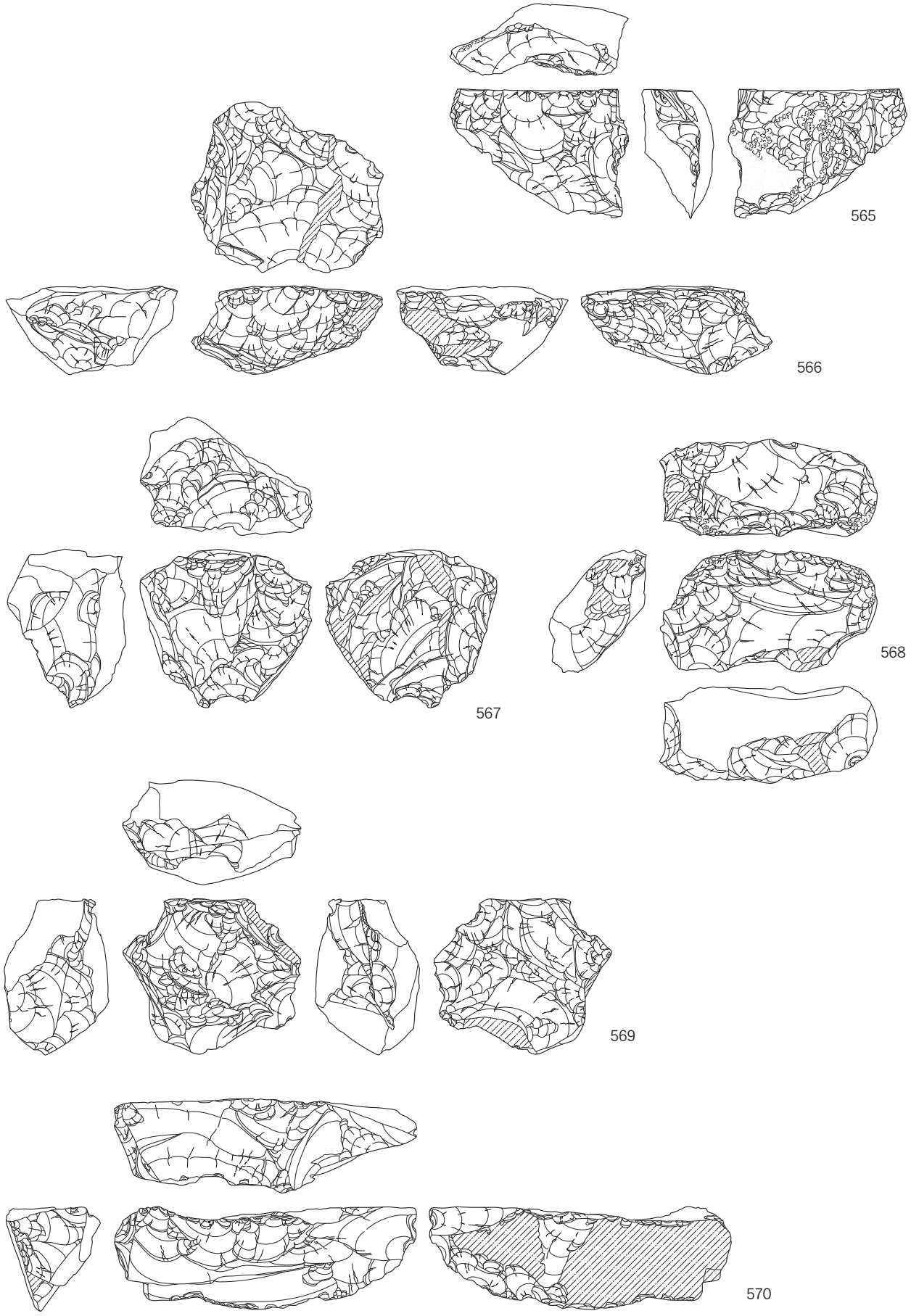


図 81　石核 RQ 実測図 7

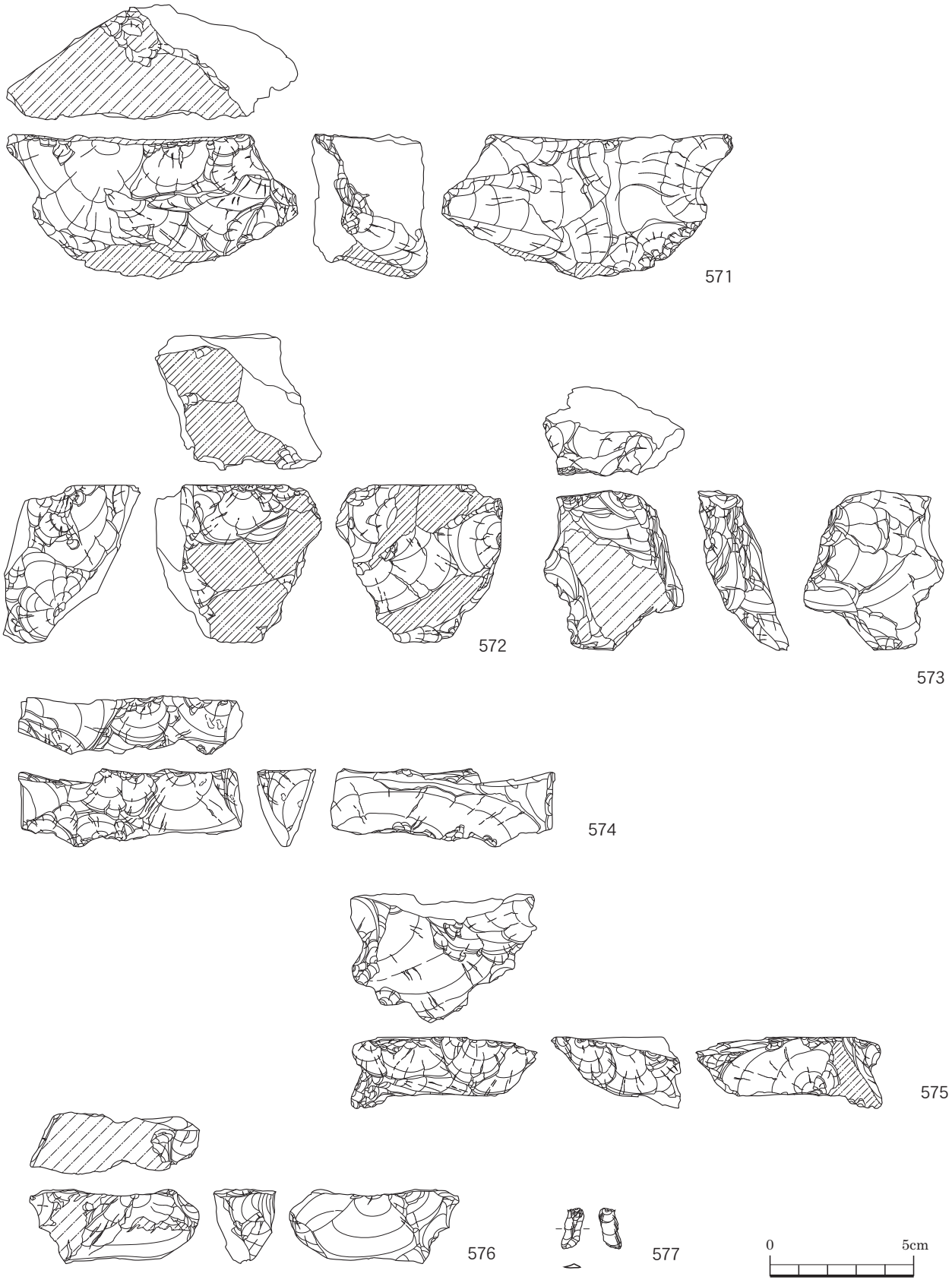
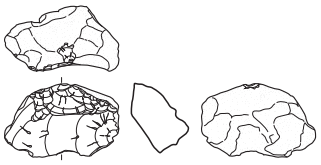
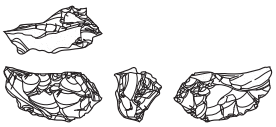
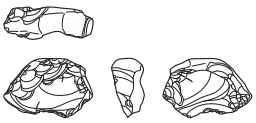
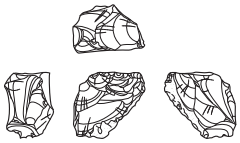


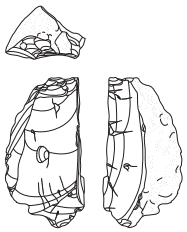
図 82　石核 RQ 実測図 8

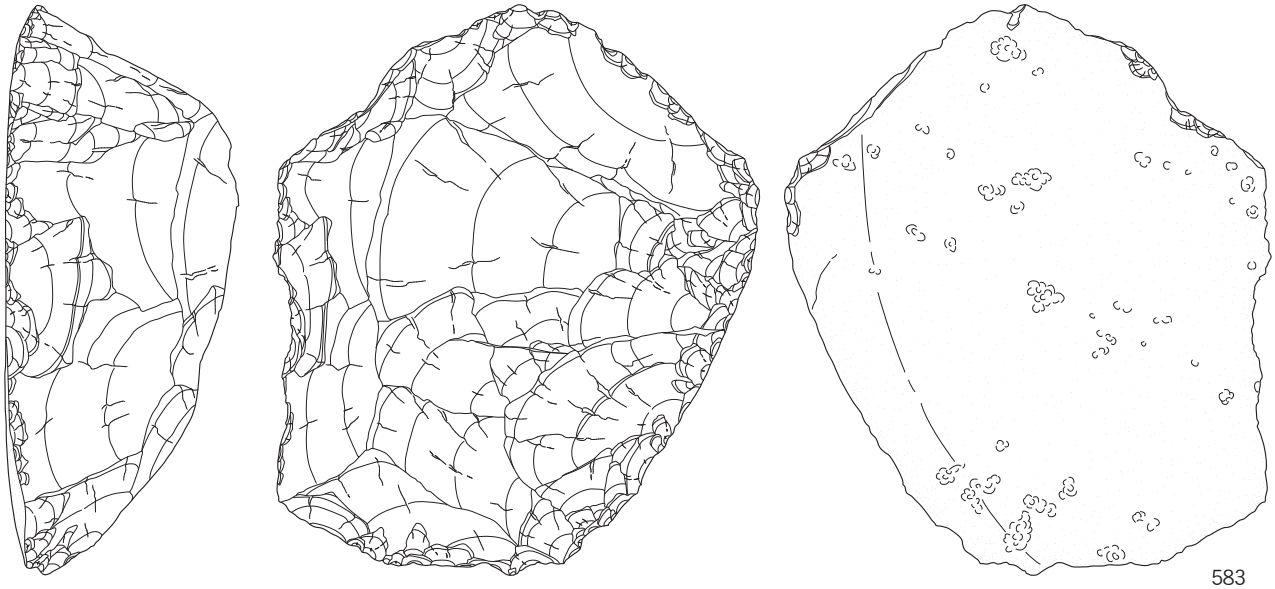

578

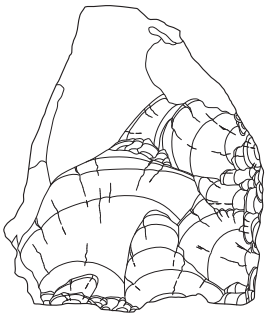

579

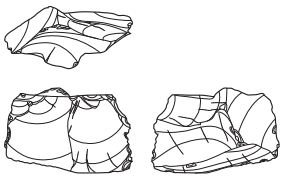

580

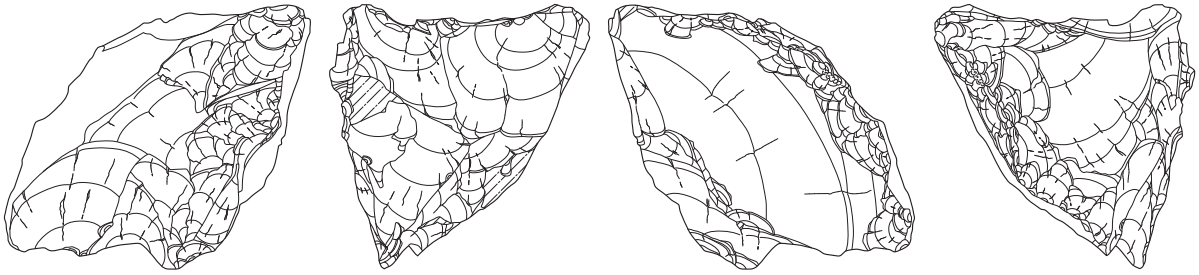

581


582


583




584


585

0 5cm

図 83　石核 RQ 実測図 9

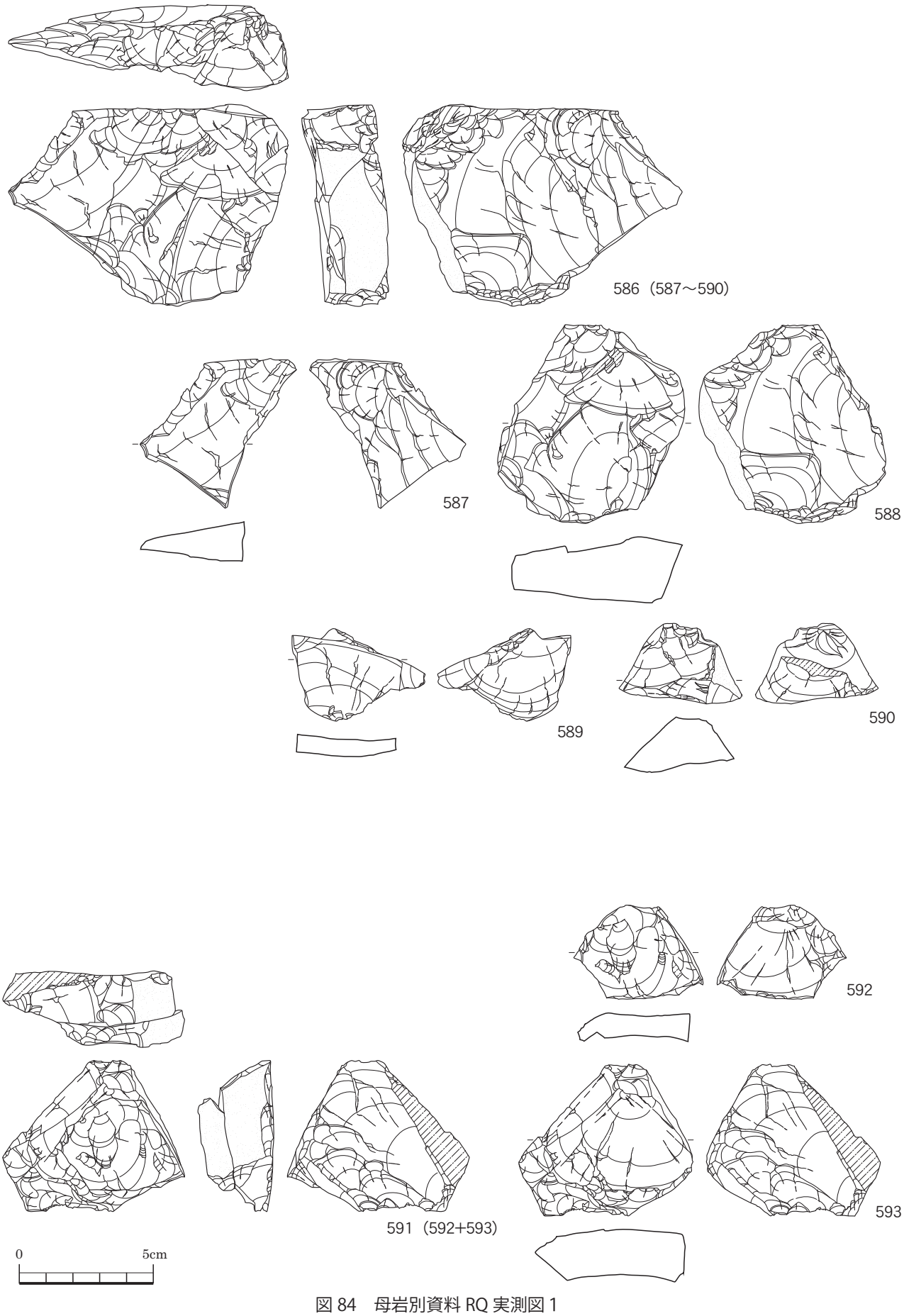


図 84　母岩別資料 RQ 実測図 1

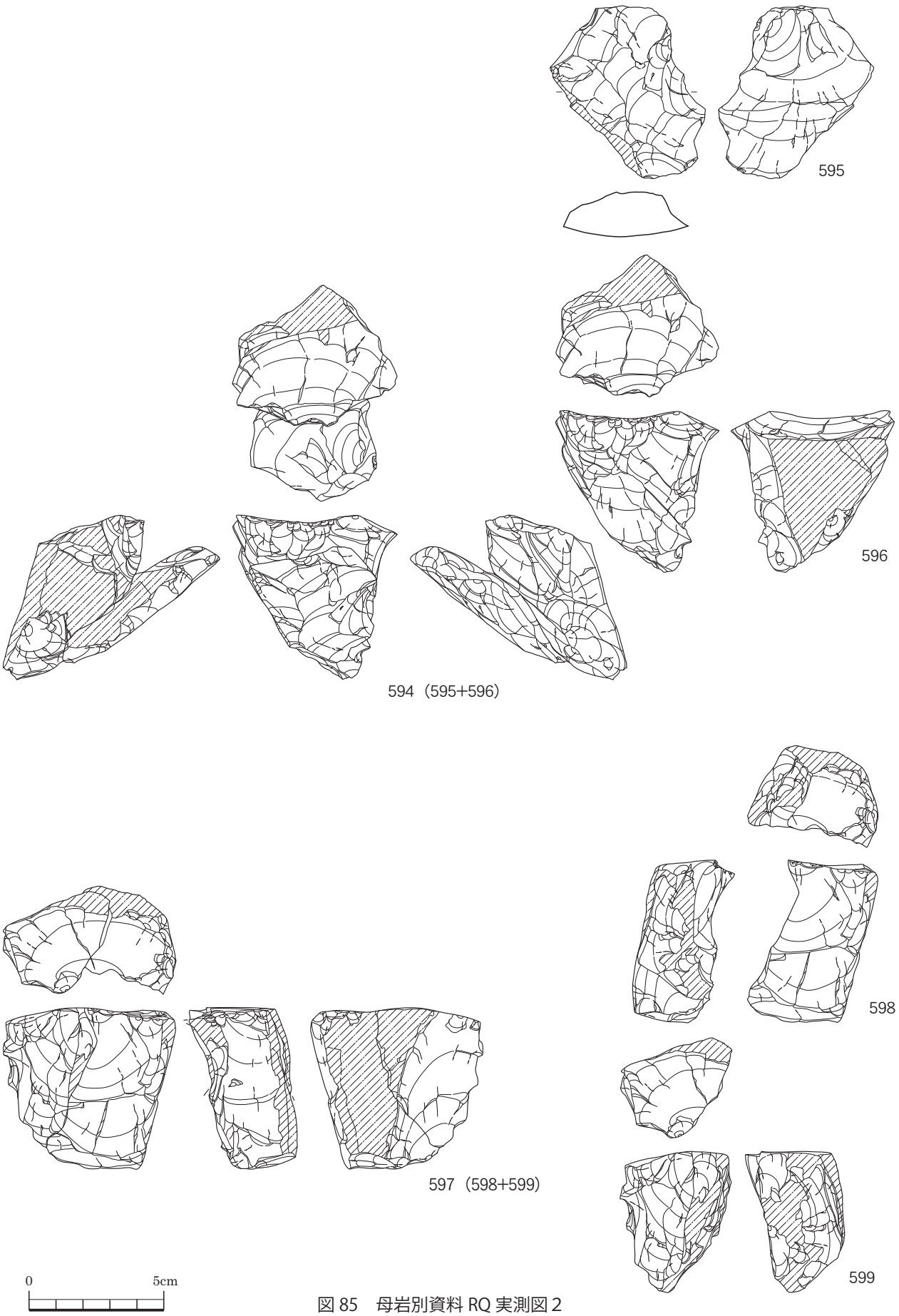
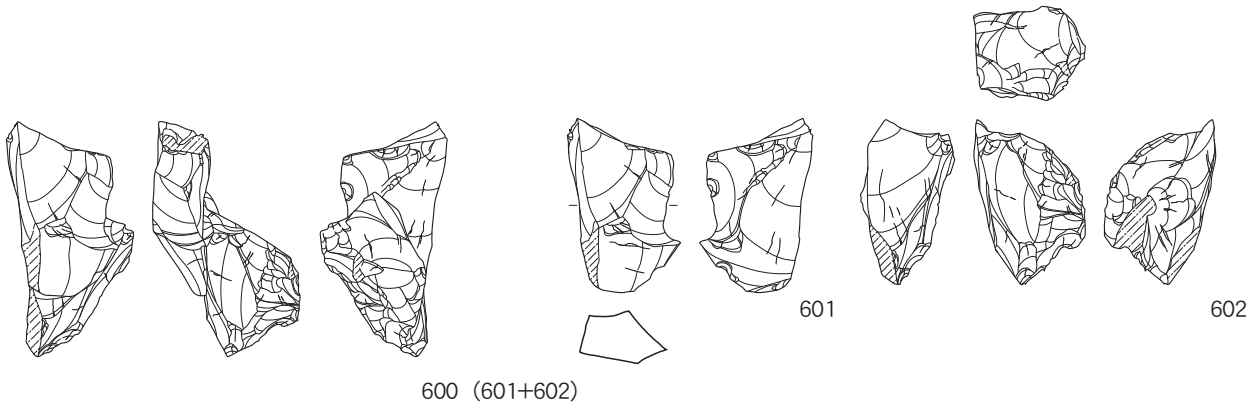
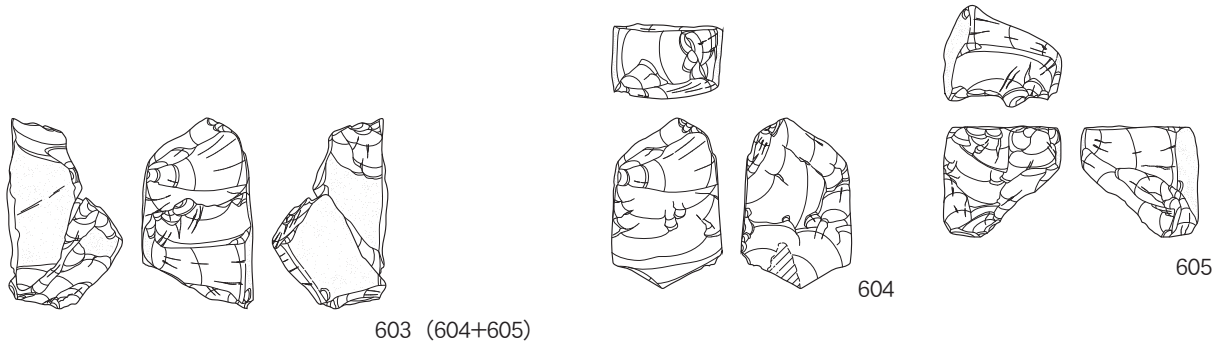
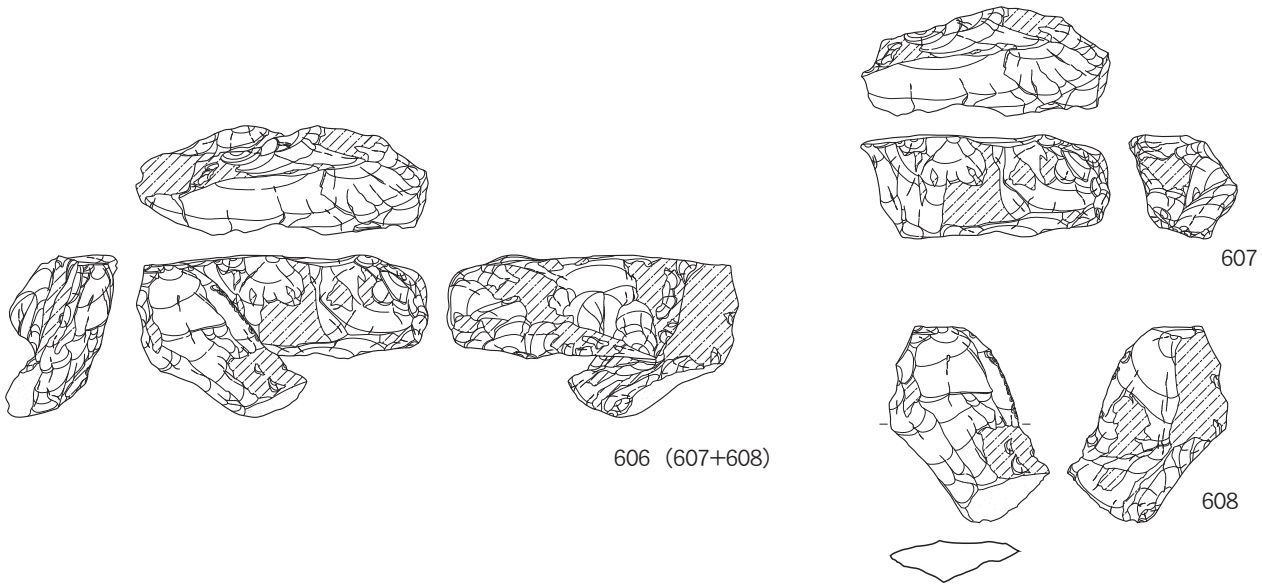
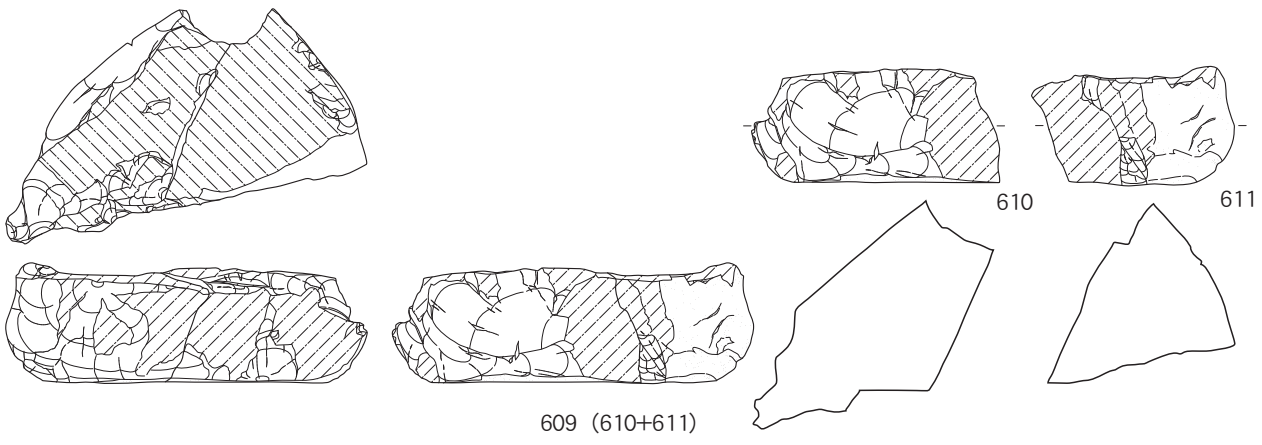


図 85　母岩別資料 RQ 実測図 2



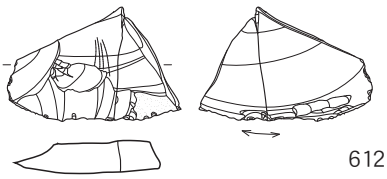




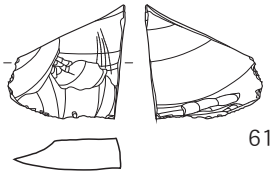


0 5cm

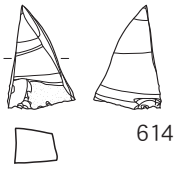
図 86　母岩別資料 RQ 実測図 3



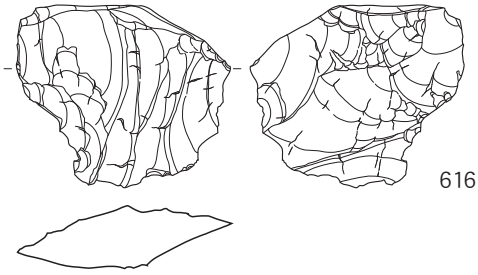
612（613+614）



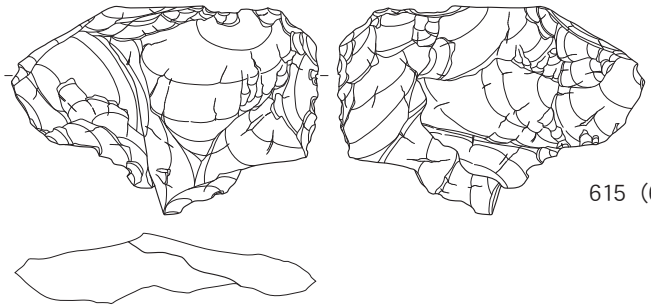
613



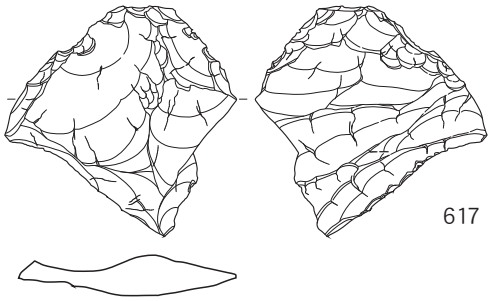
614



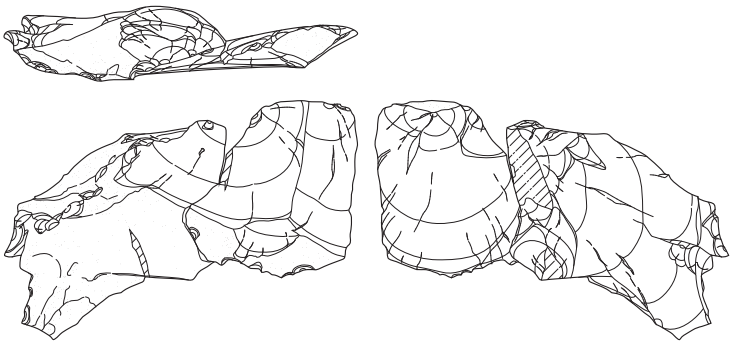
616



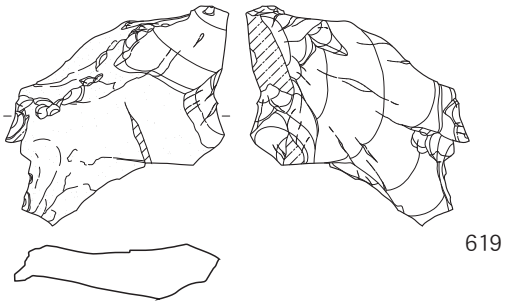
615（616+617）



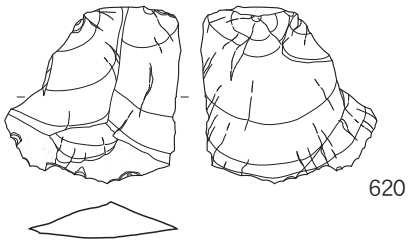
617



618（619+620）



619



620

0　5cm

図 87　母岩別資料 RQ 実測図 4

図 88　母岩別資料 RQ 実測図 5

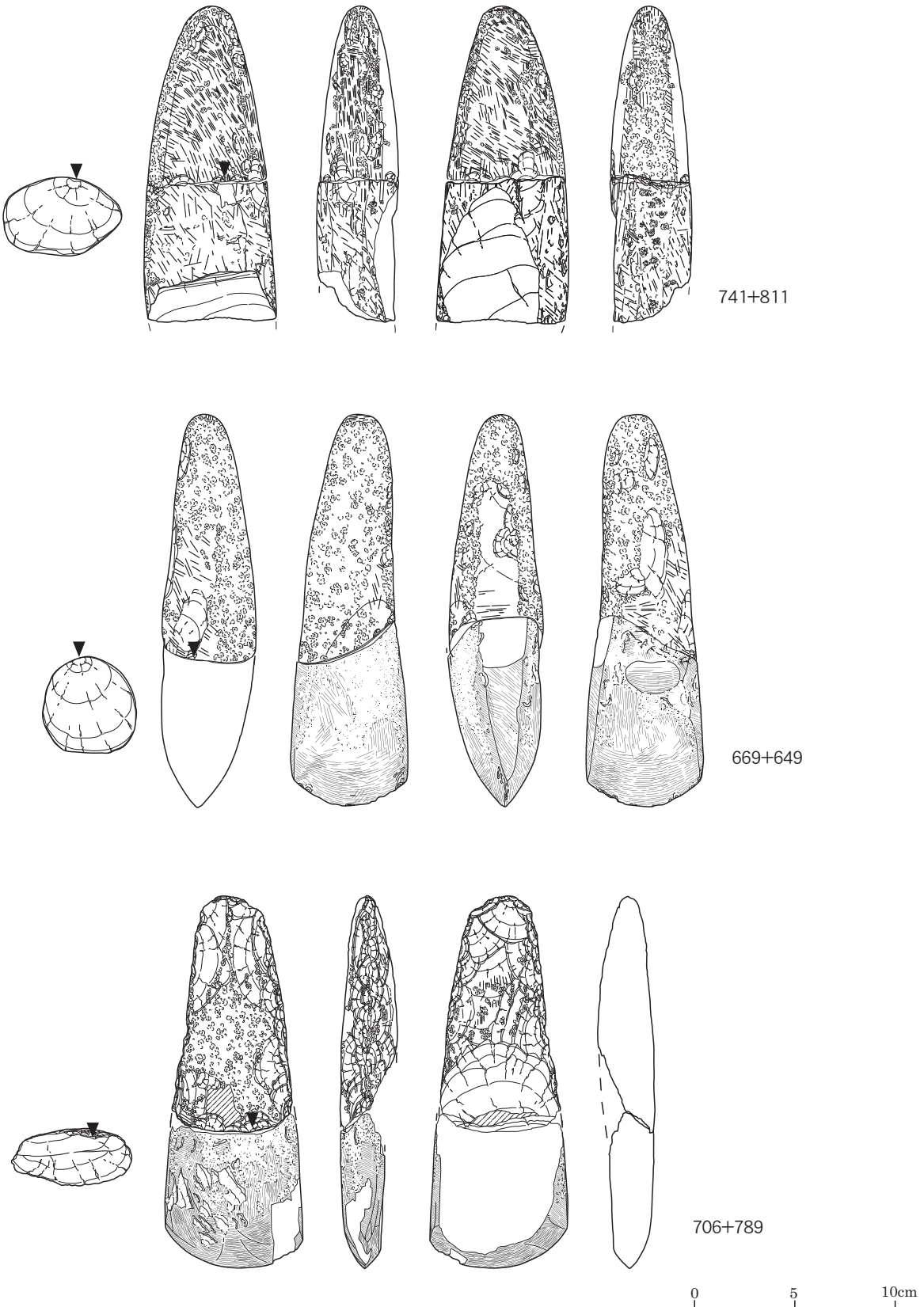


図 89　石斧接合資料

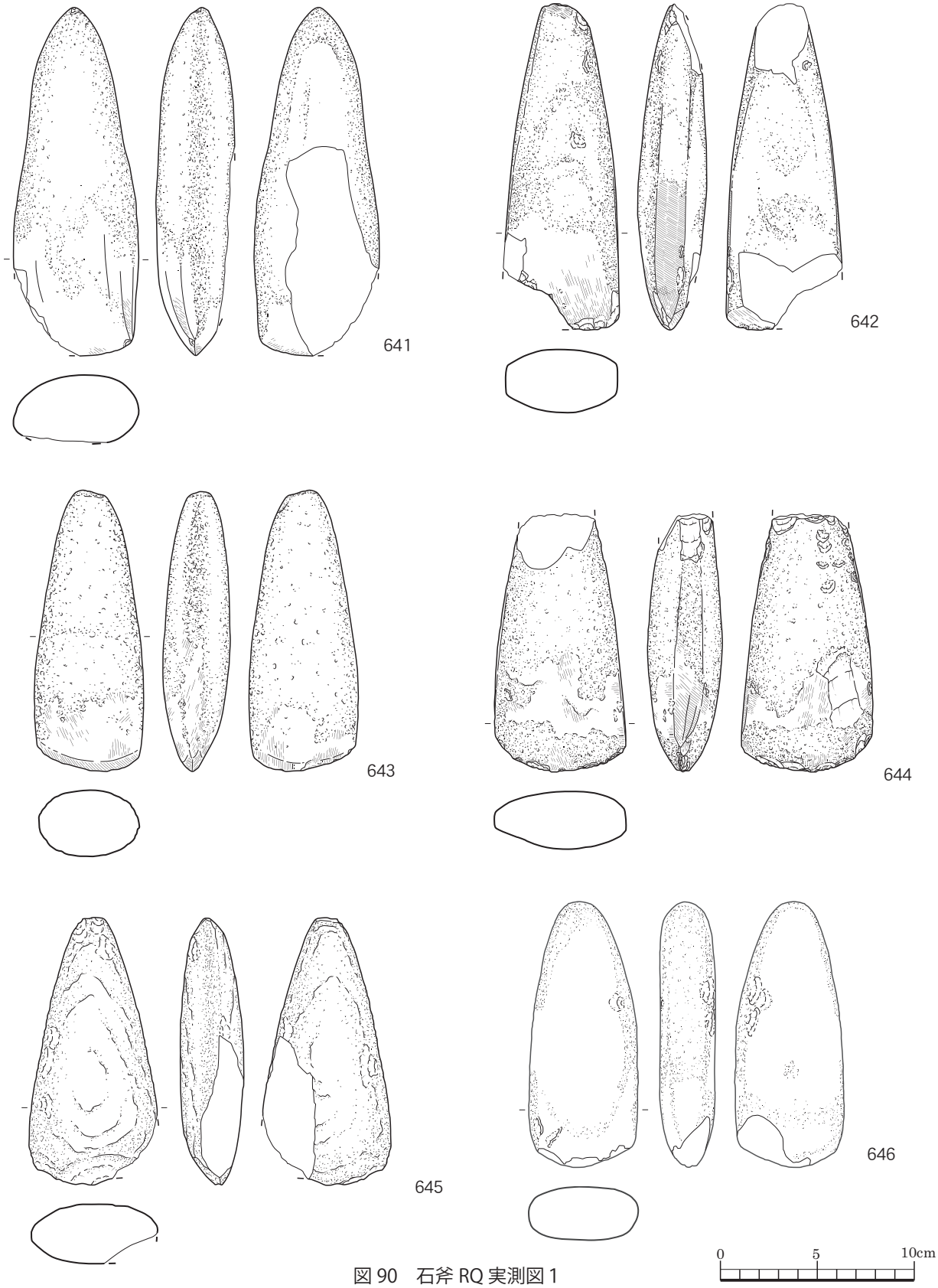


図 90　石斧 RQ 実測図 1

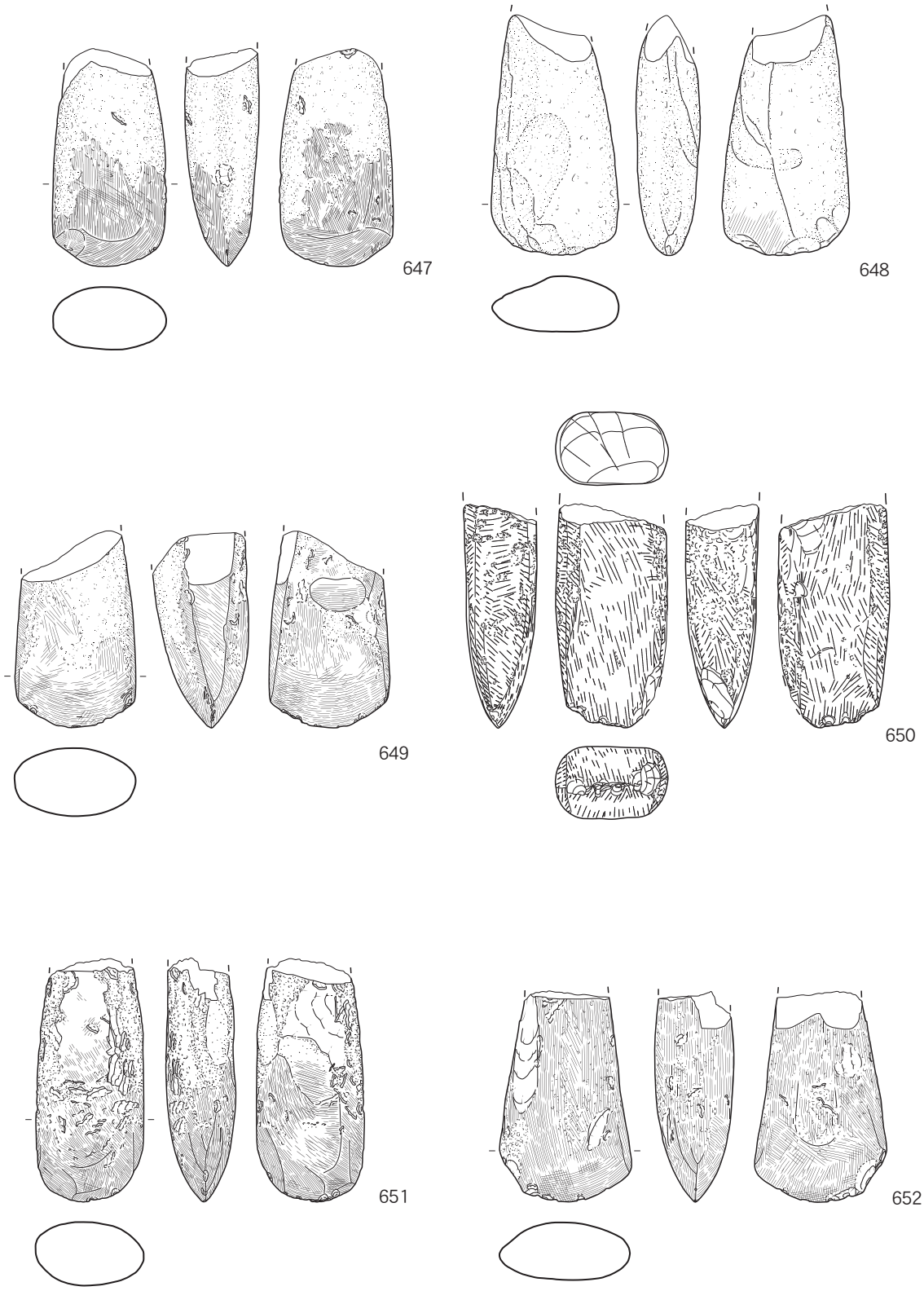


図 91　石斧 RQ 実測図 2

図 92　石斧 RQ 実測図 3

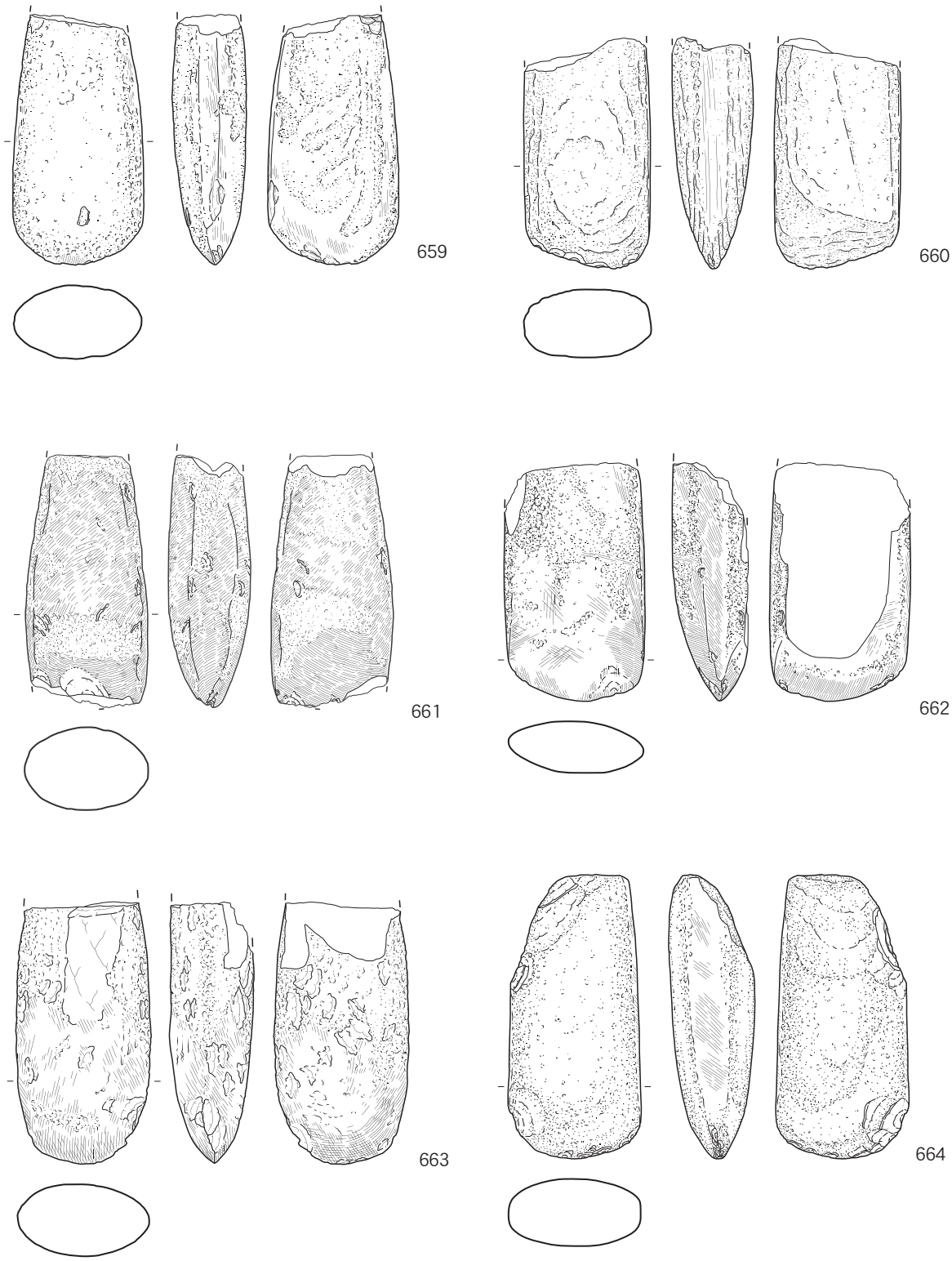


図 93　石斧 RQ 実測図 4

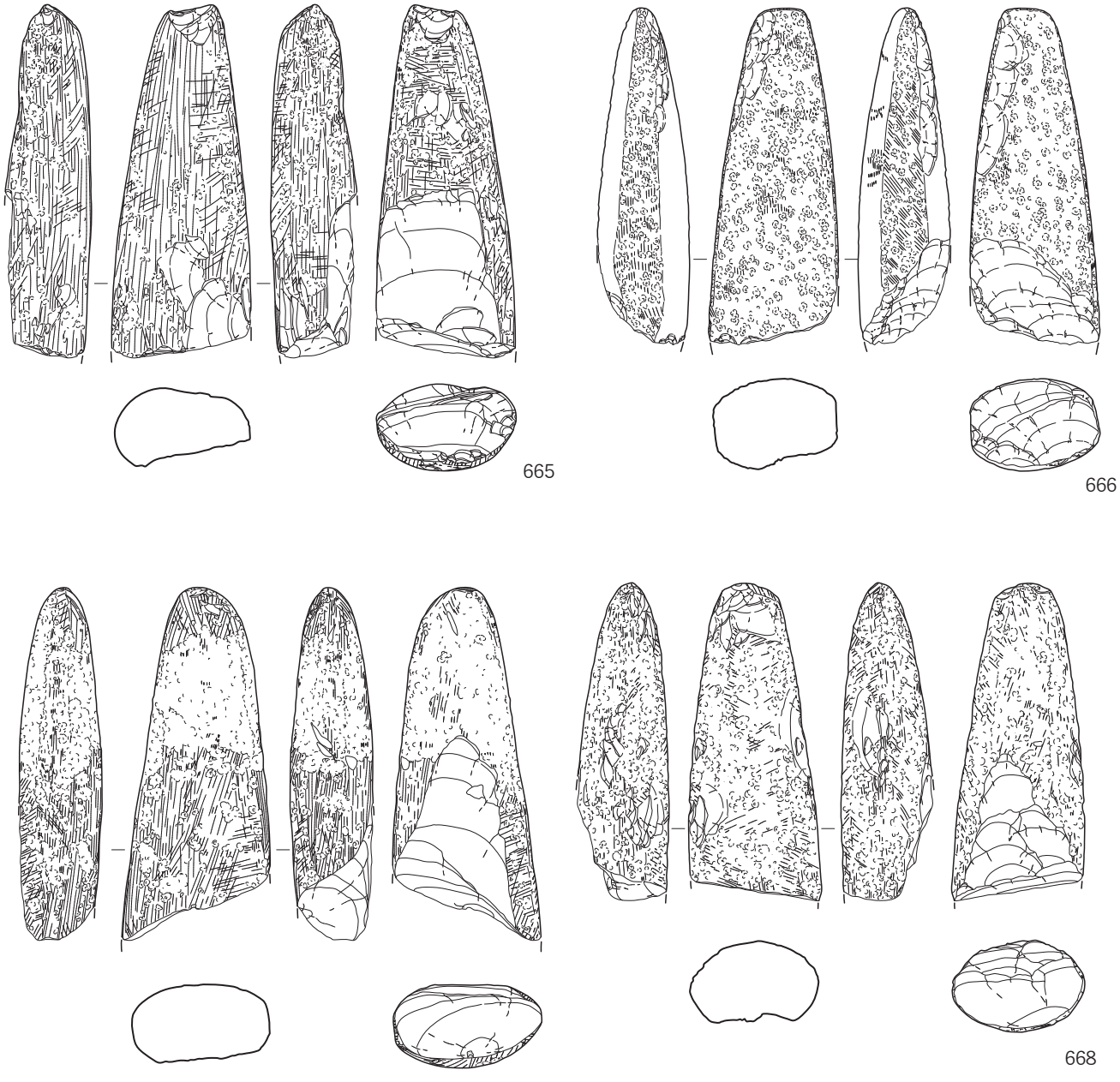
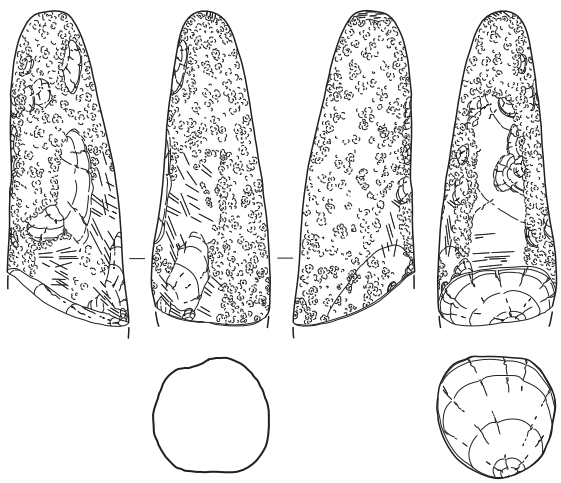
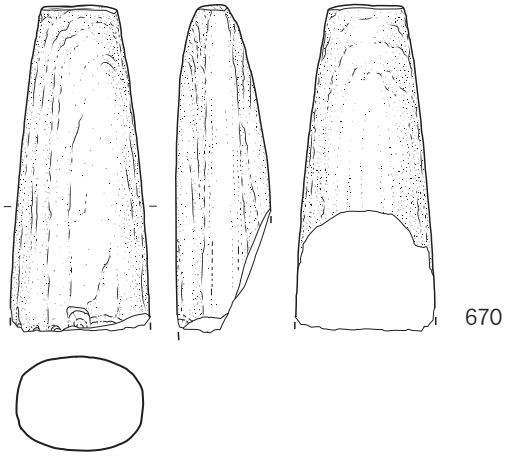
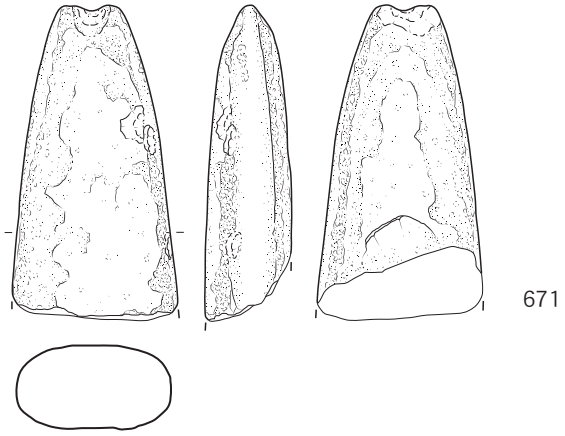
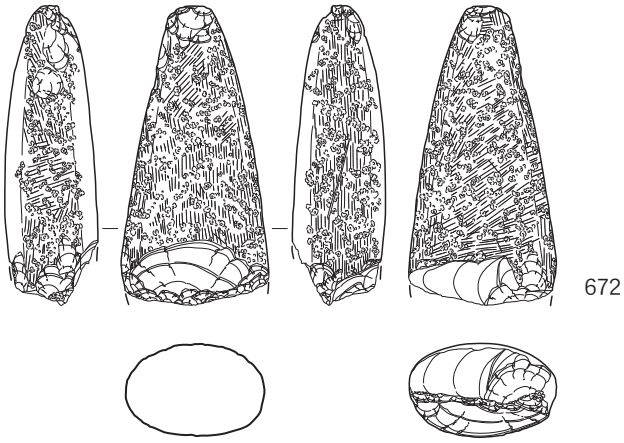


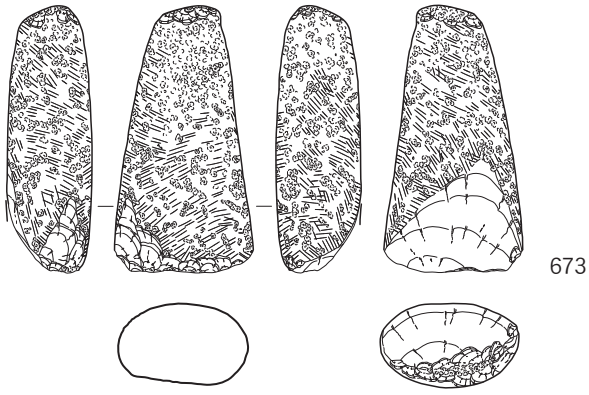
図 94　石斧 RQ 実測図 5

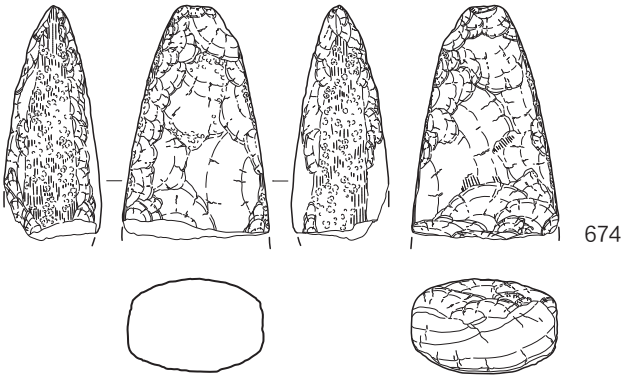












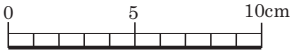


図 95　石斧 RQ 実測図 6

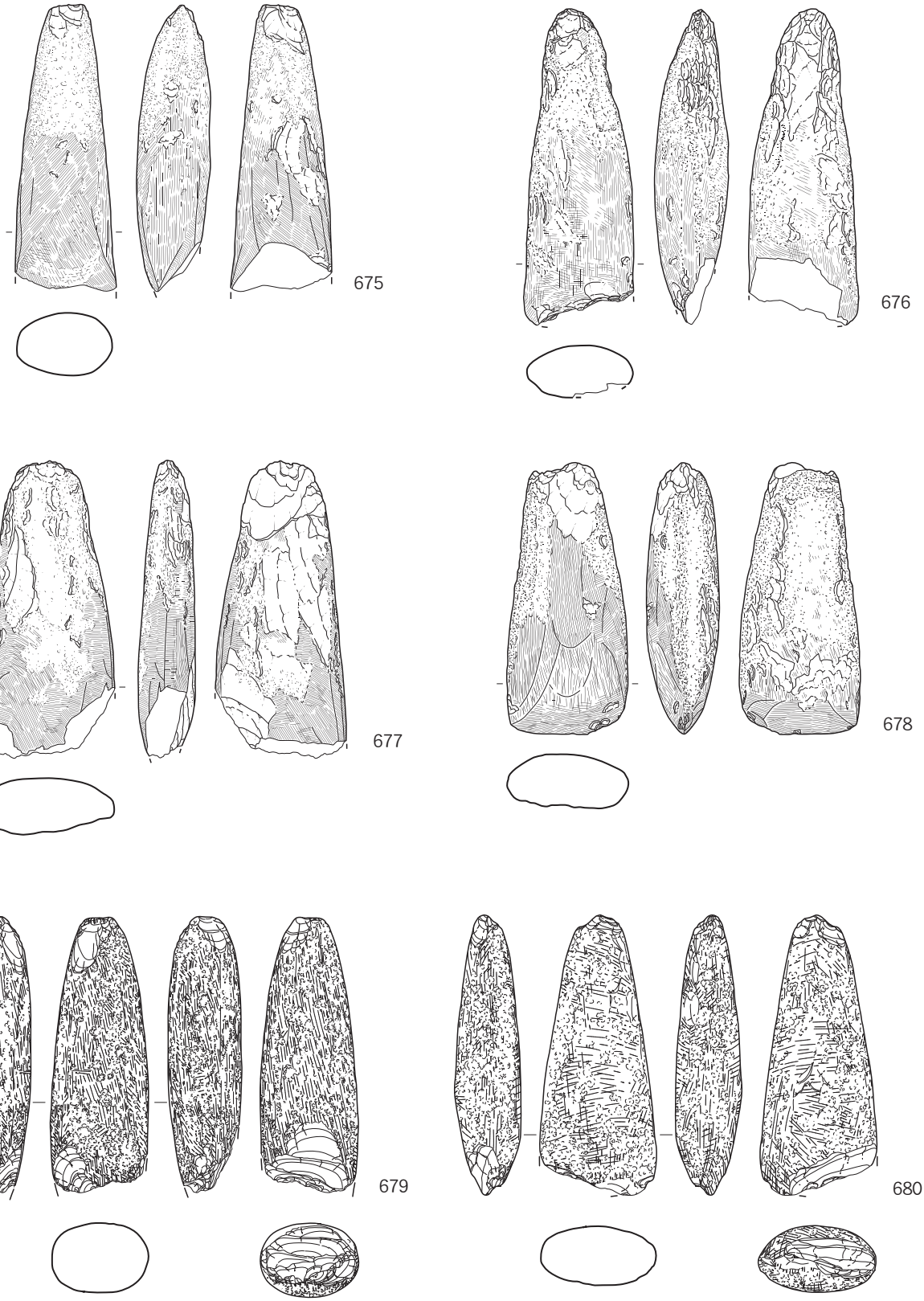
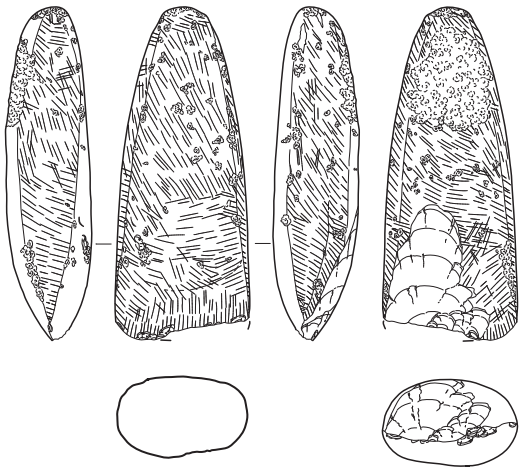
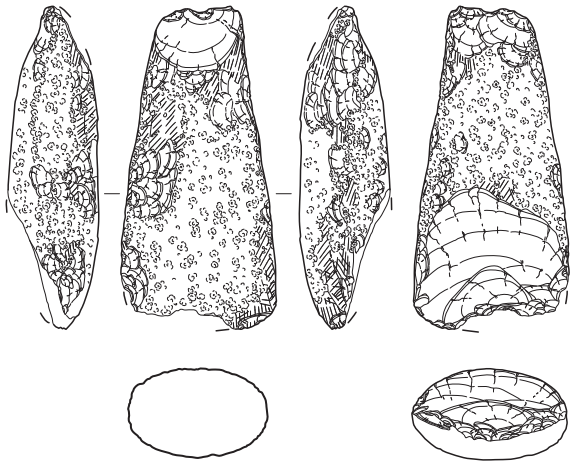
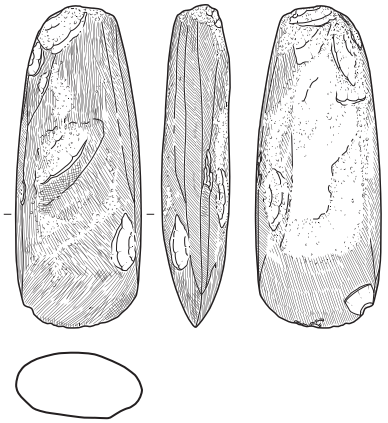
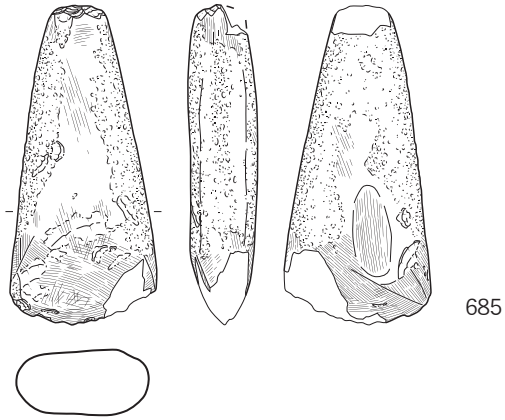


図 96　石斧 RQ 実測図 7









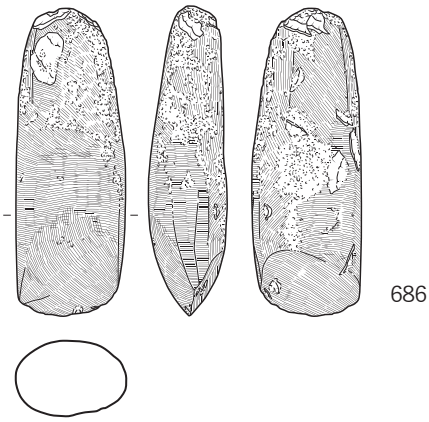


図 97　石斧 RQ 実測図 8

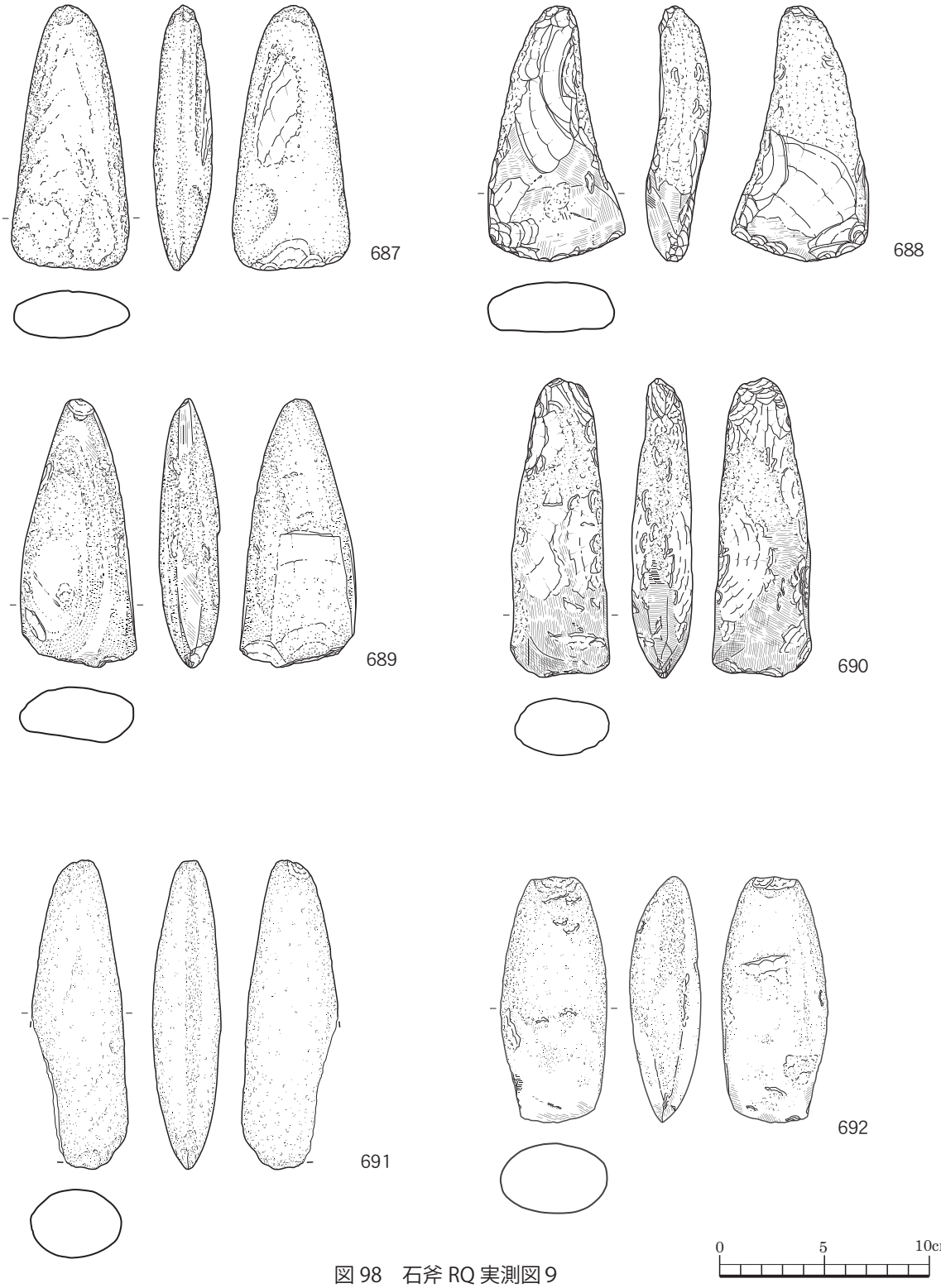


図 98　石斧 RQ 実測図 9

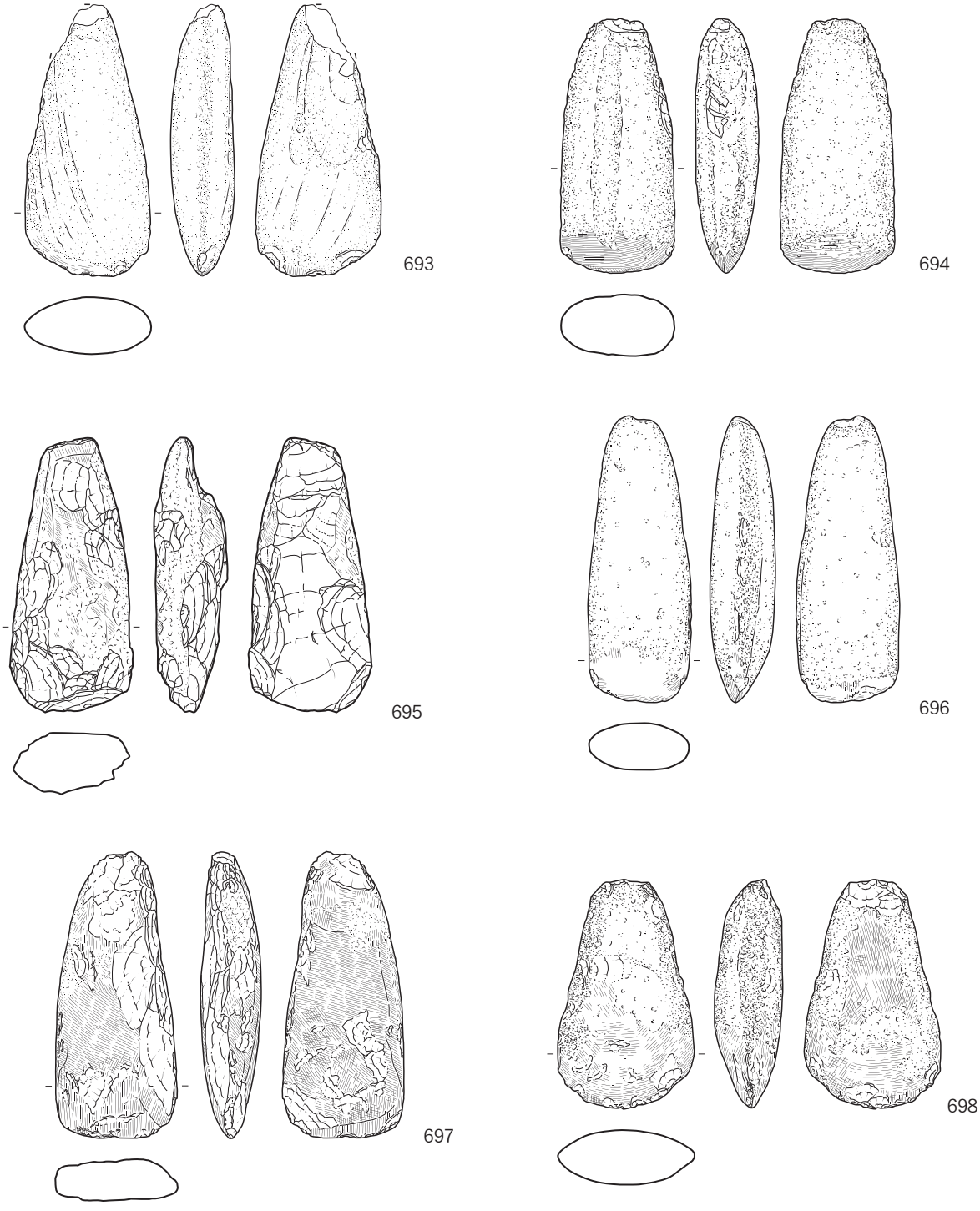


図 99　石斧 RQ 実測図 10

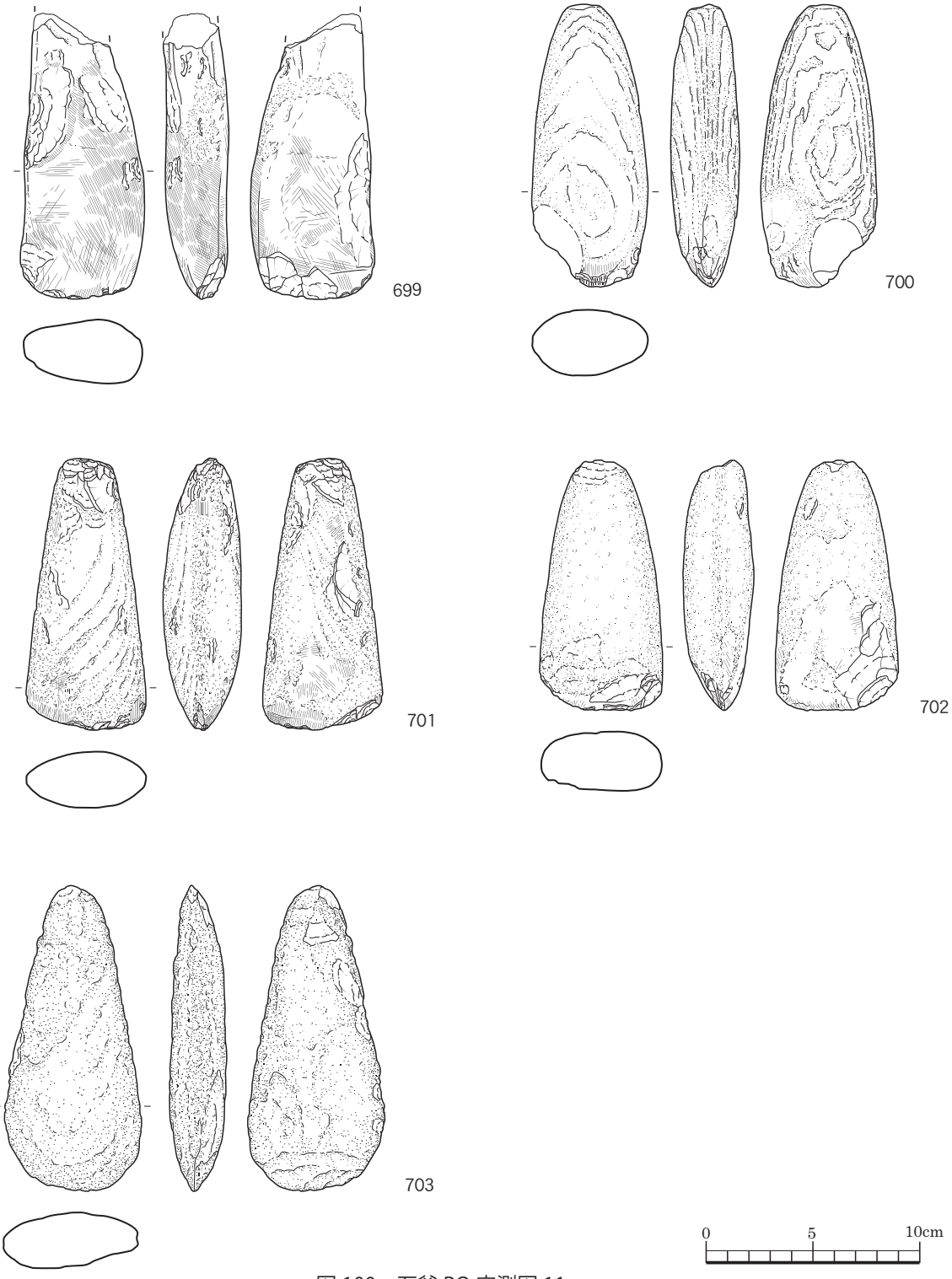


図 100　石斧 RQ 実測図 11

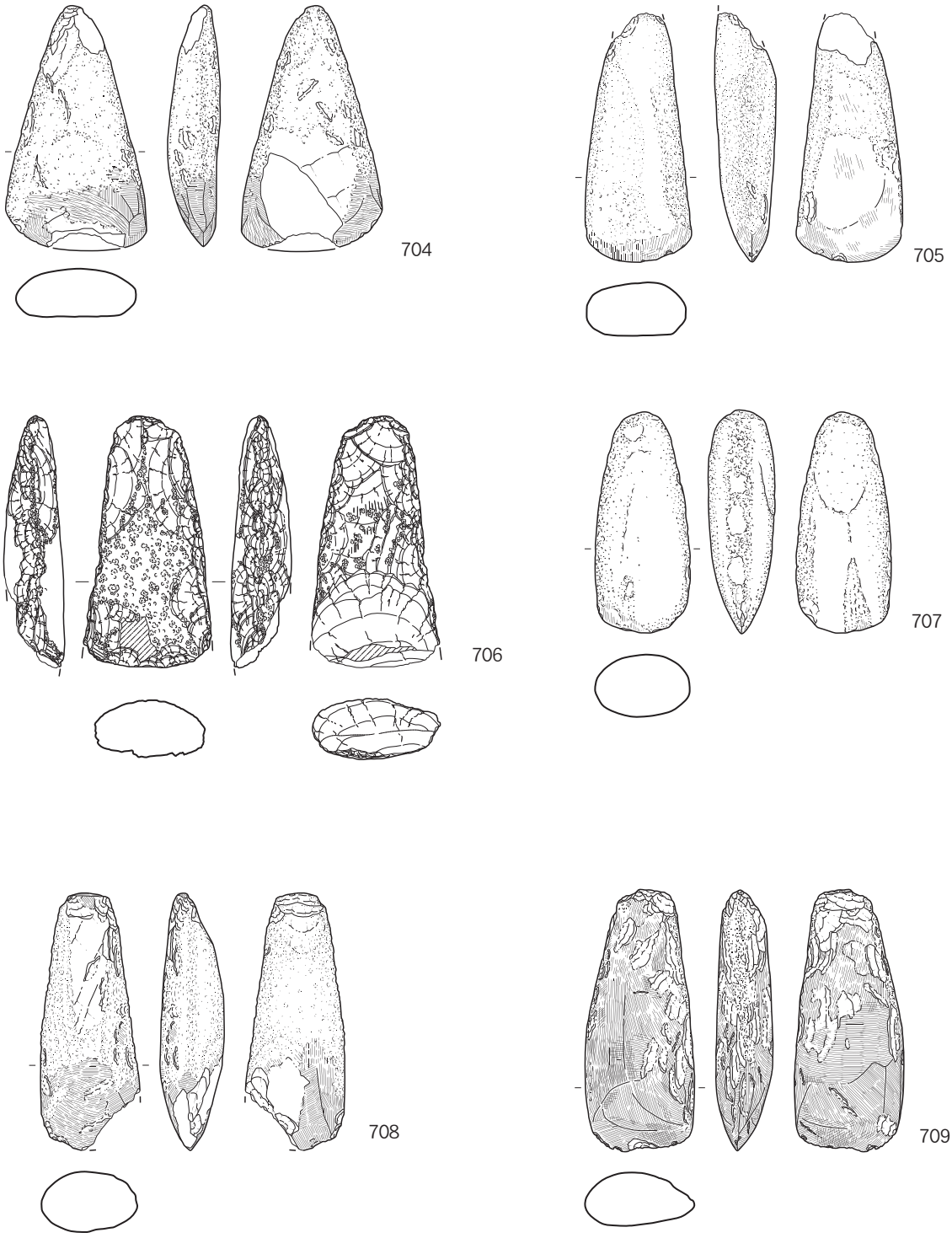


図 101　石斧 RQ 実測図 12

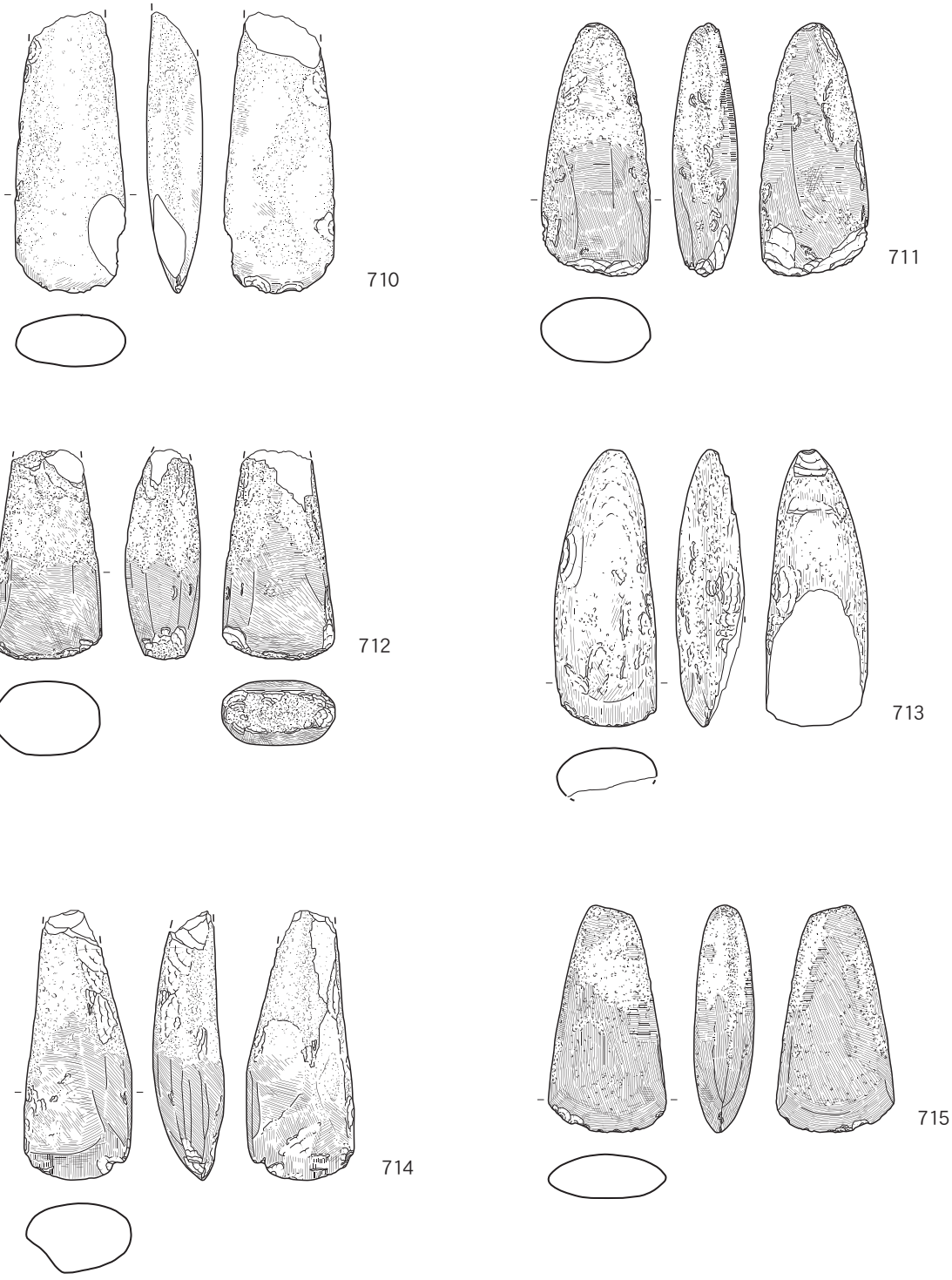


図 102　石斧 RQ 実測図 13

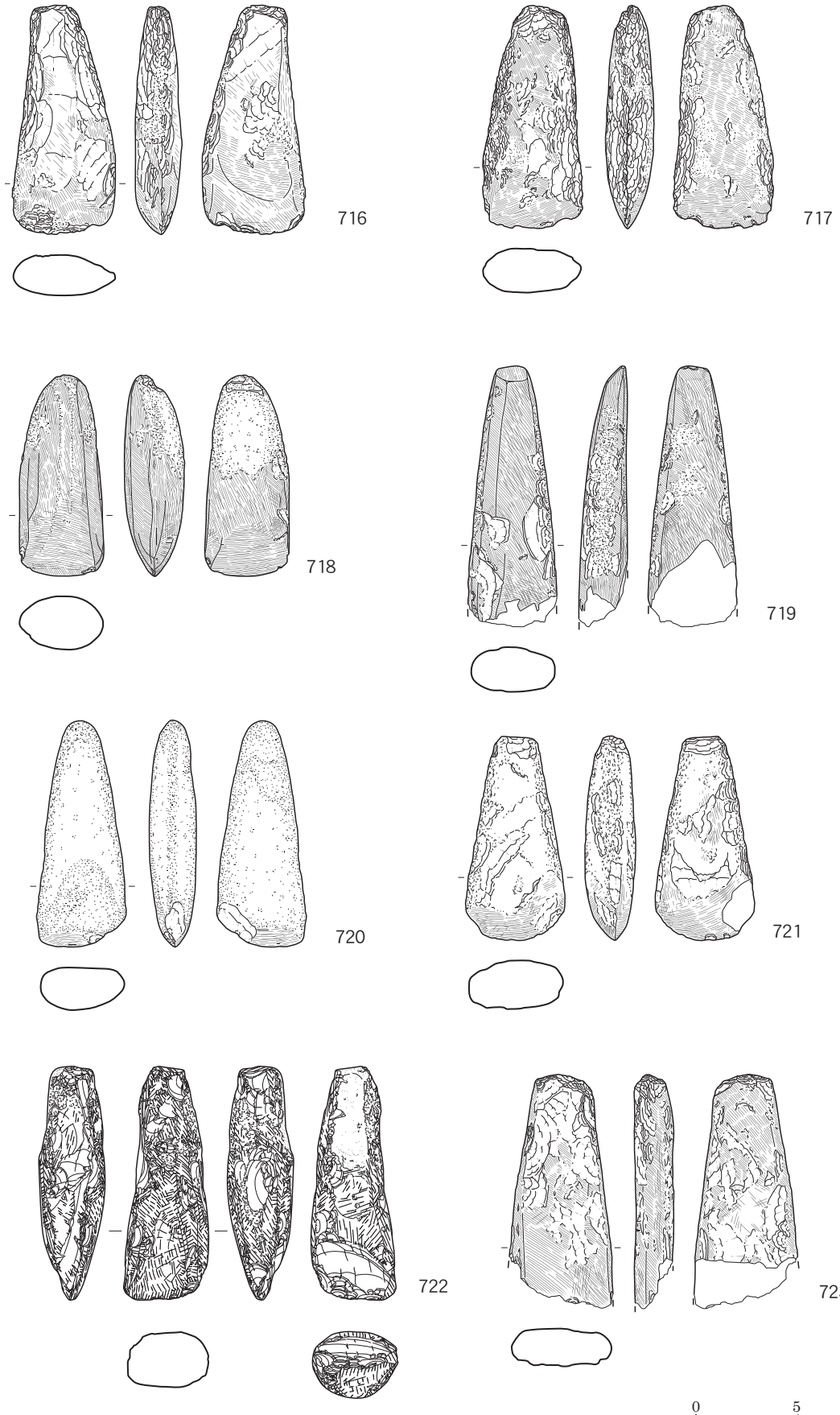


図 103　石斧 RQ 実測図 14

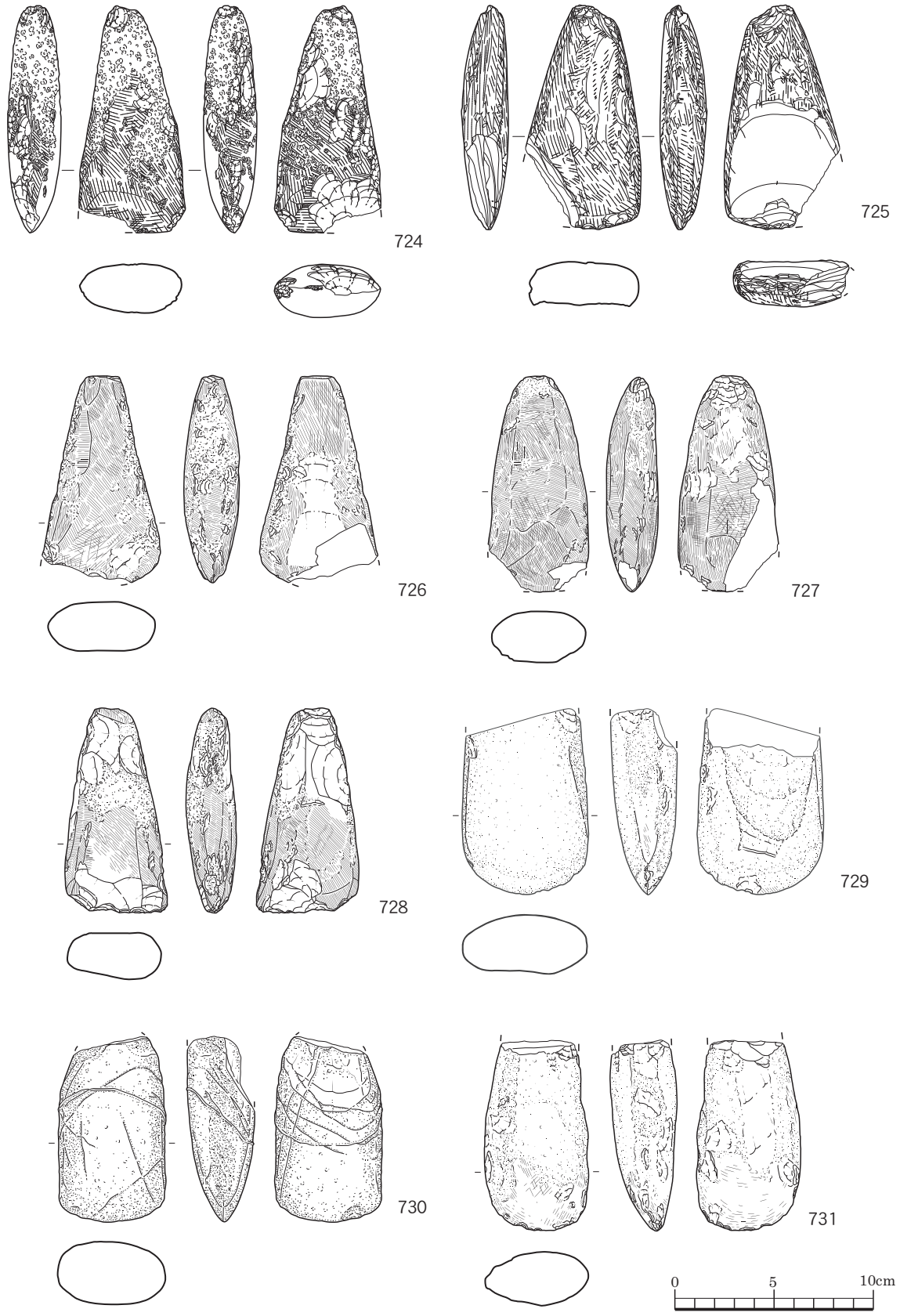


図 104　石斧 RQ 実測図 15

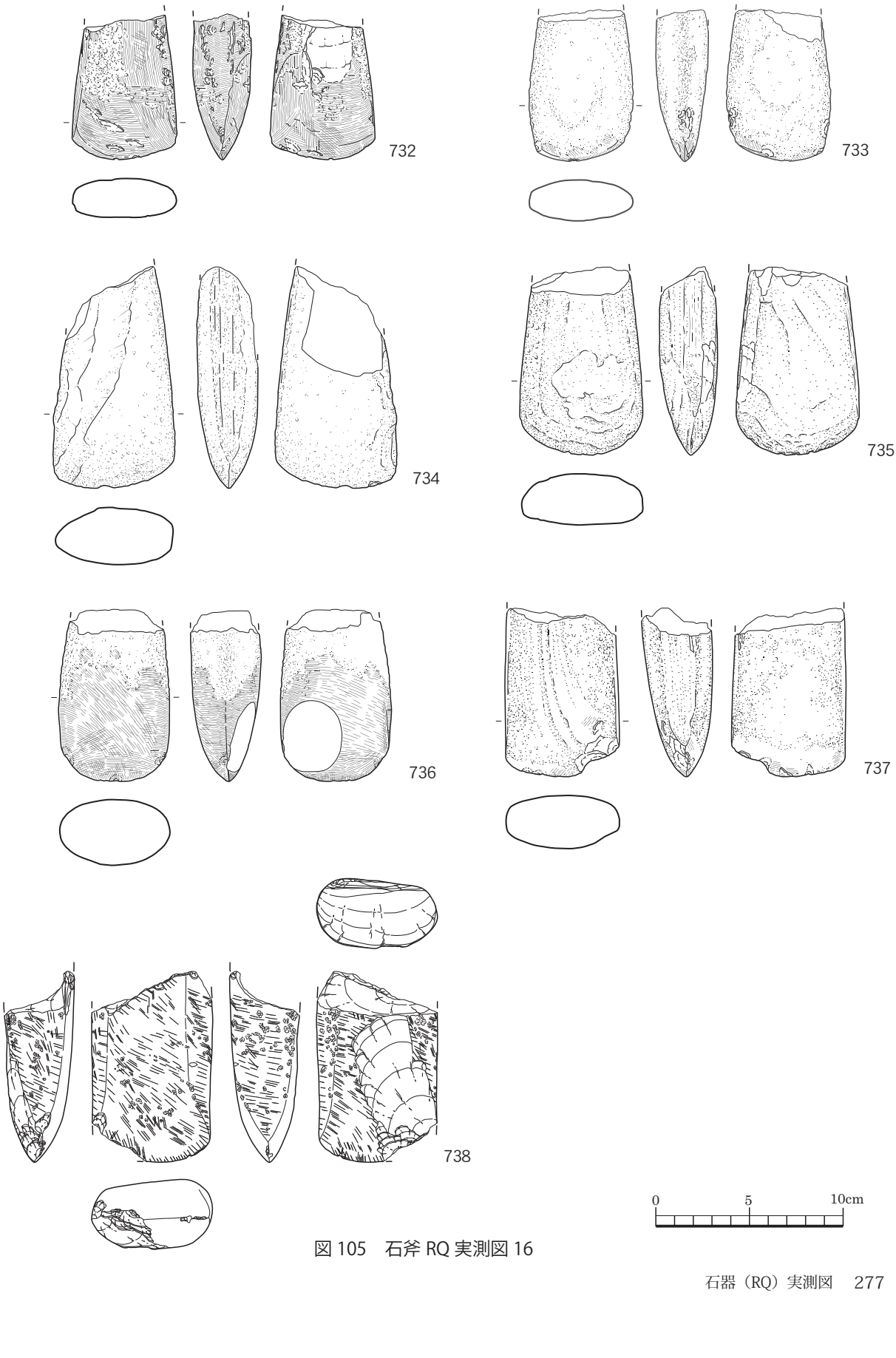


図 105　石斧 RQ 実測図 16

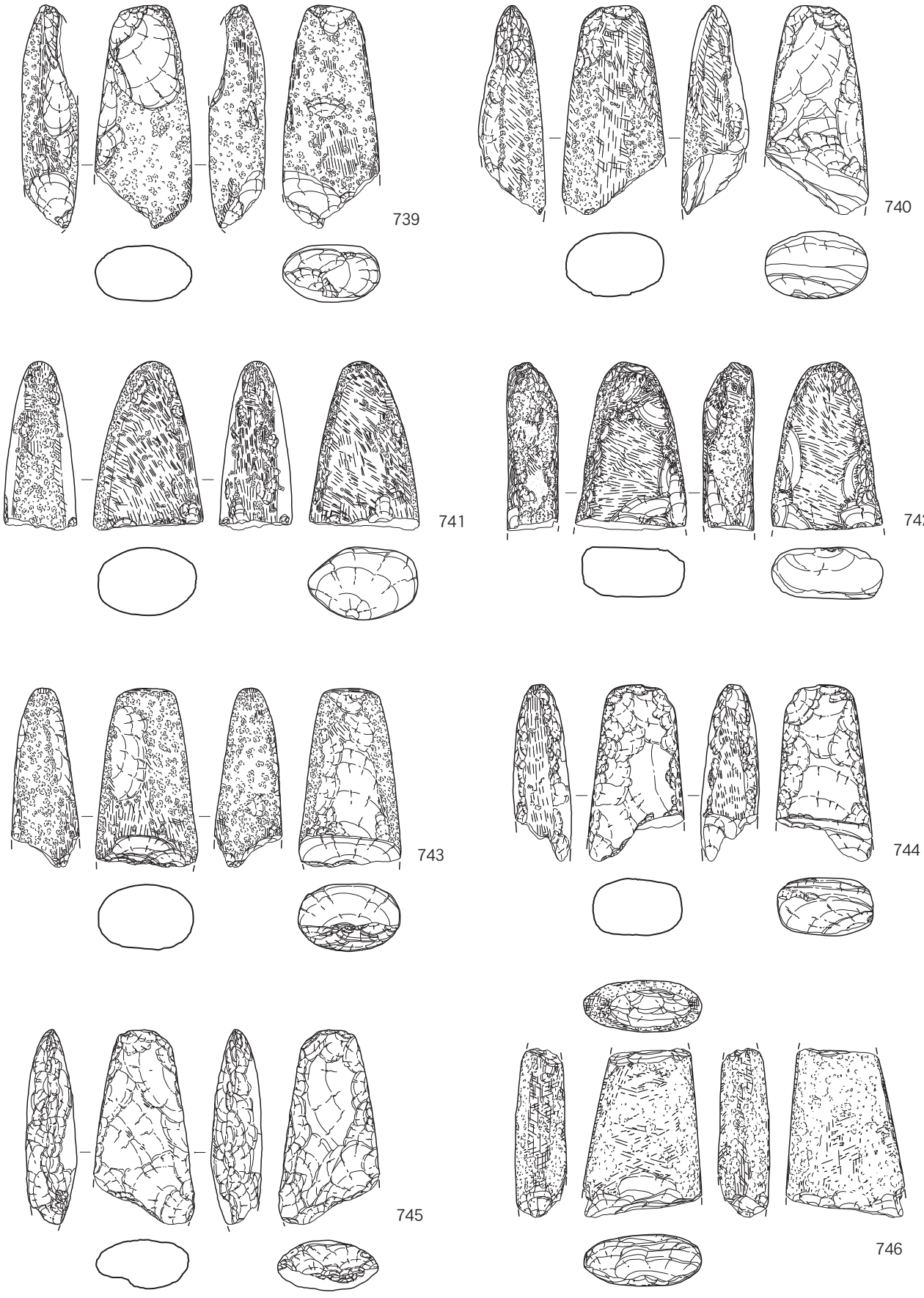


図 106　石斧 RQ 実測図 17

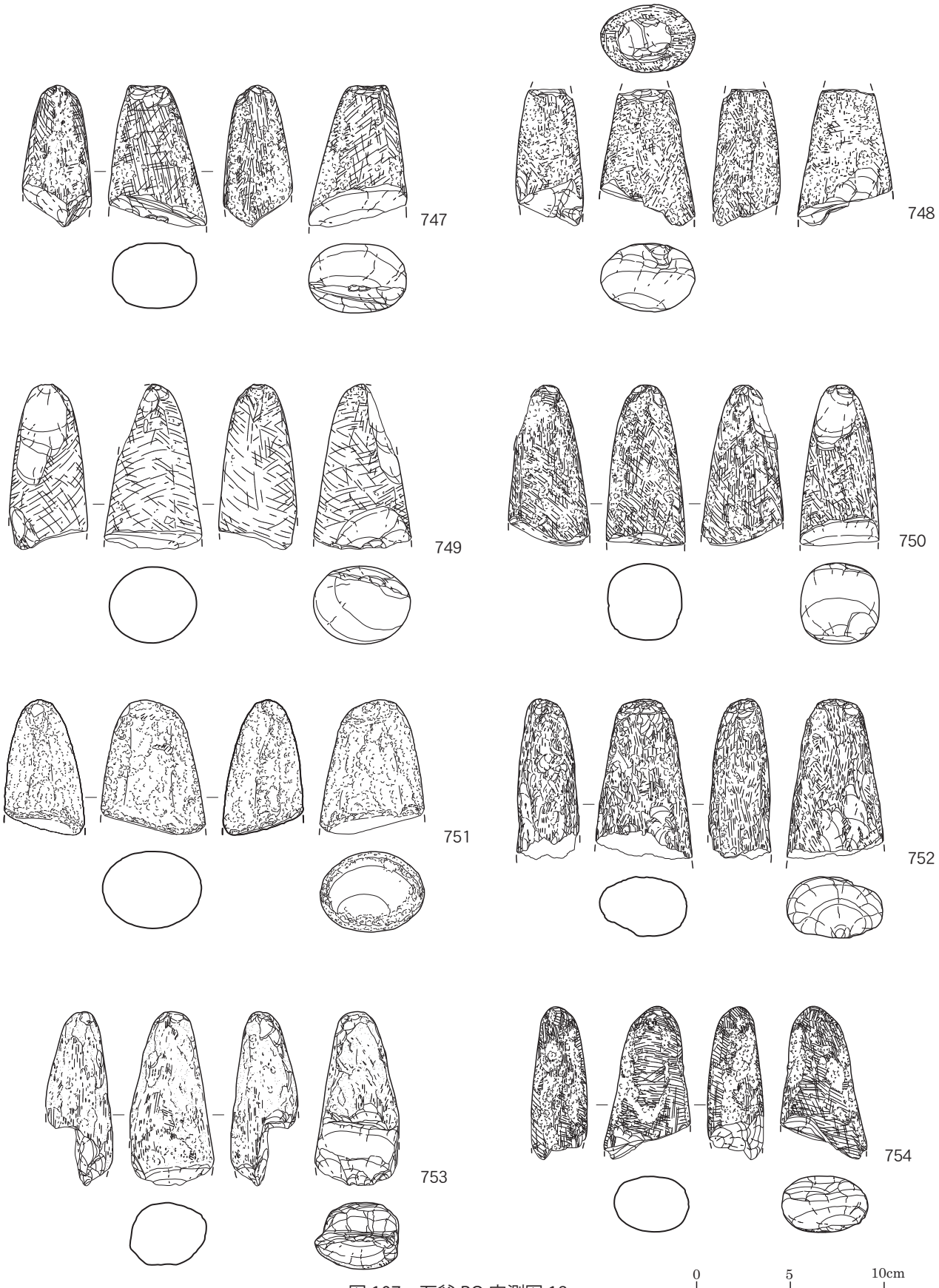


図 107　石斧 RQ 実測図 18

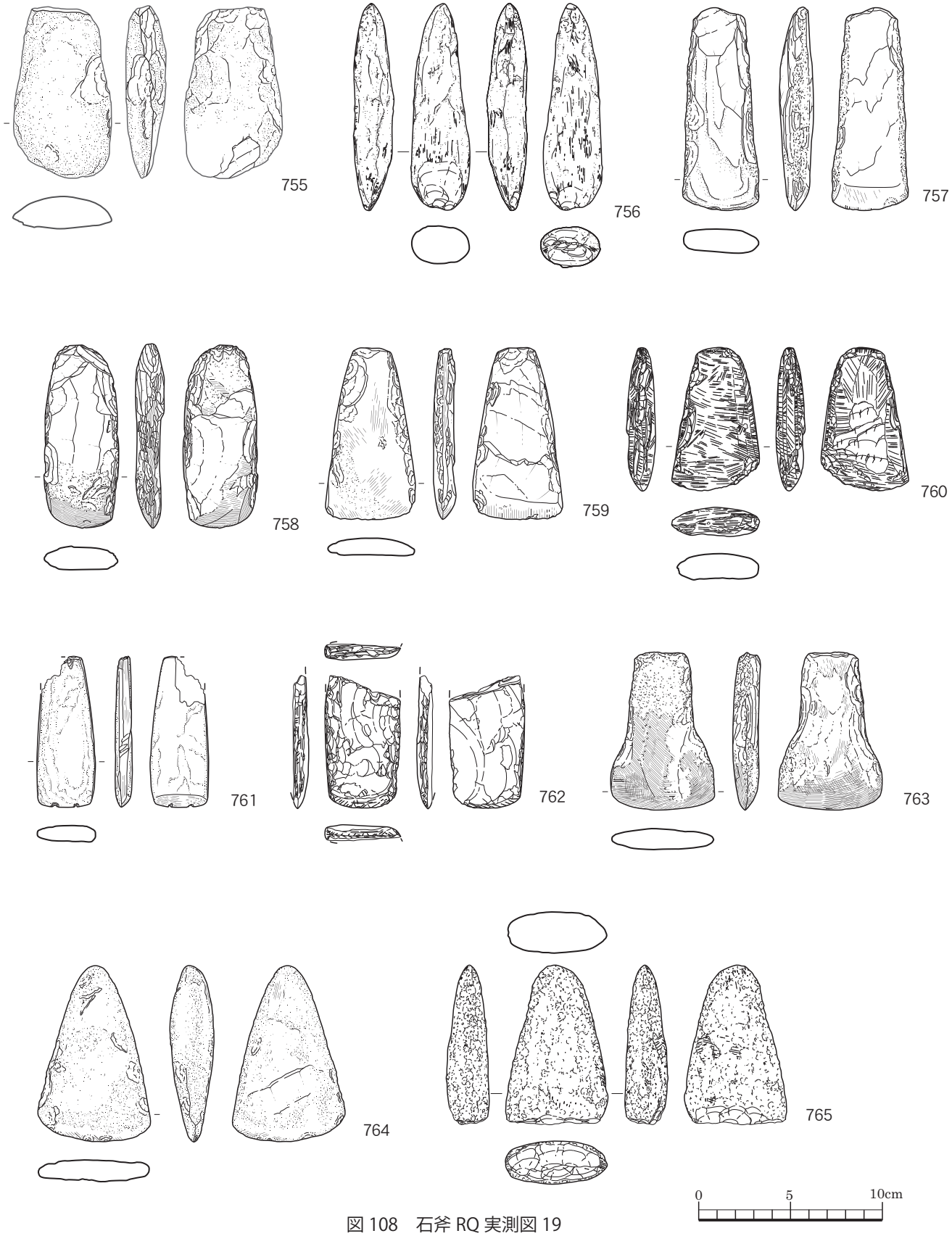


図 108　石斧 RQ 実測図 19

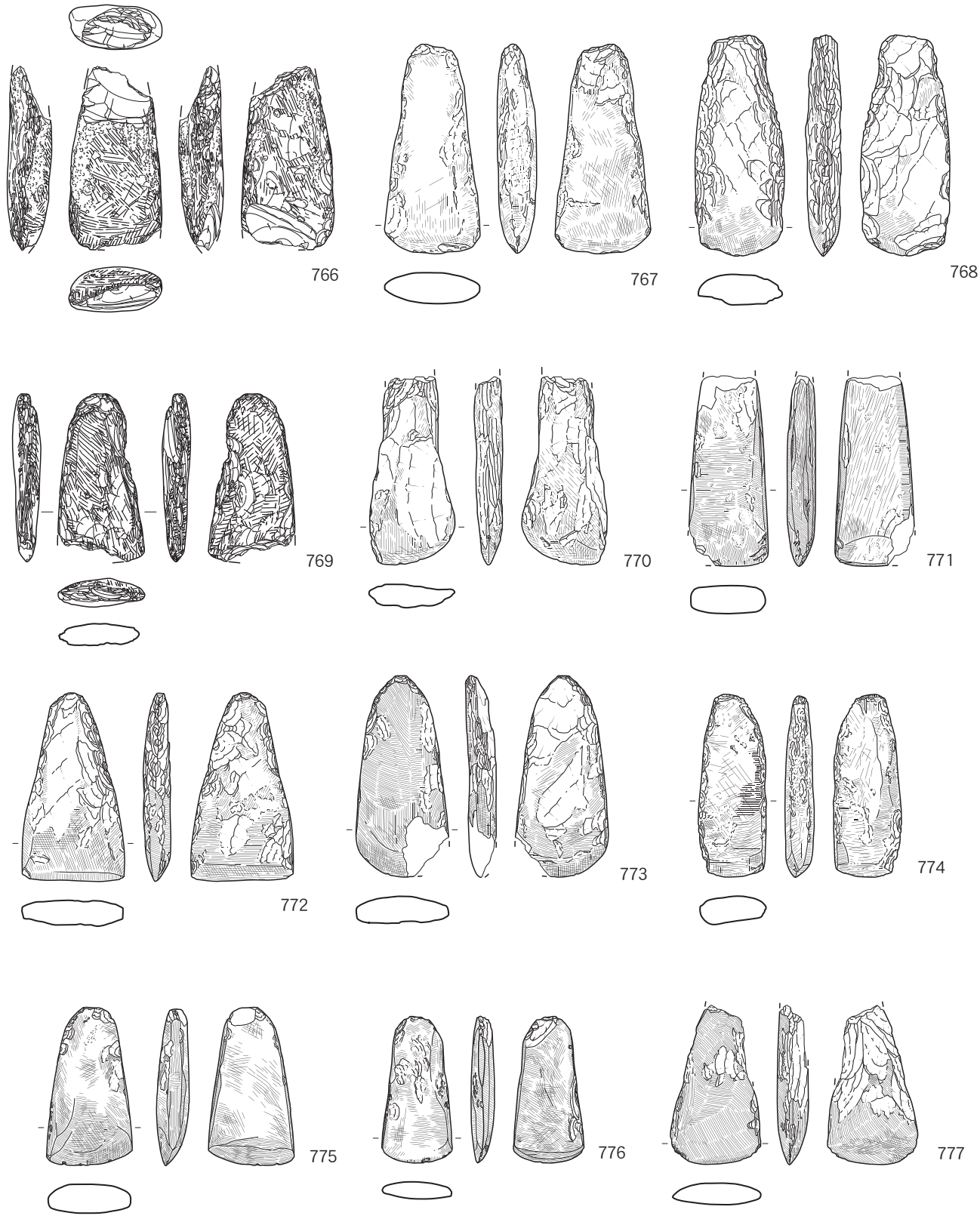


図 109　石斧 RQ 実測図 20

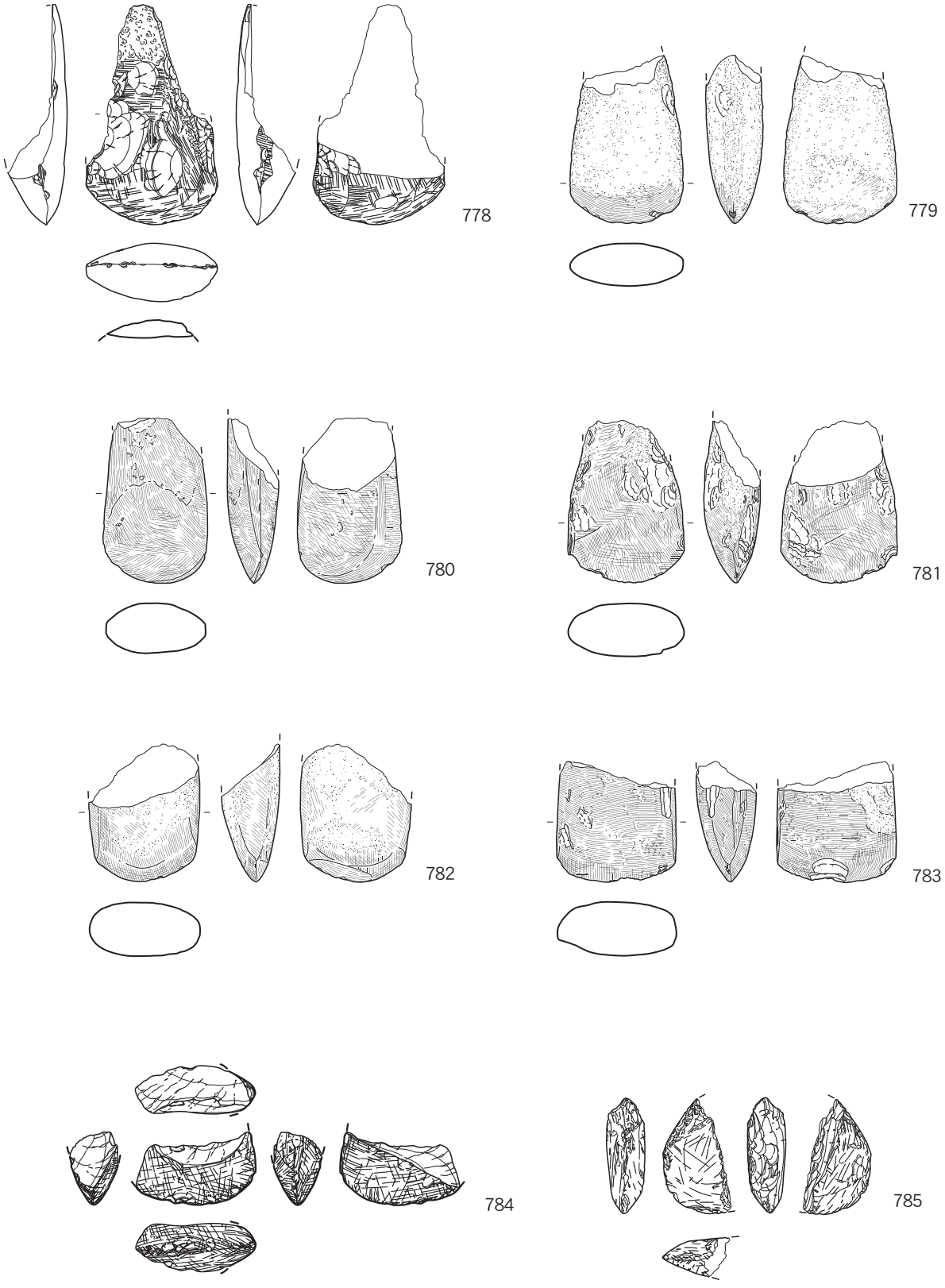
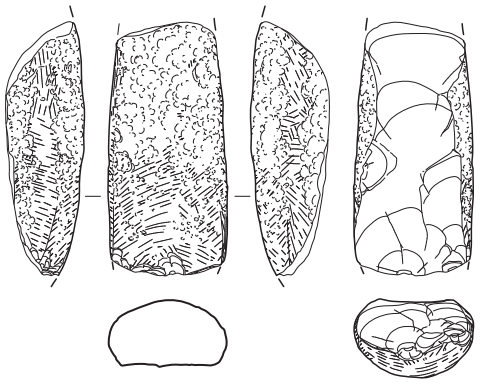
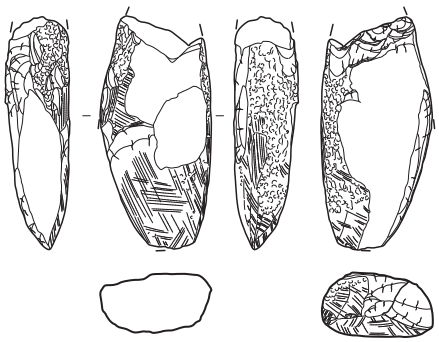
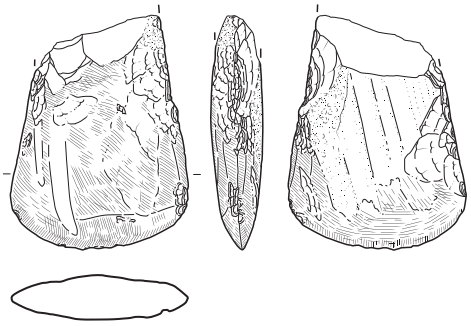
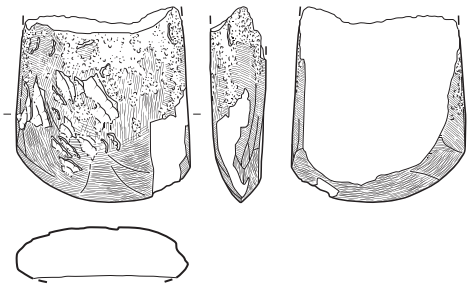


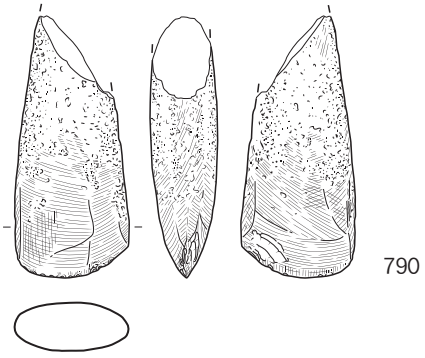
図 110　石斧 RQ 実測図 21

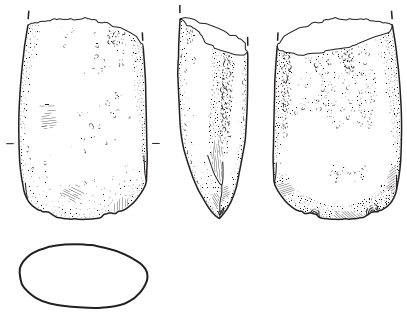


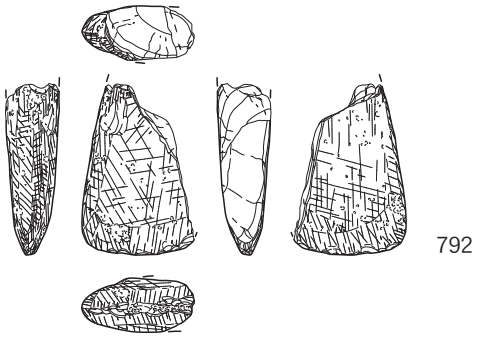


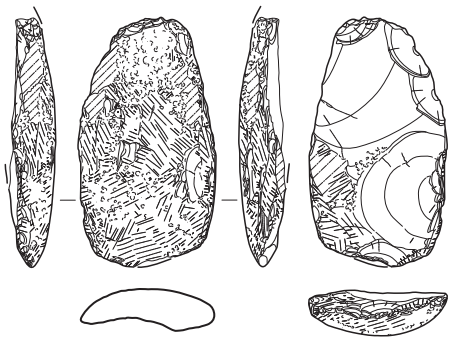


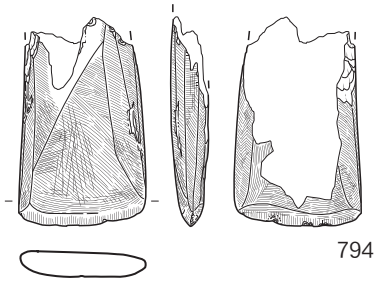


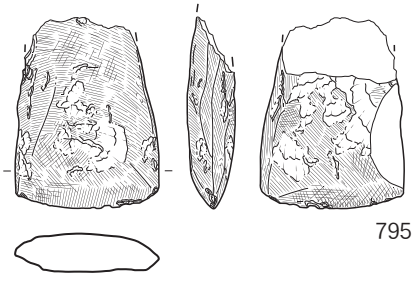


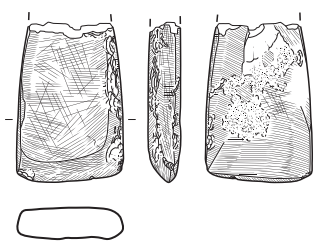












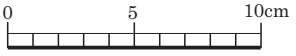


図 111　石斧 RQ 実測図 22

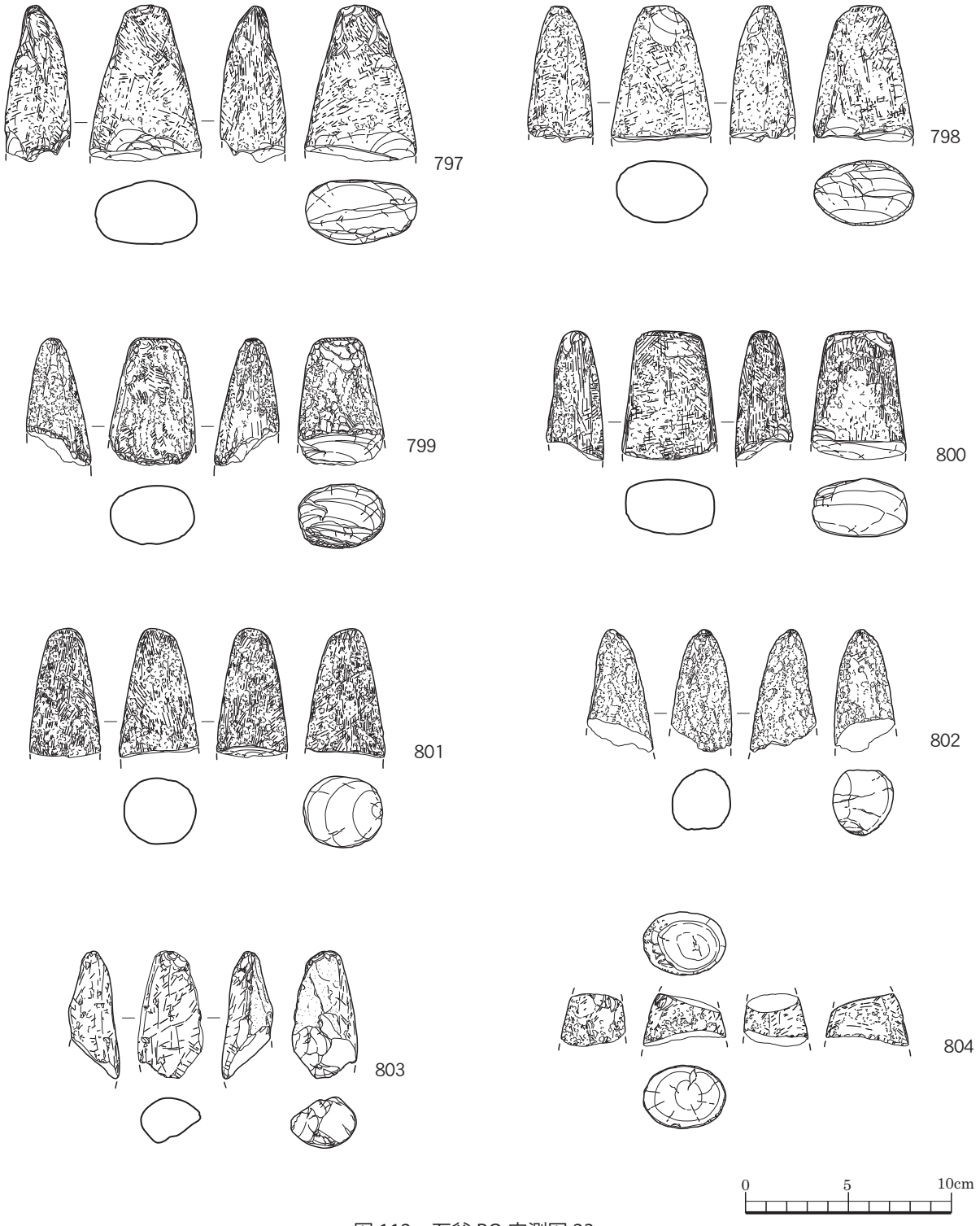


図 112　石斧 RQ 実測図 23

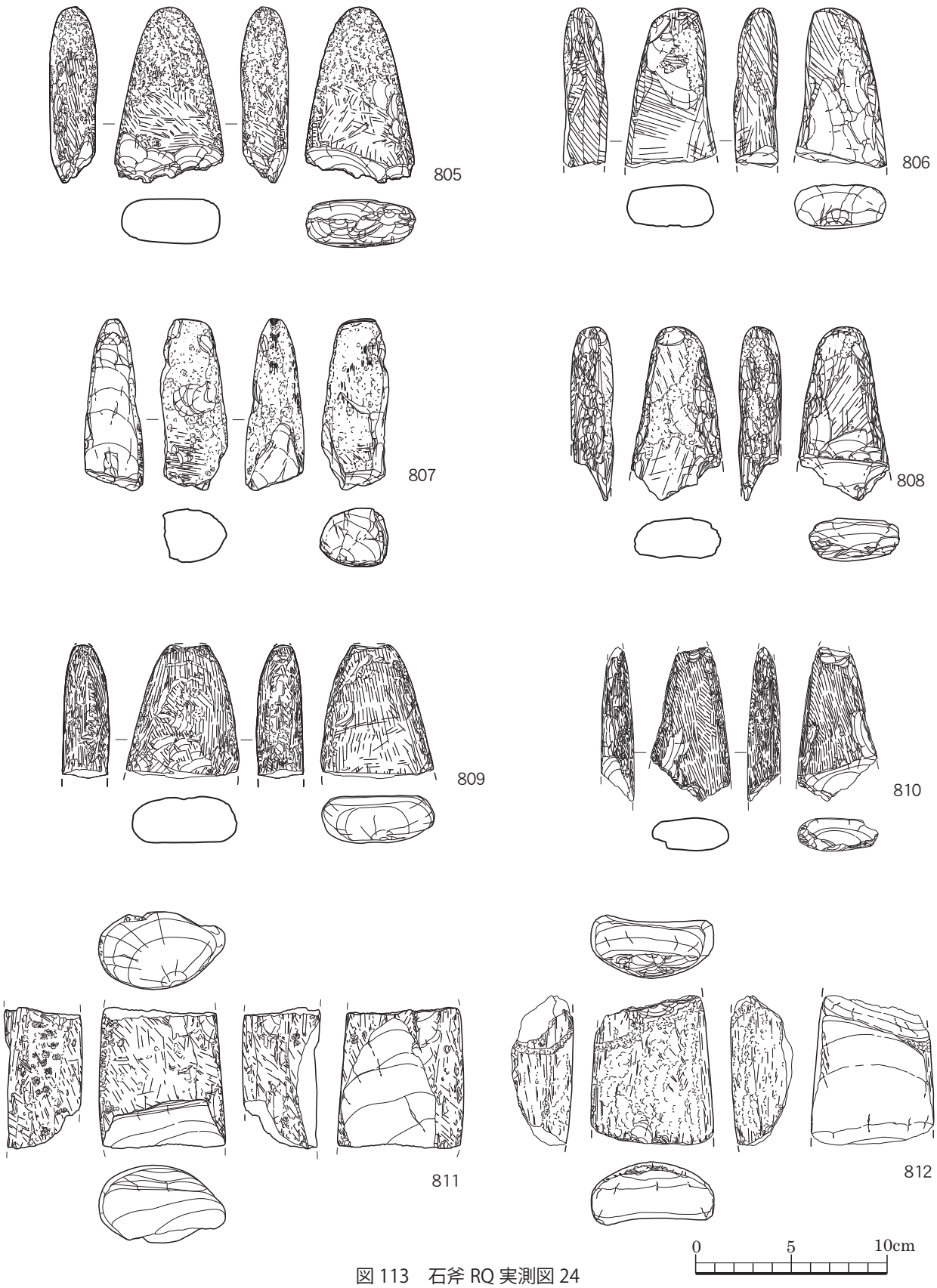
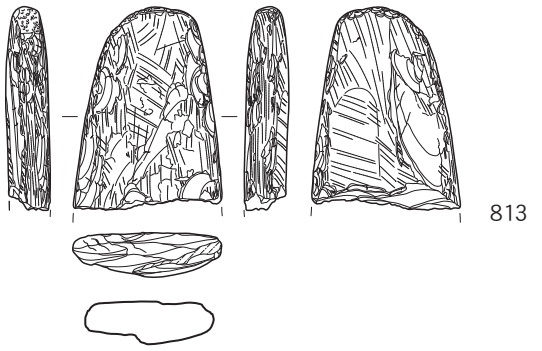
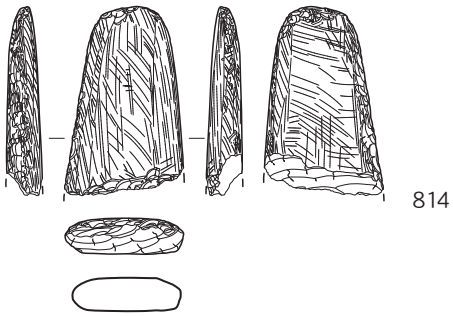
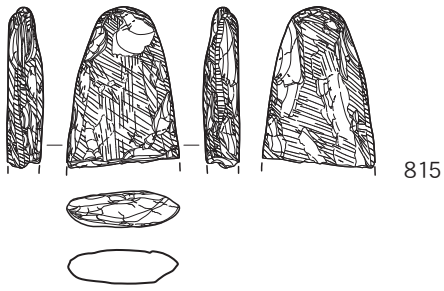
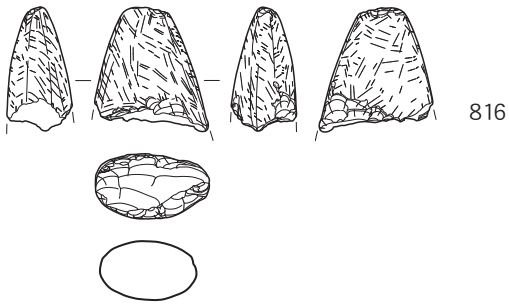


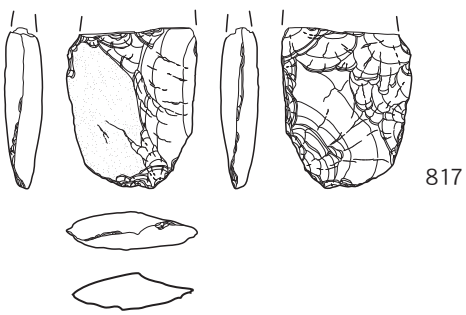
図 113　石斧 RQ 実測図 24

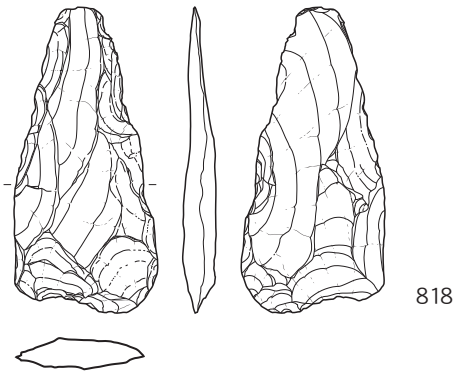












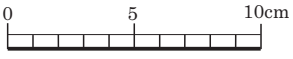


図 114　石斧 RQ 実測図 25

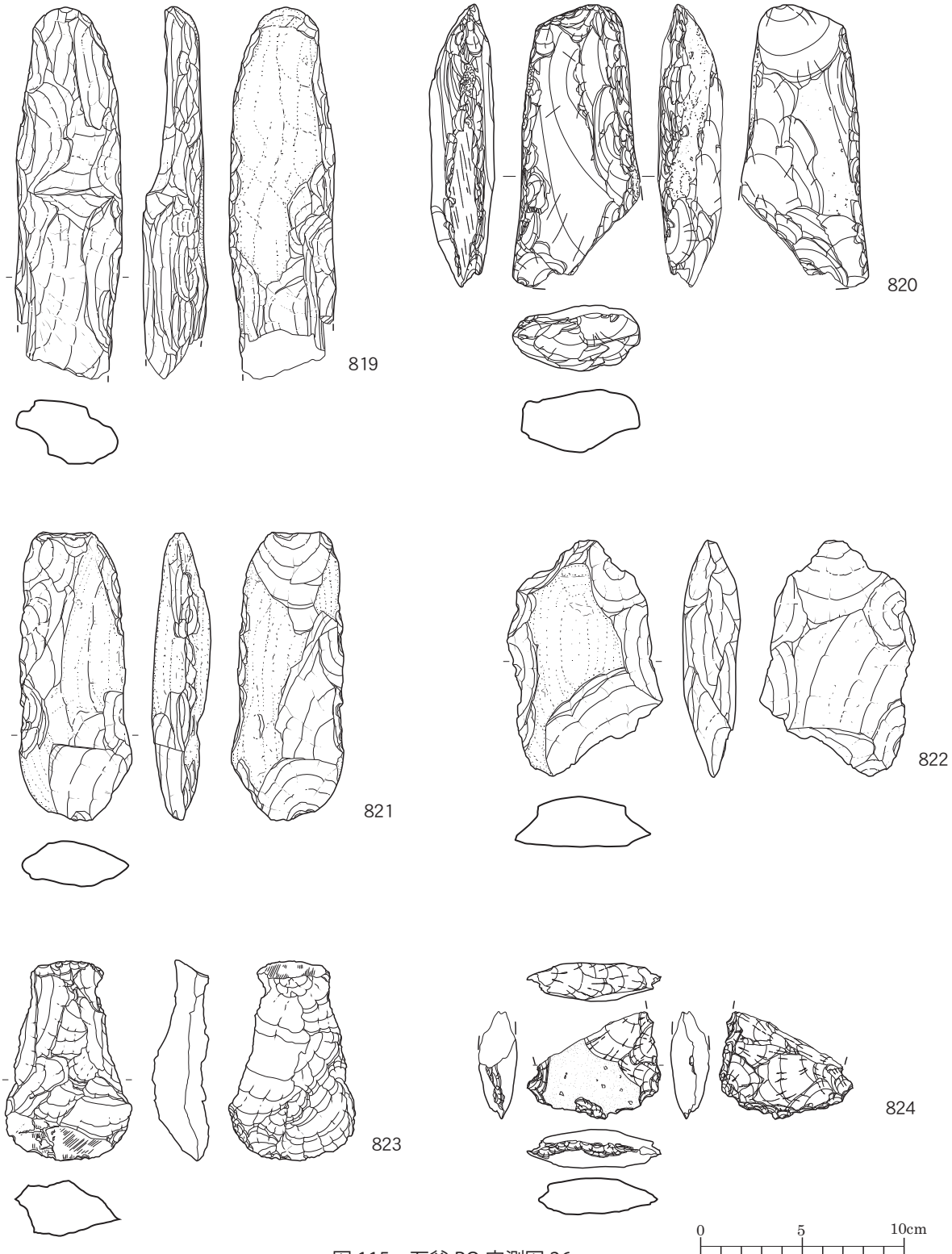


図 115　石斧 RQ 実測図 26

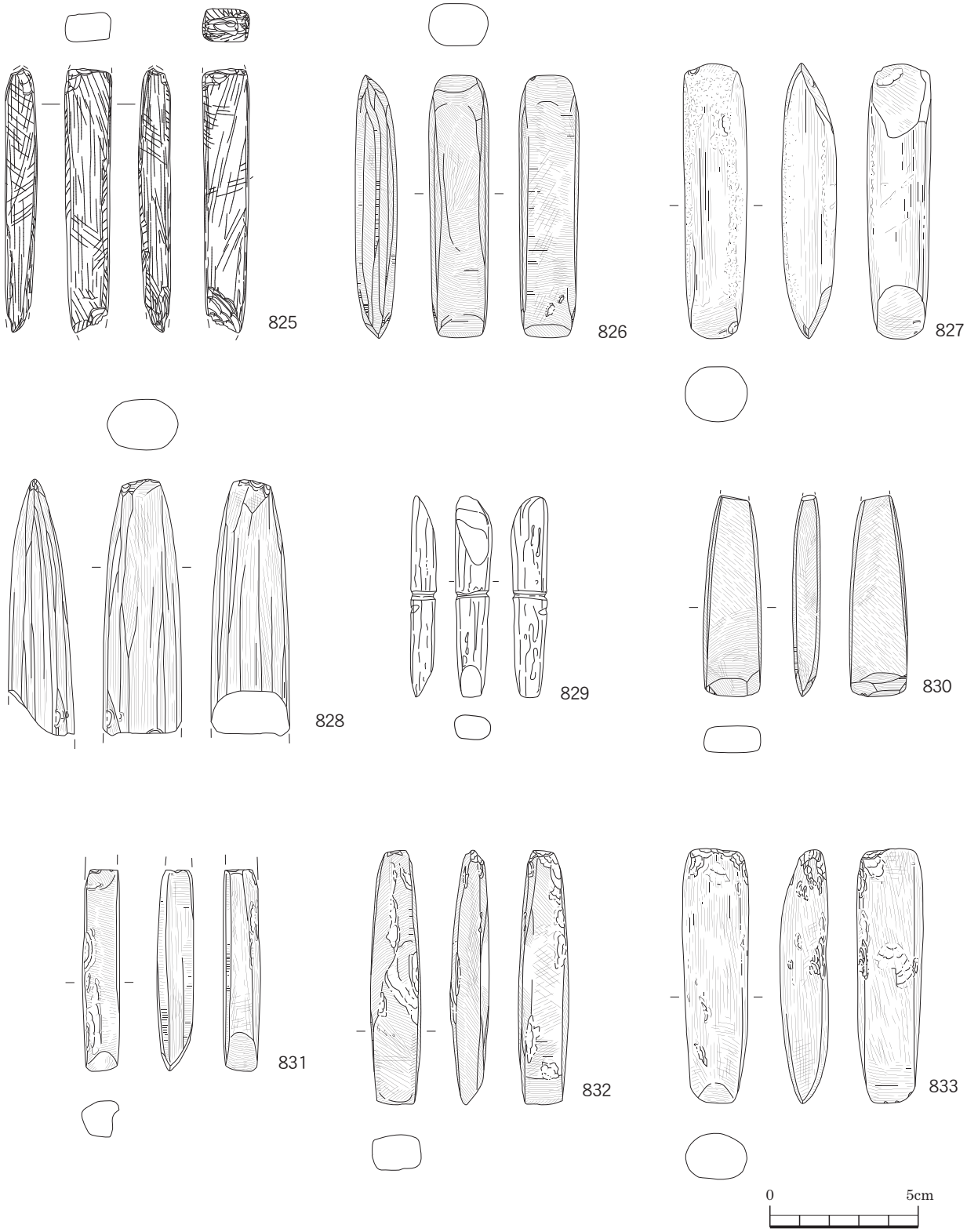


図 116　石斧 RQ 実測図 27

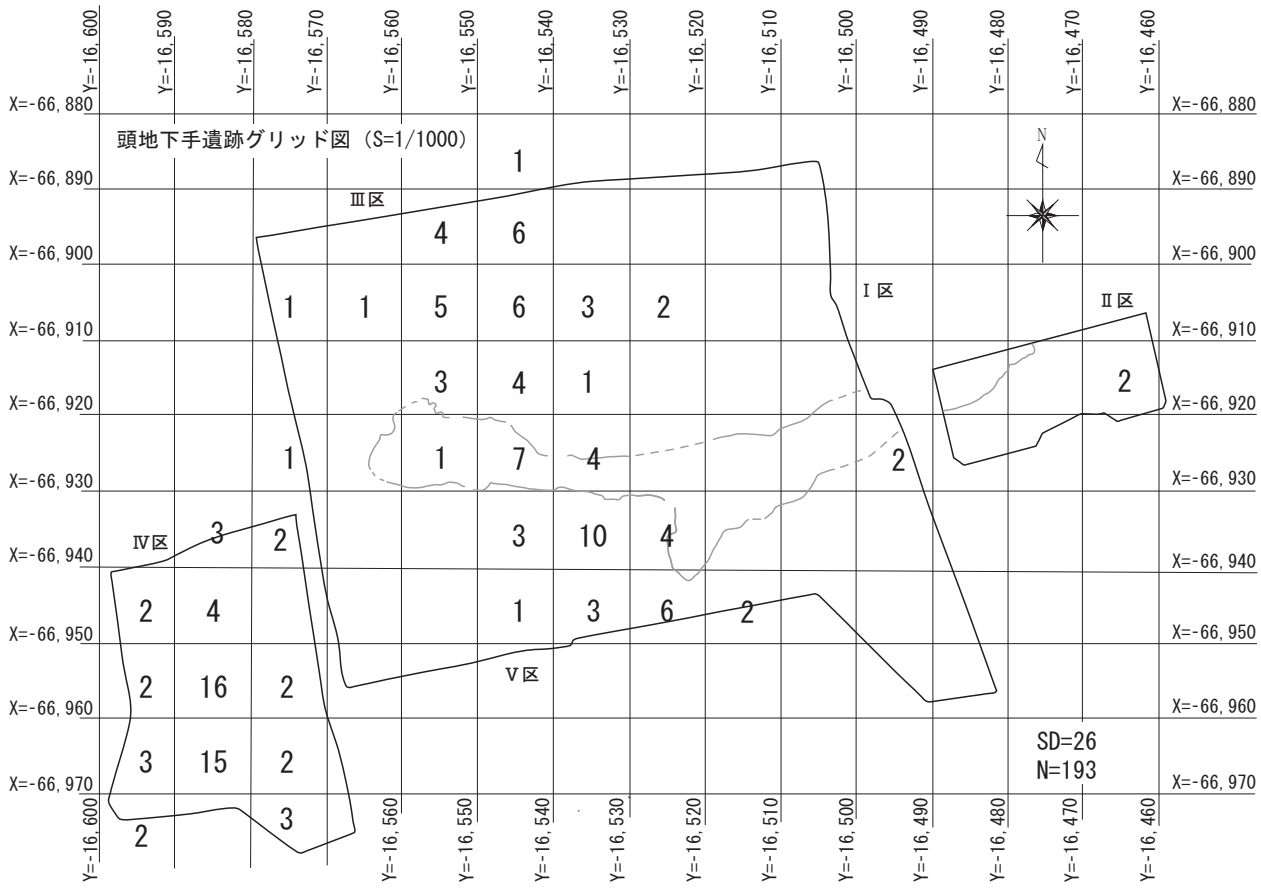


図 117　石斧分布図

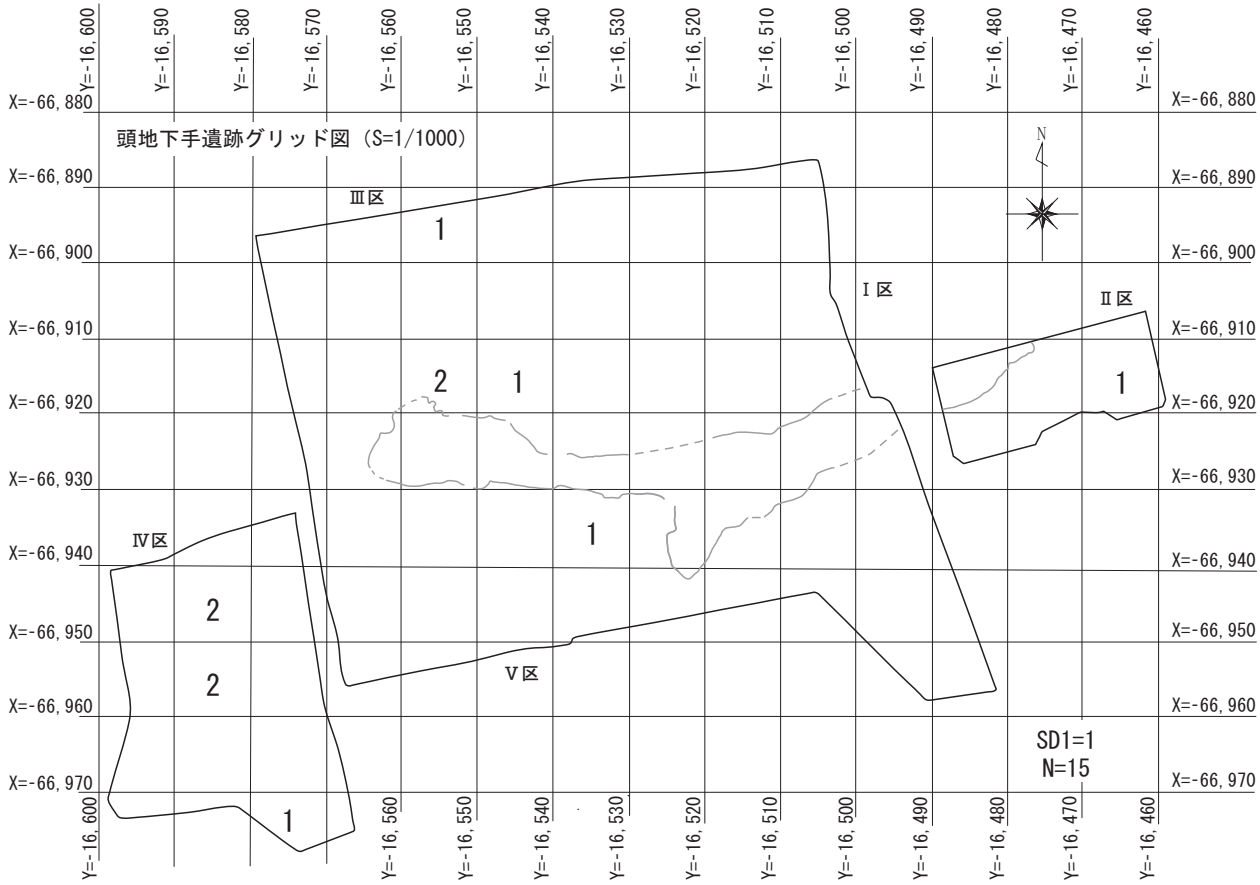


図 118　磨石分布図

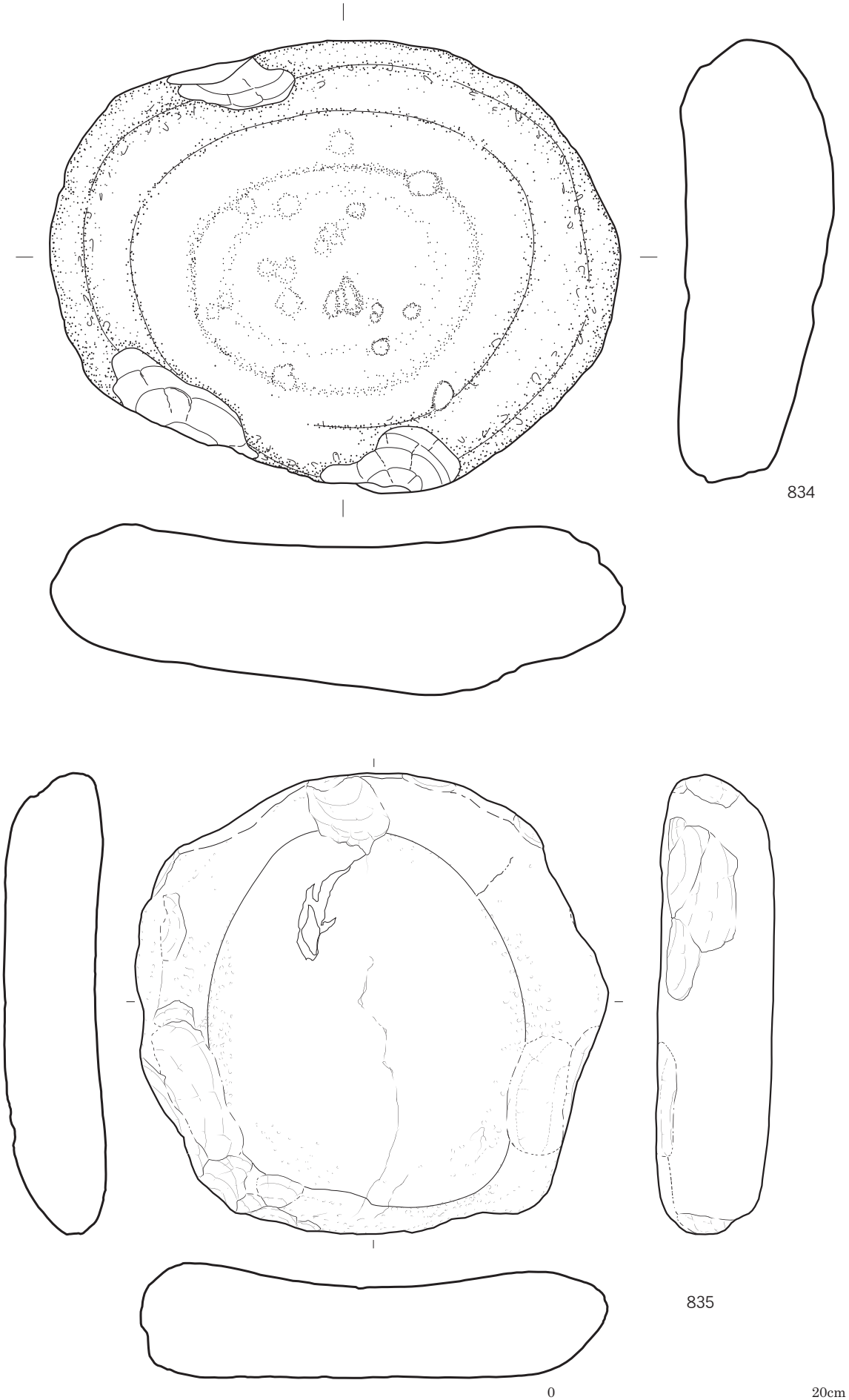


図 119　石皿 RQ 実測図 1

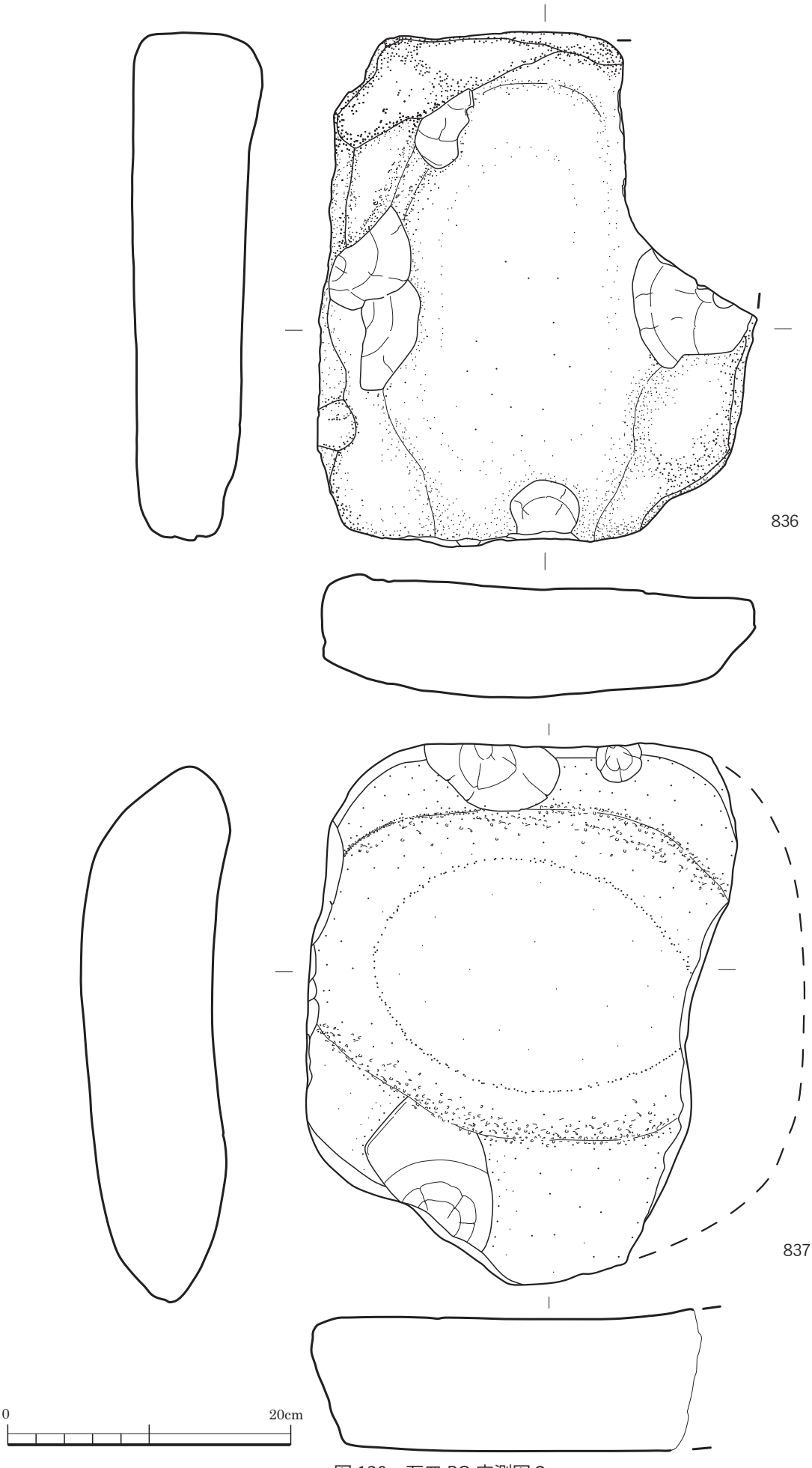


図 120　石皿 RQ 実測図 2

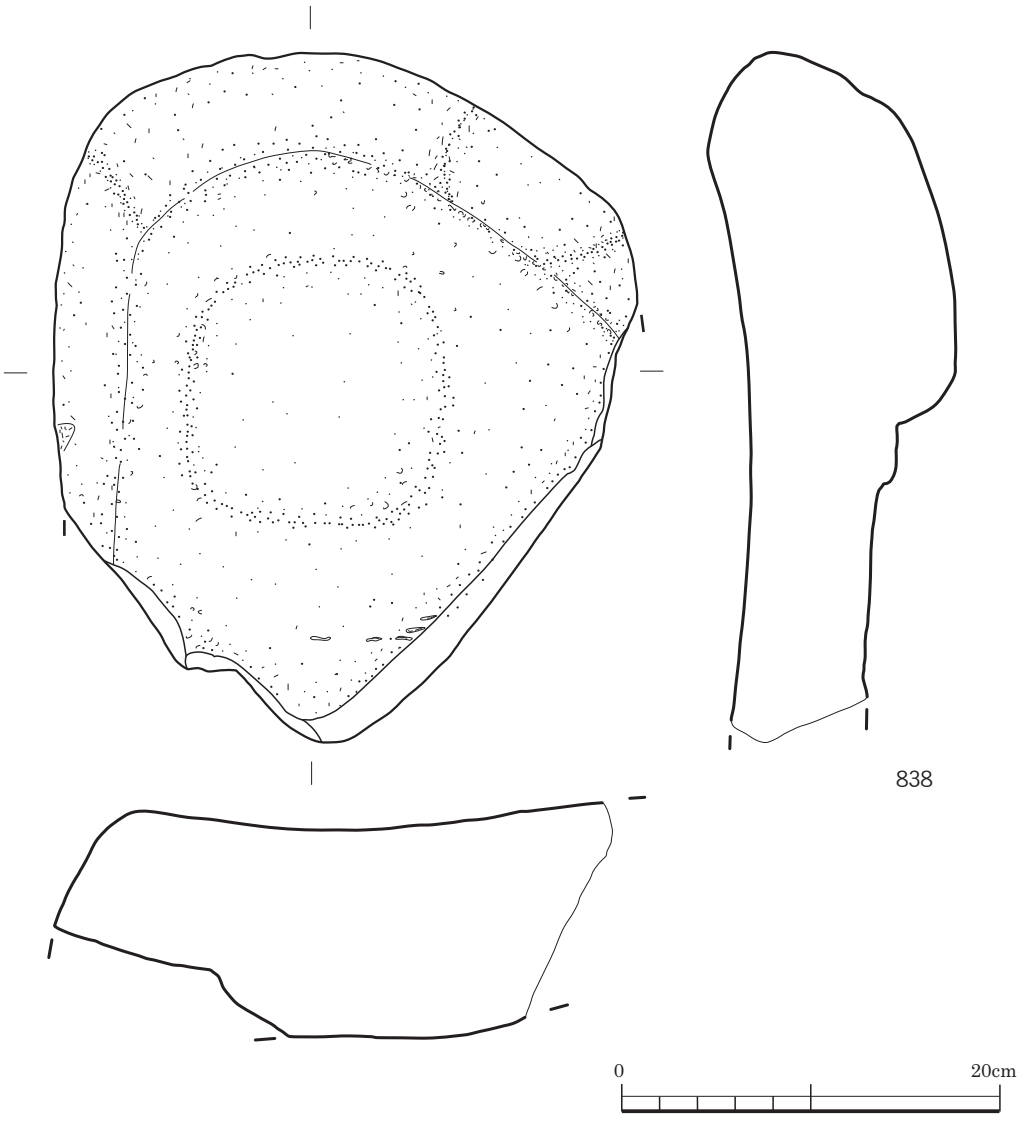
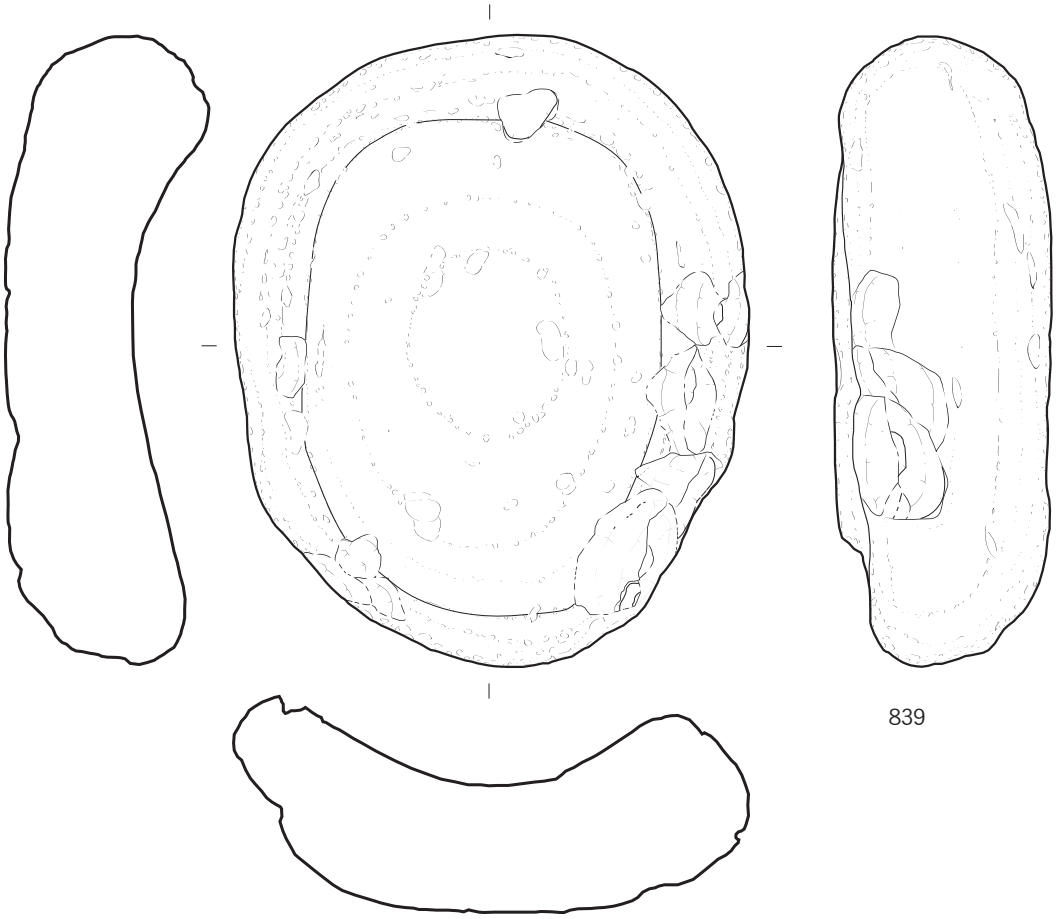


図 121　石皿 RQ 実測図 3



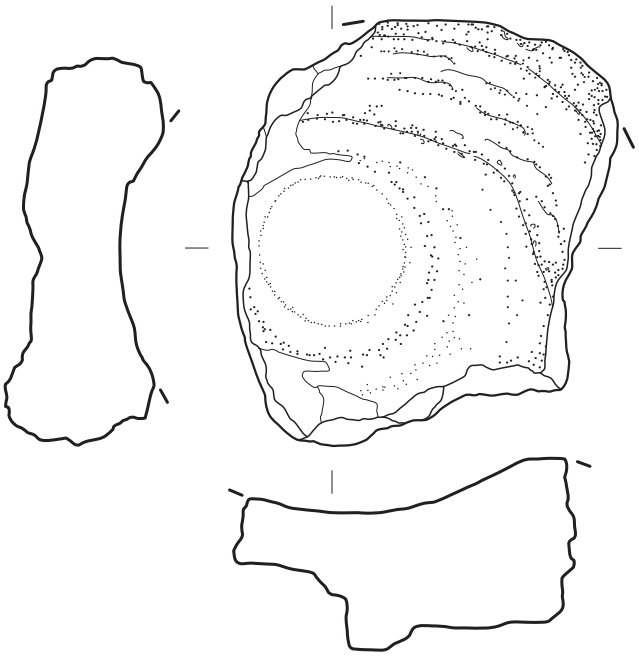


図 122　石皿 RQ 実測図 4

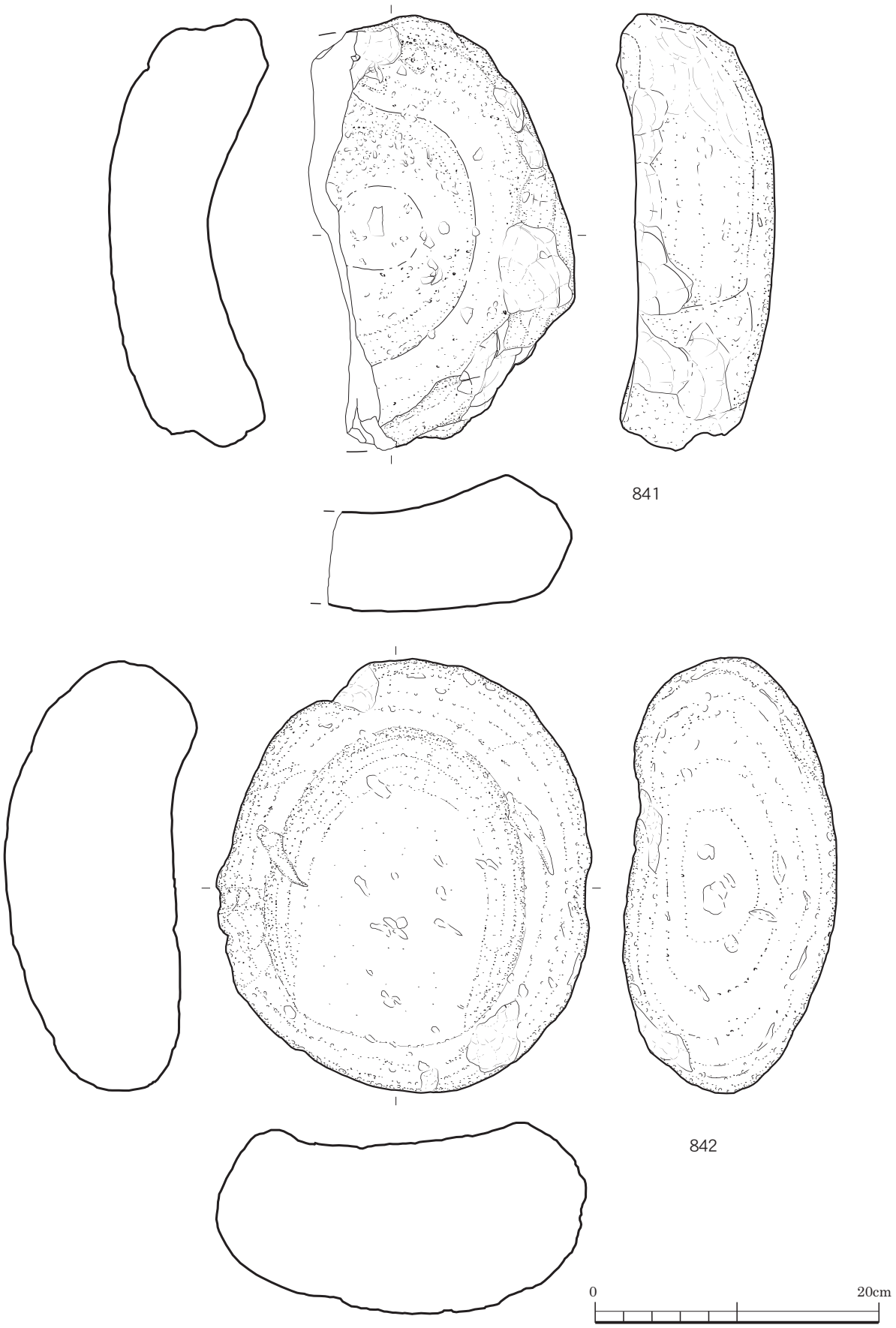


図 123　石皿 RQ 実測図 5

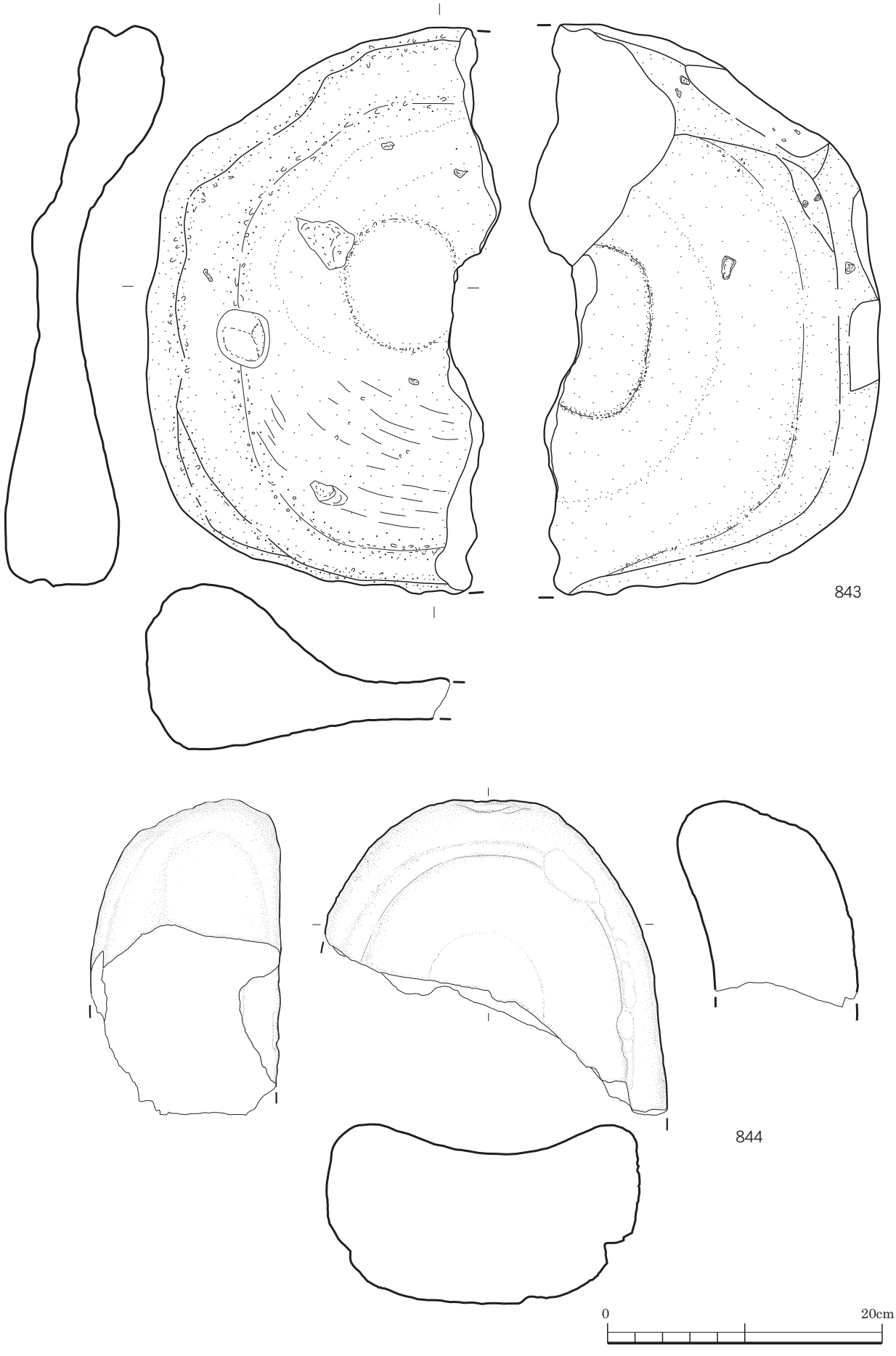


図 124　石皿 RQ 実測図 6

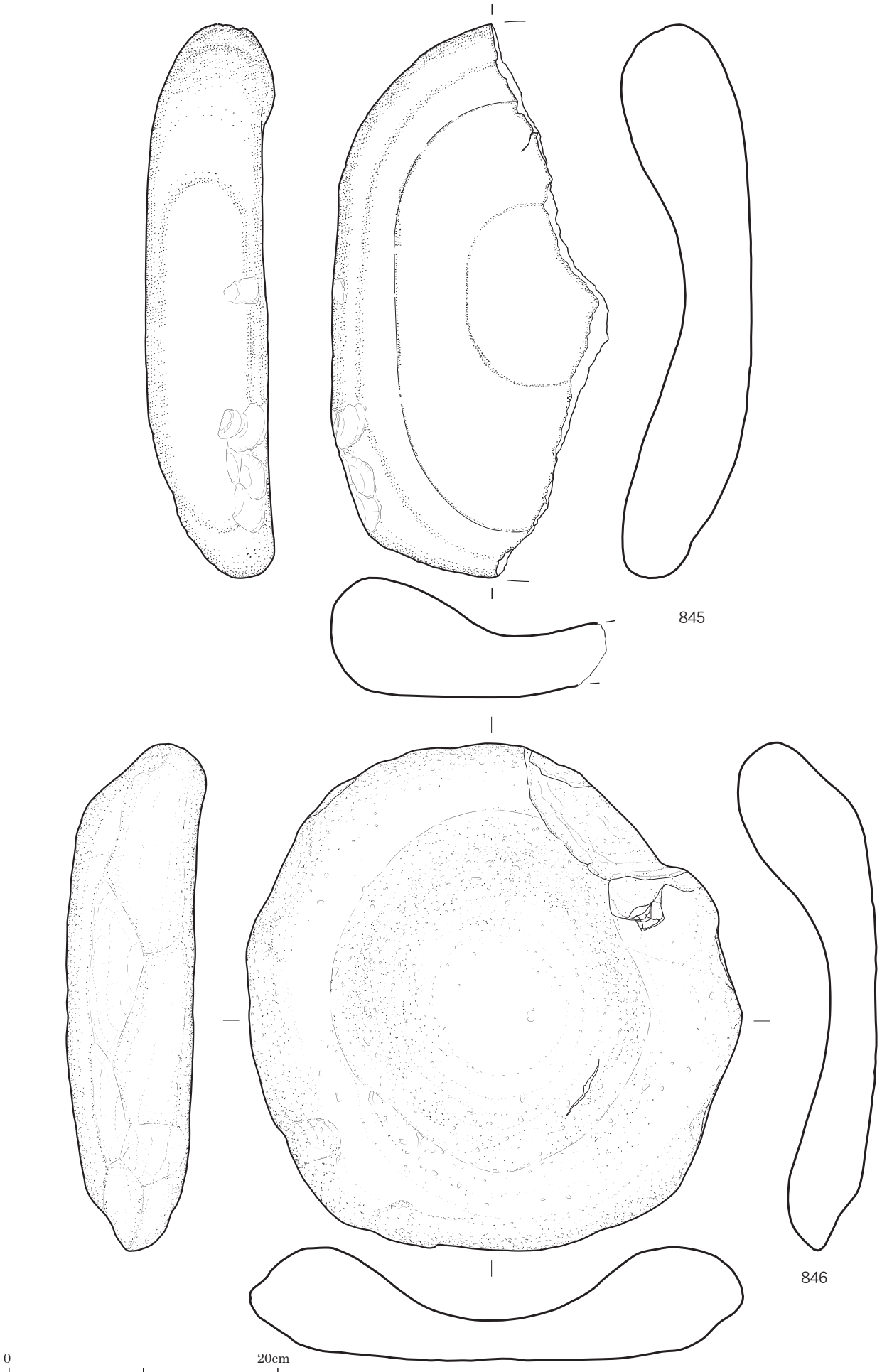


図 125　石皿 RQ 実測図 7

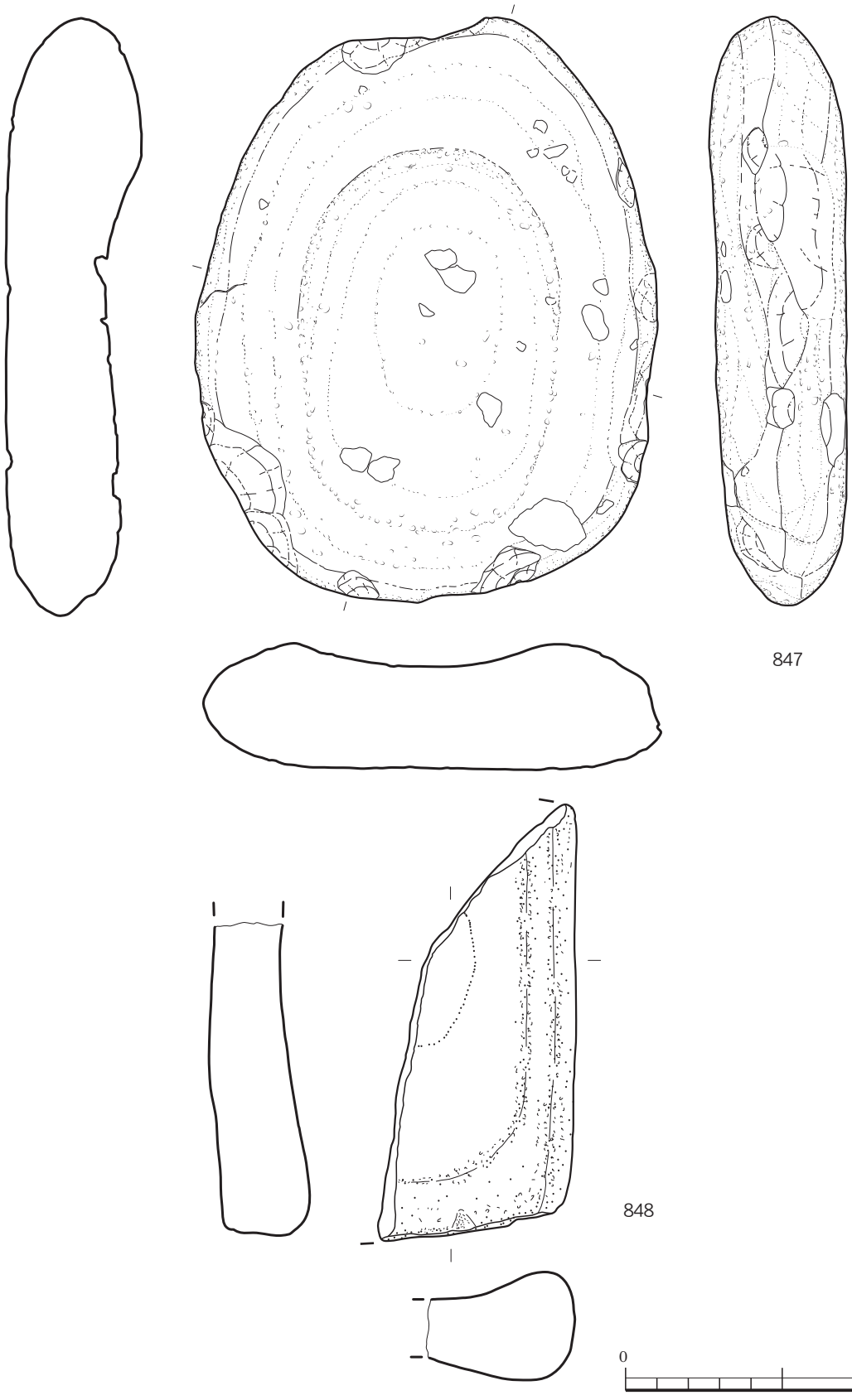


図 126　石皿 RQ 実測図 8

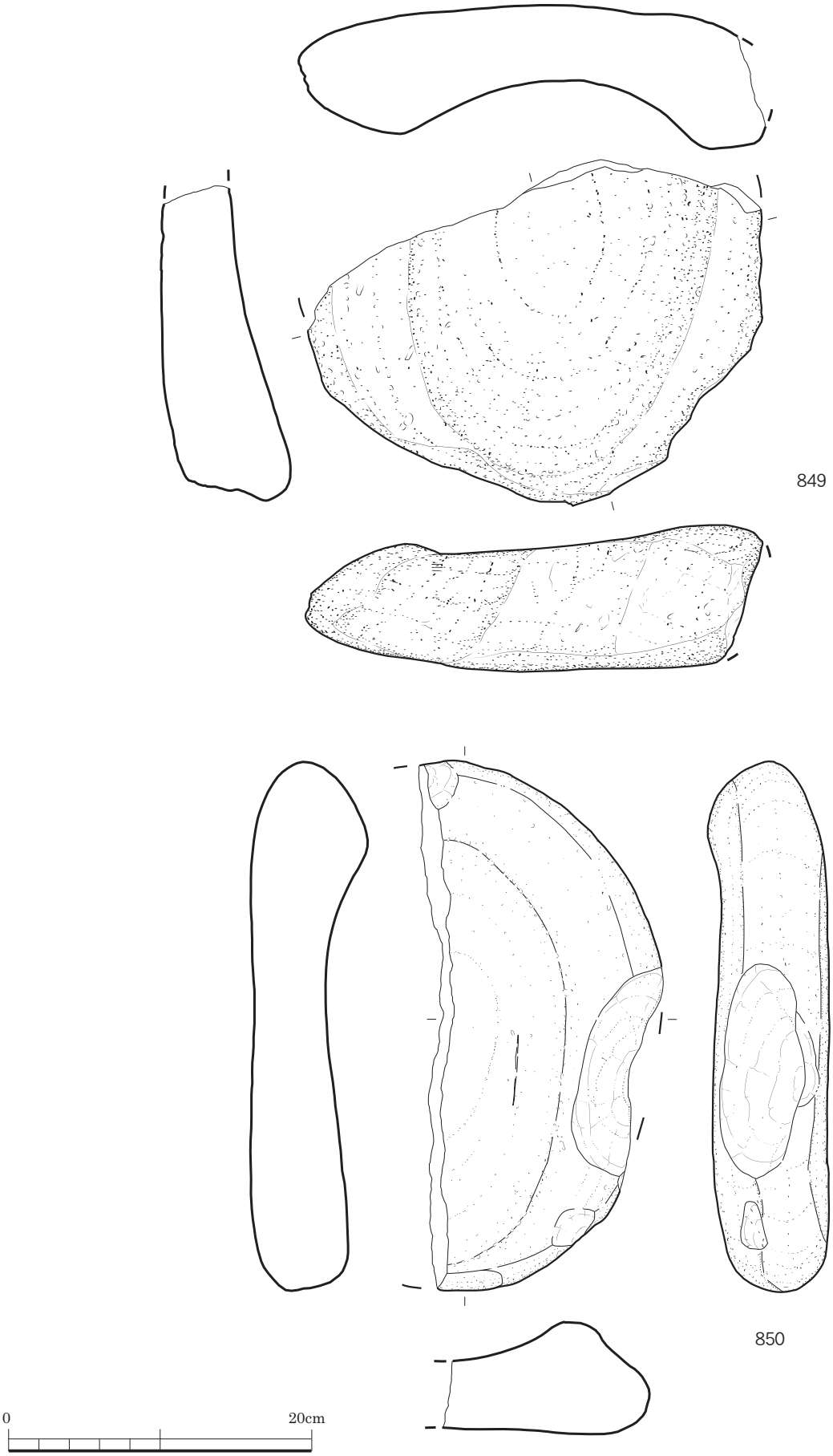
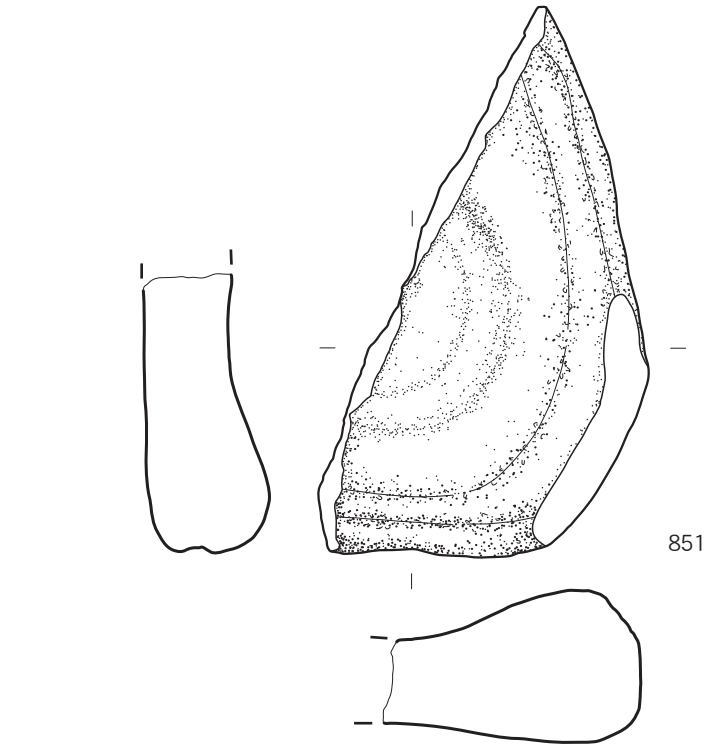


図 127　石皿 RQ 実測図 9



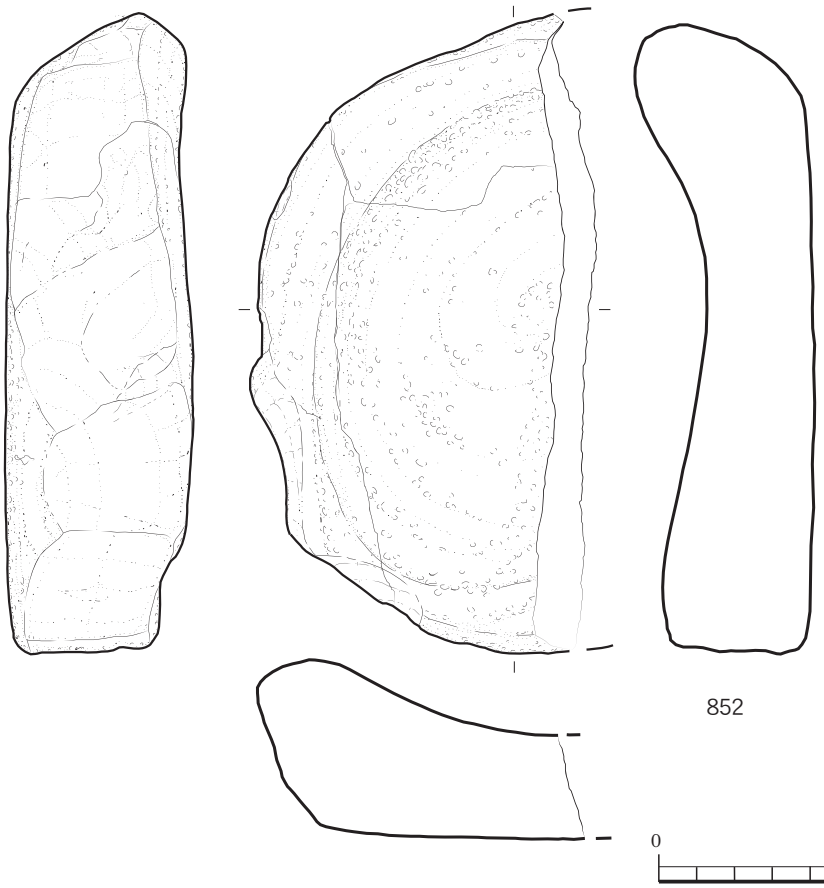


図 128　石皿 RQ 実測図 10

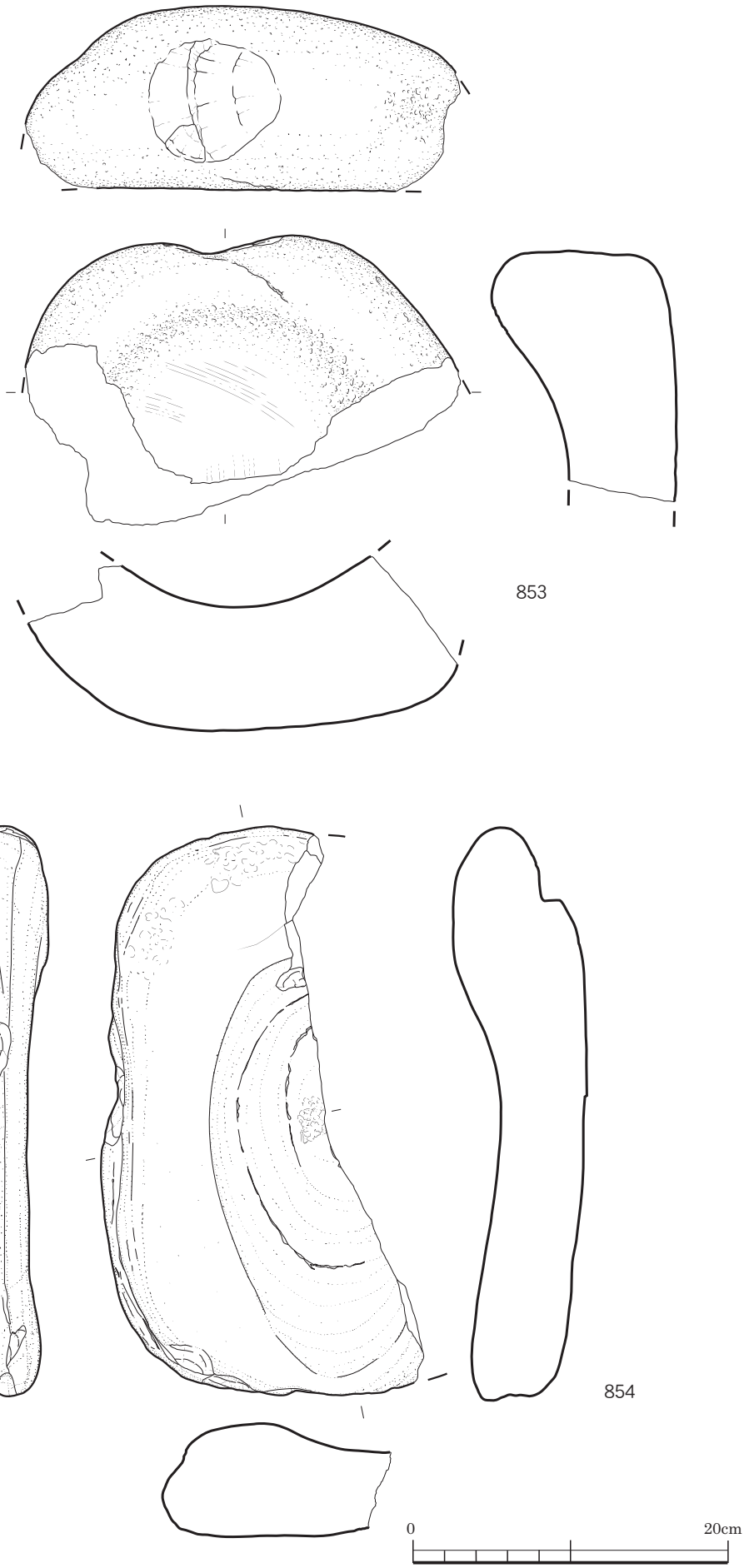


図 129　石皿 RQ 実測図 11

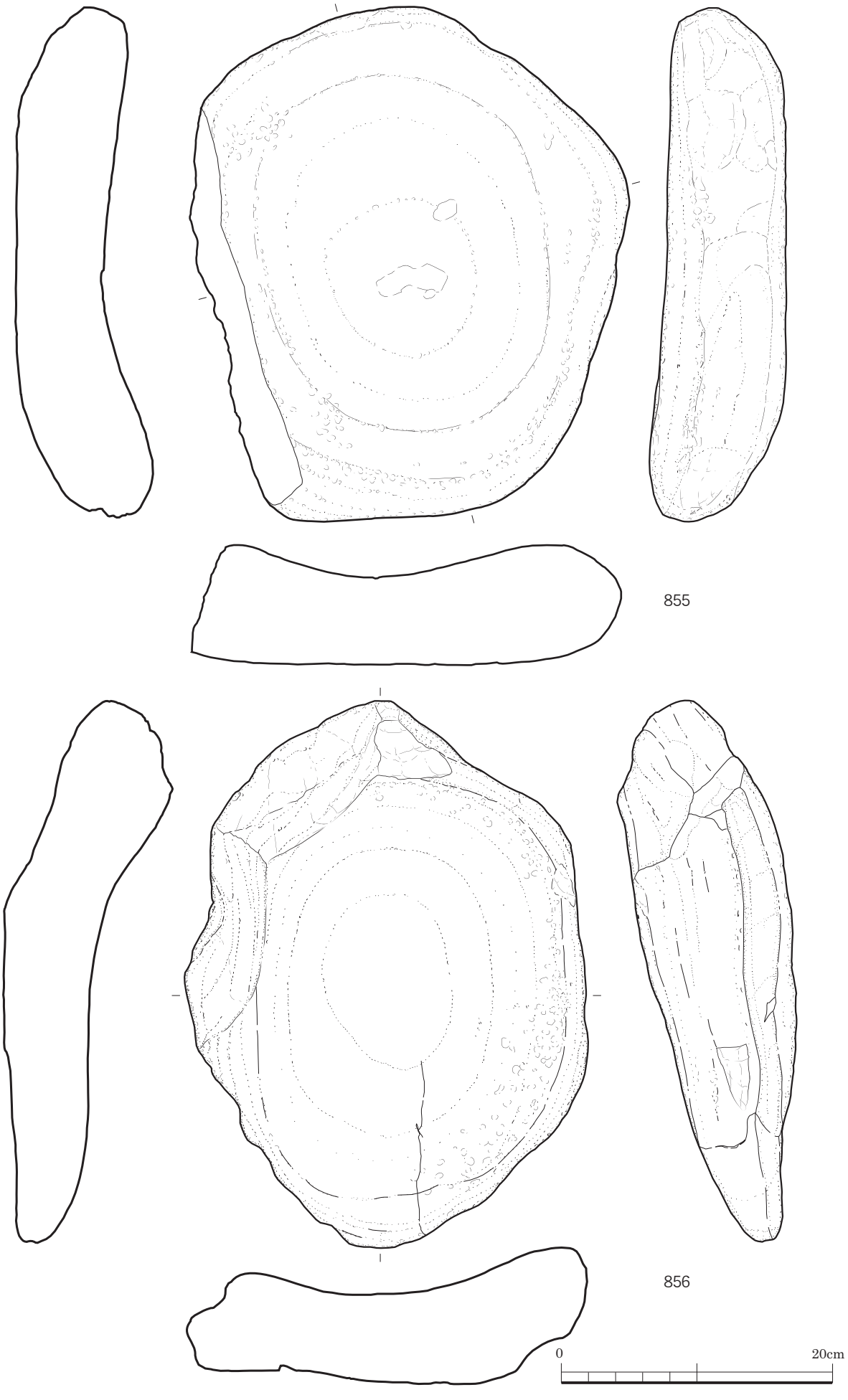


図 130　石皿 RQ 実測図 12

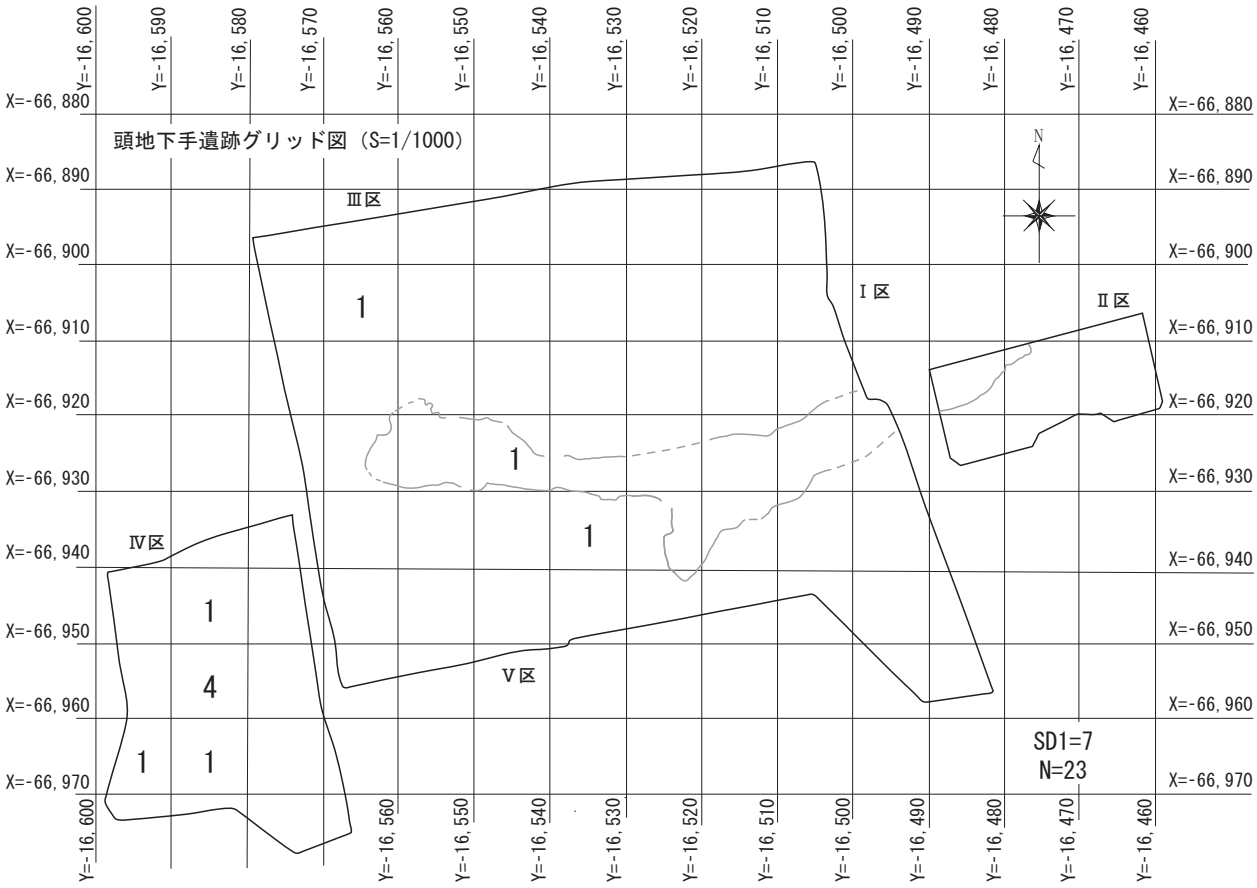


図 131　石皿分布図

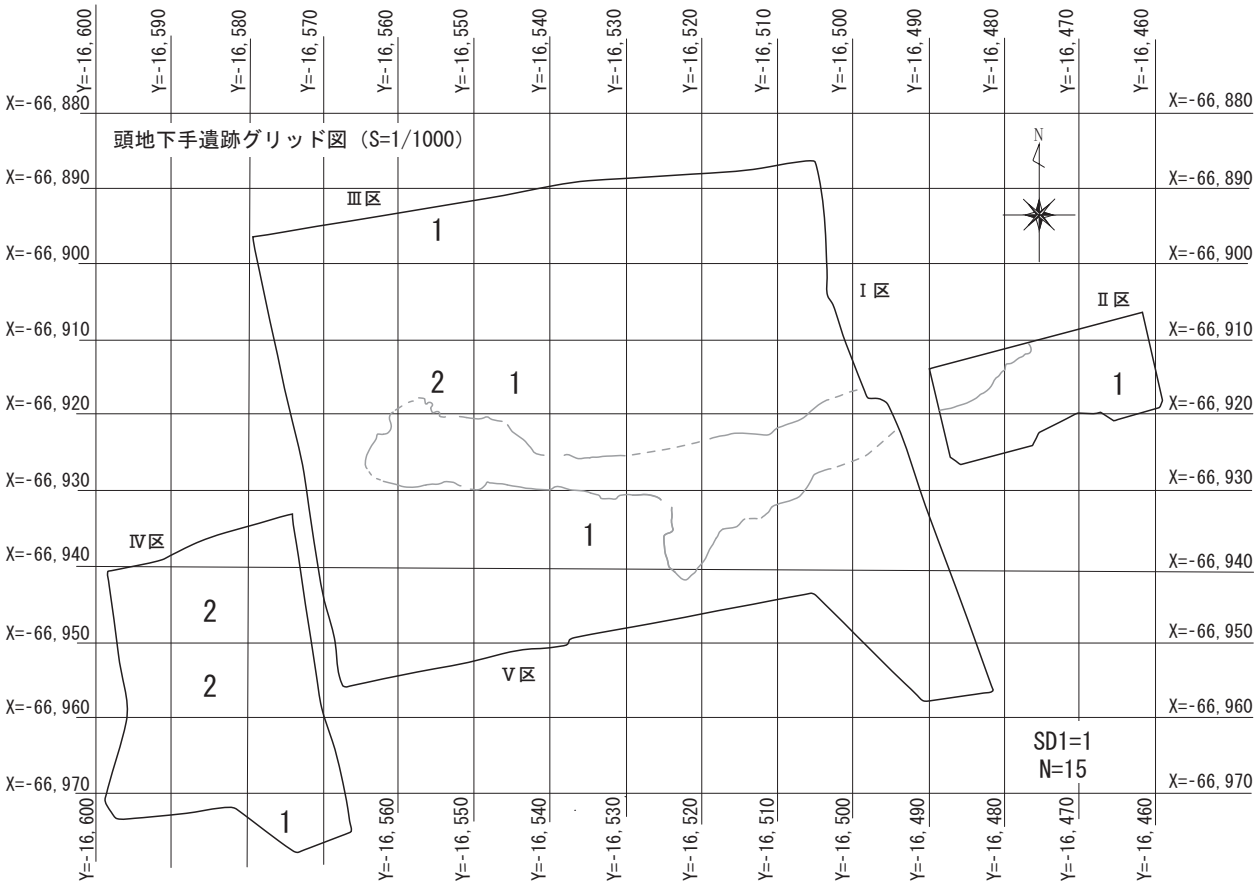


図 132　磨石分布図

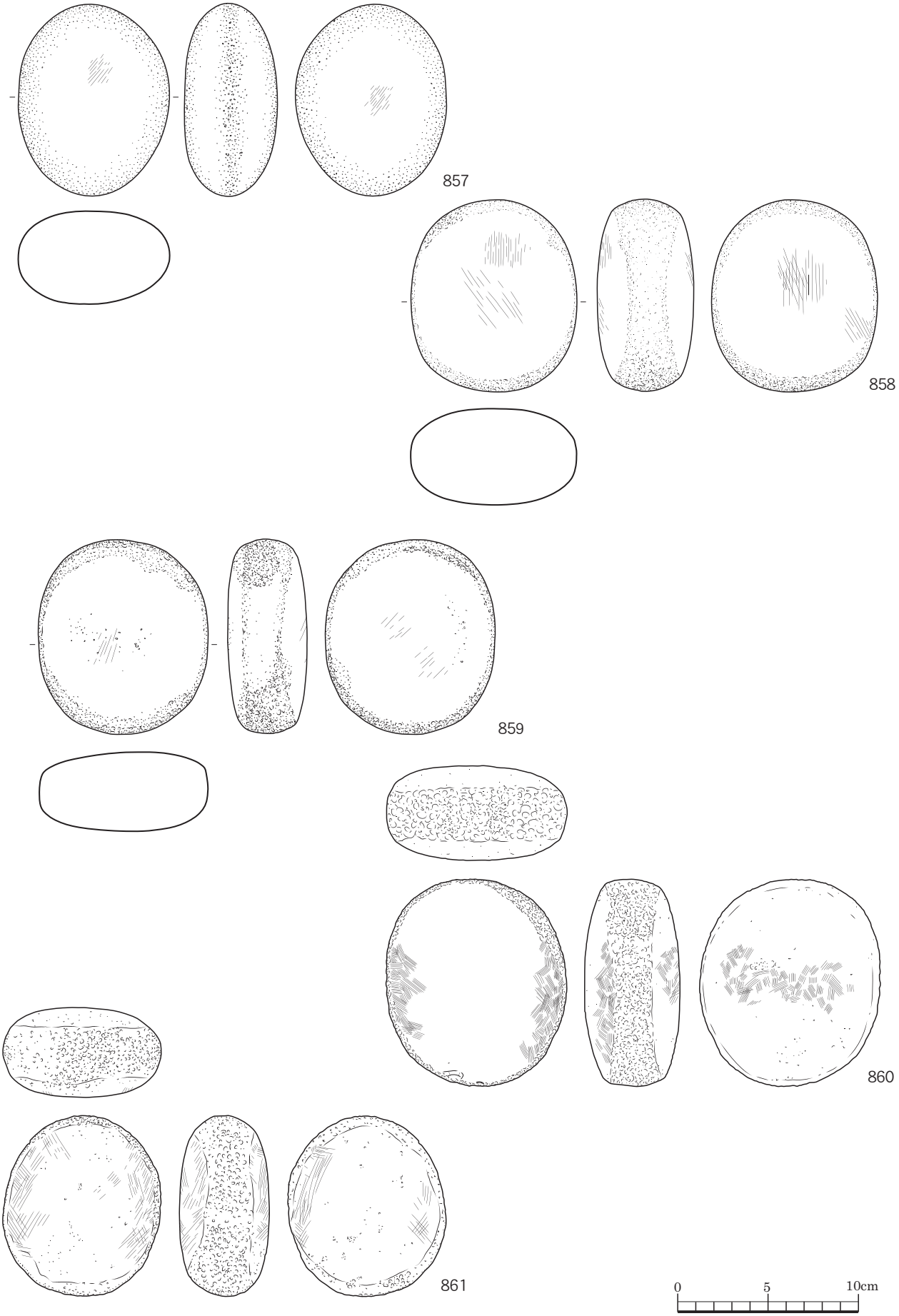


図 133　磨石 RQ 実測図 1

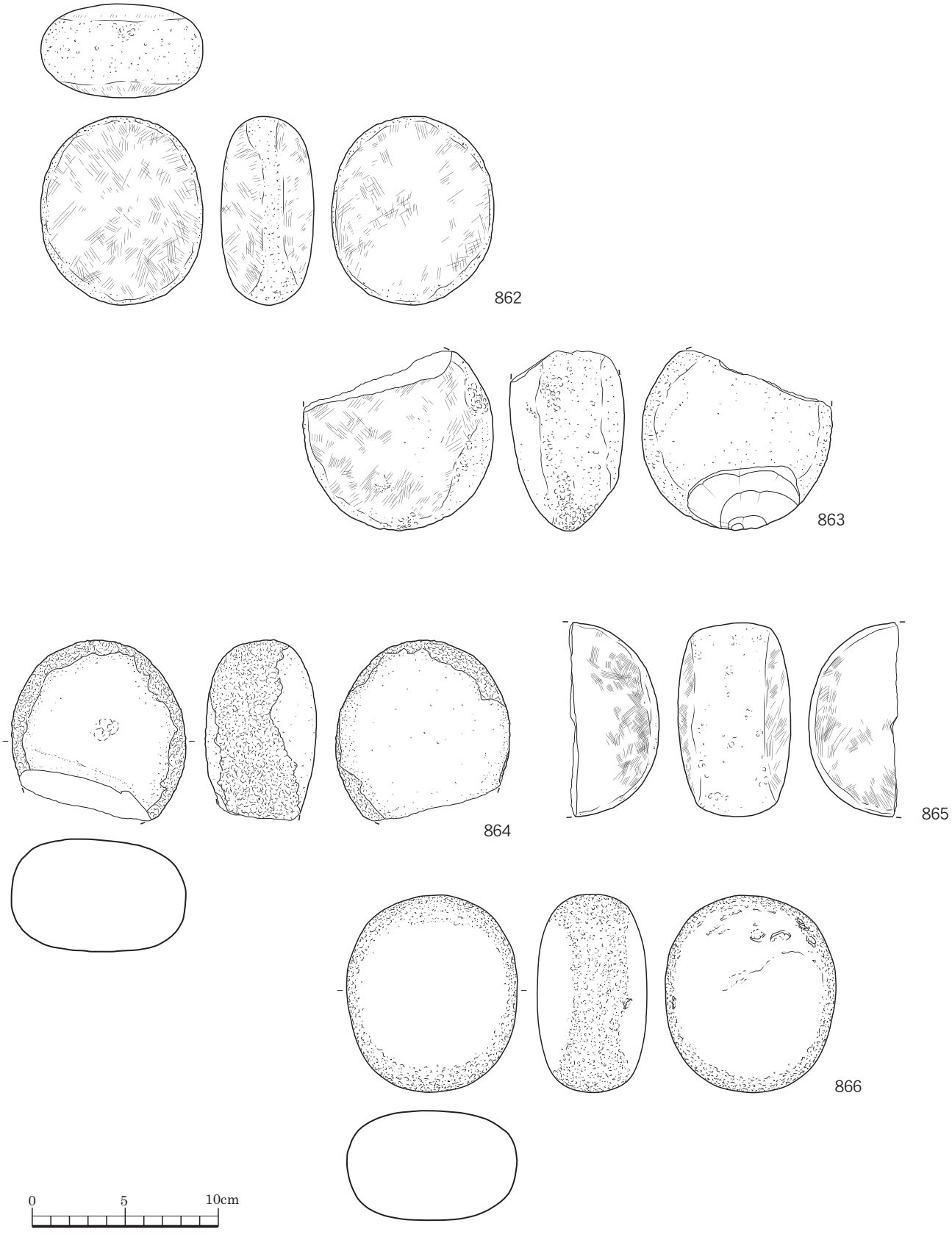


図 134　磨石 RQ 実測図 2

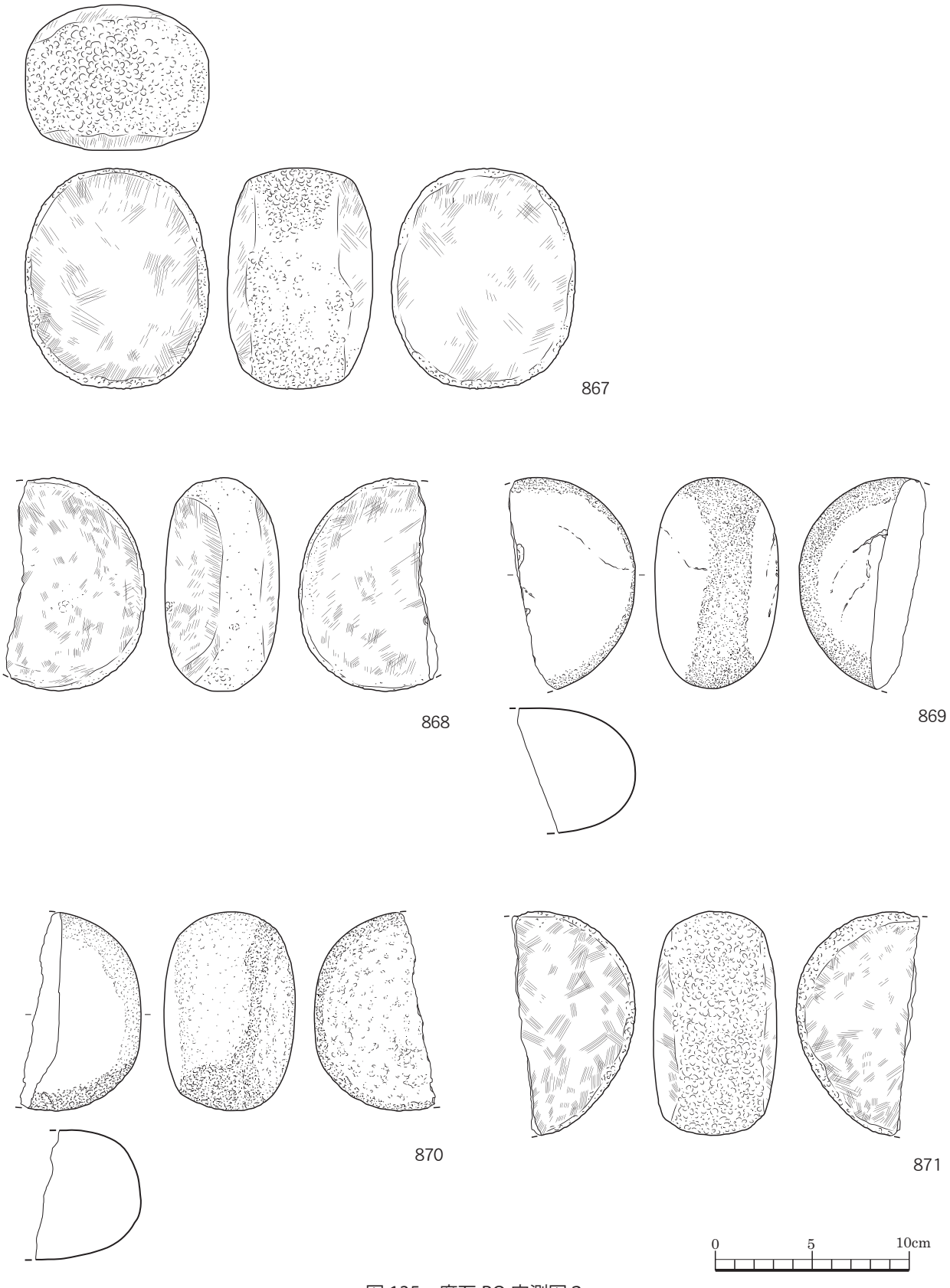


図 135　磨石 RQ 実測図 3

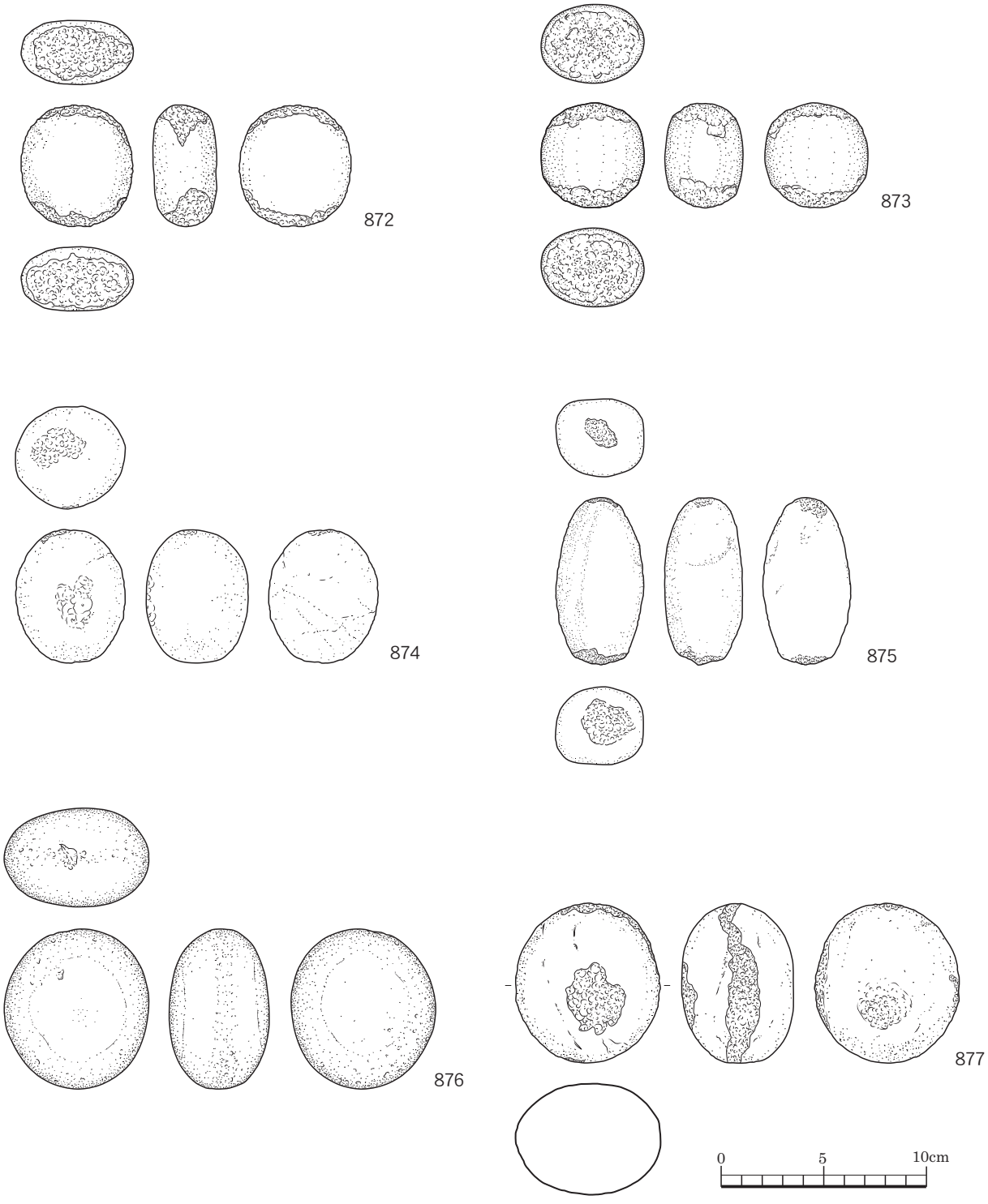


図 136　敲石 RQ 実測図 1

図 137　敲石 RQ 実測図 2

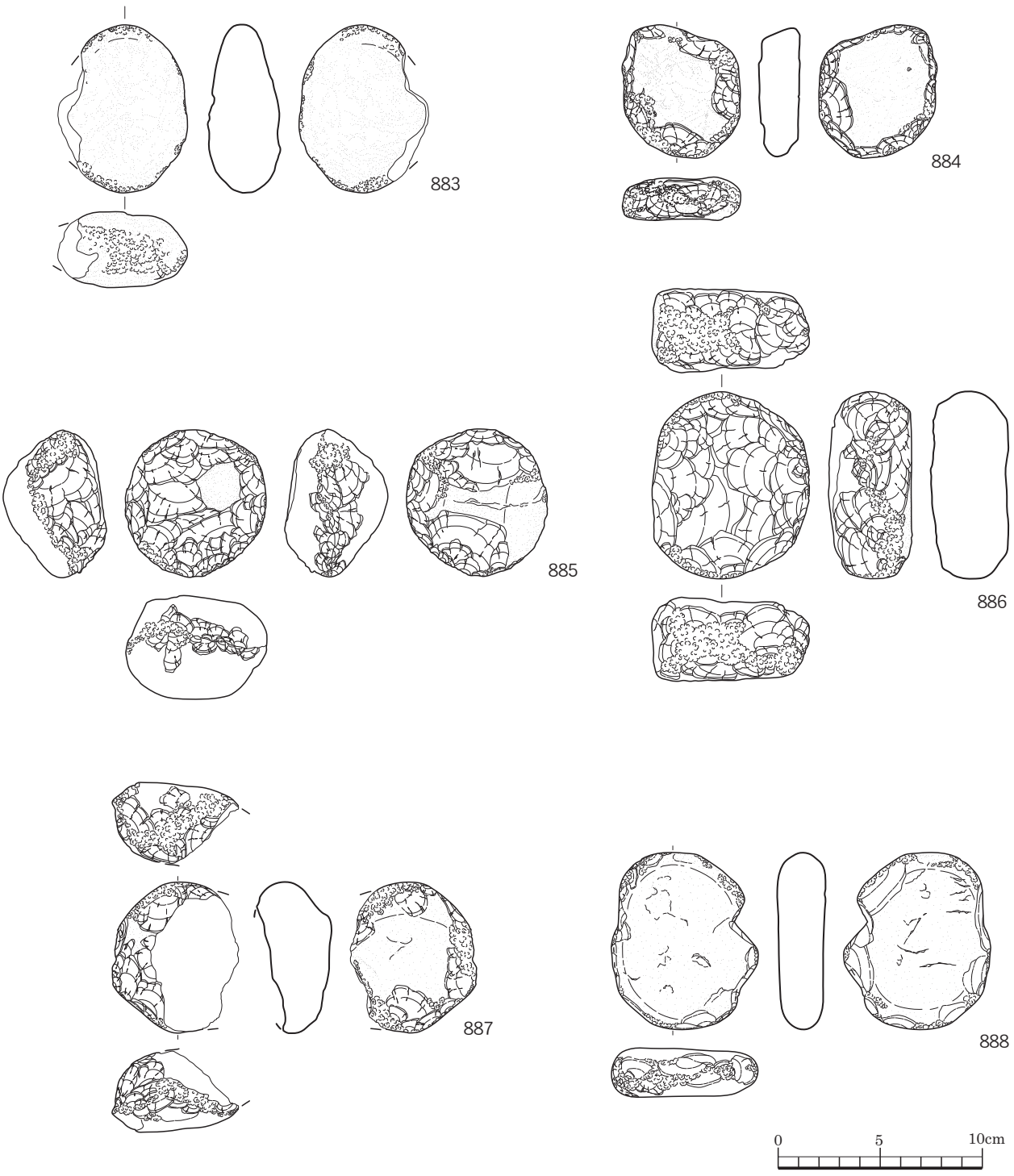


図 138　敲石 RQ 実測図 3

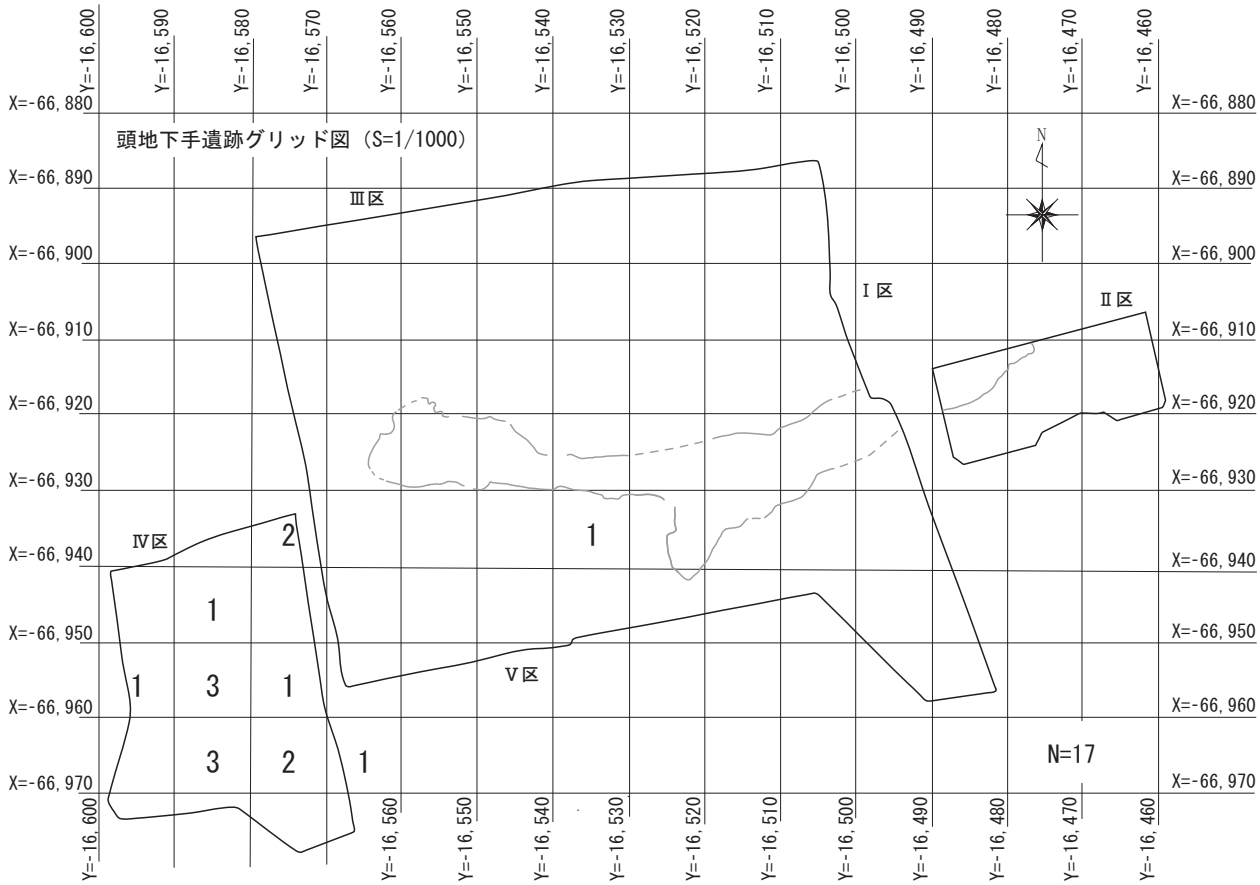


図 139　敲石分布図

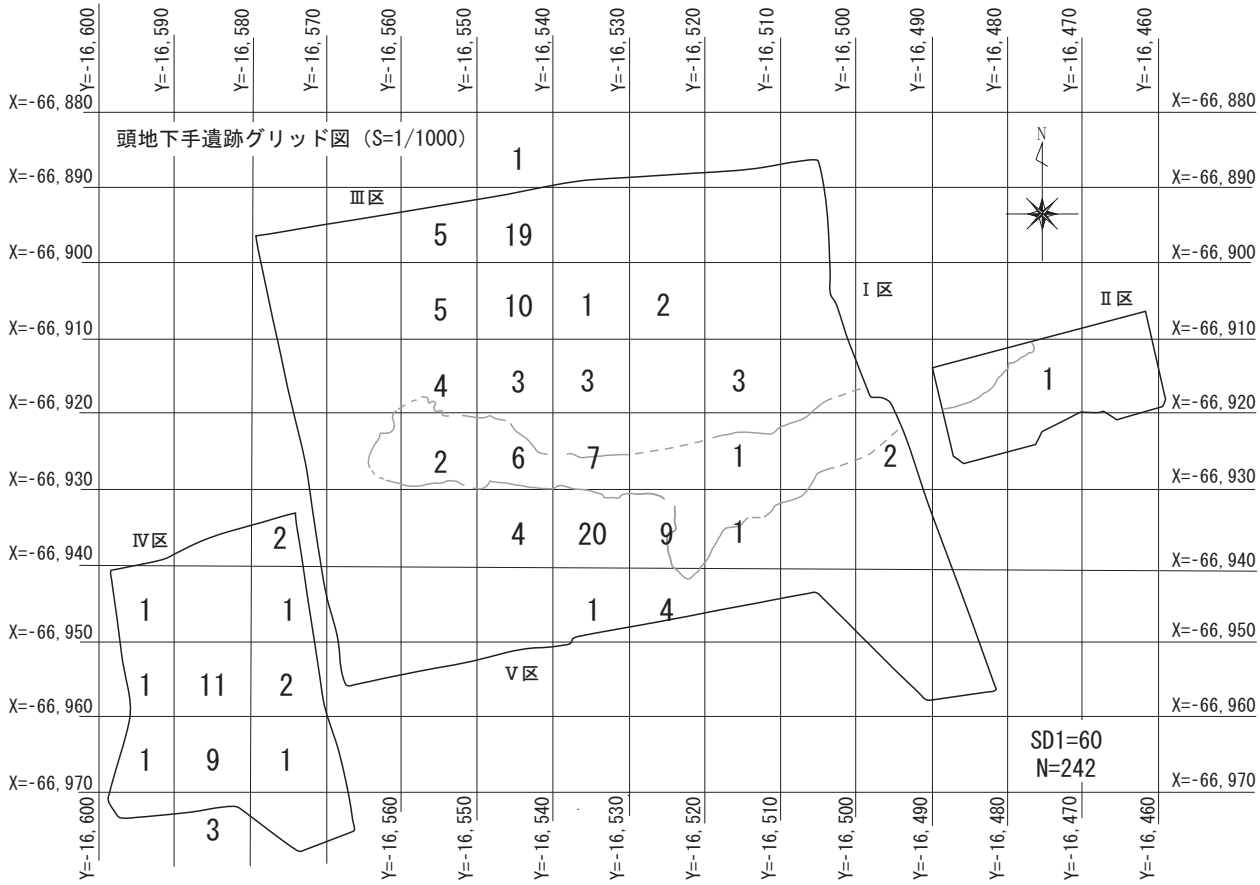


図 140　石錘分布図

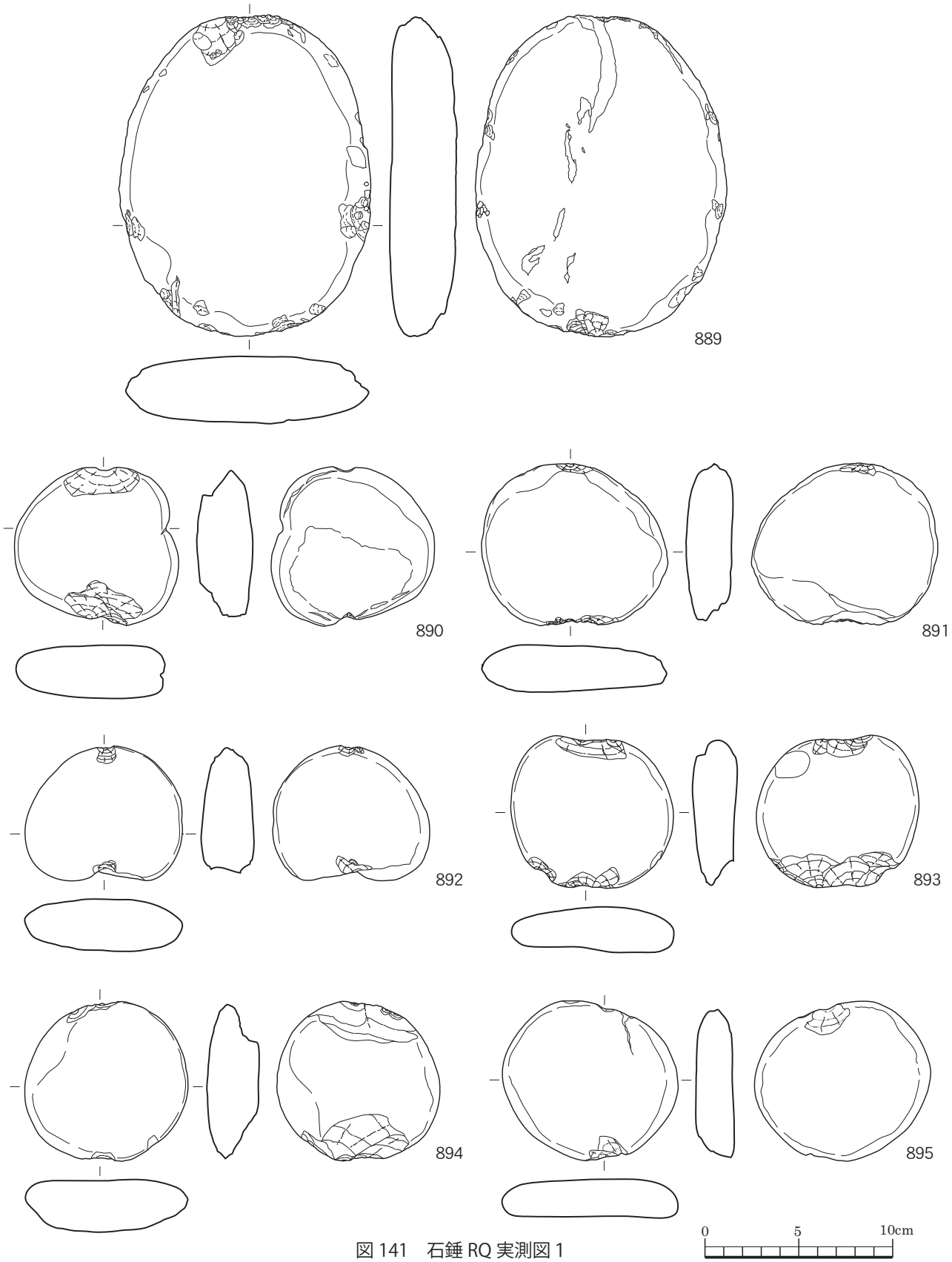


図 141　石錘 RQ 実測図 1

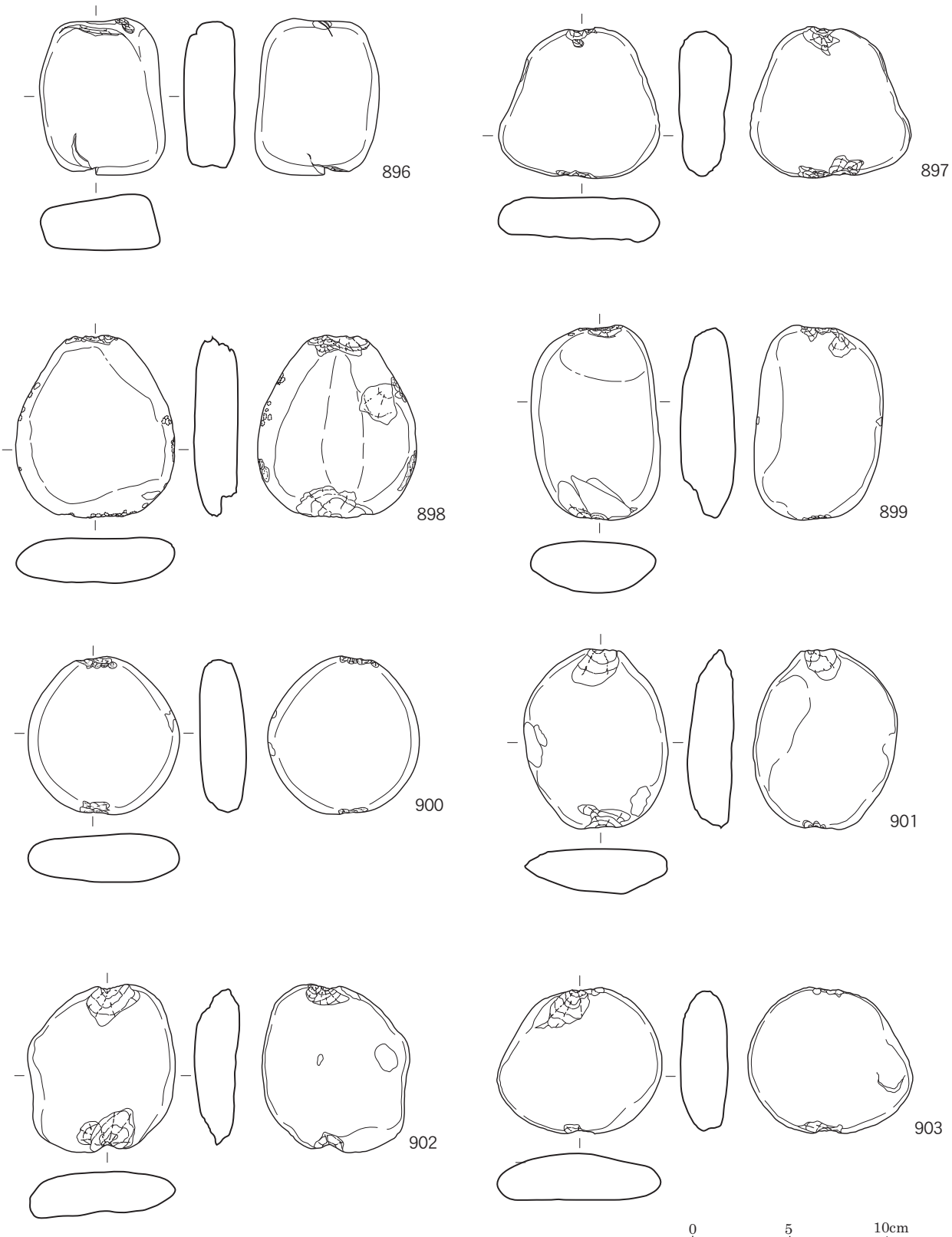


図 142　石錘 RQ 実測図 2

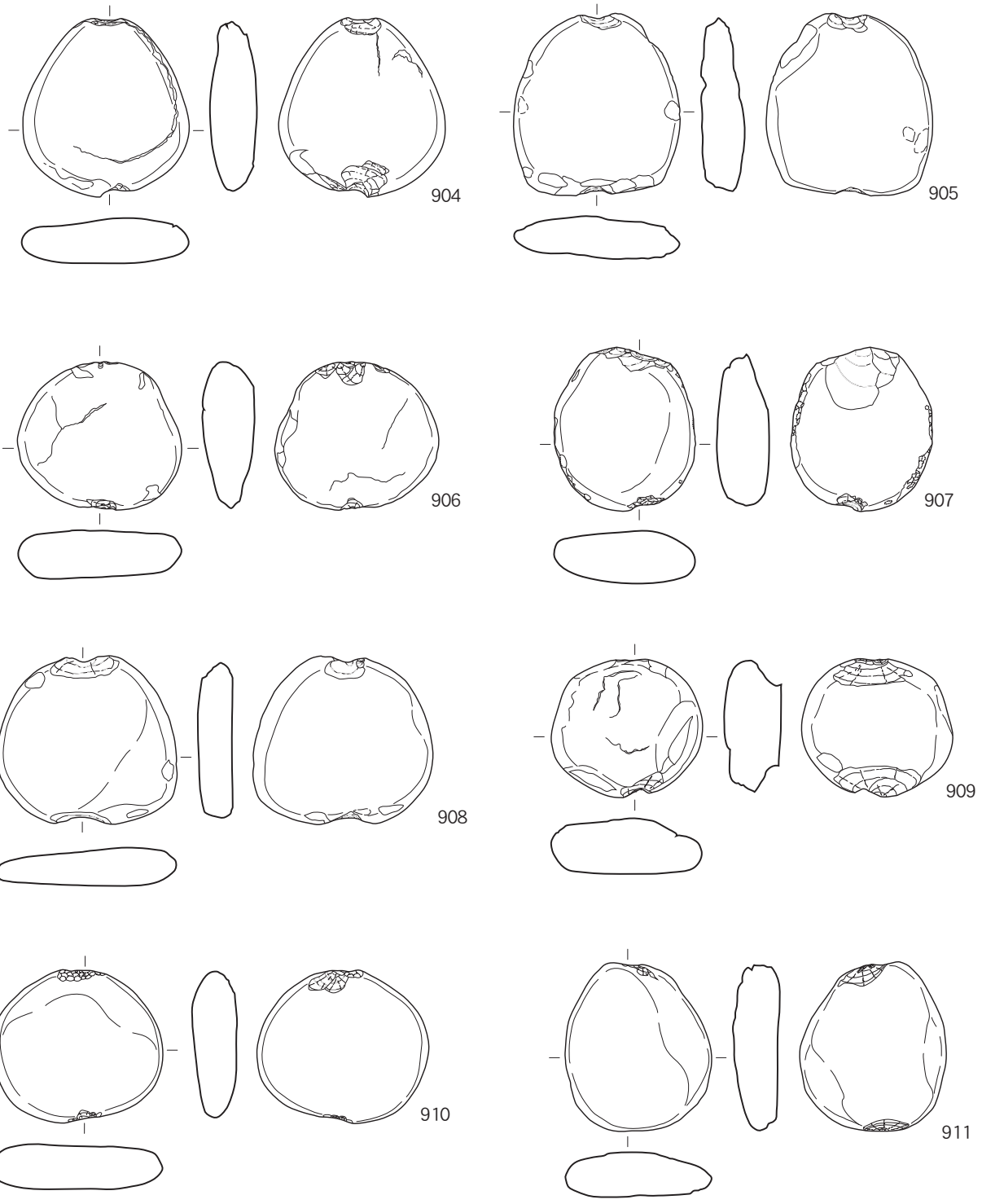


図 143　石錘 RQ 実測図 3

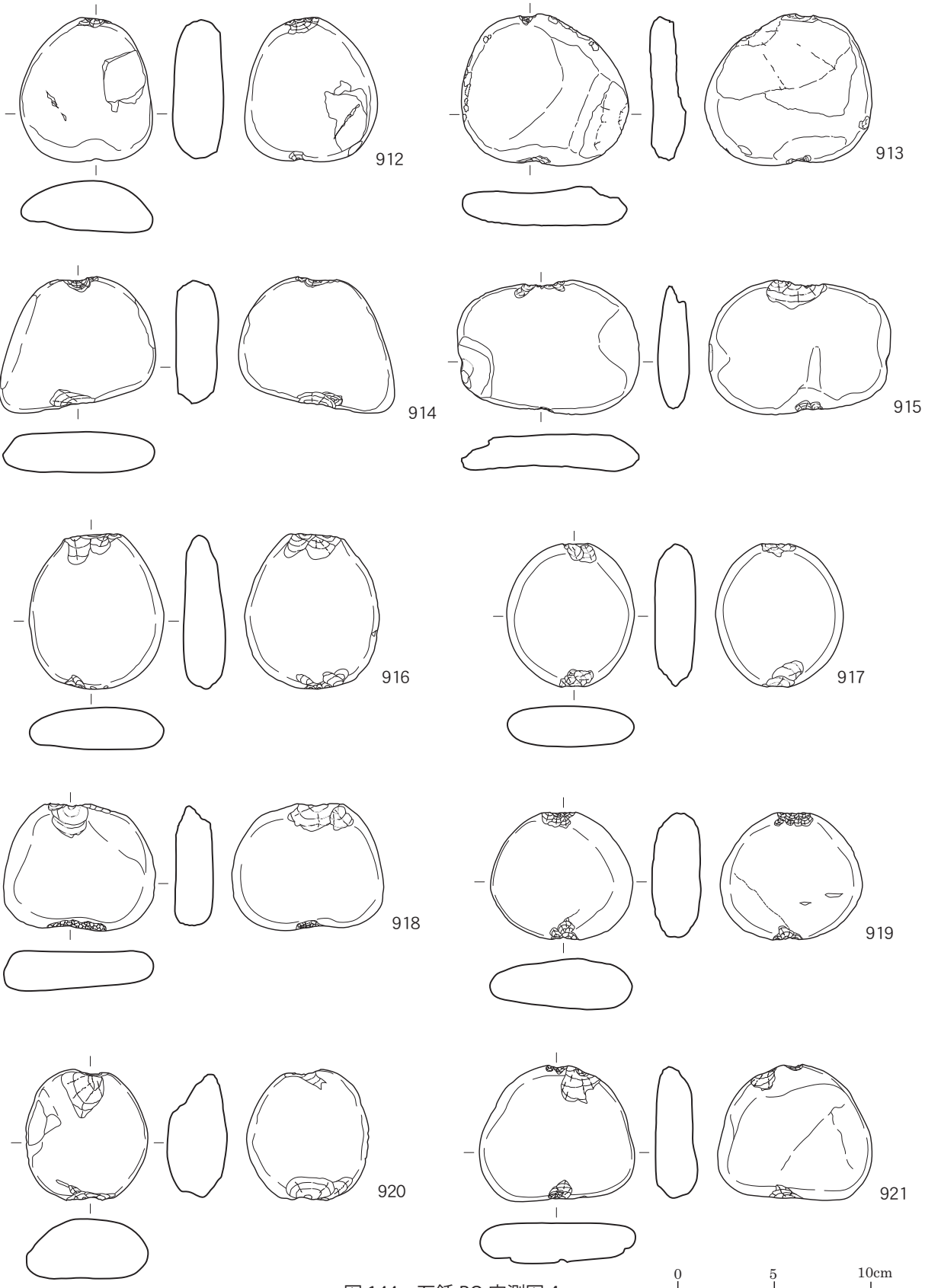


図 144　石錘 RQ 実測図 4

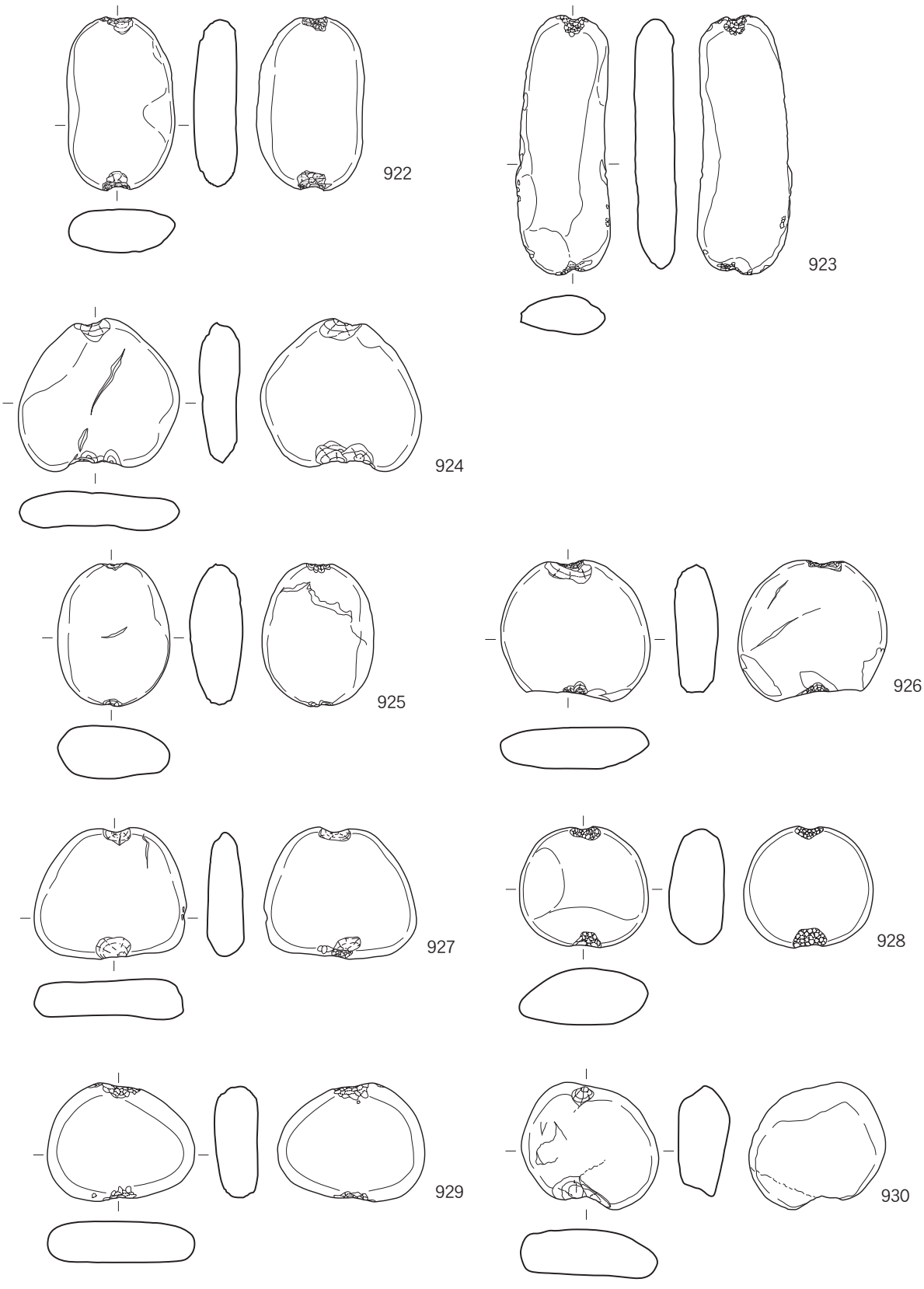


図 145　石錘 RQ 実測図 5

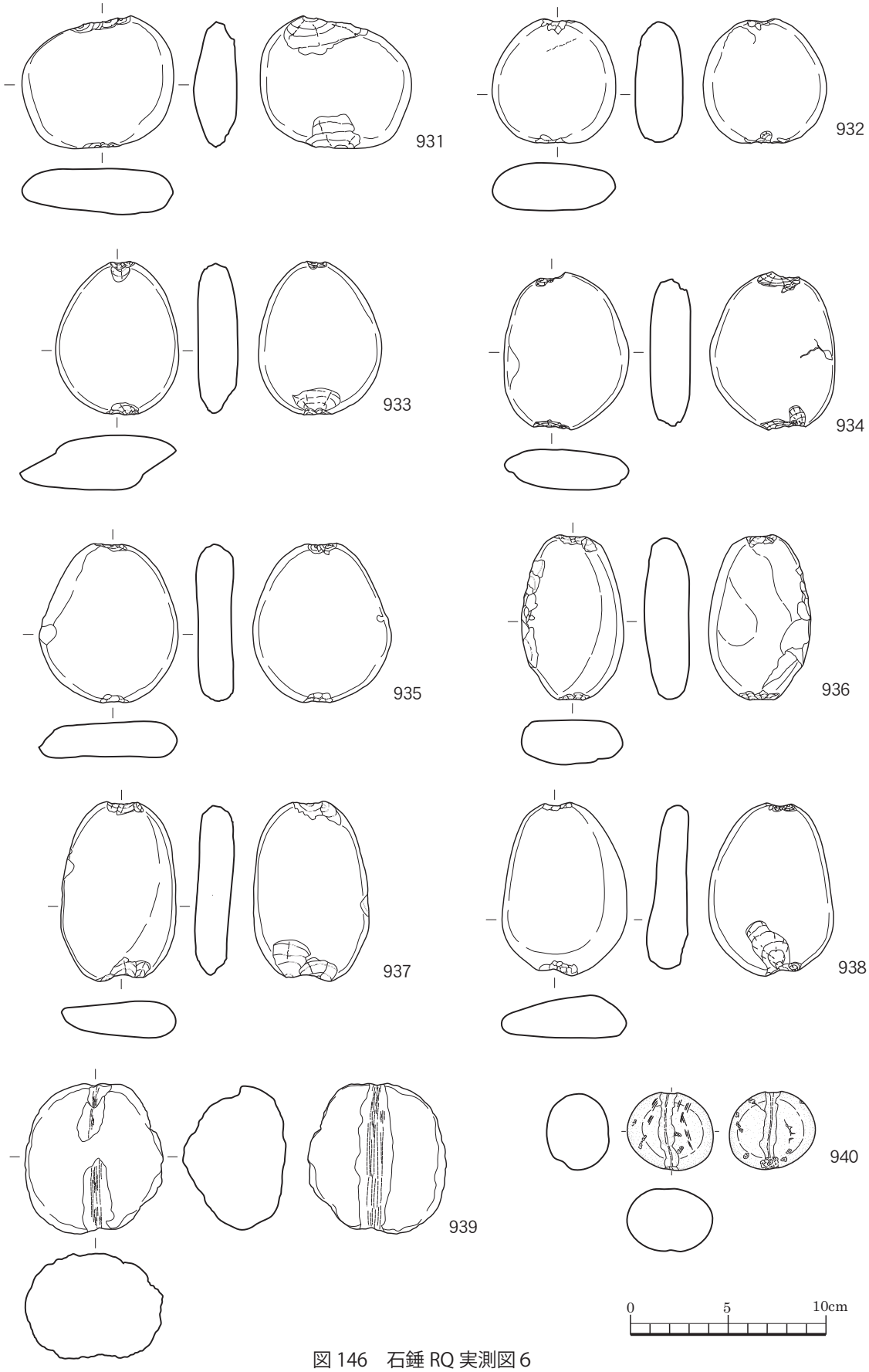


図 146　石錘 RQ 実測図 6

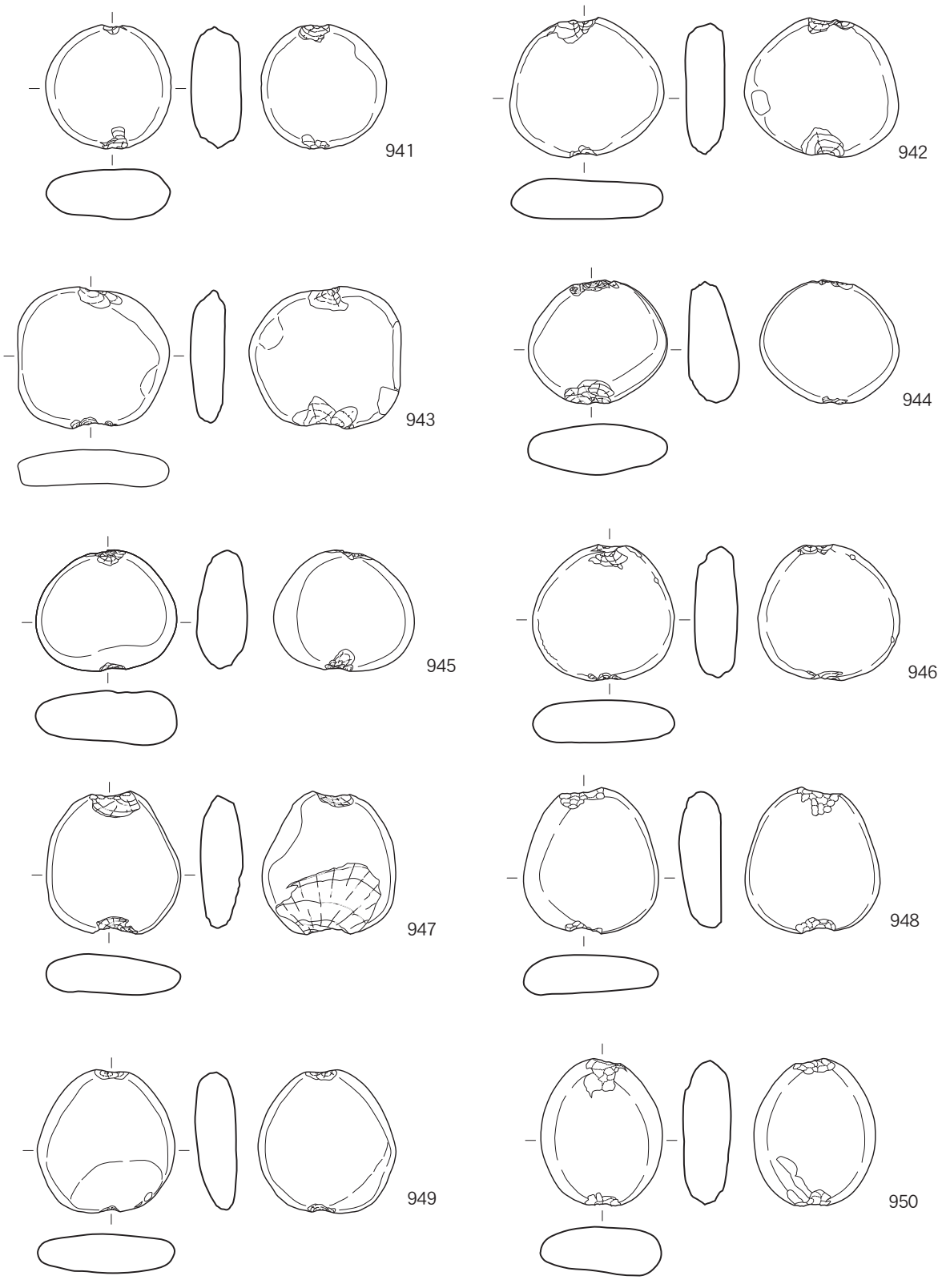


図 147　石錘 RQ 実測図 7

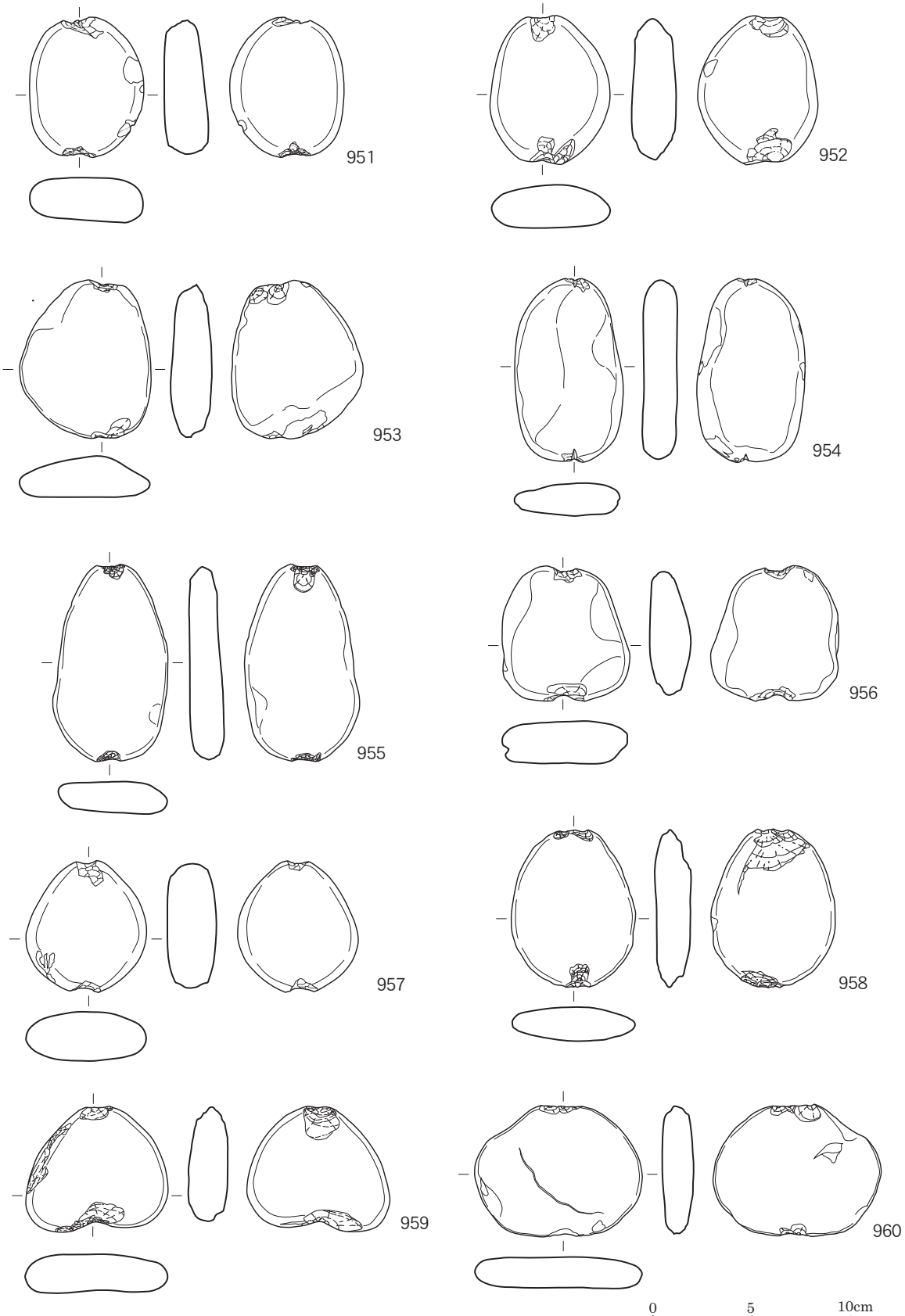


図 148　石錘 RQ 実測図 8

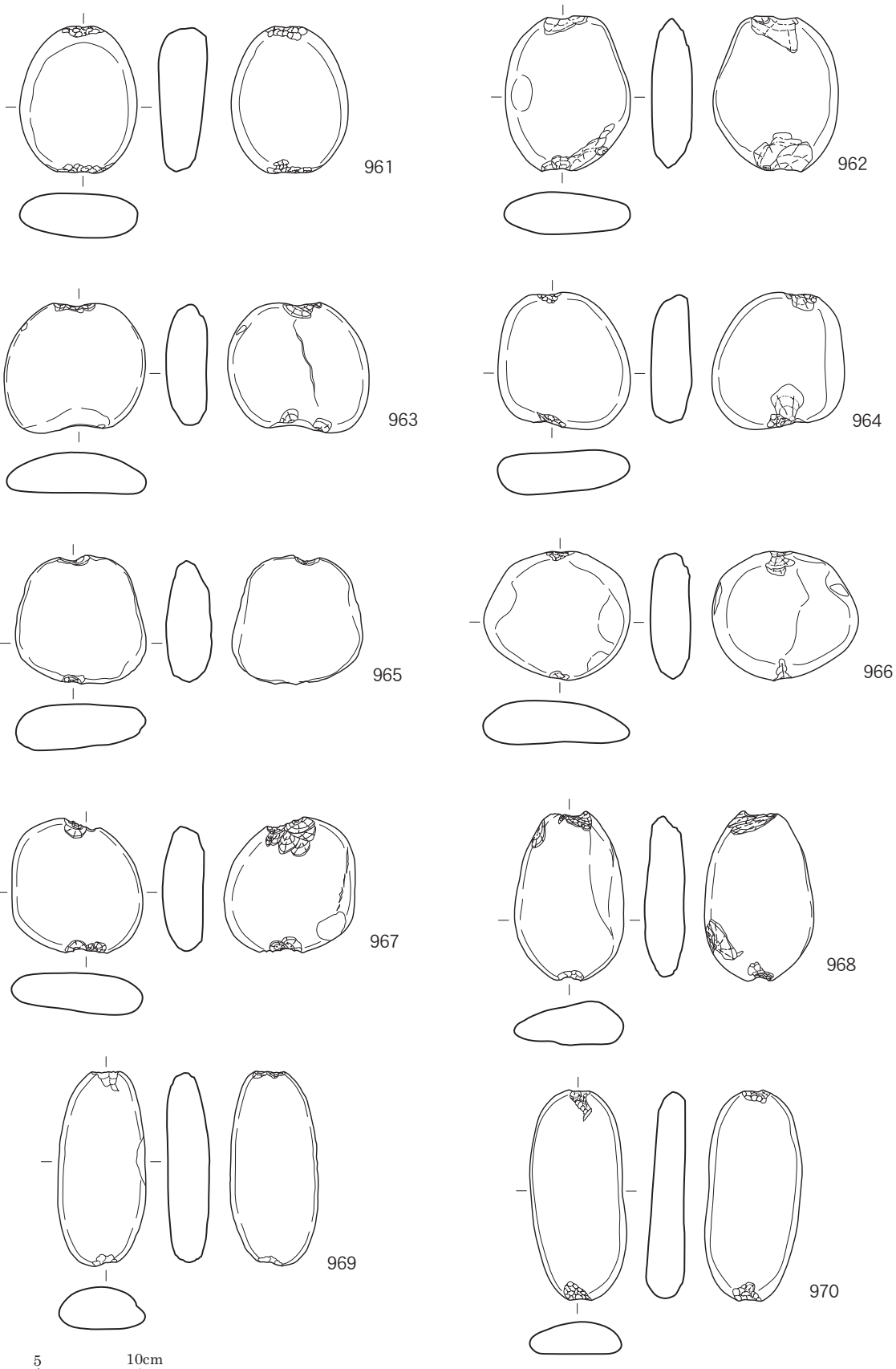


図 149　石錘 RQ 実測図 9

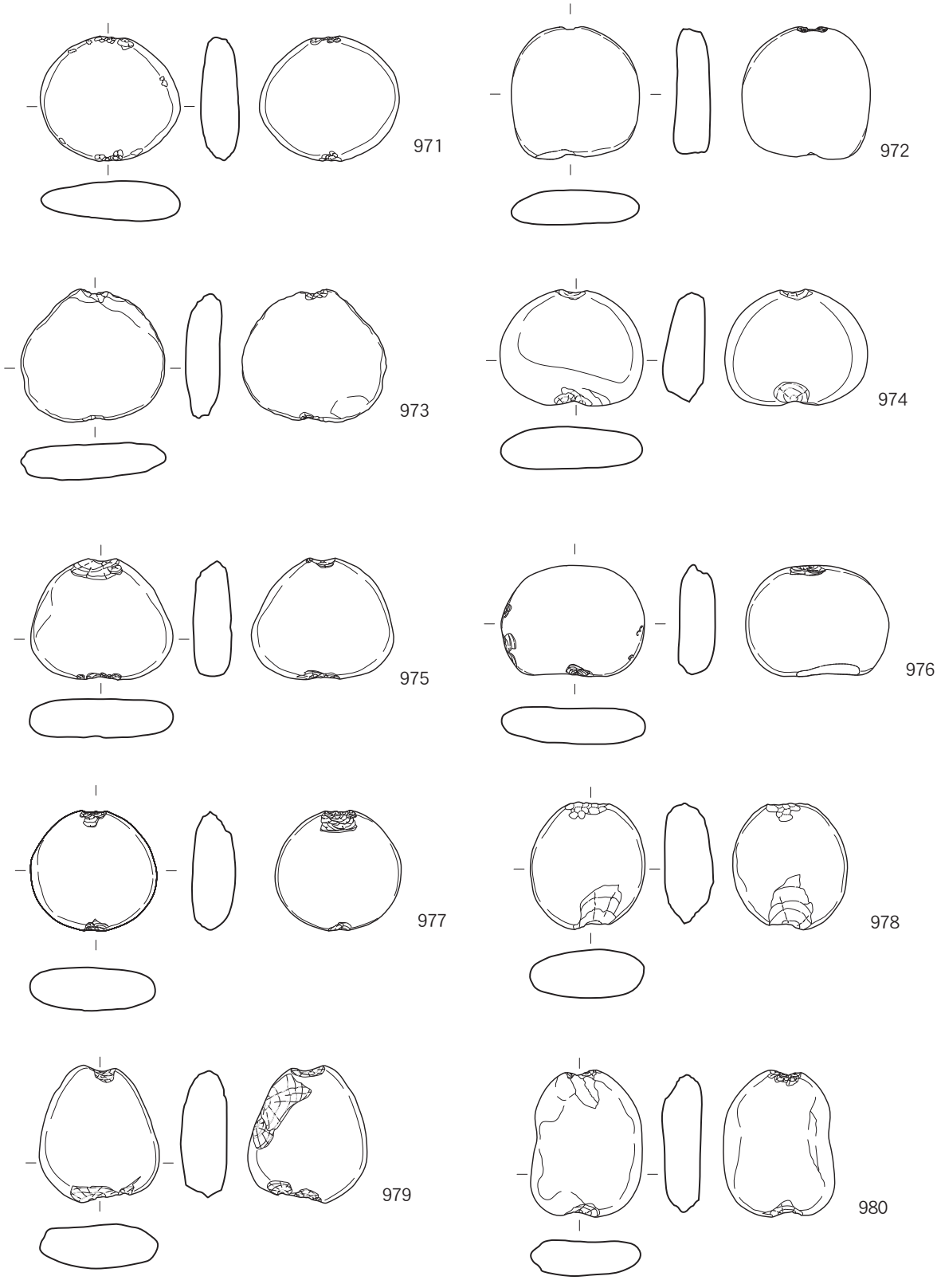


図 150　石錘 RQ 実測図 10

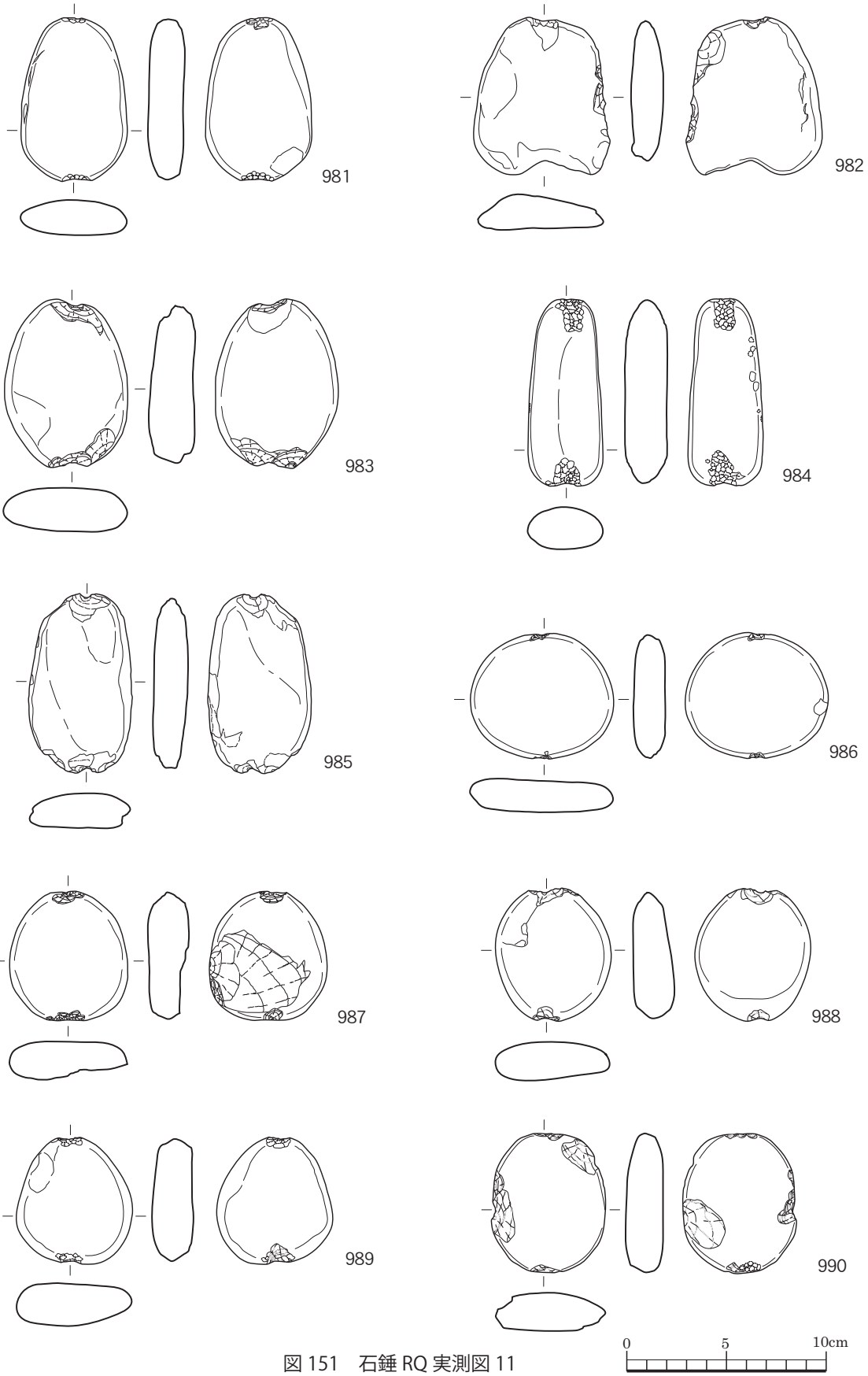


図 151　石錘 RQ 実測図 11

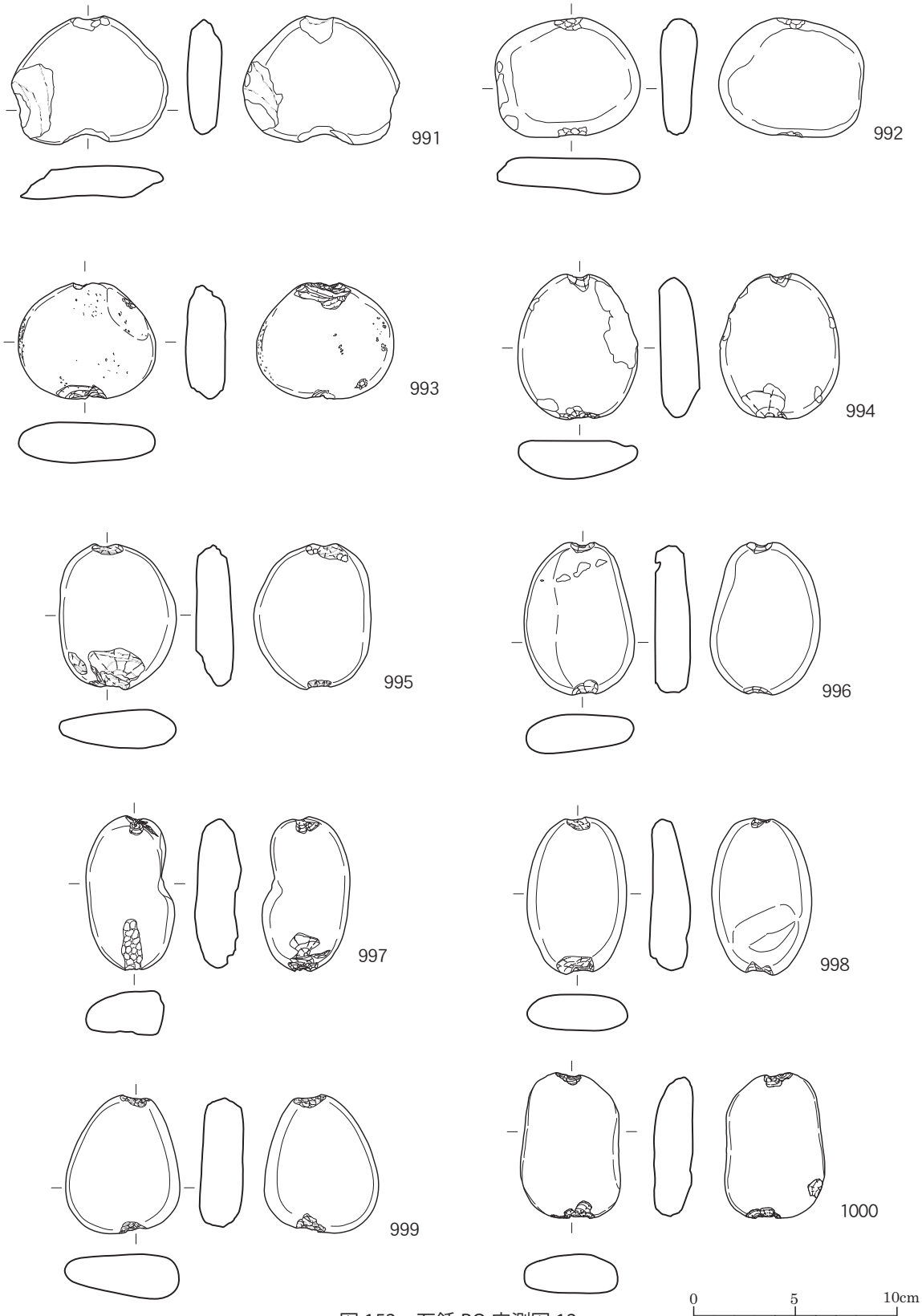


図 152　石錘 RQ 実測図 12

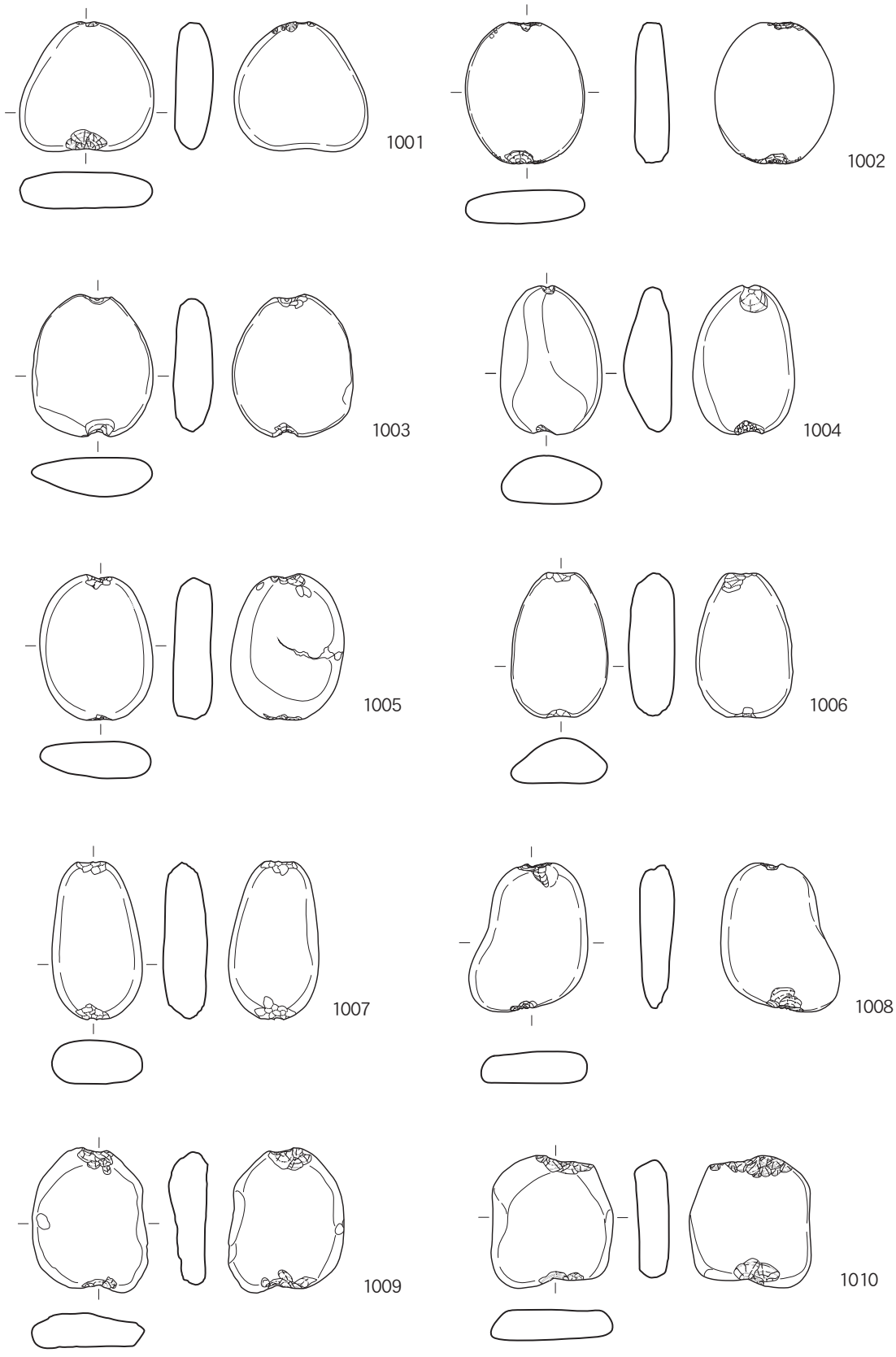


図 153　石錘 RQ 実測図 13

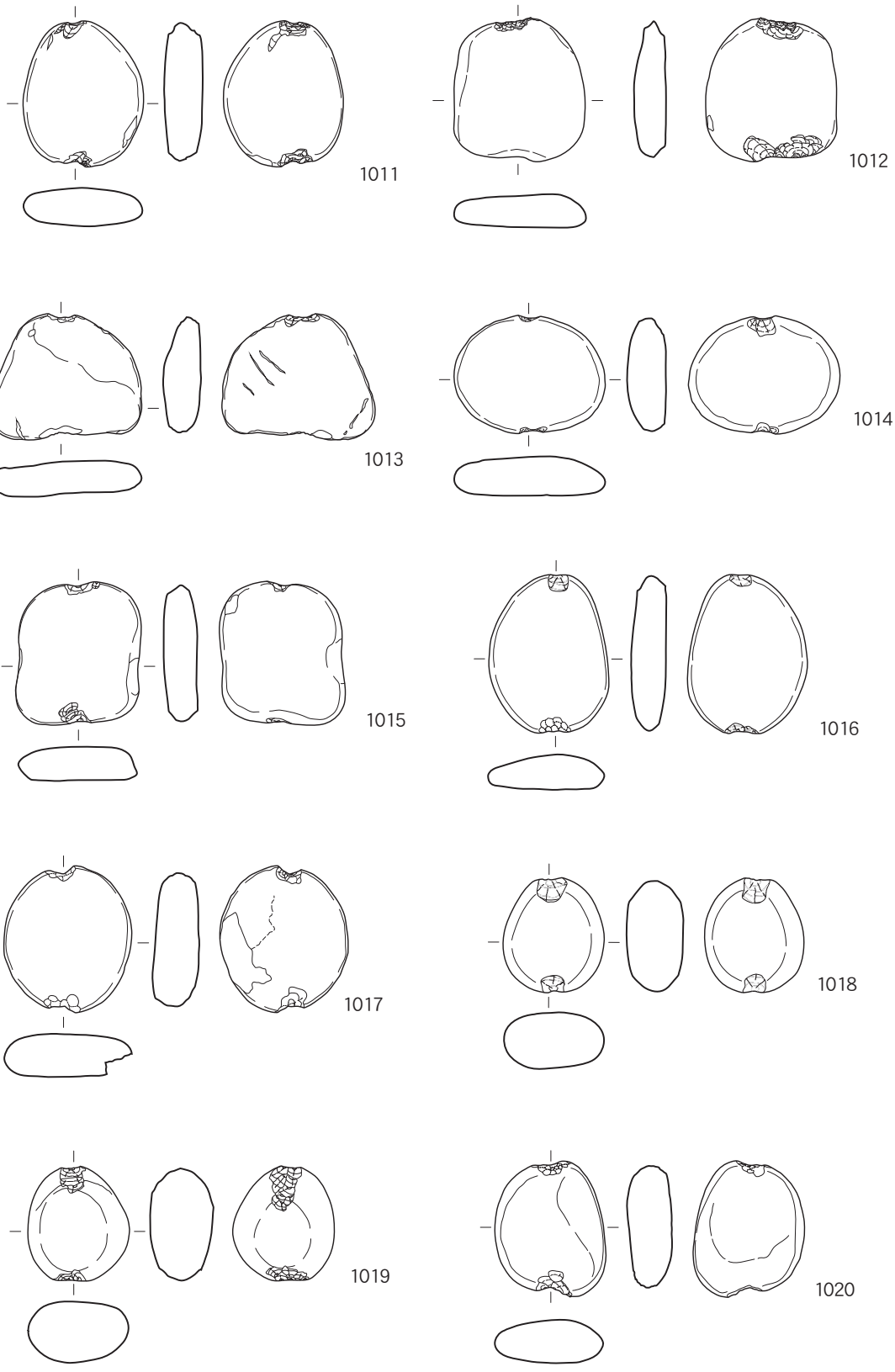


図 154　石錘 RQ 実測図 14

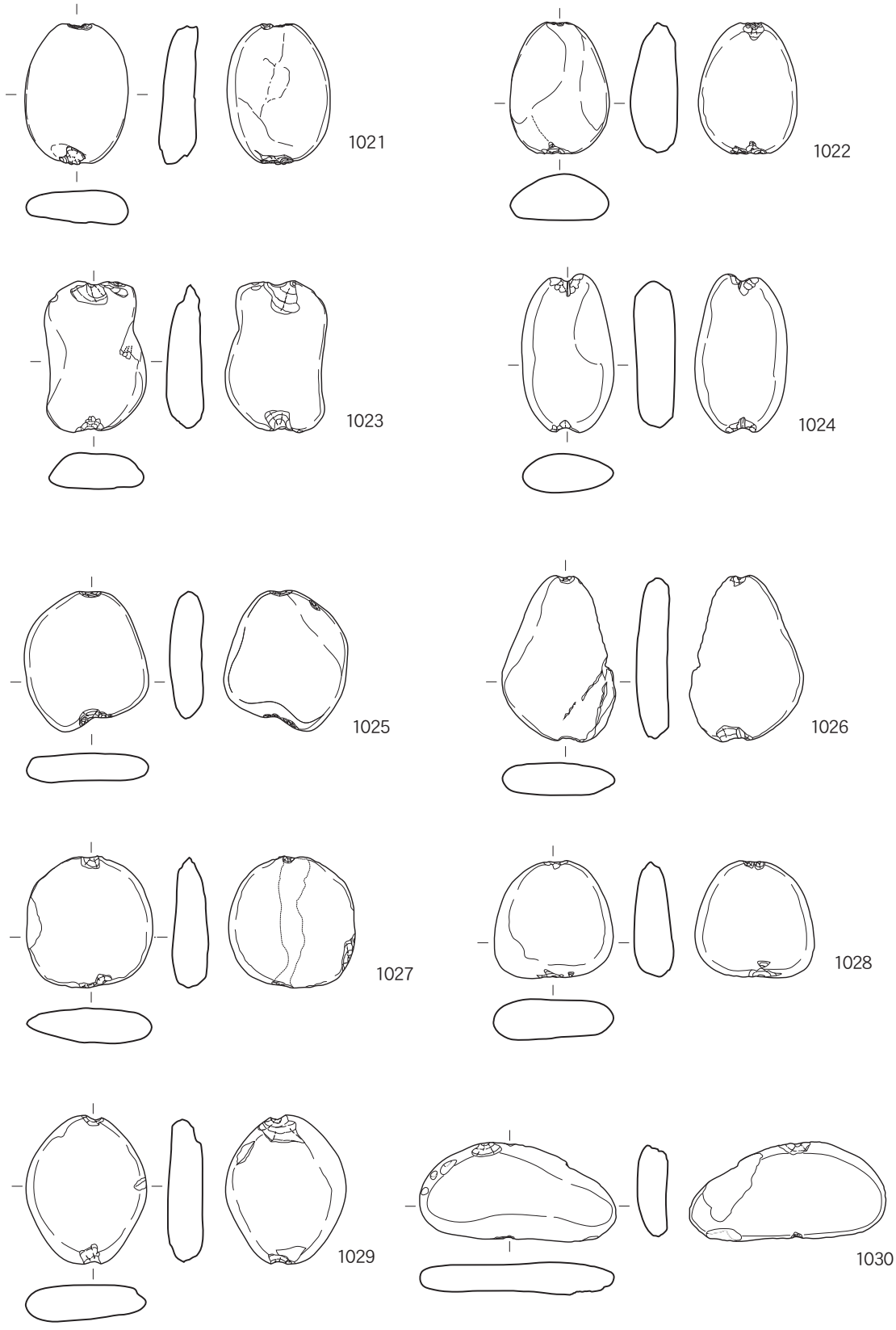


図 155　石錘 RQ 実測図 15

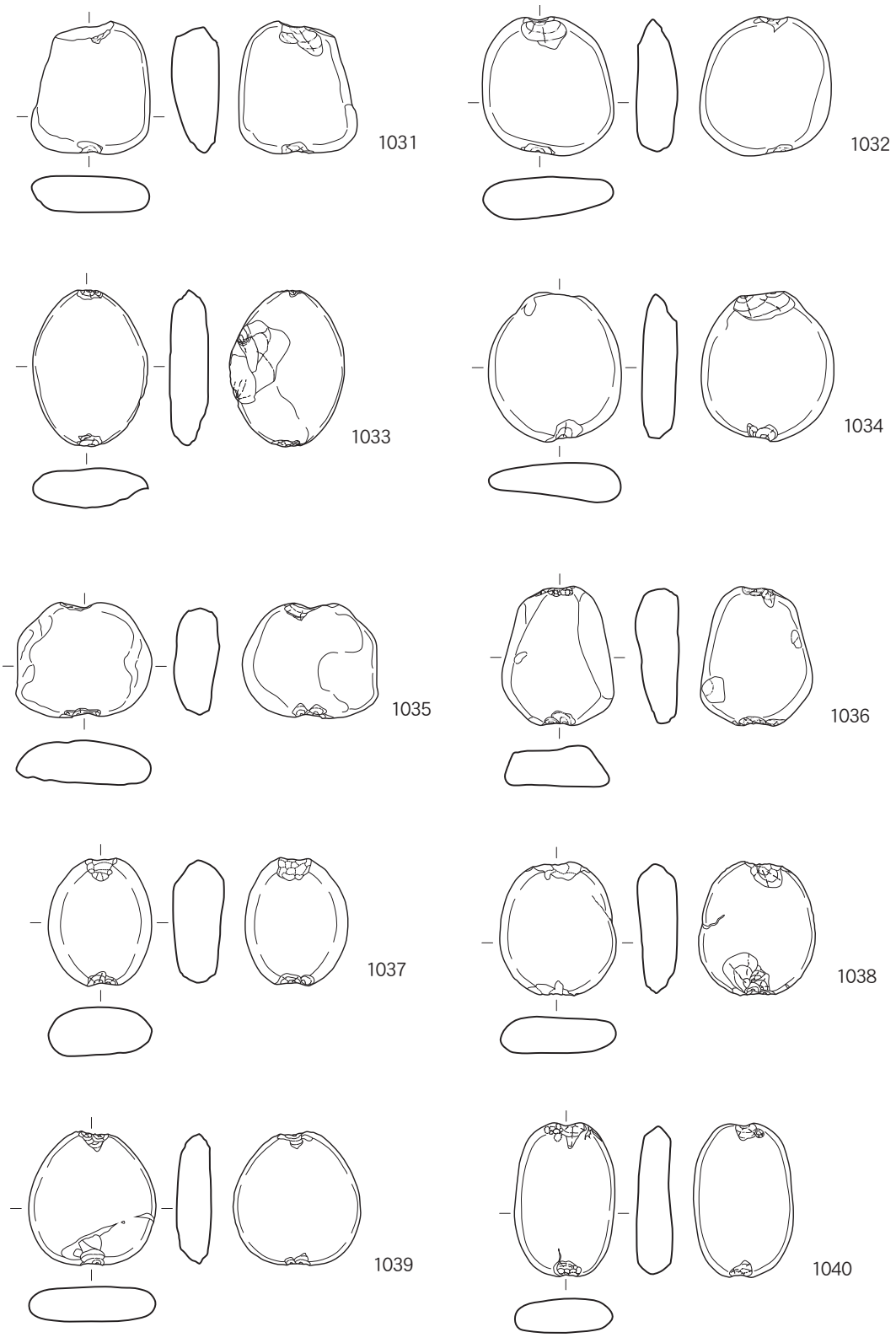


図 156　石錘 RQ 実測図 16

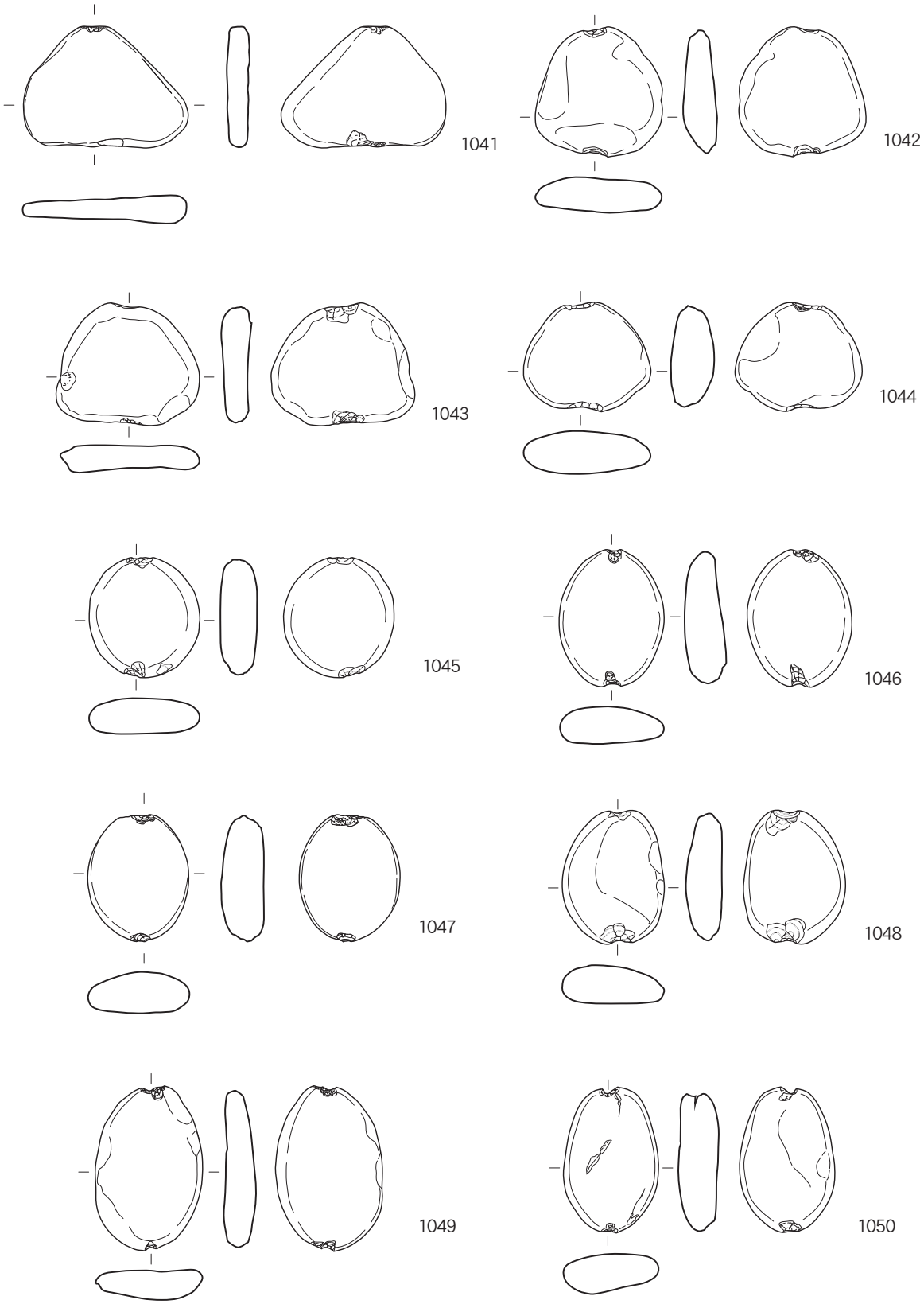


図 157　石錘 RQ 実測図 17

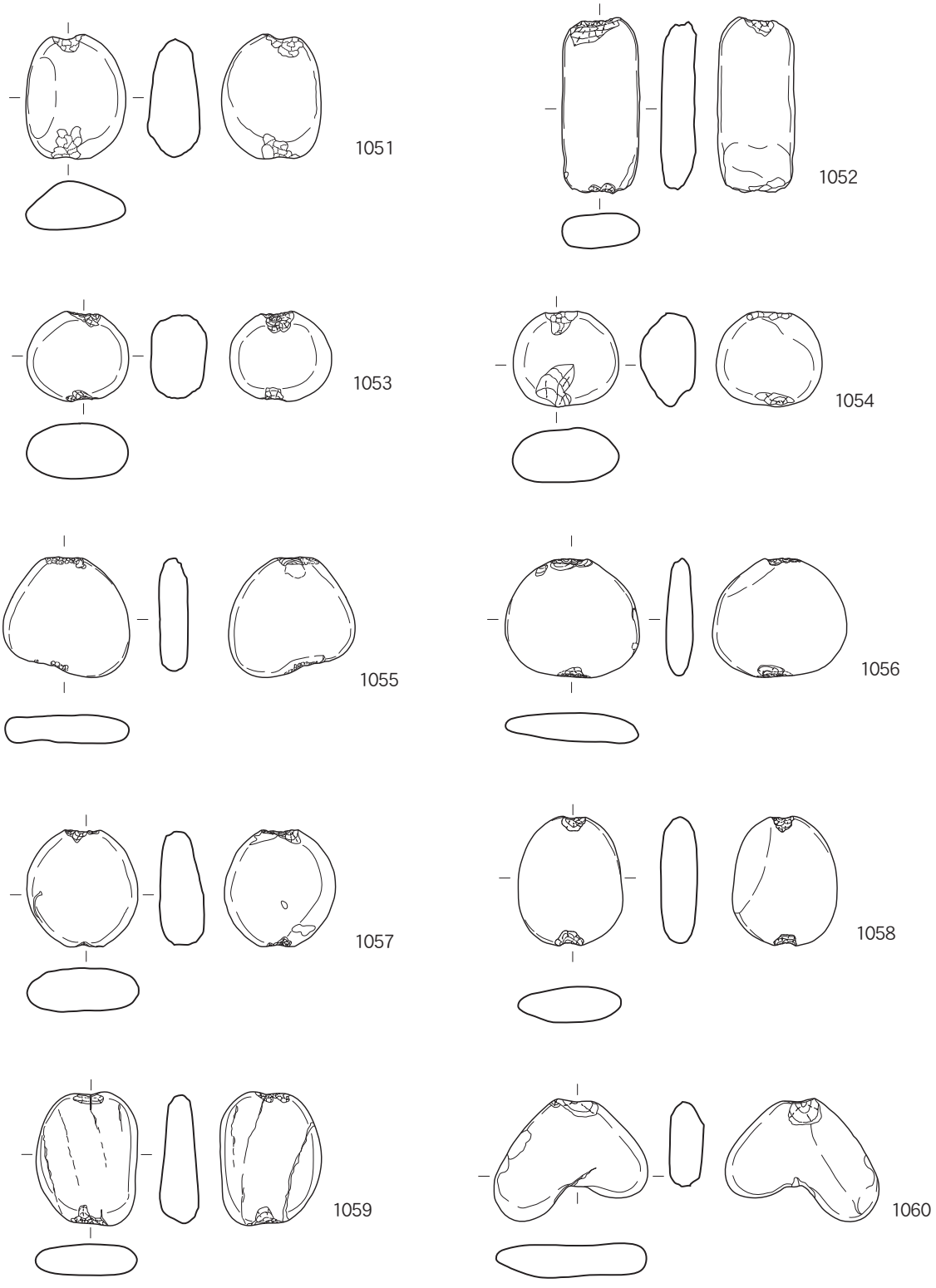


図 158　石錘 RQ 実測図 18

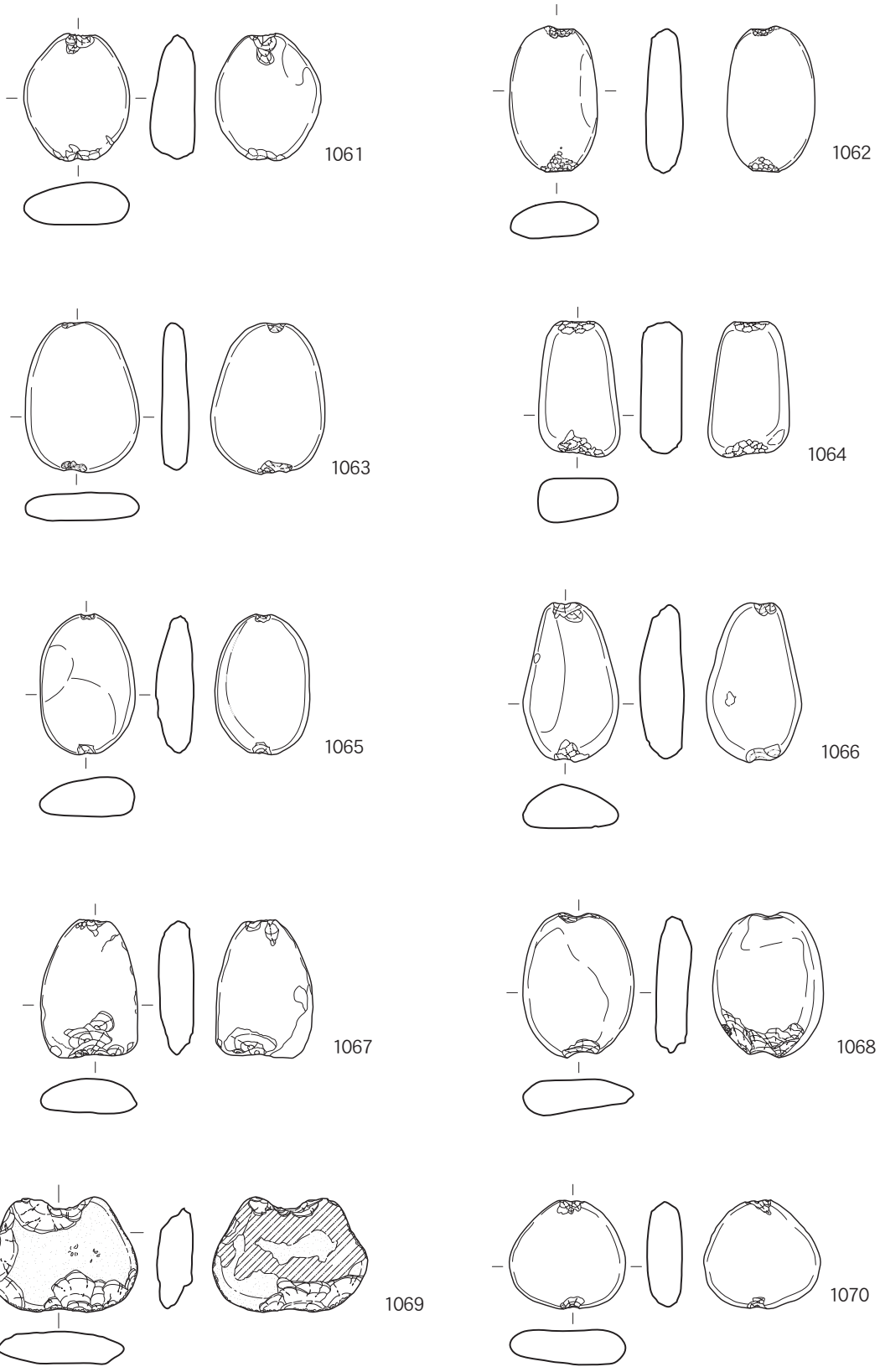


図 159　石錘 RQ 実測図 19

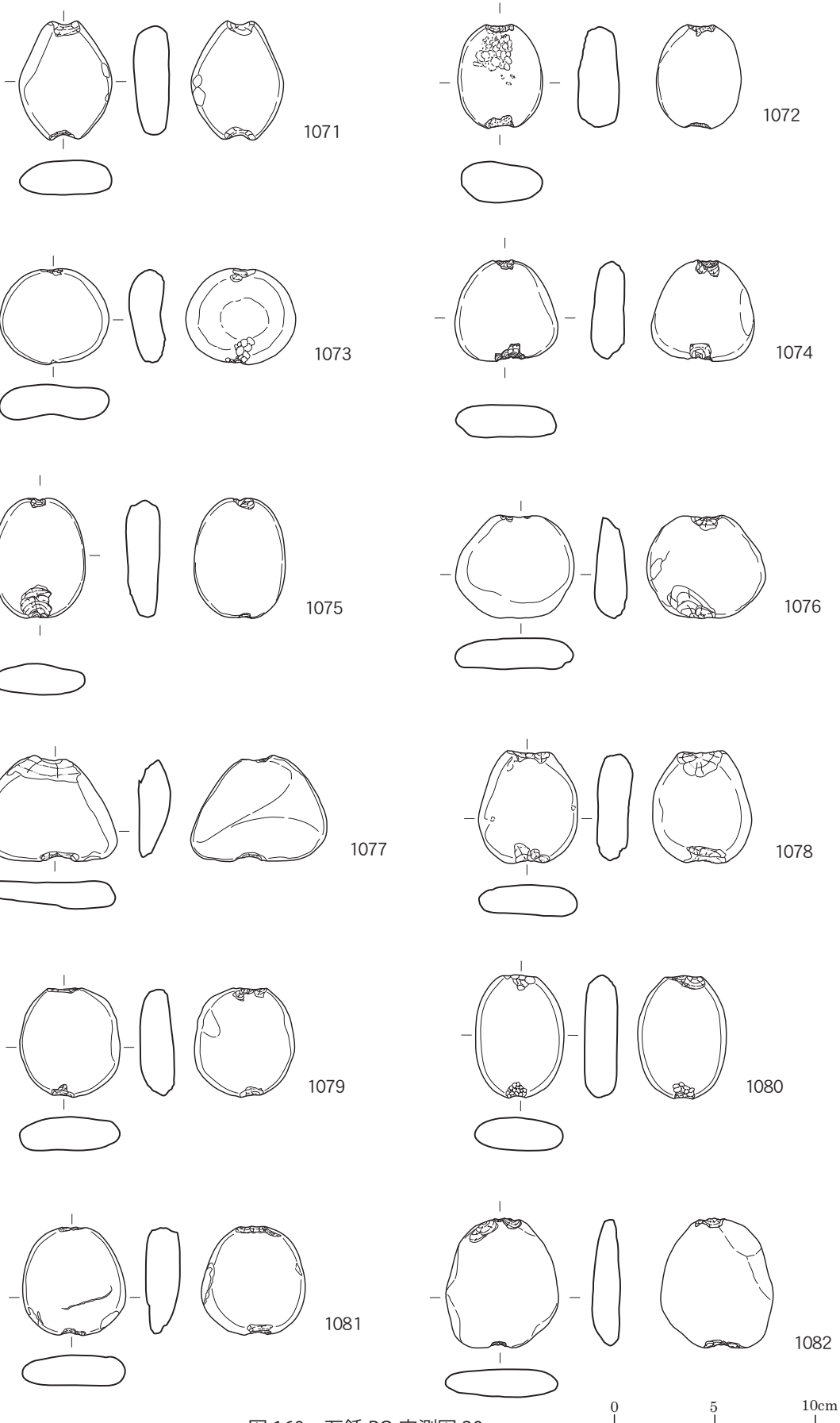


図 160　石錘 RQ 実測図 20

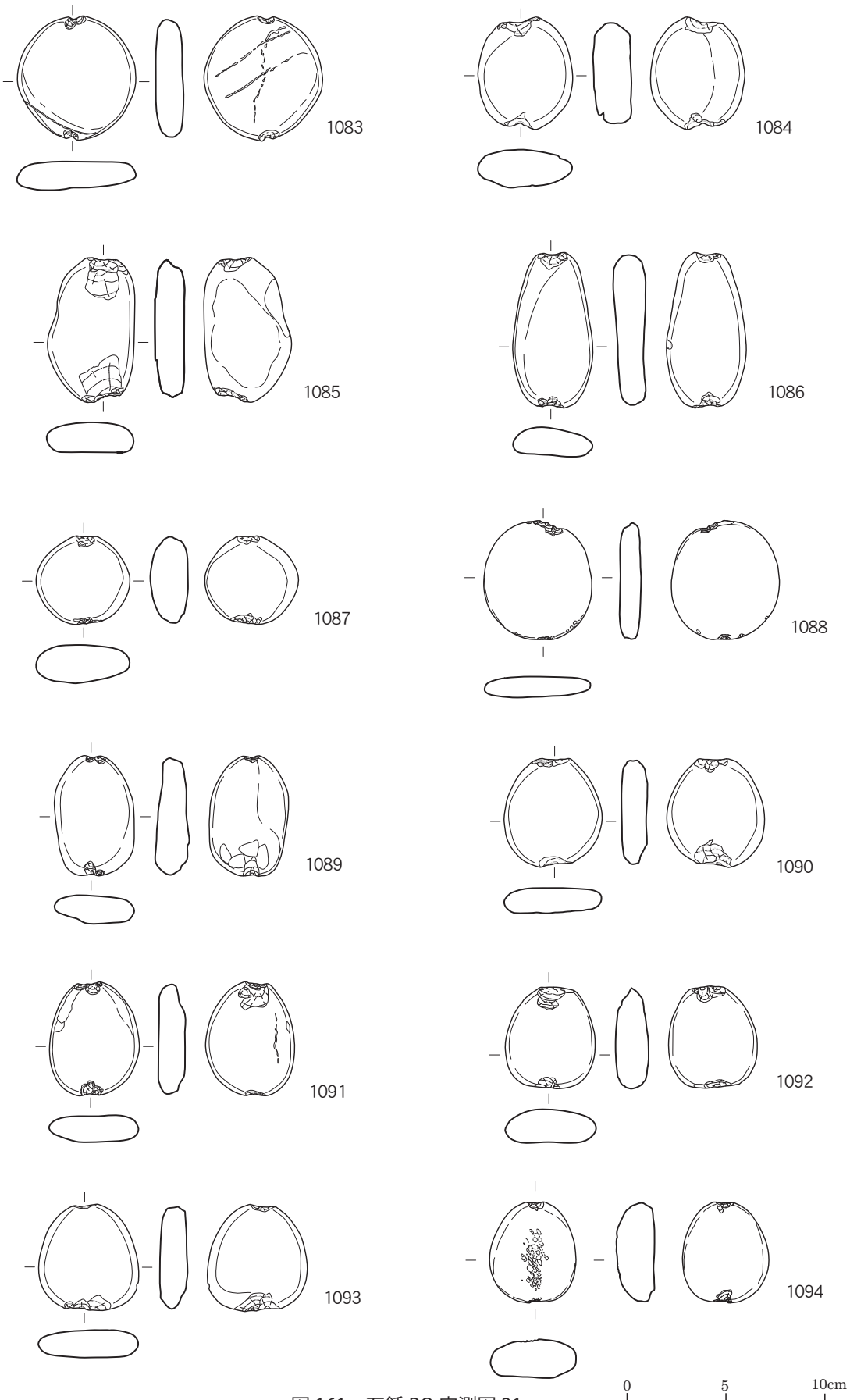


図 161　石錘 RQ 実測図 21

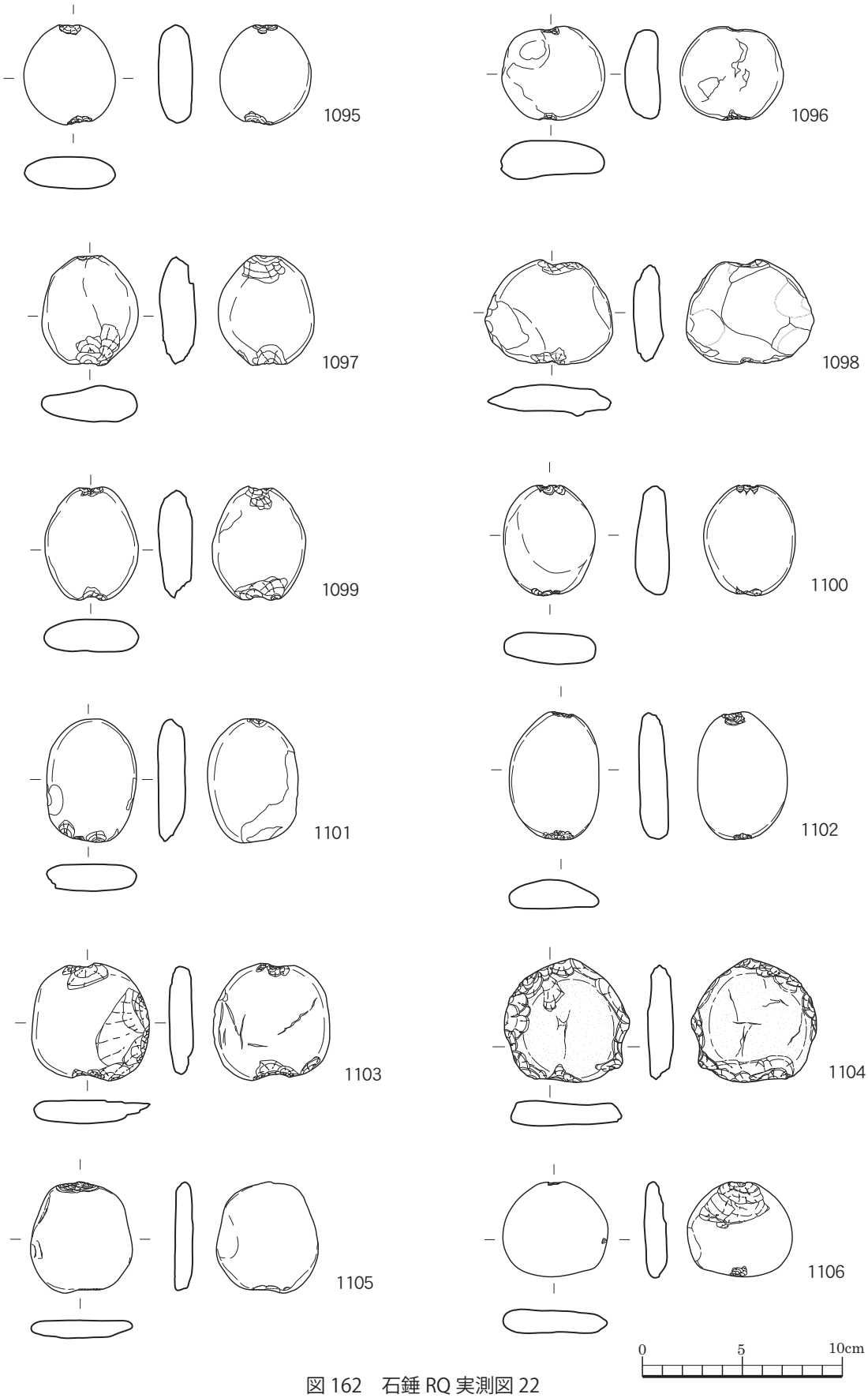


図 162　石錘 RQ 実測図 22

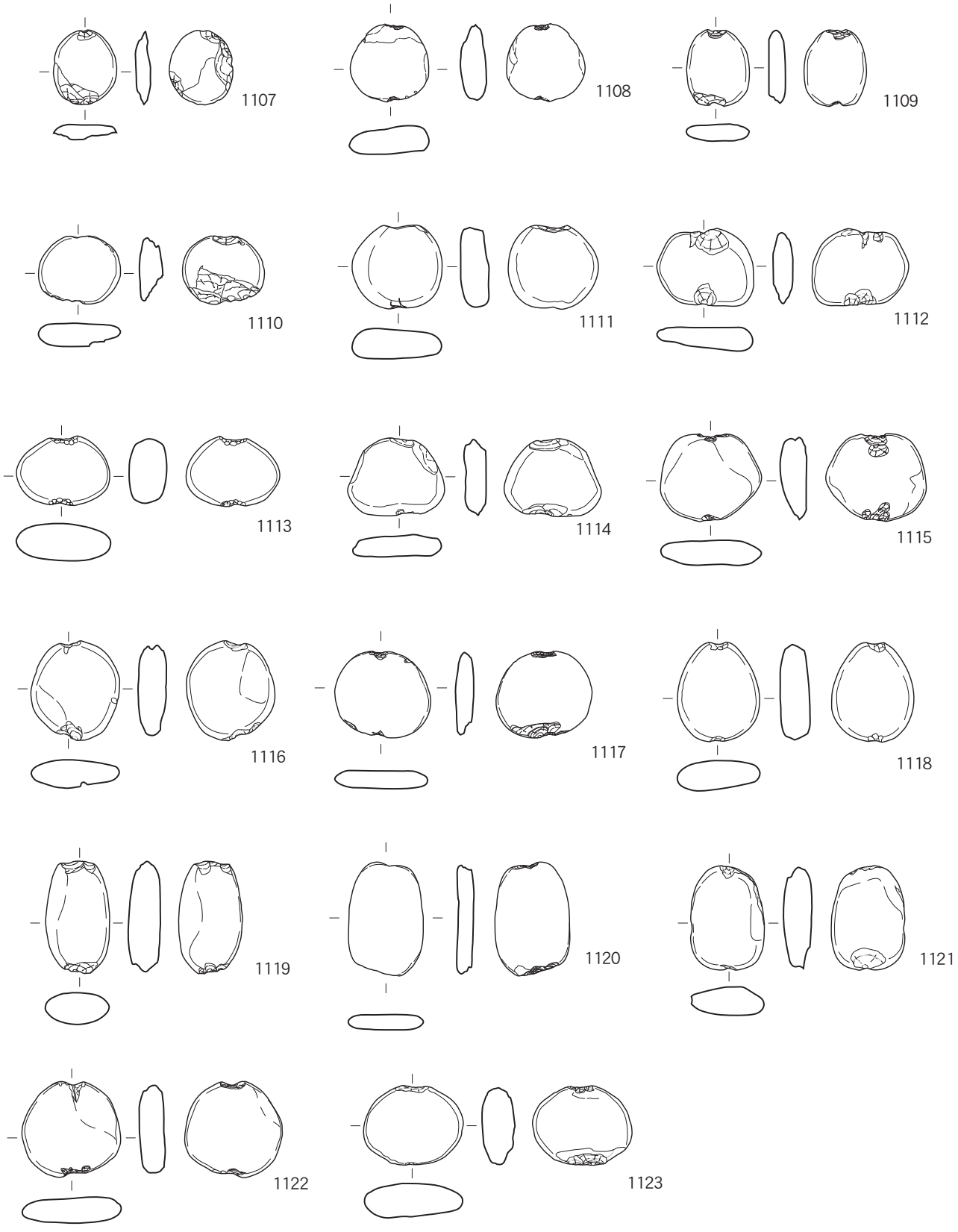


図 163　石錘 RQ 実測図 23

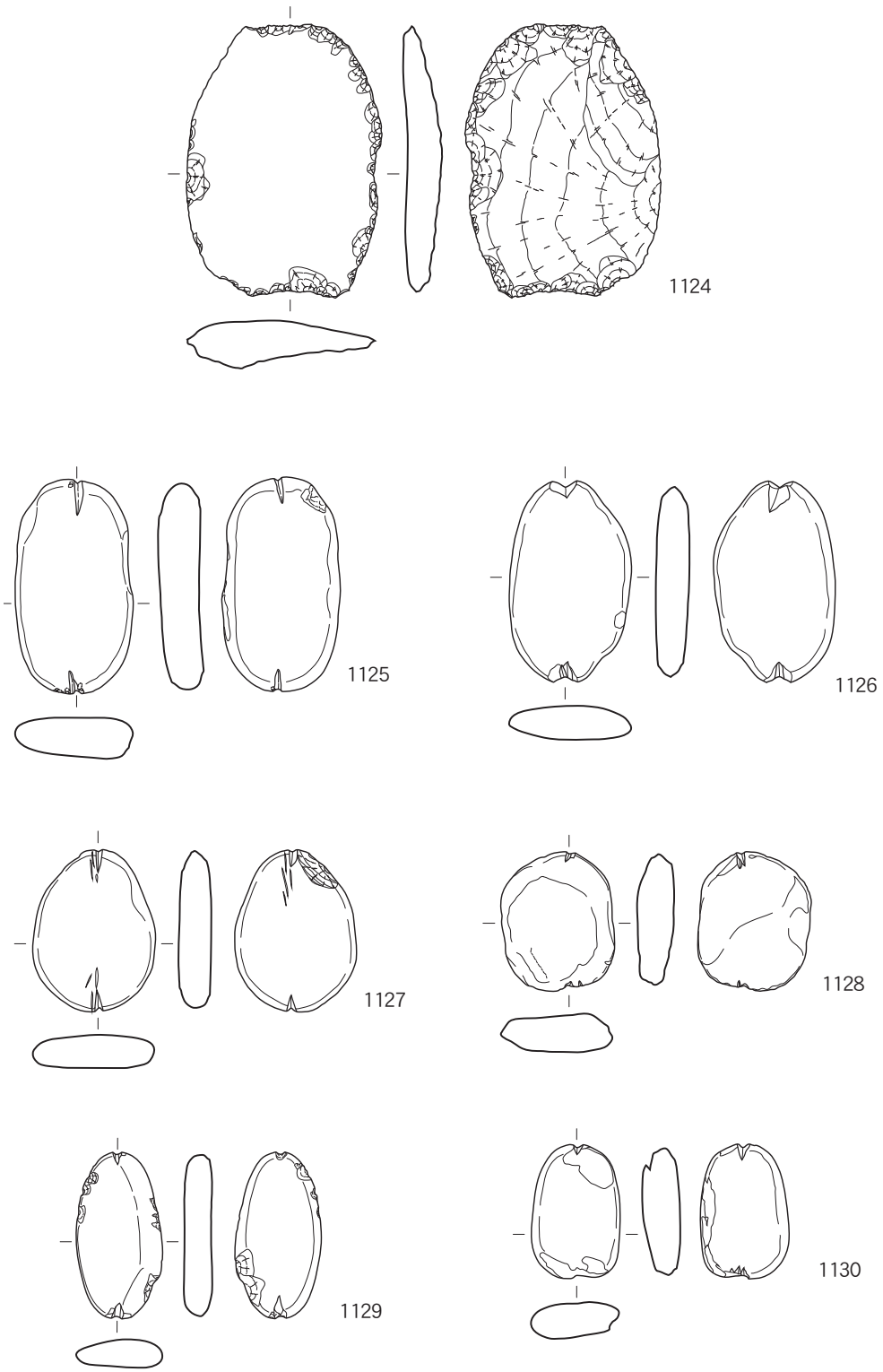


図 164　石錘 RQ 実測図 24

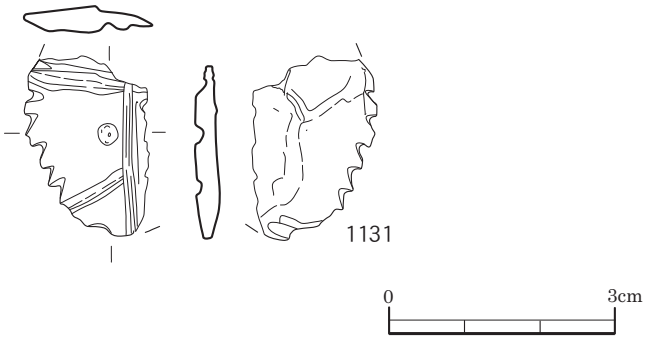


図 165　垂飾品他

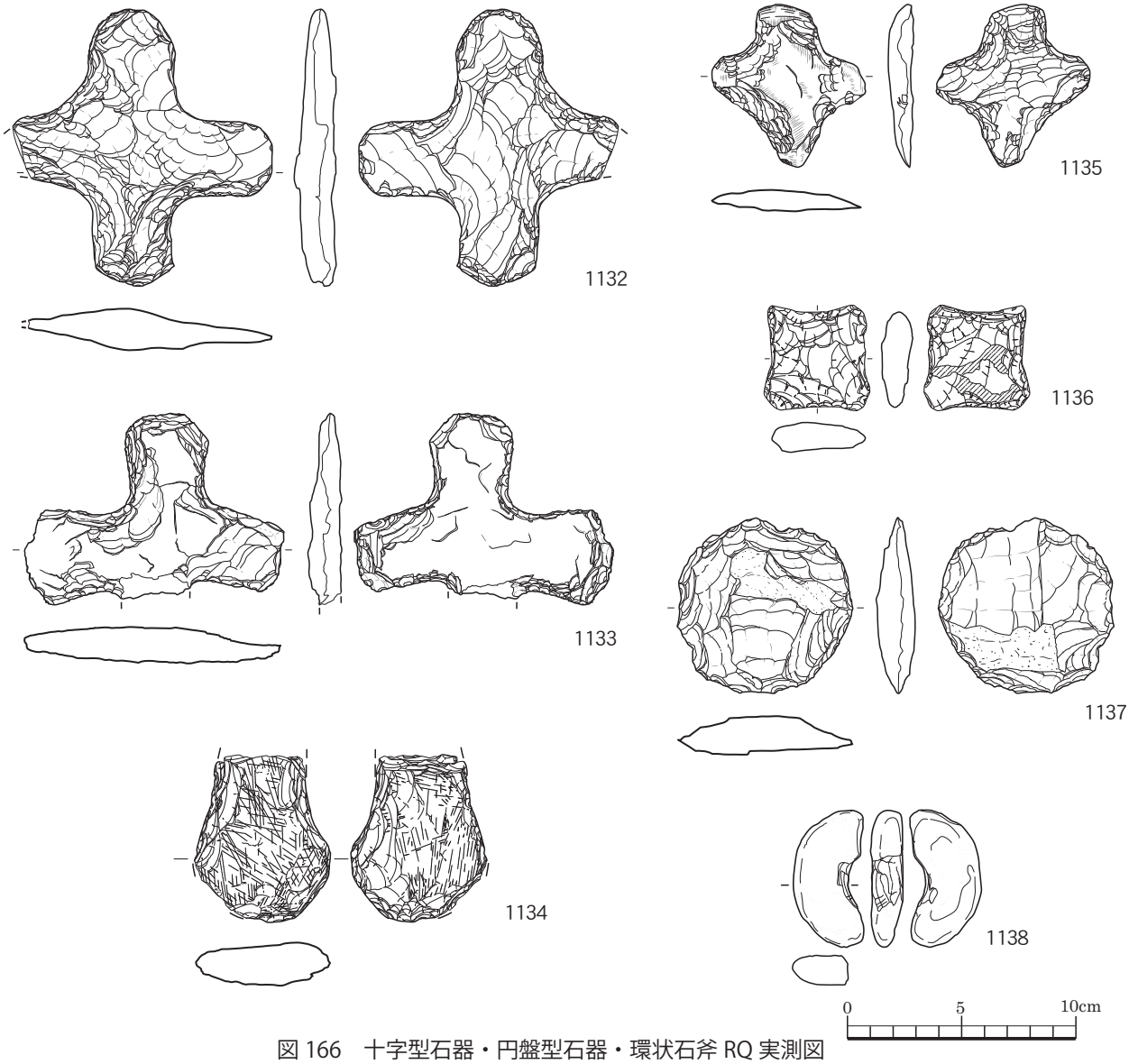


図 166　十字型石器・円盤型石器・環状石斧 RQ 実測図

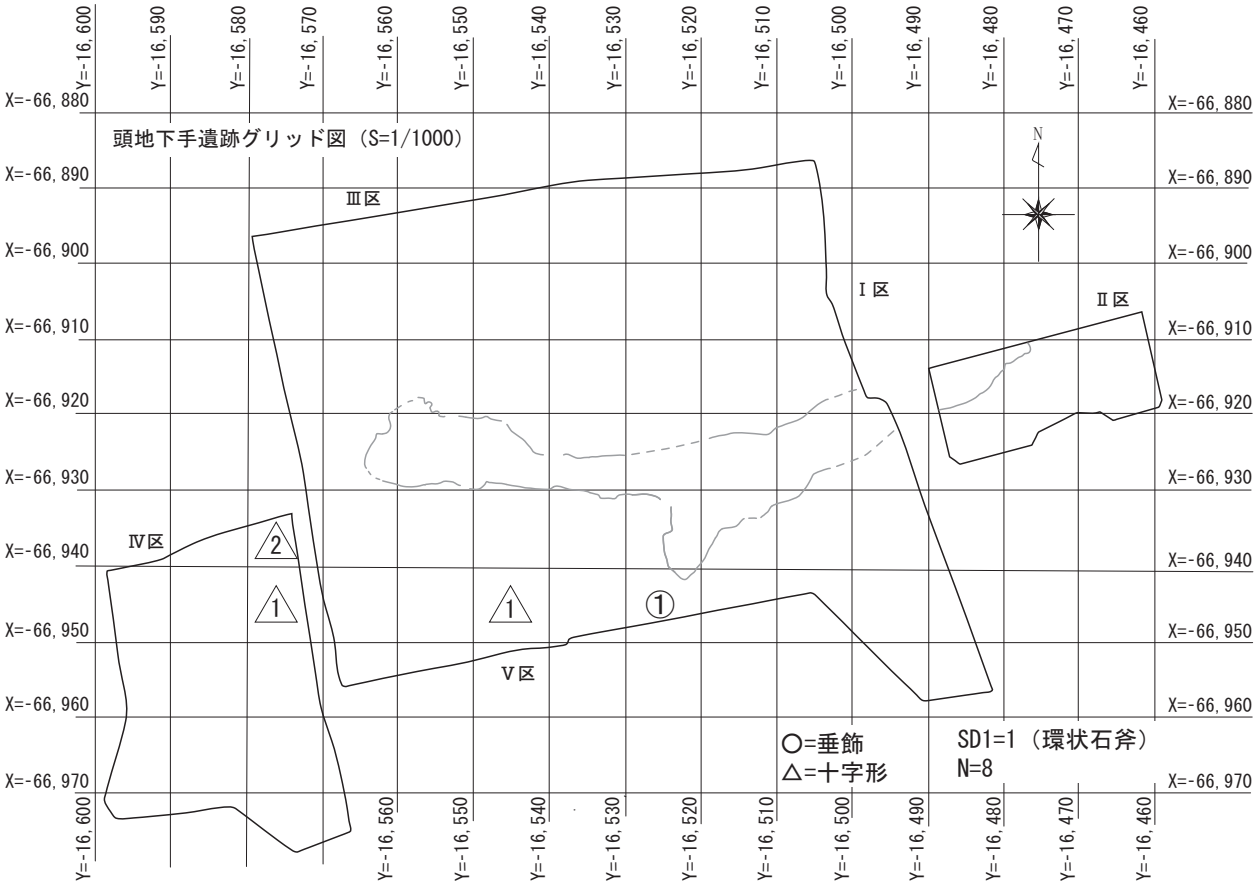


図 167　垂飾品他分布図

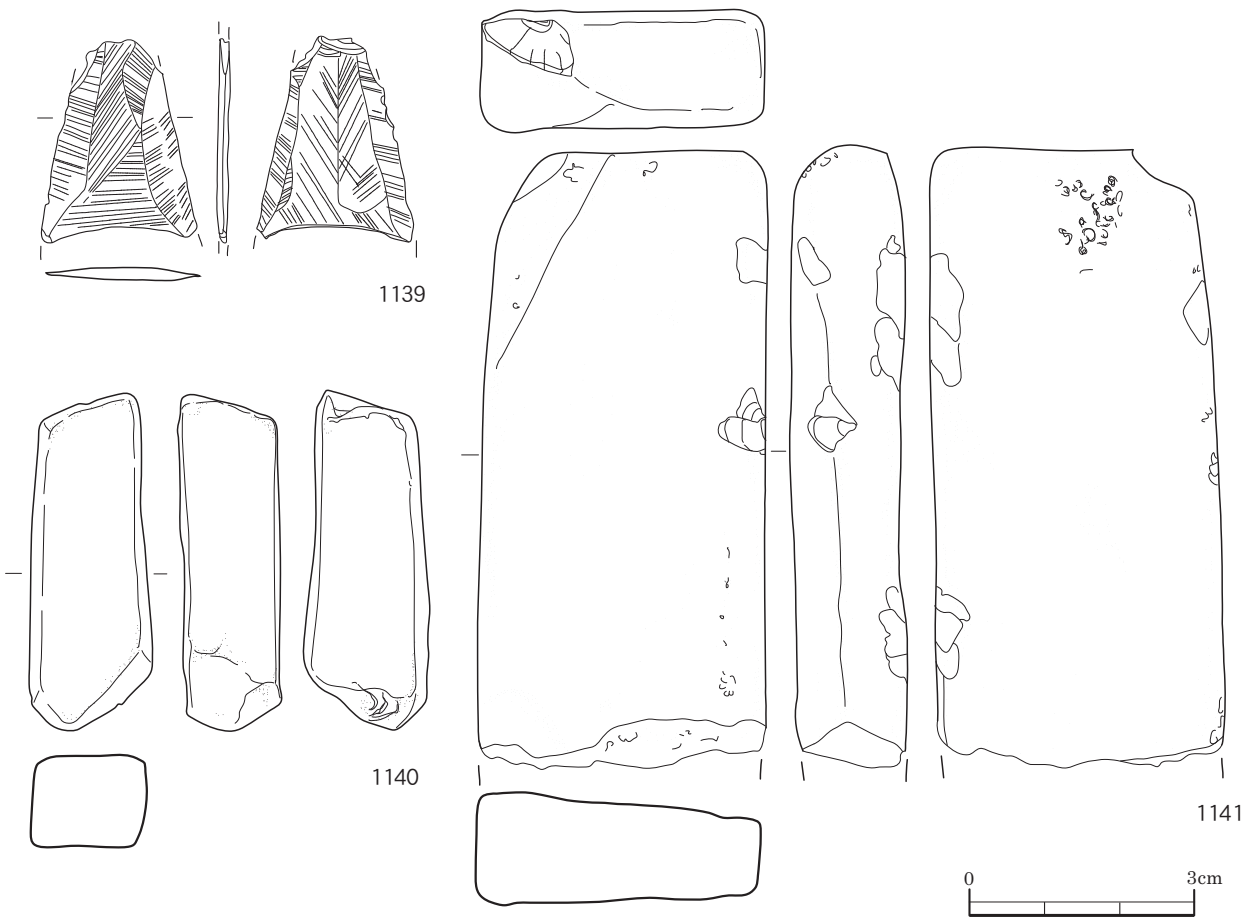


図 168　弥生　石器 RQ 実測図

石器（RQ）観察表

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
1	352	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	石鏃	珪質頁岩		3.11	2.2	1.6	4.77
2	352	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		3.08	2.41	0.7	4.7
3	352	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.85	2.1	0.8	4.07
4	352	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.8	2.1	0.65	3.81
5	352	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート黒		2.9	2.08	0.5	3.27
6	352	Ⅲ	E2	撹乱	石鏃	チャート		2.7	2	0.6	3.18
7	352	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート灰		2.6	2.17	0.57	2.75
8	352	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰筋		2.53	2.4	0.65	3.16
9	352	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート黒色系黒線		2.6	2.2	0.5	2.69
10	352	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.33	1.97	0.45	1.96
11	352	Ⅱ	9520	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.68	1.64	0.45	2.3
12	352	Ⅴ	F4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.28	1.75	0.5	1.7
13	352	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.55	2	0.6	1.54
14	352	Ⅴ	F3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.25	1.9	0.65	1.73
15	352	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.15	1.95	0.45	1.48
16	352	Ⅴ	E7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.05	1.7	0.65	1.73
17	352	Ⅴ	E2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2	2.1	0.5	1.49
18	352	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.2	1.72	0.52	1.8
19	352	Ⅴ	Ⅴ	不明	石鏃	チャート		2.37	1.58	0.4	1.5
20	352	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		3.6	2.1	0.65	3.57
21	352	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.7	2.3	0.65	3.32
22	352	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		3	2.15	0.65	3.1
23	352	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.82	1.64	0.45	1.6
24	352	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.95	1.79	0.74	2.9
25	352	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.75	1.95	0.45	2.12
26	352	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート黒		2.95	1.99	0.45	1.87
27	352	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート灰		2.65	2.2	0.45	1.77
28	352	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.69	1.66	0.49	1.67
29	352	Ⅴ	E5	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.85	2.22	0.8	2.83
30	352	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	珪質頁岩		2.57	1.53	0.44	1.6
31	352	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.78	1.42	0.53	1.6
32	352	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.75	1.58	0.4	1.5
33	352	Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	チャート		2.6	1.6	0.5	1.54
34	352	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		3.6	1.83	0.5	2.1
35	352	Ⅰ	Ⅰ	撹乱	石鏃	チャート		3.5	1.8	0.5	1.88

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
36	352	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		3.2	1.58	0.5	1.7
37	352	Ⅴ	F7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		3.41	1.6	0.4	1.7
38	352	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		3.8	2.3	0.5	3.2
39	352	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	チャート		2.57	1.84	0.35	1.5
40	353	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.29	1.6	0.5	1.59
41	353	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.32	1.75	0.55	1.7
42	353	Ⅲ	E2	不明	石鏃	チャート		2.22	1.7	0.46	1.5
43	353	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.4	2	0.3	1.54
44	353	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート灰		2.2	1.75	0.75	2.43
45	353	Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	チャート		1.75	2.05	0.4	1.64
46	353	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート灰		1.9	2.65	0.53	2.74
47	353	Ⅲ	E3	撹乱	石鏃	チャート		2.9	1.59	0.43	1.34
48	353	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート白		2.6	1.85	0.46	1.42
49	353	Ⅲ	E4	不明	石鏃	チャート		3.2	2.12	0.5	2.2
50	353	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.7	2.18	0.37	1.9
51	353	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.28	1.75	0.59	1.36
52	353	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		2.1	1.65	0.5	1.35
53	353	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2	1.65	0.6	1.33
54	353	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		2.63	1.8	0.45	1.31
55	353	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.28	1.59	0.48	1.28
56	353	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート灰		2.1	1.65	0.45	1.28
57	353	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.31	1.6	0.48	1.23
58	353	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ層	石鏃	チャート		2.12	1.76	0.35	1.4
59	353	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.7	1.74	0.4	1.4
60	353	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		2.8	1.7	0.45	1.42
61	353	Ⅲ	E3	不明	石鏃	チャート		1.82	1.7	0.4	1.4
62	353	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石鏃	輝石安山岩		3	1.9	0.3	1.7
63	353	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		3.1	1.98	0.32	1.3
64	353	Ⅴ	E5	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.52	1.53	0.39	1.4
65	353	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.46	1.57	0.4	1.4
66	353	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.45	1.7	0.4	1.4
67	353	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.4	1.05	0.4	1.37
68	353	Ⅲ	E1	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.33	1.58	0.39	1.3
69	353	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.45	1.5	0.6	1.79
70	353	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.05	1.4	0.65	1.37

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
71	353	Ⅴ	H6	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		3.08	1.52	0.42	1.36
72	353	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.6	1.64	0.42	1.4
73	353	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.42	1.76	0.35	1.3
74	353	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	安山岩		2.7	1.5	0.35	1.1
75	353	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.5	1.6	0.35	1.58
76	353	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.8	1.8	0.45	1.52
77	353	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.85	1.75	0.5	1.25
78	354	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		2.1	1.5	0.35	0.9
79	354	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石（人吉）		2.02	1.55	0.39	0.9
80	354	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.07	1.79	0.28	0.9
81	354	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	チャート		2.45	1.75	0.3	0.9
82	354	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.2	1.35	0.35	1.1
83	354	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.31	1.52	0.38	0.99
84	354	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	チャート		2.03	1.61	0.41	0.99
85	354	Ⅴ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	流紋岩		2.17	1.43	0.38	1.1
86	354	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.02	1.56	0.35	1
87	354	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.04	1.58	0.29	1
88	354	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.87	1.72	0.4	1
89	354	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.84	1.11	0.45	1
90	354	Ⅳ	E1	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.8	1.45	0.5	1
91	354	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.96	1.29	0.4	0.91
92	354	Ⅲ	C2	SK007	石鏃	チャート		2.18	1.87	0.25	0.9
93	354	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.9	1.85	0.5	0.99
94	354	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	チャート		2	1.7	0.4	0.98
95	354	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.48	1.63	0.42	0.98
96	354	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2	1.95	0.35	1.05
97	354	Ⅴ	F2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.18	1.95	0.32	0.97
98	354	Ⅴ	E2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.75	2.17	0.39	1.05
99	354	Ⅳ	A2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		1.73	1.6	0.35	0.9
100	354	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ層	石鏃	チャート		2.49	1.88	0.32	1.4
101	354	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.7	1.68	0.35	1.1
102	354	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.62	1.4	0.39	1.1
103	354	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		2.28	1.7	0.6	1.71
104	354	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.1	1.55	0.43	1.28
105	354	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.8	1.58	0.59	1.26

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
106	354	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.2	1.5	0.55	1.39
107	354	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		2.6	1.45	0.5	1.05
108	354	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	黒曜石		2.1	1.65	0.35	1
109	354	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	黒曜石		2.41	1.66	0.28	1
110	354	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	黒曜石		2.29	1.52	0.5	0.91
111	354	Ⅴ	G6	撹乱	石鏃	黒曜石		2.22	1.69	0.31	0.92
112	354	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.92	1.48	0.45	0.9
113	354	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.72	1.35	0.35	1.52
114	354	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.68	1.8	0.4	0.91
115	354	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.59	0.42	1.07
116	354	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.46	2.12	0.27	1
117	354	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		2.35	1.5	0.4	0.99
118	354	Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	黒曜石		1.6	1.72	0.45	0.91
119	354	Ⅳ	B2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.05	1.34	0.4	0.88
120	354	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.68	1.5	0.38	0.89
121	354	Ⅴ	F3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.38	1.73	0.33	0.82
122	354	Ⅲ	E1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.4	0.45	0.86
123	355	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.35	1.65	0.3	0.84
124	355	Ⅲ	E2	撹乱	石鏃	チャート		1.7	1.55	0.4	0.8
125	355	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	チャート		1.61	1.61	0.38	0.82
126	355	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.97	1.41	0.4	0.76
127	355	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.82	1.59	0.31	0.79
128	355	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		2.2	1.53	0.35	0.73
129	355	Ⅳ	F6	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.12	1.38	0.35	0.74
130	355	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｃ層	石鏃	安山岩		2	1.5	0.3	0.7
131	355	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.75	1.37	0.39	0.71
132	355	Ⅴ	SD1	不明	石鏃	黒曜石		1.52	1.66	0.42	0.72
133	355	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.41	2	0.35	0.9
134	355	Ⅴ	SD1		石鏃	チャート		1.86	1.38	0.29	0.8
135	355	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.75	1.5	0.37	0.8
136	355	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.67	1.51	0.33	0.73
137	355	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.86	1.38	0.44	0.72
138	355	Ⅴ	I7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.95	1.35	0.4	0.72
139	355	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.18	1.38	0.3	0.7
140	355	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	チャート		1.6	1.54	0.48	0.68

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
141	355	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.44	1.68	0.38	0.65
142	355	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.74	1.18	0.3	0.66
143	355	Ⅴ	H6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.55	1.35	0.4	0.7
144	355	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.75	1.3	0.45	0.65
145	355	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.5	1.2	0.4	0.64
146	355	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.67	1.33	0.38	0.63
147	355	Ⅴ	F5	撹乱	石鏃	チャート		2.1	1.4	0.31	0.71
148	355	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.75	1.35	0.4	0.77
149	355	Ⅳ	A2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石Ｂ		1.82	1.47	0.4	0.8
150	355	Ⅴ	H6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.7	1.4	0.4	0.71
151	355	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	チャート		2	1.65	0.4	0.89
152	355	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.82	1.55	0.39	0.84
153	355	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.9	1.5	0.3	0.84
154	355	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.95	1.6	0.35	0.84
155	355	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.32	1.5	0.3	0.8
156	355	Ⅲ	E2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.23	1.49	0.27	0.8
157	355	Ⅲ	E2	不明	石鏃	チャート		2.4	1.32	0.32	0.8
158	355	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.94	1.68	0.28	0.8
159	355	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.2	1.56	0.32	0.8
160	355	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.2	1.85	0.35	0.79
161	355	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.6	1.5	0.3	0.79
162	355	Ⅴ	F7	Ⅲｂ層	石鏃	安山岩		2.42	1.31	0.39	0.76
163	355	Ⅴ	E6	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.73	1.37	0.39	0.88
164	355	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.68	1.68	0.45	0.86
165	355	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.4	1.3	0.33	0.71
166	355	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	安山岩		2.88	1.41	0.4	0.85
167	355	Ⅲ	E3	撹乱	石鏃	安山岩		2.35	1.32	0.44	0.87
168	355	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.9	1.4	0.3	0.81
169	355	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.1	1.2	0.4	0.81
170	355	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	チャート		2.13	1.1	0.47	0.78
171	356	Ⅳ	A3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.09	1.96	0.42	1.36
172	356	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｄ層	石鏃	輝石安山岩		1.2	2	0.39	1.3
173	356	Ⅲ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.11	1.49	0.42	1.3
174	356	Ⅳ	C2	不明	石鏃	安山岩		1.83	1.79	0.49	1.12
175	356	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.95	1.6	0.45	1.11

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
176	356	Ⅲ	E6	不明	石鏃	チャート		1.89	1.4	0.45	1.1
177	356	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石鏃	輝石安山岩		1.92	1.64	0.5	1.2
178	356	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石鏃	チャート		1.84	1.66	0.54	1.16
179	356	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石鏃	輝石安山岩		2.8	2.4	0.42	1.7
180	356	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	チャート		2.3	1.6	0.4	1.14
181	356	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲd層	石鏃	チャート		2.45	1.6	0.5	1.45
182	356	Ⅳ	C1	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.27	1.7	0.45	1.1
183	356	Ⅳ	C1	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.3	1.98	0.34	1.1
184	356	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	チャート		1.9	1.8	0.4	0.81
185	356	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲb層	石鏃	チャート		2.95	1.35	0.35	0.94
186	356	Ⅳ	B1	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.82	1.46	0.4	1
187	356	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.33	1.37	0.38	0.9
188	356	Ⅴ	E5	Ⅲb層	石鏃	チャート		2.31	1.71	0.42	1.08
189	356	Ⅲ	E4	不明	石鏃	チャート		2.1	1.78	0.31	0.9
190	356	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲd層	石鏃	黒曜石（人吉）		2.03	1.48	0.36	1.1
191	356	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石鏃	チャート		1.95	1.6	0.04	1.06
192	356	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	黒曜石		1.93	1.38	0.38	1
193	356	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石鏃	輝石安山岩		2.65	1.08	0.28	1.2
194	356	Ⅳ	C1	Ⅲc層	石鏃	輝石安山岩		2.52	1.49	0.36	1.4
195	356	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石鏃	輝石安山岩		2.54	1.5	0.4	1.4
196	356	Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	安山岩		2.5	1.6	0.4	1.18
197	356	Ⅳ	D1	Ⅲc層	石鏃	チャート灰		2.28	1.55	0.49	1.27
198	356	Ⅲ	E3	撹乱	石鏃	チャート		2.2	1.6	0.41	1.2
199	356	Ⅳ	D3	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.1	1.87	0.38	1.1
200	356	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石鏃	チャート		2.78	1.8	0.35	1.3
201	356	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.43	1.62	0.38	1.3
202	356	Ⅳ	E4	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.32	1.67	0.34	1.3
203	356	Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	チャート		2.67	1.61	0.37	1.14
204	356	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石鏃	チャート		2.65	1.4	0.4	1.12
205	356	Ⅴ	Ⅴ	不明	石鏃	チャート		2.69	1.64	0.38	1.5
206	356	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石鏃	チャート		1.6	1.69	0.25	1.1
207	356	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石鏃	チャート		2.52	1.75	0.42	1.6
208	356	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	黒曜石		2.05	1.68	0.35	0.3
209	356	Ⅳ	E3	Ⅲc層	石鏃	チャート		2.9	1.39	0.37	1.1
210	356	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石鏃	チャート		2.65	1.55	0.4	1.21

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
211	356	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.52	1.41	0.39	1.3
212	356	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.5	1.2	0.55	1.13
213	356	Ⅴ	F7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.38	1.66	0.38	1.25
214	356	Ⅴ	F2	Ⅲｂ層	石鏃	不明		2	1.4	0.5	1.13
215	357	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2	1.5	0.3	1.1
216	357	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.15	1.69	0.35	1
217	357	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.1	1.5	0.45	1
218	357	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.18	1.5	0.29	1.1
219	357	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.47	1.32	0.42	1.1
220	357	Ⅳ	B2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.03	1.47	0.48	0.92
221	357	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.25	1.5	0.35	0.92
222	357	Ⅲ	E4	不明	石鏃	輝石安山岩		1.97	1.63	0.29	0.9
223	357	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.95	1.52	0.32	0.9
224	357	Ⅴ	I7	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.78	1.82	0.31	0.9
225	357	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.71	1.58	0.42	1.05
226	357	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.1	1.3	0.45	0.91
227	357	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.98	1.6	0.35	0.9
228	357	Ⅴ	H6	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.17	1.54	0.4	0.9
229	357	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.11	1.54	0.32	1.1
230	357	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2	1.52	0.28	0.9
231	357	Ⅴ	F2	不明	石鏃	チャート		1.98	1.44	0.32	0.9
232	357	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.92	1.68	0.3	0.9
233	357	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	安山岩		1.9	1.5	0.3	0.96
234	357	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	頁岩		2.1	1.7	0.4	0.92
235	357	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.65	1.55	0.45	0.9
236	357	Ⅰ	9521	Ⅲｄ層	石鏃	安山岩		1.6	1.53	0.45	0.9
237	357	Ⅴ	H6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		2.4	1.7	0.3	0.84
238	357	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲａ層	石鏃	黒曜石		2.4	1.5	1.3	0.8
239	357	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石Ａ		2.12	1.38	0.3	0.8
240	357	Ⅲ	E3	撹乱	石鏃	黒曜石		1.72	1.68	0.35	0.79
241	357	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.8	1.5	0.4	0.73
242	357	Ⅴ	E2	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.76	0.39	0.71
243	357	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.7	1.5	0.4	0.8
244	357	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.4	1.6	0.5	0.79
245	357	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.45	1.6	0.45	0.82

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
246	357	Ⅴ	I7	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.75	1.4	0.5	0.82
247	357	Ⅲ	E2	撹乱	石鏃	黒曜石		1.53	1.72	0.4	0.84
248	357	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.71	0.47	0.81
249	357	Ⅱ	B1	不明	石鏃	黒曜石Ａ		1.72	1.42	0.31	0.7
250	357	Ⅴ	H6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.78	1.49	0.39	0.73
251	357	Ⅴ	E5	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.7	1.39	0.4	0.7
252	357	Ⅴ	I7	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.4	1.5	0.4	0.75
253	357	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石 A		2.36	1.99	0.27	0.7
254	357	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石 A		1.85	1.43	0.31	0.7
255	357	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.9	1.46	0.33	0.67
256	357	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		2.15	1.35	0.35	0.64
257	357	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		2.2	1.2	0.5	0.63
258	357	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.9	1.4	0.4	0.63
259	357	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.41	1.6	0.42	0.66
260	357	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.83	1.3	0.34	0.63
261	358	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石 B		1.62	1.43	0.38	0.6
262	358	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.87	1.66	0.32	0.6
263	358	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.05	1.3	0.35	0.54
264	358	Ⅲ	Ⅲ	砂層一括	石鏃	チャート		2.1	1.5	0.4	0.69
265	358	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2	1.28	0.21	0.5
266	358	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.72	1.43	0.4	0.6
267	358	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石 B		1.5	1.37	0.3	0.4
268	358	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.54	1.66	0.28	0.3
269	358	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.62	1.18	0.39	0.7
270	358	Ⅳ	B2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		2.05	0.98	0.35	0.38
271	358	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	チャート		1.39	1.42	0.35	0.53
272	358	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.58	1.41	0.4	0.51
273	358	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.86	1.52	0.28	0.6
274	358	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.18	1.38	0.3	0.6
275	358	Ⅲ	E6	不明	石鏃	チャート		2.1	1.09	0.38	0.7
276	358	Ⅱ	9520	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		2.23	1.52	0.33	1.3
277	358	Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	チャート		2.15	1.25	0.3	0.72
278	358	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石鏃	頁岩		1.7	1.45	0.35	0.57
279	358	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.63	1.3	0.33	0.62
280	358	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.35	1.5	0.35	0.61

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
281	358	Ⅲ	E3	不明	石鏃	輝石安山岩		1.42	0.44	0.3	0.6
282	358	Ⅲ	E2	撹乱	石鏃	チャート		1.64	1.41	0.3	0.54
283	358	Ⅴ	Ⅴ	不明	石鏃	黒曜石		1.51	1.5	0.26	0.5
284	358	Ⅳ	E2	Ⅲc層	石鏃	安山岩		1.44	1.43	0.33	0.48
285	358	Ⅴ	D2	Ⅲb層	石鏃	輝石安山岩		1.78	1.4	0.31	0.5
286	358	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石鏃	黒曜石		1.37	1.38	0.32	0.48
287	358	Ⅴ	D6	Ⅲb層	石鏃	安山岩		1.84	1.38	0.4	0.69
288	358	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲc層	石鏃	安山岩		1.75	1.44	0.36	0.64
289	358	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲc層	石鏃	安山岩		2.05	1.6	0.3	0.62
290	358	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石鏃	安山岩		2.4	1.3	0.37	0.57
291	358	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石鏃	安山岩		1.52	1.8	0.35	0.66
292	358	Ⅴ	I7	Ⅲb層	石鏃	安山岩		1.32	1.69	0.32	0.6
293	358	Ⅲ	E3	撹乱	石鏃	チャート		1.85	1.25	0.4	0.62
294	358	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石鏃	黒曜石		1.94	1.32	0.28	0.6
295	358	Ⅴ	E5	Ⅲb層	石鏃	チャート		2.1	1.43	0.28	0.7
296	358	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石鏃	チャート		1.92	1.04	0.28	0.6
297	358	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石鏃	チャート		1.7	1.2	0.4	0.66
298	358	Ⅳ	C3	SK010	石鏃	チャート		1.5	1.25	0.29	0.42
299	358	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石鏃	チャート		1.23	1.3	0.29	0.36
300	358	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石鏃	チャート		1.18	1.65	0.25	0.51
301	358	Ⅲ	Ⅲ	撹乱	石鏃	チャート		1.7	1.37	0.27	0.49
302	358	Ⅳ	9530	Ⅲc層	石鏃	チャート		1.72	1.27	0.31	0.35
303	358	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石鏃	チャート		2.17	1.35	0.28	0.7
304	358	Ⅴ	E3	Ⅲb層	石鏃	チャート		1.75	1.4	0.35	0.67
305	358	Ⅳ	E4	Ⅲc層	石鏃	チャート		1.62	1.45	0.26	0.7
306	358	Ⅲ	E3	不明	石鏃	チャート		1.92	1.24	0.24	0.6
307	358	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石鏃	チャート		1.87	1.39	0.23	0.6
308	358	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石鏃	チャート		1.08	1.49	0.24	0.39
309	358	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石鏃	安山岩		1.6	1.5	0.35	0.62
310	358	Ⅲ	E2	撹乱	石鏃	安山岩		1.72	1.23	0.4	0.62
311	359	Ⅳ	E3	Ⅲc層	石鏃	黒曜石A		1.48	1.52	0.31	0.6
312	359	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石鏃	黒曜石A		1.82	1.53	0.32	0.6
313	359	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石鏃	黒曜石B		1.58	1.63	0.36	0.6
314	359	Ⅲ	SD1	Ⅲd層	石鏃	黒曜石		1.6	1.49	0.23	0.6
315	359	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石鏃	黒曜石B		1.7	1.14	0.39	0.6

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
316	359	Ⅴ	H6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.55	0.35	0.57
317	359	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.38	0.32	0.42
318	359	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.35	1	0.35	0.23
319	359	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.27	1.68	0.27	0.37
320	359	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石A		1.5	1.09	0.23	0.6
321	359	Ⅰ	9531	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石A		1.56	0.37	0.37	0.5
322	359	Ⅳ	B2	SK001	石鏃	黒曜石		1.3	1.47	0.3	0.51
323	359	Ⅴ	F3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.25	0.9	0.2	0.23
324	359	Ⅴ	SD1	表土	石鏃	黒曜石		1.19	1.54	0.31	0.53
325	359	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	黒曜石		1.47	1.34	0.32	0.47
326	359	Ⅳ	C2	SK007	石鏃	黒曜石		1.3	1.4	0.3	0.37
327	359	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.21	1.45	0.26	0.45
328	359	Ⅲ	E3	不明	石鏃	黒曜石		2.1	1.22	0.32	0.6
329	359	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		2.2	1.3	0.3	0.61
330	359	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.9	1.33	0.4	0.67
331	359	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.98	1.2	0.41	0.66
332	359	Ⅳ	B2	SK001	石鏃	黒曜石		1.25	1.55	0.35	0.63
333	359	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.52	1.25	0.37	0.46
334	359	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.5	1.13	0.33	0.46
335	359	Ⅲ	Ⅲ	撹乱	石鏃	黒曜石		1.7	1.15	0.35	0.54
336	359	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.37	1.99	0.41	0.65
337	359	Ⅴ	F3	撹乱	石鏃	黒曜石		1.2	1.8	0.29	0.56
338	359	Ⅲ	Ⅲ	撹乱	石鏃	黒曜石		1.35	1.62	0.33	0.58
339	359	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.93	1.47	0.27	0.59
340	359	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.83	1.1	0.38	0.58
341	359	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ層	石鏃	チャート		1.3	1.51	0.28	0.5
342	359	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.7	1.3	0.3	0.58
343	359	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.06	1.41	0.2	0.5
344	359	Ⅴ	E5	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		1.43	1.2	0.32	0.4
345	359	Ⅳ	C3	Ⅲｃ層	石鏃	安山岩		1.62	1.27	0.31	0.37
346	359	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2	1.5	0.3	0.88
347	359	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.95	1.47	0.32	0.82
348	359	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.8	1.68	0.41	0.81
349	359	Ⅴ	F2	Ⅲｂ層	石鏃	チャート		2.1	1.45	0.25	0.67
350	359	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.9	1.35	0.35	0.7

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
351	359	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		2.3	1.6	0.3	0.66
352	359	Ⅳ	C2		石鏃	チャート灰		1.77	1.3	0.35	0.6
353	359	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石鏃	チャート灰		1.36	1.17	0.3	0.45
354	359	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.55	1.6	0.3	0.57
355	359	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	チャート		1.25	1.39	0.41	0.57
356	359	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	安山岩		1.39	1.39	0.29	0.42
357	359	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	チャート		1.8	1.5	0.3	0.48
358	359	Ⅴ	Ⅴ	不明	石鏃	輝石安山岩		1.82	1.2	0.17	0.3
359	359	Ⅲ	E2	撹乱	石鏃	チャート		1.5	1.02	0.3	0.39
360	359	Ⅰ	Ⅰ	SK227	石鏃	チャート		1.3	0.86	0.27	0.2
361	359	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石鏃	チャート灰		1.48	1.05	0.28	0.2
362	360	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	黒曜石		1.53	1.32	0.44	0.56
363	360	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.4	1.5	0.3	0.46
364	360	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石Ｂ		1.45	1.45	0.32	0.5
365	360	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.29	1.35	0.37	0.41
366	360	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石鏃	黒曜石		1.57	1.29	0.31	0.49
367	360	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石Ａ		1.58	1.38	0.22	0.4
368	360	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.45	1.25	0.3	0.39
369	360	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.46	1.35	0.25	0.38
370	360	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.55	1.2	0.3	0.36
371	360	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石Ａ		1.38	0.98	0.25	0.3
372	360	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.3	1.29	0.29	0.27
373	360	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.75	1.05	0.35	0.5
374	360	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.87	1.2	0.3	0.51
375	360	Ⅳ	A3	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.45	0.81	0.32	0.31
376	360	Ⅴ	F6	撹乱	石鏃	黒曜石		1.57	1.35	0.38	0.57
377	360	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	黒曜石		1.44	1.27	0.25	0.5
378	360	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.53	1.2	0.33	0.48
379	360	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石Ａ		1.3	1.26	0.28	0.4
380	360	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.27	1.05	0.42	0.54
381	360	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		0.86	1.4	0.32	0.36
382	360	Ⅲ	E3	撹乱	石鏃	黒曜石		1.9	1.29	0.29	0.6
383	360	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.4	1.8	0.32	6.66
384	360	Ⅳ	E2	不明	石鏃	黒曜石		1.6	1.6	0.3	0.69
385	360	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石鏃	黒曜石		1.9	1.3	0.32	0.56

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
386	360	Ⅲ	Ⅲ	不明	石鏃	黒曜石		2.15	1.35	0.25	0.48
387	360	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石鏃	黒曜石		1.6	1.2	0.4	0.45
388	360	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石A		1.38	1.26	1.5	0.3
389	360	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石鏃	黒曜石		1.35	1.45	0.3	0.39
390	365	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	石鏃	安山岩		2.15	1.4	0.35	0.87
391		Ⅳ	Ⅳ	不明	石鏃	チャート灰		1.73	2.6	0.47	2.1
392	361	Ⅰ	9521	Ⅲｄ層	尖頭器	安山岩A		6.07	2.17	0.99	11.3
393	361	Ⅴ	H6	Ⅲｂ層	尖頭器	チャート		3.63	2.08	0.98	6.3
394	361	Ⅲ	E3	撹乱	尖頭器	チャート		2.18	1.31	0.62	1.2
395	361	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	尖頭器	安山岩		2.1	1.5	0.3	1.41
396	361	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	尖頭器	黒曜石		3.31	1.92	0.68	3.34
397	361	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	尖頭器	チャート		2.95	1.7	0.65	3.09
398	361	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	尖頭器	チャート灰		2.9	1.63	0.6	2
399	361・365	Ⅳ	Ⅳ	不明	尖頭器	流紋岩		3.55	1.75	0.7	3.43
400	361	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	尖頭器	チャート		2.9	1.4	0.7	2.87
401	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート白	剥片	3.6	1.45	0.8	3.27
402	361・365	Ⅳ	E1	Ⅲｃ層	尖頭器	黒曜石		4.07	1.25	0.93	3.55
403	361	Ⅳ	D2	Ⅲｂ層	尖頭器	チャート灰		2.62	1.08	0.6	1.56
404	361	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	尖頭器	チャート		2.6	1.75	0.55	2.34
405	361	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	尖頭器	チャート		2.4	1	0.45	0.86
406	362	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石錐	チャート		4.15	1.83	0.78	5.66
407	362	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錐	チャート		3.6	0.93	0.55	2
408	362	Ⅲ	E2	撹乱	石錐	チャート		2.77	1.08	0.88	2.17
409	362	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石錐	チャート		1.71	1.82	0.35	0.97
410	362	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錐	チャート		2.07	1.95	0.59	2.4
411	362	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錐	黒曜石		2.5	1.32	0.7	1.87
412	362	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石錐	チャート		1.93	1.05	0.5	1.54
413	362	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錐	チャート		2.81	1.05	0.4	1.5
414	362	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錐	チャート		3.01	1.18	0.65	1.7
415	362・365	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石錐	チャート黒		2.75	1.25	0.45	0.95
416	362・365	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石錐	チャート灰		2.65	1.07	0.58	1.28
417	362・365	Ⅴ	F3	Ⅲｂ層	石錐	黒曜石		1.75	1.3	0.45	0.66
418	362	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石錐	チャート灰		4.73	1.45	0.77	2.97
419	362	Ⅲ	E2	Ⅲｃ層	石錐	黒曜石B		1.63	0.69	0.35	0.6
420	362・375	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石錐	チャート黒		2.7	1.62	0.78	3.1

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
421	362・375	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石錐	チャート灰		2.05	2.83	1	4.06
422	362	Ⅲ	E3	不明	石錐	チャート		4.13	2.41	0.78	5.7
423	362	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錐	チャート		4.17	1.98	0.65	4.3
424	362	Ⅲ	E2	撹乱	石錐	チャート		3.95	2	0.55	3.8
425	362	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石錐	チャート		3.42	2	0.56	2.3
426	362	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錐	チャート		3.3	1.89	0.56	2.3
427	362	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錐	チャート		2.82	1.1	0.5	1.6
428	362	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錐	チャート		2.78	2.19	0.44	1.6
429	362	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石錐	チャート灰		6.35	2.1	1.5	15.96
430	362	Ⅳ	C2	不明	石錐	チャート		3.77	1.32	0.55	1.96
431	363	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石匙	チャート灰	未製品	5.28	7.55	1.5	53.31
432	363	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石匙	チャート灰	未製品	3.02	4.87	1.1	16.01
433	363	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石匙	チャート	小型	2.26	3.68	0.61	3.08
434	363	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石匙	チャート	小型	3.1	4.32	0.62	5.7
435	363	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石匙	輝石安山岩	小型	3.5	5.37	0.85	9.3
436	363	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石匙	安山岩 A	小型	3.02	4.61	0.6	4.8
437	363	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石匙	輝石安山岩	小型	2.63	6.17	0.51	7.1
438	363	Ⅳ	E3	不明	石匙	チャート	小型	4.45	5.2	0.75	13.2
439	363	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石匙	サヌカイト	大型	6.05	11.84	0.75	48.6
440	363	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石匙	チャート	大型	7.46	8.77	1.41	78.7
441	364	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	流紋岩	両面加工剥片	10.95	7.8	3.4	212.27
442	364	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	両面加工剥片	5	5.38	2.3	60.5
443	364	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒色系黒線	両面加工剥片	7.33	4.85	1.45	41.89
444	364	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒色系黒線	両面加工剥片	4.18	3.55	1.45	27.59
445	364	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	両面加工剥片	6.04	4.16	1.75	44.16
446	364	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	両面加工剥片	4.45	3.05	1.13	15.39
447	364	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	両面加工剥片	4.4	2.63	0.95	9.93
448		Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	凝灰岩	二次加工剥片	4.18	14.85	1.65	110.33
449	365	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	6.85	3.08	1.23	22.86
450	367	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	3.25	6.66	1	17.61
451	364	Ⅳ	B2	Ⅲ層	不定形石器	チャート黒	二次加工剥片	2.6	4.95	1.08	12.95
452	364	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒色系黒線	二次加工剥片	4.04	7.03	2.05	51.13
453	364	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	不定形石器	黒曜石	二次加工剥片	3.56	2.63	1.7	12.94
454	364	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒色系黒線	二次加工剥片	3.53	3.75	1.17	11.68
455	364	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒	二次加工剥片	6.3	5.5	1.45	45.32

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
456	364	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	不定形石器	黒曜石	二次加工剥片	6.45	4	1.4	30.18
457	364	Ⅳ	C3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	5.6	6.6	2.55	72.32
458	364	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	7.3	6.9	1.03	34.42
459	364	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒	二次加工剥片	8.1	4.8	1.46	53.21
460	365	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	4.5	4.57	1.46	21.78
461	365	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	3.03	3.45	1	8.68
462	365	Ⅳ	A2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	4.45	4.66	0.95	13.35
463	365	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	4	4.9	1.05	20.69
464	365	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	安山岩	二次加工剥片	4.76	5.85	0.95	21.47
465	365	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	4.55	5.83	1.33	30.96
466	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒筋	二次加工剥片	5.08	6.9	1.15	34.45
467	365	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	6.97	4.68	1.95	58.32
468	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	4.95	2.6	1.3	9.61
469	365	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	4.18	3	1	11.16
470	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	5.7	2.25	1.06	12.08
471	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰色系赤線	二次加工剥片	4.18	3.35	1.25	16.07
472	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	2.7	3.95	0.4	5.61
473	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	2.82	3.03	0.94	6.74
474	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	3.2	2.1	0.62	3.69
475	367	Ⅳ	E3	不明	不定形石器	黒曜石	剥片	2.05	1.45	0.32	0.64
476	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	二次加工剥片	1.8	1.38	0.36	0.79
477	365	Ⅳ	Ⅳ	SK007	不定形石器	黒曜石	二次加工剥片	1.37	1.85	0.45	0.8
478	365	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	不定形石器	黒曜石	二次加工剥片	1.3	2	0.7	1.35
479	366	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	7.7	5.2	2.57	90.39
480	366	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	6.95	7.7	1.45	60.8
481	366	Ⅳ	Ⅳ	SK006	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	7.5	10.12	1.6	139.42
482	366	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	5.15	8.23	1.83	87.96
483	366	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒筋	使用痕剥片	6.35	6.9	1.33	58.04
484	366	Ⅳ	B2	Ⅲ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	7.55	7.87	1.6	72.21
485	366	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰筋	使用痕剥片	6.68	4.97	1.6	36.65
486	366	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	5.05	4.7	1.4	31.04
487	366	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	6.08	5.35	1.2	25.2
488	366	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	5.48	6.29	1.98	65.25
489	366	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	8.2	4.3	1.52	42.93
490	366	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	6.58	4.45	1.7	44.05

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
491	366	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	不定形石器	安山岩	使用痕剥片	8	6.37	1.9	83.43
492	366	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	8.15	5.8	2.32	93.13
493	367	Ⅳ	C2	不明	不定形石器	チャート灰筋	使用痕剥片	3.82	3.2	0.9	11.49
494	367	Ⅳ	A2	Ⅲ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	4.15	3.52	1.05	16.5
495	367	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	4.7	3.44	0.8	18.38
496	368	Ⅳ	B3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰筋	剥片	5.53	5.3	1.4	29.99
497	367	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	3.7	5.72	0.94	17.74
498	367	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰筋	使用痕剥片	5.08	5.22	0.62	15.78
499	367	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	4.3	5.9	1.69	40.21
500	367	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	5.35	5.2	1.5	36.97
501	367	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	不定形石器	黒曜石	使用痕剥片	3.6	5.95	1.15	22.15
502	367	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	7.34	4.95	1.98	62.35
503	367	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	使用痕剥片	6.63	7.2	2.3	92.4
504	367	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.9	2.12	0.5	5.65
505	367	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	4.1	2.1	0.7	4.78
506	367	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒	剥片	2.82	1.8	0.25	1.48
507	367	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.1	3.37	0.8	7.5
508	367	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.78	4	0.85	8.65
509	367	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒色系黒線	剥片	3.25	3.95	1.05	10.21
510	367	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.9	4.08	0.7	10.72
511	367	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒	剥片	5.14	5.2	0.95	22.94
512	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰白筋	剥片	4.43	5.06	1.06	21.62
513	368	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	1.1	1.28	0.12	0.09
514	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	1.2	1.4	0.25	0.32
515	368	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.8	2.23	0.4	2.85
516	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.46	2.63	0.55	3.93
517	368	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.37	2.92	0.5	3.62
518	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	流紋岩	剥片	2.3	2.6	0.5	3.06
519	368	Ⅳ	C3	不明	不定形石器	チャート灰	剥片	2.23	3.23	0.6	3.29
520	368	Ⅳ	B3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.5	3.56	0.48	4.5
521	368	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰筋	剥片	3.1	3.1	0.5	4.9
522	368	Ⅳ	E4	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート黒	剥片	2	3.05	0.77	3.95
523	368	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒色系黒線	剥片	3.97	3.13	0.8	8.7
524	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.45	3	0.37	3.23
525	368	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.57	3.15	0.55	4.43

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
526	368	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3	3.57	0.8	8.15
527	368	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.55	2.7	0.5	6.15
528	368	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	2.83	2.74	0.33	2.98
529	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.08	4.1	1.14	13.04
530	368	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	4.2	4.75	1.15	19.66
531	368	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.6	5.6	1.05	22.59
532	368	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	4.55	4.4	1.1	22.36
533	368	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.96	4.6	1.25	24.66
534	368	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.48	5.5	0.7	15.36
535	368	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.5	6.4	1.2	26.06
536	368	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.57	3.6	1.2	9.75
537	368	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	5.45	5.76	1.67	59.96
538	368	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	5.77	6.4	1.1	49.06
539	369	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	流紋岩		9.76	18.25	13.6	2,000.00
540	370	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石核	安山岩		9.2	8.4	7.8	449.6
541	370	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		7.87	10.1	5.68	400.15
542	370	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		3.83	7.77	5.28	147.15
543	370	Ⅳ	E1	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		6.37	7	4.8	152.43
544	370	Ⅳ	B3	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		7.2	9.8	5.9	232
545	370	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		6.07	6.65	3.65	106.3
546	370	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	チャート黒		5.22	7.4	5.95	163.35
547	371	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		10.12	7.5	6.7	471
548	371	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.9	5.65	4.4	96.55
549	371	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		10.25	8.3	5.7	544.59
550	371	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4	6.19	4.34	99.38
551	371	Ⅳ	C3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.2	6.25	2.85	58.93
552	371	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		4.06	6.76	2.38	70.51
553	371	Ⅳ	E1	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.48	8.85	5.9	183.06
554	371	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		5.42	5.2	1.86	51.53
555	372	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石核	安山岩		3.9	8.95	5.1	112.4
556	372	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.64	8.75	3.27	94.95
557	372	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.2	5.6	2.45	48.91
558	372	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		5.05	5.85	3.78	78.25
559	372	Ⅳ	A2	Ⅲ層	石核	チャート灰		4.45	4.33	3.9	85.26
560	372	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石核	流紋岩		4.64	5.35	2.35	58.83

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
561	372	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		2.55	4.38	3.5	34.04
562	372	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		4.5	4.5	2.72	56.41
563	372	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		2.85	4.5	1.9	18.58
564	372	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		2.3	3.63	1.7	13.39
565	373	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.68	6.5	2.62	72.74
566	373	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		3.22	7	6.2	134.18
567	373	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		5.75	6.25	4.33	140.81
568	373	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.35	7.93	3.55	126.31
569	373	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		5.68	6.5	3.8	136.4
570	373	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		3.78	11	3.45	134.36
571	373	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		5	10.01	4	193.34
572	374	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		5.5	5.8	4.8	121.86
573	374	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石核	チャート黒		5.54	4.9	3.13	54.55
574	374	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石核	チャート黒		2.7	7.8	2	40.97
575	374	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石核	チャート黒		2.5	6.5	4.5	60.22
576	374	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		2.55	5.9	2.16	31.95
577	365	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	チップ	黒曜石		1.41	0.83	0.11	0.11
578	372	Ⅳ	Ⅳ	不明	石核	黒曜石		2.9	4.52	2.25	25.84
579	375	Ⅳ	E2	不明	石核	黒曜石		2.15	3.86	1.86	9.29
580	375	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石核	黒曜石		1.53	2.35	0.9	2.63
581	375	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石核	黒曜石		1.75	1.9	1.3	37
582	375	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石核	黒曜石		3.95	2.08	1.4	9.5
583	369	Ⅳ	A2	Ⅲｃ層	石核	砂岩		15.1	12.85	6.2	1,225.00
584	368	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石核	流紋岩		2.23	3.36	1.62	7.06
585	372	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石核	流紋岩		7	6.86	8.1	321.61
586	376				接合資料	チャート灰		7.55	10.46	3.23	213.39
587	376	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		5.6	5.8	1.45	37.93
588	376	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		7.43	7	2.48	143.71
589	376	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.44	4.95	0.83	11.41
590	376	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3	4.6	2.08	20.34
591	377				接合資料	チャート灰		5.66	6.8	2.83	96.6
592	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	3.5	4.83	1.07	19.07
593	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		5.68	6.5	1.98	77.53
594	376				接合資料	チャート黒		6.09	6.12	8.08	179.06
595	376	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒	剥片	6.4	5.78	1.68	52.49

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
596	376	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石核	チャート黒		6.04	6.06	5.27	126.57
597	377				接合資料	チャート灰		6	6.4	4	156.6
598	377	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		6	4.8	3.75	91.44
599	377	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		5.2	4.1	3.7	65.11
600	376				接合資料	チャート灰		6.2	3.39	3.9	44.52
601	376	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート灰	剥片	4.6	3	1.35	18.63
602	376	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石核	チャート灰		4.35	2.95	2.5	25.89
603	377				接合資料	チャート灰		5.04	3	2.96	51.56
604	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		4.5	2.9	2	31.16
605	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石核	チャート灰		2.95	3.12	2.68	20.4
606	376				接合資料	チャート黒筋		4.3	7.75	2.95	72.08
607	376	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石核	チャート黒筋		2.76	6.59	2.91	51.4
608	376	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒筋	剥片	5.2	4.25	1.9	20.68
609	377				接合資料	チャート灰		3.2	9.54	6.2	204.33
610	377	Ⅳ	C3	不明	石核	チャート灰		3	6.56	6	125.78
611	377	Ⅳ	D2	不明	石核	チャート灰		3.13	5.36	4.76	78.55
612		Ⅳ			接合資料	黒曜石		3	4.6	0.9	1.65
613		Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	黒曜石	使用痕剥片	3	3.1	0.8	7.99
614		Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	黒曜石	使用痕剥片	2.7	1.8	0.9	3.66
615	377				接合資料	チャート黒筋		5.5	8.1	1.85	66.61
616	377	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒筋	剥片	4.8	5.65	1.65	36.55
617	377	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒筋	剥片	6.1	6.12	1.09	30.06
618	376				接合資料	流紋岩		6.34	9.37	2	70.75
619	376	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	流紋岩	剥片	5.8	5.9	1.45	50.27
620	376	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	流紋岩	剥片	4.7	4.68	1.95	20.48
621	376	Ⅳ			接合資料	チャート灰		7.15	5.15	1.3	38.02
622	376	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	6.93	3.05	0.92	20.94
623	376	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	不定形石器	チャート灰	剥片	4.05	4.25	1.15	17.08
624	376				接合資料	チャート黒		4.78	5.68	1.59	31.64
625	376	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒	剥片	3.18	4.46	1.18	15.75
626	376	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	不定形石器	チャート黒	剥片	4.09	3.48	1.3	15.89
627	377				接合資料	チャート灰		4.8	6.57	3.2	148.11
628	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	礫	4.68	4.15	2.93	76.44
629	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	礫	3.07	3.6	3	40.01
630	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	砕片	1.39	2.15	0.71	2.6

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
631	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	砕片	1.25	1.72	0.45	0.99
632	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	礫	2.03	3.33	3	27.25
633	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	砕片	0.85	0.78	0.4	0.27
634	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	砕片	0.93	1.55	0.3	0.35
635	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	砕片	0.66	0.72	0.32	0.17
636	377	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	原石	チャート灰	砕片	0.52	0.59	0.18	0.03
637	376				接合資料	砂岩		3.2	4.23	2.33	28.89
638	376	Ⅳ	Ⅳ	不明	原石	砂岩	礫	2.6	2.73	2.23	5.84
639	376	Ⅳ	Ⅳ	不明	原石	砂岩	礫	2.35	3	1.15	12.6
640	376	Ⅳ	Ⅳ	不明	原石	砂岩	礫	2.58	2.7	1.65	10.45
641	378	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	側縁縦斧	18.05	6.5	4.1	611
642	378	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	安山岩（ヒン岩）	側面縦斧	16.9	6.05	3.55	462
643	378	Ⅰ	9429	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	14.6	5.65	3.5	391
644	378	Ⅴ	D1	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側面縦斧	13.4	6.85	3.9	518
645	378	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	13.85	6.65	3.3	366
646	378	Ⅴ	Ⅴ	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側面縦斧	13.8	5.7	2.9	378
647	378	Ⅴ	E2	Ⅲｂ層	石斧	泥岩	側縁縦斧	10.6	5.55	3.6	318
648	378	Ⅲ	E2	Ⅲｃ層	石斧	安山岩	側縁縦斧	11.75	6.25	3.15	330
649	378・387	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側面縦斧	9.6	5.9	4.65	333
650	378	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	安山岩	側面縦斧	10.86	5.5	3.6	343
651	378	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	11.85	5.25	3.4	347
652	378	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	10.3	6.45	3.85	347
653	378	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	砂岩	側面縦斧	10.9	6.95	3.65	380
654	378	Ⅲ	D3	不明	石斧	砂岩	側面縦斧	11.9	6	3.65	381
655	378	Ⅳ	A2	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	側面縦斧	10.7	5.9	3.4	382
656	378	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	11.7	5.75	3.8	386
657	379	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	側面縦斧	11.4	7	3.8	443
658	379	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	12.75	6.6	3.55	442
659	379	Ⅰ	9502	不明	石斧	安山岩	側面縦斧	12.15	6.4	3.65	440
660	379	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲｄ層	石斧	安山岩・砂岩	側面縦斧	11.25	6.2	3.95	421
661	379	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	安山岩Ｂ	側縁縦斧	12.25	5.95	4	451
662	379	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	安山岩（ヒン岩）	側面縦斧	11.6	6.9	3.7	476
663	379	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	頁岩	側縁縦斧	12.75	6.6	4.1	545
664	379	Ⅴ	E5	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	側面縦斧	13.8	6.5	4.2	566
665	379	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	16.4	6.48	4	562

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
666	379	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	不明	側面縦斧	15.6	6	4.25	158
667	379	Ⅰ	9429	Ⅲc層	石斧	安山岩	側面縦斧	16.36	6.88	3.87	536
668	379	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石斧	不明	側縁縦斧	14.72	6.14	4.28	491
669	379・387	Ⅳ	C2	不明	石斧	頁岩	側面縦斧	12.5	4.7	4.8	362
670	379	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石斧	安山岩	側面縦斧	13	5.55	3.75	392
671	379	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	砂岩	側面縦斧	12.5	6.6	3.45	397
672	379	Ⅴ	E7	Ⅲb層	石斧	頁岩	側縁縦斧	11.85	5.8	3.75	321
673	379	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石斧	砂岩	側縁縦斧	10.7	5.5	3.4	274
674	379	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石斧	不明	側面縦斧	9.5	5.8	3.9	272
675	380	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石斧	頁岩	側縁縦斧	14.25	5	3.7	333
676	380	Ⅲ	D4	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	14.65	5.45	3.65	370
677	380	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	14.7	6.5	2.85	354
678	380	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	13.4	6	3.6	400
679	380	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石斧	砂岩	乳棒形石斧	13.55	4.9	3.7	352
680	380	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石斧	不明	側面縦斧	13.89	5.82	3.3	336
681	380	Ⅴ	E4	Ⅲb層	石斧	安山岩	側面縦斧	13.2	5.2	3.45	339
682	380	Ⅴ	E5	Ⅲc層	石斧	頁岩	側縁縦斧	12.8	6.2	3.6	345
683	380	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	砂岩	側縁縦斧	13.15	5.35	3.8	347
684	380	Ⅴ	G7	Ⅲb層	石斧	安山岩	乳棒形石斧	12.8	5	2.7	269
685	380	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	安山岩	側縁縦斧	12.7	5.85	2.8	260
686	380	Ⅴ	H7	不明	石斧	安山岩	乳棒形石斧	12.25	4.35	3.1	259
687	380	Ⅲ	B5	Ⅳ層	石斧	安山岩	側縁縦斧	12.7	5.65	2.8	256
688	380	Ⅳ	E3	Ⅲc層	石斧	砂岩	側縁縦斧	12.3	6.55	2.4	253
689	380	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石斧	頁岩	側面縦斧	12.9	5.55	2.9	265
690	380	Ⅳ	Ⅳ	不明	石斧	頁岩	乳棒形石斧	14.4	4.75	2.95	267
691	380	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石斧	安山岩	乳棒形石斧	14.85	4.6	3.3	287
692	380	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石斧	砂岩	乳棒形石斧	11.8	5.1	3.4	289
693	380	Ⅴ	F3	Ⅲb層	石斧	安山岩	側縁縦斧	12.9	6	3.05	296
694	381	Ⅴ	E3	Ⅲb層	石斧	安山岩	側面縦斧	12.15	5.45	3	299
695	381	Ⅲ	E3	不明	石斧	頁岩	転用品	13.15	5.9	3.4	312
696	381	Ⅴ	Ⅴ	表土	石斧	砂岩	乳棒形石斧	13.6	4.9	3.1	301
697	381	Ⅲ	D4	不明	石斧	蛇紋岩	側面縦斧	13.65	5.8	2.9	299
698	381	Ⅲ	Ⅲ	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	10.9	6.5	3.25	297
699	381	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	13.45	5.85	3.1	314
700	381	Ⅲ	D4	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	13.35	5.5	3.25	329

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
701	381	Ⅴ	F3	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	12.8	5.65	3.7	329
702	381	Ⅳ	C3	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	11.8	5.8	3.35	322
703	381	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石斧	安山岩	側縁縦斧	14.4	6.45	2.7	314
704	381	Ⅴ	Ⅴ	表土	石斧	頁岩	側面縦斧	11.35	6.65	2.5	220
705	381	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石斧	安山岩	側面縦斧	11.75	5	2.9	219
706	381・387	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石斧	頁岩	側縁縦斧	11.8	6.05	2.9	219
707	381	Ⅰ	9502	Ⅳ層	石斧	砂岩	乳棒形石斧	10.45	4.5	3.15	215
708	381	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	12.15	4.7	3.05	215
709	381	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	12.35	5.15	2.7	228
710	381	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	砂岩	側縁縦斧	12.8	5.05	2.55	234
711	381	Ⅴ	E5	Ⅲb層	石斧	頁岩	側縁縦斧	11.55	4.95	2.95	237
712	381	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側面縦斧	9.6	5.1	3.4	240
713	381	Ⅲ	D3	不明	石斧	頁岩	側面縦斧	12.65	4.65	3.1	241
714	381	Ⅲ	E3	Ⅲc層	石斧	頁岩	側縁縦斧	12.3	4.9	3.25	243
715	381	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	安山岩	側面縦斧	10.35	5.4	2.75	209
716	382	Ⅲ	E4	不明	石斧	頁岩	側縁縦斧	11.3	5.1	23.5	174
717	382	Ⅴ	E2	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	11	4.95	2.4	172
718	382	Ⅴ	F4	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	9.9	4.15	2.95	171
719	382	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	蛇紋岩	側面縦斧	12.85	4.4	2.4	166
720	382	Ⅴ	F7	Ⅲb層	石斧	安山岩	側面縦斧	11.2	4.4	2.35	154
721	382	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	10.05	4.9	2.5	154
722	382	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲd層	石斧	砂岩	側面縦斧	11.5	4.2	3.26	204
723	382	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側面縦斧	11.55	5.1	1.95	153
724	382	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石斧	頁岩	側縁縦斧	11.5	5.35	2.7	202.7
725	382	Ⅳ	D3	Ⅲc層	石斧	不明	側縁縦斧	11.4	5.84	2.4	199.9
726	382	Ⅳ	A2	Ⅲc層	石斧	頁岩	側縁縦斧	10.5	6	2.8	199
727	382	Ⅴ	F3	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	10.9	5.1	2.6	187
728	382	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	10.4	5.2	2.6	177
729	382	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石斧	砂岩	側面縦斧	9.4	6.4	3.4	296
730	382	Ⅴ	E5	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	9.4	5.45	3.45	262
731	382	Ⅳ	Ⅳ	SK007	石斧	砂岩	側縁縦斧	9.7	5.3	3.4	248
732	382	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石斧	頁岩	側面縦斧	7.75	5.65	3.15	201
733	382	Ⅴ	G7	Ⅲb層	石斧	安山岩	側面縦斧	8.15	5.6	2.8	182
734	382	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石斧	安山岩	側面縦斧	11.9	6.55	3.25	315
735	382	Ⅲ	E4	Ⅲc層	石斧	安山岩	側面縦斧	10.1	6.6	3.1	309

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
736	382	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	9.2	6	3.85	309
737	382	Ⅴ	F7	Ⅲb層	石斧	頁岩	側面縦斧	9.05	6.15	3.8	308
738	382	Ⅲ	E2	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	10.25	6.5	3.75	317
739	383	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石斧	頁岩	側縁縦斧	12	5.25	3.1	253
740	383	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	不明	側面縦斧	11.3	5.55	3.6	255
741	383・387	Ⅴ	E5	Ⅲb層	石斧	不明	側面縦斧	9.1	5.95	3.95	258
742	383	Ⅲ	SD1	Ⅲd層	石斧	頁岩	側面縦斧	9.1	6	2.8	242
743	383	Ⅲ	E1		石斧	安山岩	側面縦斧	9.7	5.55	3.65	247
744	383	Ⅲ	E2		石斧	不明	側面縦斧	9.55	5.2	3.15	188.5
745	383	Ⅳ	D3	Ⅲc層	石斧	不明	側面縦斧	10.8	5.5	2.8	191.5
746	383	Ⅳ	E1	Ⅲc層	石斧	不明	側面縦斧	9.16	6.41	2.8	248
747	383	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石斧	砂岩	側面縦斧	7.58	5.27	3.7	168.1
748	383	Ⅳ	E3	Ⅲc層	石斧	砂岩	側縁縦斧	7.35	5.08	3.68	150.9
749	383	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石斧	砂岩	側縁縦斧	8.89	5.23	4.22	213
750	383	Ⅴ	E5	Ⅲc層	石斧	頁岩	側面縦斧	8.63	4.22	4.38	204
751	383	Ⅳ	B1	Ⅲc層	石斧	砂岩	側縁縦斧	7.2	5.6	4.3	224
752	383	Ⅳ	C3	Ⅲc層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	8.6	5.2	3.3	186.7
753	383	Ⅴ	E6	Ⅲb層	石斧	不明	側面縦斧	9.34	4.52	3.61	161.2
754	383	Ⅱ	B3	不明	石斧	頁岩	側縁縦斧	8.2	4.63	3.03	132.4
755	384	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石斧	砂岩	側縁縦斧	9.35	5.4	2.2	143
756	386	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石斧	不明	乳棒形石斧	11.35	3.28	2.24	106
757	386	Ⅴ	G7	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁縦斧	11.15	4.2	1.9	121
758	384	Ⅴ	H7	Ⅲb層	石斧	安山岩	側縁横斧	10.05	4.1	1.6	90.3
759	384	Ⅲ	D3	Ⅲb層	石斧	砂岩	側縁横斧	9.45	4.9	1.45	72
760	384	Ⅲ	D3	不明	石斧	玄武岩	側縁横斧	7.95	4.8	1.6	78
761	384	Ⅳ	E1	Ⅲc層	石斧	頁岩	側面横斧	8.25	3.2	0.9	38.7
762	386	Ⅳ	B2	Ⅲb層	石斧	粘板岩	側面横斧	7.25	4.15	0.85	36.6
763	384	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	頁岩	側縁横斧	8.65	5.7	1.5	98.3
764	386	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石斧	安山岩	側縁縦斧	9.65	6.2	2.4	150
765	384	Ⅲ	Ⅲ	不明	石斧	不明	側縁縦斧	8.76	5.6	2.38	145.7
766	384	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	蛇紋岩	側面縦斧	9.6	4.9	2.38	133.8
767	384	Ⅳ	A2	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	11	5	2.05	150
768	384	Ⅲ	E2	Ⅲc層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	11.65	4.7	1.9	138
769	384	Ⅴ	G7	Ⅲb層	石斧	蛇紋岩	側縁横斧	8.8	4.55	1.5	65.1
770	384	Ⅲ	Ⅲ	不明	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	9.9	4.5	1.5	72.7

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
771	384	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	安山岩	側面横斧	10	4.2	1.5	104
772	384	Ⅲ	D3	Ⅲｂ層	石斧	蛇紋岩	側面横斧	9.9	5.4	1.45	93
773	384	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	側面横斧	10.7	4.9	1.45	102
774	384	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	側縁横斧	9.6	3.6	1.55	79.2
775	384	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	蛇紋岩	側面横斧	8.35	4.5	1.75	85
776	384	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ層	石斧	蛇紋岩	側縁横斧	7.7	3.75	1.2	45
777	384	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	側縁横斧	8.35	4.8	1.6	71.8
778	384	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	11	6.6	2.95	121.08
779	384	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	側縁縦斧	8.4	5.65	2.9	181
780	384	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	頁岩	側面縦斧	8.25	5.25	2.55	125
781	384	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	8.1	5.85	2.85	158
782	384	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	6.9	5.55	2.9	113
783	384	Ⅴ	E5	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側面縦斧	6.05	6	3	139
784	384	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｄ層	石斧	頁岩	側縁縦斧	3.62	6	2.42	48.8
785	384	Ⅲ	B3	不明	石斧	蛇紋岩	側縁縦斧	3.32	5.8	1.95	33.6
786	385	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	不明	乳棒形石斧	10.05	4.75	3.15	223
787	384	Ⅲ	D2	不明	石斧	頁岩	乳棒形石斧	9.25	4.4	2.55	138.5
788	384	Ⅲ	E3	Ⅲｃ層	石斧	泥岩	側縁縦斧	9.3	7.05	2.1	174
789	384・387	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石斧	頁岩	側縁縦斧	7.75	6.9	2.2	171
790	384	Ⅱ	B3	不明	石斧	砂岩	乳棒形石斧	10.4	4.55	2.65	160
791	384	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	8	5.1	2.8	172
792	384	Ⅰ	Ⅰ	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	6.82	4.46	2.16	73.9
793	386	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石斧	頁岩	側縁縦斧	9.9	5.5	1.85	118.6
794	384	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	側面横斧	8.3	5.05	1.5	87.4
795	384	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲｄ層	石斧	蛇紋岩	側縁横斧	7.6	5.75	1.9	110
796	384	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	側面横斧	6.35	4.25	1.3	62
797	383	Ⅲ	D2	Ⅲｃ層	石斧	不明	側縁縦斧	7.77	5.44	3.21	153.9
798	383	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石斧	不明	側縁縦斧	6.65	4.89	3.19	125.4
799	385	Ⅲ	D5	Ⅳ層	石斧	安山岩	側縁縦斧	6.2	4.2	3.15	93
800	383	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石斧	変成岩	側面縦斧	6.24	4.62	2.82	109
801	385	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	6.31	3.88	3.48	102
802	385	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	5.95	2.95	3.2	58.5
803	385	Ⅴ	F6	不明	石斧	砂岩	側縁縦斧	6.2	3.2	2.5	43.6
804	385	Ⅳ	A3	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側縁縦斧	2.55	4.02	3.1	34.4
805	383	Ⅴ	E6	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	側面縦斧	9.2	5.7	2.5	173.1

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
806	383	Ⅳ	F7	Ⅲｃ層	石斧	頁岩	側面縦斧	8.41	4.77	2.34	130.2
807	383	Ⅴ	D2	Ⅲｂ層	石斧	玄武岩	側縁縦斧	9.04	3.56	3.12	126.5
808	383	Ⅳ	C2	SK007	石斧	頁岩	側縁縦斧	9.15	4.75	2.28	113.5
809	383	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	頁岩	側縁縦斧	7	5.9	2.5	156.9
810	385	Ⅲ	D2		石斧	頁岩	側縁横斧	8.05	3.98	1.7	69.3
811	385・387	Ⅲ	C3	Ⅲｃ層	石斧	不明	側面縦斧	7.4	6.65	4.1	286
812	385	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	不明	側面縦斧	7.85	6.45	3.3	235
813	383	Ⅳ	B1	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	側面縦斧	8.02	5.9	1.8	113.1
814	385	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	石斧	蛇紋岩	側面横斧	7.5	4.7	1.4	66.8
815	385	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	珪質頁岩	側縁横斧	6.4	4.47	1.46	54.8
816	385	Ⅴ	Ⅴ	不明	石斧	変成岩	側縁縦斧	4.9	4.5	2.6	70.9
817	386	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石斧	安山岩	未製品	6.4	5.2	1.53	54.58
818	385	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	石斧	輝石安山岩	未製品	12.1	5.7	1.15	91
819	385	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	輝石安山岩	未製品	18.3	5.3	3.2	331
820	385	Ⅴ	F7	Ⅲｂ層	石斧	頁岩	未製品	13.9	3	3.2	329
821	385	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	輝石安山岩	未製品	14.2	5.5	2.7	229.5
822	386	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	再加工品	11.7	7.65	2.8	226
823	386	Ⅳ	Ⅳ	不明	石斧	安山岩	再加工品	9.85	6.24	2.65	149.85
824	386	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石斧	安山岩	再加工品	5.3	6.6	1.9	58.59
825	387	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	頁岩	小型横斧	8.91	1.6	1.11	27.1
826	387	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	小型横斧	8.85	2.05	1.4	46.9
827	387	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	小型横斧	9.3	2.2	1.85	61.7
828	387	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石斧	砂岩	小型横斧	8.7	2.65	2.25	70.8
829	387	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石斧	チャート	小型横斧	6.76	1.24	0.91	11.8
830	387	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石斧	安山岩	小型横斧	6.8	1.95	0.9	22.1
831	387	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石斧	蛇紋岩	小型横斧	6.8	1.25	1.25	16.7
832	387	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	小型横斧	8.6	1.7	1.3	29.7
833	387	Ⅲ	E3	Ⅲｃ層	石斧	蛇紋岩	小型横斧	8.6	2.25	1.6	47.4
834	388	Ⅴ	E5	不明	石皿	阿蘇４溶結凝灰岩	平坦	41.1	32.2	12.1	17,800.00
835	388	Ⅴ	C3	Ⅲｂ層	石皿	輝石安山岩	平坦	32.95	33.7	8.2	13,700.00
836	389	Ⅳ	E5	不明	石皿	アルコース質砂岩（球磨川～大分県）	平坦	36.6	30.9	9.3	15,200.00
837	388	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石皿	アルコース質砂岩（球磨川～大分県）	平坦	38.3	30.4	10.5	18,400.00
838	389	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	石皿	砂岩	平坦	30.8	34.8	13	15,800.00
839	389	Ⅴ	Ⅴ	表土	石皿	阿蘇４溶結凝灰岩	凹部	33.5	27.2	11.5	10,300.00
840	388	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	石皿	溶結凝灰岩	凹部	22.4	20.5	10.1	3,900.00

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
841	390	Ⅴ	Ⅴ	表土	石皿	阿蘇１溶結凝灰岩	凹部	30.65	18.7	8.5	5,800.00
842	390	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石皿	阿蘇４溶結凝灰岩	凹部	30.6	25.95	12	12,600.00
843	389	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石皿	阿蘇４溶結凝灰岩	凹部	41.5	25.7	12	11,900.00
844	390	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石皿	阿蘇１溶結凝灰岩	凹部	23.1	23	12.9	
845	390	Ⅲ	D3	Ⅲｄ層	石皿	礫岩	凹部	41.3	20.4	8.5	
846	391	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石皿	礫岩	凹部	37.8	36.35	8.8	16.7
847	391	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石皿	礫岩	凹部	38.15	30.15	8.6	13,300.00
848	391	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石皿	礫岩	凹部	27.9	12.7	6.9	3,430.00
849	391	Ⅴ	Ⅴ	表土	石皿	凝灰岩	凹部	30.25	21.6	8.3	7,100.00
850	391	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石皿	礫岩	凹部	35	16.15	7.5	5,500.00
851	392	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石皿	礫岩	凹部	29	17.5	8	4,900.00
852	392	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	石皿	礫岩	凹部	33.85	18.3	9.9	7,900.00
853	392	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石皿	ヒン岩	凹部	27.6	18.4	11.8	6,910.00
854	388	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石皿	緑色片岩	凹部	36.85	18.4	8.2	6,500.00
855	391	Ⅱ	D3	不明	石皿	礫岩	凹部	37.65	32.3	9.3	16.1
856	390	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石皿	礫岩	凹部	40.35	30.3	11.3	13,600.00
857	392	Ⅲ	D4	不明	磨石	安山岩	軽	10.7	8.4	5.15	687
858	393	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	磨石	安山岩	軽	10.7	9.25	5.35	873
859	393	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	磨石	安山岩	軽	10.85	9.45	4.4	766
860	393	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	磨石	安山岩	軽	11.5	10.5	5.25	1,000.00
861	392	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	磨石	安山岩	軽	10.5	8.8	5	683
862	392	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	磨石	安山岩	軽	10.2	8.75	5.05	678
863	393	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	磨石	チャート	中	9.7	10.3	6.2	810
864	392	Ⅴ	D2	Ⅲｃ層	磨石	砂岩	中	9.75	9.45	6.05	806
865	392	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	磨石	安山岩	中	10.55	4.9	6.1	485
866	393	Ⅱ	B3	不明	磨石	安山岩	中	10.7	9.2	5.9	927
867	393	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	磨石	砂岩	重	11.45	7.55	9.5	1,352.00
868	393	Ⅳ	Ⅳ	不明	磨石	砂岩	重	11.1	7.25	5.95	703
869	392	Ⅲ	D4	不明	磨石	安山岩	重	10.95	6.6	6.5	565
870	392	Ⅲ	Ⅲ	不明	磨石	砂岩	重	10.3	6.25	6.8	562
871	392	Ⅳ	E3	Ⅲｃ層	磨石	安山岩	重	11.65	6.4	6.4	675
872	393	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	敲石	砂岩	軽	5.95	5.5	3.15	159
873	393	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	敲石	砂岩	軽	4.15	5.05	3.85	151
874	393	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	敲石	砂岩	軽	5.5	5.35	5	245
875	393	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	敲石	砂岩	軽	8.15	4.3	3.8	205

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
876	393	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	敲石	砂岩	軽	7.86	7.05	4.85	381
877	393	Ⅳ	G3	Ⅲｃ層	敲石	砂岩	軽	7.8	7.1	5.45	432
878	394	Ⅳ	D4	Ⅲｃ層	敲石	チャート黒	重	6.95	7	3.45	261
879	394	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	敲石	チャート黒色系黒線	重	9.3	8.45	5.95	560
880	394	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	敲石	チャート黒	重	11.22	6	4.45	432
881	394	Ⅳ	B2	Ⅲｂ層	敲石	チャート灰筋	重	12.46	7.05	6.7	618
882	394	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	敲石	チャート灰筋	重	16.1	6.17	3.97	574
883	394	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	敲石	チャート灰	軽	8.3	6.4	3.75	243
884	394	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	敲石	チャート灰	重	6.6	5.85	2.15	127.35
885	394	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	敲石	チャート灰	重	7.26	6.94	5.06	307
886	394	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	敲石	チャート灰	重	9.18	7.74	4.16	445
887	394	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	敲石	チャート灰	重	7.4	6.2	3.7	192.64
888	394	Ⅳ	C3	不明	敲石	チャート緑	重	8.7	7.24	2.45	249
889	395	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石錘	片岩	打欠	17.2	13.5	3.1	1,373.70
890	395	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	片岩	打欠	8.6	8.7	3	345.1
891	395	Ⅳ	C1	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	8.6	9.9	2.5	321.6
892	395	Ⅱ	B2	不明	石錘	砂岩	打欠	7.2	8.4	2.8	258
893	395	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	8.1	8.7	2.4	258.7
894	395	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	8.6	8.7	2.8	289
895	395	Ⅲ	E4	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	8.6	9.4	2.1	249.6
896	395	Ⅴ	E5	不明	石錘	砂岩	打欠	8.1	6.2	2.9	259.4
897	395	Ⅰ	9429	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	7.8	8.3	2.7	246.6
898	395	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	9.45	8.2	2.35	270.2
899	395	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石錘	緑色片岩	打欠	10.1	6.7	2.85	318.4
900	395	Ⅲ	D4	不明	石錘	砂岩	打欠	8.25	7.85	2.5	238.8
901	395	Ⅲ	E4	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	9.4	7.3	2.4	227.6
902	395	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	8.6	7.6	2.4	220.4
903	395	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	7.5	8.5	2.4	230.5
904	395	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	8.8	8.2	2.3	214.4
905	395	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	礫岩	打欠	8.9	8.1	2.1	213
906	395	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	7.2	8	2.5	211.1
907	395	Ⅲ	D3	不明	石錘	チャート	打欠	8.05	6.9	2.55	206.9
908	395	Ⅲ	D3	不明	石錘	砂岩	打欠	8.25	8.75	2	210.9
909	395	Ⅰ	Ⅰ	SK029	石錘	頁岩	打欠	6.75	7.9	2.8	206.3
910	395	Ⅴ	E3	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	7.5	8.35	2	205.3

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
911	396	Ⅰ	9521	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	8.2	7.1	2.2	181.9
912	396	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.6	6.9	2.6	196.9
913	396	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.95	8.7	2.2	194.5
914	396	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	7.1	8.2	2.2	193.3
915	396	Ⅰ	Ⅰ	表土	石錘	砂岩	打欠	7	9.4	1.9	184.7
916	396	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	8.1	7	2.2	187.1
917	396	Ⅲ	D2	不明	石錘	輝石安山岩	打欠	7.5	6.65	2.1	181.9
918	396	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	6.65	7.9	2.1	179.7
919	396	Ⅰ	9521	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.7	7.4	2.5	186.9
920	396	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.8	6.3	3.1	181.8
921	396	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	7.1	8.05	2.2	186.3
922	396	Ⅲ	SD1	Ⅲd層	石錘	頁岩	打欠	8.9	5.5	2.2	179.6
923	396	Ⅳ	A3	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	13.25	4.95	2.15	196.7
924	396	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.3	8.1	2	181.2
925	396	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.3	5.2	2.7	162.5
926	396	Ⅰ	Ⅰ	不明	石錘	砂岩	打欠	7.2	7.7	2.1	174.5
927	396	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.75	7.7	2.1	173.4
928	396	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.2	6.6	2.9	173.7
929	396	Ⅲ	D1	不明	石錘	砂岩	打欠	6.1	7.55	2.2	164
930	396	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	6.5	7	2.6	164
931	396	Ⅳ	Ⅳ	不明	石錘	砂岩	打欠	6.9	7.8	2.3	172.4
932	396	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.3	5.3	2.5	157.7
933	396	Ⅰ	9511	不明	石錘	砂岩	打欠	7.8	6.3	2.05	159.2
934	396	Ⅰ	9429	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	8.1	6.4	2.2	163.2
935	396	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石錘	砂岩	打欠	8.2	7.1	1.9	175.7
936	396	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	8.5	5.3	2.3	159.7
937	396	Ⅲ	D4	不明	石錘	砂岩	打欠	9.3	5.9	2	162.7
938	396	Ⅰ	9531	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	8.9	6.4	2.2	173.3
939	395	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	溶結凝灰岩	有溝	7.7	7.1	5.4	206.1
940	400	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石錘	砂岩	有溝	4.43	4	3.27	78.01
941	397	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ層	石錘	砂岩	打欠	6.2	6.2	2.5	144.5
942	397	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	6.9	7.6	2	155.7
943	397	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7	7.5	1.85	150.6
944	397	Ⅲ	SD1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.15	6.9	2.5	144
945	397	Ⅲ	E1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.1	7	2.7	146.8

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
946	397	Ⅲ	D2	不明	石錘	チャート	打欠	6.8	7	2.1	157
947	397	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	7.1	6.65	2.1	147.1
948	397	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	7.25	5.7	2.3	149.9
949	397	Ⅴ	F4	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	7.1	6.8	2.05	144.3
950	397	Ⅳ	D1	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	7.3	6.1	2.3	144.9
951	397	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	7.1	5.8	2.3	143.5
952	397	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	7.6	6.1	2.2	150.7
953	397	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	8.1	6.7	2.1	155.5
954	397	Ⅲ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	9.3	5.5	1.75	147.5
955	397	Ⅰ	Ⅰ	撹乱	石錘	砂岩	打欠	10	5.5	1.75	157.2
956	397	Ⅲ	D2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.85	6.45	2.15	141.7
957	397	Ⅳ	D3	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	6.7	6.2	2.5	140.7
958	397	Ⅰ	9520	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	8	6.3	1.8	139.5
959	397	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.4	7.2	2	134.8
960	397	Ⅴ	G6	不明	石錘	砂岩	打欠	6.7	8.5	1.6	140.5
961	397	Ⅴ	E4	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	7.3	5.8	2.4	139.7
962	397	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	7.7	6.2	2	139
963	397	Ⅰ	9520	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.5	7	2.1	138.5
964	397	Ⅲ	E4	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.8	6.6	2.05	138.1
965	397	Ⅳ	C3	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.4	6.45	2.3	137.1
966	397	Ⅲ	E1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.4	7.2	2.2	135.4
967	397	Ⅰ	9531	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.7	6.45	2	134.8
968	397	Ⅳ	C2	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	8.4	5.4	2.2	131.5
969	397	Ⅳ	A3	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	9.6	4.3	2.1	138.3
970	397	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	10.5	4.6	1.9	132.4
971	398	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石錘	砂岩	打欠	6.25	7.1	2	131.4
972	398	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.6	6.4	1.9	131
973	398	Ⅴ	F3	不明	石錘	砂岩	打欠	6.6	7.2	1.7	129.5
974	398	Ⅲ	E4	不明	石錘	砂岩	打欠	5.8	7.2	2.3	128.7
975	398	Ⅳ	Ⅳ	不明	石錘	砂岩	打欠	6	7.1	1.9	128.2
976	398	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石錘	泥岩	打欠	6.5	7.2	1.85	127.9
977	398	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6	6.3	2.2	125.8
978	398	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	6.3	5.7	2.4	126.6
979	398	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.9	5.95	2.3	127.4
980	398	Ⅲ	E2	Ⅲｄ層	石錘	輝石安山岩	打欠	6.9	5.6	2.1	129.9

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
981	398	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錘	砂岩	打欠	8.3	5.35	1.9	129.3
982	398	Ⅴ	G7	不明	石錘	砂岩	打欠	7.9	6.9	1.8	127
983	398	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	8.5	6.2	2.3	126.3
984	398	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	9.4	3.9	2.15	128.9
985	398	Ⅳ	C2	SK007	石錘	頁岩	打欠	9.05	5.2	1.77	127.1
986	398	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.3	7.2	1.6	122.3
987	398	Ⅰ	9521	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.5	5.95	2.3	121
988	398	Ⅲ	E4	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.7	5.85	7.05	114.1
989	398	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.4	5.9	2.2	120.1
990	398	Ⅲ	D3		石錘	砂岩	打欠	7	5.7	1.9	120
991	398	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.4	7.75	1.7	117.8
992	398	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	5.9	7.3	1.8	117.7
993	398	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	5.7	6.8	2	116.6
994	398	Ⅰ	9511	撹乱	石錘	砂岩	打欠	7.2	6	1.9	115.4
995	398	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	7.2	5.8	1.9	115
996	398	Ⅲ	E4	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.6	5.4	1.9	120.1
997	398	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	7.7	4.3	2.4	117.3
998	398	Ⅲ	E4	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.8	4.9	2.05	112.7
999	398	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.9	5.2	2.2	113.3
1000	398	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7.2	5	1.95	112.6
1001	399	Ⅲ	D3	不明	石錘	砂岩	打欠	6.3	6.4	1.9	111.3
1002	399	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	5.9	5.8	1.7	111.6
1003	399	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	7	5.9	1.9	111.8
1004	399	Ⅲ	D3	不明	石錘	砂岩	打欠	7.3	4.9	2.35	112.2
1005	399	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	7.2	5.6	1.9	112.3
1006	399	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7.1	4.7	2.3	112.5
1007	399	Ⅳ	Ⅳ	不明	石錘	砂岩	打欠	7.7	4.4	2.2	109.8
1008	399	Ⅴ	F7	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7.3	5.8	1.7	109.8
1009	399	Ⅲ	SD1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	7.1	5.65	1.9	109.9
1010	399	Ⅲ	E3	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.5	5.9	1.6	110.4
1011	399	Ⅰ	9531	Ⅲa層	石錘	砂岩	打欠	6.9	5.7	1.9	110.5
1012	399	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.8	6.2	1.6	111
1013	399	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錘	砂岩	打欠	5.3	7.2	1.7	108.1
1014	399	Ⅴ	G6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	5.6	7.1	1.85	109
1015	399	Ⅰ	9520	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.8	5.8	1.7	109.5

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
1016	399	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	7.5	5.6	1.7	107.2
1017	399	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.9	6	2.1	109.3
1018	399	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	5.4	4.8	2.7	100.3
1019	399	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	5.4	4.8	3	103.9
1020	399	Ⅴ	G7		石錘	砂岩	打欠	6.4	5.2	2.1	101.6
1021	399	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	泥岩	打欠	6.95	5.1	1.9	100.8
1022	399	Ⅲ	SD1	不明	石錘	砂岩	打欠	6.5	4.9	2.3	102.3
1023	399	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	7.5	5	1.9	103
1024	399	Ⅴ	E5	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7.9	4.5	2	103.1
1025	399	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	7	6	1.7	105.5
1026	399	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	8.2	5.5	1.6	105.1
1027	399	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	6.5	6.2	1.8	104.3
1028	399	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	5.9	5.9	2	103.8
1029	399	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	7.9	6	1.8	107
1030	399	Ⅰ	Ⅰ	SK016	石錘	頁岩	打欠	9.55	4.95	1.6	103.7
1031	399	Ⅲ	SD1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.3	5.1	2.3	106.8
1032	399	Ⅲ	D4	不明	石錘	砂岩	打欠	6.6	6.2	1.9	106.3
1033	399	Ⅲ	E4	不明	石錘	砂岩	打欠	7.4	5.4	1.9	106.3
1034	399	Ⅳ	C2	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	7.1	6.3	1.8	106
1035	399	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石錘	礫岩	打欠	5.5	6.4	2	105.8
1036	400	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	6.55	5.25	2.05	100.2
1037	400	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6	4.9	2.3	99.8
1038	400	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.2	5.5	1.9	99.1
1039	400	Ⅴ	F6	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.3	6	1.1	98.9
1040	400	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7.3	4.7	1.7	93.8
1041	400	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6.05	8.25	1.4	98.8
1042	400	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.5	6.3	1.8	98.3
1043	400	Ⅴ	E3	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.1	7.1	1.55	98.2
1044	400	Ⅲ	D5	不明	石錘	砂岩	打欠	5.5	6.3	2.2	97.8
1045	400	Ⅰ	9510	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	6	5.5	1.8	94.5
1046	400	Ⅰ	9511	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	6.85	5.2	2.1	98.7
1047	400	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	6.3	5	2.1	96
1048	400	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.7	5.05	1.9	96.7
1049	400	Ⅰ	9429	Ⅲc層	石錘	砂岩	打欠	8.2	5.3	1.6	94.8
1050	400	Ⅴ	F4	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	7.3	4.7	2	98.7

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
1051	400	Ⅴ	Ⅴ	撹乱	石錘	砂岩	打欠	6	4.7	2.5	96.1
1052	400	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	8.4	3.7	1.7	91.6
1053	400	Ⅳ	9502	Ⅳ層	石錘	砂岩	打欠	4.3	5.8	2.65	82.7
1054	400	Ⅲ	E4	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	4.6	5.1	2.6	84.3
1055	400	Ⅴ	E5	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	5.75	6.05	1.4	79
1056	400	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	5.7	6.5	1.4	77.6
1057	400	Ⅰ	9502	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	5.6	5.3	2.1	87.2
1058	400	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.2	5	1.75	84.2
1059	400	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.4	4.8	1.9	81.5
1060	400	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	5.9	7.3	1.7	85.1
1061	400	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6	5	2.1	86.4
1062	400	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.9	4.2	1.8	80.6
1063	400	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	7.1	5.4	1.3	84
1064	400	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.5	3.8	2.1	88.5
1065	400	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	6.7	4.45	1.9	79
1066	400	Ⅲ	B1	不明	石錘	砂岩	打欠	7.55	4.5	2.1	80.7
1067	400	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	6.6	4.6	1.7	78.2
1068	400	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6.9	5.2	1.7	88.5
1069	400	Ⅳ	B3	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	5.46	7.3	1.76	91.05
1070	401	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	5.2	5.5	1.7	71
1071	401	Ⅴ	F4	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6	4.6	1.95	70.3
1072	401	Ⅴ	E6	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	5.2	4.3	2.1	69.8
1073	401	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	4.8	5.5	1.8	69.2
1074	401	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錘	砂岩	打欠	4.05	5.2	1.7	68.6
1075	401	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	6	4.6	1.7	68.2
1076	401	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	5.2	6	1.6	73.5
1077	401	Ⅲ	D4	不明	石錘	砂岩	打欠	5.3	6.8	1.6	73.1
1078	401	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	5.65	4.9	1.8	72.7
1079	401	Ⅰ	Ⅰ	不明	石錘	砂岩	打欠	5.45	5	1.7	72.5
1080	401	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錘	砂岩	打欠	6.2	4.4	1.7	72.5
1081	401	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錘	砂岩	打欠	5.4	5.2	1.7	71.2
1082	401	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.5	5.6	1.4	77.6
1083	401	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	6.35	6	1.5	75.9
1084	401	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	5.75	4.8	1.95	75.5
1085	401	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	打欠	7.35	4.5	1.5	76.2

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）
1086	401	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	7.9	4.05	1.65	74.3
1087	401	Ⅴ	F6	不明	石錘	砂岩	打欠	4.5	4.75	1.95	58.7
1088	401	Ⅴ	G9	Ⅲｂ層	石錘	泥岩	打欠	6.1	5.5	1.1	59
1089	401	Ⅳ	E2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	6.1	4.05	1.75	57.3
1090	401	Ⅲ	E3	不明	石錘	砂岩	打欠	5.55	5	1.3	57.3
1091	401	Ⅴ	G6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	5.8	4.55	1.4	56.9
1092	401	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	5.2	4.5	1.75	65.1
1093	401	Ⅲ	D2	不明	石錘	砂岩	打欠	4.9	5.1	1.45	60.7
1094	401	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	5.1	4.4	2	64
1095	401	Ⅴ	SD1	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	5.4	4.6	1.75	65.4
1096	401	Ⅰ	9520	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	4.7	5.2	1.9	64.4
1097	401	Ⅲ	E2	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	5.6	4.8	1.9	64.5
1098	401	Ⅲ	E2	不明	石錘	頁岩	打欠	5.25	6.3	1.6	64
1099	401	Ⅲ	Ⅲ	不明	石錘	砂岩	打欠	5.7	4.7	1.7	65.8
1100	401	Ⅴ	G7	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	5.5	4.7	1.7	66.8
1101	401	Ⅰ	9521	Ⅲｄ層	石錘	頁岩	打欠	6.2	4.5	1.35	59.7
1102	401	Ⅴ	E5	不明	石錘	砂岩	打欠	6.4	4.5	1.5	68
1103	401	Ⅰ	9521	Ⅲｄ層	石錘	頁岩	打欠	5.9	5.9	1.2	68.3
1104	401	Ⅳ	C3	Ⅲｃ層	石錘	凝灰岩	打欠	6.23	6.3	1.3	68.41
1105	402	Ⅴ	F5	Ⅲｃ層	石錘	泥岩	打欠	5.6	5.1	0.9	45.2
1106	402	Ⅴ	F5	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	4.8	5.3	1.2	42
1107	402	Ⅳ	Ⅳ	不明	石錘	砂岩	打欠	4	3.4	0.8	14.9
1108	402	Ⅴ	E6	Ⅲｂ層	石錘	泥岩	打欠	4.1	4.2	1.5	33.2
1109	402	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	4.1	3.3	0.9	20.5
1110	402	Ⅳ	C2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	3.15	4.35	1.25	26.5
1111	402	Ⅳ	B1	不明	石錘	砂岩	打欠	4.5	4.8	1.6	47.9
1112	402	Ⅲ	D5	不明	石錘	砂岩	打欠	4.1	5.1	1.2	38.8
1113	402	Ⅴ	F6	Ⅲｂ層	石錘	砂岩	打欠	3.75	5	2	46.7
1114	402	Ⅳ	D2	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	4.15	5.15	1.2	39.1
1115	402	Ⅰ	9502	Ⅲｃ層	石錘	砂岩	打欠	4.7	5.3	1.4	49.1
1116	402	Ⅲ	E3	Ⅲｄ層	石錘	砂岩	打欠	5.2	4.7	1.5	51.7
1117	402	Ⅴ	E5	Ⅲｂ層	石錘	泥岩	打欠	4.6	5.1	1	36.4
1118	402	Ⅳ	Ⅳ	不明	石錘	砂岩	打欠	5.3	4.4	1.5	21
1119	402	Ⅲ	D2	不明	石錘	砂岩	打欠	6	3.4	1.7	52.7
1120	402	Ⅴ	E5	Ⅲｂ層	石錘	泥岩	打欠	6.1	4	0.9	37.6

RQ	写真頁	地区	グリッド	層位	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
1121	402	Ⅲ	E4	Ⅲd層	石錘	砂岩	打欠	5.1	4	1.5	45
1122	402	Ⅳ	C2	Ⅲb層	石錘	砂岩	打欠	5.1	5.2	1.35	50.4
1123	402	Ⅲ	E1	不明	石錘	砂岩	打欠	4.25	5.3	1.8	55.7
1124	402	Ⅳ	Ⅳ	不明	石錘	砂岩	打欠	11.9	8.4	2.1	227.3
1125	396	Ⅴ	Ⅴ	不明	石錘	砂岩	切目	9.5	4.75	2.05	159.5
1126	399	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石錘	砂岩	切目	8.9	5.5	1.5	107.6
1127	400	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石錘	砂岩	切目	7.2	5.4	1.6	91.7
1128	401	Ⅴ	F5	Ⅲb層	石錘	砂岩	切目	6.1	5	1.7	77.5
1129	402	Ⅲ	E2	不明	石錘	砂岩	切目	7.4	3.9	1.3	49.6
1130	402	Ⅳ	D2	Ⅲc層	石錘	砂岩	切目	5.9	3.9	1.7	56.6
1131	402	Ⅴ	G7	Ⅲb層	垂飾	黒曜石 A	再加工品	2.47	1.59	0.33	1.6
1132	403	Ⅳ	A3	Ⅲb層	十字形石器	輝石安山岩	大型	12.2	11.43	1.83	163.8
1133	403	Ⅴ	E7	Ⅲb層	十字形石器	輝石安山岩	大型	8.41	11.35	1.6	128.9
1134	403	Ⅳ	B3	Ⅲb層	十字形石器	粘板岩	大型	7.4	6.02	1.9	118.1
1135	403	Ⅳ	A3	Ⅲb層	十字形石器	安山岩	小型	7.18	6.75	1.07	43.5
1136	403	Ⅳ	E5	不明	十字形石器	凝灰岩	小型	4.62	4.64	1.3	36
1137	403	Ⅲ	Ⅲ	不明	円盤形石器	チャート	小型	7.8	7.7	1.55	115
1138	403	Ⅴ	SD1	Ⅲd層	環状石斧	チャート	小型	6.01	3	1.37	37.4
1139	403	Ⅲ	D2	不明	石鏃	輝緑凝灰岩	磨製石鏃	2.64	2.03	0.17	1.3
1140	403	Ⅰ	9510	Ⅲc層	砥石	安山岩	仕上砥石	4.43	1.59	1.24	16.2
1141	403	Ⅰ	9520	Ⅱ層	砥石	泥岩	中砥石	8.19	3.73	1.56	91

4　分析

本章には、業務委託により実施した理化学分析の報告 4 節を収め、熊本県頭地下手遺跡の調査成果を分析し考察を加えた論考 3 篇を掲げた。

越知睦和さん、山崎純男さん、島津義昭さんには、頭地下手遺跡の縄紋時代の石器をめぐる諸問題について各々主題をたて、考究に縒りをかけ、玉稿として編みあげていただいた。三賢が選りとった各主題は、生産、技術、用途といった石器のライフヒストリーに重なり、頭地下手遺跡の調査成果に鮮烈な息吹を吹き込んでいる。衷心より感謝申し上げる。

なお、木村幾多郎さんには、附「熊本県五木村頭地の石錘と石皿」の掲載に際して特段の配慮をいただいた。併せて記し感謝申し上げる。

4-1　放射性炭素年代測定
パレオ・ラボ　AMS 年代測定グループ
4-2　花粉分析（花粉化石）
パレオ・ラボ　鈴木　茂
4-3　珪藻分析（珪藻化石群集）
パレオ・ラボ　黒澤一男
4-4　植物珪酸体分析
パレオ・ラボ　鈴木　茂
4-5　熊本県頭地下手遺跡出土の石器石材について
越知睦和
4-6　熊本県頭地下手遺跡出土の擦切石斧について
山崎純男
4-7　熊本県頭地下手遺跡出土の石錘について
附　熊本県五木村頭地の石錘と石皿
島津義昭
4-8　熊本県頭地下手遺跡の調査成果

なお、本章において、図表は各節を単位として作成し、図は Figure（Fig.）、表は Table（Tab.）と記述し、掲載している。他章との混同を避ける措置であり、諒とされたい。

4-1　放射性炭素年代測定

株式会社パレオ・ラボ　※

1　はじめに

頭地下手遺跡より検出された試料について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。

2　試料と方法

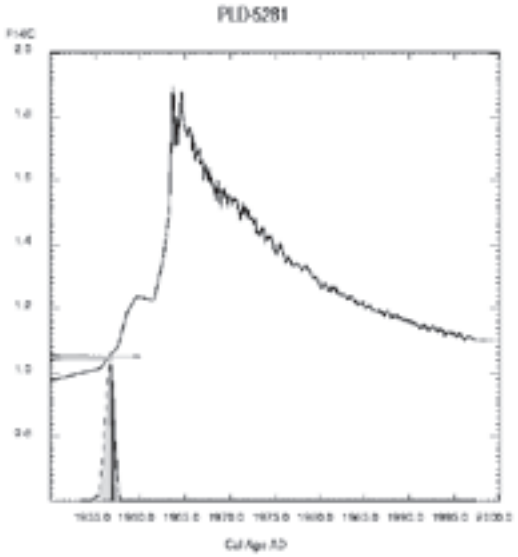
測定試料の情報、調整データは Tab.1 のとおりである。

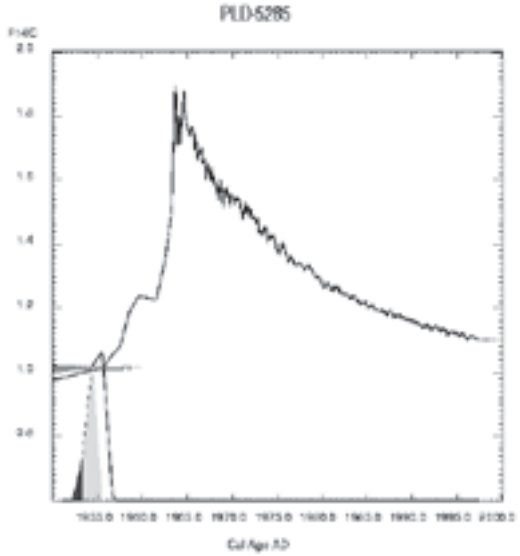
測定試料のうち PLD-6680 ～ 3 は縄文時代後期の土器が出土する溝である SD1 の覆土から出土した炭

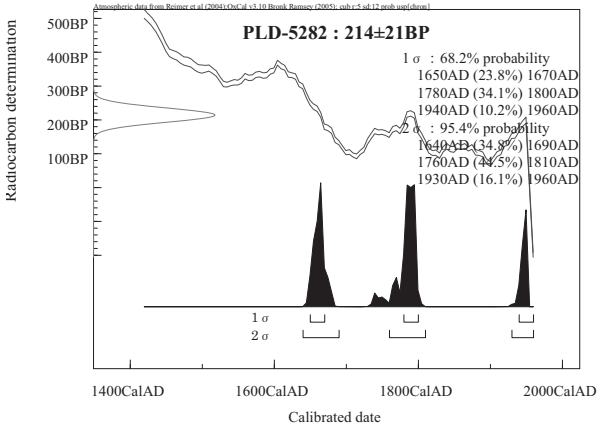
Tab.1　測定試料及び処理

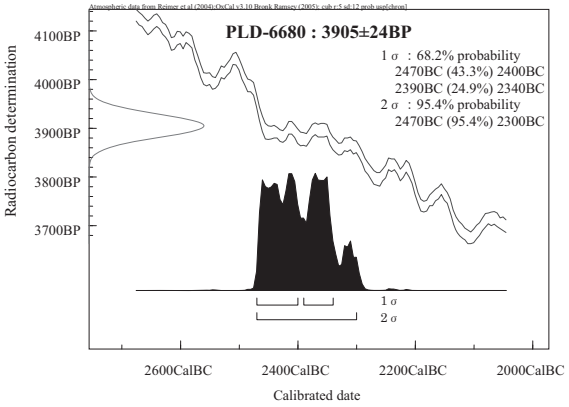
測定番号	遺跡データ	試料データ	前処理	測定
PLD-5281	層位：IIIa層	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：不明 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム 0.1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-5282	層位：IIIb層	試料の種類：生試料・植物遺体 状態：wet カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム 0.1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-5283	層位：IIIc層	試料の種類：炭化物・材 （樹皮） 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム 0.1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-5284	層位：IIId層	試料の種類：生試料・植物遺体 状態：wet カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム 0.1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-5285	層位：IV層	試料の種類：炭化物・材 試料の性状：不明 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム 0.1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-6680	位置：V区 遺構：SD1 遺物No：炭化物1	試料の種類：炭化物・材（針葉樹4年輪分） 試料の性状：最外以外部位不明 状態：wet カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-6681	位置：V区 遺構：SD1 遺物No：炭化物2	試料の種類：炭化物・材（散孔材5年輪（外側） 試料の性状：最外以外樹皮に近い部分を採取 状態：wet カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-6682	位置：V区 遺構：SD1 遺物No：炭化物3	試料の種類：炭化物・材（2～3年輪分） 試料の性状：最外以外部位不明 状態：wet カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH
PLD-6683	位置：V区 遺構：SD1 遺物No：炭化物4	試料の種類：炭化物・材（針葉樹フシ部約2～3年輪分） 試料の性状：最外以外部位不明 状態：dry カビ：無	超音波煮沸洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄 （塩酸1.2N, 水酸化ナトリウム1N, 塩酸1.2N）	PaleoLabo：NEC製コンパクトAMS・1.5SDH

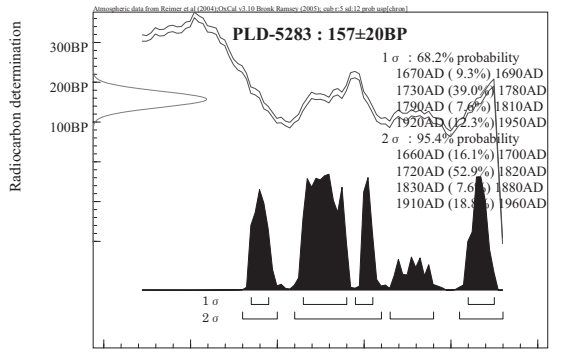
※　パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ　佐々木由香・小林紘一・丹生越子・伊藤茂・山形秀樹・瀬谷薫・Zaur Lomtatidze・Ineza Jorjoliani

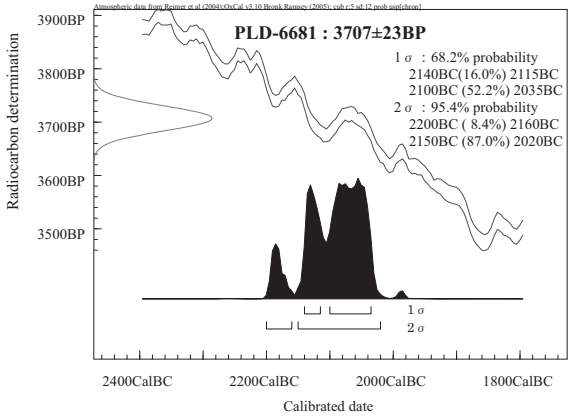

PLD-5281

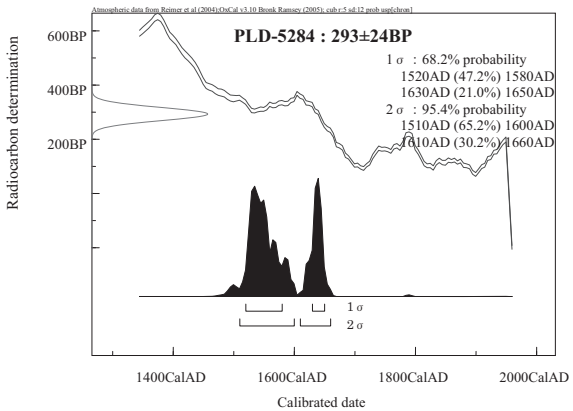

PLD-5285

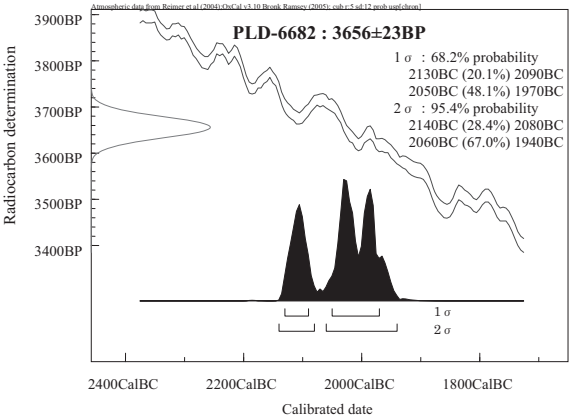

PLD-5282 : 214±21BP
1σ : 68.2% probability
1650AD (23.8%) 1670AD
1780AD (34.1%) 1800AD
1940AD (10.2%) 1960AD
2σ : 95.4% probability
1640AD (34.8%) 1690AD
1760AD (44.5%) 1810AD
1930AD (16.1%) 1960AD
Radiocarbon determination
500BP
400BP
300BP
200BP
100BP
1σ
2σ
1400CalAD
1600CalAD
1800CalAD
2000CalAD
Calibrated date


PLD-6680 : 3905±24BP
1σ : 68.2% probability
2470BC (43.3%) 2400BC
2390BC (24.9%) 2340BC
2σ : 95.4% probability
2470BC (95.4%) 2300BC
Radiocarbon determination
4100BP
4000BP
3900BP
3800BP
3700BP
1σ
2σ
2600CalBC
2400CalBC
2200CalBC
2000CalBC
Calibrated date


PLD-5283 : 157±20BP
1σ : 68.2% probability
1670AD (9.3%) 1690AD
1730AD (39.0%) 1780AD
1790AD (7.6%) 1810AD
1920AD (12.3%) 1950AD
2σ : 95.4% probability
1660AD (16.1%) 1700AD
1720AD (52.9%) 1820AD
1830AD (7.6%) 1880AD
1910AD (18.8%) 1960AD
Radiocarbon determination
300BP
200BP
100BP
1σ
2σ
1500CalAD
1600CalAD
1700CalAD
1800CalAD
1900CalAD
2000CalAD
Calibrated date


PLD-6681 : 3707±23BP
1σ : 68.2% probability
2140BC(16.0%) 2115BC
2100BC (52.2%) 2035BC
2σ : 95.4% probability
2200BC (8.4%) 2160BC
2150BC (87.0%) 2020BC
Radiocarbon determination
3900BP
3800BP
3700BP
3600BP
3500BP
1σ
2σ
2400CalBC
2200CalBC
2000CalBC
1800CalBC
Calibrated date


PLD-5284 : 293±24BP
1σ : 68.2% probability
1520AD (47.2%) 1580AD
1630AD (21.0%) 1650AD
2σ : 95.4% probability
1510AD (65.2%) 1600AD
1610AD (30.2%) 1660AD
Radiocarbon determination
600BP
400BP
200BP
1σ
2σ
1400CalAD
1600CalAD
1800CalAD
2000CalAD
Calibrated date

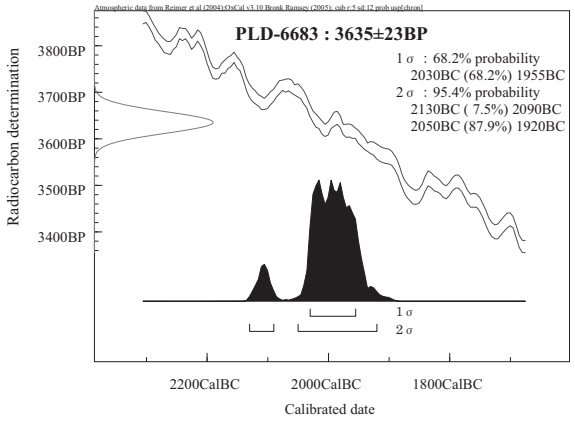

PLD-6682 : 3656±23BP
1σ : 68.2% probability
2130BC (20.1%) 2090BC
2050BC (48.1%) 1970BC
2σ : 95.4% probability
2140BC (28.4%) 2080BC
2060BC (67.0%) 1940BC
Radiocarbon determination
3900BP
3800BP
3700BP
3600BP
3500BP
3400BP
1σ
2σ
2400CalBC
2200CalBC
2000CalBC
1800CalBC
Calibrated date

Tab.2　放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	δ ^{13}C (‰)	^{14}C 年代 (yrBP±1σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代範囲		暦年較正用年代 (yrBP±1σ)
			1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲	
PLD-5281	−31.43±0.12	−380±20	1956AD(68.2%)1957AD	1956AD(95.4%)1957AD	−382±20
PLD-5282	−30.61±0.14	215±20	1650AD(23.8%)1670AD 1780AD(34.1%)1800AD 1940AD(10.2%)1960AD	1640AD(34.8%)1690AD 1760AD(44.5%)1810AD 1930AD(16.1%)1960AD	214±21
PLD-5283	−30.52±0.14	155±20	1670AD(9.3%)1690AD 1730AD(39.0%)1780AD 1790AD(7.6%)1810AD 1920AD(12.3%)1950AD	1660AD(16.1%)1700AD 1720AD(52.9%)1820AD 1830AD(7.6%)1880AD 1910AD(18.8%)1960AD	157±20
PLD-5284	−30.37±0.12	295±25	1520AD(47.2%)1580AD 1630AD(21.0%)1650AD	1510AD(65.2%)1600AD 1610AD(30.2%)1660AD	293±24
PLD-5285	−29.74±0.13	−115±20	1953AD(68.2%)1956AD	1952AD(95.4%)1956AD	−114±20
PLD-6680	−27.86±0.17	3905±25	2470BC(43.3%)2400BC 2390BC(24.9%)2340BC	2470BC(95.4%)2300BC	3905±24
PLD-6681	−28.37±0.17	3705±25	2140BC(16.0%)2115BC 2100BC(52.2%)2035BC	2200BC(8.4%)2160BC 2150BC(87.0%)2020BC	3707±23
PLD-6682	−27.21±0.19	3655±25	2130BC(20.1%)2090BC 2050BC(48.1%)1970BC	2140BC(28.4%)2080BC 2060BC(67.0%)1940BC	3656±23
PLD-6683	−28.09±0.17	3635±25	2030BC(68.2%)1955BC	2130BC(7.5%)2090BC 2050BC(87.9%)1920BC	3635±23

化材である。PLD-6680 は針葉樹で、最外年輪以外の部位であるが、どの部位かは不明である。PLD-6681 は広葉樹の散孔材で、最外年輪以外の部位であるが、辺材部分であることから樹皮に近いと考えられる。PLD-6682 は樹種不明で、最外年輪以外の部位であるが、どの部位かは不明である。PLD-6683 は針葉樹の節部で、最外年輪以外の部位であるが、どの部位かは不明である。

測定試料のうち PLD-6680 ～ 3 は、より外側の年輪から 2 ～ 5 年輪切り出した。いずれの試料も調整後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた 14C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、14C 年代、暦年代を算出した。



3　結果

Tab.2 に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（δ 13C)、同位体分別効果の補正を行った 14C 年代、14C 年代を暦年代に較正した年代範囲、暦年較正に用いた年代値を、Fig.1 に暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

14C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。14C 年代（yrBP）の算出には、14C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した 14C 年代誤差（± 1 σ）は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の 14C 年代がその 14C 年代誤差内に入る確率が 68.2％であることを示すものである。

なお、暦年較正の詳細は以下の通りである。

暦年較正

暦年較正とは、大気中の 14C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された 14C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の 14C 濃度の変動、及び半減期の違い（14C の半減期 5730 ± 40 年）を較正することである。

測定した試料の内、PLD-5281、5285 は年代が新しく通常の較正曲線範囲外であったため、1950 年以

降の暦年代較正のための Web 上（http://calib.qub.ac.uk/CALIBomb/）の暦年較正ソフト、CALIBomb（較正曲線データ：NH_Zone2）を暦年較正に使用した。なお、1 σ暦年代範囲は、確率法を使用して算出された 14C 年代誤差に相当する 68.2％信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2 σ暦年代範囲は 95.4％信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。それぞれの暦年代範囲のうち、その確率が最も高い年代範囲については、Tab.2 中に下線で示してある。

4　考察

試料について、同位体分別効果の補正及び暦年較正を行った。得られた暦年代範囲のうち、その確率の最も高い年代範囲に着目すると、それぞれより確かな年代値の範囲が示された。

PLD-6680 は比較的古い年代値を示し、14C 年代が 3905 ± 25yrBP、暦年代較正年代範囲が 1 σ（68.2 % の確率）で、2470-2400calBC(43.3%)、2390-2340calBC(24.9%)、2 σ（95.4 % の確率）で 2470-2300calBC(95.4%) であった。

PLD-6681 ～ 3 は、14C 年代が 3705 ～ 3635 ± 25yrBP の範囲内で、暦年較正年代では 2 σで 2150 ～ 1920calBC の範囲内の年代の確率が最も高く 67% 以上の確率を占め、2200 ～ 2080calBC の範囲内の年代がそれに次いだ。いずれも縄文時代後期前半にあたる暦年代範囲であった（今村 ,2004 他）。ただし、測定した材は最外年輪（＝伐採年代）が不明な炭化材破片のため、実際の伐採年より古い年代を測定していることを考慮する必要がある。PLD-6681 は最外年輪が遺存していないが樹皮近いと考えられることから、その他の試料についても測定した部分の年代と伐採年代は古木効果を考慮するほど離れていないことが推察される。

〔参考文献〕

Q Hua and M Barbetti (2004) Review of Tropospheric Bomb 14C Data for Carbon Cycle Modeling and Age Calibration Purposes, Radiocarbon 46:1273-1298.

Bronk Ramsey C. (1995) Radiocarbon Calibration and Analysis of Stratigraphy: The OxCal Program, Radiocarbon, 37(2), 425-430.

Bronk Ramsey C.（2001）Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43 (2A), 355-363.

今村峯雄編 . (2004) 縄文時代弥生時代の高精度編年体系の構築 平成 13 ～ 15 年度文部科学省研究費補助金　基盤研究 (A)(1) 研究成果報告書 .

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の 14C 年代 , 3-20.

Reimer PJ, MGL Baillie, E Bard, A Bayliss, JW Beck, C Bertrand, PG Blackwell, CE Buck, G Burr, KB Cutler, PE Damon, RL Edwards, RG Fairbanks, M Friedrich, TP Guilderson, KA Hughen, B Kromer, FG McCormac, S Manning, C Bronk Ramsey, RW Reimer, S Remmele, JR Southon, M Stuiver, S Talamo, FW Taylor, J van der Plicht, and CE Weyhenmeyer. (2004) IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26 cal kyr BP, Radiocarbon 46, 1029-1058.

4-2　花粉分析（花粉化石）

株式会社パレオ・ラボ　※

1　はじめに

頭地下手遺跡において堆積環境を推定する目的で採取された土壌試料を用いて花粉分析を行った。

2　試料と分析方法

試料はⅢａ層、Ⅲｂ層、Ⅲｃ層、Ⅲｄ層、Ⅵ層の5層準より採取された5試料である。土相はおおむね褐色のローム質土で、Ⅲｃ層は砂が卓越している。またⅢａ層には縄文土器片が、Ⅲｂ層やⅢｃ層には縄文後期土器片が、Ⅲｄ層には縄文後期の土器や石器が多く含まれ、Ⅳ層にも縄文後期土器片が含まれている。これら5試料について以下のような手順にしたがって花粉分析を行った。

試料（湿重約4～6ｇ）を遠沈管にとり、10%の水酸化カリウム溶液を加え20分間湯煎する。水洗後、0.5mm目の篩にて植物遺体などを取り除き、傾斜法を用いて粗粒砂分を除去する。次に46%のフッ化水素酸溶液を加え20分間放置する。水洗後、比重分離（比重2.1に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し、水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理（無水酢酸9：1濃硫酸の割合の混酸を加え3分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを加え保存用とする。検鏡はこの残渣より適宜プレパラートを作成して行い、その際サフラニンにて染色を施した。

3　分析結果

検出された花粉・胞子の分類群数は、樹木花粉7、草本花粉3、形態分類を含むシダ植物胞子3の総計13である。これら花粉・シダ植物胞子の一覧をTab.1に示したが、それらの分布については花粉化石の検出数が非常に少なく分布図として示すことができなかった。なおTab.1においてハイフン（－）で結んだ分類群はそれら分類群間の区別が困難なものを示している。またマツ属（不明）について、このマツ属にはアカマツやクロマツなどの複維管束亜属（いわゆるニヨウマツ類）とハイマツやヒメコマツなどの単維管束亜属（いわゆるゴヨウマツ類）があるが、その区別がつかなかったものを不明としたものである。

検境の結果、Ⅲａ層とⅣ層の2試料からは花粉化石が観察されなかった。他の3試料においても花粉

Tab.1　産出花粉化石一覧表

和名	学名	Ⅲa	Ⅲb	Ⅲc	Ⅲd	Ⅳ
樹木						
マツ属　（不明）	*Pinus* (Unknouwn)	－	－	1	－	－
スギ	*Cryptomeria Japonica*　D. Don	－	3	6	5	－
イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科	T.－ C.	－	－	1	1	－
コナラ属コナラ亜属	*Quercus* subgen. *Lepidobalanus*	－	1	1	2	－
シイノキ属－マテバシイ属	*Castanopsis* －*Pasania*	－	－	1	1	－
ニレ属－ケヤキ属	*Ulmus* －*Zelkova*	－	2	－	2	－
ティカカズラ属	*Trachelospermum*	－	－	－	1	－
草木						
イネ科	Gramineae	－	－	1	－	－
アカザ科－ヒユ科	Chenopodiaceae－Amaranthaceae	－	－	1	1	－
タンポポ亜科	Liguliflorae	－	－	－	2	－
シダ植物						
ヒカゲノカズラ属	*Lycopodium*	1	－	－	－	－
単条型胞子	Monolete spore	134	55	5	24	3
三条型胞子	Trilete spore	206	268	10	47	1
樹木花粉	Arboreal pollen	0	6	10	12	0
草木花粉	Nonarboreal pollen	0	0	2	3	0
シダ植物胞子	Spores	341	323	15	71	4
花粉・胞子総数	Total Pollen & Spores	341	329	27	86	4
不明花粉	Unkouwn pollen	0	0	3	2	0

T.－ C.はTaxaceae－Cephalotaxaceae－Cupresaceaeを示す

※　鈴木　茂

化石は少なく、その中ではスギがやや目立って検出されている。その他コナラ属コナラ亜属、シイノキ属－マテバシイ属（以後シイ類と略す）、ニレ属－ケヤキ属などが若干観察されている。草本類ではイネ科やアカザ科－ヒユ科、タンポポ亜科が若干検出されているのみである。また保存状態は悪いがⅢａ層、Ⅲｂ層においてシダ植物胞子が比較的多く観察されている。

4　分析結果について

上記したように検出できた花粉化石数は分類群数とともにかなり少ない結果であった。分析した各層はローム、すなわち火山噴出物を主体とした土相であり、もともと花粉が含まれているものではない。この火山噴出物が一次堆積した後、植生の回復、拡大などにより花粉や胞子が供給され、その後埋積されると考えられる。Ⅲａ層、Ⅲｂ層のシダ植物胞子はこうしたものが検出されていると思われる。一方胞子と同様の環境でありながら花粉は分解・消失してしまい検出されなかったと推測される。花粉は丈夫な外幕を持つものの胞子よりは弱く、陸域に落下した花粉は紫外線や土壌微生物などによって容易に分解されてしまうことが知られている。

そのなかⅢｂ層～Ⅲｄ層において若干の花粉化石が観察されており、胞子化石と異なりその多くが良好な状態で検出されている。このことは胞子とは違った時期に埋積されている可能性が推察され、一つには二次堆積の時期が考えられよう。放射性炭素年代測定の結果をみると検出された土器片と比べ非常に新しい年代値が示されており、花粉化石の保存状態から考えると年代測定で示された時期のものである可能性も推測される。こうしたことから花粉化石と胞子化石では埋積時期が異なる可能性が考えられ、胞子化石はロームの一時堆積期、花粉化石は年代測定で示された年代の可能性が推測される。また得られた年代値について、最下部のⅣ層の方が上位より新しい値が示されていることから、かなり乱れている可能性も推察される。

以上のようなことから頭地下手遺跡において行った花粉分析から古植生について言及することは、時期を含め、難しいと考える。なお、得られた花粉化石ではスギが最も多く、これはスギ林の存在を示していることが考えられ、コナラ亜属やニレ属－ケヤキ属は落葉広葉樹林を、またシイ類やテイカカズラ属は照葉樹林の存在を予想させる分類群である。しかしながら、上記したように検出個数が非常に少なく、多くが分解・消失している可能性もあることからこれらの森林については時期を含めさらに検討が必要と考える。

5　堆積環境について

上記した花粉分析をはじめとして珪藻分析、植物珪酸体分析いずれも化石の検出数が少ない結果となった。そのうち水環境を推察するのに有効な珪藻分析においてその化石が僅かしか得られていないことなどから陸域環境が予想され、少なくとも水が常時ついていたような環境は考えられず、これはⅢｄ層の溝についても同様である。

植生についてはスギ林や落葉広葉樹林、照葉樹林、およびクマザサ属型のササ類（ミヤコザサ、スズダケなど）の存在が予想されるものの、何時の時期の植生であるかは不明である。またシダ植物も多く生育していたとみられるが、その保存状態から先の森林とは時期的に大きな違いがあると推測される。

4-3　珪藻分析（珪藻化石群集）

株式会社パレオ・ラボ　※

1　はじめに

珪藻は淡水から海水に至るほとんどすべての水域に生息し、水域生態系の一次生産者として重要な位置を占めている。微小（0.01 ～ 0.5mm 程度）ながら珪酸体からなる殻を形成するため、化石として地層中によく保存される。また種類ごとに様々な水域に適応し生息するため古環境の指標としてもよく利用されている。

ここでは頭地下手遺跡より採取された堆積物試料を用いて珪藻化石群集を調べ、その堆積環境について検討する。

2　試料及び分析方法

分析には、頭地下手遺跡のⅡ区西壁土層断面より採取された 5 試料（Ⅲ a ～ d 層、Ⅳ層）について以下の珪藻分析をおこなった。

(1)　試料を湿潤重量で約 1.5g 程度取り出し、秤量した後にトールビーカーに移し、30％過酸化水素水を加え、加熱・反応させ、有機物の分解と粒子の分散を行った。

(2)　反応終了後、水を加え、1 時間程してから上澄み液を除去し、細粒のコロイドを捨てた。この作業は上澄み液が透明になるまで 7 回以上繰り返し行った。

(3)　ビーカーに残った残渣は遠心管に回収した。

(4)　マイクロピペットを用い、遠心管から適量を取り、カバーガラスに滴下し、乾燥した。乾燥後にマウントメディア（封入剤）で封入し、プレパラートを作成した。

(5)　各プレパラートを光学顕微鏡下 400 ～ 1000 倍で観察し、珪藻化石 200 個体以上について同定・計数を行った。なお、今回分析した試料に対しては珪藻化石が少ないため、プレパラート全面について精査した。

3　珪藻化石の環境指標種群について

珪藻化石の環境指標種群は、主に安藤（1990）により設定された環境指標種群に基づいた。安藤（1990）は淡水域における環境指標種群を設定した。なお環境指標種群以外の珪藻種については広布種として、破片であるため属レベルで同定した分類群は不明種として扱った。以下に安藤（1990）において設定された環境指標種群の概要を記す。

上流性河川指標種群（J）　河川上流の渓谷部に集中して出現する種群。

中～下流性河川指標種群（K）　中～下流域、すなわち河川沿いの河成段丘、扇状地および自然堤防、後背湿地といった地形が見られる部分に集中して出現する種群。

最下流性河川指標種群（L）　最下流域の三角州の部分に集中して出現する種群。

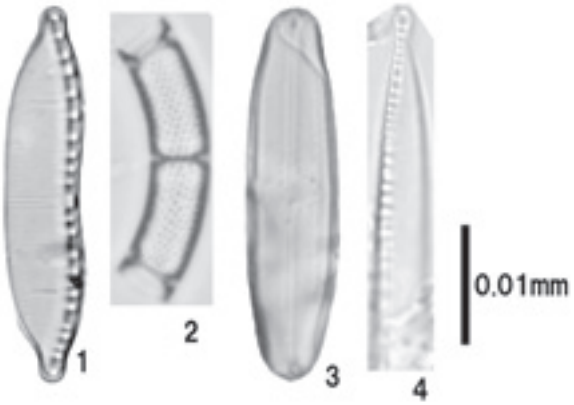
湖沼浮遊性指標種群（M）　水深が 1.5m 以上で、水生植物が水底には生息していない湖沼に生息する種群。

湖沼沼沢湿地指標種群（N）　湖沼における浮遊生

Tab.1　頭地下手遺跡珪藻化石産出表

分類群		種群	Ⅲa層	Ⅲb層	Ⅲc層	Ⅲd層	Ⅳ層
Hantzschia	*amphioxys*	Q	−	−	2	1	1
Melosira	*ambigua*	N	−	4	−	−	−
Neidium	sp.	?	−	−	2	−	−
Nitzschia	sp.	?	−	−	−	−	1
湖沼沼沢湿地		(N)	−	4	−	−	−
陸域		(Q)	−	−	2	1	1
不明		(?)	−	−	2	−	2

※　黒澤一男



1．*Hantzschia amphioxys*（Ⅲ c 層）
2．*Melosira ambigua*（Ⅲ b 層）
3．*Neidium* sp.（Ⅲ c 層）
4．*Nitzschia* sp.（Ⅳ層）
Fig.1　珪藻化石顕微鏡写真

種としても、沼沢湿地における付着生種としても優勢な出現が見られ、湖沼・沼沢湿地の環境を指標する可能性が大きい種群。

沼沢湿地付着生指標種群（O）　水深が 1m 内外で、植物が一面に繁茂しているところおよび湿地において付着状態で優勢な出現が見られる種群。

高層湿原指標種群（P）　ミズゴケを主とした植物群落および泥炭地の発達が見られる場所に出現する種群。

陸域指標種群（Q）　前述の水域に対して、陸域を生息域として生活している種群（陸生珪藻）。

4　珪藻化石群集の特徴（Tab.1）

本分析において検出された珪藻化石は非常に少なく、検出された珪藻殻数が 4 個以下である（Tab.1）。そのため、珪藻化石より環境を推定することはできない。

5　考察

頭地下手遺跡より採取された堆積物試料を用いて珪藻分析を行った結果について考察する。

今回分析したいずれの試料においても珪藻化石は非常に希薄であった。珪藻は水生植物であるため、水分のない所には生育できない。今回分析した試料から珪藻化石が検出されなかった理由として、乾燥した陸域環境であったことが考えられる。Ⅲ c 層とⅢ d 層、Ⅳ層から少量ながらも陸域指標種群が検出されており、陸域環境であることと矛盾はないと思われる。また同一の試料を用いて行われた花粉分析においても花粉化石が希薄という結果が得られれている。花粉化石は水のない環境下では保存されにくく、希薄であるという結果をふまえると、陸域環境であることと矛盾はない。そのほかで湿原における珪藻殻の消失する現象が Murakami（1996）によって報告されている。Ⅲ b 層で検出される珪藻殻が湖沼沼沢湿地指標種群であるため、同様な現象が起こったとも考えられる。しかし、消失の原因が明確になっておらず、詳細な検討にはいたらないため、ここでは可能性の 1 つとして示唆するにとどめる。

6　おわりに

頭地下手遺跡より採取された試料中について珪藻化石の分析した結果、いずれの試料においても検出される珪藻殻が希薄で堆積環境を推定することはできなかった。このような状況を考慮すると、本遺跡の堆積環境は概ね陸域環境の可能性が高いと考えられる。

〔引用文献〕

安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用．東北地理，42，73-88.

小杉正人（1988）珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用．第四紀研究，27，1-20.

村上哲生（1996）長の山湿原（愛知県）における珪酸質生物遺骸の消失．第四紀研究, 35, 17-23.（英文）

4-4　植物珪酸体分析

株式会社パレオ・ラボ　※

1　はじめに

イネ科植物は別名珪酸植物とも呼ばれ、根より吸収した珪酸分を葉や茎の細胞内に沈積させることが知られている。こうして形成された植物珪酸体（機動細胞珪酸体や単細胞珪酸体など）については藤原（1976）や藤原・佐々木（1978）など、イネを中心としたイネ科植物の形態分類の研究が進められている。

頭地下手遺跡において総合的に堆積環境を推定する目的で採取された土壌試料を用いて植物珪酸体分析を行った。

2　試料と分析方法

分析用試料はⅢａ層、Ⅲｂ層、Ⅲｃ層、Ⅲｄ層およびⅣ層の５層準より採取された５試料である。各層について、Ⅲａ層は縄文土器片が含まれる褐色ローム の二次堆積層である。Ⅲｂ層は縄文後期土器片を含む褐色ロームの二次堆積層、Ⅲｃ層は縄文後期土器片を含む褐色ローム混じりの砂層である。Ⅲｄ層（溝の埋土）は暗～黒褐色の砂質ローム質土で、縄文後期の土器片や石器が多く含まれ、炭化物粒子も認められる。Ⅳ層は縄文後期土器片を含む砂質の褐色ロームの二次堆積層である。植物珪酸体分析はこれら５試料について下記の手順にしたがい行った。

秤量した試料を乾燥後再び秤量する（絶対乾燥重量測定）。別に試料約１ｇ（秤量）をトールビーカーにとり、約0.02 ｇのガラスビーズ（直径約40 μｍ）を加える。これに30%の過酸化水素水を約20～30cc加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波ホモジナイザーによる試料の分散後、沈降法により10 μｍ以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作成し、検鏡した。同定および計数は機動細胞珪酸体に由来する植物珪酸体についてガラスビーズが400個に達するまで行った。

3　分析結果

同定・計数された各植物の機動細胞珪酸体個数とガラスビーズ個数の比率から試料１ｇ当りの各機動細胞珪酸体個数を求め、それをTab.1に示した。しかしながら得られた機動細胞珪酸体の分類群数、個数共に非常に少なく分布として示すことができなかった。以下に示す各分類群の機動細胞珪酸体個数は試料１ｇ当りの検出個数である。

検鏡の結果、上記したように観察された機動細胞珪酸体は非常に少なく、クマザサ属型がⅢｃ層より2,600個、Ⅳ層より2,400個、他のタケ亜科がⅢｂ層より900個得られ、その他不明がⅢｂおよびⅣ層より若干検出されているのみであった。なおTab.1には示していないが樹木起源とみられる珪酸体がⅣ層において認められ（Fig.1参照）、絵合わせ的なものになるが同様のものと思われる珪酸体が第四紀研究（杉山1999）に示されており、クスノキ科とされている。

4　分析結果について

上記したように得られた機動細胞珪酸体数は非常に少なかった。よって、各層堆積期におけるイネ科植生について言及することはできないと考える。

各試料はロームを主体とした土相であり、少なくとも試料採取地点付近ではこの火山噴出物のみとも言えるロームが二次堆積していると推察される。すなわち各層が堆積した当時のイネ科植物の植生を示すものが

Tab.1　試料１ｇ当たりの機動細胞珪酸体個数

（個/ｇ）

	ネザサ節型	クマザサ属型	他のタケ亜科	ヨシ属	シバ属	キビ族	ウシクサ族	不明
Ⅲａ	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲｂ	0	0	900	0	0	0	0	900
Ⅲｃ	0	2,600	0	0	0	0	0	0
Ⅲｄ	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅳ	0	2,400	0	0	0	0	0	1,600

※　鈴木　茂

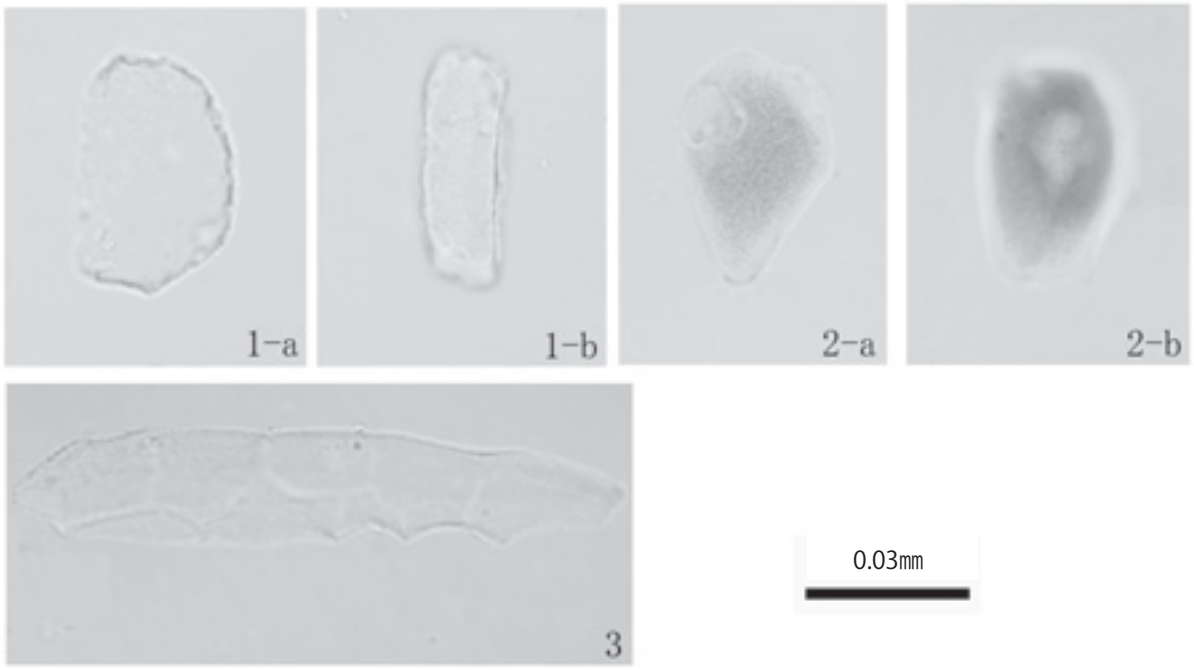
無い状態で埋積されていると考えられ、ほとんど火山噴出物のみが速やかに二次堆積していると推察されよう。

〔引用文献〕

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9， p .15-29.

藤原宏志・佐々木彰（1978）プラント・オパール分析法の基礎的研究（2）－イネ（Oryza）属植物における機動細胞珪酸体の形状－．考古学と自然科学 ,11, p .9-20.

杉山真二（1999）植物珪酸体分析からみた最終氷期以降の九州南部における照葉樹林発達史．第四紀研究，38, p .109-123.



1：クマザサ属型（a：断面、b：側面）
2：他のタケ亜科（a：断面、b：側面）
3：樹木起源珪酸体（クスノキ科？）

Fig.1　頭地下手遺跡の植物珪酸体（scale bar:0.03㎜）

4-5　熊本県頭地下手遺跡出土の石器石材について

越知睦和 ※

1　はじめに

ここでは、頭地下手遺跡Ⅳ区から出土した石器石材について、分類と計測を行い、その特徴を析出し、縄文時代におけるチャートの石材原産地及び石器製作址遺跡としての重要性を述べる。

2　対象と方法

頭地下手遺跡Ⅳ区から出土した剥片、砕片、石核、母岩、原石といった製品以外の石器を対象として、その石材を分類、同定し、併せて数量、重量をはかる。その結果を表とグラフにとりまとめ、全体の傾向と各グリッドの状況を示すこととする。

分類、計測した石器石材は、総点数8,713点(Tab.1)、総重量239,477 g（Tab.2）である。これらの石器石材を肉眼観察により、チャート、黒曜石、砂岩、凝灰岩、安山岩、流紋岩、ホルンフェルス、石英、頁岩、粘板岩、片岩系、その他、計12種類に分類し、さらにチャートは12種類、黒曜石は2種類に細分した。

なお、石材の分類は、複数の人員が肉眼観察により実施している。このため、幾許かの誤差が含まれていることをお断りしておきたい。

3　全体の傾向

分類、同定、計数、計量の結果は、石質組成表とそのグラフで示した。

チャートの点数は約7,000点で全体の約80％を占め、その重量は約137kgで全体の約60％である。点数と重量の関係から、1点あたりの重量が比較的軽いということが言える。このことは、チャートには石器製作時に剥離された細かな剥片が多く含まれていることを示している。

チャート以外の石材は、数量、重量ともに各々数パーセントにすぎない。その傾向は多少の変動はあるもののグリッド毎の状況にも言える。出土量の多いC2、D2グリッドでも同様である。ただし、C2、D2グリッドの砂岩は重量がやや多い傾向を示している。これは、頭地下手遺跡の特徴の一つである石錘が多量に出土していることと関係がある、と考えている。礫塊石器である石錘は、素材段階から原石の形状がほとんど変化しないため、点数に対して重量が多くなる傾向を示す。

この他、黒曜石、凝灰岩、安山岩、流紋岩、ホルンフェルス、石英、頁岩、粘板岩、片岩系石材、その他、と種類豊富な石材が認められたが、点数、重量ともに

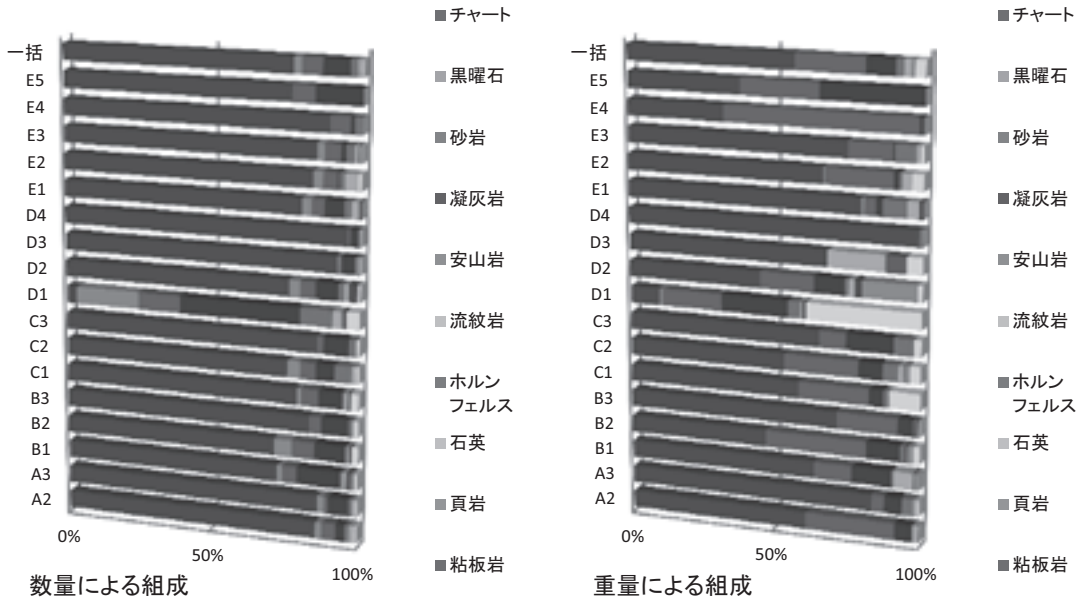


Fig.1　頭地下手遺跡Ⅳ区出土石材の組成

※　九州文化財研究所を経て、現在、福岡県糟屋郡宇美町教育委員会嘱託

Tab.1　頭地下手遺跡Ⅳ区出土石材　計数一覧

地点	チャート	黒曜石	砂岩	凝灰岩	安山岩	流紋岩	ホルンフェルス	石英	頁岩	粘板岩	片岩系	その他	計（点）
A2	271	7	14	10	5	3	0	1	0	0	1	3	315
A3	449	11	9	35	7	7	0	0	0	0	0	1	519
B1	135	3	9	27	2	2	2	0	0	1	2	2	185
B2	158	13	17	23	1	0	0	1	0	2	1	4	220
B3	179	0	9	19	2	0	1	1	0	0	0	3	214
C1	336	5	25	33	3	2	0	3	0	4	0	11	422
C2	1285	71	89	105	98	13	1	2	1	1	6	16	1688
C3	469	0	12	47	13	2	0	0	0	0	0	4	547
D1	4	24	16	45	12	3	0	0	1	1	0	5	111
D2	1373	62	93	135	34	23	1	0	4	45	6	16	1792
D3	382	2	3	18	3	1	3	0	0	0	0	1	413
D4	568	0	5	15	4	3	0	0	0	0	0	0	595
E1	174	7	9	14	5	5	0	0	0	2	0	0	216
E2	231	8	13	2	5	11	0	0	0	0	0	4	274
E3	440	13	27	9	14	5	0	1	0	4	0	3	516
E4	67	0	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	75
E5	10	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13
一括	464	15	40	54	13	5	1	1	0	0	3	2	598
計	6995	241	396	594	223	85	9	10	6	60	19	75	8713
%	80.3%	2.8%	4.5%	6.8%	2.6%	1.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.7%	0.2%	0.9%	

わずかである。片岩系石材については緑色片岩、結晶片岩等があり、その他には玄武岩、礫岩、花崗岩、泥岩、石灰岩等が含まれるが、石器石材にはあまり使われないものであり点数も数点にとどまるため、頓雑しないようその他として一括した。

以上の石材のうち、黒曜石以外の石材は遺跡から数十ｍ先の川辺川の河原から採取でき、ほぼ在地の石材として考えてよいと思いわれる。

4　チャートと黒曜石

次に、チャートと黒曜石について述べる。チャートは最多出土量の在地石材であり、黒曜石は産地推定が可能な搬入石材であるため、頭地下手遺跡における石器石材の特徴を示すと予想したからである。

チャートは、全体の色味と筋のような模様によって12種類に細分した。また、黒曜石は色味によって２種類に細分した。

チャート

白色系：全体的に白いもの。

黒色系：全体的に黒いもの。

灰色系：全体的に灰色のもの。白色系・黒色系と判断が難しいものは灰色系とした。

赤色系：全体的に赤色のもの。いわゆる「赤チャート」。

緑色系：全体的に緑色のもの。

茶色系：全体的に茶色のもの。赤色系と見分けが難しいものもある。

紫色系：全体的に紫色のもの。

灰色系白線：全体が灰色でその中に白色の線（筋）がランダムに入るもの。

灰色系黒線：全体が灰色でその中に黒色の線（筋）がランダムに入るもの。

灰色系赤線：全体が灰色でその中に赤色の線（筋）がランダムに入るもの。

Tab.2　頭地下手遺跡IV区出土石材　計量一覧

地点	チャート	黒曜石	砂岩	凝灰岩	安山岩	流紋岩	ホルンフェルス	石英	頁岩	粘板岩	片岩系	その他	計（g）
A2	6643	4	3278	639	50	28	0	105	0	0	70	11	10827
A3	5799	12	282	409	284	93	0	0	0	0	0	31	6908
B1	6737	7	1350	1427	58	697	35	0	0	24	155	18	10508
B2	4744	11	3451	1141	167	0	0	1	0	75	203	224	10016
B3	3985	0	1148	290	24	0	79	9	0	0	0	21	5555
C1	7580	5	3087	643	192	20	0	18	0	16	0	1354	12915
C2	26716	112	12222	3988	2537	854	143	13	1	5	866	1860	49318
C3	7061	0	966	1735	726	8	0	0	0	0	0	257	10753
D1	584	58	1145	1295	227	24	0	0	33	58	0	2160	5585
D2	26336	85	10660	5969	853	1008	22	0	105	1439	10653	850	57979
D3	6974	2	11	40	3	2000	711	0	0	0	0	546	10288
D4	6820	0	15	42	96	12	0	0	0	0	0	0	6986
E1	2023	19	100	56	206	96	0	0	0	42	0	0	2542
E2	6004	42	2047	150	100	273	0	0	0	0	0	360	8975
E3	9194	29	1775	54	856	136	0	15	0	21	0	165	12244
E4	637	0	1242	23	10	0	0	0	0	0	0	0	1912
E5	44	0	30	39	0	0	0	0	0	0	0	0	113
一括	9238	65	3655	1559	407	201	24	153	0	0	202	549	16054
計	137117	449	46466	19499	6797	5449	1013	314	139	1679	12149	8407	239477
%	57.3%	0.2%	19.4%	8.1%	2.8%	2.3%	0.4%	0.1%	0.1%	0.7%	5.1%	3.5%	

黒色系黒線：全体が黒色でその中に漆黒の線（筋）がランダムに入るもの。

黒色系白線：全体が黒色でその中に白色の線（筋）がランダムに入るもの。

黒曜石（ob）

黒色系：全体が漆黒色のもの。佐賀県の腰岳産と推定する。

灰色系：全体が灰色のもの。長崎県の針尾産と推定する。

チャートは､灰色系が最も多く全体の約８割を占め、かなりの点数差はあるが黒色系 778 点、灰色系黒線 284 点、赤色系 169 点が続く。その他のチャートは、数点から数十点と少量である。この傾向はグリッド毎でも同様であり、灰色系が相対的に高い割合を占めている。ただし、D1 グリッドは灰色系 4 点と極端に少なくなり、黒曜石のほうが多い様相を示している。

次に、黒曜石について述べる。多数を占める黒色系の黒曜石は、近隣に産地が確認されていない。最も近い産地は鹿児島県との県境にある日東産黒曜石であるが、不純物が多く入ることが特徴である。頭地下手遺跡でも不純物が入る黒曜石も確認されているが、漆黒色のものがほとんどであり、日東産黒曜石とすることはできない。黒色系の黒曜石は、頭地下手遺跡が縄文時代後期を主とすることを考えれば、この時期に多用される腰岳産黒曜石と考えるのが妥当であろう。なお、わずかであるが灰色系の黒曜石が確認されている。これは前述した長崎県の針尾産の特徴であるが、時期的に旧石器時代に使われる黒曜石であり、本資料が縄文時代後期に属するものかは不明である。

黒色系の黒曜石は 233 点とその他の石材と比べれば非常に少ないが、産地から遠隔地である本遺跡においてその黒曜石が 233 点出土しているという事実は

Tab.3　頭地下手遺跡Ⅳ区出土　チャート、黒曜石　計数一覧

地点	白色系	黒色系	灰色系	赤色系	緑色系	茶色系	紫色系	灰色白線	灰色黒線	灰色赤線	黒色黒線	黒色白線	ob黒色系	ob灰色系	計（点）
A2	1	58	186	1	6	0	0	0	14	0	2	3	7	0	278
A3	24	52	336	0	2	0	0	0	32	0	3	0	11	0	460
B1	3	29	86	3	1	0	0	0	11	0	1	1	3	0	138
B2	0	35	98	5	1	1	0	0	14	0	4	0	13	0	171
B3	5	63	102	5	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	179
C1	3	63	248	10	0	1	0	0	10	0	1	0	2	3	341
C2	2	177	1015	39	1	1	0	1	40	0	9	0	69	2	1356
C3	0	20	425	7	1	0	0	0	13	0	2	1	0	0	469
D1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	2	28
D2	7	131	1126	43	0	0	1	1	43	1	15	5	61	1	1435
D3	1	12	356	2	0	1	0	0	10	0	0	0	2	0	384
D4	0	30	501	18	1	0	0	0	16	0	2	0	0	0	568
E1	0	9	150	3	0	1	0	0	11	0	0	0	7	0	181
E2	0	14	189	6	0	2	0	1	18	1	0	0	8	0	239
E3	1	52	326	9	0	10	0	1	35	3	3	0	13	0	453
E4	0	10	52	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	67
E5	0	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10
一括	0	22	409	18	0	1	0	0	9	4	1	0	15	0	479
計	47	778	5617	169	13	18	1	4	284	9	43	12	233	8	7236

Tab.4　頭地下手遺跡Ⅳ区出土　チャート、黒曜石　計量一覧

地点	白色系	黒色系	灰色系	赤色系	緑色系	茶色系	紫色系	灰色白線	灰色黒線	灰色赤線	黒色黒線	黒色白線	ob黒色系	ob灰色系	計（g）
A2	3	1013	5098	27	167	0	0	0	105	0	20	209	4	0	6647
A3	139	797	3375	0	142	0	0	0	1329	0	17	0	11	0	5810
B1	228	715	4864	31	31	0	0	0	815	0	1	51	7	0	6744
B2	0	638	2727	231	1	6	0	0	967	0	174	0	11	0	4754
B3	61	1937	1703	158	0	0	0	0	115	0	0	12	0	0	3985
C1	41	1213	5682	200	0	9	0	0	431	0	4	0	1	3	7584
C2	7	3009	20671	1038	30	246	0	3	1491	0	220	0	112	1	26828
C3	0	343	5778	306	249	0	0	0	353	0	10	21	0	0	7061
D1	0	60	523	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	2	642
D2	1081	2541	17368	1146	0	0	665	22	1877	17	1203	416	84	1	26421
D3	1	169	6505	53	0	163	0	0	81	0	0	0	2	0	6976
D4	0	611	5772	228	2	0	0	0	197	0	11	0	0	0	6820
E1	0	55	1825	20	0	24	0	0	99	0	0	0	19	0	2042
E2	0	283	4156	1094	0	51	0	161	255	4	0	0	42	0	6045
E3	114	541	6976	130	0	406	0	103	832	49	42	0	29	0	9222
E4	0	175	407	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	637
E5	0	0	23	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	44
一括	0	430	7498	757	0	13	0	0	503	15	22	0	65	0	9303
計	1674	14532	100953	5419	622	919	665	289	9526	86	1725	709	442	7	137566

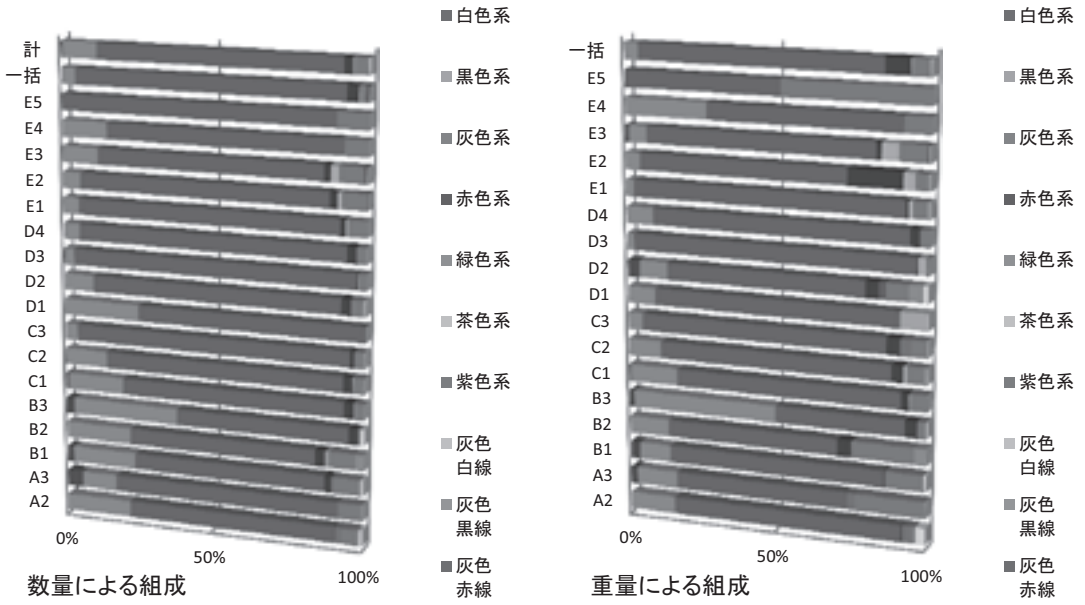


Fig.2　頭地下手遺跡Ⅳ区出土石材の石質組成（チャート）

非常に特徴的である。また、グリッド別の状況においては、チャートと同じくC2（69点）、D2（61点）グリッドで多く確認されている。しかし例外的な様相も確認されている。D1グリッドではチャートが4点しか出土していないのに対し黒曜石は24点出土しており、他のグリッドのようなチャート主体の状況とは異なった様相となっている。

5　頭地下手遺跡の特徴

以上に述べてきたことから、頭地下手遺跡の特徴は以下のとおり取りまとめることができよう。

頭地下手遺跡は、チャートの石材原産地に立地した、チャートを主体とした石器製作址である。頭地下手遺跡から数十m下れば、川辺川の河原でチャート転礫が採取できる。したがって、河原石を原石とした石材原産地である可能性が最も高くなろうが、周辺地域の露頭調査を加えて詳細に検討することが必要であろう。

また、頭地下手遺跡は、遠隔地の石材である黒曜石が一定量出土し、かつ、剥片剥離作業の痕跡を認めることができるため、石材流通における主要中継地としての性格もそなえている。

なお、チャート以外の石器石材には、主要な石材として砂岩、凝灰岩、安山岩があり、これにホルンフェルス、石英、頁岩、粘板岩、片岩系石材等が加わり、豊富な種類の在地石材が使用されているという特徴が抽出される。これは、チャートの原産地遺跡でありながら他の石材も使用していることとなり、石器の器種によって石材の使い分けがなされたことを示唆しよう。事実、砂岩は石錘に多用されているのである。

頭地下手遺跡のように、黒曜石以外の石材原産地、石器製作址となる縄文時代の遺跡は、非常に稀有である。今後、頭地下手遺跡で製作されたチャート製石器がどのように流通しているか、探ることが課題であろう。まず、頭地地域、川辺川流域の遺跡出土のチャート製石器を分析することで、その動向は予察することができよう。

4-6　熊本県頭地下手遺跡出土の擦切石斧について

山崎純男　※

1　はじめに

擦切り技法とは「扁平な原材の両面から表裏対応する位置に溝をすりくぼめて作り、ついに切断しうるようにする手法」（小林 1959）という加工技術をいい、その擦切り技法で製作された代表的な石器が擦切石斧と呼ばれている磨製石斧である。

擦切石斧は、日本列島では縄文時代に磨製石斧の製作技術として存在することがわかっている。北海道の早期例を初現として、東北、北陸、中部、近畿東部へと順次、時間を経過しながら南下し、中部・近畿地方では中期～後期に盛行する。石材は蛇紋岩や片岩系の緑色の石等が多用されている。これら擦切石斧は、石材の共通性や地理的分布等から、擦切石器の盛行するシベリア、中国東北地方と系統的な関連性が早くから説かれており（鳥居 1929）、一部に慎重論があるものの（芹沢 1965）、その始源はシベリア・バイカル湖周辺の新石器時代の擦切石器に求められている。

筆者が学生時代に熊本県北部の菊池川流域における縄文時代遺跡を現地踏査した際、鹿本町在住の本田氏の資料中に、擦切石斧原石があることを確認した。九州にも擦切石斧が存在することを初めて知り、強い興味を覚えた。この向原遺跡から表採された擦切石斧は、本田氏の承諾を得て図化した。そして、九州における擦切石斧について類例を探索したところ、熊本県今村貝塚採集品と鹿児島県市来貝塚出土品の２例があることがわかった。以後、遅々としてではあるが類例の増加がみられる。

2013 年 7 月 25 日、宮崎敬士氏に会ったときに、かつて熊本県が発掘調査した頭地下手遺跡出土品の中に擦切石斧 1 点がある、との教示を受け、8 月 8 日、擦切石斧を実見した。

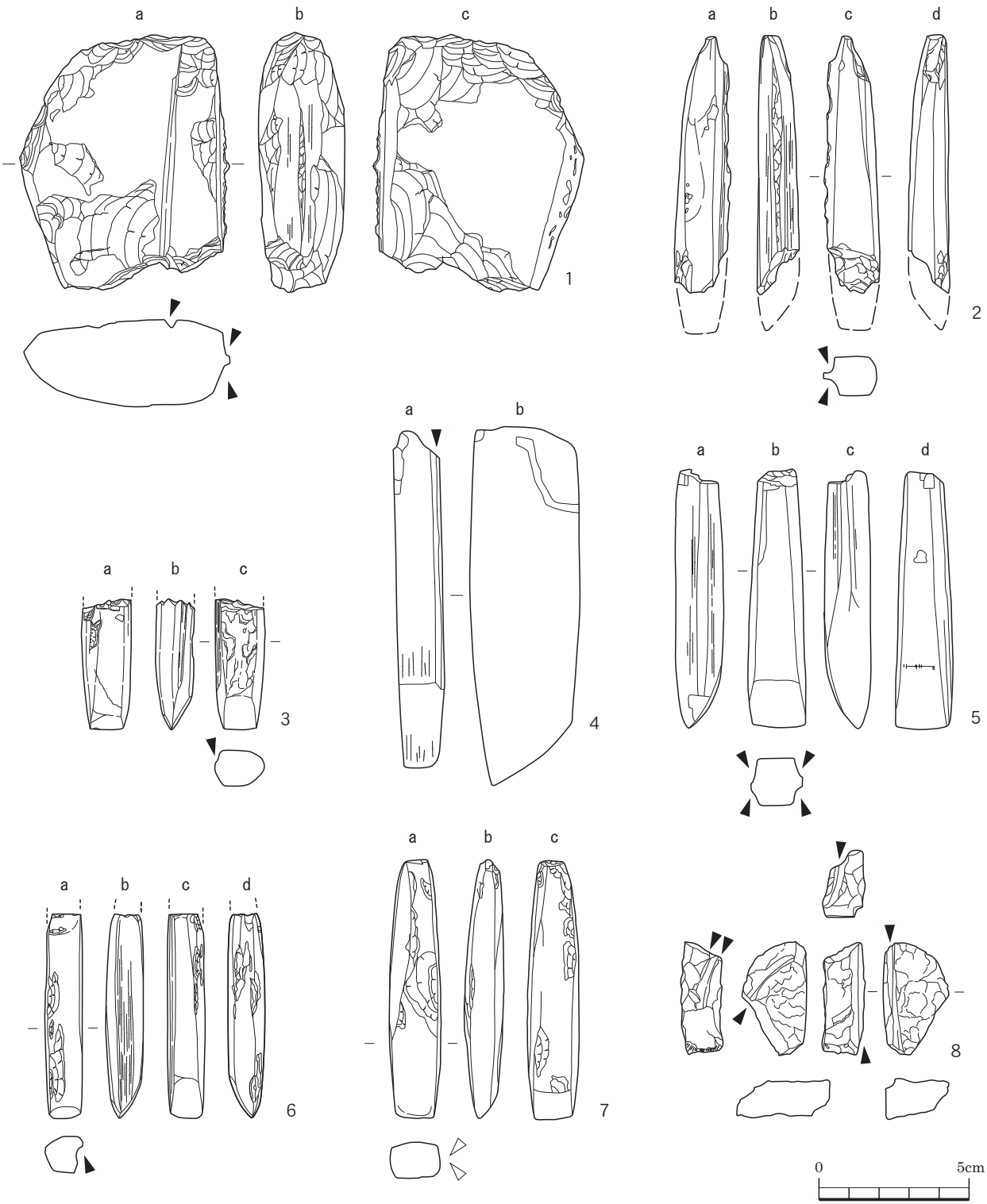
現在、九州における擦切石斧出土遺跡は頭地下手遺跡例も含めて 7 遺跡、擦切石斧の製作工具である擦切り具の出土遺跡は 24 遺跡を数えるまでになり、その分布範囲、伝播経路等にある程度の見通しがついてきた。ついては、頭地下手遺跡の擦切石斧の紹介を兼ねて、あらためて九州における擦切石斧について検討を加えることにする。

2　頭地下手遺跡の擦切石斧

頭地下手遺跡から出土した擦切り痕をもった明確な擦切石斧は 1 点（RQ832）であるが、他にもう 1 点、擦切り痕は残していないが、擦切り技法で制作された可能性の強い磨製石斧（RQ833）があるので、併せて紹介する。

ＲＱ 832（Fig.1-6）はⅤ区 SD1 の黒色土から出土した小型で方柱状のノミ形の磨製石斧である。淡い緑色の地に濃い黒青色の斑文があり、基部付近は若干黄色がかった良質の蛇紋岩を素材として利用している。石斧は全体に良く研磨されているが、片側の側辺にはわずかながら部分的に剥離痕が残っている。この剥離痕は擦切石斧原石を製作する段階の第 1 次の調整剥離痕と考えられる。他の側面には剥離痕は見られず、擦切り痕と切断面のバリを取り除くための研磨がみられる。それからすると、この石斧は原石から最初あるいは最後に切断された石斧と考えることができ、同一原石から複数個体の石斧が製作されたとみられる。擦り切りは平面の片側の一面（Fig.1-6-c 面）からのみ行われているために切断部のバリと擦切り溝は、擦り切りが施された反対の面近くに段状の浅い溝として残っている。（九州の他の擦切石斧は両面から擦切り溝を入れ、折り取る手法がとられ、切断部のバリは側面の中央部に残る例が多いが、それからすると本例は異例である。ただし、切断を容易に完全に行うために反対面にも浅い擦切り溝が入れられていて、それが後から加えられた調整の研磨によって完全に消失した可能性は否定できない。）切断部はあとから加えられた調整の研磨による変形によって遺存状態は良好でない。擦切り溝は後からの研磨によって側面の中央部にかろうじて残っているに過ぎない。擦切り溝内には石斧の長軸に平行した条線が明瞭に残っている。調整の研磨は同一の面で行われ、擦切り溝を挟み込むような状態で存在する。研磨痕は石斧の長軸に対して直交していて、擦切り痕との区別は容易である。石斧の刃部はい

※　高麗大學校考古環境研究所



1 向原　2 今村貝塚　3 麦之浦貝塚　4 市来貝塚　5 草野貝塚　6 頭地下手　7 頭地下手（推定）　8 桑原飛櫛貝塚（参考）

※　実測図 4、5 は報告書掲載図を再トレースした。

Fig.1　擦切石斧実測図

わゆる片寄り刃である。a 面の刃部形成の研磨は浅く、研磨の稜線は不明瞭で使用により滑らかで、刃部に直交した条線が確認できる。反対の c 面では刃部形成の研磨は深く大きい。研磨面には刃部に平行した条線が確認できる。これらは製作によるもので、使用痕と考えられるものは刃部に接して刃部に直交する非常に短い条線が右側に片寄って遺存する。基部は一部折れて欠損している。欠損後は再生が試みられ、基部を丸くするために基部周辺には研磨によって面取りが行われ、基部の切断部にもわずかであるが研磨が加えられている。元来、石斧はあと数 cm 長かったと考えられる。石斧の形態、刃部形態、使用痕から用途を推考すれば弥生時代の柱状片刃石斧同様に使用されたものと考えられる。なお、擦切り痕から復元できる擦切り具は厚さが 5mm 前後の板状をなし、刃部は鋭くなく丸みを持っている。石斧は現存長 6.8cm、幅 1.25cm、厚さ 1.25cm、重量 16.7g を測る。

RQ833（Fig.1-7）はⅣ区 C2 グリッド下層から出土した小型で方柱状のノミ形の磨製石斧である。淡い緑色の地に濃い黒青色の斑文があり、基部付近は若干黄色がかった良質の蛇紋岩を素材として利用している。石材は前者と質、色共に極めて類似していて同一の石材、さらに突きつめれば同一の原石から擦切り技法によって切断されて製作された兄弟石斧の可能性は極めて強い。石斧は全体に良く研磨されているが、擦切り面の両面には若干の剥離面が残っている。両側面には剥離痕はなく長軸に対して斜方向の研磨が丁寧に加えられているので、たとえ擦切り技法で製作されていたとしてもその痕跡を見出すことはできない。石斧は平面形が細長い長方形であるが、胴部中位でやや膨らみ、刃部・基部の両端部に向かってわずかにせまくなる。刃部は RQ832 同様に片寄り刃をなす。刃部形成は a 面では刃部に向かって緩やかに研ぎこまれているので、刃部形成のための研磨痕の稜線は確認できない。刃部近くで不明瞭ながら稜線が確認できるが、これは使用によってできた可能性が強く、刃部に対して直交する条線が確認できる。c 面では刃部形成の研磨痕は明瞭に残っている。刃部の上部約 1cm の箇所に長軸に直交した横一直線の稜線が明瞭に確認できる。研磨の方向は稜線と同じである。また、刃部には使用痕とみられる縦方向の条線が確認できる。刃部形態も RQ832 同様である。基部はやや尖り気味におさめようとするために基部周辺には研磨によって面取りが行われている。基部の一部には部分的に白色に変色した風化面がみられる。長さ 8.6cm、幅 1.2 ～ 1.7cm、厚さ 1.3cm、重量 29.7 g を測る。

RQ832、833 は出土地点が異なるが、共伴する出土土器は市来式土器を中心とした縄文時代後期中頃の土器であり、両者は共に該期に比定されよう。

3　九州における擦切石斧と擦切り具の諸例

3-1　擦切石斧の諸例

九州から出土した擦切石斧は 6 例が知られていた。これに頭地下手遺跡例が加わり、7 遺跡 7 例となる。また、擦切り技法に関連する参考 1 例がある。

以下、既知 6 例、参考 1 例について、その概略を述べることとする。

(1)　向原遺跡　（Fig.1-1）

熊本県山鹿市鹿央町合里向原

向原遺跡は熊本県の北部、菊池川流域に発達した火山灰台地上に立地し、表面採集資料に早・後・晩期の遺物がある。鹿本町在住の本田氏資料中に見いだした擦切石斧原石である。採集場所は後・晩期の遺物が多く、所属時期は後・晩期の可能性が強い。

本資料は擦切石斧製作途中の原石で、九州では唯一の例となる。やや黒みをおびた蛇紋岩を素材としている。長さ 8.5cm、幅 7.0cm、厚さ 1.6 ～ 2.9cm の方形をなす。上辺に打裂が加えられ下辺は大きく割れて欠損部がある。全体に粗い研磨が施され、擦切面を整えている。研磨方向は面毎に一定する傾向にあるが、部分的に異方向の研磨がみられる。長側辺 a 面右側には a、c の両面から擦切り溝が加えられ、折り割られた痕跡が明瞭に残っている。擦切り面 b 面の観察では、まず a 面に溝を入れ、次いで c 面から擦切り溝を加え、原石の両端部が擦切られた後、わずかに残った接合部が折り割られるという順序がわかる。さらに a 面に折割り部にほぼ平行に次の石斧のための擦切り溝が入れられている。擦り切りと溝の間隔は 1.2 ～ 1.7cm で、基部が狭く、刃部

ががや幅広である。擦切り溝は現存長さ 7.0cm、幅 0.3cm、深さ 0.3cm、断面形は、底ががや丸みをもつ V字形をなす。この原石から作られる石斧は幅からみて、後述する今村貝塚例や麦の裏貝塚例とほぼ同様のノミ形石斧とみられる。

(2)　今村貝塚　(Fig.1-2)

熊本県熊本市南区城南町今

今村貝塚は熊本平野の南部、阿高貝塚と御領貝塚という著名な両貝塚に程近い丘陵上に位置する後期の貝塚で、表採資料に擦切石斧 1 点がある。これは九州では最も早く擦切石器と認識された資料であり、

Fig.2　擦切石斧出土遺跡分布図

Tab.1　九州出土の擦切石斧

番号	名称	所在地	立地	出土品	数量	時期
1	向原遺跡	熊本県山鹿市鹿央町合里	台地縁辺	擦切石斧原石	1	後・晩期
2	今村貝塚	熊本県熊本市南区城南町今	丘陵端部	擦切石斧	1	後期
3	麦之浦貝塚	鹿児島県薩摩川内市陽成町後迫	舌状台地	擦切石斧	1	後期
				擦切石斧（推）	2	後期
4	市来貝塚	鹿児島県いちき串木野市市来町川上	舌状台地	擦切石斧	1	後期中頃
5	草野貝塚	鹿児島県鹿児島市下福元町草野賀呂	海岸段丘	擦切石斧	1	後期中頃
6	芝原遺跡	鹿児島県南さつま市金峰町宮崎芝原	自然堤防	擦切石斧	1	後期
7	頭地下手遺跡	熊本県球磨郡五木村頭地甲	河岸段丘	擦切石斧	1	後期
				擦切石斧（推）	1	後期
参考	桑原飛櫛貝塚	福岡県福岡市西区元岡	丘陵端部	翡翠原石	1	後期初頭
				合計	7	

※　合計には、推定、参考資料を含まない。

1965 年に刊行された『城南町史』では「粘板岩の石斧の未完成品で、擦切りによって切断され、棒状の本体の側縁に、ひれ状の部分がまだのこっている。」と記述されている（三島 1965）。小林久雄コレクションの資料で、現在、熊本市立塚原歴史民俗資料館に保管されている。実見したところ、本資料は報告されているような未製品ではなく、刃部を欠損しているものの完全な製品である。石材は淡い緑色の蛇紋岩、現存長 8.6cm、幅 1.4 ～ 1.8cm、厚さ 1.5cm の方柱状をなす。長側の一辺（a 面右側）に擦切り痕が明瞭に残っている。b 面の擦切り面の観察からは、先ず a 面に擦切り溝を入れ、両端部を擦り切った後、わずかに残った接合部を折り割り、さらに折割り部に研磨を加えるという擦切工程が読み取れる。折割り部には研磨が加えられるものの完全ではなく、ヒレ状に擦切り部の張り出しが残っている。擦切り溝は断面から復元すると、幅 0.5cm 前後、断面形は U 字形をなす。a 面左側辺には擦切の痕跡はなく、d 面にみられるように丁寧な研磨が加えられている。部分的に研磨の剝離痕が残っていることからみて、元々、擦り切りは施されていないと考えられる。そうすれば、この石斧は原石から最初に切り取られたものか、あるいは最後に残ったものを利用したとみることができる。刃部は欠損するが、他例から片刃状になると考えられる。遺跡の状況から後期後半の時期に所属するものであろう。

(3)　麦之浦貝塚　（Fig.1-3）

鹿児島県薩摩川内市陽成町後迫

麦之浦貝塚は川内川の支流の高城川、さらに、その支流の麦の浦川の右岸、南に延びた舌状台地の上に立地している。海岸までの直線距離は約 7km である。1983 年、川内市教育委員会によって発掘調査が実施されている（中島・牛濱・長谷川 1987）。

擦切石斧 1 点とその可能性がある石斧 2 点がある。Fig.1-3 は淡い緑色で部分的に黒緑色の斑点のある蛇紋岩を素材としている。半折し、基部を失い、刃部は片刃状をなす。a 面右側辺に擦切り痕が浅い溝となり残っている。折り割られた部分は丁寧に研磨されている。左側辺には擦切り痕はなく、断面形も丸くなるため、もともとこの面には擦り切りは施されていないと考えられる。この石斧は原石から最初に切断されたか、最後に残ったものを利用している。全体にやや風化しており、製作痕は不明瞭である。刃部には使用痕とみられる小さな剝離痕がある。現存長 4.3cm、幅 1.2 ～ 1.6cm、厚さ 1.3cm。後期の松山式、市来式土器に共伴する。

(4)　市来（川上）貝塚　（Fig.1-4）

鹿児島県いちき串木野市市来町

川上貝塚は鹿児島半島の基部、八房川の南岸に位置する貝塚である。大正 9 年の発見以来、数次に及ぶ発掘調査が行われている。1961 年度の発掘調査でノミ形の擦切石斧 1 点、擦切り具 3 点、1990 年の発掘調査で擦切り具 1 点、1992 年の発掘調査で擦切り具 5 点が出土している（河口 1991）。ノミ形の擦切石斧については河口貞徳氏のスケッチ図がある。図で見る限りは厚みが有り、弥生時代の柱状片刃石斧に近い。擦り切りは刃部形成面に施されていると見られる。同様の石斧は擦り切りの痕跡はないが、草野貝塚に例がある。

(5)　草野貝塚　(Fig.1-5)

鹿児島県鹿児島市下福元町草野賀呂

草野貝塚は薩摩半島の中央部、シラス台地が錦江湾に向かって傾斜する箇所に立地し、1951 年の発見以来、4 次の発掘調査が実施されている。1951 年の調査で擦切り具 3 点、1981 ～ 82 年の調査で擦切石斧 1 点、擦切り具 14 点が出土し、九州では最も多量に擦切り技法の関連資料が出土している。(出口・中村編 1988)

Fig.1-5 は擦切石斧である。刃部は研磨の稜線は明瞭ではないが片刃状をなす。刃部端には使用痕と思える短い条線が刃部に直交して入り、磨滅し光沢

Fig.3　擦切具出土遺跡分布図

Tab.2　九州出土の擦切り具

番号	名称	所在地	立地	出土品	数量	時期
1	黒橋貝塚	熊本県熊本市南区城南町下宮地	丘陵端部	擦切り具	1	中～後期
2	御領貝塚	熊本県熊本市南区城南町東阿高	丘陵端部	擦切り具	1	後期末
3	大矢遺跡	熊本県天草市本渡町広瀬大矢	砂丘	擦切り具	5	後期初頭
4	一尾貝塚	熊本県天草市五和町御領浜田	砂丘	擦切り具	3	後期中頃
5	沖ノ原貝塚	熊本県天草市五和町二江沖ノ原	砂嘴	擦切り具	1	後期前半
6	有喜貝塚	長崎県諫早市松里町	丘陵	擦切り具	2	後期初頭
7	深堀遺跡	長崎県長崎市深堀町	砂丘	擦切り具	1	晩期前半
8	野首遺跡	長崎県北松浦郡小値賀町野崎郷西平	丘陵麓	擦切り具	2	
9	ヌカシ遺跡	長崎県対馬市豊玉町ヌカシ	扇状地	擦切り具	1	中期後半
10	下鶴遺跡	鹿児島県伊佐市大口下殿字下鶴		擦切り具		
11	市来貝塚	鹿児島県いちき串木野市市来町川上宮之後	丘陵	擦切り具	9	後期中頃
12	大野遺跡	鹿児島県日置市田布施村	砂丘	擦切り具	2	後期中頃
13	若宮遺跡	鹿児島県鹿児島市池之上町	丘陵	擦切り具	2	後期中頃
14	草野貝塚	鹿児島県鹿児島市下福元町草野賀呂	台地	擦切り具	17	後期中頃
15	山ノ中遺跡	鹿児島県鹿児島市西別府町山ノ中		擦切り具	8	
16	宮ノ上遺跡	鹿児島県南九州市川辺町古殿		擦切り具	1	晩期前半
17	榎崎A遺跡	鹿児島県鹿屋市郷之原町榎崎	舌状台地	擦切り具	1	
18	榎木原遺跡	鹿児島県鹿屋市高須町榎木原	台地	擦切り具	4	
19	宮之迫遺跡	鹿児島県曽於市末吉町南之郷	舌状台地	擦切り具	5	中期～後期
20	桐木耳取遺跡	鹿児島県曽於市末吉町諏訪方桐木	台地	擦切り具	1	
21	小淵遺跡	鹿児島県志布志市志布志町帖	河岸段丘	擦切り具	1	後期中頃
22	渡畑遺跡	鹿児島県南さつま市金峰町宮崎渡畑	自然堤防	擦切り具		後期前半
23	芝原遺跡	鹿児島県南さつま市金峰町宮崎芝原	自然堤防	擦切り具		後期前半
24	柊原貝塚	鹿児島県垂水市柊原柊原下	海岸段丘	擦切り具		後期中頃
				合計	68	

※　合計は、筆者が実見し、計数した資料数である。

をもっている。基部は一度折れたものを再生したらしく、一部に研磨が施されている。この折れた部分の、刃部形成面とは逆の面（d 面）にわずかに抉り状の凹みがつけられている。この部分は製作痕が磨滅し、光沢がある。より上位に着柄のための浅い抉りがあったと考えられる。なお、再生された基部より約 2cm 下がったところより下位の 1.5cm の間も、製作痕が磨滅し光沢があるので、再生後の着柄による緊迫部分と考えられる。両側は直線的で、共に擦切り痕が残っている。b 面左側辺（a 面）は全面に擦切の痕跡が残り、刃部近くでは擦切り痕にずれがみられる。右側辺 c 面は上半部に擦切り痕が残る。折割り部分は a､c 面共に 3mm 前後である。折り割った後、丁寧に研磨が加えられているが、ヒレ状の隆起帯として残っている。断面を見ると、擦り切りが若干ずれていることがわかるが、全体に精美な作りの石斧である。素材は黒色の強い蛇紋岩で、斑点状の緑色部分がある。長さ 8.3cm、幅 1.4 ～ 1.9cm、厚さ 1.2 ～ 1.5cm を測る。

(6)　芝原遺跡

鹿児島県南さつま市金峰町宮崎芝原

芝原遺跡は鹿児島県の南西部、鹿児島県南さつま市金峰町宮崎字芝原に所在する。鹿児島市の南部に位置する美濃岳南麓に源を発する万之瀬川の右岸の自然堤防上に立地している。遺跡は河口から約 6km さかのぼり、標高 5m 前後である。

縄文時代後期前半の拠点集落と考えられ、多量の遺物が出土している。東日本的遺物である足形土器や組合せ石銛が多量に出土していて注目される。ここから蛇紋岩製でノミ形の擦切石斧 1 点が出土している。実見していないので詳細不明（註 1 ）。

（参考）　飛櫛貝塚（Fig.1-8）

福岡県福岡市西区元岡

福岡市教育委員会によって発掘調査が実施され、貝層中より翡翠原石 1 点が出土している（井澤 1996）。

この原石は長さ 3.8cm、幅 2.3cm、厚さ 1.2cm を測る三角形の板状をなし、全体に淡い緑色を呈し、透明度の強い良質のものである。長辺と短辺の各一辺に擦り切りの痕跡を残している。これは原石の形

状を整えるためにいれられた打割用擦切り溝と見られる。擦切り溝から復原される擦切り具の厚さは0.8cm である。丹念な水洗選別が実施されたが、翡翠は本例の他に玉 1 点があるにすぎず、この遺跡で翡翠の調整加工を行なった痕跡はない。よって、この翡翠原石は翡翠原産地で擦切り技法を用いて整形された後、本遺跡に持ちこまれた可能性が高い。翡翠は糸魚川産とみられる。貝層の形成時期は後期初頭であり、本例も同時期としてよい、と考えられる。

以上の擦切石斧とその関連資料をまとめると次のようになる。擦切石斧は原石、石斧共に蛇紋岩を素材としており、現在のところ例外はない。製品はいずれも柱状の片寄り刃の磨製石斧である。時期的には後期中頃～晩期前半に属する。このように、擦切り技法によって製作された製品の仕様が限定されていることに注目しておきたい。また、飛櫛貝塚の翡翠にみられる擦切り技法の痕跡は、九州に擦切り技法が伝播した時期を示唆するものとして重要である。

3-2　擦切り具出土遺跡

擦切り技法の工具として用いられる擦切り具は、未だ正しく認識されているとは言えない。発掘調査においても刃部のみに使用痕が残り、他はすべて自然面の場合が多いので見過ごされることが多いが、最近は注意されるようになり出土例も増加している。擦切り具の出土例は 24 遺跡 68 例以上であり、製品である擦切石斧に比べて多数の遺跡から出土している。その大部分は砂岩の板状石を素材としている。形状は様々で、整形したものは少ないが完存しているものでは長方形、石庖丁形等が存在する。出土数が多いので個別説明は省略し、出土遺跡とその数量、時期を示すにとどめる（Tab.2）。

4　擦切石斧と擦切り具の出土遺跡の分布

熊本県鹿央町で擦切石斧原石に出会ってから 40 数年経った現在、縄文時代の擦切り技法に関連した遺跡は、上記したように擦切石斧出土遺跡が 7 遺跡 7 例、擦切り具出土遺跡が 24 遺跡 68 例に達している（註２）。擦切石斧出土遺跡は擦切り具出土遺跡に比較してその数が四分の一と極端に少ないが、これは擦切石斧が仕上げ段階において切断部のバリや擦切り溝が痕跡を残さないまでに研磨された場合には当該製品を擦切石斧と認定できないためである。擦切石斧と認定できない石斧の中にも擦切り技法によって製作された石斧がかなり含まれていると考えられることに注意する必要があろう。現実に、明確な決め手にかくものの擦切り技法で製作されたと考えられる資料がかなり存在する。しかし、それらについてはここでは提示を省略した。遅々としてではあるが資料は増加し、ようやく、その分布の概略が把握できるようになってきた。なお、福岡市西区桑原飛櫛貝塚からは翡翠の加工に擦切り技法が用いられている。本例は九州において擦切り技法を用いた最も早い例の一つであり、擦切石斧との関連性が考慮されるので併せて紹介した。これを含めて、以下では、その分布を見てみよう。

擦切り技法に関連した遺跡を分布図（Fig.3）に示した。擦切石斧は熊本県と鹿児島県でのみ確認されている。熊本県では向原遺跡、今村貝塚、そして頭地下手遺跡の 3 遺跡がある。今村貝塚は海岸部遺跡であるが、向原、頭地下手遺跡は内陸部遺跡であり、特に頭地下手遺跡は山間部遺跡である。向原遺跡からは擦切石斧原石が採集されている。擦切石斧原石は九州では唯一の資料であり貴重である。今村貝塚例も表面採集資料であり、共にその詳細は不明ながら、遺跡の状況からは後期後半～晩期前半の所産と考えられる。なお、擦切り具の存在は明らかでない。頭地下手遺跡では多量の石器が存在するにもかかわらず擦切り具が確認されていないので、当該遺跡で製作されたものではなく他地域からもたらされた可能性が強い。鹿児島県では麦之浦貝塚、市来貝塚、草野貝塚、芝原遺跡の 4 ヶ所から擦切石斧が出土している。麦之浦貝塚では製品のみで擦切り具は出土していない。前述の頭地下手遺跡と同様に他の遺跡から持ち込まれたものであろうか。市来、草野、芝原遺跡では多量の擦切り具が伴い、工具、製品が存在するので、製作も同遺跡で行われたと考えられる。いずれの遺跡も海岸部に近い遺跡である。以上のように、擦切石斧の分布は九州の中部以南の西海岸部周辺に散発的に分布している。

次に、擦切り具の分布について見てみよう。現在の

ところ、長崎、熊本、鹿児島の三県にわたって遺跡が確認されている。長崎県では有喜貝塚、深堀遺跡、ヌカシ遺跡、野首遺跡の 4 遺跡 6 例がある。擦切石斧は現時点では確認されていないが、擦切り具は少ないながらも出土している。いずれの遺跡も海岸部の遺跡であることが注意される。時期的には中期から晩期前半に及んでいて、古い時期のものを含んでいることが注目される。熊本県では擦切石斧、石斧原石の他、擦切り具は黒橋貝塚、御領貝塚、大矢遺跡、一尾貝塚、沖ノ原貝塚の 5 遺跡 11 例が確認できる。擦切石斧と擦切り具との共伴例は認められないが、擦切り具出土遺跡は西海岸部の島嶼部と宇土半島基部の貝塚に集中してみられる。1 遺跡あたりの石器数も増加していて、製品が内陸部に及んでいることを考慮すると長崎県よりもその技法がより浸透していたことが窺える。今後さらに遺跡数が増加するものと考えられる。時期的には後期初頭から後期末の遺跡があり、遺跡が古い段階に集まっていることも注目される。鹿児島県では擦切り具出土遺跡が集中して確認されている。遺跡は下鶴遺跡、市来貝塚、大野遺跡、若宮遺跡、草野貝塚、山ノ中遺跡、宮ノ上遺跡、榎坂 A 遺跡、榎木原遺跡、宮之迫遺跡、桐木耳取遺跡、小淵遺跡、渡畑遺跡、芝原遺跡、柊原貝塚等、15 遺跡以上 55 例以上が確認されている。市来貝塚、草野貝塚では擦切石斧と擦切り具が共伴して出土している。また、市来貝塚、草野貝塚、山ノ中遺跡では 10 ～ 20 個に及ぶ擦切り具が出土していて、その使用頻度が高かったことがうかがえる。これらの遺跡は海岸部から内陸部まで及んでいて、その普及が進んでいたことがわかる。時期は中期から晩期にかけてであるが、集中するのは後期中頃である。

以上の擦切り技法関連遺跡の分布状況をまとめると次のようになる。擦切り技法関連遺跡の分布は、福岡県、長崎県、熊本県、鹿児島県の 4 県の九州西海岸部を中心として、一部内陸部にも広がっている。福岡県東部、大分県、宮崎県の東九州には分布しない。福岡県、長崎県の北部九州から西北九州にかけては、遺跡は散発的で、いずれも海岸部に分布している。中九州の熊本県は後述する南九州西海岸と北部九州から西北九州の中間的状況を示している。遺跡は若干増加する傾向にあり、海岸部遺跡が多いが製品は内陸部に及んでいる。鹿児島県西部の南九州西海岸部から内陸部にかけては遺跡が集中し、遺物量も多く、擦切り技法が定着して展開したことを示している。

5　擦切り技法の伝播とその意義

九州における擦切石斧と擦切り技法はどこから伝播したものであろうか。「1 はじめに」で示したように、その始原はシベリア・バイカル湖周辺の新石器時代の擦切石器に求められ、日本列島では縄文時代に磨製石斧の製作技術として存在することがわかっている。北海道の早期例を初現として、東北、北陸、中部、近畿東部へと順次、時間を経過しながら南下し、中部・近畿地方では中期～後期に盛行しているとされる。九州の擦切石斧もその延長上で理解するのが最も妥当な線であるが、そう理解するには解決すべき大きな問題が介在していた。一つは擦切石斧の西限である近畿東部以西から九州の擦切り技法関連遺跡の分布範囲の間には約 700 ｋｍの空白地域が存在していることである。加えて、九州の擦切り技法の開始が中期から後期初頭に求められ、中部・近畿地方でもほぼ同時期に始まることも理解しがたいものであった。

九州の擦切り技法の故地の探究を進めたが、なかなかその解答を得ることはできなかった。前述の空白地帯や最も可能性があると考えていた韓半島でも擦切石斧の出土は無かった。しかし、韓半島では 1990 年代になって漸く擦切り技法によって製作された石器が出土しはじめた。慶尚北道蔚珍郡厚浦里遺跡（国立慶州博物館 1991）は径約 4 ｍの不規則な窪地に人骨と石器が重なり合って存在した特殊な埋葬遺跡であるが、ここから出土した 180 点の磨製石斧のうち 9 点が擦切石斧であることが確認され、慶尚南道晋州市上村里遺跡（東亜大學校博物館 1999）からも擦切石斧 1 点が出土した。また、擦切り具も凡方貝塚（釜山広域市博物館 1993、1996）、新岩里遺跡（申 1989）、牛峰里遺跡（沈 1996）、鰲山里遺跡（任・権 1984、1985、1988）校洞遺跡（金 1963）の諸遺跡で砂岩製擦切り具が出土している。これらの出土遺物を背景にして、擦切り技法の一つの系譜の流れとして、バイカル湖周辺から中国東北地方を経由して、韓半島基部

の咸鏡北道から韓国の東海岸、北部九州、九州西海岸、トカラ列島、琉球列島にいたる考えを提示したことがある（山崎 1999）。

しかし、最近以上の考えを改めつつある。一つには、「東日本的遺物」について検討を加える機会があり、その成果（山崎 2012、2013）から日本列島内の伝播の延長上においても矛盾なく理解できるようになったこと。もう一つは、擦切石斧の西限である近畿東部以西から九州の擦切り技法関連遺跡の分布範囲の間の約 700 ｋｍの空白地域の中間にあたる島根県板屋Ⅲ遺跡（Fig.2-A）、下山遺跡（Fig.2-B）の 2 遺跡でノミ形の擦切石斧の新例合計 3 点が加わったこと。以上の二つの理由によるものである。

東日本的遺物の九州への伝播は中期後半から始まり、そのルートは中部高地から日本海側に抜け、翡翠原産地である糸魚川・宮崎海岸を擁する北陸地方から日本海を陸沿いに西漸し、九州西海岸中央部にいたる経路に求めることができる。その間の距離は約千数百 km を測る。このルートによって九州に伝播した遺物には、蛇や動物意匠をそなえた装飾土器、土偶、動物形土製品、搬入土器、モデルと考えられる小型土器、有孔鍔付土器、スタンプ形土製品、人物土器、足形土器、刻文付石皿、鰹節形大珠等の翡翠製玉類とその未製品等、多くをあげることができよう。この中で足形土器のように九州独自で展開したものもある。また、この段階から南九州では阿高系土器の底部に見られた鯨脊椎骨圧痕に代わって、土器底部にアンペラ等の組織痕が目立って増加するが、これらの現象は北陸地方の土器製作技術の影響のもと、九州の土器製作技術に変化が起こったものと考えられる。ここで述べた擦切り技法の習得もその一つである。なお、これらの東日本的文物や技術の伝播に伴い人々の移住があったことはこれまで述べてきたところである。

中国地方の日本海側において擦切石斧の新例 3 点が確認できたことは、700 ｋｍにおよんだ空白部を埋める資料として重要である。両遺跡の位置する周縁部には東日本的遺物の出土遺跡もあり、中継地としての位置づけも可能となる。その意味でも擦切石斧の出土は注目される。

ここで、改めて九州の擦切石斧と他地域との関連性について検討を加えてみよう。九州に分布する擦切り技法によって製作された製品は玉関連遺物を除けば、いずれも柱状のノミ形石斧に限定されている。各石斧の法量を示すと、向原遺跡例は原石に残る擦切り溝から推測すれば長さ 8.5cm 以上、幅 1.2 ～ 1.7cm、厚さ 1.6 ～ 2.9cm 以内の擦切石斧となり、今村貝塚例が長さ 8.6cm 以上、幅 1.4 ～ 1.8cm、厚さ 1.5cm、頭地下手遺跡例は擦切石斧が長さ 6.8cm 以上、幅 1.25cm、厚さ 1.25cm、擦切石斧の可能性ある石斧が長さ 8.6cm、幅 1.2 ～ 1.7cm、厚さ 1.3cm、麦之浦貝塚例が長さ 4.3cm、幅 1.2 ～ 1.6cm、厚さ 1.3cm、草野貝塚例は長さ 8.3cm 以上、幅 1.4 ～ 1.9cm、厚さ 1.2 ～ 1.5cm である。市来貝塚例、芝原遺跡例は詳細不明である。法量の判明する資料はいずれも基部あるいは刃部を折損している。現存の長さは 4.3 ～ 8.6cm であるが、頭地下手遺跡の擦切石斧の可能性ある石斧は完存していて長さは 8.6cm であり、それを考慮するとこれらの石斧はそれぞれに若干の相違があるにしても、長さは 8.6 ～ 11cm 前後の中におさまるものと考えられる。同様に、幅は 1.2 ～ 1.9cm、厚さも 1.2 ～ 1.6cm の中におさまり、向原遺跡の原石の厚さ 2.9cm 前後は超えないと考えられる。

これに対し、これまで九州の擦切石斧の故地と考えていた韓半島南部においては擦切り技法によって作られた製品はどうなっているのであろうか。前述したように擦切石斧は厚浦里遺跡、上村里遺跡の両遺跡から出土している。厚浦里遺跡からは 9 点の擦切石斧が出土している。その内訳は 25 ～ 30cm の両刃の大型石斧 2 点、15 ～ 20cm の扁平片寄り刃石斧 3 点、長さ 6 ～ 8cm、幅 2.7 ～ 4.8cm の小型の扁平片寄り刃石斧 4 点がある。上村里遺跡例も両刃の大型石斧の例である。また、これまで擦切り具の検討から結合式釣針の石製軸部との関係が指摘（河 1996）されてきたが、慶尚南道蔚山細竹里遺跡（東国大學校埋蔵文化財研究所 2001）からは擦切り具とともに擦切り痕を残した結合式釣針軸部が出土し、擦切り技法と結合式釣針軸部との関連性が明かにされ、結合式釣針軸部の中には擦切り技法によって製作されたものが含まれていることが判明した。以上を整理すると、韓半島南部の擦切石斧は蛇紋岩系の石材を利用して大型の両刃石

斧、扁平片寄り刃石斧、小型の扁平片寄り刃石斧が製作され、併せて、頁岩を素材として結合式釣針石製軸部も製作されている。

九州の事例と比較検討すると、石斧の石材は共通するが、製品は九州が小型の柱状片寄り刃石斧に限定されるのに対し、韓半島南部では大型の両刃石斧、扁平片寄り刃石斧、小型の扁平片寄り刃石斧があり、器種に違いがみられる。また、頁岩製の結合釣針軸部も擦り切りの対象に加わり、その石材にも違いが認められる。さらに、年代的にも大きなひらきがある点にも注意する必要がある。ただし、砂岩製の擦切り具や蛇紋岩を石材とする等、共通点もある。

一方、日本列島における擦切り技法南下ルートの延長線上にある島根県の新例はいずれも蛇紋岩製のノミ形石斧であり、時期的には絞り込めないが板屋Ⅲ遺跡が中期中頃から晩期、下山遺跡が中期後半から晩期に属し、古い時期を採るなら九州の時期とも一致する。また、福岡市桑原飛櫛貝塚出土の擦切り痕を持つ翡翠原石は糸魚川産と考えられ、これらに加えて東日本的遺物も少ないながら存在することを考慮すれば、九州における擦切石斧はこれらの地域を経由して伝播したと考えるのが最も妥当である。

しかし、韓半島南部からの影響を完全に無視することはできない。漁撈具等の伝播を考慮すれば、当然のこととして擦切り技法がそれ以前に伝播した可能性があり、その重なりが擦切り技法の南下を促し、弥生時代（並行期）には琉球列島まで達したと考えることができる。

東日本的文物の搬入、その影響による展開、新たな土器製作技術、ここで述べた擦切り技法による新たな石器製作技術の定着と展開は、以後の文化を変容・規定していく要素としてその意義は大きい。

6　おわりに

頭地下手遺跡出土の擦切石斧の紹介を兼ねて、九州における擦切石斧、擦切り具について検討を加えた。その結果、旧稿で提示した擦切り技法の九州に伝播してくるルートを一部変更することになった。その要因は各地における発掘調査の展開と資料の増加によるものである。より一歩でも、史実に近付いていればと願う次第である。

本文を草するにあたり、以下の方々に資料の提供や御教示あるいは文献探索にご支援を賜りました。記して感謝の意を表します。
上床真、池田明生、木下尚子、甲元真之、島津義昭、長家伸、河仁秀、東和幸、松本博幸、宮井善朗、宮崎敬士。

〔註〕

註１　上床真氏（公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター）の教示による。

註２　後期後半～晩期の玉類の製作にあたっても擦切り技法が用いられているが、これらについては詳細な検討を行っていないため、また、擦切り技法による製品、擦切り具は南西諸島にも分布するが、ここでは省略する。

〔参考文献〕

井澤洋一、1996、『桑原遺跡群２－飛櫛貝塚第一次調査－』福岡市埋蔵文化財調査報告書 480、福岡市教育委員会

任孝宰・権鶴洙、1984、『鰲山里遺蹟』ソウル大學校考古人類學叢刊９、ソウル大學校付属博物館

任孝宰・権鶴洙、1985、『鰲山里遺蹟Ⅱ』ソウル大學校考古人類學叢刊 10、ソウル大學校付属博物館

任孝宰・権鶴洙、1988、『鰲山里遺蹟Ⅲ』ソウル大學校考古人類學叢刊 13、ソウル大學校付属博物館

河口貞徳、1991、「市来貝塚一昭和 36 年の発掘について－」、『鹿児島考古』25、鹿児島県考古学会

金元龍、1963、「春川校洞穴居遺蹟と遺物」、『歴史學報』20

国立慶州博物館、1991、『蔚珍厚浦里遺蹟』

小林行雄、1951、『日本考古学概説』、東京創元社

沈奉謹、1996、「蔚山牛峯里遺蹟出土新石器時代磨製石器」、『嶺南考古學』18、嶺南考古學会

申鐘煥、1989、「蔚州新岩里遺蹟」、『嶺南考古學』6、

嶺南考古學会
芹沢長介、1965、「縄文時代の研究をめぐる諸問題－周辺文化との関連－」、『日本の考古学Ⅱ』、河出書房
出口浩・中村直子 編、1988、『草野貝塚－宅地造成に伴う第 1 次、第 2 次緊急発掘調査報告書－』鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書 9、鹿児島市教育委員会
東亜大學校博物館、1999、『南江流域文化遺跡発掘圖録』
東國大學校埋蔵文化財研究所、2002、『圖録蔚山黄城洞細竹里遺蹟』
鳥居龍蔵、1929、『西比利亜から満蒙へ』、大阪屋号書店
中島哲郎・牛濱修・長谷川順、1987、『麦之浦貝塚－本川地区造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』、川内市土地開発公社
釜山直轄市立博物館、1993、『凡方貝塚』釜山直轄市立博物館研究叢書 9、釜山直轄市立博物館
釜山直轄市立博物館、1996、『凡方貝塚Ⅱ』釜山広域市立博物館研究叢書 11、釜山直轄市立博物館
三島格、1965、「城南地方の石器と骨角器」、『城南町史』、熊本県下益城郡城南町
山崎純男、1999、「東アジア新石器時代の擦切技法」、『日韓新石器時代交流研究会・資料集』、新石器學会・九州縄文研究会
山崎純男、2012、「西日本における蛇の装飾」、『尖石縄文考古館 10 周年記念論文集』、茅野市尖石縄文考古館
山崎純男、2013、「足形土器の祖形と展開」、『先史学・考古学研究と地域・社会・文化論』、高橋信武退職記念論集刊行会

4-7　熊本県頭地下手遺跡出土の石錘について

島津義昭 ※

1　はじめに

頭地下手遺跡から石錘が出土することは、古くから知られていた（註 1）。遺跡内に開学した頭地東小学校には校庭から出土した遺物が保管されていたが、そのうち石錘 36 点と石皿について私は短い報告をしている（註 2）。このとき、石錘の平均重量は 133.7g であった。

今回の発掘調査では 1,351 点の石錘が出土した。その多くは礫の長軸両端を打ち欠いた礫石錘であり、短軸両端を打ち欠いたものは少ない。この他、長軸両端に擦切溝をそなえた切目石錘は 6 点あり、全周する溝をもつ有溝石錘が 2 点ある。

まず、頭地下手遺跡の石錘の特質を、その重量からみてみたい。石錘の重量は 110g にピークをもつ単峰性ヒストグラムであり、右に裾を引いた分布を示す（Fig.1）。裾部の 210g 以上を別にすれば分布はほぼ対称であるので、この数字で a 類（10 ～ 210g）と b 類（220 ～ 450g）に区分できる。すべての石錘の平均重量は 126.6g、a 類の平均重量は 117.4g となる。切目石錘は重量 50 ～ 159g で平均重量は 90.5g、有溝石錘は重量 78、206g であり、ともに a 類に属している。以上から、頭地下手遺跡から出土した石錘は、小型（10 ～ 110g）、中型（120 ～ 210g）、大型（220 ～ 450g）と、まとめることができよう。

さて、石錘はその形の類似性から漠然と漁網錘と考えられてきたが、渡辺誠博士は石錘の用途が多様性に富むことを明らかにした（註 3）。渡辺氏は編み物に用いる石錘の重量とその製品について次のとおり 4 群に整理している。

第 1 群（20g ～ 80g）　タテ糸の間隔は 1cm 前後、対象製品は編布、目の細かいハバキ等。
第 2 群（80g ～ 250g）　間隔は 2㎝～数 cm 前後、対象製品は目の粗いハバキ、腰カゴ、背負いカゴ、紙漉きの簾各種、スノコ等。
第 3 群（110g ～ 470g）　間隔が 10㎝～ 20cm 前後、対象製品は米俵、炭俵、各種のコモ、ミノ、ウケ等。
第 4 群（360g ～ 880g）　間隔が 15cm ～ 30cm 前後、対象製品は雪囲簾、エリ等の大型品。

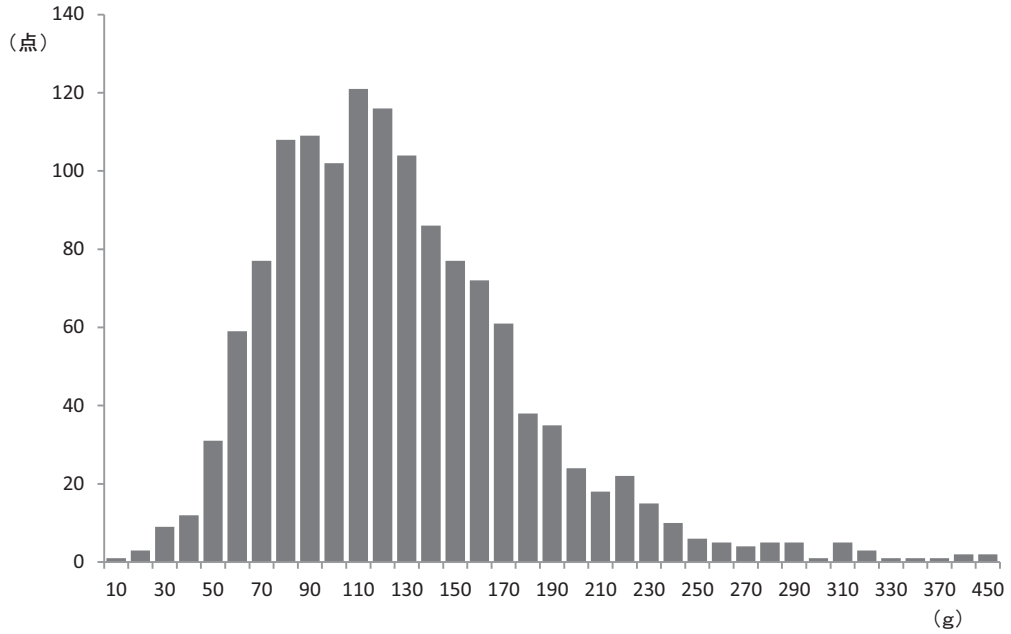


Fig.1　頭地下手遺跡出土石錘重量分布

※　崇城大学

Tab.1　川辺川流域における河川域の環境類型区分とその特徴

環境類型区分	山麓を流れる川	山地を流れる川	渓流的な川	源流的な川	止水域
流域内流路延長（%）	14.5km（3.9%）	35.9km（9.8%）	133.3km（36.3%）	180.4km（49.0%）	3.5km（1.0%）
河川形態	Bb型	Aa-Bb移行型	AaⅡ型	AaⅠ型	―
河床勾配	1/2200～1/30	1/59～1/30	1/59～1/10	1/29より急	―
河川植生	裸地川原、ツルヨシ群落	裸地川原、ツルヨシ群落、ヤナギ高木林	崖地、裸地川原、ヤナギ高木林	ミズナラ、サワグルミ群落	―
特徴	中流型。１つの蛇行区間に瀬と淵が1個ずつ存在し、瀬から淵への落差が小さく波立ちながら流れ込む。	上流-中流の移行型。河床勾配が連続的に変化する。	上流型。１蛇行区間に瀬と淵が2個以上存在し、瀬から淵への落差が大きい。渓流部でみられるもの。	上流型。１蛇行区間に瀬と淵が2個以上存在し、瀬から淵への落差が大きい。源流部でみられるもの。	止水域

※　註5に記載した川辺川工事事務所2000から引用（項目を抜粋、一部改変）

なお、すべての礫石錘を漁網錘ではない、と判断している訳ではなく、「木曽川流域の若干の遺跡で安藤正義氏によって確認されているように、礫石錘でも切目石錘程度に軽量で、しかも切目石錘が岐阜県下に出現する中期後半以降に出現し、立地条件も河岸段丘といった資料については、将来大いに注目していきたい。」としている（註 4）。

ここでは、切目石錘、有溝石錘及び打欠石錘からなるａ類（小型、中型のあるもの）を漁網錘と考えておく。打欠石錘のみのｂ類（大型）は漁網石錘以外の用途となり、渡辺氏の想定した第３群、第４群に該当しよう。

併せて、網漁業のテーマのうち、技術としての網の研究は除き、その捕獲対象について推定してみたい。漁場である川辺川がどのような河で、漁撈対象としてどんな魚類が生息するか調べてみよう。

2　川辺川の河川環境

川辺川は球磨川の最大支流で、八代市泉、五家荘と宮崎県椎葉村の境界をなす国見岳（標高 1,729 m）と五木村西部の六本杉山（標高 1,149 m）の谷合に源を発し五木村の中央を貫流する五木川と、西方から流れくる五木小川とが合流して川辺川となる。その合流地点が頭地下手遺跡のある頭地地区で、さらに南流した川辺川は相良村で球磨川に合流する。その流域延長は 62㎞、流域面積は 533k㎡である。

相良村に川辺川ダムが計画されて以来、さまざまな環境調査が実施されている。その中から主題に関係するデータを取り上げてみたい（註 5）。

現代の川辺川の河川環境は、河床勾配等から以下のとおり５型に区分できると考えられている（Tab.1）。

(1)　山麓を流れる川　川辺川の山口谷川合流点より下流で、河床勾配は比較的緩く、河川沿いには低地がみられる。流路の上空は完全に開けており、広い間隔で平瀬や早瀬が連続している。

(2)　山地を流れる川　山口谷川合流点から椎原にかけての川辺川、頭地から平瀬にかけての五木小川で、山岳地形を呈し、河川の上空は開け、山腹を刻む渓谷を流下する。

(3)　渓流的な川　椎原上流の川辺川、平瀬上流の五木小川あるいは川辺川に流入する支川で、河岸の樹木が河川の上空を覆い、河川の所々に小滝があり、早瀬と淵が多く分布する。

(4)　源流的な川　河床勾配が急な支川で、階段状の小滝が多く、河岸の樹木が河川の上空を完全に覆っている。

(5)　止水域　内谷ダムなどによる「止水域」が約 3.5km 存在する。

頭地下手遺跡は「山地を流れる川」に面した河岸段丘上に位置する。なお、当該地の河川形態は河床勾配が連続的に変化する上流から中流への移行型（Aa―Bb 型）に属している。この河川形態型が頭地下手遺跡の水産資源を支えた環境である。次に捕獲対象魚に

Tab.2　河川域の主な動植物と環境類型との関係

環境類型	山麓を流れる川				山地を流れる川					
地　点	柳瀬	永江	観音橋	深水	逆瀬川橋	頭地	九折瀬	宮園	土会平	平瀬
区　間	川辺川						五木川		五木小川	
確認頻度が高い種	オイカワ カワムツ ウグイ	オイカワ ドンコ タカハヤ	オイカワ ウグイ カワムツ	オイカワ ウグイ カマツカ	カワムツ タカハヤ ウグイ	ウグイ タカハヤ カワムツ	ウグイ タカハヤ ヤマメ	ウグイ ヤマメ ドンコ	タカハヤ カワムツ ヤマメ	カワムツ タカハヤ ウグイ
共通種	タカハヤ、ウグイ、カワムツ、アユ									
他の環境類型より確認頻度が高い種	オイカワ、ドンコ				ヤマメ、タカハヤ、カワムツ、ウグイ					

※　註5に記載した川辺川工事事務所2000から引用（項目を抜粋、並替）

ついて検討してみよう。

3　川辺川の魚類

縄文時代から今日まで河川環境には大きな変化はないので、現代の魚種データは参考になる。

川辺川の魚類は 17 種が知られているが、1980 年から 1984 年にかけての調査では以下の 15 種が確認されている（註 6）。なお、ニジマスはアメリカ産、ワカサギは国内産の移入種である。

(1)　ヤマメ　*Oncorhynchus mason*
(2)　ニジマス　*Salmo gairdneri*
(3)　アユ　*Plecoglossus altiuelis*
(4)　ワカサギ　*Hypomesus*
(5)　カマツカ　*Pseudobio esocinus*
(6)　ウグイ　*Toribogobon hakonensis*
(7)　タカハヤ　*Moroco jouyi*
(8)　カワムツ　*Zacco temminckii*
(9)　オイカワ　*Zacco platypus*
(10)　フナ　*Cyprinus carpio*
(11)　コイ　*Carassius auratus*
(12)　ナマズ　*Parasilurus asotus*
(13)　ウナギ　*Anguilla japonica*
(14)　ドンコ　*Odontobutis obscurus*
(15)　ヨシノボリ　*Rhinogobius brunneus*

調査地点ごとの魚種の多寡も明示されている。頭地下手遺跡のある頭地地区では、優占種はウグイ（地方名イダ）、多いものはタカハヤ（地方名アブラメ）、普通に生息する種にアユ、カワムツ、オイカワ、ウナギがある。とくにウグイ（イダ）、タカハヤ（アブラメ）は、各調査地点で優占種や多数種を占めているので、後述するが、縄文時代にも捕獲対象魚であろう。

4　川辺川の川漁の歴史

五木村の過去の川漁の数量を示すデータは明治時代からである。関連記録類から魚についての記述を取り上げてみよう。

今日、球磨川は鮎漁で全国に知られている。これは昭和 7 年（1932）以来の増産事業として、アユの人口孵化事業と稚アユの放流がなされた結果である。また、昭和 11 年（1936）からはニジマスの増殖事業が開始された（註 7）。もちろん、球磨川とその支流のアユは増産事業の前から有名であった。明治 8 年（1875）の五木村の地誌には、村内の河川（川辺川本流と支流）の産出魚について以下のように記されている（註 8）。文中の東川は川辺川、西川は五木小川、竹ノ川は下梶原川である。

東川　巾十五間　深一間　洪水五尺　此水源八代郡五家村ニシテ村ノ中央ニテ谷川合シ又西川モ合ス水清ク石大ナル急流也筏ハ通スレドモ舟ハ通セズ流末川辺川ト云四浦村外四カ村を過キ求麻川ニ合ス鱗介鮎イダ魚鱒鰻スツポン類也
西川　巾五間　深一間　洪水四尺　此水源該村中村山ヨリ出テ水清ク石大ナル急流也字地頭村ノ下ニテ東川ニ合ス魚類鱒
竹ノ川　巾五間　深一間　洪水四尺　此水源該村梶原山ヨリ出テ竹ノ川村ニテ東川ニ合ス水清ク石大ナル急流也魚類イダ魚鱒

Tab.3　対象地域から出土した縄文時代錘具の重量に関する基本統計量

	全体	早期	前期	中期	後期	晩期
標本数	600	9	8	367	96	10
最大値	6500.0	473.0	560.0	6500.0	780.0	93.6
中央値	51.3	95.0	65.2	55.0	49.5	38.6
最小値	4.0	12.0	18.3	4.9	4.0	18.0
平均	101.5	160.2	170.8	112.6	73.4	45.3
分散	92505.9	32021.3	48933.6	142353.0	9044.2	450.3
標準偏差	304.1	178.9	221.2	377.3	95.1	21.2
標準誤差	12.4	59.6	78.2	19.7	9.7	6.7

※　註11に記載した近藤2007から引用（項目を抜粋）

併せて、猟師とその生産量について、以下のように記している。

> 猟舟二十三艘　猟師四十人　是ハ農間ニ谷川ノ魚ヲ取ル猟師也　凡一カ年獲ル処　鮎十貫目　イダ魚十貫目　鰻三貫

猟師（魚も獲る）の数が多いことが注目される。狩猟のほかに漁猟も貴重な蛋白源であり、五木村については、このようにアユ、イダ（ウグイ）、ウナギが特記してある。

ちなみに、明治８年（1875）の球磨郡全体の魚種と収量は以下のとおりである。川辺川とは異なる魚種となり、下流のスズキ等も取り上げられている。

> 鮎千八百八十二貫五百目　鰻七百六十六貫三百目　イダ魚五百二十四貫七百目　小鮎串指三万三千本　鮒九十六貫目　鱒六貫目　鱸二十七貫目　ウグイ百三十四貫目　スッポン十三貫目

さて、五木地区の伝統的漁法は、民俗調査の結果、以下の方法が知られている（註 6）。

(1)　一週間漬け　柳の小枝を直径 40㎝程にまるめた罠を自製の竹カゴにいれ谷川の底に沈めたもので、一週間程漬けておくと、ウナギ、イダ（ウグイ）、フグラ（ダンコ）が獲れた。

(2)　ウナギカゴ　ウナギメゴやウケともよばれ 60㎝程の細長い竹カゴをウナギの通る道にかけた。

(3)　ハリアミ　　刺し網でアユを獲った。アユ獲りには投網と釣り（友釣り）も行われた。

なお、川辺川の下流域にあたる相良村の漁法には。ウグイ（イダ）漁として「子持ち網」が紹介されている（註 7）。

> 二メートル×二メートルの網を用意する。竹を十字に組み四方から網の四隅に竹をおろし結ぶ。川の岸辺から竹竿につるし川底に沈める。網の上にはササの葉をたくさんかぶせておく、網の上流には石を積み上げると流がよどむ。するとイダ、ハエなどがたくさん集まってくる。そこをみはからって網を上げると一回で一升～五合くらいの小魚が入っている。魚の種類はイダの子が多かったという。

また、昭和 63 年（1988）から 2 年間の調査では、川漁について以下のような聞き取りがあった（註 9）。

> 発電所等の施設が完成する前は、ちょっと川へ投げ網でももって行くと一貫目（3.75 キロ）ぐらいの川魚はすぐ捕れておったという。特に、イダ（ウグイ）、アユ、マダラ（ヤマメ）が多かった

5　礫石錘の類例と用途

川辺川水系の遺跡には、石錘の出土状況を比較、検討できる遺跡は少ない。そこで、石川県南部、加賀地方 12 遺跡 204 点の石錘について検討した山本直人氏の研究を参照することとしたい（註 10）。山本氏によれば、石錘を出土した遺跡のうち河川流域の 4 遺跡の礫石錘（打欠石錘）の重量は 8 ～ 870g であり、

犀川、浅野川流域の東市瀬、笠舞 A、北塚の 3 遺跡では 40 ～ 110g のものが多く、160g をこえると点数が少なくなった。対して、莇生遺跡では 20 ～ 100g の軽量のものが多く、120g をこえるのは少なくなる傾向にある、と分析した。そして、考古資料や文献資料、民俗資料では漁網錘は 3g 前後から 90g までが多く、110g を超えるものは極めて少なくなるので、8g から 110g の礫石錘（打欠石錘）が漁網錘になる可能性がある、と結論している。

つまり、石錘の重量には遺跡ごとに差異があることを指摘して、漁網錘と推定したが、この結論からすれば、石川県南部の遺跡出土石錘に比して、頭地下手遺跡のものは総体として重いこととなる。

また、武蔵野・多摩・鶴見地区の 4,100 箇所以上の縄文遺跡のうち 234 遺跡から 3,800 点の土錘、石錘が出土している。これらを分析した近藤康久氏によると、石錘の時期ごとの数値は Tab.3 のとおりである（註 11）。時期ごとに差異があるが、頭地下手遺跡は中期と近い値をとることが注目される。

おって、石錘には、漁網錘とされているものの中に編み物用の錘具もあることは指摘されていた（註 12）。先述のように、渡辺誠博士は民具の分析で編み物用の石錘を実証的に研究し、併せて住居跡での礫石錘の出土状況を分析し、縄文時代に多い礫石錘は漁網錘とみなし難いとした（註 4）。この点につき、名古屋大学博物館に寄贈された角田文衛博士コレクション（秋田県角間崎貝塚出土）の石錘を紹介した吉田泰幸氏は、礫石錘を編物用の錘具とする渡辺説の根拠を次のように要約し、紹介している（註 13）。

(1)　粗い打ち欠きが漁網錘に適さない。
(2)　縄文時代において漁網錘であることが確実な土器片錘、切目石錘、有溝石錘と比べて、重いものが多い。
(3)　礫石錘出土遺跡の立地は水域に近いものばかりではない。
(4)　住居址内でまとまって出土することがあり、後の時代にみられる自然石利用の編物用石錘出土位置と類似している。

以上の諸点から頭地下手遺跡出土の石錘を検討すると、遺跡の立地としては河川に臨む場所にあり、豊富な水産資源が食糧獲得の対象にならなかったとは考えにくい。ただし、漁撈があったことは推定されるものの、発掘調査で魚骨等、関連遺物が検出されておらず、今後の当該地区での調査の注目点のひとつである。

頭地下手遺跡から多量に出土した石錘の用途は次のように考える。石錘の重量分析では、その分布は右に延びる単峰性のヒストグラムとなり、異質な性格をもった別系列のデータが混入しているとはみられない。そこで、最頻度中央値から対称の値をとりその範囲に入る頭地下手遺跡石錘 a 類、それ以上（210g）の値の頭地下手遺跡石錘 b 類を設定した。

a 類の軽量のものは漁網錘であると考える。
b 類は編物用の錘具とみられる。

なお、頭地下手遺跡 a 類石錘の重量は平均 117.4g であり、他事例の通有より高い数値を示している。

6　まとめ

以上の検討結果を列記し、課題についても述べてみたい。

(1)　頭地下手遺跡では縄文後期前半期の石錘が 1,351 点出土し、九州島で最多数の出土数である。種類は礫石錘の他、切目石錘（6 点）、有溝石錘（2 点）である。
(2)　石錘の重量の統計処理から 210g を境として a 類、b 類の 2 類に分かれる。このうち a 類に漁網錘が含まれる可能性が高い。b 類は編物用の錘具と考える。
(3)　a 類も重量の最頻度中央値（110g）を境に大、小に二分できる。大については編物用の錘具が混在している可能性もあるが、どれが該当するか具体的に抽出できない。
(4)　縄文期に、川辺川を漁場とした網漁があったと考えるが、その場合、網は刺網であると想定される。対象魚類は、生態学、民俗学的な資料でみればウグイ、タカハヤ、アユ、カワムツ、

オイカワ、ウナギ等であろう（註 14）。

(5)　川辺川も流域により環境が異なり、魚類の生態系も違う。今後は河川形態型（註 15）にも留意し、流域の遺跡の分析をさらに実証的に行う必要があろう。

(6)　縄文期の川辺川の遺跡では、各遺跡で一定数の石錘が出土している。川辺川流域（五木谷）の 7 ヵ所の縄文遺跡を、立地と規模、石器組成により類型化し、その性格を論じた木﨑康弘氏の試論がある（註 17）。析出された settlement pattern には賛成である。さらに道具等の分析をすすめ、川辺川流域の縄文時代の様相を明らかにしていきたい。

〔註〕

1　小林久雄、1967、「肥後国球磨郡五木村頭地下手遺跡」、『九州縄文土器の研究』、小林久雄先生遺稿刊行会。編集者のひとり三島格先生が小林久雄先生の草稿を編集して発表なさったものである。

　白木原和美、高野啓一、柴尾俊介、1978、『頭地下手遺跡』五木村文化財調査報告、五木村教育委員会。

2　島津義昭、1971、「熊本県五木村頭地の石錘と石皿」、九州始原文化研究会会報 1、九州始原文化研究会。

3　渡辺誠、1981、「編み物用錘具としての自然石の研究」、『名古屋大学文学部研究論集』史学 27、名古屋大学。

4　渡辺誠、1978、「第 2 章 網漁業の研究」、『縄文時代の漁業』、雄山閣。

5　建設省九州地方建設局川辺川工事事務所、2000、「川辺川ダム事業における環境保全の取り組み」、川辺川工事事務所。

6　藤井法行、1987、「Ⅳ．動物Ⅲ魚類」、『五木村学術調査』自然編、五木村総合学術調査団、五木村役場。

7　球磨郡教育支会、1941、「第 3 章 産業」、『球磨郡誌』、熊本県球磨郡教育支会。

8　坂口一男（監修）、1976、「明治八年乙亥肥後国肥後国求麻郡第十四大区七小区五木村地誌」、『求麻郡村誌』、熊本女子大学歴史学研究部、熊本女子大学。

9　乙益正隆、1994、「第 3 章 脊椎動物」、『相良村誌』、相良村。

10　増田勝機、「Ⅳ むら人のはたらき」、『五木の民俗』、五木村民俗調査団、五木村役場。

11　近藤康久、2007、「武蔵野 - 多摩 - 鶴見地域における縄文時代錘具の分布評価」GIS で考古遺物の性格を読み解く、『東京大学考古学研究室研究紀要』21、東京大学。

12　山本直人、2011、「縄文時代の打欠石錘の用途に関する一考察」、『名古屋大学文学研究論集』史学 57、名古屋大学。

13　酒詰仲男、遠藤喜彦、平井尚志（共編）、1951、『考古學辭典』、改造社。「石錘は石器時代恐らく紡錘車にも代用されたと思われるが、やはりその主なる用途は漁撈用具であったと考えられる。」と記述している。

　水野清一（編）、1954、「せきすい」、『図解考古学辞典』、創元社。「石錘といえば網の錘を予想しがちであるが、縄文時代の打製石錘などに対しては、漁撈以外に、編物を作るときの錘としての用途を考慮すべきかもしれない」と、小林行雄氏は記述している。

14　吉田泰幸、2006、「秋田県角間崎貝塚出土の礫石錘」角田コレクション紹介 6、『名古屋大学博物館報告』22、名古屋大学。

15　宮地傳三郎、川那部浩哉、水野信彦、1981、『原色日本淡水魚類図鑑』全改定版、保育社。

16　可児藤吉 1944「渓流棲昆虫の生態」カゲロウ・トビケラ・カワゲラその他に就いて、『日本生物誌』4 昆虫上、研究社。

17　木﨑康弘、2005、「谷間の縄文人」、『熊本県立装飾古墳館研究紀要』5、熊本県立装飾古墳館。

　木﨑康弘、2006、「谷間の縄文時代」、『熊本県立装飾古墳館研究紀要』6、熊本県立装飾古墳館。

附　熊本県五木村頭地の石鏃と石皿

島　津　義　昭

は　じ　め　に

頭地下手遺跡については故小林久雄先生の詳細な報告があり、中九州の著名な遺跡の一つである。① 今夏、五木村をおとずれ、下手遺跡を運動場としている東小学校保管の遺物と、附近の久領在住、荒木深氏所蔵遺物を実見する機をえたので、二、三の注意すべき遺物を紹介したい。②

1

石鏃（図 1）―総数 37 点、全部完成品である。大部分が扁平な自然礫の両端を雑に打ち欠いたものである。ほとんどが、わずかな凸凹をつけるに留め注意しなければ自然礫と違える如きものであるが、一点だけ原礫の長軸を中心として打撃が左右からなされているものがみられた（1）。原材は遺跡の西下を流れる川辺川の岸で豊富に採集できるものである。重量は最大 218 g、最少 36 g（2）を計り、総じて四辺形に近い礫使用のものが重い傾向にある。平均重量は 133.7 g である。このような値は西日本の河川ぞいの縄文式遺跡にみられる網漁錘（石錘）の 3 倍近くもあり、したがって下手遺跡のものを全部漁網錘とみる事は出来がたい。③ いわゆる石鏃については民族誌的にみても多様に使用されている事は既に注意されている④が、縄文時代の大型石鏃についての具体的機能については今後の課題としよう。なお小林報告にある有溝石錘は今回みられなかった。

2

石皿

1、荒木深氏採集、所蔵品。久領出土、完形品である。四辺形の自然礫を使用したもので、皿状の使用面はよく研磨されなめらかである。裏面は自然礫のままで全体的にわずかに湾曲を示す。長径 37.2㎝、短径 23.1㎝、原礫の厚さ 6.0㎝、使用面の中心部で 3.1㎝を計る。

2、東小学校保管、下手遺跡出土。長径 30㎝以上の扁平礫を利用したもので全体の 1/3 程の破片である。これも一面のみを使用、裏面には手の加わった跡は認められない。現存長径 26㎝、短径 13㎝、厚さは中央部で 6.5㎝を計る。なお石皿と対に使用されたと考えられる磨石は 16 点保管されていた。前回、小林先生の発掘では石皿は出土していない。

3

石皿の出土した久領は下手遺跡の北西、川辺川をはさんだ対岸（直線距離約 400 m）にあたり、下手と立地が似る。荒川氏の所蔵品には同じく久領採集の磨製石斧 3 点があり、現在迄伴出土器が不明であるが、久領地区にも縄文期遺跡の存在する可能性が大であろう。⑤

（註）

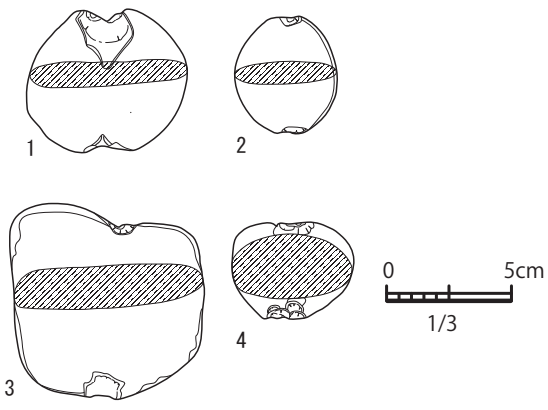
① 小林久雄（1967）、肥後国球磨郡五木村頭地下手遺跡、九州縄文土器の研究、140 － 164、熊本

② この踏査は下條信行氏と共に行ったものであり、遺物の計測・実測等、同氏に負う事が大である。なお東小学校保管の遺物は小林先生の発掘後の資料であり、従って未発表のものである。

③ 渡辺誠（1968）、西日本における縄文時代の網漁法について、物質文化 12、14 － 19、東京。西日本の切目石錘 42 例、有溝石錘 3 例につき、平均値を求めたところ 41.4 g という値が出ている。

④ 渡辺仁（1952）、所謂石錘について。先史学に於ける用途の問題、考古学雑誌、第 55 巻第 2 号、34 － 42、東京。

⑤ 東小学校保管の遺物には、久領出土の注記のある弥生式土器（中期）の壺の胴下半部があり、出土地点を実見しえなかったが、この地区に弥生時代の遺跡の存する可能性もある。



※　底本は、木村幾多郎さんに提供していただいた。1971.11.21 発行、九州始原文化研究会会報 1、p7、福岡。

4-8　熊本県頭地下手遺跡の調査成果

1　はじめに

頭地下手遺跡は、九州脊梁山地を東北東に走向する臼杵 - 八代構造線（中央構造線）と南側の仏像構造線の間に位置し、山間部を南流する球磨川水系川辺川流域では 2 群しか形成されていない沖積地に展開した、縄紋時代後期を中心として営まれた遺跡である。

本書で報告した発掘調査は第 3 次調査であり、縄紋時代後期の石器組成と土器組成が既往調査の示した基調に沿って明瞭化された。また、分析の結果、チャートの石材原産地及び石器製作址であること（越智 2014）、擦切り技法という東日本からの石器製作技術の定着と展開が認められること（山崎 2014）、九州最多出土量の石錘には流域環境と生態系に応じて漁網錘が多様化する他、編物用の錘具も含まれること（島津 2014）が指摘された。

ここでは、上記の成果をふまえ、頭地下手遺跡の存立基盤を分析するとともに、川辺川流域における頭地下手遺跡、中九州における川辺川流域の構造と役割を検討する。

2　頭地下手遺跡の調査成果

まず、頭地下手遺跡の第 3 次発掘調査の成果を、以下のとおり要約する。

なお、越知睦和、山崎純男、島津義昭による分析は、第 4 章を参照されたい。

2-1　石器組成

石器は、石鏃、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器（両面加工石器、二次加工剥片、使用痕剥片）、石斧、石皿、磨石、石錘の形式が組成し（Fig.1、2）、チャート等の基盤層を構成する岩石と、黒曜石等の外来石材の大別 2 種を素材として、敲石、剥片、石核等、石器製作の道具と副産物を伴うことが確認された。

定形石器は石鏃、尖頭器、石錐、石匙、石斧、石皿、磨石、石錘が組成し（Fig.1）、特定形式の欠落は認められない。不定形石器は、両面加工石器、二次加工剥片、使用痕剥片から構成される（Fig.2）。この石器組成は、各形式の多寡といった数量的差異を捨象すれば該期の沿海部における石器組成と同じである。さらに、石篦、石鋸等、局地的分布を示す一部の石器をのぞけば、北海道南西部から九州までの汎列島的な石器組成と同質な石器組成である。

さて、既往調査では、石鏃、石斧、石皿、磨石、石錘、十字形石器、円盤形石器が組成することが明らかにされ（小林 1967、白木原他 1979）、「石鏃の出土量が少ないこと、石皿がやや多いことが対照的である」（白木原他 1979）との分析が示されていた。今次調査では、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器（両面加工石器、二次加工剥片）、剥片、石核、敲石、垂飾品が加わり、多量出土した石鏃が多種多様な石鏃のあり方を示すこととなった。

石鏃 392 点の出土は、頭地下手遺跡では地点により石鏃の出土量に著しい多寡が生じることを明らかにした。これは、石鏃が人為集積されていた可能性を示唆している。これら石鏃の形態と法量は多種多様であったが、黒曜石、チャートその他に大別し、分類することができる程度の多様性であった。

なお、剥片、石核、敲石を確認し、頭地下手遺跡において石器が製作されていたことが明らかになった。なかでも、多数の石核が確認されたことは剥片石器も製作されていたことを導くため、石核石器とあわせた石器のいずれもが頭地下手遺跡で製作されていた可能性が極めて高いことを示している。

また、垂飾品は、五木地方では初の出土である。装飾品である垂飾品、しかも、その再加工品が確認されたことにより、当該時期の装いと、そこに表象される精神が広範な普遍性を帯びていたものと確認することができよう。

今次調査で確認された上記の石器組成は、今後、時間軸を付与して、量的な多寡とその変遷を把握することが必要である。

2-2　土器組成

土器は、深鉢、鉢、浅鉢、壺形土器といった各形式が組成し、阿高式から南福寺式を経て、市来式までの時期を中心とした縄紋時代後期を中心とした各型式が確認されている。しかしながら、遺物の一括性を確認できる層位学的裏付けに乏しく、併せて、時期がくだるにつれて在地化が進行するため、各型式における土

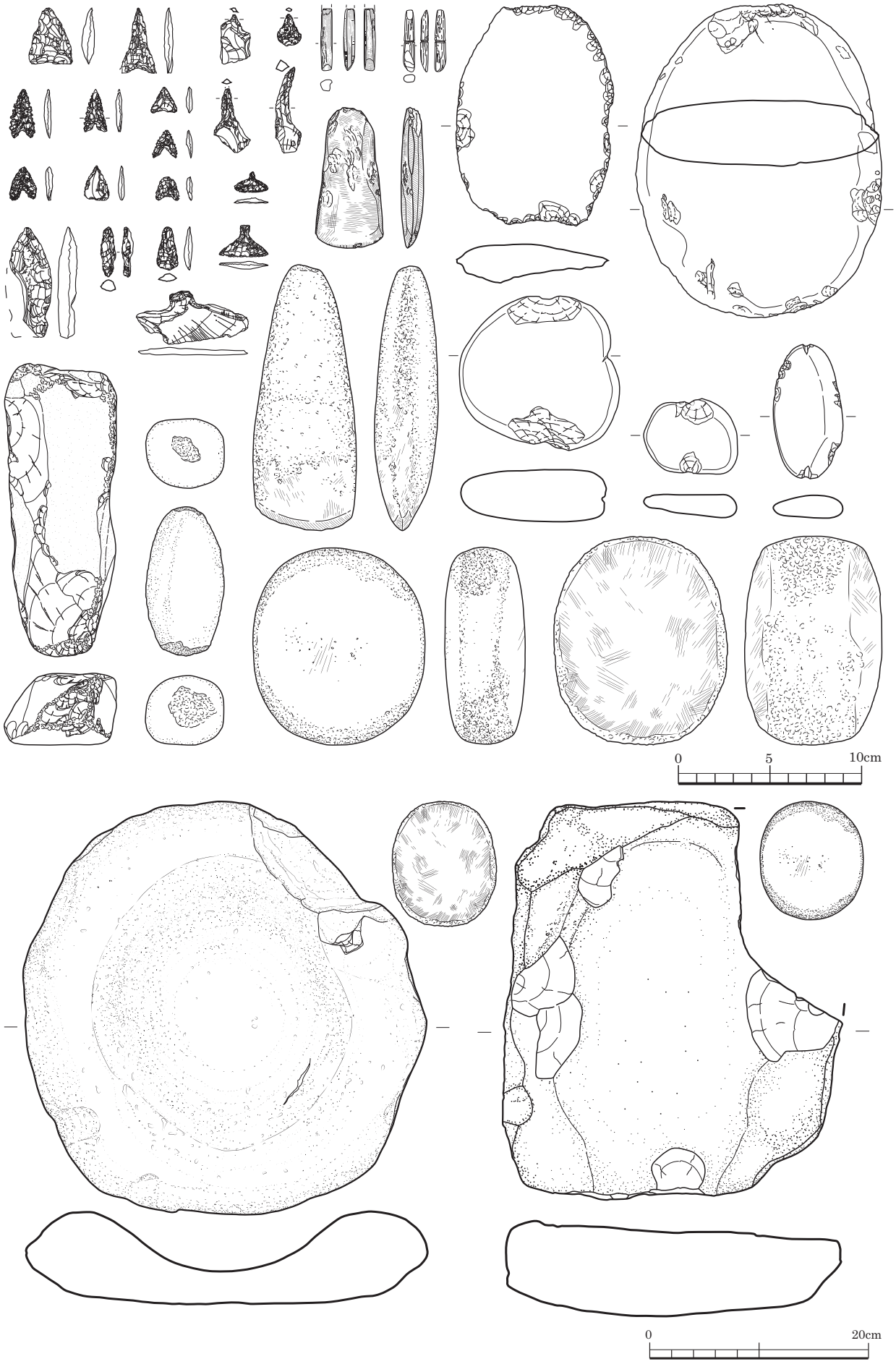


Fig.1　頭地下手遺跡石器組成図（定形石器）

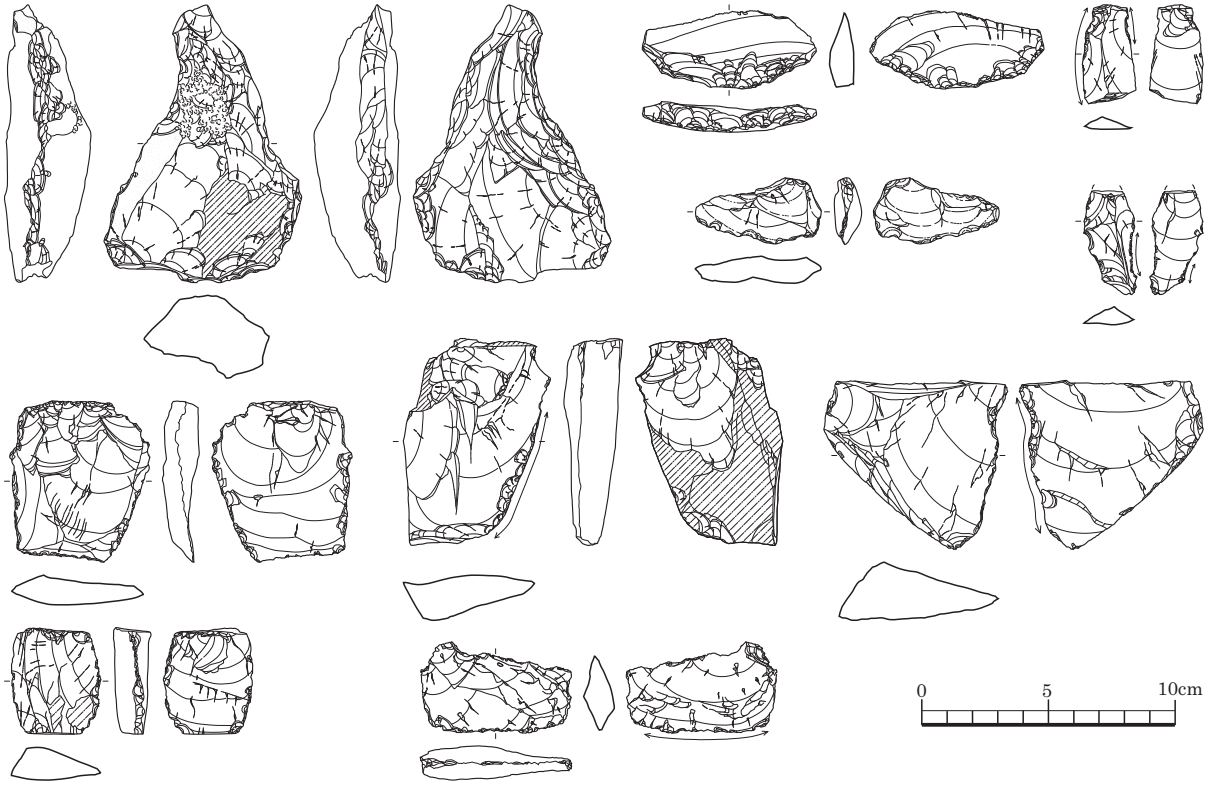


Fig.2　頭地下手遺跡石器組成図（不定形石器）

器組成を提示することは叶わない。先の土器型式の下限も北久根山式に比定する土器を確認できないため、市来式「まで」との表現をとっているほど、後期中葉に向かい土器の在地化は進行している。なお、外来系土器と位置づけられる擦消縄紋土器（群）が存在し、鐘ヶ崎式に比定できる。この擦消縄紋土器（群）には鐘ヶ崎式の成立から終焉までの３時期すべてが含まれ、二枚貝貝殻腹縁部による疑似縄紋を施す例も見いだされる。

土器底部には鯨脊椎骨痕、網代痕をもつ例があり、土器製作に際しては、鯨脊椎骨を作業台に用い、網代を敷いていたことが判明する。また、サルボウ等、放射状筋をもった二枚貝貝殻の腹縁部を施紋具として使用しており、沿海部の産品を土器の製作具として多用する傾向が認められる。深鉢を中心とした土器の形態と法量は貝塚出土資料を標識とする型式に倣うが、小型の台付き鉢、小型の浅鉢に特有な形態が生成し、小型の深鉢が成立する等、在地化の深度は小型を中心として形式レベルにまで及んでいるため、沿海部と山間部の要素が並存している状況と評価できよう。なお、赤色顔料で彩色された土器も少量存在する。この赤色顔料は肉眼観察によりベンガラに同定しているが、その原材料は阿蘇地域、薩摩地域など、頭地下手遺跡から少なくとも 70㎞以上はなれた地域の産品となる。

2-3　物流と生産

石器は、その素材を在地と外来の２種に大別でき、外来石材をもちいた石器の 74％が黒曜石製石鏃で、石鏃の 26％を占めている。他方、在来石材をもちいた石器のうち、石皿等の重い大型石器は砂岩、安山岩､凝灰岩等のように頭地周辺に分布する転礫（83％）を素材とし、石鏃、石匙等の軽い小型石器はチャート（67％）といった基盤層構成岩石を素材としている。すなわち、重い石器は近くから、軽い石器は遠くにも石材を求めることを基調とし、軽重の両極にむかって石材と形式が限定される現象も認められる。

在地の石材のなかでもチャートの使用は著しく、近隣に分布する多種のチャートをすべてもちいて､石鏃、石錐、石匙は製作されている。また、石器未成品は、石匙、石斧で確認しているが、いずれも基盤層の構成岩石を素材としていた。

外来の石材である黒曜石は、ガラス質で漆黒色を呈する良質のもの（西北九州産）が大多数を占め、ガラス質で透明度が高い薄灰色のもの（姫島産）、漆黒色を呈し白色粒を含むもの（鹿児島産）は極少数である。多数を占める西北九州産黒曜石をもちいた石器、例えば石鏃は、その型式が安定している。対して姫島産黒曜石等、極少数の石鏃は素材剥片の縁辺を折りとり、

打ちかく整形にとどめる等、製作工程と型式の粗略化が発生する。

上記からは、遠来の岩石を素材とした石器は数量、形式ともに僅少化、粗略化し、地域産岩石を素材とした石器は数量、形式ともに安定することが抽出されよう。

以上のように、頭地下手遺跡は九州全域に点在した複数の遠隔地域と物流網を形成し、各地域の産品を得ていた。この物流網は、先述の土器、石器等、頭地下手遺跡の装置（系）を運用するためのしくみであり、外来系の擦消縄文（鐘ヶ崎式）土器群が示すように反復性、継続性をそなえ、さらに、汎列島的な石器組成、土器組成に係る情報網としても機能した複合構造を採っている、と考えている。

3　頭地下手遺跡の成立と展開

今次調査では、次の特徴が認められた。

頭地下手遺跡は、阿高式から南福寺式を経て、市来式までの時期を中心とした縄紋時代後期に営まれ、土器組成、石器組成ともに沿海部遺跡と違わぬ基本的内容を示している。このことは、とりもなおさず、基本的な生活様式が沿海部のそれと同一であることを示していよう。対して、頭地下手遺跡に特有な点は、土器では沿海部の産品である鯨脊椎骨を台とする土器成形、二枚貝を多用した土器施紋であり、石器では沿海部の貝採り具の用途が推定されているノッチの存在に代表される不定形石器の組成内容、多種多量な石錘や規格化した磨石と石皿に表れた一部形式の特殊化である。

このような特徴をそなえた頭地下手遺跡は、川辺川流域ではどのような位置と役割を占めていたのであろうか。

木﨑康弘は、縄紋時代の川辺川流域の動向を分析し、縄紋遺跡が面的に分布し、活性化する時期は２時期存在すると指摘した。第一は早期であり、人吉盆地と同様に遺物、遺跡が減少する前期から中期初めを挿み、第二の活性化の時期である中期から後期までを迎える（木﨑 2005、2006）。ふたつの時期は断絶しており、頭地下手遺跡は第二の活性化の時期に形成されている。

この第二の活性化は、八代海への道程中、最も険阻な峠である大通越で阿高式土器が出土する（註１）等、集落経営とは異なる現象を伴いながら開始され、山間部の数少ない沖積地に大規模な遺跡を形成し、川辺川に沿って小遺跡が点在するように展開する。これら遺跡群には、木﨑康弘が指摘したとおり、ドングリ類の採取と製粉作業、川魚漁と狩猟等、特定の生業を専ら営む集落がその両者を営む集落の近隣に点在し、さらに集落周辺に活動地が派生していた現象が認められる（木﨑 2006）。越知睦和の指摘のとおり、頭地下手遺跡はチャートの石材原産地及び石器製作址である（越知 2014）が、対岸の久領上園遺跡では石器生産に関する報告は磨製石斧未成品に限られている（福原 2013）ように類例がなく、石器製作址として特化していた、と評価してよい。そして、この石器製作址としての特化は、各遺跡の専業化、その遺跡を含む遺跡群における分業構造と統合的経営の開始という、川辺川流域における第二の活性化の中での一現象として位置づけることができる。

しかし、頭地下手遺跡は専ら石器製作址に限り特化していた訳ではない。頭地下手遺跡は、川辺川を人吉盆地から遡上したとき最初に出会う沖積地に位置した遺跡であり、川辺川流域で最も広い平場と出水期にも安全な水源を河岸段丘部にそなえ、豊かな清流と多方に面した山塊斜面に隣接した立地をとる。同時に、川辺川流域で最も古い調査履歴と最も多い出土遺物を擁し、最も沿海部遺跡と違わぬ土器組成と石器組成を示す。予想し、期待される遺跡像は、おそらく、複数の住居で構成された拠点集落となろう。にもかかわらず、検出された遺構は石器製作とは関連しない溝１条（SD1）のみという調査内容であり、頭地下手遺跡には石器製作に併せて、他の存立基盤を想定することが必要である。

対象となる遺構は、直接には溝１条であるが、他の遺構がない状況は広場（SH）が存在するものと理解することができ、これに立地（上述）を併せる。また、対象となる遺物は、遺物に表れた頭地下手遺跡に特有な点（上述）としたい。

結論を先に述べれば、頭地下手遺跡は漁網の材料となる大麻繊維の生産址でもある、と推論した。

3-1　頭地下手遺跡の存立基盤

頭地下手遺跡の土器に特有な点は、鯨脊椎骨を作業台とした土器成形、二枚貝を多用した土器施紋が行われている点である。川辺川流域の縄紋時代後期の土器は、文様や器形などに「独特のクセ」をもち、独特の発達をしたものと捉えることができる（福原 2013）ため、これらの土器群は川辺川流域すなわち山間部で製作された、と理解することが適切である。つまり、未検出ではあるが土器製作の作業台として鯨脊椎骨、施紋具として貝殻が沿海部から山間部に搬入され、土器製作の主要な道具として用いられていた、としてよい。

このように、沿海部の産品が山間部の主要道具として機能していた、と間接的にせよ認められたこのことは、以下の３つの現象をともなっていた。第一は、土器製作という技術の沿海部から山間部への移入である。第二は、阿高式から市来式にいたるまでの長期間にわたり、継続性と反復性をそなえて、この技術移入がなされていることである。第三は、この技術はその製品たる土器の変容を許容し、土器を在地化指向で変遷させていることである。

上記３点の現象は、沿海部で活動する集団が前代には未踏の山間部へ川辺川流域から進みいり、山間部で活動する集団を生成したのち、沿海部から山間部へと長期間にわたり産品や技術の移入を反復し続ける、といった展開を提示している。言うまでもなく、この展開の動機は沿海部で活動する集団にある。しかし、土器の在地化が進行するように、沿海部と山間部の両集団はそれぞれ自律性をそなえている、と評価してよい。一方から他方への支配的、従属的な関係は技術や製品の平準化や斉一化を指向するが、製品の変容と変遷を許容した土器の在地化は多様化を指向した結果であるため、沿海部は山間部に技術などを提供しても統制せず、山間部は土器を独自に変遷させる力量を集団生成当初の阿高式の時期から既にそなえていた、と類推できるからである。このように、相互に自立した複数の集団がその関係を変えることなく一定の行為を反復し続ける場合、その行為の動機も変わることなく反復して存在し続ける、と考えてよい。すなわち、沿海部から山間部に産品や技術を移入する動機は、当初から沿海部にあり、変わることなく長期間にわたり反復して生起し続けていた、と考えられるのである。

このような要件を満たす動機は生業に関連した可能性が最も高く、そして、沿海部に特有の生業は漁撈である。

3-2　頭地下手遺跡の第二の特産品

それでは、山間部に位置した頭地下手遺跡の環境において、沿海部における漁撈活動に用いられた道具、漁撈具の製品または材料を求めてみよう。

まず、漁撈具の製品は、漁撈活動を営む当事者以外には製作できるとは考えられない。漁撈対象とその生態、棲息する環境を熟知しなければ、様々な素材からなる部品群を組み合わせ、調整した道具に仕立てることはできないからである。

次に、漁撈具の材料となる素材を挙げてみよう。釣竿の釣針､アワビオコシ等の貝採り具､漁網の浮子(浮)や沈子（錘）等の材料となる石材、釣竿、舟、浮子等の材料となる木材、釣針、貝採り具となる骨角材は、頭地下手遺跡の環境に豊富である。石材については、頭地下手遺跡はチャートの石材原産地及び石器製作址であり、頭地下手遺跡で製作されたチャート製石器がどのように流通しているか探ることが課題である、と越知睦和が指摘している（越知 2014）。木材と骨角材は頭地下手遺跡に限定された産品ではなく、沿海部または山裾等、沿海部の周辺地域でも、木や動物が生きた状態でも獲得できる性格の産品である。したがって、上記以外の素材を、頭地下手遺跡の第二の特産品の候補とする必要がある。

残る漁撈具の材料となる素材は、主に漁網の材料となり、釣糸、漁網等に用いられる草本材であり、大麻繊維がその第一候補となる。

3-3　大麻の栽培と靭皮繊維の採取

大麻は、耐水性に富み、強靭であるため、弓矢の弦、鼓の紐に用いられる他、蚊帳、漁網に多用された。

大麻はクワ科の一年生の草本で、春先に種をまき、盛夏に収穫する靭皮植物である。その茎はまっすぐな丈 3m 以上に伸び、疎植すると枝分かれして繊維の質

が悪くなるため、密生するように植える。収穫するときは束にして、水に浸ける、煮る、発酵させる等、表皮を剥がしやすくする前処理を施し、茎から内皮の靭皮繊維を剥ぎ採る。

大麻から繊維を採るまでの工程の概略は、次のとおりである（北村 1989）。

(1) 種蒔　３月上旬から５月上旬に、種をまく。
(2) 収穫　７月中旬から８月上旬に、刈りとった大麻の根を切りおとし、葉を落とし、丈をそろえて切り､束ねる｡保管する場合は、乾燥させる。
(3) 煮沸　表皮を剥ぎやすくするため１～２分ほど煮る。
(4) 発酵　水に浸し、土や莚で覆い、二日ほどかけて発酵させる。
(5) 皮剥ぎ　柔らかくなった大麻を折り、皮と芯の間に指を入れて皮を剥ぐ。剥いだ皮は根元をそろえ、束ねて水に浸ける。
(6) 青苧引き　舟形の引き板を斜めに立てかけ、水浸けした大麻の皮を、根を上にしてのせる。引き板の手前側には苧麻板が組まれ、大麻を一本ずつ苧麻板にのせ、苧引きがねで靭皮についた鬼皮を剥ぎおとし青苧に仕立てる。青苧は少しずつ束ね、陰干しにし、乾燥させる。

以上の工程を経て大麻から採られた繊維は、その用途に応じて、苧績み、撚りかけ、綛あげの製糸工程にすすみ、綛糸が生産される。生産された糸は、編み、組み、縒りあわされて、編布、網、紐、綱などの繊維製品に仕立てられ、道具の部品として用いられることとなる。

3-4　頭地下手遺跡における大麻の栽培と加工

漁網に用いる靭皮繊維となる草本材は、大麻に限られるわけではなく、葛、苧麻なども候補となる。しかし、最も実用化されてきたのが大麻であること（田辺 2002）、葛はその生産を調整し難いこと、苧麻は収穫から青苧引きまでを一日で完了する必要があり工程を調整し難いことから、ここでは靭皮繊維を大麻に絞り込むこととする。

大麻は、荒涼とした土地にも適しており、土壌改良効果が高いため輪作にも適した作物である。また、日照時間が短いと茎の節間が長くなるため、山間部での栽培は長い靭皮繊維を得やすいこととなる。種蒔から収穫までの生育期間（110 日間）は、除草等の手間も不要であるが、収穫後は「一反百人手間」といわれるように繊維にするまでの工程に多くの手間が必要となる。

頭地下手遺跡は、標高約 250m に位置する。気温は海抜高度が 100m 上昇するごとに 0.6 度下降していくため、その気温は沿海部に比して 1.5 度低く、山間部にあり湖沼ともなわないので湿度もあがらず、冷涼な気候である。また、頭地地区と川辺川下流の人吉盆地（標高約 150 m）の気温をくらべた場合、1、5、10、11 月はほとんど差異が認められないため春先と秋は標高の割には暖かい、と感じる地区となる。このことは日最低気温の平均にも表れており、頭地地区は川辺川下流の人吉盆地（標高約 150 m）よりも 5 月から 9 月にかけては低温であるが、10 月から 4 月にかけては逆に高温となっている。したがって、頭地地区は人吉盆地にくらべて夏は涼しく冬は暖かくてしのぎよい（久塚 1969）、と評価できる。このような気候は、種蒔時期には暖かく、夏の一番暑い盛りの収穫時期には冷涼、「一反百人手間」といわれる繊維採取の手間がかかる工程の時期には標準的な気候となり、他の地域にくらべて疲労感を軽減する効果を頭地下手遺跡での一連の作業に加えている。

大麻の収穫後は、長さ３m以上の大麻束を取りまわすための広大な作業場と、その保管場所が必要となる。また、靭皮繊維を採るまでの煮沸、発酵、皮剥ぎ、青苧引きといった各工程では必ず水が用いられており、各工程の区切りにも水浸け、水洗が組みこまれているため、多くの水が必要となる。

頭地下手遺跡では、溝（SD1）の周囲に展開した広場が存在し、溝の北側では 2,500㎡以上、南側では 2,000㎡以上、合計 4,500㎡以上の空間が確認されている。また、各工程で必要な水は五木川、川辺川の清流と河岸段丘の湧水という複数の水源から容易に得る

ことができる。以上で所要の条件が整ったため、各工程の復元を試みる。

(1) 種蒔　5月頃の暖かな時期に、種をまく。
(2) 収穫　8月頃の涼しい時期に、刈りとり、束ね、広場に移し集める。
(3) 煮沸　溝（SD1）に水を溜め、川辺川の転礫を焼いて放りこみ、湯を沸かす。表皮を剥ぎやすくするため大麻の束を1～2分ほど煮る。
(4) 発酵　大麻の束を広場にあげて水をかけ、土や莚で覆い、数日かけて発酵させる。
(5) 皮剥ぎ　柔らかくなった大麻の皮を剥ぎ、根元をそろえ束ねて、五木川で濯ぐ。
(6) 青苧引き　大麻を一本ずつ苧引具で鬼皮を剥ぎおとし、少しずつ束ね、陰干しにし、乾燥させる。

煮沸に用いるとした溝（SD1）は、最大幅10m程度、最小幅4m程度、底幅2m以上で延長90m程度の溝である。溝の長軸は中央で屈折し、側壁は斜めに、小口壁は鉛直に立ち上がっている。この溝（SD1）は、屈折部を境として長さ50m程度の溝2条の複合、さらに溝幅の変換点を境として15～20 mを単位とした溝6条の集合、と理解することも可能である。この場合、湛水、煮沸、排水の機能分化、あるいは時期変遷にともなう施設の累重を想定できるが、いずれにしても、幅4m以上、長さ15m以上の規模の大溝が東西方向、すなわち山塊から川辺川に向かう傾斜に沿って位置している。すなわち、大麻の束を取りまわすに足る規模をそなえた溝が、湛水、排水に適した向きで、広大な作業場、豊富な水源、容易に獲得できる熱源とともに、煮沸場として用いられていた、と想定復元する。

なお、不定形石器として組成する二次加工剥片、使用痕剥片には、厚く直線的な刃部をもち、両端を折り欠いた例が認められる。また、石錐には彎曲した軸部をもつ例が含まれている。これらの石器は、苧引具、皮剥ぎ具としての用途を想定してもよいのかもしれない。

また、磨石は形態が近似し、直径がほぼ等しく、厚さのみに差異が生じているが。これは、凹部付石皿の凹部が概ね直径22㎝に凝集し、掃出し口をそなえた構造へと単相化していることと同期した現象である。このように規格化した磨石と石皿は、これら粉砕具の特定用途への専用を想定させる。上記のように靭皮繊維が採られていた場合には、漁網の保存染料である渋液の製造が第一候補となろう。この渋液は、渋柿の実を搗きくだいて採った柿渋、カシワ、ナラ、クリ、シイ、クヌギ等の樹皮を煮出したもの、その他各種がある（田辺2002）が、柿渋が最も重要な網染め剤として使われてきた（今井2003）。柿渋用果実の採取時期は8月中旬から10月中旬ごろまで可能であるが、8月下旬から9月上旬が多い。採取された果実はできるだけ早く破砕・加水あるいは破砕・搾汁され、3～6ヶ月あるいは数年貯蔵され、使用される（今井2003）。漁網は、使用前に網染めすることが耐久性を増進させる（田辺2002）ことから、靭皮繊維段階でタンニンが豊富な渋液による防腐処理がなされたことも、大いに想定してよい。

おって、網は一尾貝塚（中期、天草市五和町大字御領字浜田所在）出土例が存在する（山崎2000）。当該資料は南福寺式の単純層から出土し、カエル股に編まれていることが観察できる。網の素材、用途などは微小資料の制約により不明であるが、縄紋時代後期には、中九州沿海部で網が用いられていたことを示している。併せて、黒橋貝塚（中期、熊本市南区城南町下宮地所在）から出土した阿高式口縁部には、極めて撚りの細い織布痕が認められる（島津2011）。このことは、中九州沿海部において繊維の用途が重みと広がりをそなえて拡大する嚆矢と理解できるのである。

4　縄紋時代後期の川辺川流域

頭地下手遺跡は、沿海部で活動する集団が前代未踏の山間部に川辺川つたいに進みいり、山間部で活動する集団を生成した初期に形成された。この動機は、釣針等に用いる石材、漁網等を仕立てる草本材等、漁撈具の材料となる山間部の産品の獲得であり、阿高式から市来式にいたる長期間にわたり維持された。そして、沿海部と山間部の両集団はそれぞれの自律性を保持し

て、各個に特有の産品を移出入している。

山間部で活動する集団は、ドングリ類の採取と製粉作業、川魚漁と狩猟、石材の採取と加工、草本材の栽培と加工等、生業と産業の場を川辺川流域の環境と生態に応じて配し、特定作業を専ら営む集落、複数手がける集落という機能分担をおこなって、川辺川流域全体を一連の領域として統合していた。

この展開は、川辺川流域における縄紋時代第二の活性化と評価することができ、土器の在地化が進行するとともに、九州全域に及ぶ物流網を形成しており、川辺川流域の内外において活動が伸長したと評価できよう。なかでも、複数の遠隔地域と反復性、継続性をもった産品の移出入が認められることは、縄紋時代後期の九州脊梁山地の山間部を南流する川辺川流域では、すでに、異なる地域文化と共存するしくみが存在していたことを首肯してやまない。

〔参考文献〕

今井敬潤、2003、『柿渋（かきしぶ）』ものと人間の文化史 115、法政大学出版局、東京

越知睦和、2014、「4-5 熊本県頭地下手遺跡出土の石器石材について」、本報告書掲載

乙益重隆、1969、「人吉・球磨・五木・五家荘地区の歴史と文化財について」、『人吉球磨五木五家荘地区自然公園候補地』学術調査報告書、熊本県、熊本

木﨑康弘、2005、「谷間の縄文人」、『研究紀要』5、熊本県立装飾古墳館、熊本

木﨑康弘、2006、「谷間の縄文時代」、『研究紀要』6、熊本県立装飾古墳館、熊本

北村哲郎 監修、1989、「日本の布 原始布探訪」、『別冊太陽』67、平凡社、東京

小林久雄、1967、「肥後国球磨郡五木村頭地下手遺跡」、『九州縄文土器の研究』、小林久雄先生遺稿刊行会、熊本

宍倉佐敏、2006、『和紙の歴史』、財団法人印刷朝暘会、東京

島津義昭、2011、「熊本県黒橋貝塚の網布痕について」、『旃檀林の考古学』、大竹憲治先生還暦記念論文集刊行会、福島

島津義昭、2014、「4-7 熊本県頭地下手遺跡出土の石錘について」、本報告書掲載

白木原和美、高野啓一、柴尾俊介、1978、『頭地下手遺跡』五木村文化財調査報告、五木村教育委員会、熊本

田辺悟、2002、『網（あみ）』ものと人間の文化史 106、法政大学出版局、東京

久塚清隆、1969、「人吉球磨五木五家荘地区の気象について」、『人吉球磨五木五家荘地区自然公園候補地』学術調査報告書、熊本県、熊本

福原博信、2013、『久領上園遺跡』五木村文化財調査報告 7、五木村教育委員会、熊本

山崎純男、2000、『一尾貝塚』五和町史資料編 11、五和町教育委員会、熊本

山崎純男、2014、「4-6 熊本県頭地下手遺跡出土の擦切石斧について」、本報告書掲載

〔註〕

註 1　島津義昭さんの御教示による。なお、出土土器の確認者は乙益重隆さんであり、以下の記述をなさっている。

> 古来肥後の平野地帯と人吉盆地および南九州地方は、五木村の小鶴を経由する大通越や、宮園を経由する子別峠をこえて往来したといわれる。あたかもそれを証明するかのようにこれらのルートには石器時代以来有力な遺跡が点在する。
>
> （乙益 1969、p.174）

報告書抄録

ふりがな	とうぢしもていせき
書名	頭地下手遺跡
副書名	川辺川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
巻次	1
シリーズ名	熊本県文化財調査報告
シリーズ番号	第297集
編集者名	宮崎敬士
編集機関	熊本県教育委員会
所在地	〒 862－8609 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 TEL 096－383－1111(内線6716)
発行年月日	西暦 2014年 3月 31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	発掘期間	発掘面積	調査原因
とうぢしもていせき 頭地下手遺跡	くまもとけん くまぐん いつきむらこうあざしもて 熊本県球磨郡 五木村甲字下手	43511	013	32度 23分 47秒	130度 49分 27秒	20040701 ～ 20070330	6,112㎡	ダム建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
頭地下手遺跡	集落跡	縄紋時代	溝 1条	土製品、石製品	縄紋時代後期、晩期。 深鉢、鉢、浅鉢、台付浅鉢。 円盤形土製品。 鯨脊椎骨圧痕、編布圧痕をもつ土器底部、貝殻をもちいた疑似縄紋、赤色顔料で彩色した縄紋土器が含まれる。 石鏃、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器(両面加工石器、二次加工剥片、使用痕剥片)。剥片、石核。石斧、石皿、磨石、敲石、石錘。 石製垂飾再加工品、十字形石器、円盤形石器、環状石斧。 擦切石斧が含まれる。
	散布地	弥生時代			石鏃、砥石。
	散布地	中世 近世	掘立柱建物 7棟 集石 2基	土器、陶磁器等	

要約

頭地下手遺跡は、九州脊梁山地の中央構造線地帯に位置し、球磨川水系川辺川の流域では2群しか形成されていない沖積地に展開した、縄紋時代(後期)を中心とした遺跡である。

縄紋時代後期の遺構は、東西方向に走る最大幅10m、延長90mの溝1条のみである。しかし、おびただしい量の遺物が調査区から検出され、ほぼすべての土器群、石器群が縄紋時代後期に属することが確認された。
土器は、深鉢、鉢、浅鉢、壺形土器が組成し、阿高式から南福寺式を経て、市来式までの諸型式と九州北部からの外来系土器である鐘ヶ崎式が確認された。土器製作に際しては、鯨脊椎骨を製作台に据え、網代を敷き、二枚貝貝殻を施紋具として、赤色顔料で加飾する。
石器は、石鏃、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器(両面加工石器、二次加工剥片、使用痕剥片)、石斧、石皿、磨石、石錘が組成し、チャート等の在地石材、黒曜石等の外来石材のを素材とし、敲石、剥片、石核等、石器製作の道具と副産物を伴う。

頭地下手遺跡は、縄紋時代後期に、汎列島的な石器組成と土器組成に準拠して土器と石器を製作していた、と評価できる遺跡である。
土器は、鯨脊椎骨、二枚貝貝殻等、沿海部の産品を多用してつくり、その形態と法量は中九州沿海部の貝塚出土資料を標識とした諸型式に倣う。また、鐘ヶ崎式は成立から終焉までの各段階の資料が見いだせ、赤色顔料ベンガラの原材料は阿蘇地域、薩摩地域等、頭地下手遺跡から70km以上はなれた地域の産品となる。
石器は、外来の石材をもちいた石器の74%が黒曜石製石鏃で石鏃の26%を占めている。他方、在地の石材をもちいた石器は、石皿等の重い石器で砂岩、安山岩、凝灰岩等のように遺跡周辺に分布する転礫(83%)を素材とし、石鏃、石匙等の小型石器はチャート(67%)のように基盤層構成岩石を素材としている。すなわち、重い石器は近くから、軽い石器は遠くにも石器素材を求めることを基調とし、軽重両極ほど石材と形式が限定される現象も認められる。

以上のように、頭地下手遺跡は九州全域の複数地域と物流網を形成し、各地域の産品を資源として得ていた。この物流網は、出土した鐘ヶ崎式等の外来系土器群が示すように、反復性、継続性をそなえ、さらに、汎列島的な石器組成、土器組成に係る情報網としても機能した複合構造を採っている。
頭地下手遺跡は、異なる地域文化と共存するしくみが縄紋時代後期に存在していたこと、を実証する遺跡である。

熊本県文化財調査報告 第 297 集

頭 地 下 手 遺 跡 （ 第 一 分 冊 ）

川辺川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

発行年月日　平成 26 年 3 月 31 日

編集・発行　熊本県教育委員会

〒862-8609　熊本県熊本市中央区水前寺 6-18-1

印刷・製本　コロニー印刷

〒860-0051　熊本県熊本市西区二本木３丁目12-37

発 行 者：熊本県教育委員会
所　　属：教育総務局文化課
発行年度：平成25年度

この電子書籍は、熊本県文化財調査報告第 297 集を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名： 頭地下手遺跡
発行：熊本県教育委員会
〒862-8609　熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号
電話： 096-383-1111
URL：http://www.pref.kumamoto.jp/
電子書籍制作日：2015 年 12 月 8 日